

# 2017年度 九州大学IRデータ集



Office of  
Institutional  
Research  
Kyushu University



## IR 室長メッセージ

九州大学インスティテューショナル・リサーチ(IR)室が、平成 28 年 4 月に設置された。大学の諸活動の自己点検・評価とその結果の分析に基づいた改革・改善は、大学の機能強化に不可欠である。このため国立大学法人には、自らが定めた中期目標・計画の達成度に関する法人評価、教育の質保証のための認証評価への対応が法的な義務となっている。本学では法人化以前の平成 13 年に大学評価を推進する評価情報開発室を設置し、その後、業務の拡張に伴って、平成 16 年に大学評価情報室に改組して体制を強化し、「国立大学法人評価」や「大学機関別認証評価」等の業務を担当してきた。大学評価情報室は、このような評価業務には対応できるが、自己点検・評価の結果を分析し、数値指標やエビデンスを伴った定性的な指標に基づいて、大学の改革・改善の推進を支援する機能は殆ど備わっていなかった。九州大学 IR 室は、総長のリーダーシップの下で、戦略的に大学をマネジメントできるガバナンス体制の充実に支援する目的で、評価業務に加え、この機能を強化した部署として設置されたものである。

中央教育審議会大学分科会によれば、IR とは、「教育、研究、財務等に関する大学の活動についてのデータを収集・分析し、大学の意思決定を支援するための調査研究」とされている。「客観的なまた精査された説得力のあるデータ」に基づいて改善改革の方針を示すことによって、大学の構成員が、改善改革の必要性を共通に理解でき、また、改善改革の方針への合意形成も進むと考えられる。

このような観点からは、IR 室の最初のそして最も重要な業務の一つは、「客観的なまた精査された説得力のあるデータ」を集積することである。しかし、言うは易し行は難しである。

これまで大学の各部署には、多種多様で膨大な数のデータが蓄積されてきた。しかも担当部署（時には担当者）が最も収集しやすい形、利用しやすい形、あるいは提出要請先の要求に沿う形などで集積されてきた。さらには、同じ種類の同じ期間を対象にしたデータであっても、データの定義が違っている場合も少なくない。このような状況下では、単にデータの提供元から IR 室が収集しただけでは、「客観的なまた精査された説得力のあるデータ」にはなり得ない。IR 室設置の直後から、IR 室アドバイザーの助言を得ながら、IR 室員が中心になって、IR 室協力室員や拡充メンバーの尽力のもとで、学内に散在するデータを「客観的なまた精査された説得力のあるデータ」にするべく集積をしてきた。一方で、データの情報公開には格段の留意が求められる。この点も公開範囲の区分を精査し、データの集積元とも協議をしながら区分けを進めてきた。

この「九州大学 IR 室データ集」は集積したデータの一部ではあるが、大学や各部局等の現状を把握し、改革改善や将来計画作成に利用していただくことを目的に作成されている。データの量・質ともに、以前に発行されていたファクトブック (Q-Fact) に比べると格段に信頼性が向上し、電子データも Web 上で公開し随時更新するなど使いやすくなっている。さらに、大学の研究力分析の一例も掲載しているが、これを参考に部局等は SciVal や Pure を活用して是非自らの部局等の研究力分析を行っていただきたい。

なお、Web 上で公開していることから、ステークホルダーである学外の九州大学を支えているみなさまにも、九州大学の現状をご覧いただき、IR 室がなすべき評価と改革改善支援の機能を充実させるためにも、皆様方からの協力と指導を賜りたい。

本データ集は、IR 室員のご尽力と、IR 室協力室員、拡充メンバー、IR 室アドバイザーのご協力の賜物である。心から感謝申し上げたい。

平成 29 年 11 月 IR 室長 荒殿 誠

# 九州大学 I R データ集

## 目次

### 1. 概要・他大学との比較

1-1.	九州大学の概要	1
1-1-1.	学部等の構成	1
1-1-2.	学生数及び教職員数	1
1-2.	主要キャンパス	2
1-3.	他大学との比較－規模－（国立大学間）	3
1-4.	他大学との比較－教育－（国公立大学間）	7
1-5.	他大学との比較－研究－（国立大学間）	8
1-6.	他大学との比較－国際－	9
1-7.	他大学との比較－産学官連携－	11
1-8.	他大学との比較－評価－	13
1-9.	他大学との比較－その他－	15

### 2. 教職員数等

2-1.	教職員数	17
2-2.	教員数	18
2-2-1.	教員数（全体）	18
2-2-2.	外国籍を有する教員数	19
2-2-3.	女性教員数	20
2-2-4.	主幹教授数	21
2-2-5.	教員組織の年齢構成	21
2-2-6.	教員数（部局別）	22
2-3.	特定有期教員数	34
2-3-1.	特定有期教員数（全体）	34
2-3-2.	特定有期教員数（外国人教員）	34
2-3-3.	特定有期教員数（女性教員）	34
2-4.	特命教授数	35
2-5.	招へい外国人教師等数	35
2-6.	非常勤講師数	35
2-7.	学術研究員等数	36
2-7-1.	学術研究員等数（全体）	36
2-7-2.	学術研究員等数（外国籍及び女性数）	36
2-7-3.	特任教授等数	36
2-8.	事務職員・技術職員等数	37

2-8-1.	事務職員・技術職員等数（全体）	37
2-8-2.	事務職員・技術職員等数（女性数及び女性比率）	37
2-8-3.	事務職員・技術職員等数（部局別）	38
2-9.	特定有期事務・技術系職員数	44
2-10.	事務・技術補佐員等数	44
2-11.	高度専門職員数	44
3. 学生数		
3-1.	学士課程	45
3-1-1.	学部（全体）	45
3-1-2.	学部（学部別・在籍学生数）	46
3-2.	修士課程	48
3-2-1.	修士課程（全体）	48
3-2-2.	修士課程（学府別・在籍学生数）	49
3-3.	専門職学位課程	51
3-3-1.	専門職学位課程（全体）	51
3-3-2.	専門職学位課程（学府別・在籍学生数）	52
3-4.	博士後期課程	53
3-4-1.	博士後期課程（全体）	53
3-4-2.	博士後期課程（学府別・在籍学生数）	54
4. 志願状況		
4-1.	志願状況（学部）	57
4-1-1.	志願状況推移（学部・一般選抜）	57
4-1-2.	志願状況推移（学部・一般選抜／日程別）	58
4-1-3.	志願状況推移（学部・一般選抜／学部別）	59
4-2.	志願状況（大学院）	61
4-2-1.	志願状況推移（大学院__修士課程）	61
4-2-2.	志願状況推移（大学院__専門職学位課程）	65
4-2-3.	志願状況推移（大学院__博士後期課程）	66
5. 入学状況		
5-1.	入学状況（学部）	71
5-1-1.	入学者数推移（全体）	71
5-1-2.	入学者数推移（学部別）	72
5-1-3.	出身地域別入学者状況の経年推移	74
5-2.	入学状況（修士課程）	77
5-2-1.	入学者数推移（全体）	77
5-2-2.	入学者数推移（学府別）	78
5-3.	入学状況（専門職学位課程）	82

5-3-1.	入学者数推移（全体）	8 2
5-3-2.	入学者数推移（学府別）	8 3
5-4.	入学状況（博士後期課程）	8 4
5-4-1.	入学者数推移（全体）	8 4
5-4-2.	入学者数推移（学府別）	8 5
6. 学位取得状況		
6-1.	学部卒業者状況	9 0
6-1-1.	学部卒業者状況（全体）	9 0
6-1-2.	学部卒業者状況（学部別）	9 1
6-2.	修士課程修了者数及び修士の学位取得状況	9 2
6-2-1.	修士課程修了者数及び修士の学位取得状況（全体）	9 2
6-2-2.	修士課程修了者数及び修士の学位取得状況（学府別）	9 3
6-3.	専門職学位課程修了者状況	9 5
6-3-1.	専門職学位課程修了者状況（全体）	9 5
6-3-2.	専門職学位課程修了者状況（学府別）	9 5
6-4.	博士課程修了者数及び論文提出による博士学位取得状況	9 6
6-4-1.	博士課程修了者数及び論文提出による博士学位取得状況（全体）	9 6
6-4-2.	博士課程修了者数及び論文提出による博士学位取得状況（学府別）	9 7
7. 進路・就職状況		
7-1.	学部卒業者の進路・就職状況	9 9
7-1-1.	学部卒業者の進路・就職状況（全体）	9 9
7-1-2.	学部卒業者の進路・就職状況（学部別）	1 0 0
7-2.	修士課程修了者の進路・就職状況	1 0 2
7-2-1.	修士課程修了者の進路・就職状況（全体）	1 0 2
7-2-2.	修士課程修了者の進路・就職状況（学府別）	1 0 3
7-3.	博士後期課程修了者及び単位取得退学者の進路・就職状況	1 0 6
7-3-1.	博士後期課程修了者及び単位取得退学者の進路・就職状況（全体）	1 0 6
7-3-2.	博士後期課程修了者及び単位取得退学者の進路・就職状況（学府別）	1 0 7
8. 資格試験等合格状況		
8-1.	司法試験合格状況	1 1 0
8-2.	各種資格試験・採用試験合格状況	1 1 2
9. 研究		
9-1.	ジャーナル分類分野に基づいた本学全体の傾向	1 1 7
9-2.	論文の量と質についての比較	1 2 0
9-3.	国際共著論文	1 2 8

## 10. 国際

10-1.	海外大学との交流状況	130
10-1-1.	海外大学との交流状況（大学間交流協定）	130
10-1-2.	海外大学との交流状況（部局間交流協定）	130
10-2.	本学学生の海外留学状況	131
10-2-1.	本学学生の海外留学状況（全体）	131
10-2-2.	本学学生の海外留学状況（部局別）	132
10-2-3.	本学学生の海外留学状況（地域別）	133
10-2-4.	本学学生の海外留学状況（部局別・地域別）	134
10-3.	外国人留学生の受入状況	137
10-3-1.	外国人留学生の受入状況（全体）	137
10-3-2.	外国人留学生の受入状況（部局別）	138
10-3-3.	外国人留学生の受入状況（課程別）	138
10-3-4.	外国人留学生の受入状況（出身地域別）	139

## 11. 産学官連携

11-1.	共同研究の状況	140
11-1-1.	共同研究実績の推移	140
11-1-2.	共同研究実績の推移（分野別）	140
11-2.	受託研究の状況	141
11-2-1.	受託研究実績の推移	141
11-2-2.	受託研究実績の推移（分野別）	141
11-3.	知的財産関連	142
11-4.	共著関係から見る産学官連携状況	144
11-5.	地方公共団体関係機関との共著文献数	145

## 12. 附属病院

12-1.	医師数等	146
12-2.	看護職員等	147
12-3.	病床稼働率	148
12-4.	患者数と手術件数の推移	149
12-4-1.	患者数と手術件数の推移（入院患者数）	149
12-4-2.	患者数と手術件数の推移（外来患者数）	150
12-4-3.	患者数と手術件数の推移（手術件数）	151
12-5.	平均在院日数の推移	152
12-6.	承認病床数の比較	152

## 13. 収入・支出

13-1.	収入・支出予算	153
13-2.	収入予算額の推移	154

1 3 - 3.	支出予算額の推移	1 5 4
1 3 - 4.	科学研究費助成事業・寄付金収入・産学連携等研究収入の推移	1 5 5
1 3 - 5.	科学研究費助成事業	1 5 5
1 3 - 5 - 1.	科学研究費助成事業の推移	1 5 5
1 3 - 5 - 2.	科学研究費助成事業の推移（研究種目別）	1 5 6
1 3 - 5 - 3.	科学研究費助成事業の比較（各大学）	1 6 1
1 3 - 6.	寄付金収入の推移	1 6 2
1 3 - 7.	産学連携研究収入の推移	1 6 2
1 3 - 7 - 1.	産学連携研究収入の推移（受託研究）	1 6 2
1 3 - 7 - 2.	産学連携研究収入の推移（共同研究）	1 6 2

#### 1 4. 研究プログラム及び教育プログラムの採択状況

1 4 - 1.	研究プログラム採択状況	1 6 3
1 4 - 2.	教育プログラム採択状況	1 6 4

# 1. 概要・他大学との比較 (平成29年5月1日現在)

## 1-1. 九州大学の概要

### 1-1-1. 学部等の構成

基幹教育院			
学部 (11)	大学院 (学府) (18)	大学院 (研究院) (16)	
文学部	人文科学府	人文科学研究院	
教育学部	地球社会統合科学府	比較社会文化研究院	
法学部	人間環境学府	人間環境学研究院	
経済学部	法学府	法学研究院	
理学部	法務学府 (法科大学院)	経済学研究院	
医学部	経済学府	言語文化研究院	
歯学部	理学府	理学研究院	
薬学部	数理学府	数理学研究院	
工学部	システム生命科学府	医学研究院	
芸術工学部	医学系学府	歯学研究院	
農学部	歯学府	薬学研究院	
	薬学府	工学研究院	
	工学府	芸術工学研究院	
	芸術工学府	システム情報科学研究院	
	システム情報科学府	総合理工学研究院	
	総合理工学府	農学研究院	
	生物資源環境科学府		
	統合新領域学府		
高等研究院			
附置研究所 (4)			
生体防御医学研究所※ 応用力学研究所※ 先導物質化学研究所※ マス・フォア・インダストリ研究所※			
九州大学病院			
国際研究所 (カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所)			
附属図書館			
情報基盤研究開発センター※			

※は共同利用・共同研究拠点に認定された施設を示す。

### 1-1-2. 学生数及び教職員数

	入学定員	入学者数		総定員	在籍者数			
		計	うち女子学生		計	うち女子学生		
学生等数	学部	2,555	2,635	758	10,608	11,746	3,280	
	大学院	修士課程	1,748	1,812	401	3,476	3,978	996
		専門職学位課程	140	127	48	325	297	120
		博士(後期)課程	780	556	157	2,613	2,686	826
	合計	5,223	5,130	1,364	17,022	18,707	5,222	

教職員数	教員数		職員数		合計	
	計	うち女性教員数	計	うち女性職員数	計	うち女性教職員数
	2,057	247	2,327	1,402	4,384	1,649

※出典:九州大学概要(平成29年5月1日現在)

## 1-2. 主要キャンパス

● 主要キャンパス  
● その他

総キャンパス面積： 75,810,378 m<sup>2</sup>



※出典：九州大学概要（平成29年5月1日現在）

## 1-3. 他大学との比較－規模－（国立大学間）

【学部数】

順位	大学名	数
1	北海道大	12
2	大阪大	11
2	神戸大	11
2	岡山大	11
2	広島大	11
<b>2</b>	<b>九州大</b>	<b>11</b>
7	東北大	10
7	東京大	10
7	千葉大	10
7	京都大	10

(2016)

【学部入学定員】

順位	大学名	人
1	大阪大	3,255
2	東京大	3,060
3	京都大	2,846
4	神戸大	2,697
<b>5</b>	<b>九州大</b>	<b>2,555</b>
6	北海道大	2,485
7	東北大	2,396
8	広島大	2,338
9	千葉大	2,322
10	新潟大	2,247

(2016)

【学部志願倍率】

順位	大学名	倍
1	千葉大	5.25
2	東京工業大	5.07
3	神戸大	4.27
4	筑波大	4.26
5	北海道大	4.03
6	広島大	3.50
<b>7</b>	<b>九州大</b>	<b>3.38</b>
8	大阪大	3.35
9	新潟大	3.34
10	東北大	3.21

(2016)

【学部 収容定員・在籍学生数・定員充足率】

順位	大学名	収容定員（人）	在籍学生数（人）	定員充足率
1	大阪大	13,553	15,524	114.5%
2	東京大	12,586	13,943	110.8%
3	京都大	11,852	13,416	113.2%
4	神戸大	10,705	11,696	109.3%
<b>5</b>	<b>九州大</b>	<b>10,659</b>	<b>11,844</b>	<b>111.1%</b>
6	北海道大	10,572	11,408	107.9%
7	東北大	10,001	11,126	111.2%
8	広島大	10,027	10,993	109.6%
9	千葉大	9,871	10,749	108.9%
10	新潟大	9,535	10,317	108.2%

(2015)

・学部入学定員の上位10校と大学院入学定員の多い上位10校を「14大」と定義し、14大学間での順位付けを行った。  
 「14大」…北海道大、東北大、東京大、東京工業大、筑波大、千葉大、新潟大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、岡山大、広島大、九州大（北から）

## ※出典

- ・学部数、学部入学定員、学部志願倍率：各大学HP及び大学概要
- ・学部収容定員、在籍学生数、定員充足率：文部科学省 平成27年度業務実績報告書：九州大学

1-3. 他大学との比較-規模- (国立大学間) (つづき)

【大学院数】

【大学院入学定員】

順位	大学名	数
1	北海道大	19
<b>2</b>	<b>九州大</b>	<b>18</b>
2	京都大	18
4	東北大	16
4	大阪大	16
6	東京大	15
6	神戸大	15
8	名古屋大	14
9	広島大	11
10	千葉大	9

(2016)

順位	大学名	入学定員	入学定員 (修士課程)	入学定員 (専門職学士課程)	入学定員 (博士後期課程)
1	東京大	4,935	2,843	395	1,697
2	京都大	3,705	2,261	314	1,130
3	大阪大	3,031	2,009	80	942
4	東北大	2,707	1,775	120	812
<b>5</b>	<b>九州大</b>	<b>2,663</b>	<b>1,738</b>	<b>140</b>	<b>785</b>
6	筑波大	2,396	1,651	66	679
7	北海道大	2,355	1,575	100	680
8	名古屋大	2,305	1,525	50	730
9	東京工業大	2,151	1,544	40	567
10	神戸大	1,759	1,233	149	377

(2016)

【大学院 収容定員・在籍学生数・定員充足率】

順位	大学名	大学院合計			修士課程			専門職 学位課程			博士後期課程		
		収容 定員 (人)	在籍 学生数 (人)	定員 充足率	収容 定員 (人)	在籍 学生数 (人)	定員 充足率	収容 定員 (人)	在籍 学生数 (人)	定員 充足率	収容 定員 (人)	在籍 学生数 (人)	定員 充足率
1	東京大	12,020	13,408	111.5%	5,667	6,716	118.5%	1,015	868	85.5%	5,338	5,824	109.1%
2	京都大	8,873	9,150	103.1%	4,470	4,773	106.8%	808	706	87.4%	3,595	3,671	102.1%
3	大阪大	7,360	7,831	106.4%	4,018	4,435	110.4%	240	206	85.8%	3,102	3,190	102.8%
4	東北大	6,512	6,705	103.0%	3,548	3,900	109.9%	320	197	61.6%	2,644	2,608	98.6%
<b>5</b>	<b>九州大</b>	<b>6,457</b>	<b>6,903</b>	<b>106.9%</b>	<b>3,567</b>	<b>4,067</b>	<b>114.0%</b>	<b>375</b>	<b>285</b>	<b>76.0%</b>	<b>2,515</b>	<b>2,551</b>	<b>101.4%</b>
6	筑波大	5,686	6,677	117.4%	3,419	3,997	116.9%	168	199	118.5%	2,099	2,481	118.2%
7	北海道大	5,670	5,921	104.4%	3,150	3,441	109.2%	310	222	71.6%	2,210	2,258	102.2%
8	名古屋大	5,597	5,979	106.8%	3,040	3,580	117.8%	210	139	66.2%	2,347	2,260	96.3%
9	東京工業大	4,869	5,079	104.3%	3,088	3,527	114.2%	80	88	110.0%	1,701	1,464	86.1%
10	神戸大	4,049	4,695	116.0%	2,462	2,763	112.2%	378	336	88.9%	1,209	1,596	132.0%

(2015)

- ・学部入学定員の上位10校と大学院入学定員の多い上位10校を「14大」と定義し、14大学間での順位付けを行った。  
「14大」…北海道大、東北大、東京大、東京工業大、筑波大、千葉大、新潟大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、岡山、広島大、九州大(北から)
- ・収容定員については、文部科学省告示第53号(専門職大学院に関し必要な事項について定める件)、第4条(法科大学院の収容定員)により算出した。

※出典

- ・大学院数、大学院入学定員：各大学HP及び大学概要
- ・大学院収容定員、在籍学生数、定員充足率：文部科学省 平成27年度業務実績報告書：九州大学

1-3. 他大学との比較-規模-(国立大学間) (つづき)

【学部在籍学生のうち留学生数】

順位	大学名	人
1	北海道大	367
2	名古屋大	363
3	大阪大	345
4	筑波大	285
5	東京大	253
6	九州大	234
7	京都大	220
8	東京工業大	186
9	東北大	182
10	千葉大	162

(2015)

【学部在籍学生に占める留学生数の割合】

順位	大学名	%
1	東京工業大	3.9%
2	名古屋大	3.7%
3	北海道大	3.1%
4	筑波大	2.9%
5	大阪大	2.2%
6	九州大	2.0%
7	東京大	1.8%
8	京都大	1.6%
8	東北大	1.6%
10	千葉大	1.5%

(2015)

【学部在籍学生に占める女子学生数の割合】

順位	大学名	%
1	岡山大	41.7%
2	筑波大	40.1%
2	新潟大	40.1%
4	千葉大	38.9%
5	広島大	36.4%
6	神戸大	35.1%
7	大阪大	33.1%
8	名古屋大	30.2%
9	北海道大	29.5%
10	九州大	28.0%

(2016)

【大学院在籍学生のうち留学生数】

順位	大学名	人
1	東京大	2,273
2	筑波大	1,274
3	京都大	1,261
4	九州大	1,257
5	北海道大	1,203
6	大阪大	1,145
7	名古屋大	1,114
8	東北大	1,084
9	東京工業大	865
10	広島大	827

(2015)

【大学院在籍学生に占める留学生数の割合】

順位	大学名	%
1	北海道大	19.6%
2	広島大	19.2%
3	筑波大	19.1%
4	名古屋大	18.6%
5	九州大	18.2%
6	東京工業大	17.0%
7	東京大	16.9%
8	神戸大	16.8%
9	東北大	16.2%
10	大阪大	14.5%

(2015)

【大学院在籍学生に占める女子学生数の割合】

順位	大学名	%
1	筑波大	35.1%
1	広島大	35.1%
3	神戸大	34.3%
4	千葉大	32.1%
5	北海道大	30.4%
6	岡山大	30.1%
7	名古屋大	29.2%
8	大阪大	27.9%
9	九州大	27.3%
10	東京大	27.1%

(2016)

・学部入学定員の上位10校と大学院入学定員の多い上位10校を「14大」と定義し、14大学間での順位付けを行った。  
 「14大」…北海道大、東北大、東京大、東京工業大、筑波大、千葉大、新潟大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、岡山大、広島大、九州大(北から)

※出典

- ・留学生数、留学生数の割合: 文部科学省 平成27年度業務実績報告書: 九州大学
- ・女子学生の割合: 各大学HP及び大学概要

1-3. 他大学との比較-規模-(国立大学間) (つづき)

【教員数】

順位	大学名	人
1	東京大	3,888
2	京都大	3,472
3	東北大	3,183
4	大阪大	3,178
5	九州大	2,469
6	北海道大	2,428
7	名古屋大	2,323
8	筑波大	1,945
9	広島大	1,787
10	神戸大	1,710

(2015)

【教員一人当たりの学生数】

順位	大学名	人
1	東北大	5.6
2	京都大	6.5
3	名古屋大	6.8
4	東京大	7.0
5	北海道大	7.4
5	大阪大	7.4
7	九州大	7.6
8	筑波大	8.5
9	広島大	8.6
10	岡山大	8.9

(2015)

【職員数】

順位	大学名	人
1	東京大	3,944
2	東北大	3,248
3	京都大	3,216
4	北海道大	3,014
5	九州大	2,985
6	大阪大	2,984
7	名古屋大	2,371
8	岡山大	2,324
9	筑波大	2,005
10	神戸大	1,957

(2015)

【女性教員数】

順位	大学名	人
1	大阪大	233
2	東京大	232
3	筑波大	223
4	名古屋大	177
5	京都大	170
6	神戸大	157
7	九州大	156
8	千葉大	151
9	東北大	148
10	広島大	144

(2016)

【外国人教員数】

順位	大学名	人
1	大阪大	97
2	京都大	90
3	東北大	85
4	東京大	83
5	九州大	79
6	筑波大	70
7	広島大	52
8	北海道大	46
8	神戸大	46
10	岡山大	35

(2016)

【運営費交付金】

順位	大学名	配分額
1	東京大	80,456,992
2	京都大	54,831,754
3	東北大	45,603,506
4	大阪大	43,679,737
5	九州大	41,665,921
6	筑波大	40,654,109
7	北海道大	36,226,803
8	名古屋大	31,622,196
9	広島大	24,888,297
10	東京工業大	21,355,029

(2016)

・学部入学定員の上位10校と大学院入学定員の多い上位10校を「14大」と定義し、14大学間での順位付けを行った。  
 「14大」…北海道大、東北大、東京大、東京工業大、筑波大、千葉大、新潟大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、岡山大、広島大、九州大(北から)

※出典

- ・教員数、教員一人当たりの学生、職員数：文部科学省 平成27年度業務実績報告書：九州大学
- ・女性教員数、外国人教員数：朝日新聞出版「大学ランキング2018年版」
- ・運営費交付金：「平成28年度 国立大学法人運営費交付金 予定額」

## 1 - 4. 他大学との比較 - 教育 - (国公立大学間)

【校舎面積】

順位	大学名	m <sup>2</sup>
1	日本大	977,923
2	東京大	817,253
3	早稲田大	756,980
4	北海道大	714,823
5	京都大	712,563
6	東海大	579,603
7	神戸大	547,342
8	広島大	540,876
⋮		
23	九州大	362,343

(2015)

【オープンキャンパス】

順位	大学名	人
1	日本大	66,230
2	早稲田大	62,563
3	東北大	60,411
4	明治大	59,245
5	近畿大	50,750
6	東洋大	47,151
7	中央大	37,107
8	立教大	36,375
⋮		
22	九州大	22,206

(2016)

【図書館蔵書数】

順位	大学名	冊
1	東京大	9,521,122
2	京都大	6,905,113
3	日本大	5,594,941
4	早稲田大	5,549,521
5	慶応義塾大	4,893,477
6	九州大	4,289,906
7	東北大	4,081,265
8	北海道大	3,912,934
9	大阪大	3,892,207
10	神戸大	3,758,181

(2016)

【2、3年次編入学】

順位	大学名	人
1	関西外国語大	459
2	日本大	416
3	長岡技術科学大	415
4	豊橋技術科学大	370
5	国学院大	196
6	北陸大	179
7	東京農業大	178
8	岡山商科大	164
⋮		
57	九州大	48

(2016)

【標準年限卒業率(高い順)】

順位	大学名	%
1	九州ルーテル学院大	99.9
2	九州女子大	99.1
3	順天堂大	97.5
3	ノートルダム清心女子大	97.5
5	上越教育大	96.9
6	鎌倉女子大	96.7
7	天使大	95.7
8	成蹊大	95.5
⋮		
86	九州大	90.3

(2016)

【退学率】

順位	大学名	%
1	茨城県立医療大	0.1
1	滋賀医科大	0.1
1	京都府立医科大	0.1
4	新潟大	0.2
5	旭川医科大	0.3
5	福島県立医科大	0.3
5	東京慈恵会医科大	0.3
5	鎌倉女子大	0.3
5	金沢医科大	0.3
5	浜松医科大	0.3
5	関西医科大	0.3
⋮		
32	九州大	1.2

(2016)

## ●ランキングの見方

- ・卒業率:標準修業年限卒業率(以下「卒業率」)は2012年度(6年制は10年度)入学者のうち、15年度(16年3月卒業生)に卒業した学生の割合。分子が16年3月卒業生で、分母が12年4月(6年制は10年4月)の入学者。留年、休学、退学せずに卒業した学生の割合を示す。早期卒業(飛び級)を含む。編入学を含まない。
- ・退学率:15年度(15年4月~16年3月)の退学者の割合で、分母は14年4月(または文部科学省学校基本調査による集計日=5月1日)とした。
- ・卒業率、退学率は朝日新聞出版編集部調べ。国公立大学は学生数500人以上、私立大学は学生数400人以上。

※出典:朝日新聞出版「大学ランキング2018年度版」(但し、校舎面積のみ「大学ランキング2016年度版」より)

## 1-5. 他大学との比較 - 研究 - (国立大学間)

【科学研究費補助金】

順位	大学名	件数	合計(千円)
1	東京大	3,862	21,672,950
2	京都大	3,050	13,757,380
3	大阪大	2,585	10,697,537
4	東北大	2,510	9,977,760
5	名古屋大	1,843	7,682,610
<b>6</b>	<b>九州大</b>	<b>1,962</b>	<b>7,158,970</b>
7	北海道大	1,681	5,802,940
8	筑波大	1,294	4,073,095
9	神戸大	1,107	2,819,830
10	広島大	1,075	2,620,865

【外部資金総額(※)】

順位	大学名	合計(千円)
1	東京大	51,349,000
2	京都大	38,803,836
3	大阪大	27,172,185
4	東北大	20,535,130
<b>5</b>	<b>九州大</b>	<b>15,923,453</b>
6	名古屋大	14,013,000
7	東京工業大	9,961,290
8	筑波大	9,638,112
9	北海道大	9,489,679
10	神戸大	5,482,280

※外部資金総額  
寄付金、受託研究費、共同研究費  
の合計

【寄附金】

(2016)

順位	大学名	件数	合計(千円)
1	東京大	14,722	9,594,000
2	京都大	14,495	6,675,558
3	大阪大	7,481	5,661,324
4	東北大	3,522	3,532,812
5	名古屋大	2,956	2,884,295
<b>6</b>	<b>九州大</b>	<b>3,865</b>	<b>2,845,886</b>
7	北海道大	5,058	2,247,683
8	神戸大	3,666	2,020,101
9	広島大	2,522	1,586,328
10	新潟大	878	1,506,190

(2015)

【受託研究】

(2015)

順位	大学名	件数	合計(千円)
1	東京大	1,519	34,575,000
2	京都大	1,007	24,296,814
3	大阪大	1,539	17,588,108
4	東北大	731	12,962,573
<b>5</b>	<b>九州大</b>	<b>823</b>	<b>10,284,465</b>
6	名古屋大	638	8,279,448
7	東京工業大	379	7,277,894
8	北海道大	632	5,632,597
9	筑波大	438	5,276,363
10	神戸大	16,432	2,632,764

(2015)

【共同研究】

順位	大名	件数	合計(千円)
1	京都大	1,115	7,831,464
2	東京大	1,633	7,180,000
3	東北大	1,012	4,039,745
4	大阪大	993	3,922,753
5	名古屋大	689	2,849,257
<b>6</b>	<b>九州大</b>	<b>740</b>	<b>2,793,102</b>
7	東京工業大	489	1,769,921
8	北海道大	597	1,609,399
9	筑波大	323	1,143,767
10	神戸大	532	829,415

(2015)

【Scholarly Output  
(論文数)】

順位	大学名	本数
1	東京大	42,481
2	京都大	30,724
3	大阪大	24,108
4	東北大	23,366
<b>5</b>	<b>九州大</b>	<b>17,858</b>
6	名古屋大	17,165
7	北海道大	16,356
8	東京工業大	12,925
9	筑波大	11,472
10	広島大	9,536

(2012~2016)

【Citation Count (被引用回数)】

順位	大学名	被引用回数	論文あたりの 平均被引用数
1	東京大	584,874	9.9
2	京都大	370,797	9.2
3	大阪大	283,032	8.4
4	東北大	256,934	8.0
5	名古屋大	207,261	8.9
<b>6</b>	<b>九州大</b>	<b>184,555</b>	<b>7.6</b>
7	北海道大	155,827	7.4
8	東京工業大	141,802	7.4
9	筑波大	124,068	7.9
10	広島大	96,852	7.8

(2012~2016)

【FWCI(※1)  
(論文のインパクト)】

順位	大学名	被引用度
1	東京大	1.37
2	京都大	1.28
3	名古屋大	1.20
4	東北大	1.19
5	東京工業大	1.17
5	岡山大	1.17
7	筑波大	1.14
7	大阪大	1.14
7	神戸大	1.14
<b>10</b>	<b>九州大</b>	<b>1.13</b>

(2012~2016)

・学部入学定員の上位10校と大学院入学定員の多い上位10校を「14大」と定義し、14大学間での順位付けを行った。  
「14大」…北海道大、東北大、東京大、東京工業大、筑波大、千葉大、新潟大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、岡山大、広島大、九州大(北から)  
・(※1)FWCI(Field-weighted Citation Impact)  
当該文献の被引用数を、同じ出版年・同じ分野・同じ文献タイプの文献の世界平均で割ったもの。  
FWCIが1以上ということは、平均インパクトが世界平均以上ということを意味する。

※出典

- ・科学研究費補助金: 日本学術振興会HP 研究機関別採択件数・配分額一覧
- ・外部資金総額、寄付金、受託研究、共同研究: 各大学 大学概要(2016年度)
- ・論文数、被引用回数、論文のインパクト: エルゼビア社「SciVal」(2017年11月現在)

## 1-6. 他大学との比較－国際－

【QS世界大学ランキング 国内（2017.6公表）】

2017/2018 順位	2016/2017 順位	2015/2016 順位	2016/2017 国内順位	大学名	総合 スコア
1	1	1	—	マサチューセッツ工科大学(MIT)	100.0
2	2	3	—	スタンフォード大学	98.7
3	3	2	—	ハーバード大学	98.4
4	5	5	—	カリフォルニア工科大学(Caltech)	97.7
5	4	3	—	ケンブリッジ大学	95.6
				⋮	
28	34	39	1	東京大学	84.8
36	37	38	2	京都大学	81.5
56	56	56	3	東京工業大学	74.8
63	63	58	4	大阪大学	72.1
76	75	74	5	東北大学	69.0
116	115	120	6	名古屋大学	60.7
122	130	139	7	北海道大学	59.0
<b>128</b>	<b>135</b>	<b>142</b>	<b>8</b>	<b>九州大学</b>	<b>58.2</b>

【Academic Reputation】  
学術評判

国内 順位	大学名	スコア
1	東京大学	100.0
2	京都大学	99.7
3	大阪大学	88.5
4	東京工業大学	83.1
5	東北大学	78.3
6	早稲田大学	69.0
7	名古屋大学	68.9
8	北海道大学	68.5
<b>9</b>	<b>九州大学</b>	<b>63.6</b>
10	慶応義塾大学	63.0

【Employer Reputation】  
雇用者評判

国内 順位	大学名	スコア
1	東京大学	99.8
2	京都大学	94.9
3	早稲田大学	89.0
4	東京工業大学	83.7
5	慶応義塾大学	80.2
6	大阪大学	75.4
7	一橋大学	66.9
8	東北大学	66.0
<b>9</b>	<b>九州大学</b>	<b>62.0</b>
10	北海道大学	59.5

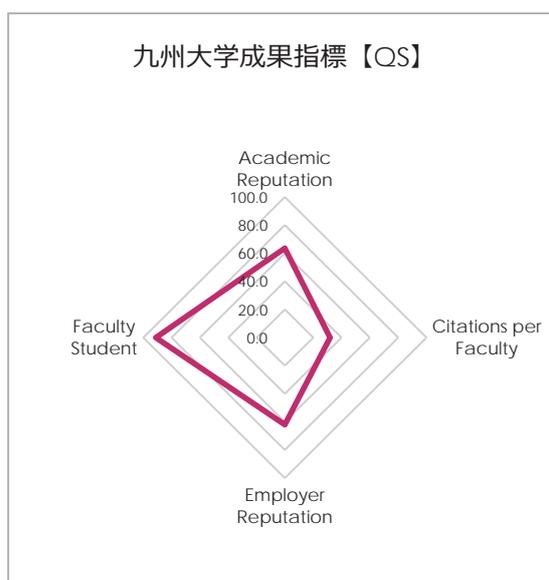
【Citations per Faculty】  
論文被引用数／教員数

国内 順位	大学名	スコア
1	東京大学	73.3
2	大阪大学	63.1
3	東京工業大学	62.4
4	京都大学	56.4
5	東京農工大学	49.5
6	名古屋工業大学	48.7
7	東北大学	48.4
8	名古屋大学	37.0
	⋮	
<b>11</b>	<b>九州大学</b>	<b>31.9</b>

【Faculty Student】  
学生数／教員数

国内 順位	大学名	スコア
1	東京医科歯科大学	100.0
2	横浜市立大学	99.3
3	東北大学	98.1
4	京都大学	95.7
5	名古屋大学	93.5
6	東京大学	92.6
<b>7</b>	<b>九州大学</b>	<b>91.1</b>
8	東京工業大学	90.1
9	長崎大学	85.4
10	北海道大学	85.0

九州大学成果指標【QS】



・「外国籍教員／教員数」及び「外国籍学生数／学生数」は、ランキング外のため、掲載なし。

※出典：世界大学評価機関の英国クアクアレリ・シモンズ(Quacquarelli Symonds: QS)Webサイト

1-6. 他大学との比較-国際-(つづき)

【THE世界大学ランキング 国内(2017.9.5公表)】

※200位以下の総合スコアは公表されていないため、指標スコアより算出した推計値。

2017/2018 順位	2016/2017 順位	国内順位	大学名	総合 スコア
46	39	1	東京大	72.2
74	91	2	京都大	64.9
201-250	251-300	3	大阪大	49.5
201-250	201-250	4	東北大	48.3
251-300	251-300	5	東京工業大	47.0
301-350	301-350	6	名古屋大	45.0
<b>351-400</b>	<b>351-400</b>	<b>7</b>	<b>九州大</b>	<b>40.0</b>
401-500	401-500	8	北海道大	38.4
401-500	401-500	9	筑波大	36.5
401-500	401-500	10	東京医科歯科大学	36.0

【Teaching】  
教育(学習環境)

国内 順位	大学名	スコア
1	東京大	79.5
2	京都大	71.8
3	大阪大	53.7
4	東北大	49.6
5	東京工業大	49.5
6	名古屋大	44.9
<b>7</b>	<b>九州大</b>	<b>42.5</b>
8	北海道大	42.1
9	筑波大	38.6
10	東京医科歯科大	35.9

【International Outlook】  
国際的な評判  
(教授陣と学生の質)

国内 順位	大学名	スコア
1	会津大	67.5
2	筑波大	39.9
3	東京工業大	35.8
4	東北大	34.7
5	早稲田大	34.2
<b>6</b>	<b>九州大</b>	<b>33.9</b>
7	大阪大	33.5
8	北海道大	32.6
9	東京大	32.2
10	名古屋大	29.9

【Industry Income】  
産業からの収入(革新性)

国内 順位	大学名	スコア
1	京都大	93.8
2	名古屋大	87.2
3	大阪大	81.3
<b>4</b>	<b>九州大</b>	<b>71.6</b>
5	東北大	68.3
6	東京工業大	67.8
7	東京医科歯科大	57.1
8	東京大	52.7
9	千葉大	52.5
10	北海道大	52.0

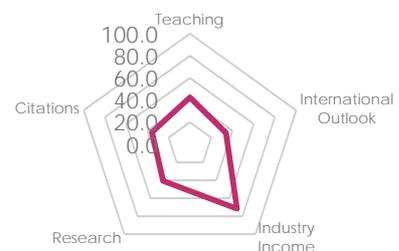
【Research】  
研究(ボリューム)／収益性／評価

国内 順位	大学名	スコア
1	東京大	85.2
2	京都大	78.6
3	大阪大	57.6
4	東京工業大	52.9
5	東北大	50.6
6	名古屋大	47.2
<b>7</b>	<b>九州大</b>	<b>40.7</b>
8	北海道大	40.2
9	筑波大	35.0
10	東京理科大	24.9

【Citations】  
論文の引用度合

国内 順位	大学名	スコア
1	藤田保健衛生大	74.5
2	東京大	63.7
3	首都大学東京	57.8
4	東京医科歯科大	53.2
5	京都大	50.9
6	東北大	46.5
7	名古屋大	43.2
8	会津大	42.7
	⋮	
<b>12</b>	<b>九州大</b>	<b>35.7</b>

九州大学成果指標【THE】



※出典:英タイムズ・ハイアー・エデュケーション(THE)Webサイト

## 1-7. 他大学との比較－産学官連携－

【民間企業との共同研究実施件数】

順位	大学	件数
1	東京大	1,371
2	京都大	964
3	大阪大	896
4	東北大	881
5	九州大	653
6	名古屋大	546
7	東京工業大	530
8	北海道大	504
9	慶応義塾大	449
10	神戸大	382

【民間企業との共同研究費受入額】

(単位：千円)

順位	大学	収入額
1	東京大	5,066,861
2	京都大	4,498,025
3	大阪大	3,422,394
4	東北大	3,305,026
5	九州大	1,920,414
6	慶応義塾大	1,788,918
7	名古屋大	1,647,508
8	東京工業大	1,495,119
9	北海道大	1,384,761
10	筑波大	1,044,289

【同一県内中小企業との共同研究実施件数】

順位	大学	件数
1	東京大	132
2	信州大	62
3	三重大	59
4	岐阜大	58
5	東京農工大	54
6	京都大	53
6	東京工業大	53
8	東北大	50
⋮		
20	九州大	33

【民間企業との共同研究に伴う1件当たりの研究費受入額】

(単位：千円)

順位	大学	1件当たり受入額	件数
1	自治医科大	6,074	23
2	光産業創成大学院大	5,618	15
3	千葉工業大	5,237	45
4	京都大	4,666	964
5	横浜市立大	4,658	49
6	東京医科大	4,579	14
7	聖マリアンナ医科大	4,392	19
8	東京都市大	4,136	38
⋮			
24	九州大	2,941	653

【外国企業との共同研究費受入額】

(単位：千円)

順位	大学	受入額	件数
1	東北大	248,955	19
2	筑波大	129,766	7
3	名古屋大	123,476	7
4	東京大	122,036	23
5	東京工業大	94,912	12
6	京都大	80,431	14
7	北陸先端科学技術大学院大	43,149	7
8	大阪大	36,881	9
⋮			
16	九州大	22,321	3

【民間企業との共同研究実施件数のうち、受入額1千万円以上の実施件数が占める割合】

順位	大学	割合	実施件数(1千万円以上)
1	自治医科大	21.7%	5
2	横浜市立大	14.3%	7
3	京都府立医科大	13.0%	7
4	東京大	9.6%	131
5	慶応義塾大	9.4%	42
6	京都大	7.6%	73
7	東北大	7.2%	63
8	大阪大	6.7%	60
9	九州大	6.3%	41
10	東京工業大	5.8%	31

【民間企業との共同研究に伴う研究者1人当たりの研究費受入額】

(単位：千円)

順位	大学	1件当たり受入額
1	光産業創成大学院大	4,013
2	事業構想大学院大	3,750
3	名古屋工業大	1,506
4	豊田工業大	1,413
5	長岡技術科学大	1,092
6	東京工業大	1,087
7	岐阜薬科大	1,042
8	豊橋技術科学大	1,004
⋮		
23	九州大	548

※出典：文部科学省「平成27年度大学等における産学連携等実施状況について」

1-7. 他大学との比較-産学官連携-(つづき)

【民間企業からの受託研究実施件数】

順位	大学	件数
1	立命館大	287
2	近畿大	275
3	慶応義塾大	196
4	日本大	169
5	早稲田大	155
6	拓殖大	131
7	東京女子医科大	126
8	東京都市大	123
9	大阪大	117
10	九州大	108

【民間企業からの受託研究費受入額】

(単位：千円)

順位	大学	受入額
1	慶応義塾大	788,051
2	早稲田大	521,099
3	近畿大	346,652
4	立命館大	298,036
5	九州大	273,538
6	神戸大	266,284
7	東京大	249,601
8	京都大	247,447
9	日本大	228,309
10	自治医科大	219,844

【民間企業からの受託研究に伴う  
1件当たりの研究費受入額】

(単位：千円)

順位	大学	1件当たりの受入額	件数
1	国際大	13,071	13
2	北海道情報大	5,234	12
3	横浜市立大	4,628	47
4	弘前大	4,373	14
5	慶応義塾大	4,021	196
6	九州工業大	4,008	27
7	藤田保健衛生大	3,902	28
8	神戸大	3,804	70
⋮			
18	九州大	2,533	108

【特許権実施等件数  
(外国分を含む)】

順位	大学	件数
1	東京大	2,386
2	京都大	854
3	東京工業大	711
4	大阪大	617
5	北海道大	525
6	東北大	454
7	関東学院大	406
8	名古屋大	349
9	信州大	292
10	九州大	271

【特許権実施等収入  
(外国分を含む)】

(単位：千円)

順位	大学	収入額
1	東京大	553,112
2	京都大	370,952
3	大阪大	165,629
4	慶応義塾大	147,857
5	九州大	132,757
6	名古屋大	100,672
7	日本大	86,401
8	東京医科歯科大	70,424
9	三重大	66,805
10	東北大	66,363

【ランニングロイヤリティ収入  
があった特許件数】

順位	大学	件数
1	東北大	174
2	金沢大	151
3	静岡大	131
4	大阪大	114
5	京都大	108
6	東京工業大	105
7	東京大	99
8	九州大	92
8	日本大	92
10	筑波大	75

※出典：文部科学省「平成27年度大学等における産学連携等実施状況について」

## 1-8. 他大学との比較-評価-

### ◆学長からの評価◆

【総合】

順位	大学名	人
1	京都大	132
2	東京工業大	84
3	東京大	77
3	金沢工業大	77
5	国際教養大	64
6	大阪大	55
6	名古屋大	55
8	近畿大	51
⋮		
17	九州大	25

【教育面で注目】

順位	大学名	人
1	金沢工業大	69
2	国際教養大	64
3	国際基督教大	40
4	東京工業大	27
5	共愛学園前橋国際大	26
6	立教大	21
7	立命館アジア太平洋大	20
8	近畿大	16
⋮		
17	九州大	11

【研究面で注目】

順位	大学名	人
1	京都大	120
2	東京大	66
3	東京工業大	57
4	大阪大	48
5	名古屋大	47
6	近畿大	35
7	東北大	29
8	慶應義塾大	24
⋮		
12	九州大	14

●ランキングの見方

2016年11月、全国の国公私立大746校の学長宛てにアンケートを送付し、17年1月下旬までに回答のあった532校の学長の意見をまとめた。アンケートでは「教育分野での制度や成果」「研究分野での制度や成果」で注目している大学について、それぞれ6校まで名前をあげてもらった。「総合」は「教育分野」「研究分野」を足したものである。

### ◆社会人からの評価◆

【人事担当者なら気になる（全国）】

順位	大学名	ポイント
1	東京大	1,209
2	京都大	815
3	早稲田大	588
4	慶應義塾大	545
5	大阪大	237
6	明治大	123
7	名古屋大	105
8	東北大	99
⋮		
12	九州大	79

【人事担当者なら気になる（九州・沖縄）】

順位	大学名	ポイント
1	九州大	295
2	熊本大	81
3	福岡大	77
4	西南学院大	54
5	長崎大	39
6	九州工業大	30
7	佐賀大	29
8	琉球大	28

【地域貢献に積極的】

順位	大学名	ポイント
1	東京大	657
2	京都大	457
3	早稲田大	354
4	慶應義塾大	258
5	北海道大	216
6	近畿大	199
7	東北大	196
8	大阪大	163
9	九州大	137
10	名古屋大	115

●ランキングの見方

大学通信調べ、全国の社会人を対象としたインターネット調査を実施し、項目別の大学ランキングをまとめた。調査期間は2016年6月。回答者数は1,000人で、大学卒の会社員または公務員が調査対象となる。地域が偏ることなく調査を実施、男女比もほぼ1対1となっている。質問項目に対し、「全国にある大学の中から3大学」と「あなたの住むエリア及び近隣にある大学から3大学」の最大6校を回答してもらい、回答順にそれぞれ3ポイント、2ポイント、1ポイントとして集計した。

※出典：朝日新聞出版「大学ランキング2018年度版」

1-8. 他大学との比較-評価-つづき

◆高校からの評価◆

【総合評価（全国）】

順位	大学名	指数評価
1	東北大	100
2	早稲田大	77.95
3	明治大	72.39
4	国際教養大	66.68
5	東京大	66.64
6	京都大	56.44
7	立命館大	55.23
8	金沢工業大	54.77
⋮		
<b>15</b>	<b>九州大</b>	<b>30.35</b>

【総合評価（九州・沖縄）】

順位	大学名	指数評価
<b>1</b>	<b>九州大</b>	<b>30.35</b>
2	九州工業大	29.28
3	立命館アジア太平洋大	22.11
4	西南学院大	17.08
5	福岡工業大	15.67
6	北九州市立大	11.92
7	中村学園大	11.81
8	福岡大	9.89
9	長崎県立大	8.65
10	長崎大	7.30

【生徒が伸びた】

順位	大学名	人
1	東北大	141
2	東京大	137
3	京都大	110
4	早稲田大	73
<b>5</b>	<b>九州大</b>	<b>55</b>
6	東京工業大	51
6	東京理科大	51
8	筑波大	50
9	慶應義塾大	49
10	金沢工業大	46

【国際力に力を入れる】

順位	大学名	人
1	国際教養大	281
2	国際基督教大	139
3	上智大	113
3	早稲田大	113
5	立命館アジア太平洋大	83
6	東京外国語大	69
7	立教大	52
8	東京大	48
⋮		
<b>27</b>	<b>九州大</b>	<b>17</b>

【情報開示に熱心】

順位	大学名	人
1	東北大	87
2	近畿大	57
3	早稲田大	45
4	立命館大	38
5	山形大	33
5	明治大	33
7	関西大	31
8	京都大	30
⋮		
<b>19</b>	<b>九州大</b>	<b>16</b>

●ランキングの見方

2016年11月、全国の進学実績のある高校1196校の進学指導担当教諭宛てにアンケートを送付。12月上旬までに回答のあった673校分を集計。質問事項は①進学先で生徒が伸びた、②海外留学制度の充実、外国人教員による英語の授業など、国際化に力を入れている、③進路支援が充実、④大学説明会などの情報開示に熱心、これらに該当する大学をそれぞれ6校まで記入してもらい。その件数でランキングをつくった。また、各項目について1位の件数(人数)を100として指数化した。さらにそれを合計して1位になった大学を100として総合評価を表した。なお、「③進路支援が充実」についてはランキング外である。

※出典：朝日新聞出版「大学ランキング2018年度版」

## 1-9. 他大学との比較-その他-

【学長の出身（最終学歴）】

順位	大学名	人
1	東京大	69
2	京都大	48
3	大阪大	25
4	早稲田大	19
5	東北大	18
6	広島大	17
6	北海道大	17
8	慶應義塾大	16
<b>9</b>	<b>九州大</b>	<b>15</b>
10	名古屋大	13

【理事長の出身（最終学歴）】

順位	大学名	人
1	東京大	49
2	京都大	30
3	慶應義塾大	29
4	早稲田大	16
5	上智大	13
<b>6</b>	<b>九州大</b>	<b>10</b>
6	北海道大	10
8	大阪大	9
8	東北大	9
10	関西学院大	8
10	立命館大	8

【政治家の出身（最終学歴）】

順位	大学名	人
1	東京大	136
2	慶應義塾大	80
3	早稲田大	71
4	京都大	31
5	日本大	30
6	中央大	29
7	創価大	18
8	明治大	15
:		
<b>20</b>	<b>九州大</b>	<b>4</b>

### ◆社長の出身◆

【社長の出身（国立大学間）】

順位	大学名	人
1	東京大	2,558
2	京都大	1,808
3	大阪大	1,315
4	神戸大	1,228
5	北海道大	1,203
6	東北大	1,065
7	一橋大	942
<b>8</b>	<b>九州大</b>	<b>906</b>
9	横浜国立大	851
10	名古屋大	825

【社長の出身・一部上場  
（国立大学間）】

順位	大学名	人
1	東京大	121
2	京都大	60
3	大阪大	30
4	一橋大	29
5	東北大	28
6	神戸大	20
7	名古屋大	14
8	北海道大	13
<b>9</b>	<b>九州大</b>	<b>11</b>
10	金沢大	10

【社長の出身・女性（国立大学間）】

順位	大学名	人
1	東京大	39
2	お茶の水女子大	33
2	神戸大	33
4	東京芸術大	31
5	大阪大	28
5	京都大	28
5	筑波大	28
<b>8</b>	<b>九州大</b>	<b>27</b>
9	千葉大	26
10	北海道大	24

【社長の出身  
本社が九州・沖縄（国公私立間）】

順位	大学名	人
1	福岡大	2,289
2	日本大	1,178
3	九州産業大	1,057
4	西南学院大	637
5	慶應義塾大	561
5	明治大	561
7	早稲田大	547
<b>8</b>	<b>九州大</b>	<b>502</b>
9	熊本学園大	496
10	中央大	476

※出典：朝日新聞出版「大学ランキング2018年度版」

1-9. 他大学との比較-その他-つづき

◆教員の自校出身率◆

【法学部】

順位	大学名	%
1	東京大	86.1
2	京都大	78.6
3	早稲田大	58.3
4	創価大	56.5
5	一橋大	49.1
6	日本大	45.0
7	北海道大	43.5
8	同志社大	43.3
⋮		
11	九州大	29.7

【経済学部系】

順位	大学名	%
1	京都大	59.5
2	早稲田大 [政治経済]	52.6
3	同志社大	50.0
4	明治大 [政治経済]	47.5
5	神戸大	40.7
6	東京大	37.1
7	大阪大	35.9
8	九州大	35.7
9	大阪市立大	33.3
10	一橋大	30.6

【文学部系】

順位	大学名	%
1	京都大	72.6
2	早稲田大	69.9
3	東京大	67.3
4	東北大	59.6
5	広島大	57.1
6	大阪大	51.9
7	九州大	49.2
8	龍谷大	43.3
9	国学院大	35.9
10	同志社大	34.3

【理学部】

順位	大学名	%
1	東京大	65.0
2	京都大	50.4
3	東北大	43.2
4	九州大	35.0
5	大阪大	34.3
6	北海道大	29.2
7	東京工業大 [理学院]	26.5
8	東京理科大	25.0
9	広島大	24.7
10	城西大	24.3

【工、理工学部系】

順位	大学名	%
1	東京大	71.8
2	京都大	66.7
3	東北大	62.2
4	早稲田大 [基幹理工]	61.5
5	東京工業大 [工学院]	61.1
6	大阪大	59.0
7	早稲田大 [創造理工]	58.6
8	九州大	54.2
9	日本大 [理工]	53.6
10	北海道大	50.7

●ランキングの見方

2016年度 専任の教授、准教授、講師、助教以上。最終学歴(大学院を含む)が自校出身者

※出典:朝日新聞出版「大学ランキング2018年度版」

## 2. 教職員数等 (各年度5月1日現在)

### 2-1. 教職員数

全国と比較しても、教職員数は年々増加傾向である。

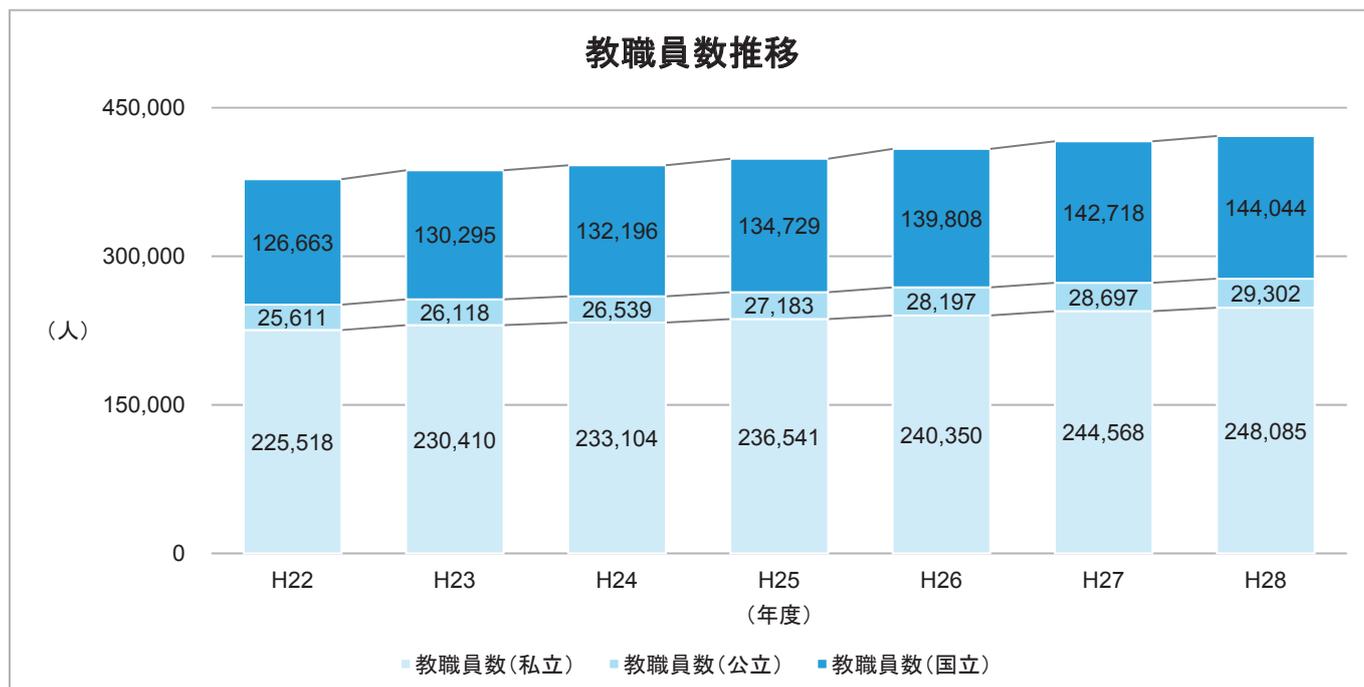
#### ◆九州大学◆



・特定有期教員、特命教授、学術研究員等、招へい外国人教師等、主幹教授、特任教授等、特定有期事務・技術系職員、事務・技術補佐員等、高度専門職員数の合計。非常勤講師数は除く。  
 ・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

#### ◆全国 国公立大学◆



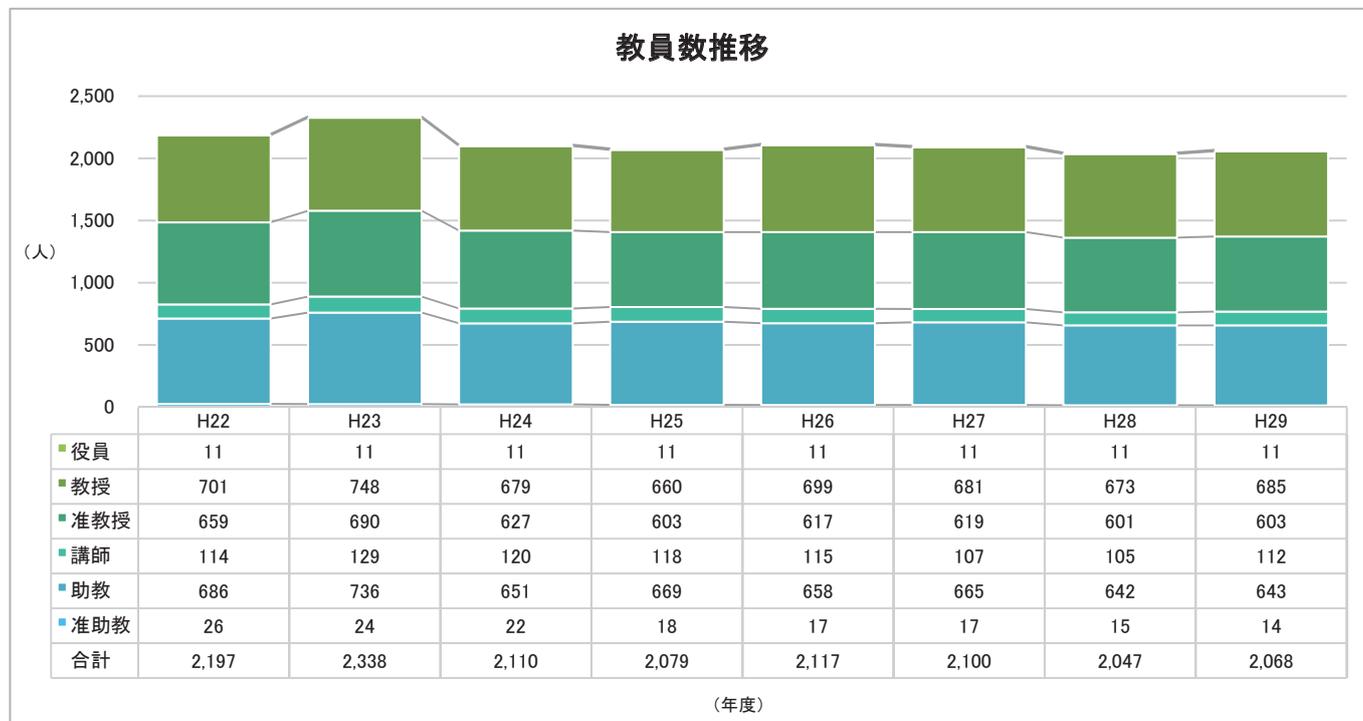
※出典：文部科学省 学校基本調査 大学・大学院「職名別教員数」「職務別職員数」

## 2-2. 教員数

### 2-2-1. 教員数(全体)

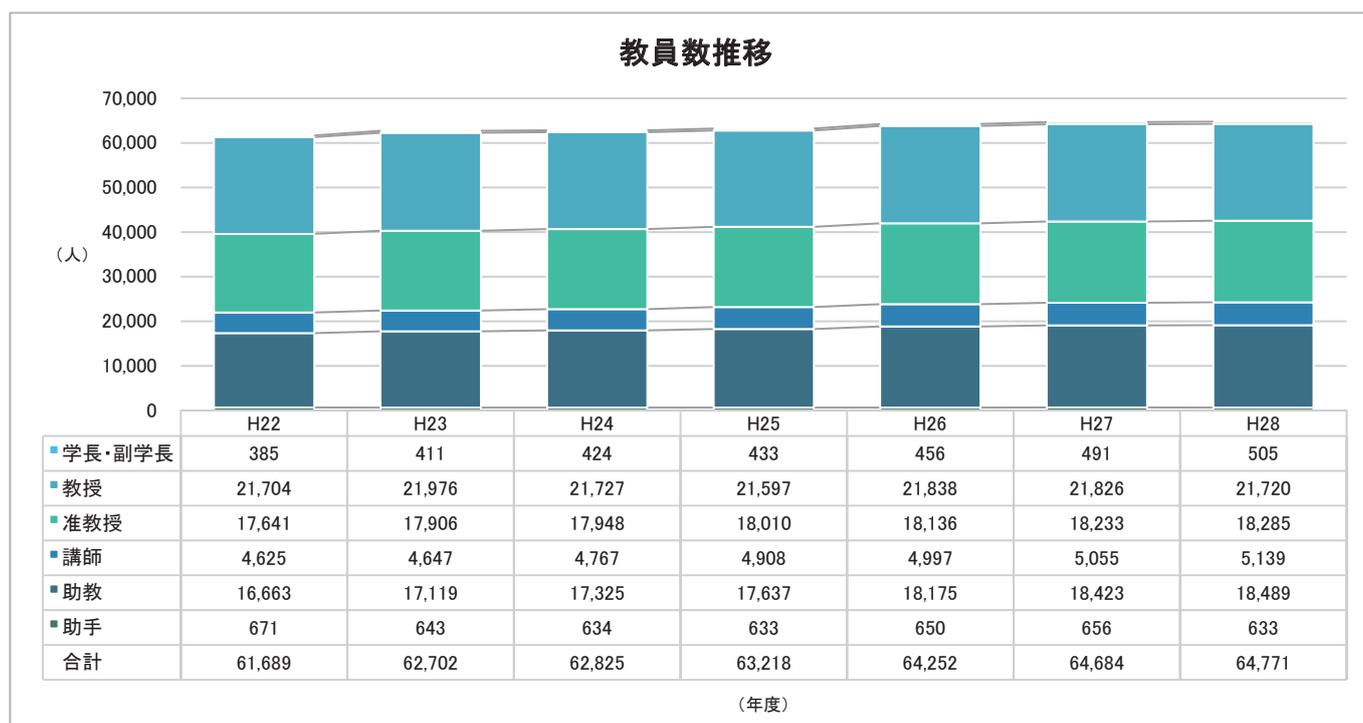
職種毎にも大きな変化は見られないが、全国で見ると、教員数は増加傾向であることが読み取れるが、教授数のみ減少傾向である。

#### ◆九州大学◆



・H22～H23年度は退職者を含む。H24年度以降は、退職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

#### ◆全国 国立大学◆

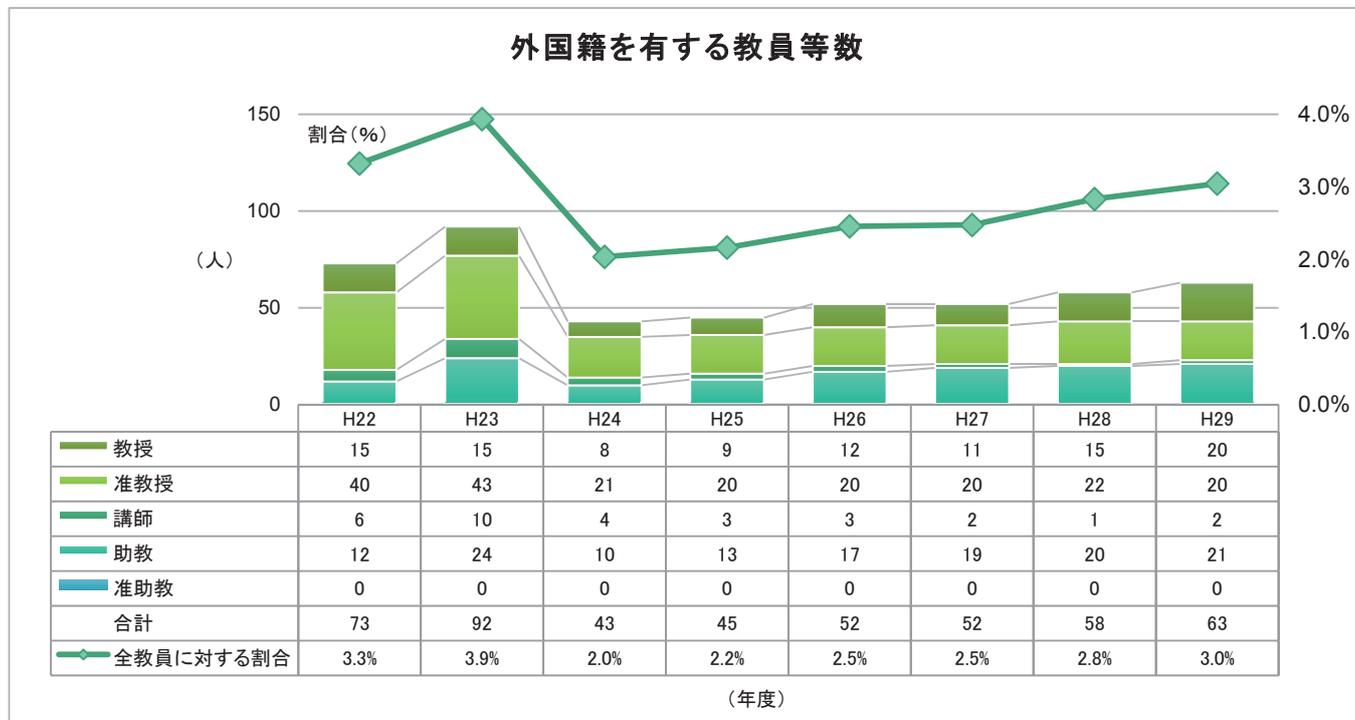


※出典  
 ・本学:九州大学概要(各年度5月1日現在)  
 ・全国:文部科学省 学校基本調査 大学・大学院「職名別教員数」

## 2-2-2. 外国籍を有する教員数 ※2-2-1. 教員数の内数

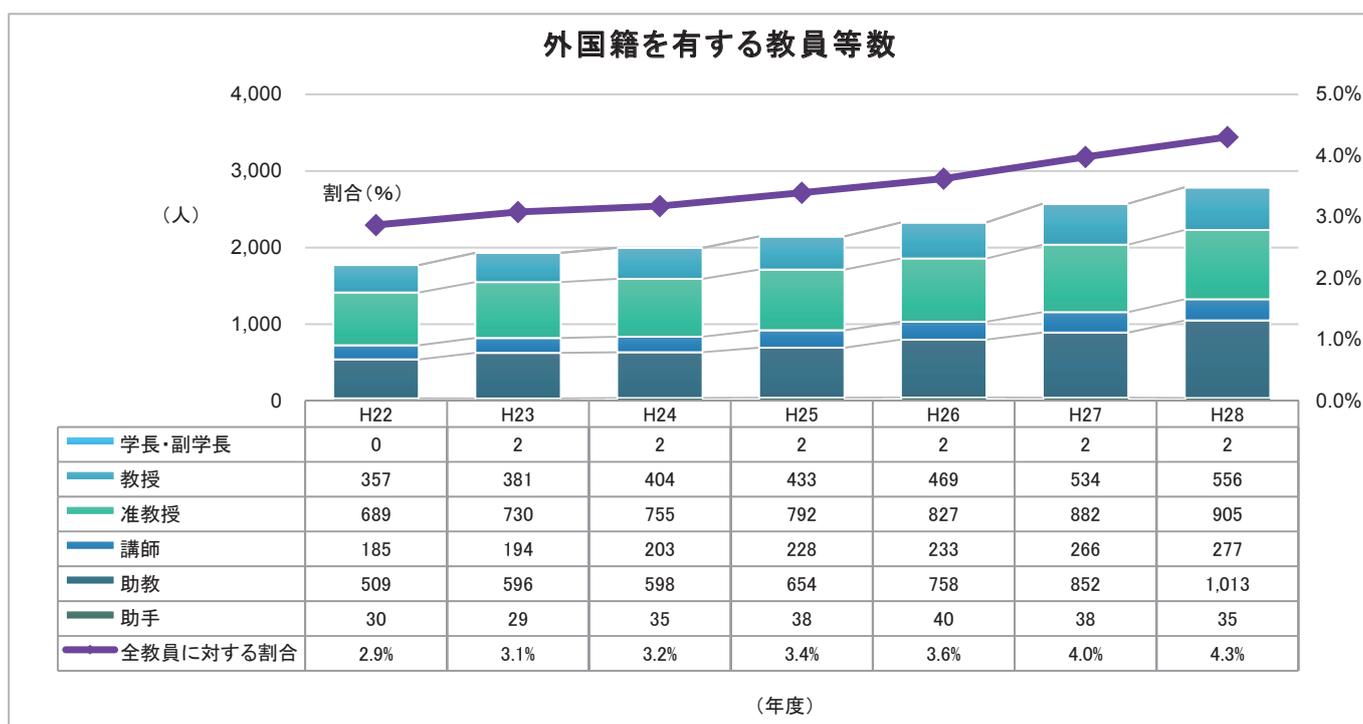
全国ほど大幅な増加ではないが、本学も准助教数以外の全職種において増加傾向である。

### ◆九州大学◆



・教員、特定有期教員、学術研究員等、招へい外国人教師等数の内数。

### ◆全国 国立大学◆



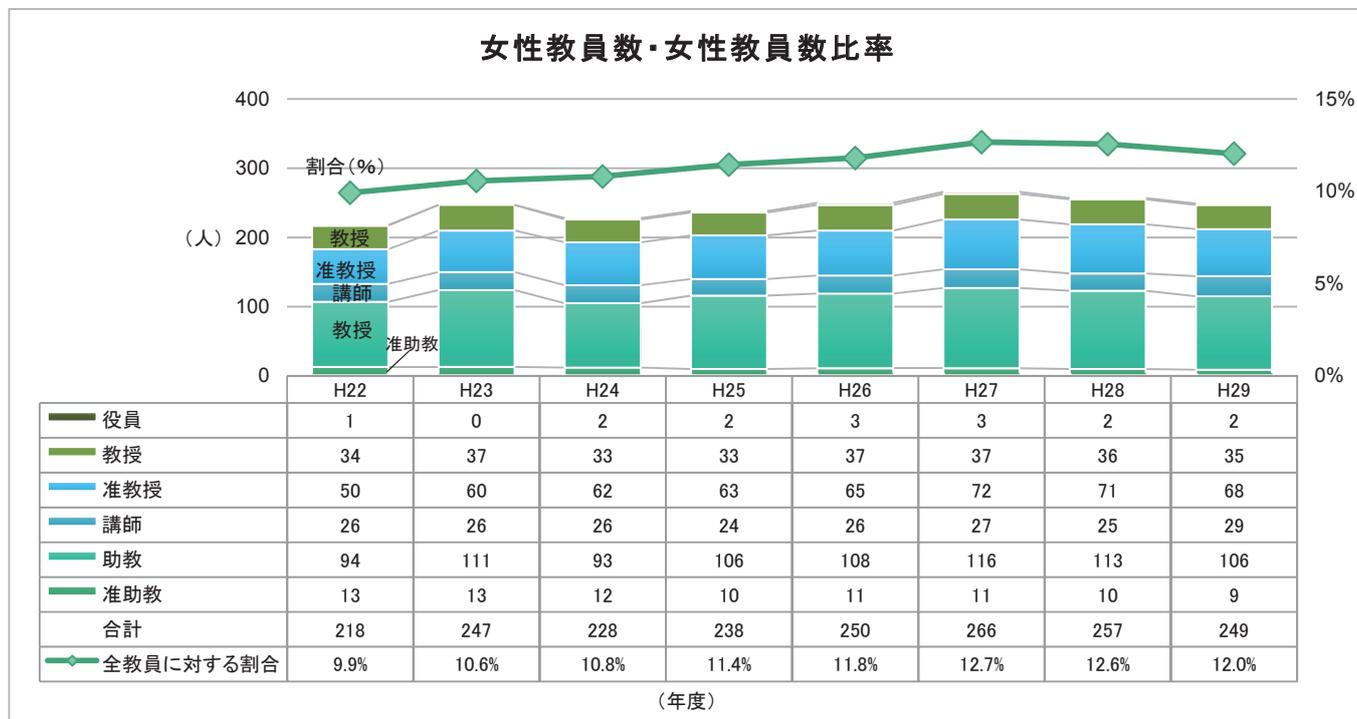
※出典

・本学：九州大学概要（各年度5月1日現在）  
 ・全国：文部科学省 学校基本調査 大学・大学院「職名別外国人教員数」

## 2-2-3. 女性教員数 ※2-2-1. 教員数の内数

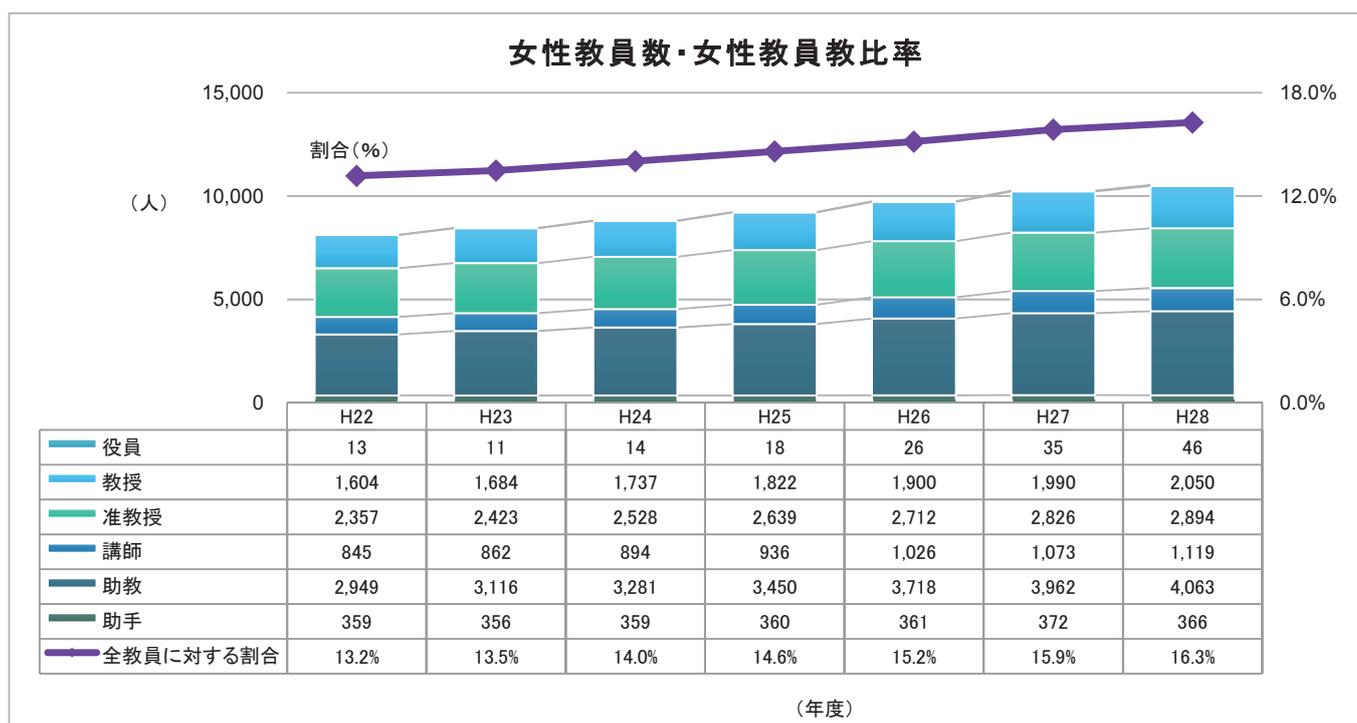
全国と比較すると、増加率は低いものの、全職名において増加傾向である。

### ◆九州大学◆



・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

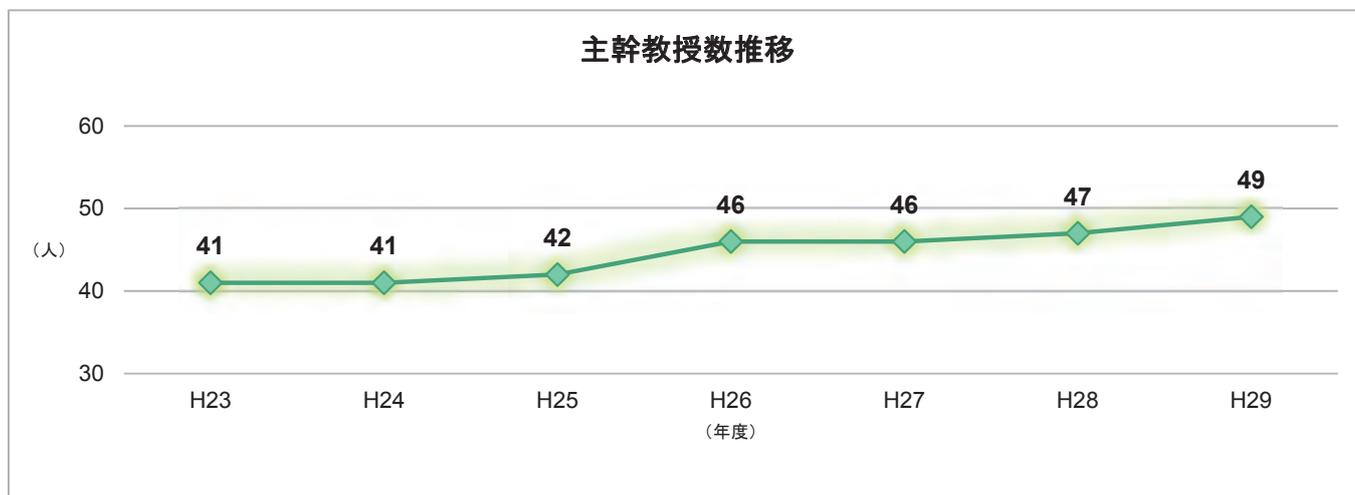
### ◆全国 国立大学◆



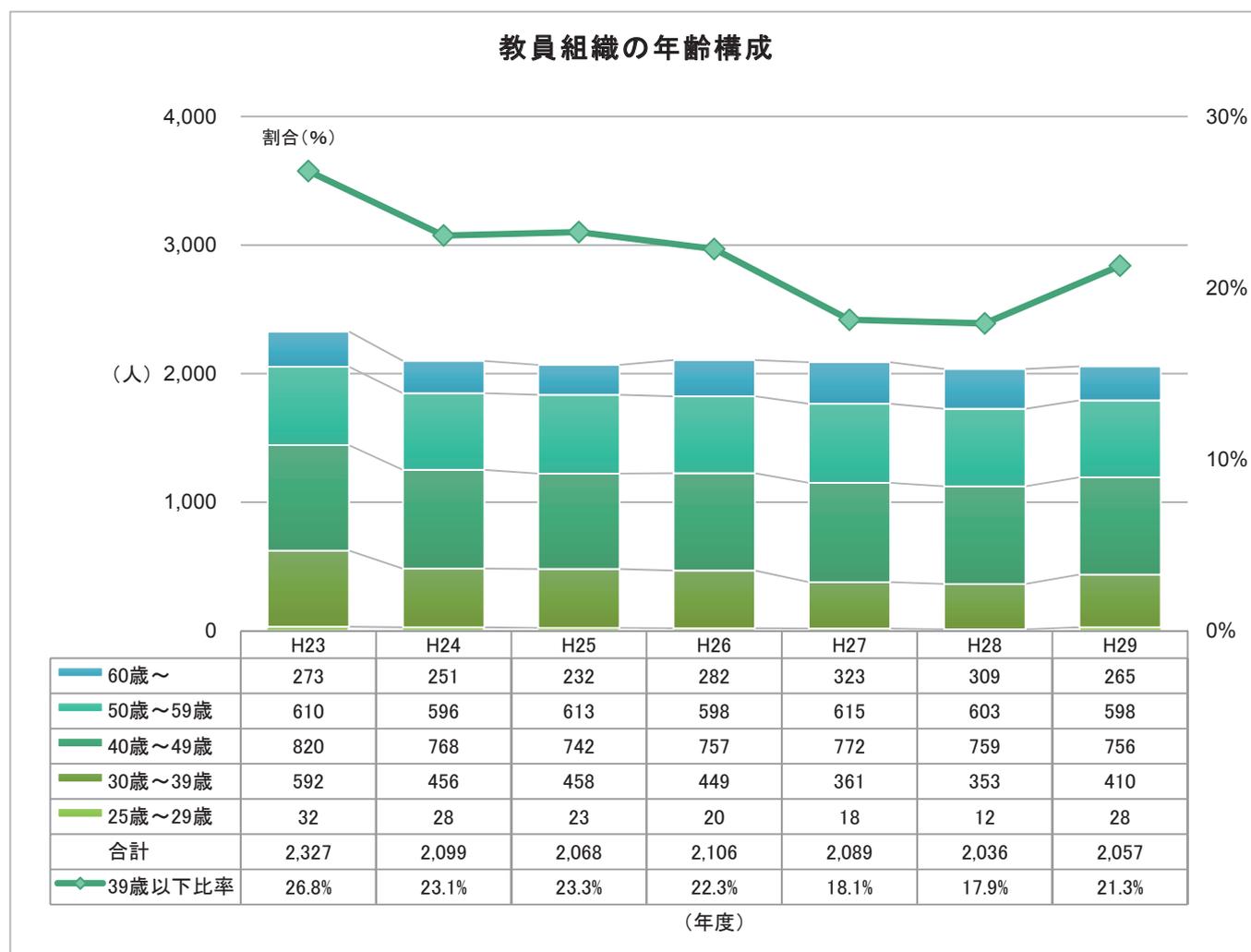
※出典  
 ・本学：九州大学概要（各年度5月1日現在）  
 ・全国：文部科学省 学校基本調査 大学・大学院「職名別教員数」

## 2-2-4. 主幹教授数 ※2-2-1. 教員数の内数

主幹教授とは、高度の研究活動を推奨・支援し、さらに活性化させるために、本学の教授のうち、その専門分野において極めて高い業績を有し、かつ、本学の研究戦略の先導的な役割を担う者に「主幹教授」の称号を付与する制度であり、教員数の増加は研究の活性化に繋がる。

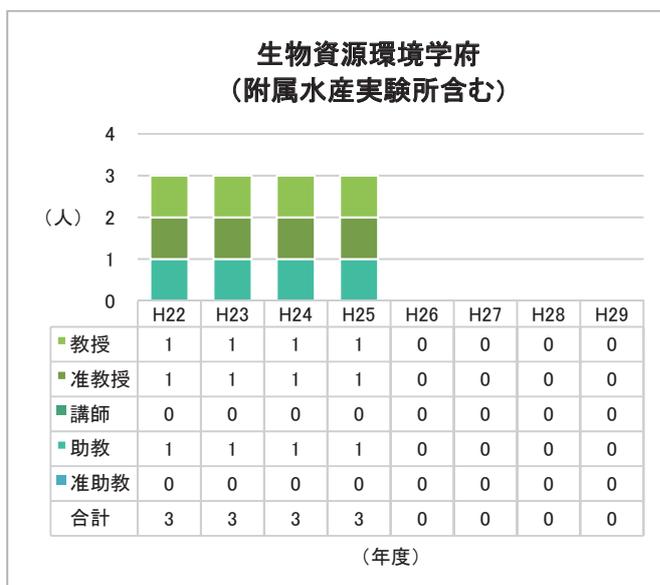
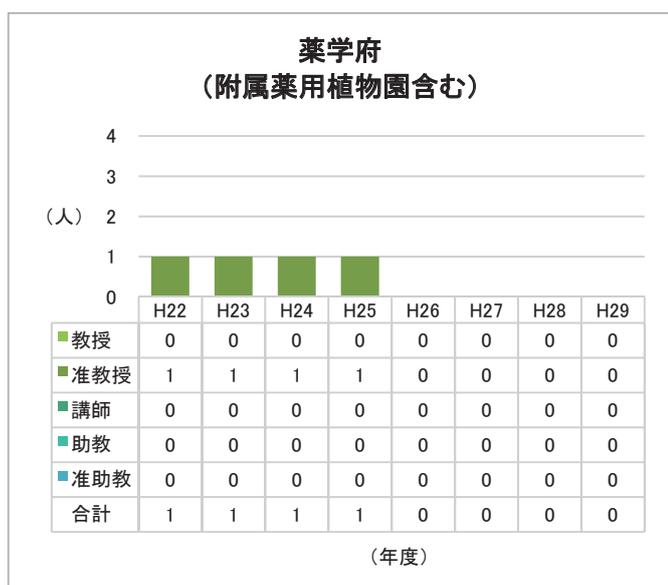
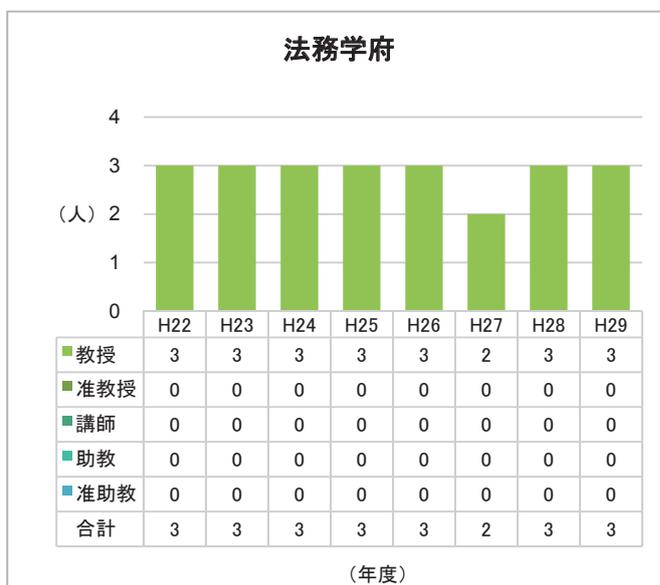
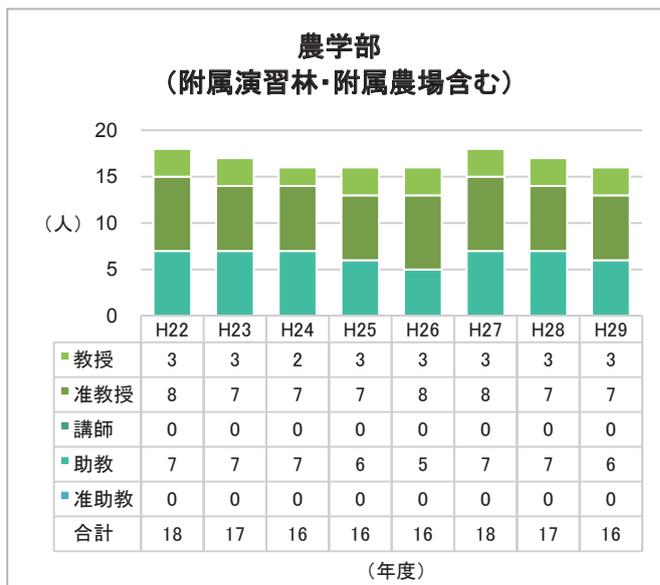
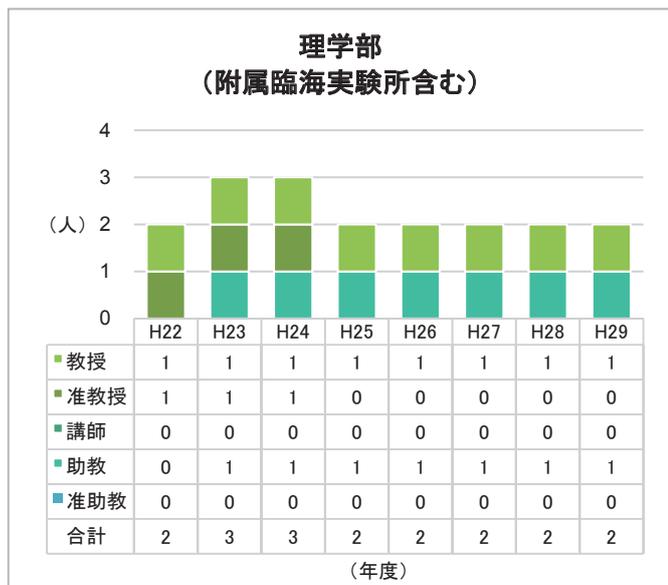


## 2-2-5. 教員組織の年齢構成 ※2-2-1. 教員数の内数



※出典：九州大学概要（各年度5月1日現在）

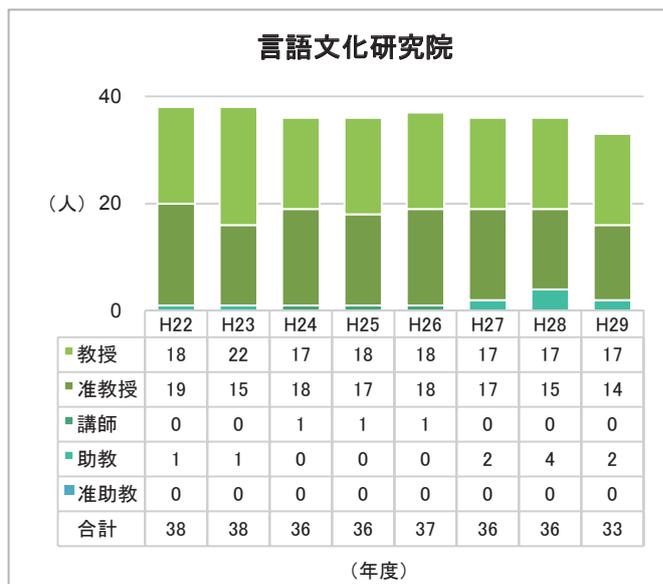
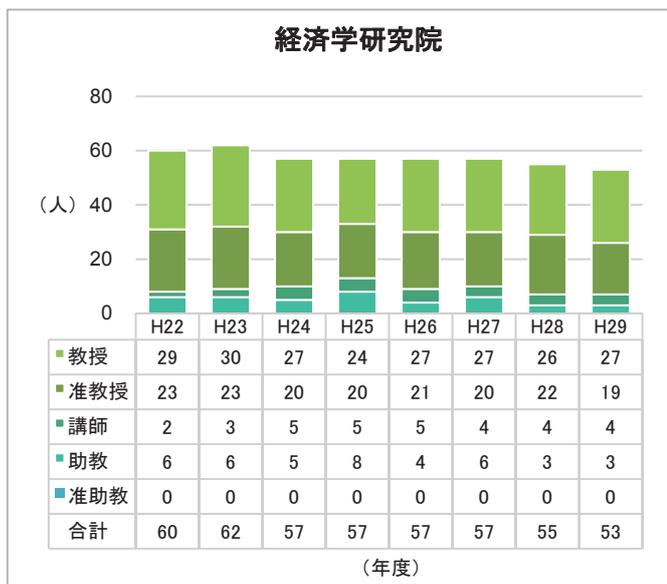
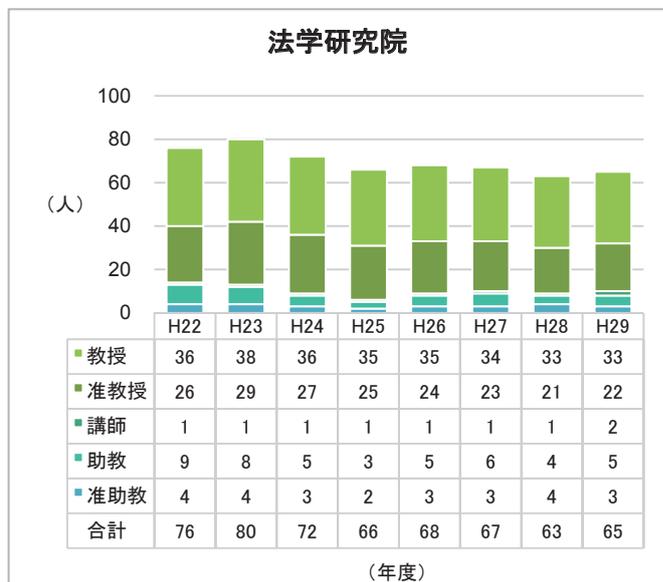
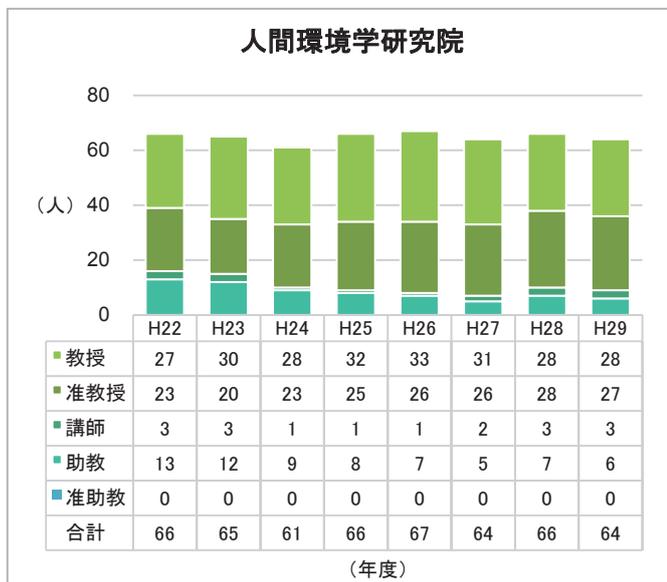
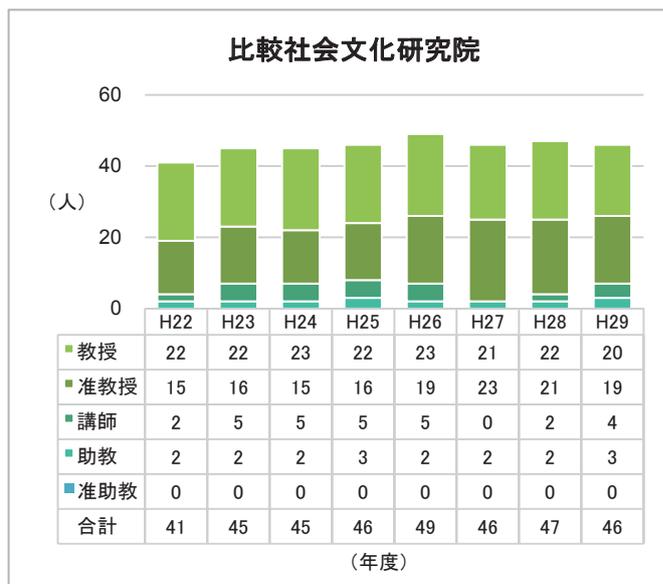
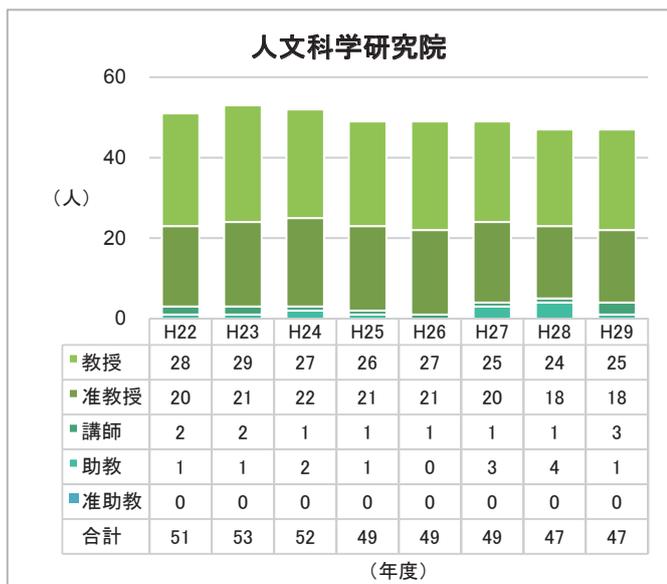
## 2-2-6. 教員数(部局別)



・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

2-2-6. 教員数(部局別)(つづき)

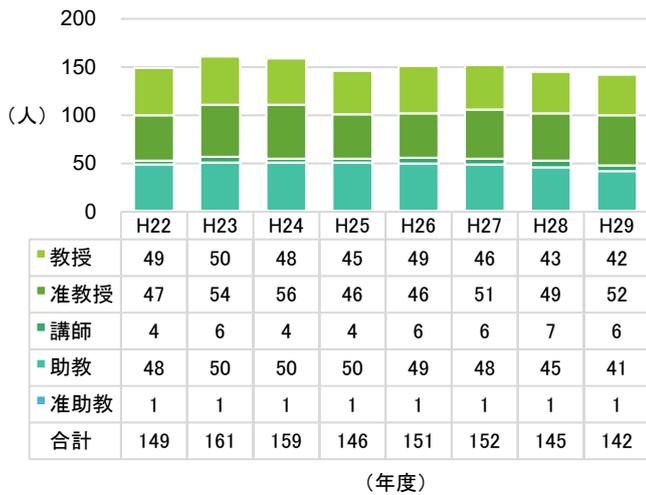


・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

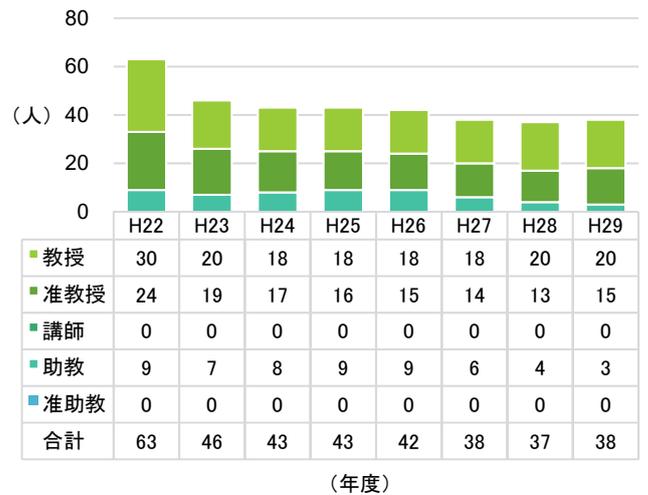
※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

2-2-6. 教員数(部局別)(つづき)

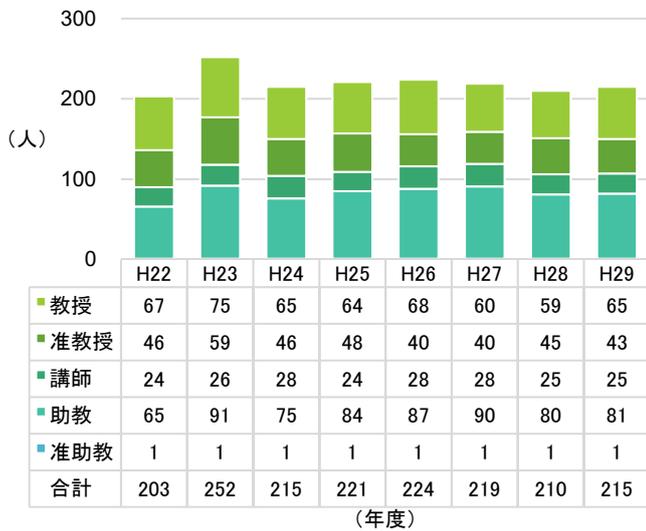
理学研究院  
(附属地震火山観測研究センター含む)



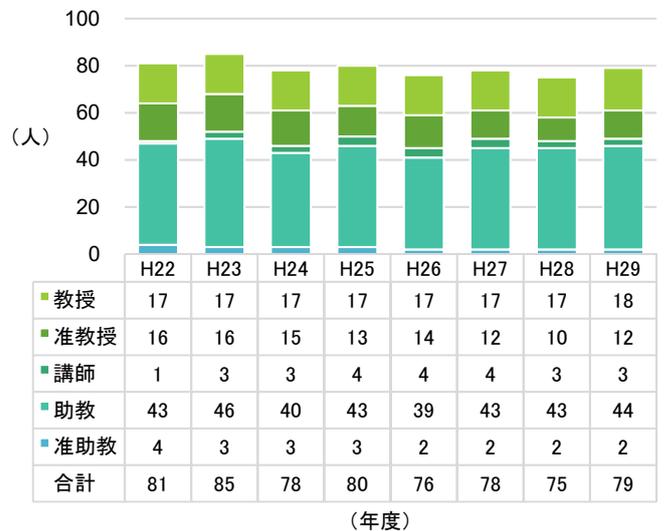
数理学研究院



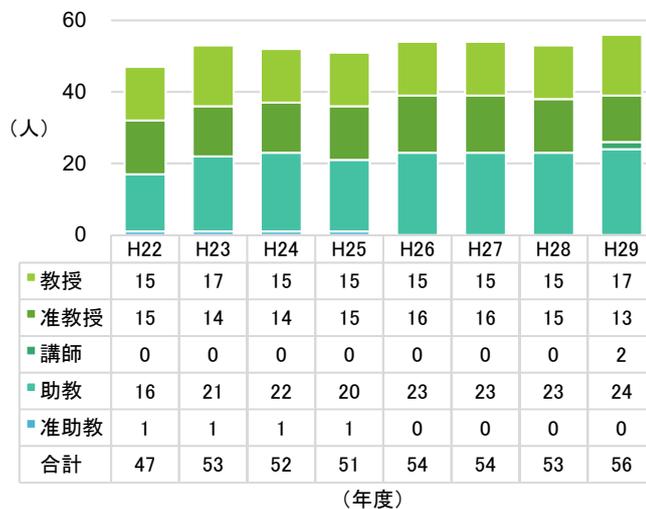
医学研究院(附属施設含む)



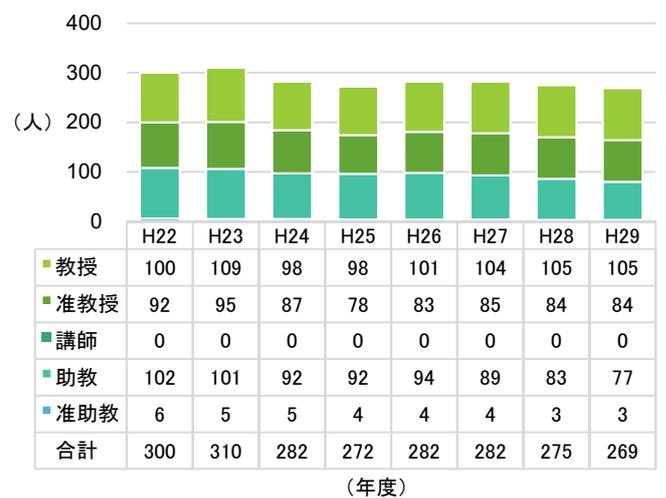
歯学研究院



薬学研究院



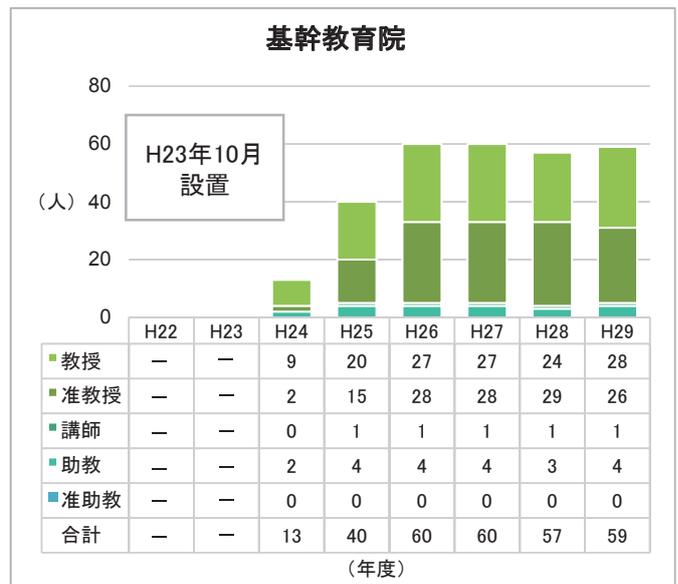
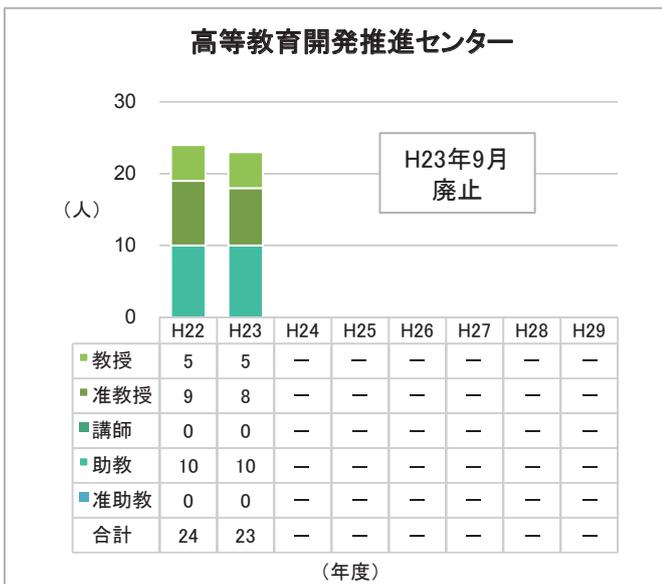
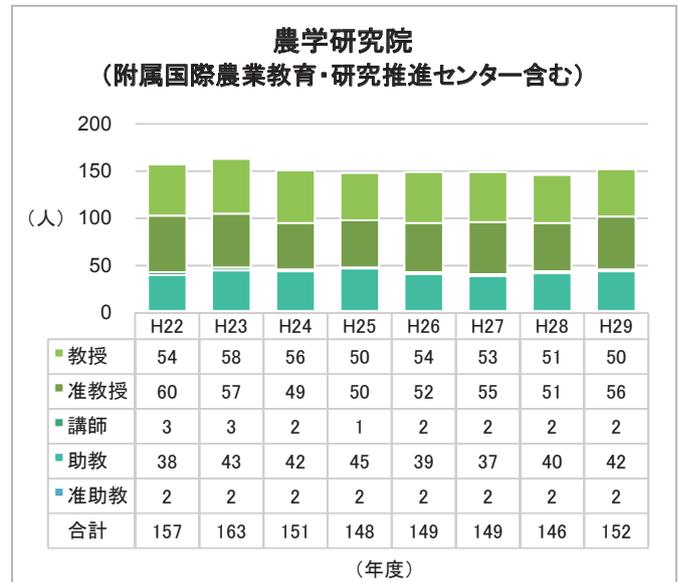
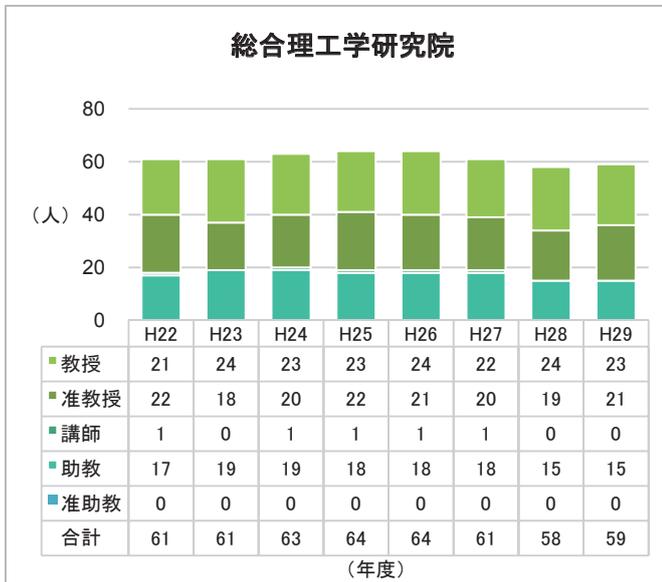
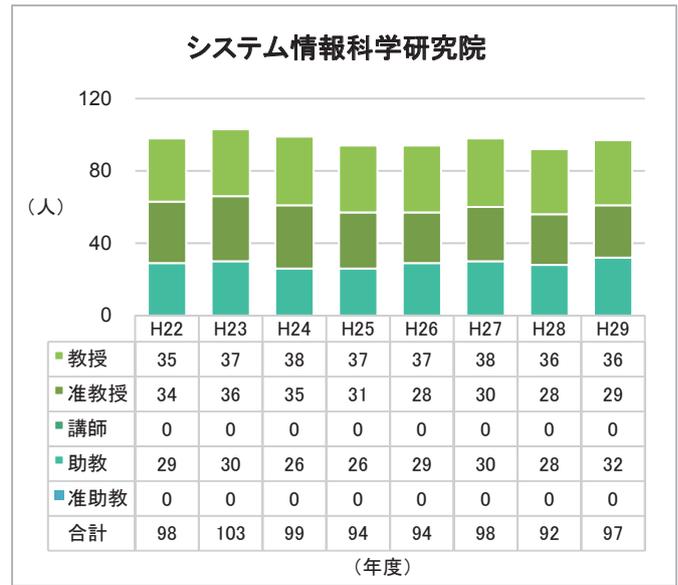
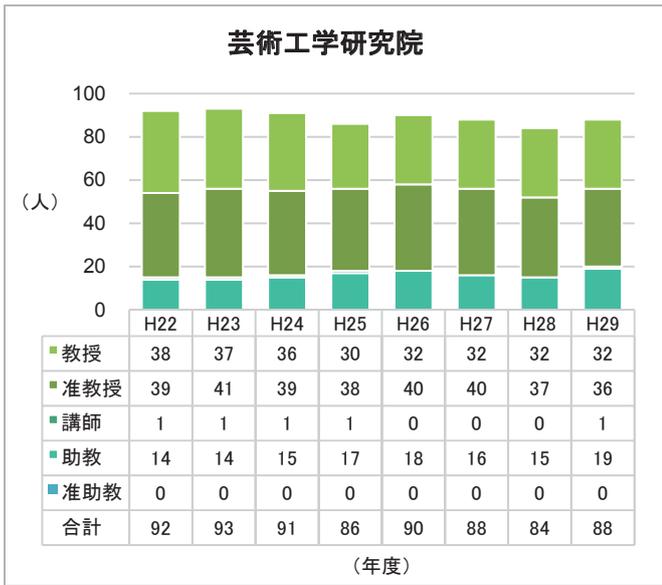
工学研究院  
(附属アジア防災研究センター含む)



・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

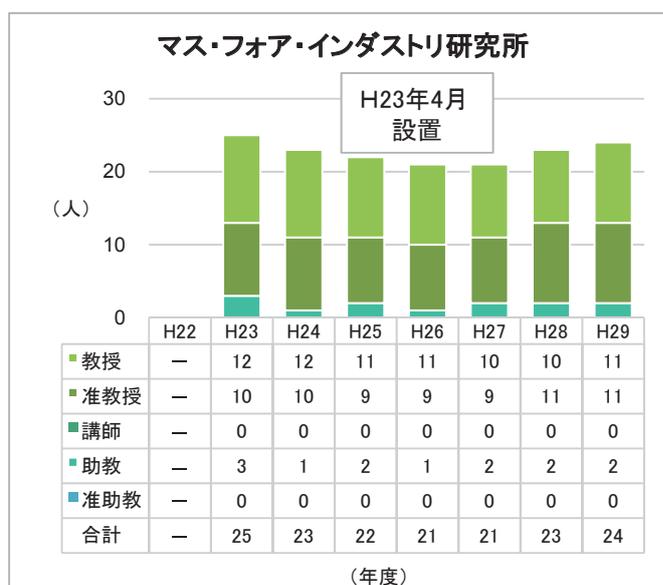
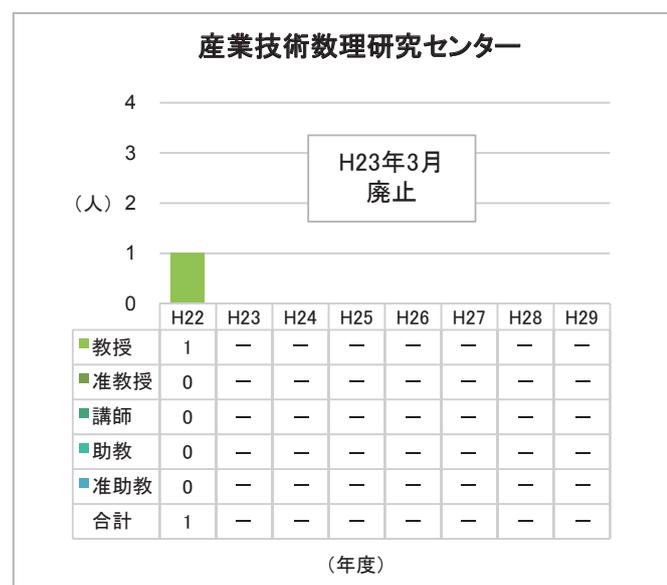
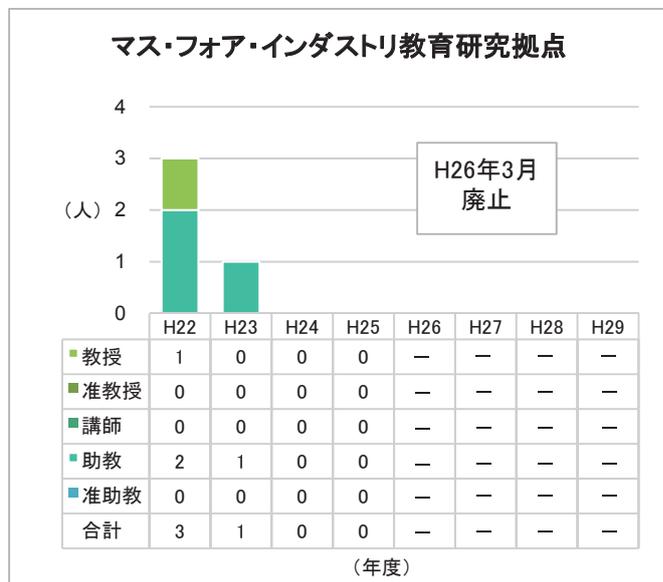
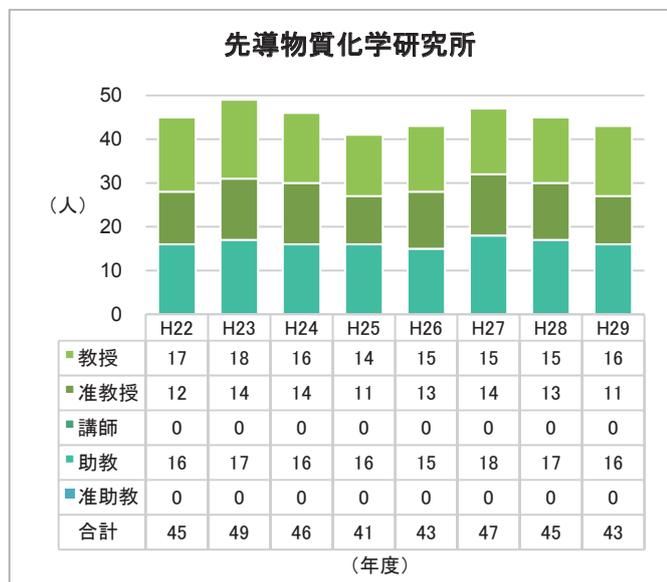
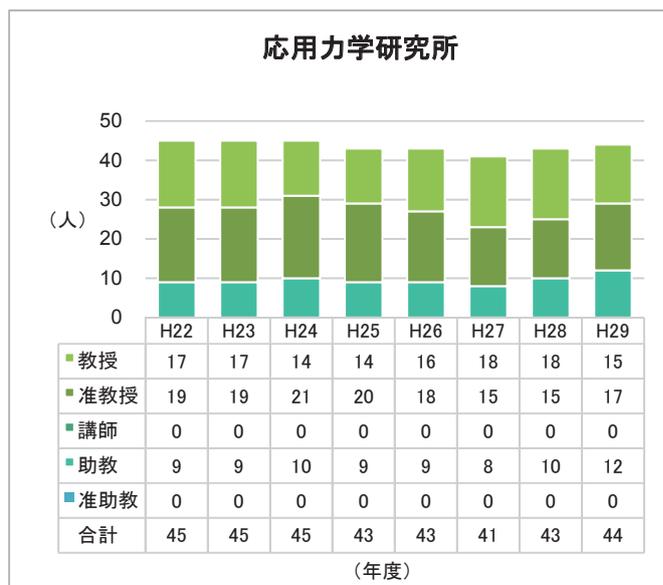
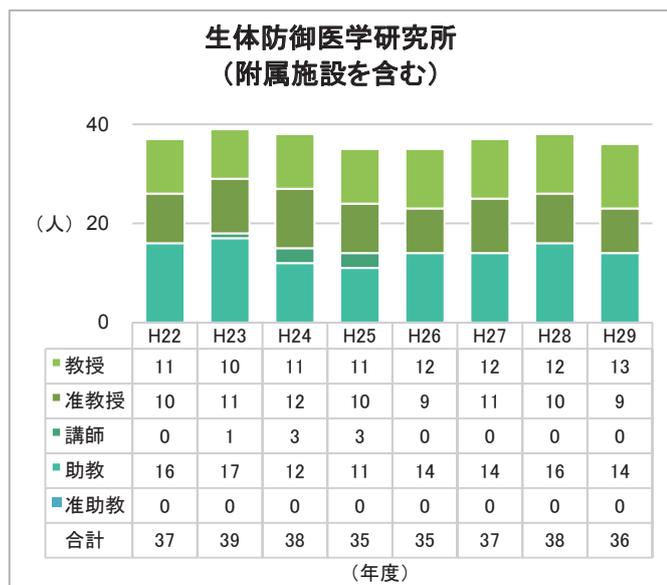
2-2-6. 教員数(部局別)(つづき)



・H22～H23年度は退職者を含む。H24年度以降は、退職者・育児休業者を含まず、退職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

2-2-6. 教員数(部局別)(つづき)

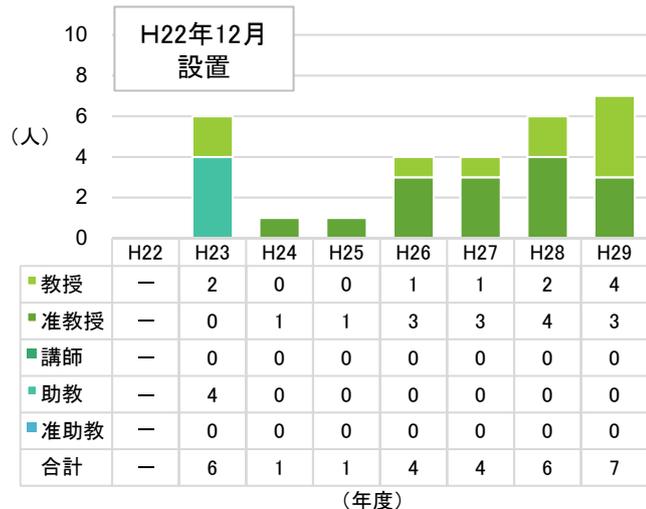


・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

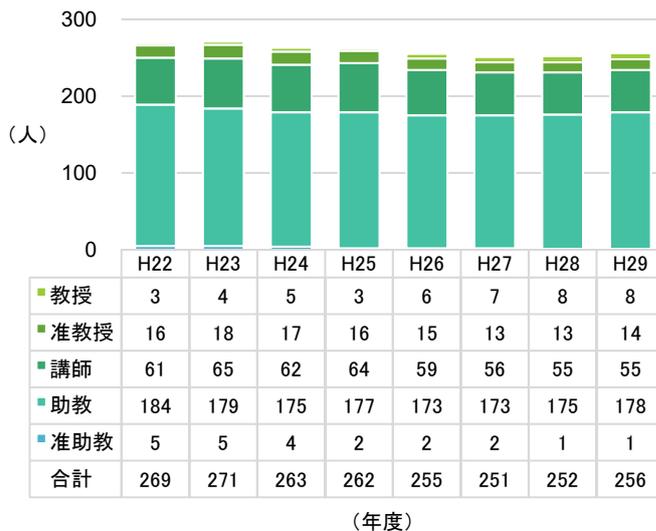
※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

2-2-6. 教員数(部局別)(つづき)

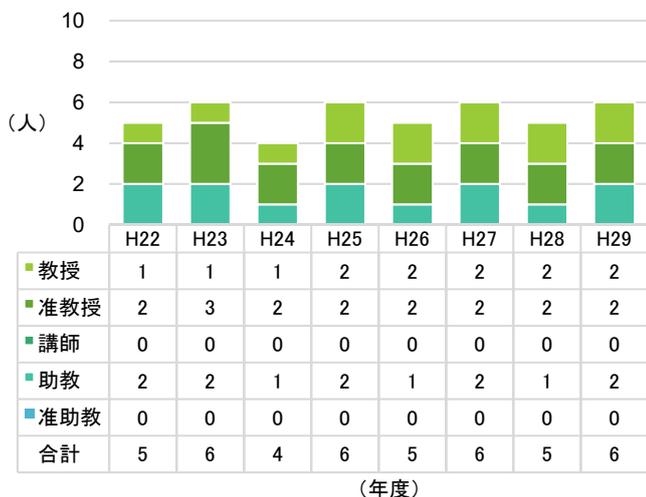
カーボンニュートラル・エネルギー  
国際研究所



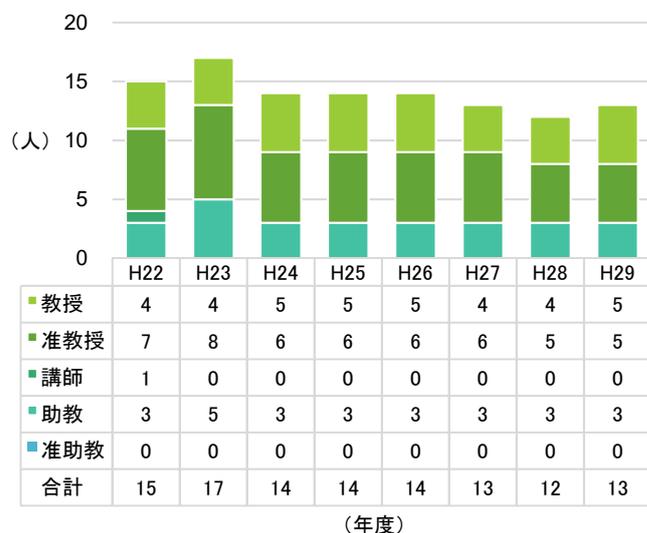
病院



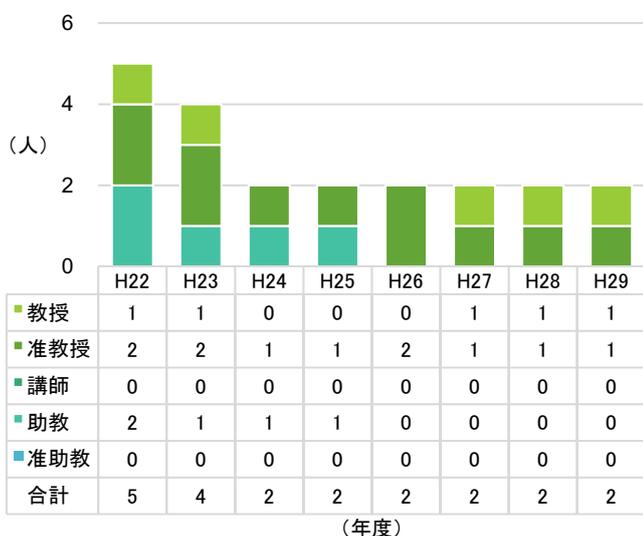
附属図書館  
(付設記録資料館・付設教材開発センター含む)



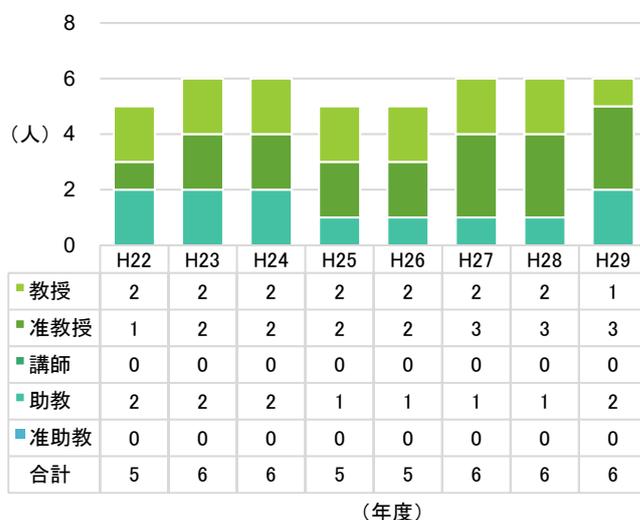
情報基盤研究開発センター



生物環境利用推進センター



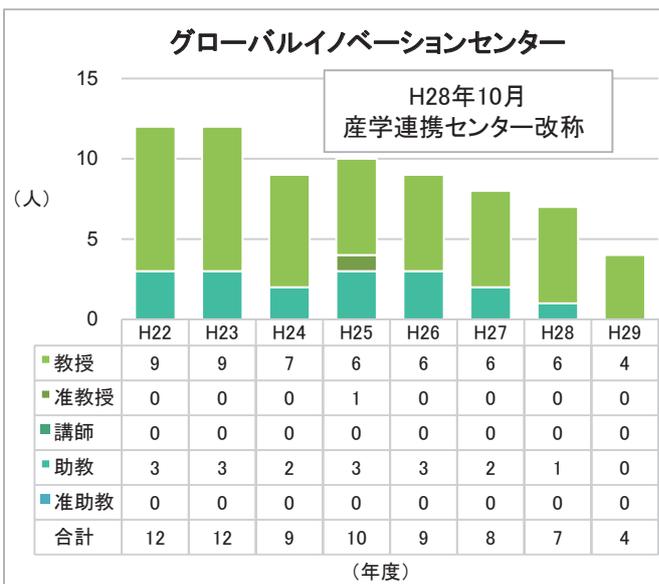
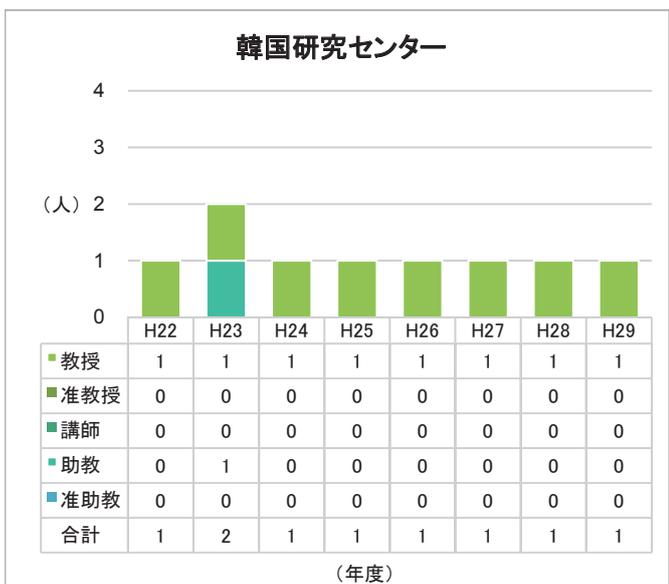
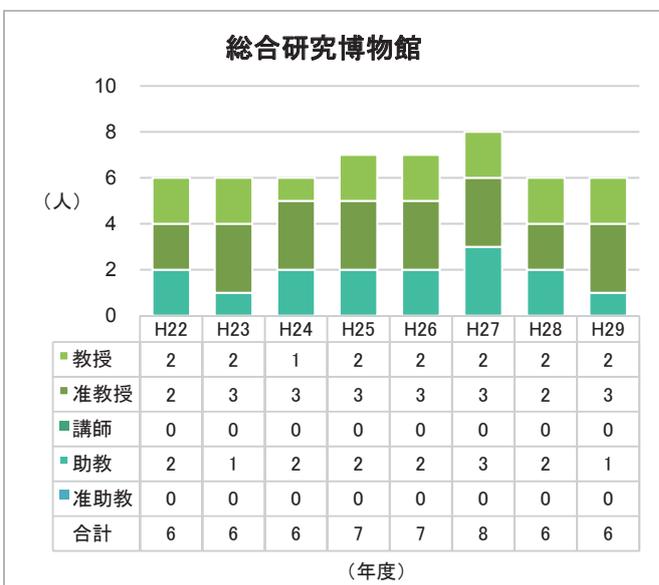
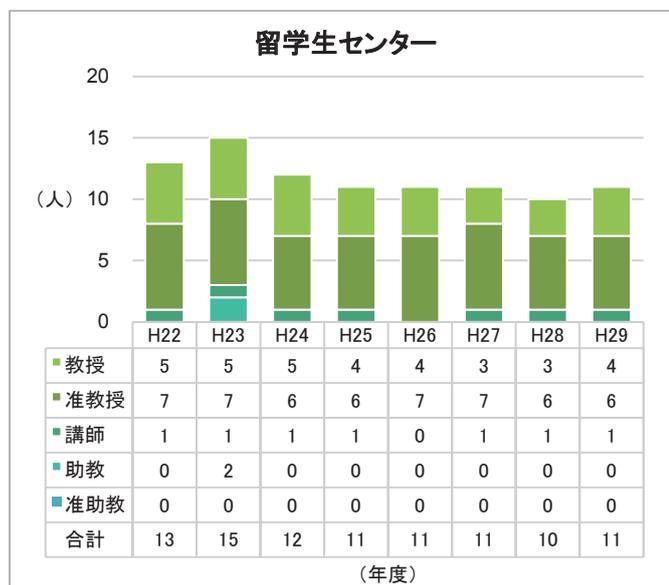
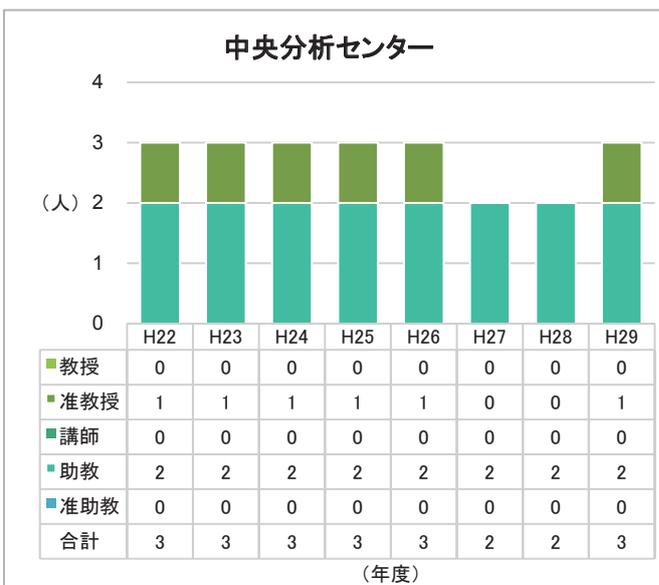
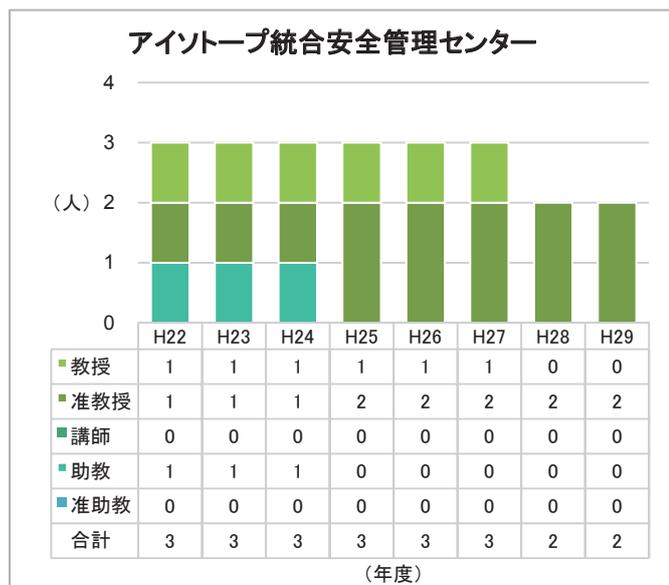
熱帯農学研究センター



・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

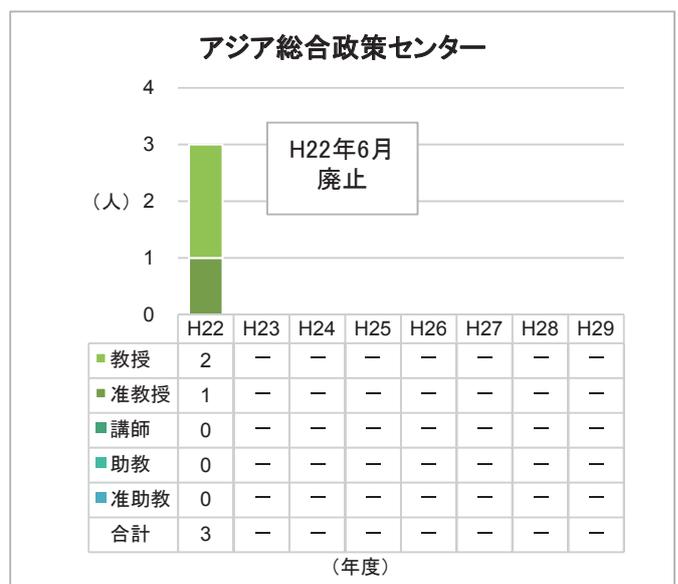
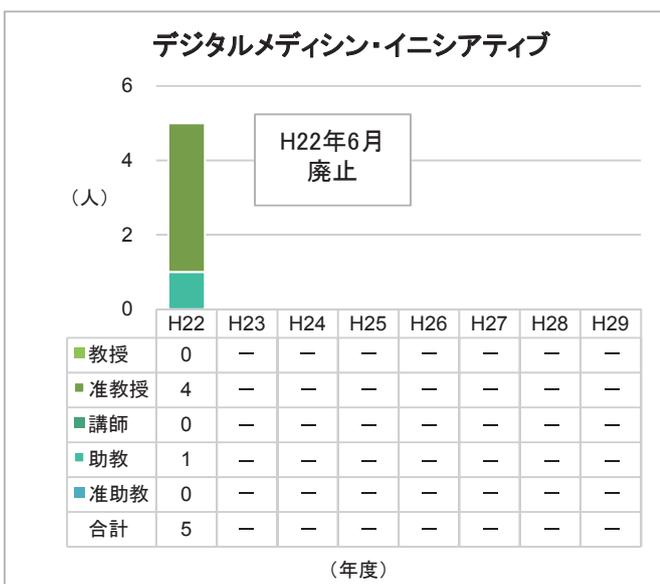
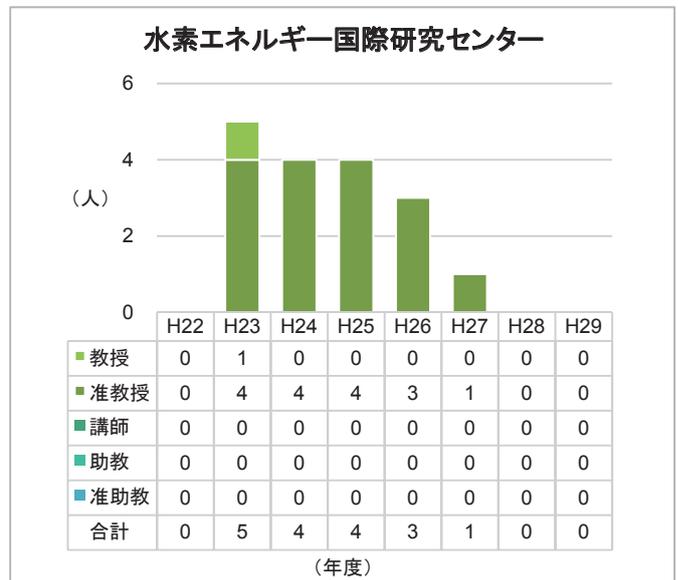
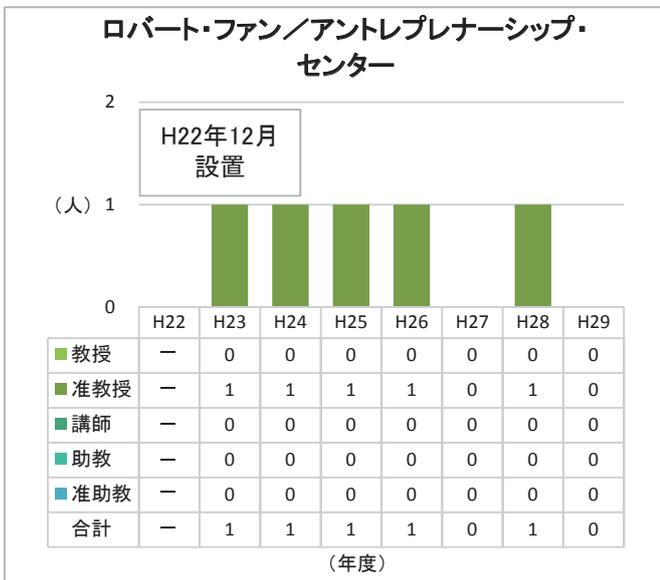
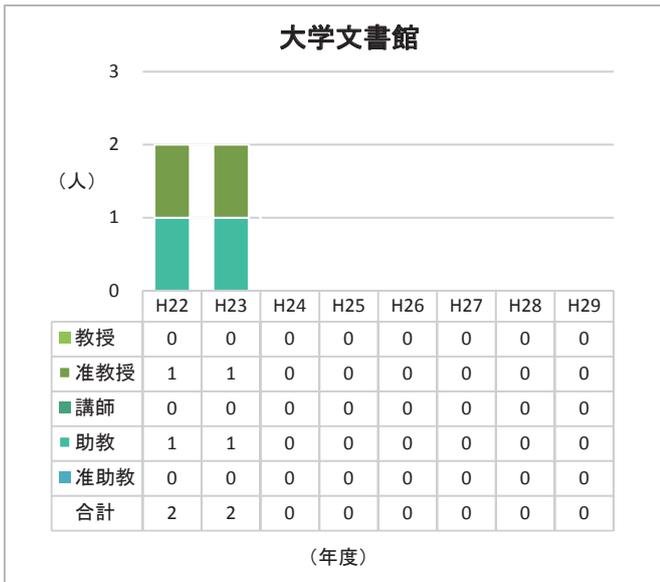
2-2-6. 教員数(部局別)(つづき)



・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

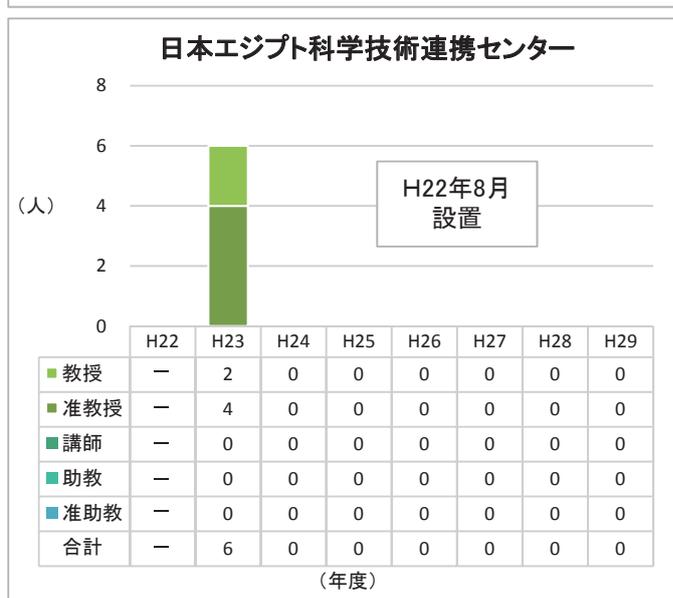
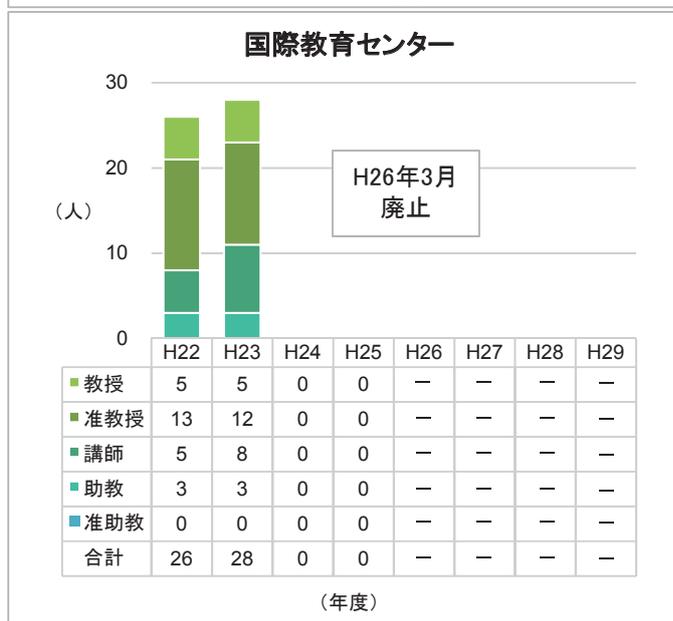
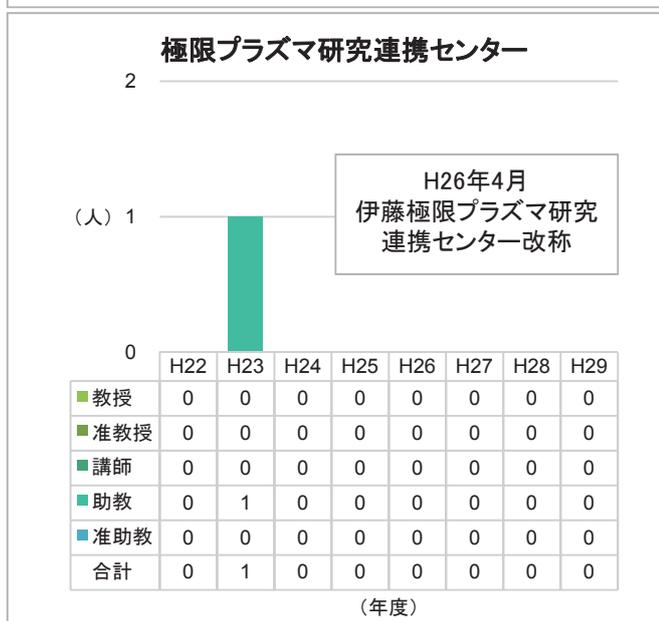
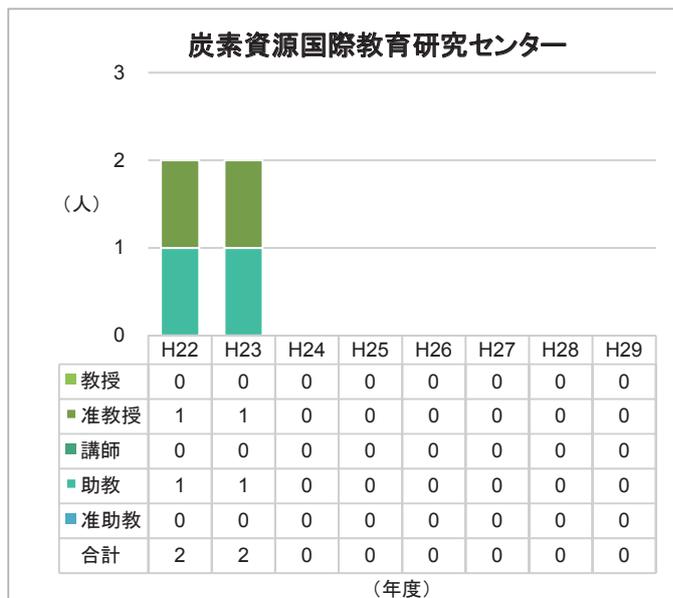
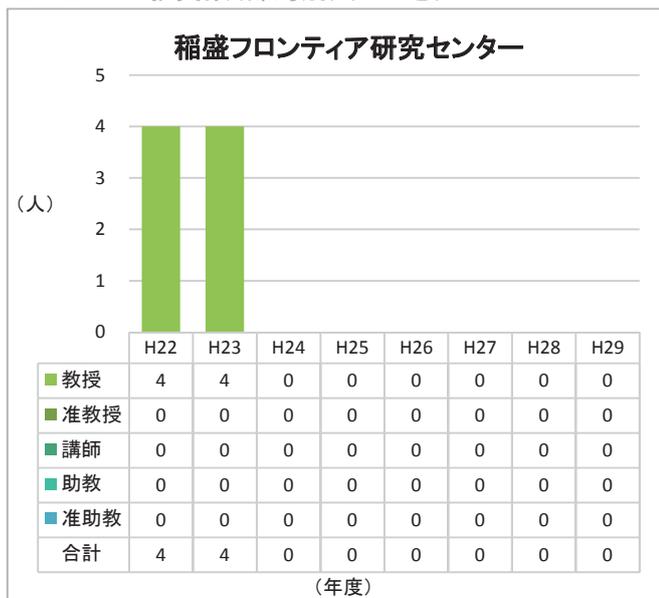
2-2-6. 教員数(部局別)(つづき)



・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

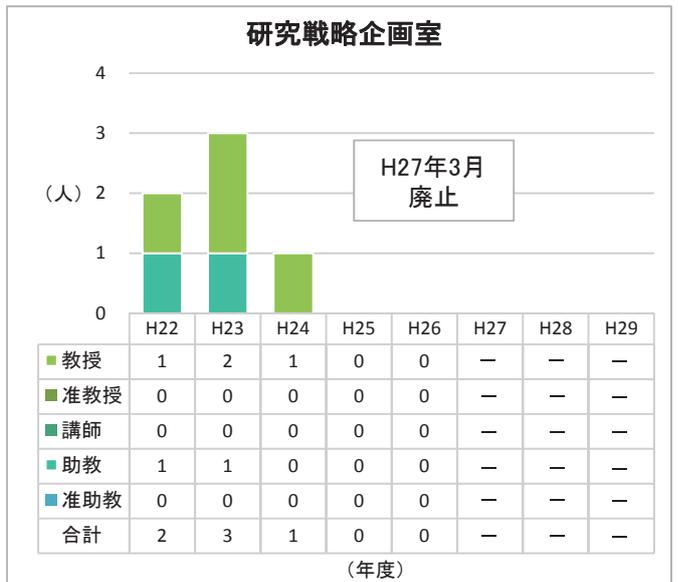
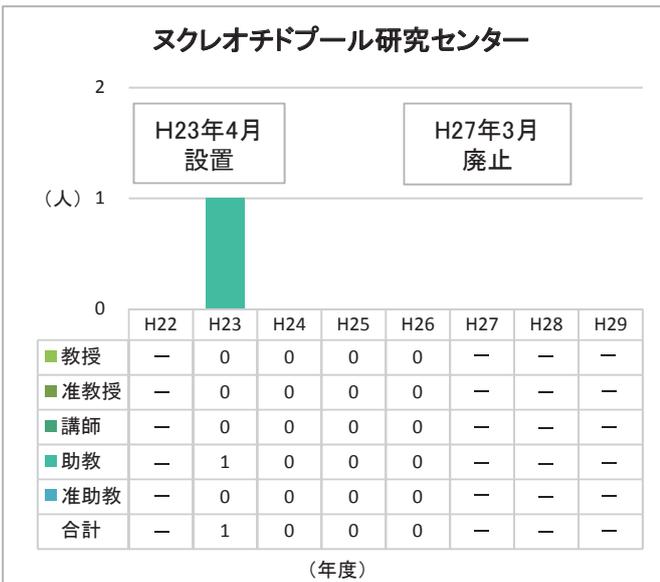
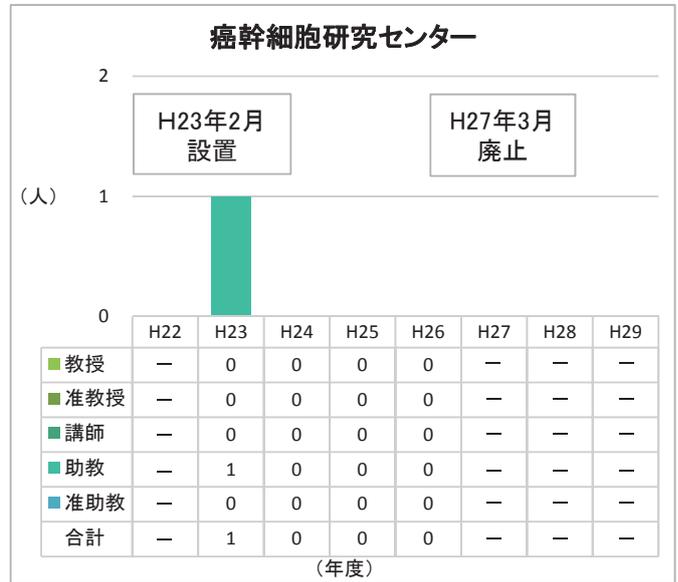
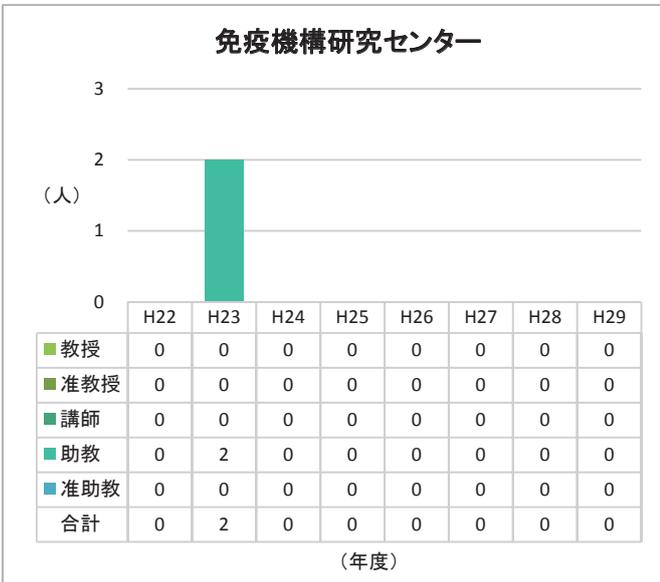
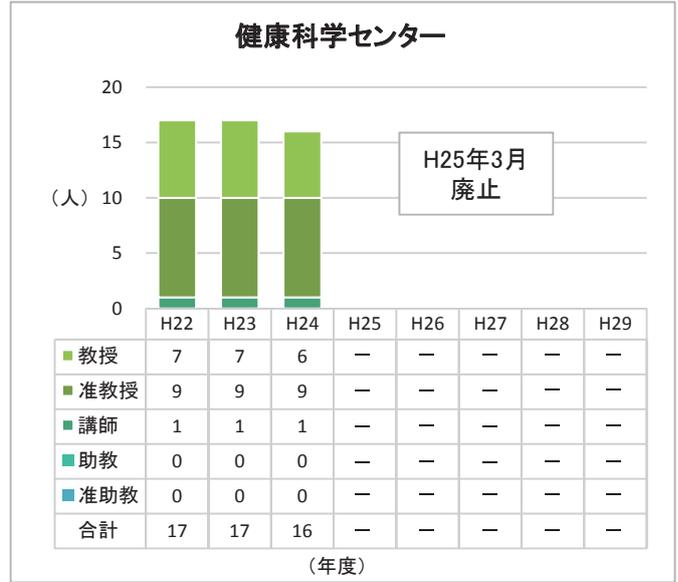
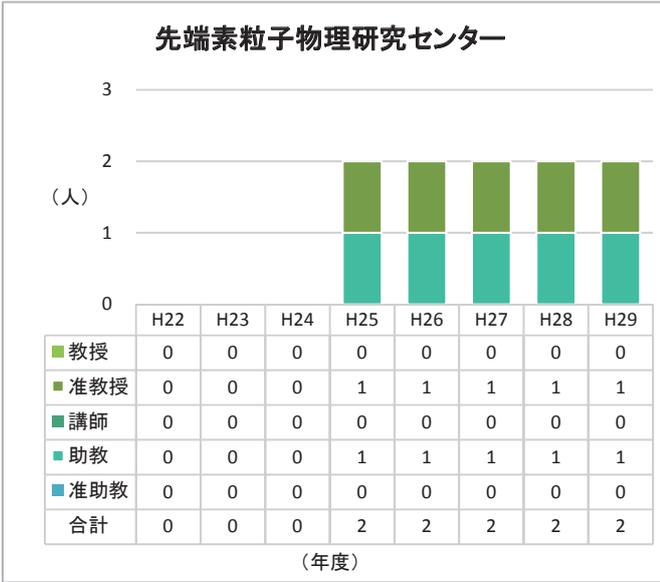
2-2-6. 教員数(部局別)(つづき)



・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

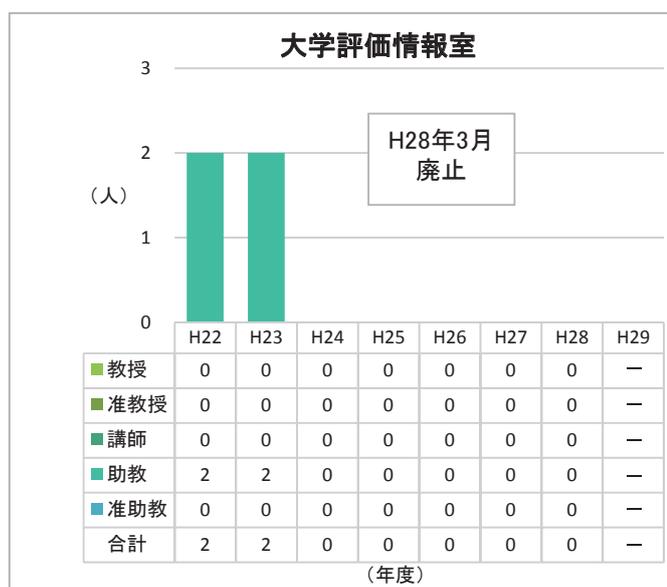
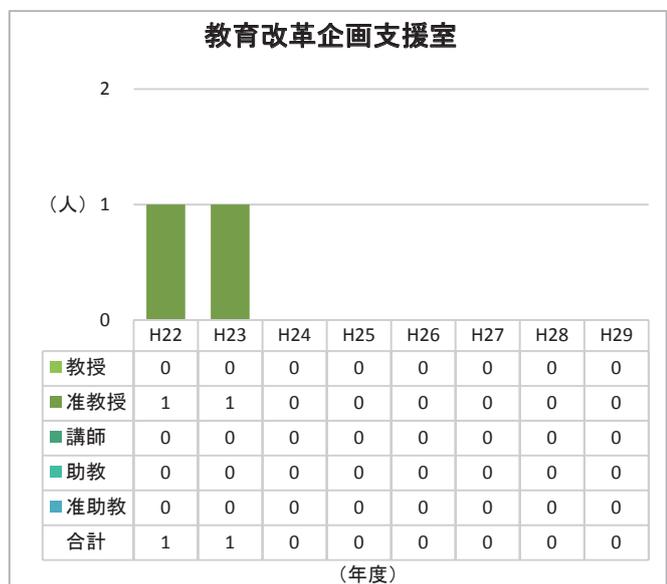
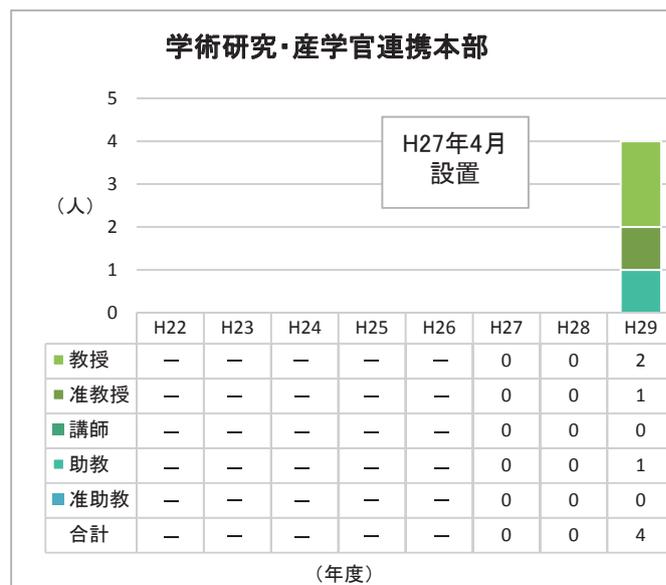
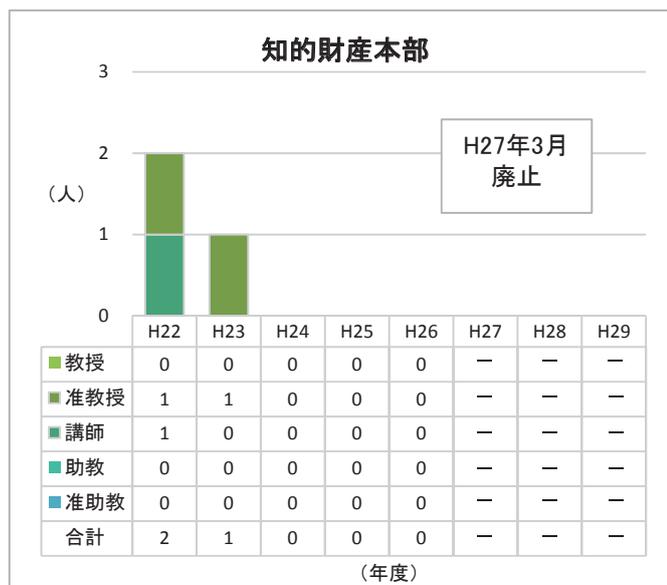
2-2-6. 教員数(部局別)(つづき)



・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

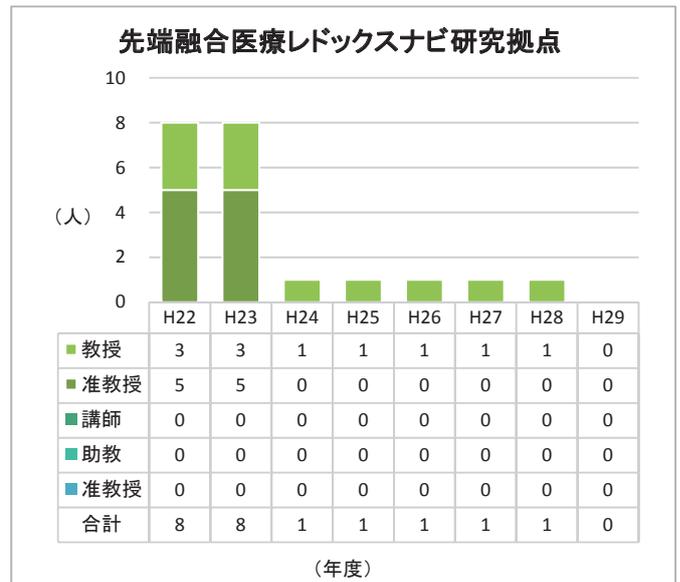
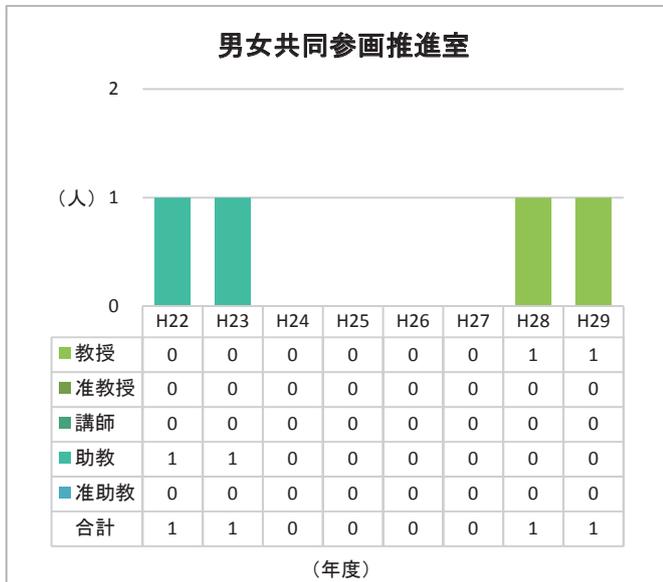
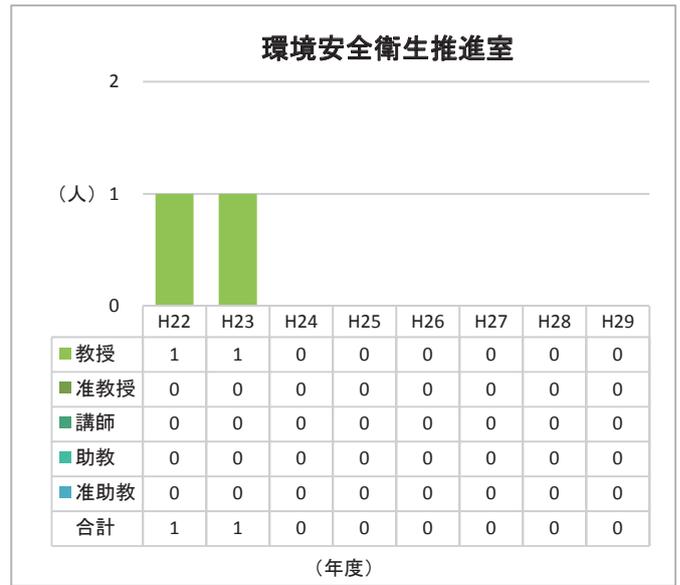
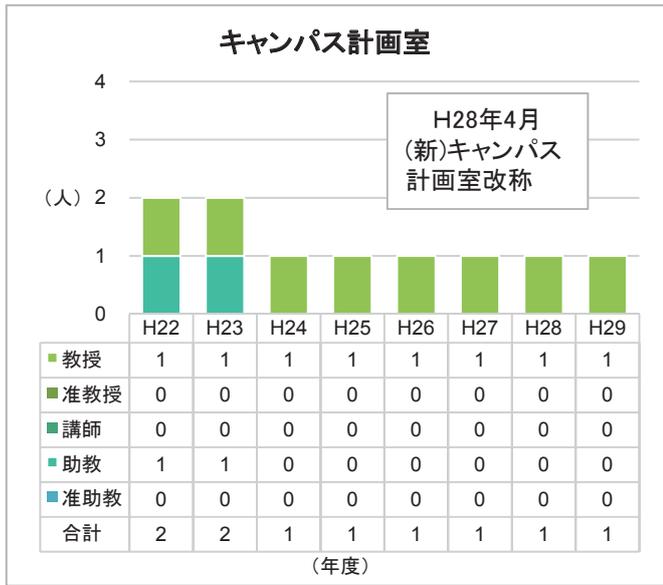
2-2-6. 教員数(部局別)(つづき)



・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

2-2-6. 教員数(部局別)(つづき)

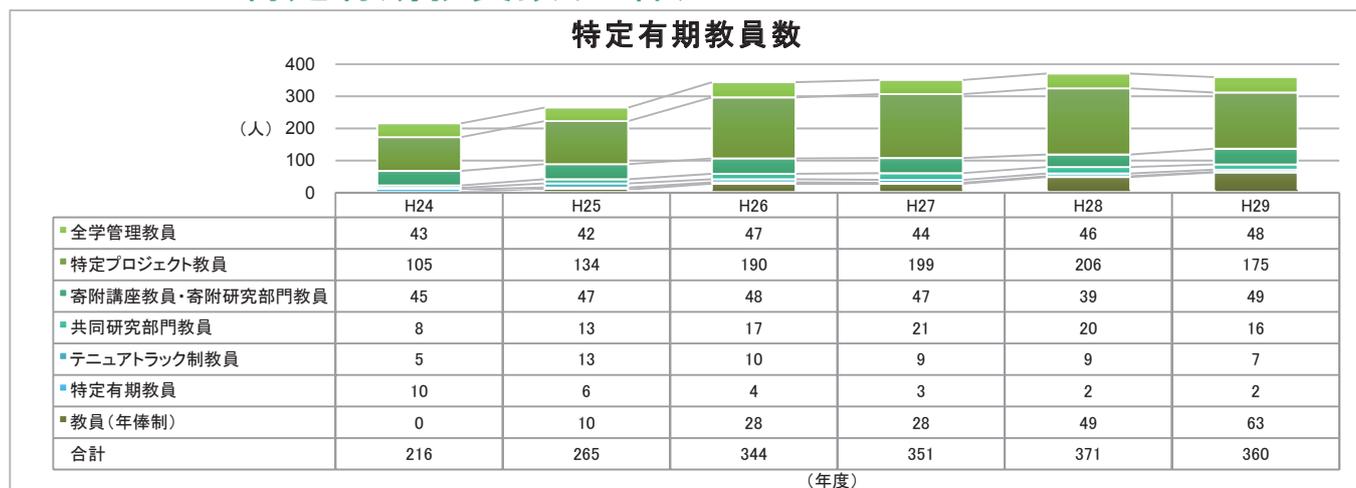


・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

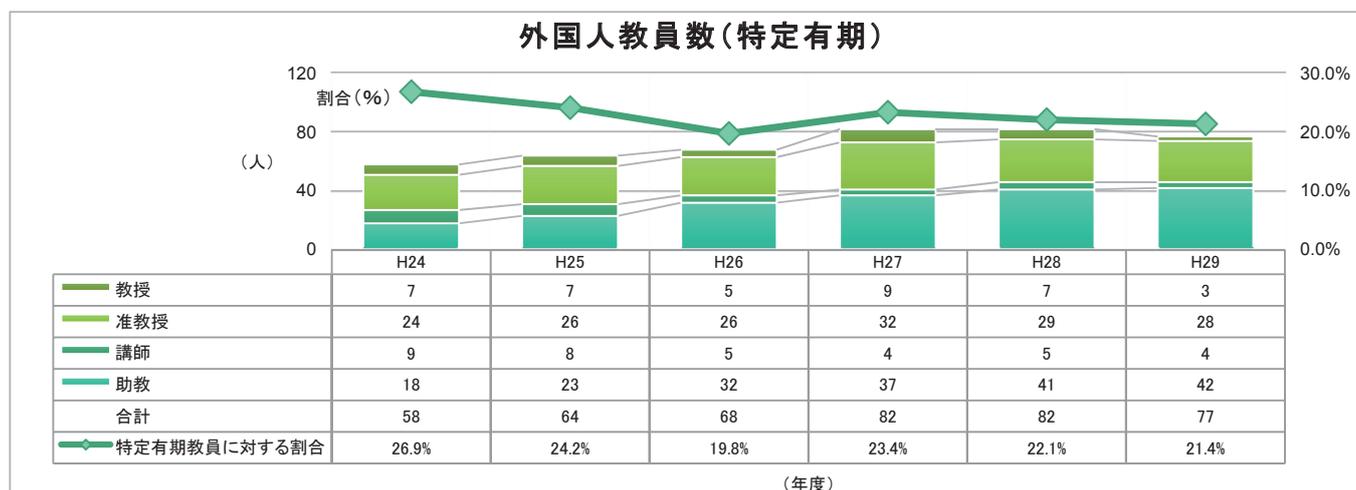
## 2-3. 特定有期教員数

### 2-3-1. 特定有期教員数(全体)



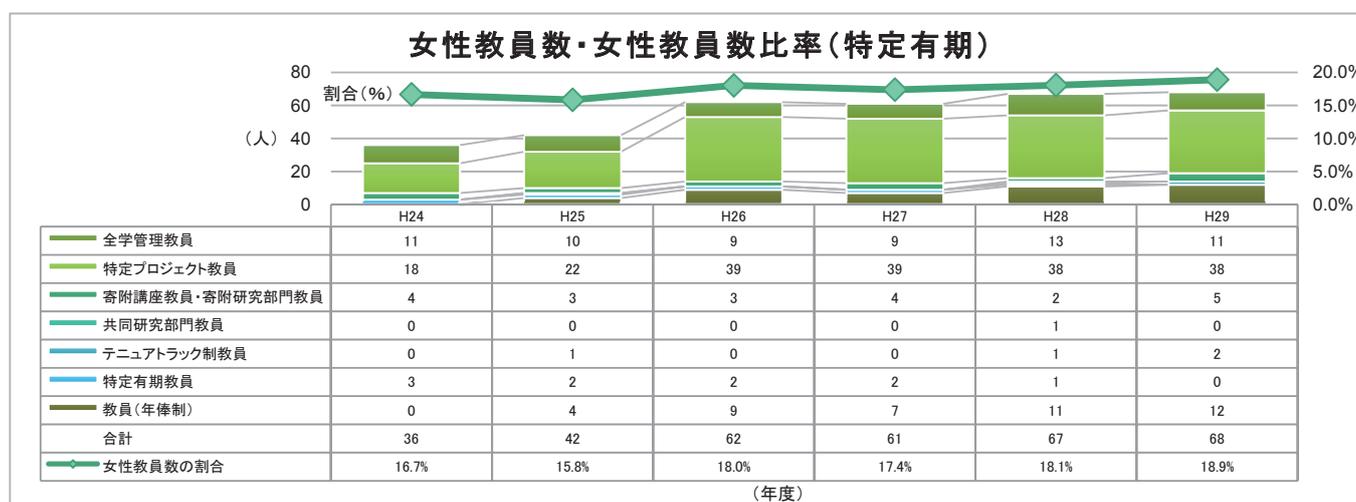
・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

### 2-3-2. 特定有期教員数(外国人教員) ※2-3. 特定有期教員数の内数



・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

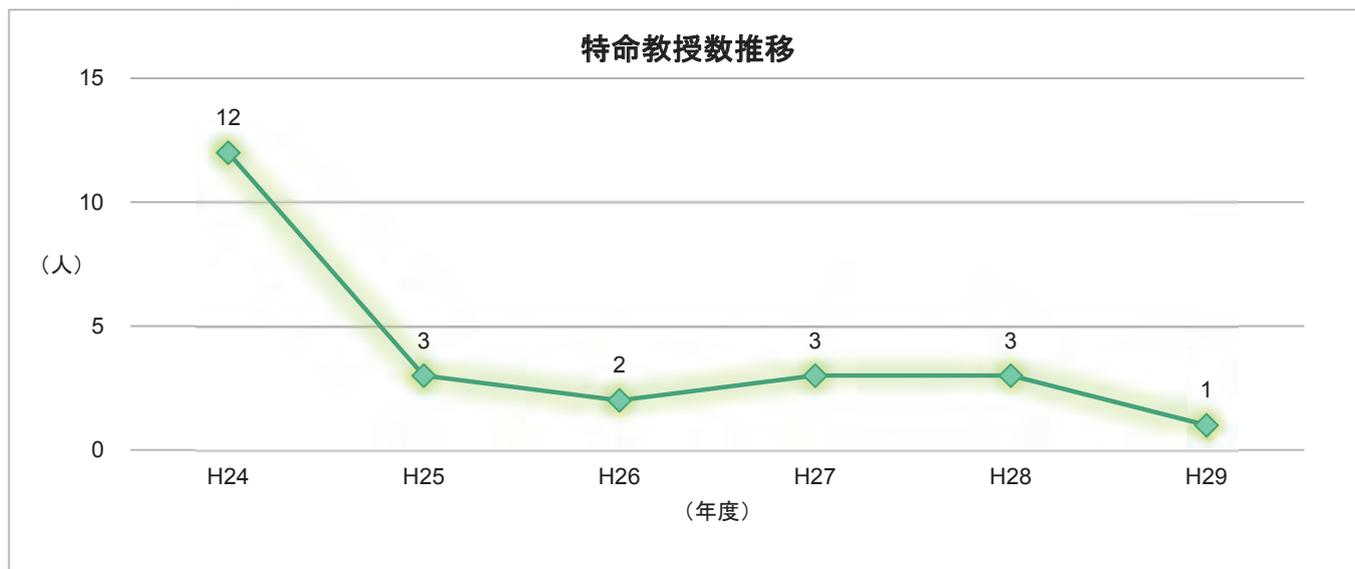
### 2-3-3. 特定有期教員数(女性教員) ※2-3. 特定有期教員数の内数



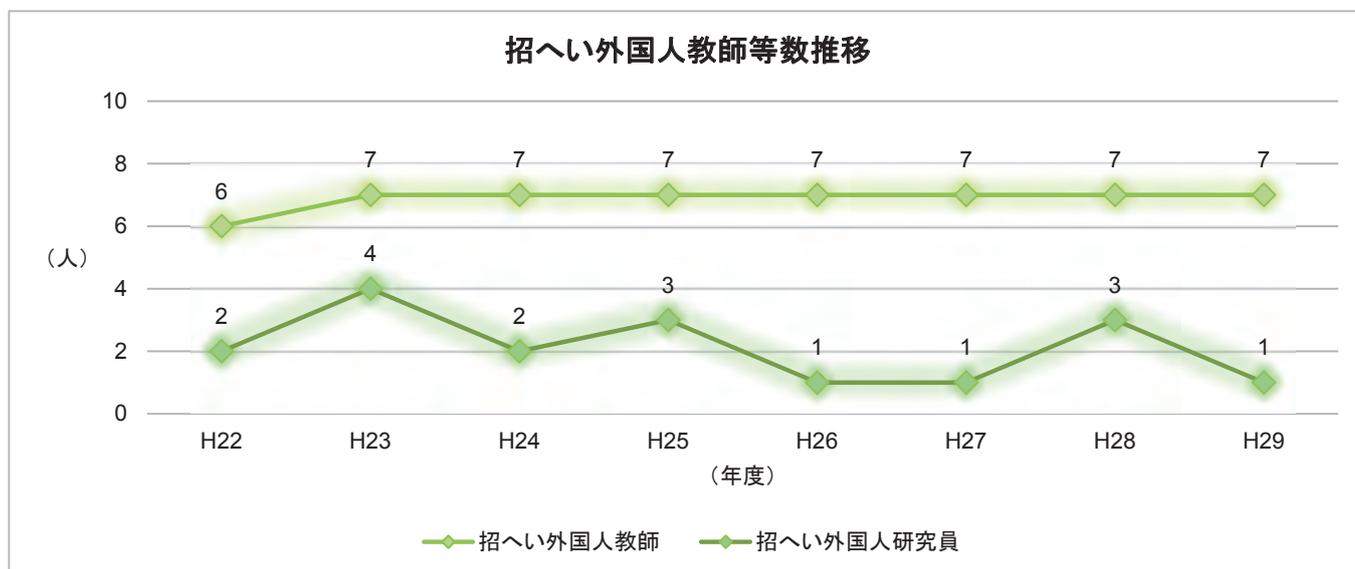
・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

## 2-4. 特命教授数



## 2-5. 招へい外国人教師等数



## 2-6. 非常勤講師数

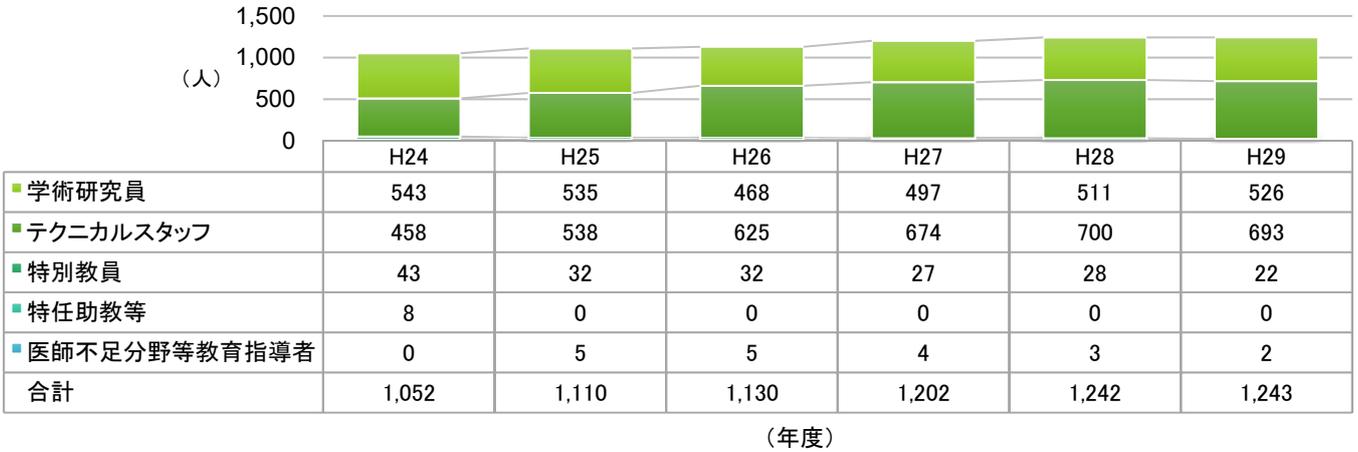


※出典：九州大学概要（各年度5月1日現在）

## 2-7. 学術研究員等数

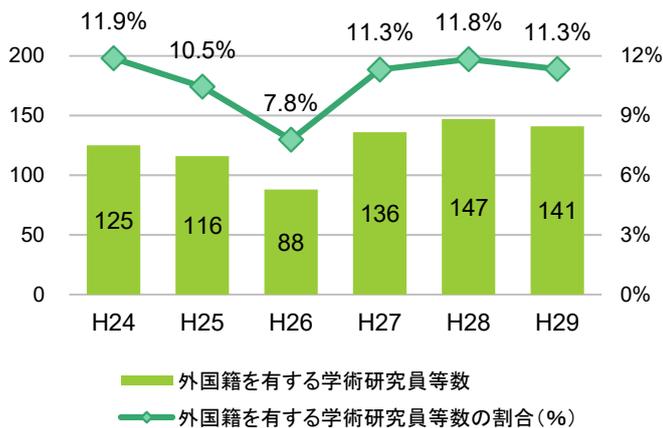
### 2-7-1. 学術研究員等数(全体)

#### 学術研究員等数

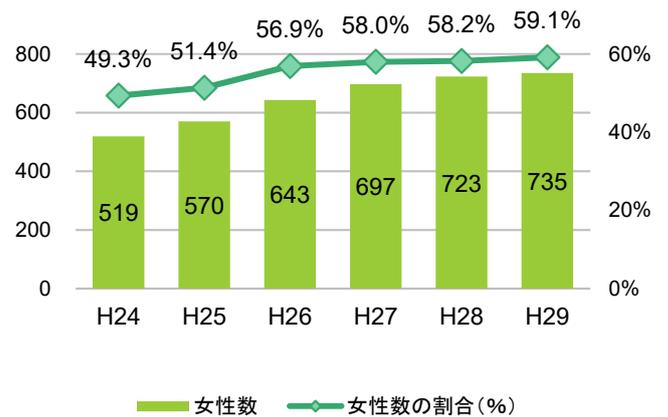


### 2-7-2. 学術研究員等数(外国籍及び女性数)

#### 外国籍を有する学術研究員等数・比率



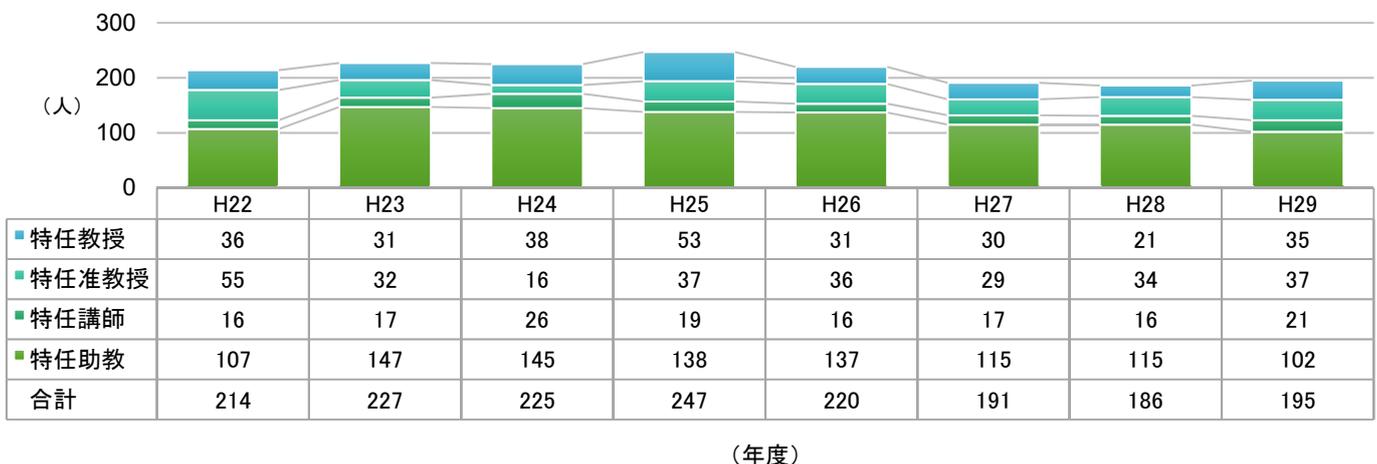
#### 女性の学術研究員等数・比率



・学術研究員等の内数。

### 2-7-3. 特任教授等数

#### 特任教授等数



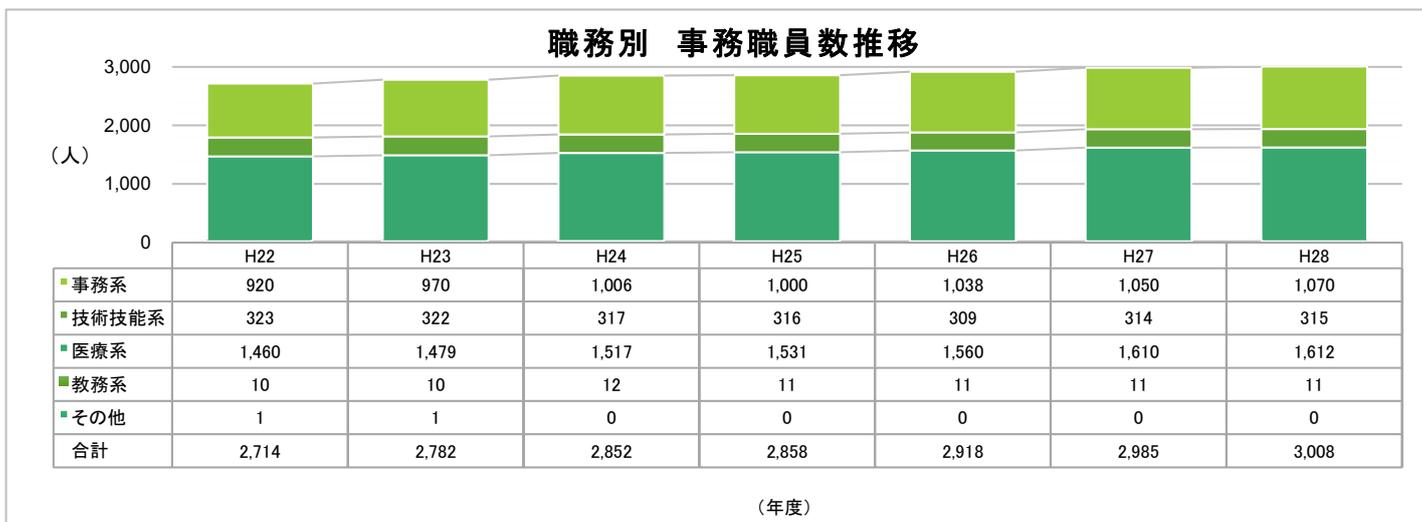
・学術研究員等の内数。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

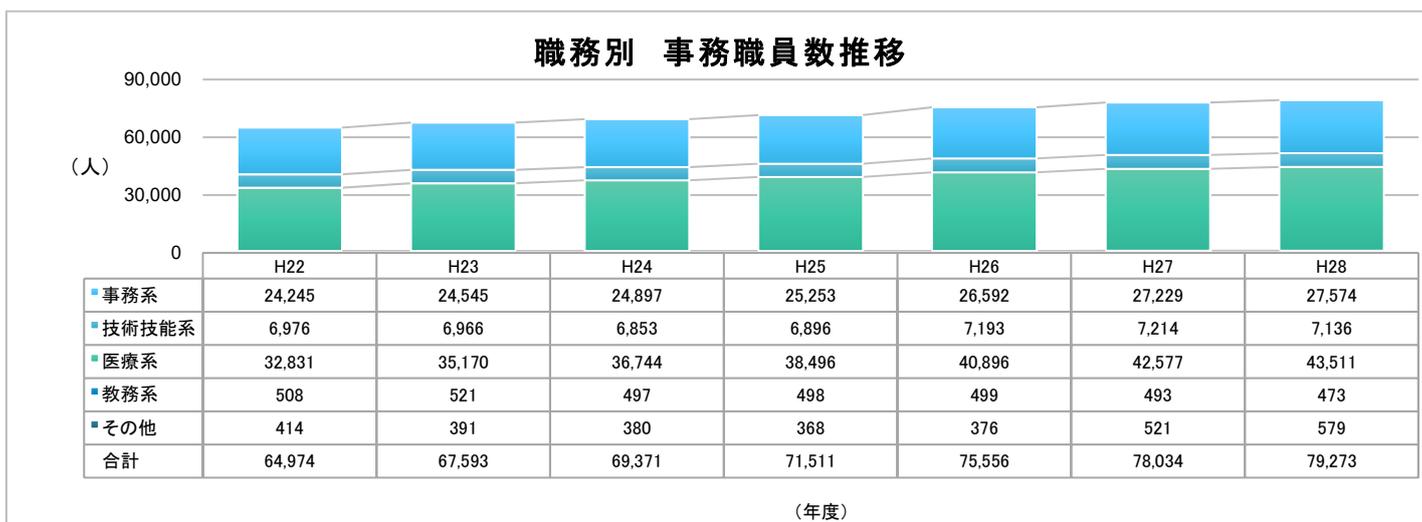
## 2-8. 事務職員・技術職員等数

### 2-8-1. 事務職員・技術職員等数(全体)

#### ◆九州大学◆

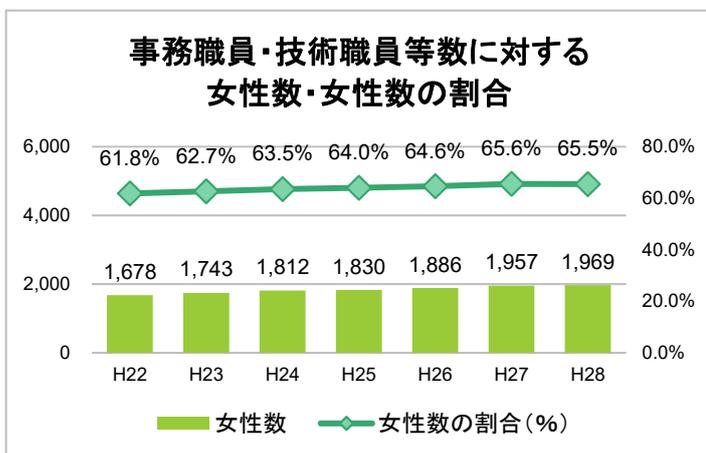


#### ◆全国 国立大学◆

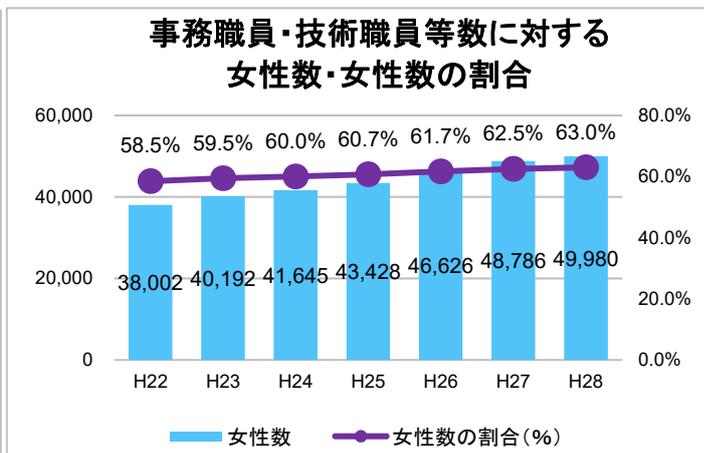


### 2-8-2. 事務職員・技術職員等数(女性数及び女性比率)

#### ◆九州大学◆

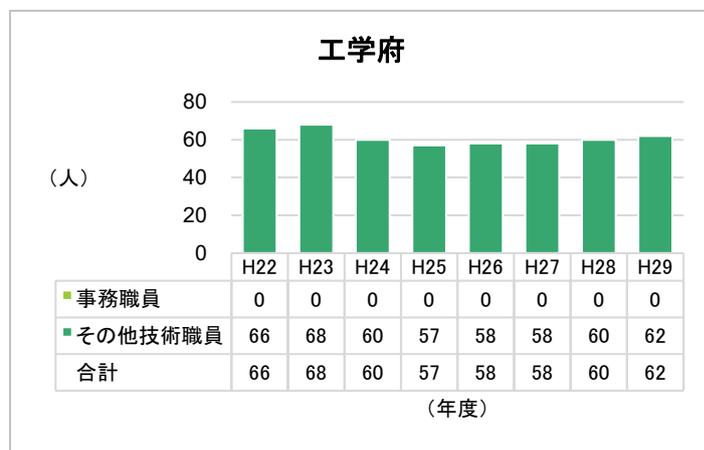
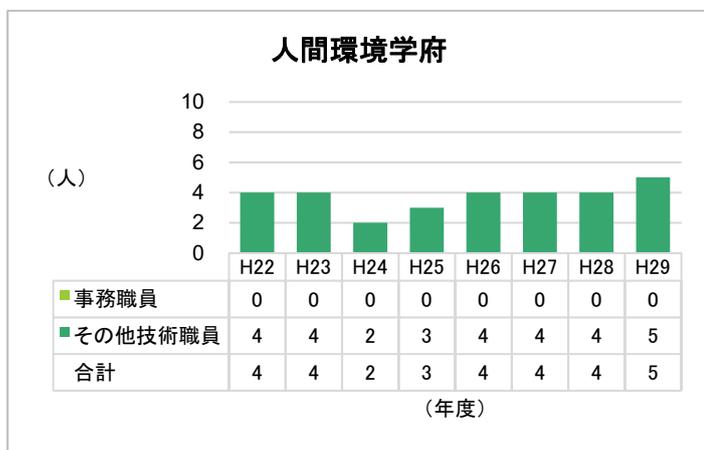
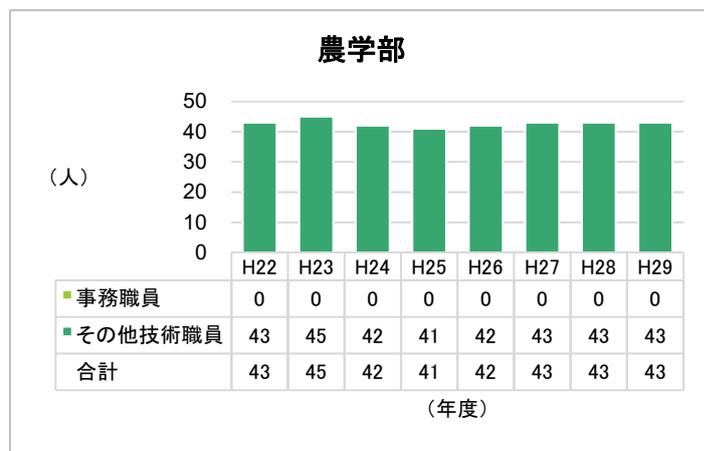
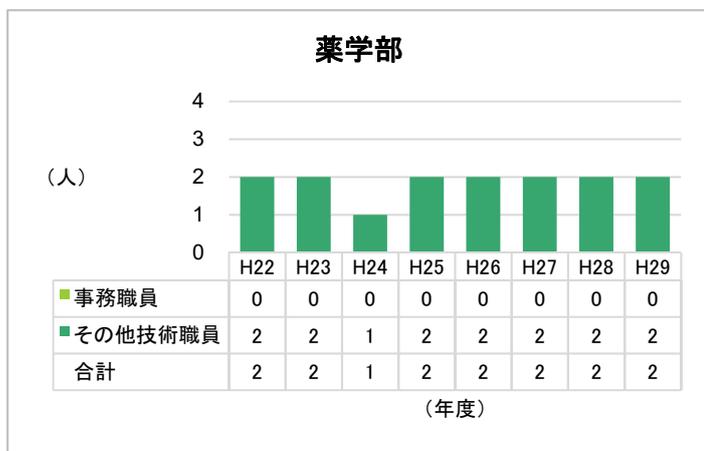
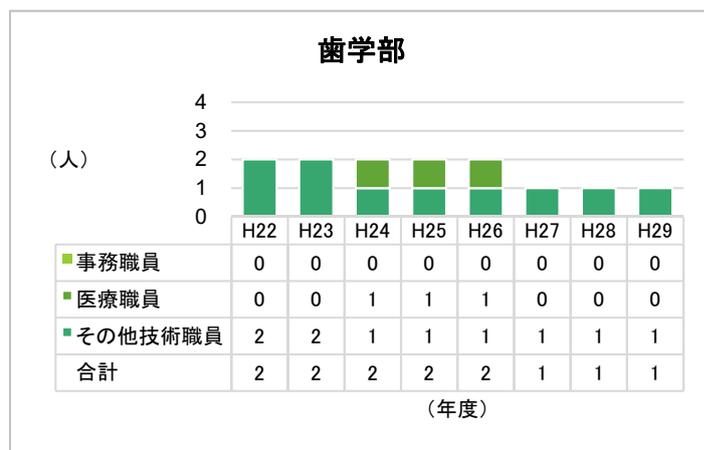
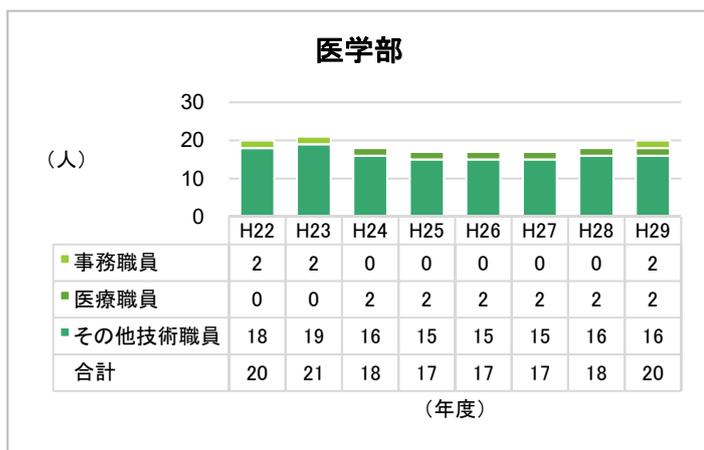
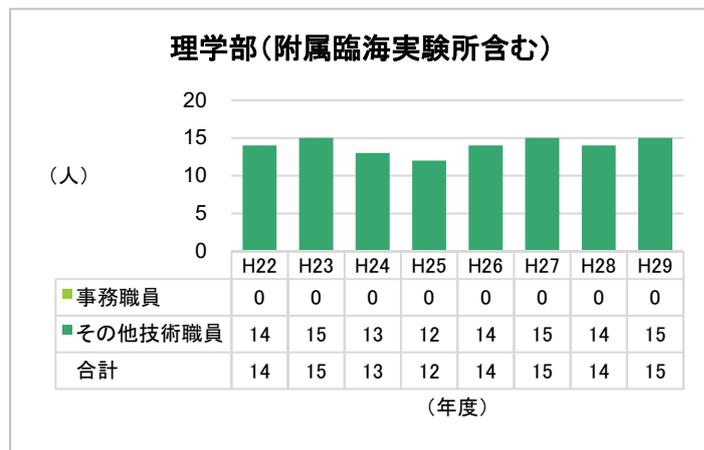
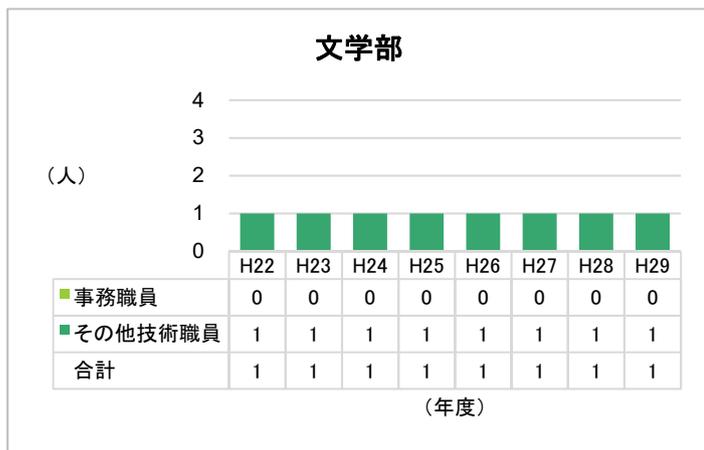


#### ◆全国 国立大学◆



※出典  
・文部科学省 学校基本調査 「学生教職員等状況票」

## 2-8-3. 事務職員・技術職員等数(部局別)

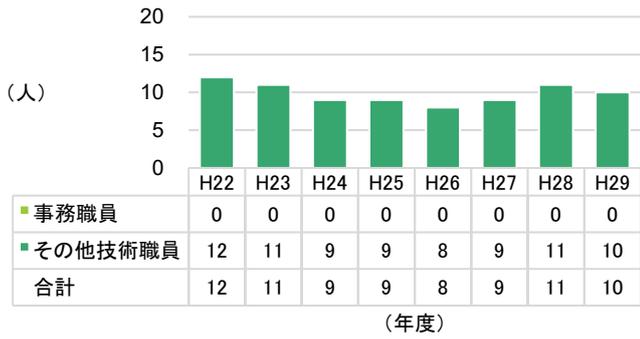


・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。  
 ・医療職員はH24年度から別枠でカウント開始したため、H23年度以前は値なし。

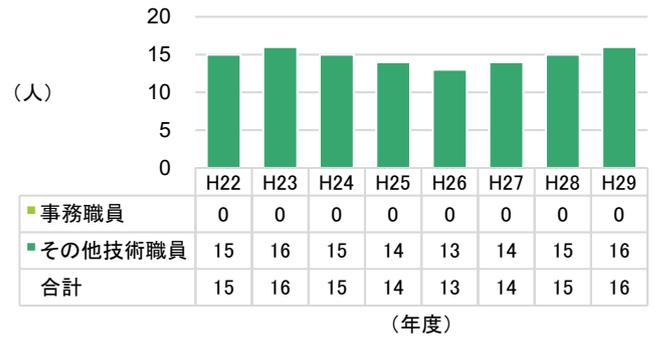
※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

2-8-3. 事務職員・技術職員等数(部局別)(つづき)

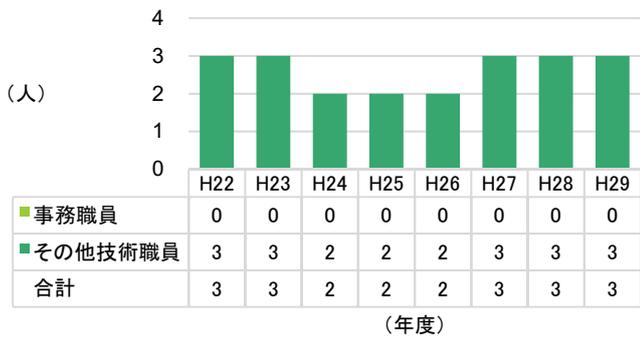
芸術工学府



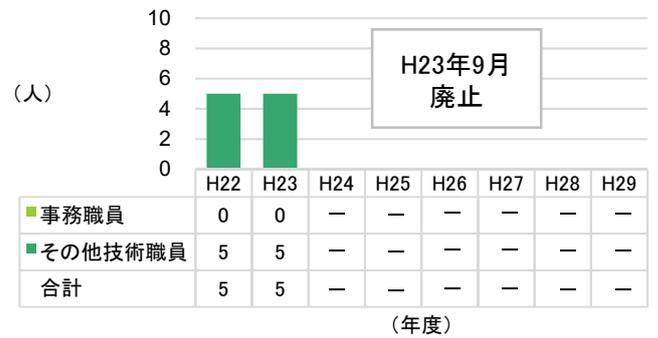
システム情報科学府



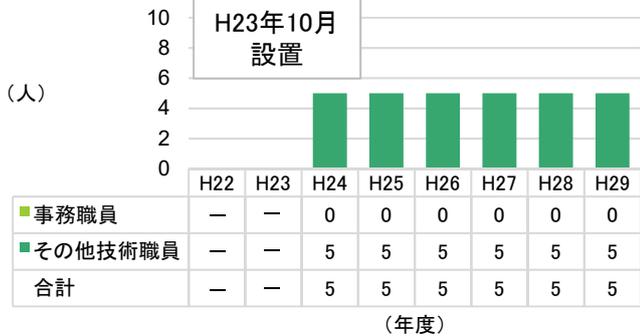
総合理工学府



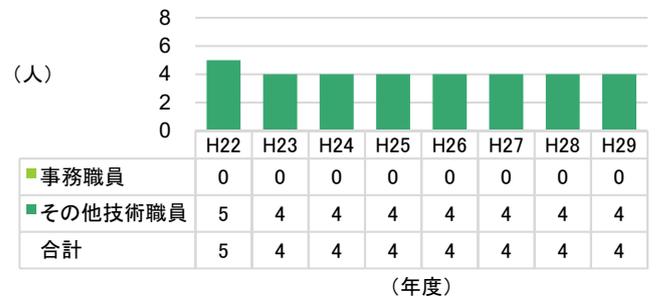
高等教育開発推進センター



基幹教育院



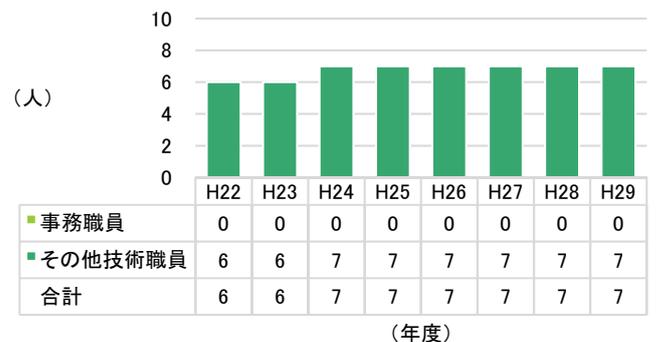
生体防御医学研究所  
(附属施設含む)



応用力学研究所  
(附属施設含む)



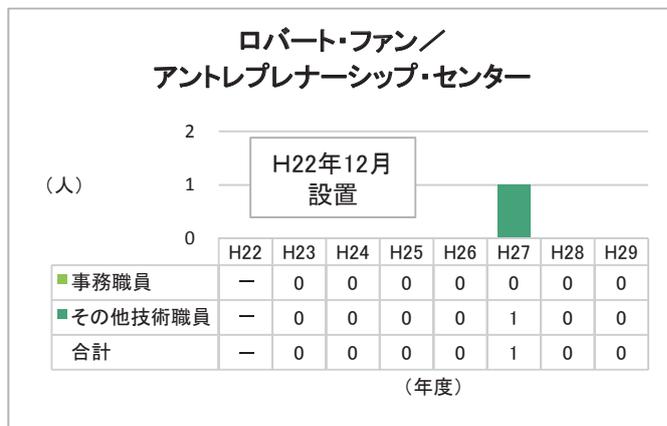
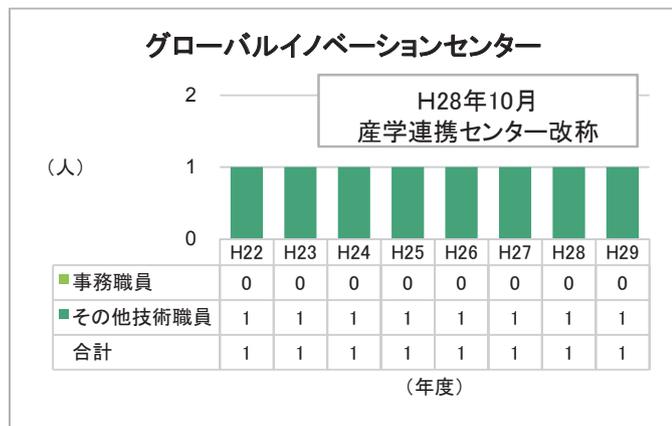
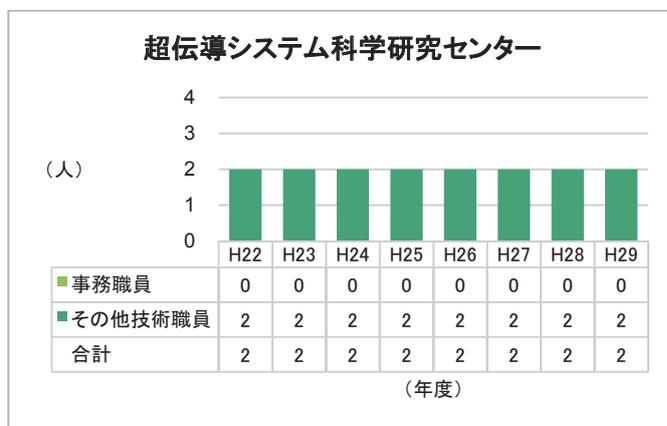
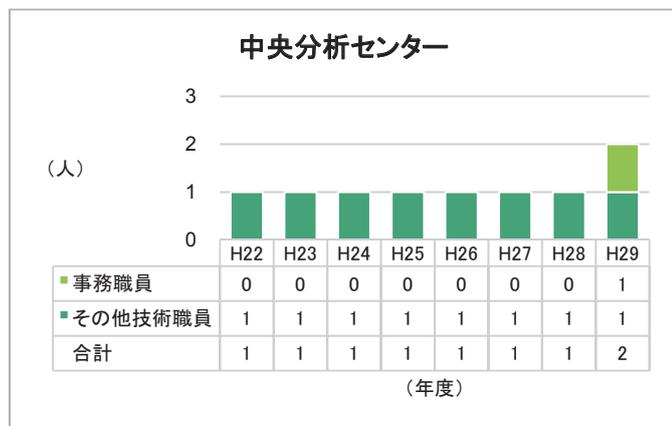
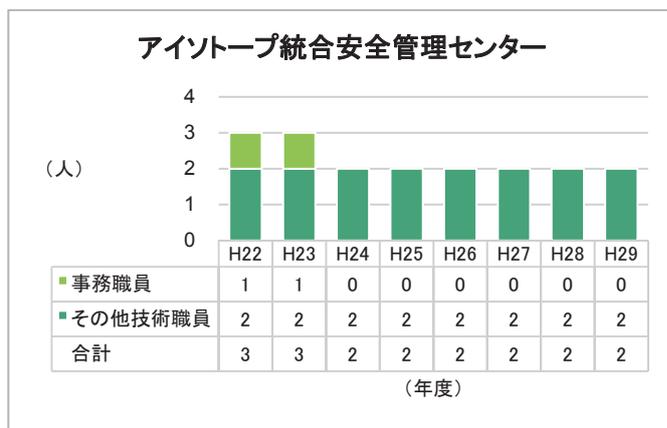
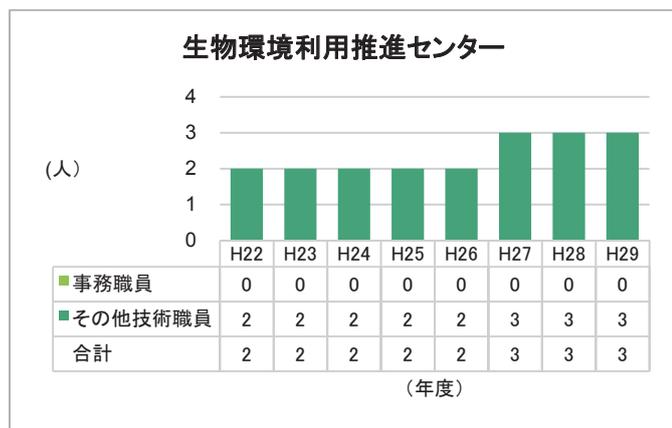
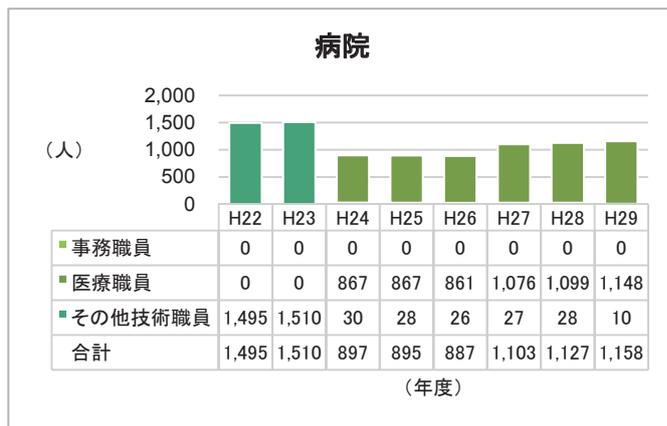
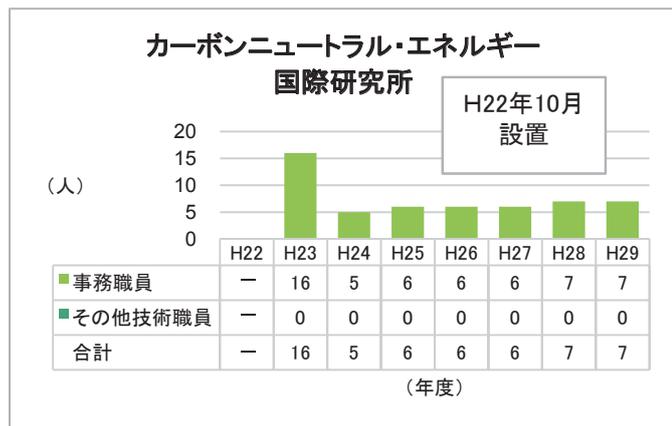
先導物質科化研究所



・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。  
 ・医療職員はH24年度から別枠でカウント開始したため、H23年度以前は値なし。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

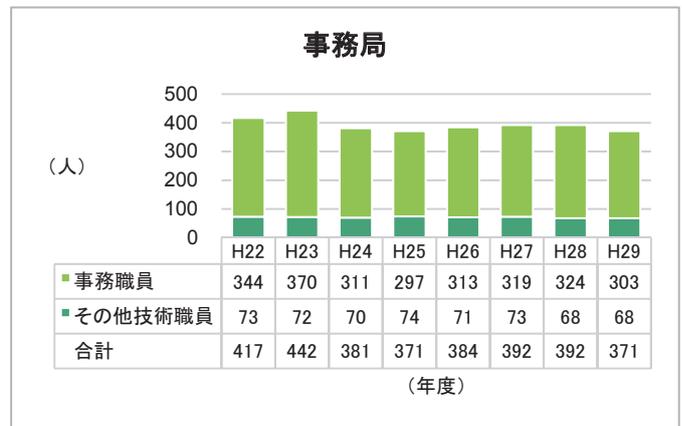
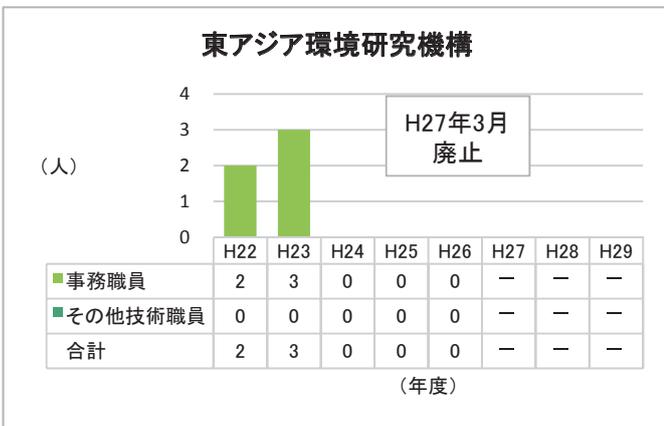
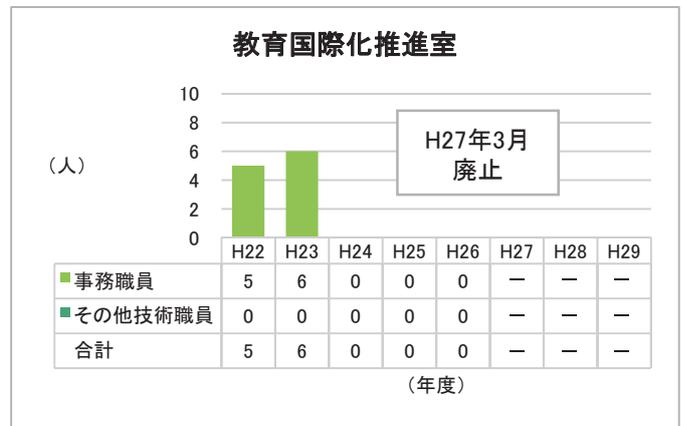
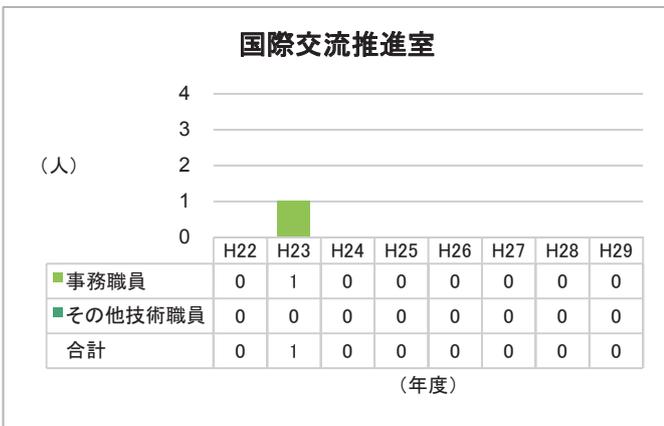
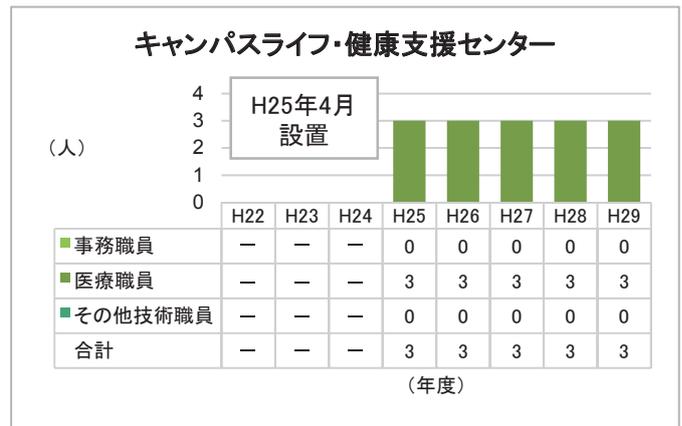
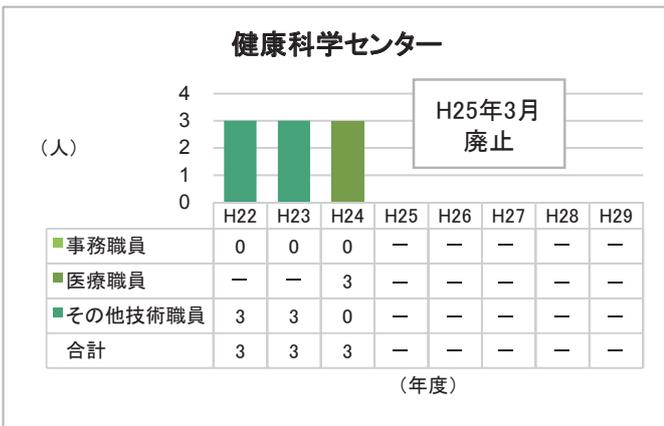
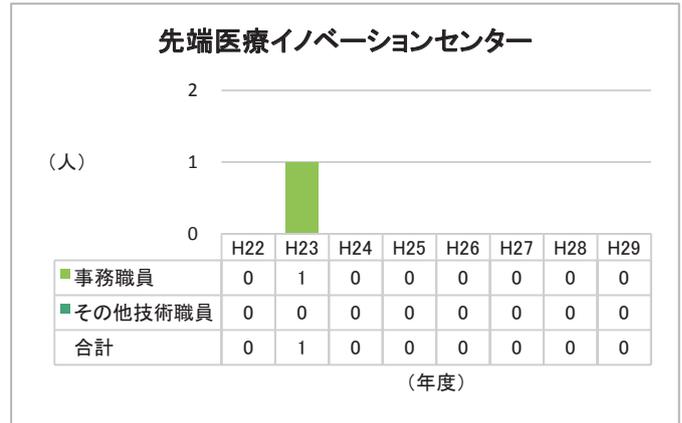
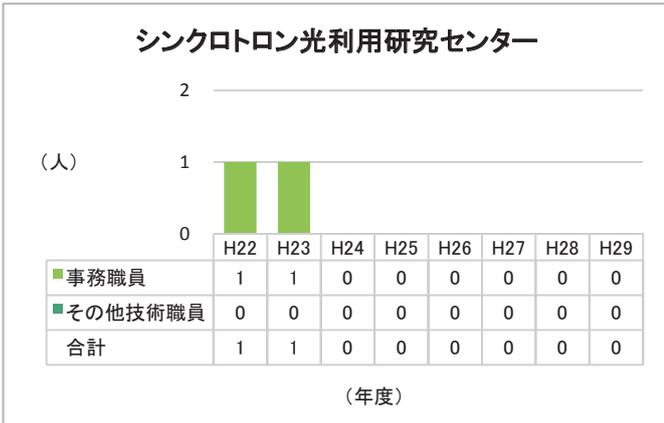
2-8-3. 事務職員・技術職員等数(部局別)(つづき)



・H22～H23年度は退職者を含む。H24年度以降は、退職者・育児休業者を含まず、退職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。  
 ・医療職員はH24年度から別枠でカウント開始したため、H23年度以前は値なし。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

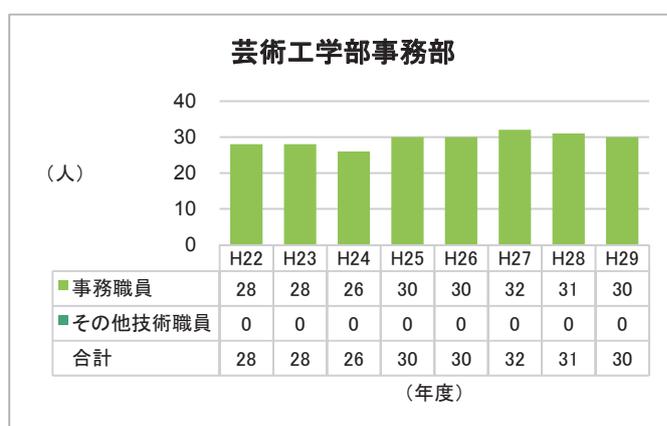
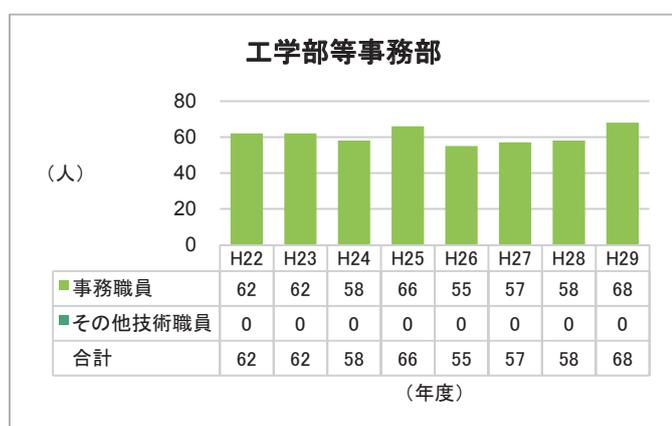
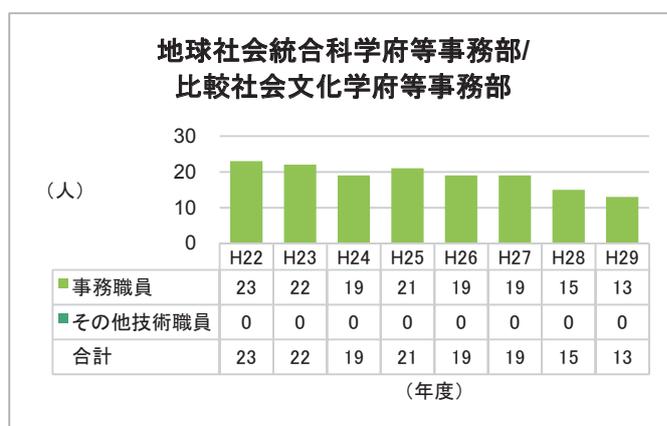
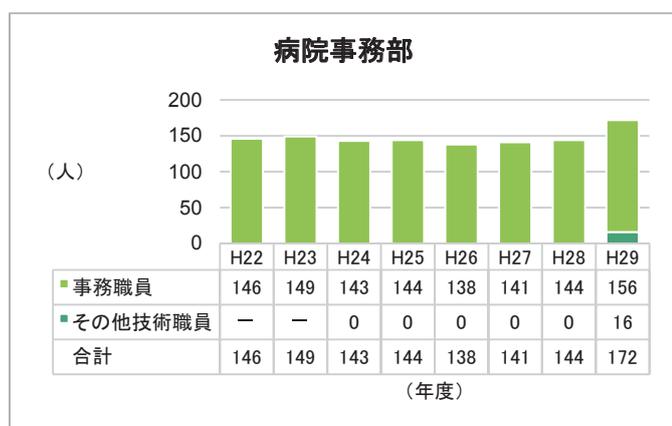
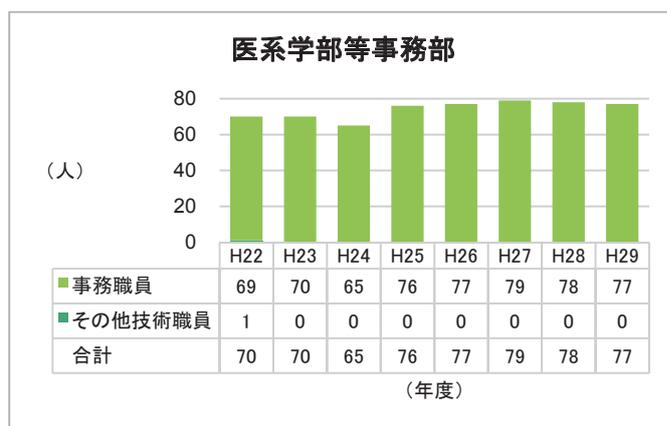
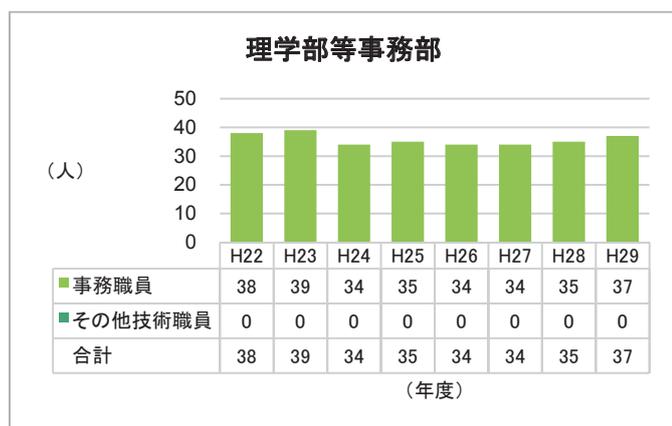
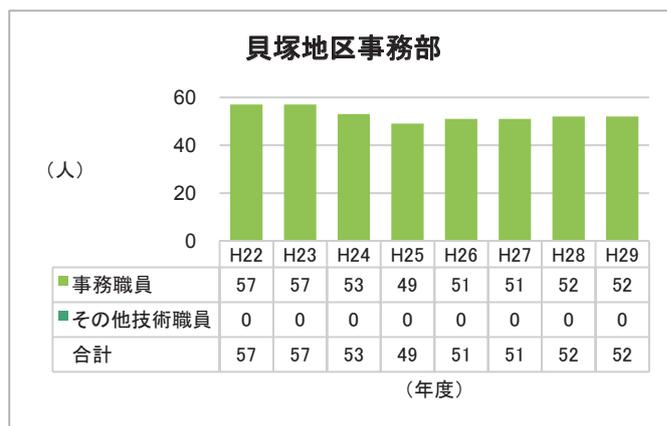
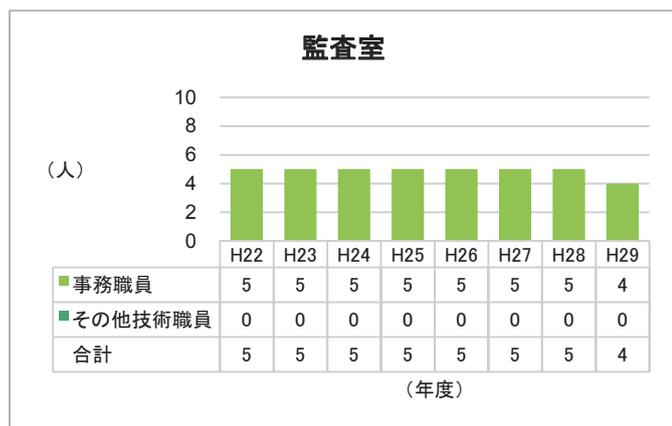
2-8-3. 事務職員・技術職員等数(部局別)(つづき)



・H22～H23年度は退職者を含む。H24年度以降は、退職者・育児休業者を含まず、退職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。  
 ・医療職員はH24年度から別枠でカウント開始したため、H23年度以前は値なし。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

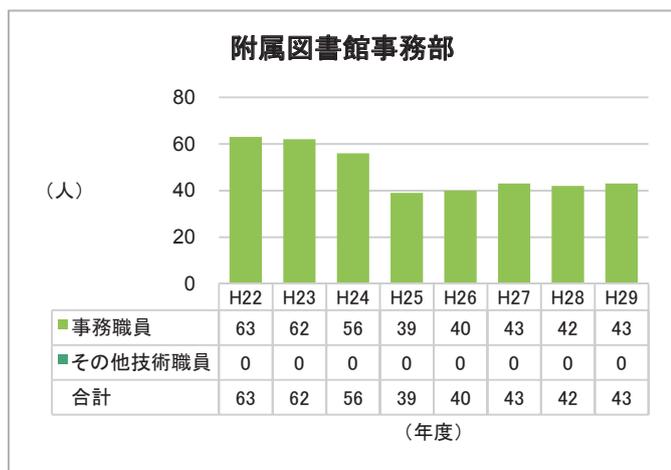
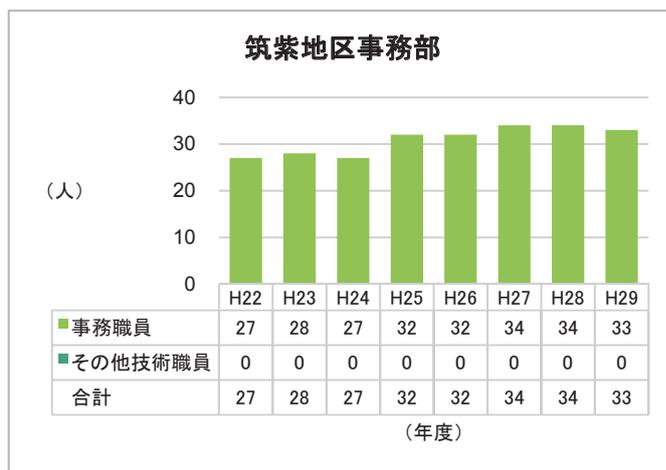
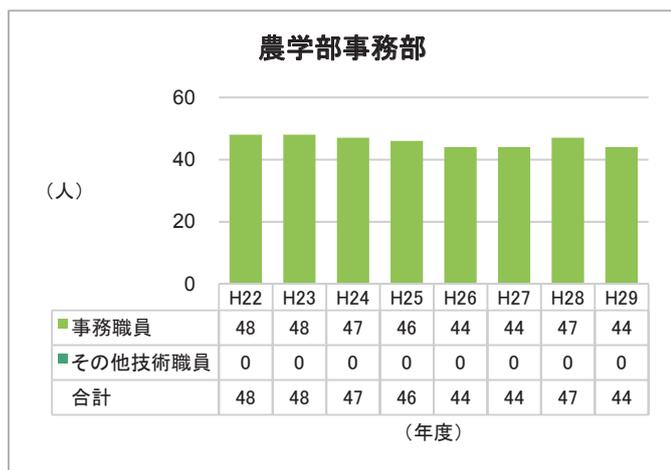
2-8-3. 事務職員・技術職員等数(部局別)(つづき)



・H22～H23年度は退職者を含む。H24年度以降は、退職者・育児休業者を含まず、退職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。  
 ・医療職員はH24年度から別枠でカウント開始したため、H23年度以前は値なし。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

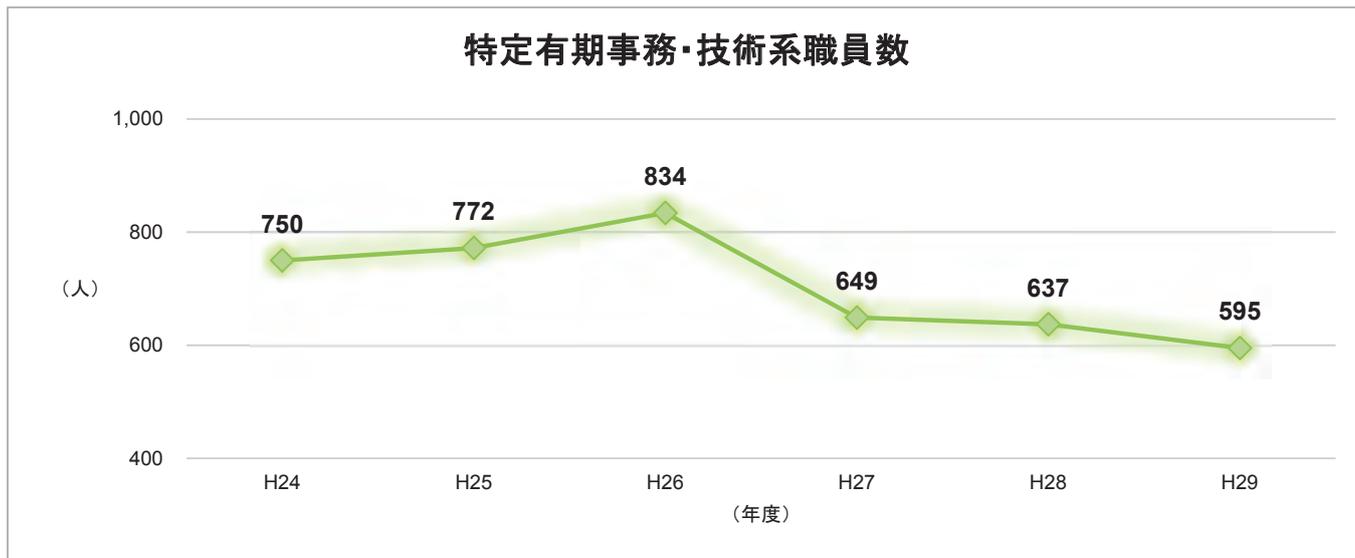
2-8-3. 事務職員・技術職員等数(部局別)(つづき)



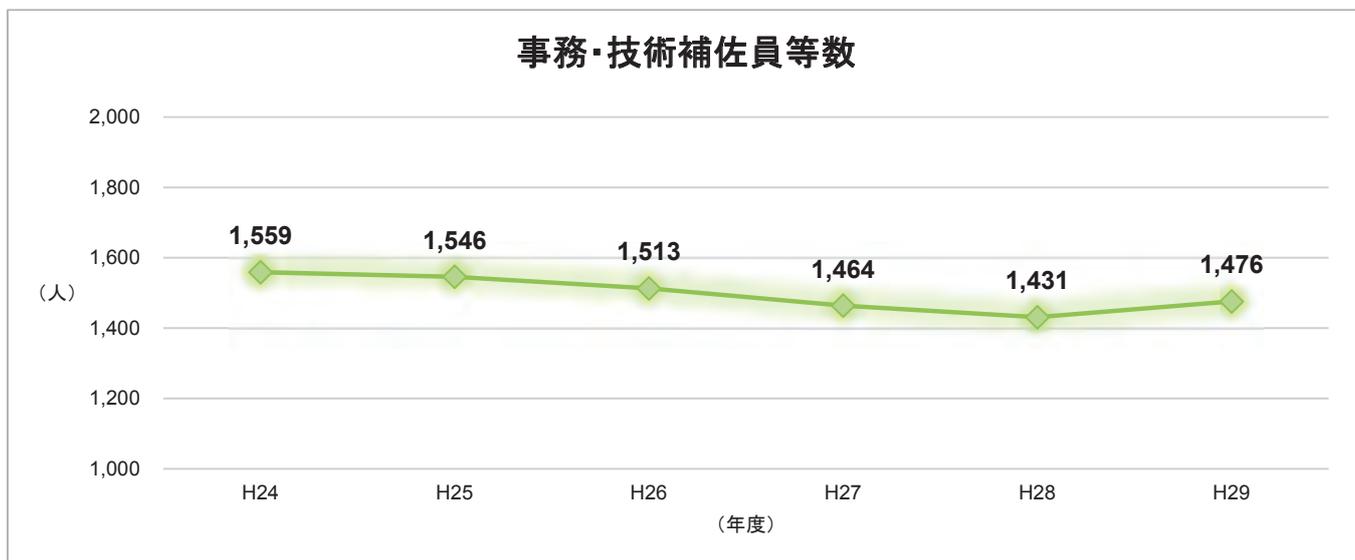
・H22～H23年度は休職者を含む。H24年度以降は、休職者・育児休業者を含まず、休職等代替職員を含む。  
 ・H24年度以降は、再雇用職員を含む。  
 ・医療職員はH24年度から別枠でカウント開始したため、H23年度以前は値なし。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

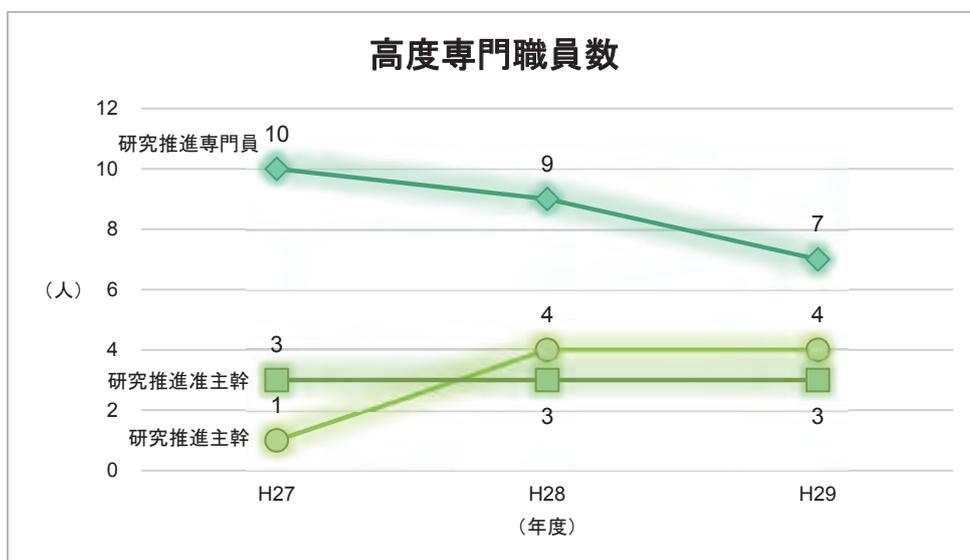
## 2-9. 特定有期事務・技術系職員数



## 2-10. 事務・技術補佐員等数



## 2-11. 高度専門職員数(※1)



(※1)高度専門職員  
 教員、事務職員とは異なり、教育、研究等の管理・運営等に関わる専門的知識を有する人材として、その専門性から経営・運営に直接的に関与できる職能集団。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

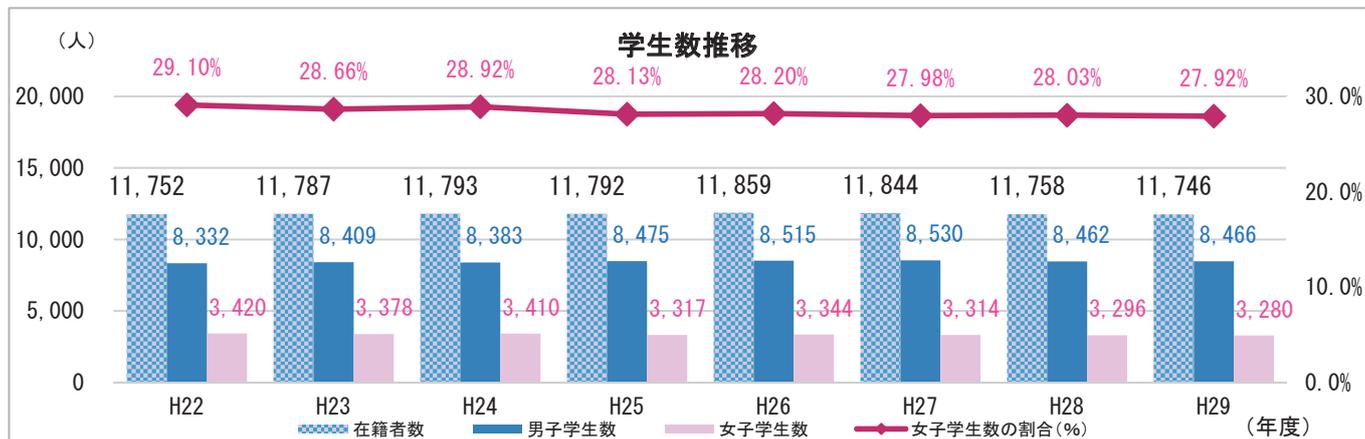
### 3. 学生数 (各年度5月1日現在)

#### 3-1. 学士課程

##### 3-1-1. 学部(全体)

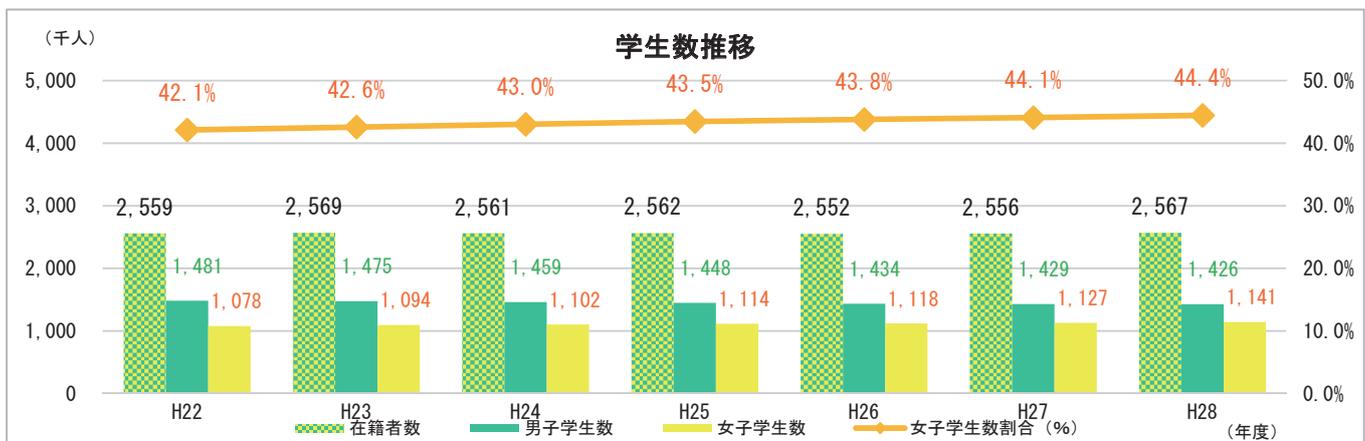
全国と比較しても大幅な増減は見られないが、本学は全国と比較すると在籍者数に占める女子学生の割合が大きく下回っている。

#### ◆九州大学◆

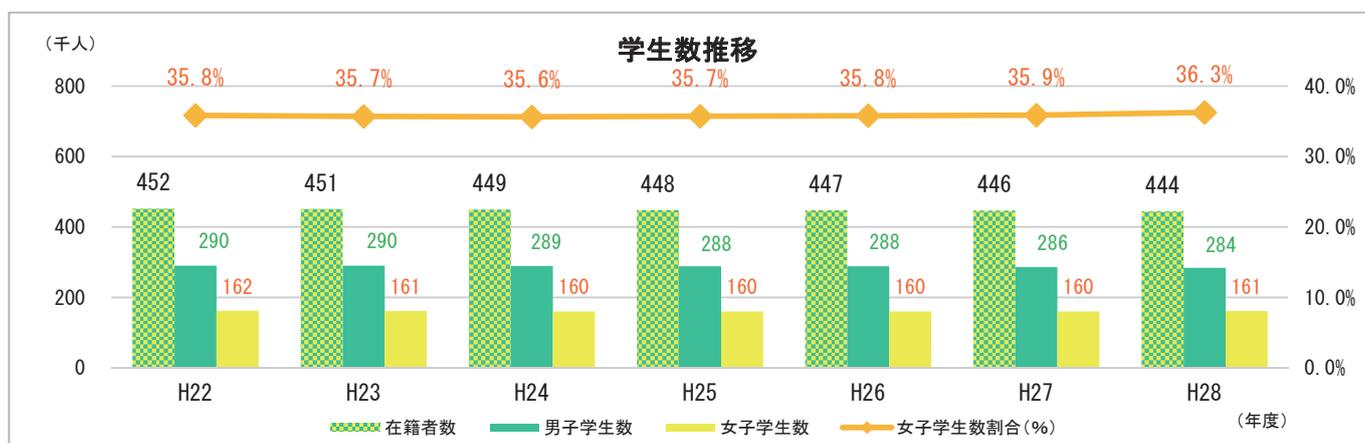


※学生数には、休学生数を含む(以下、同様)。

#### ◆全国 国公立大学◆

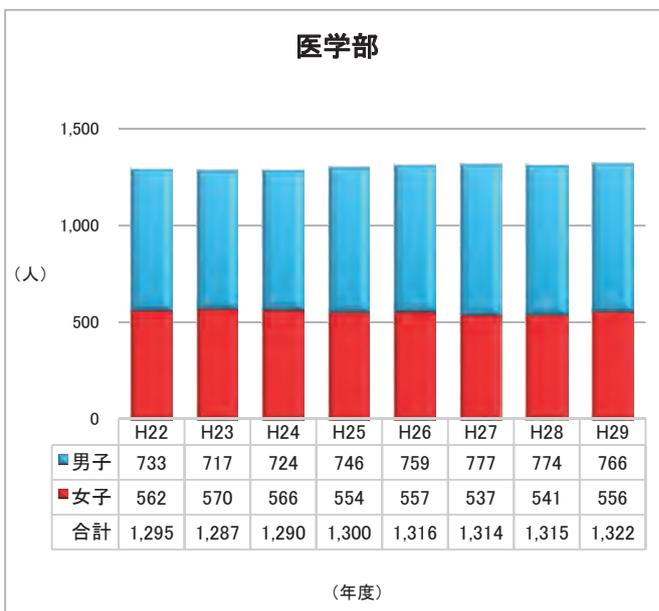
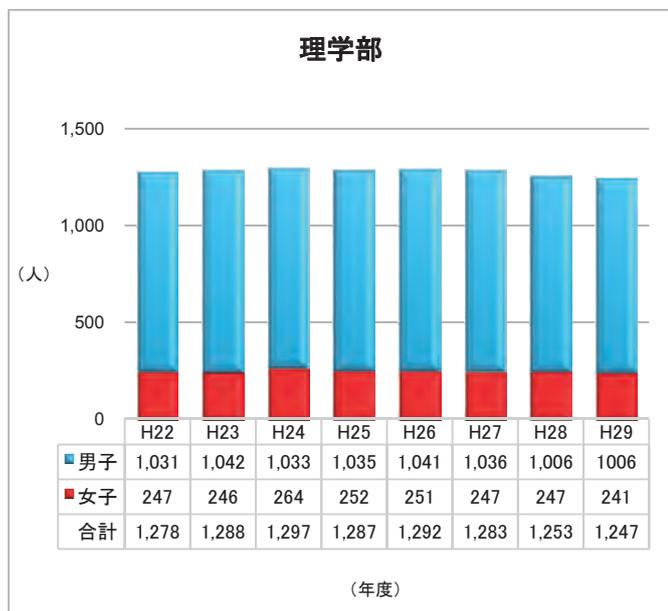
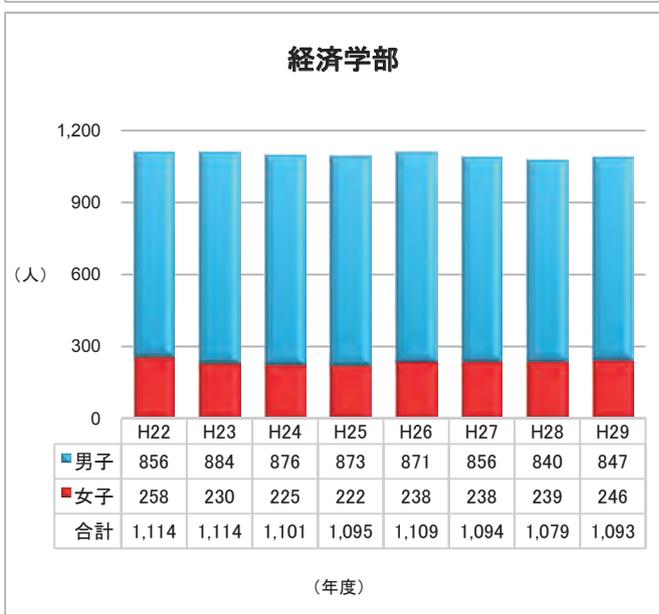
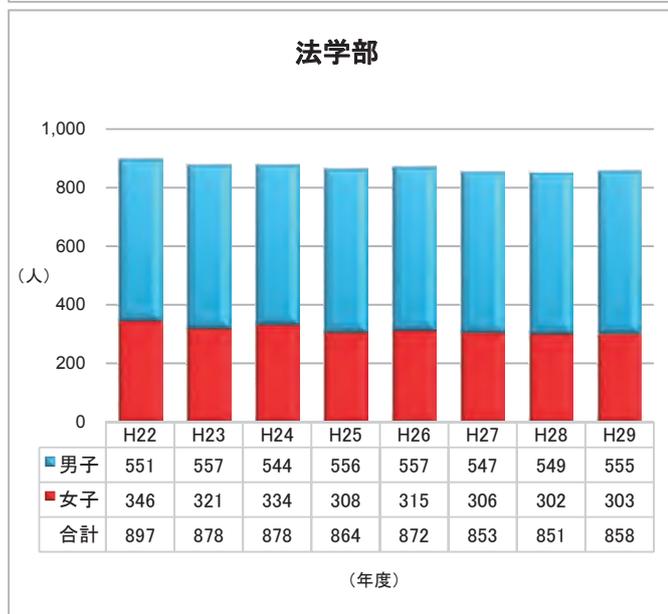
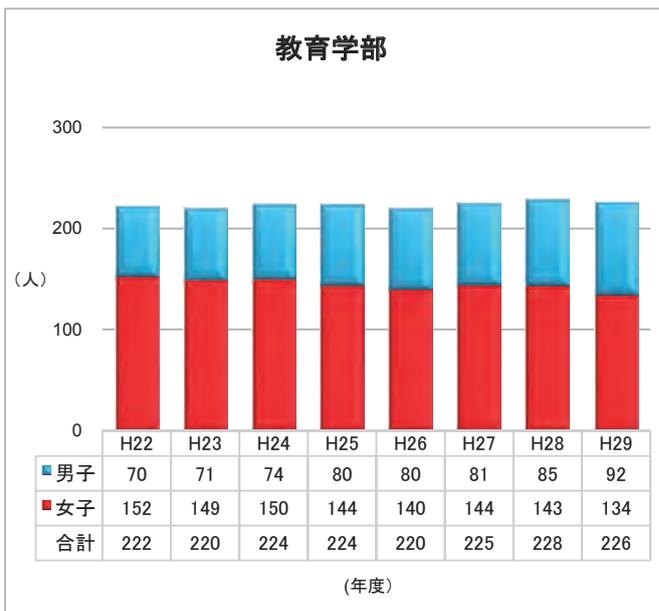
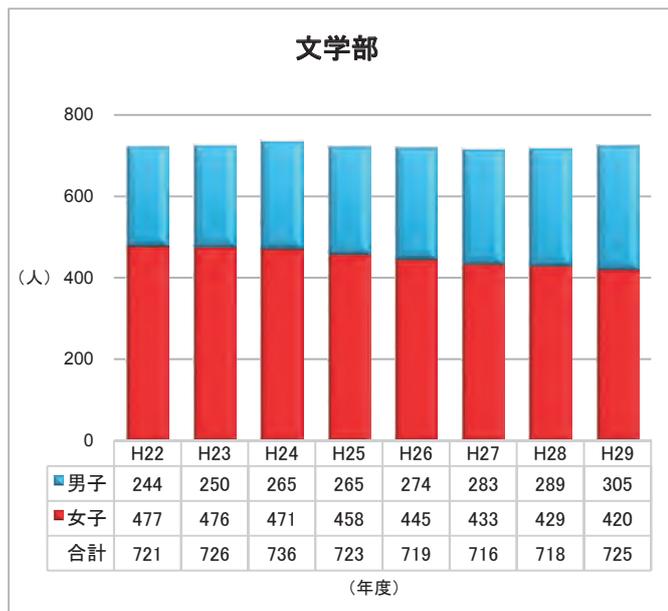


#### ◆全国 国立大学◆



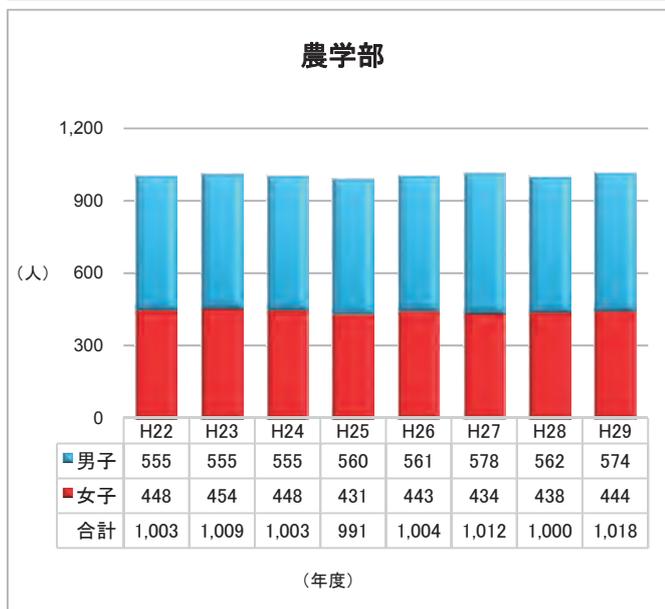
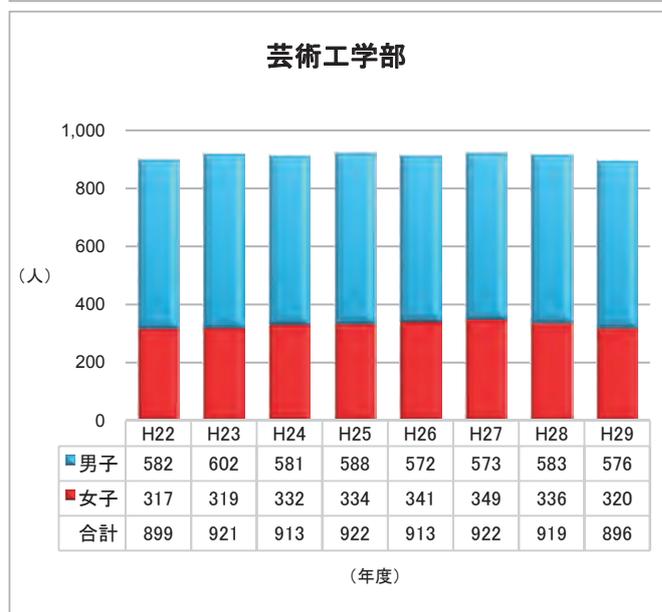
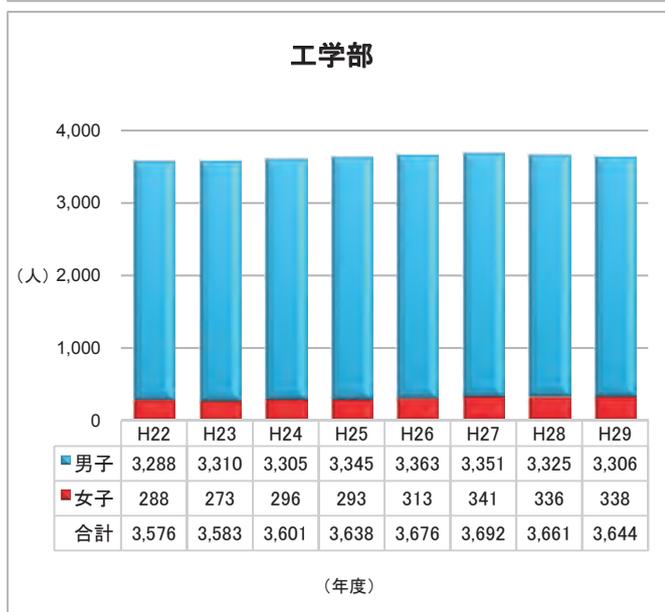
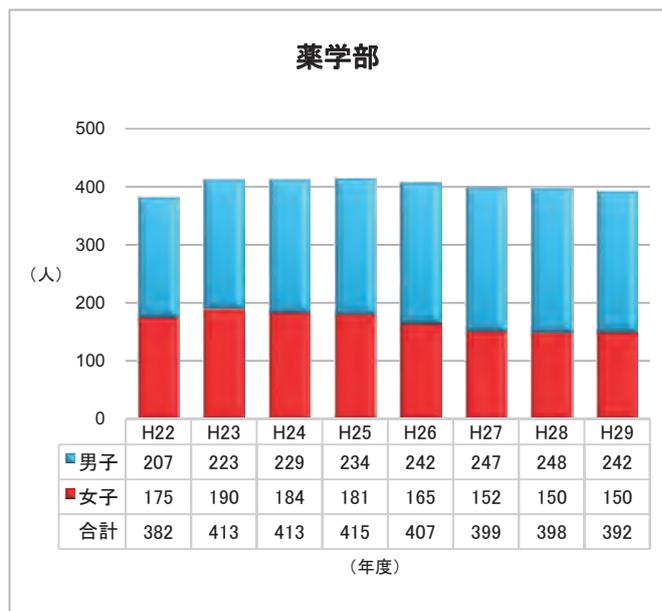
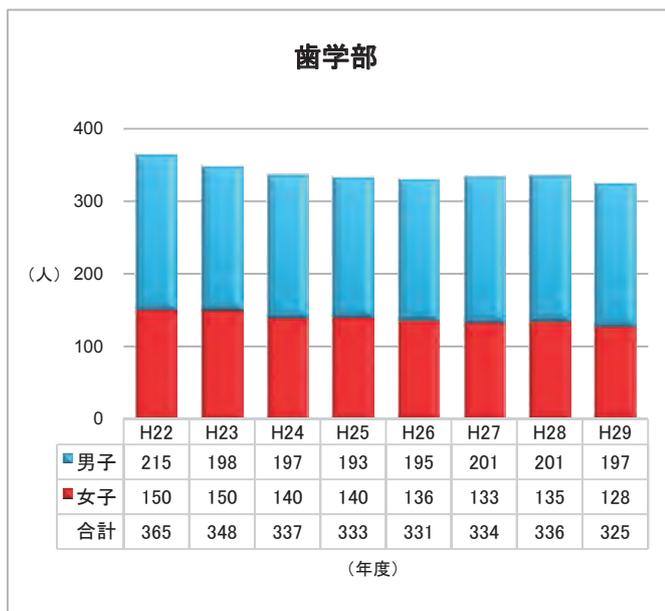
※出典  
 ・本学:九州大学概要(各年度5月1日現在)  
 ・全国:文部科学省 文部科学統計要覧

### 3-1-2. 学部(学部別・在籍学生数)



※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

3-1-2. 学部(学部別・在籍学生数)(つづき)



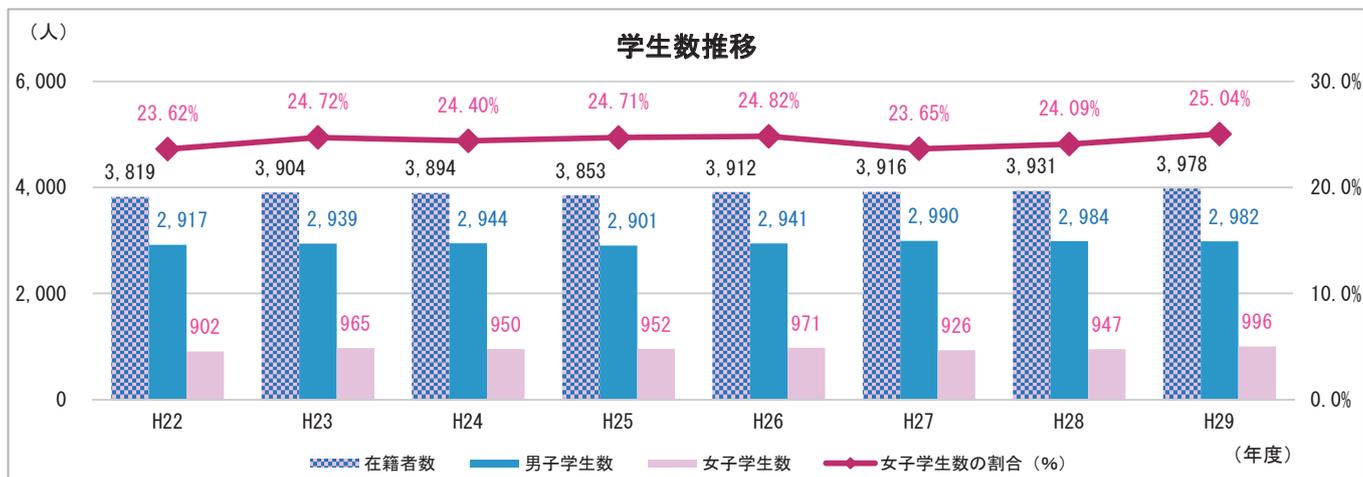
※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

### 3-2. 修士課程

#### 3-2-1. 修士課程(全体)

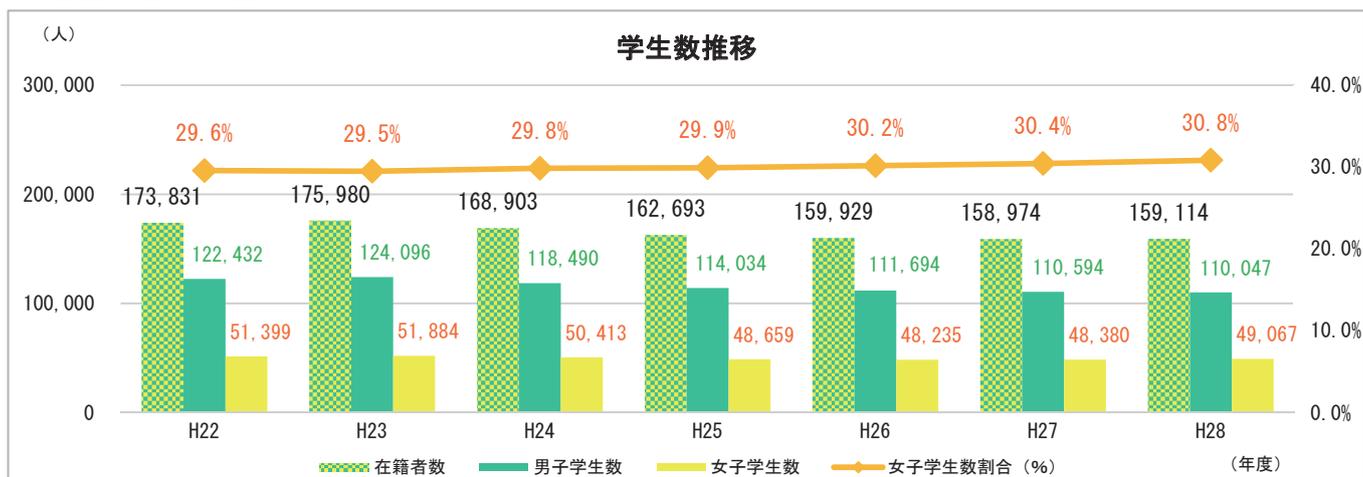
学部ほど顕著ではないが、修士課程においても全国と比較すると在籍者数に占める女子学生の割合は下回っている。全国的には女子学生の割合が若干増加傾向にあるが本学ではそれが見られない。

##### ◆九州大学◆

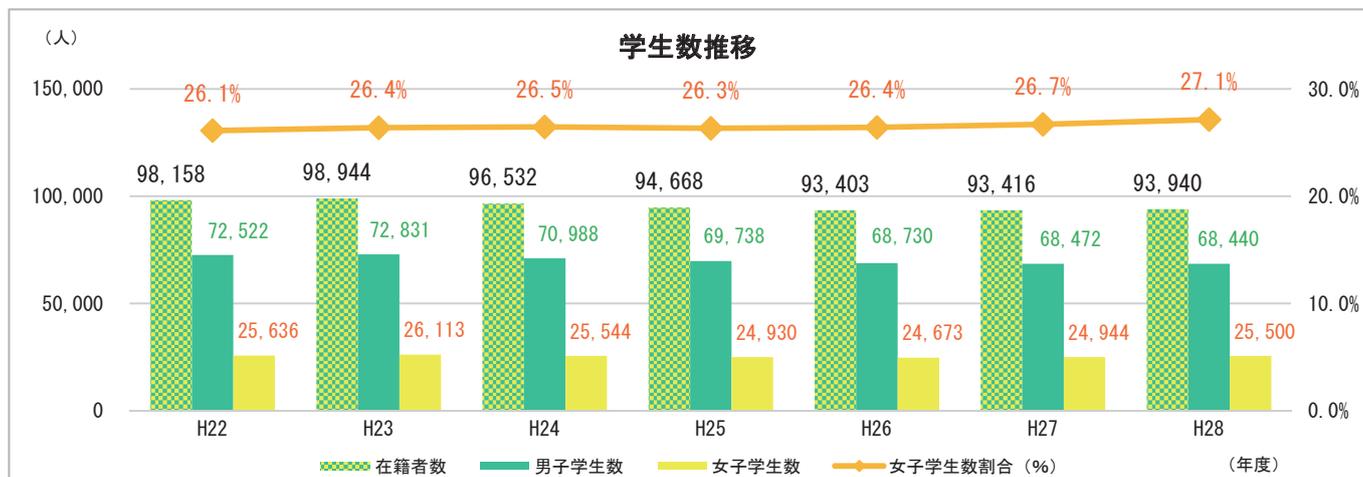


※学生数には、休学生数を含む(以下、同様)。

##### ◆全国 国公立大学◆



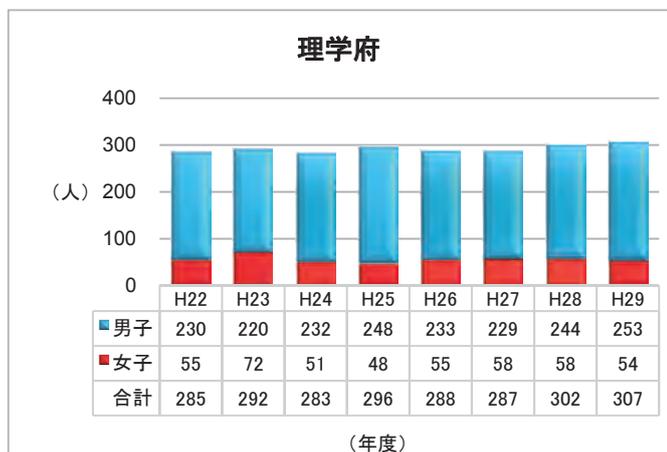
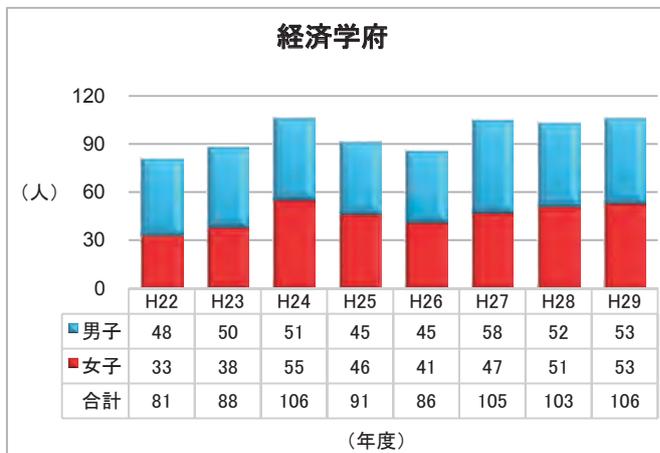
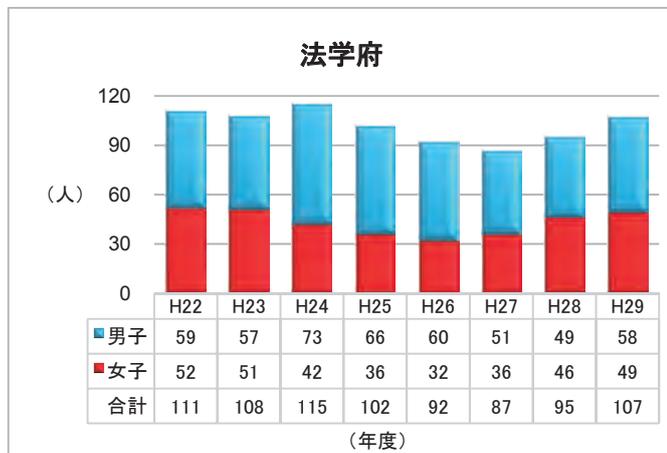
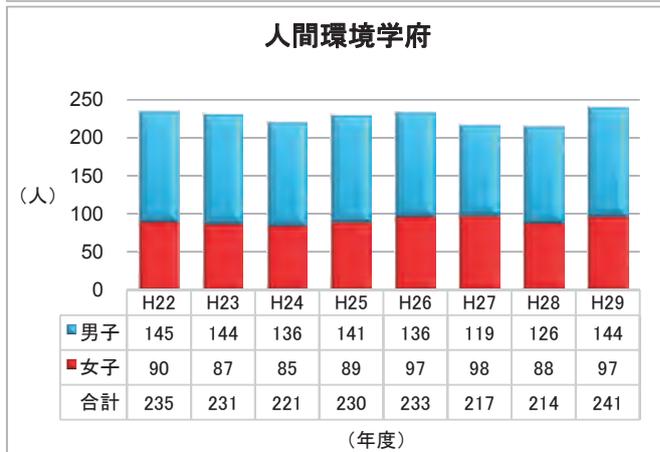
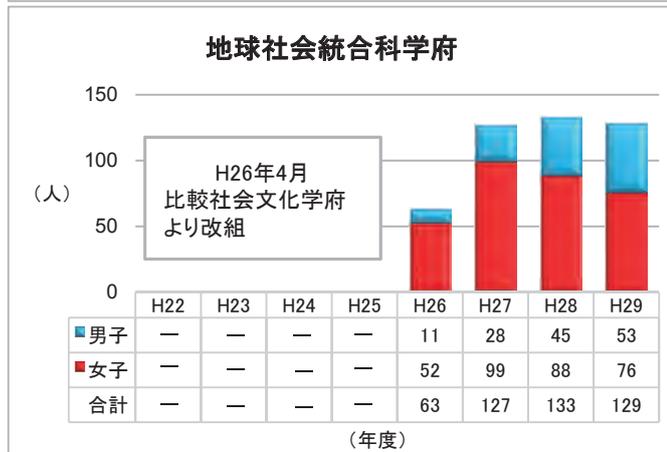
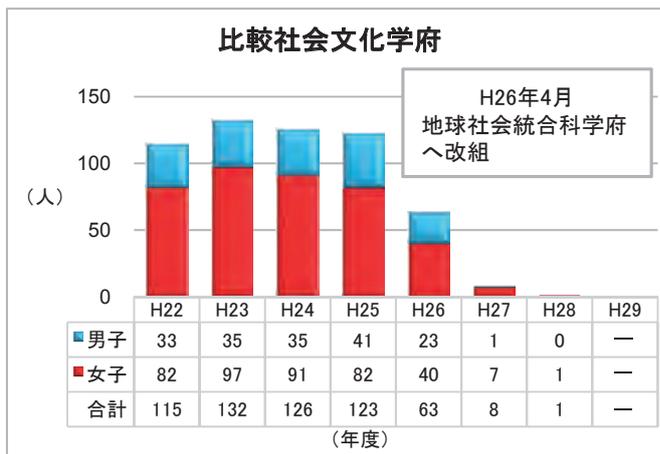
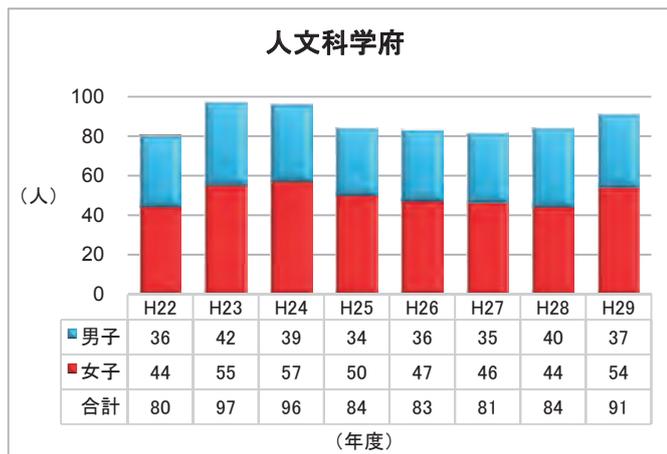
##### ◆全国 国立大学◆



※出典

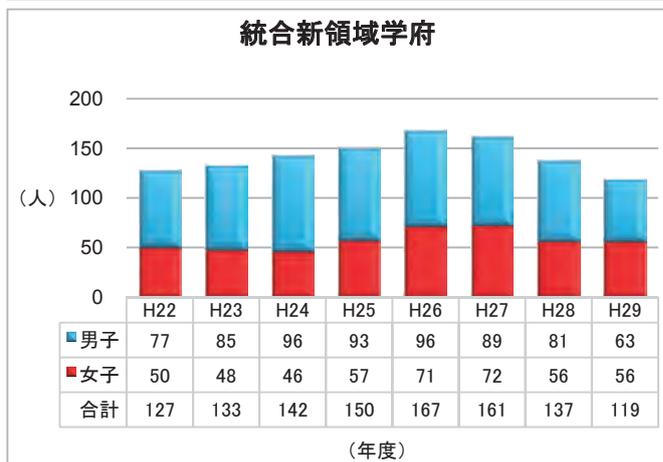
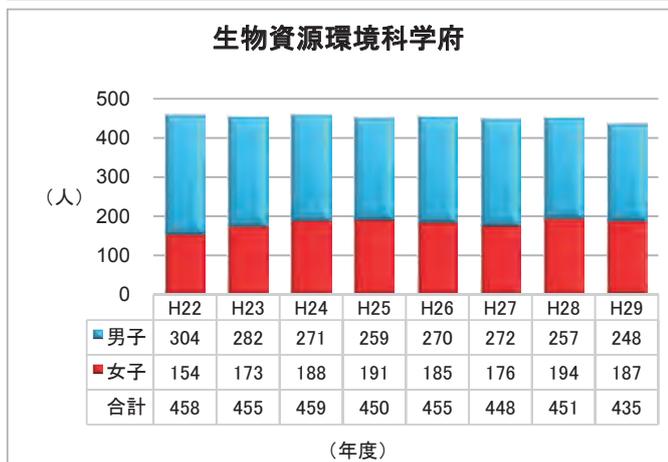
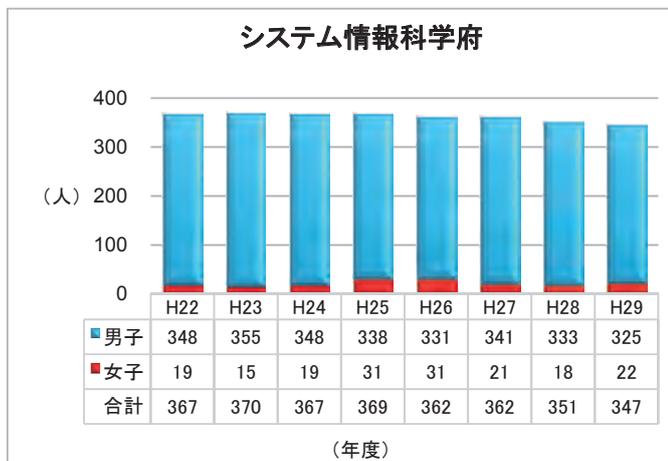
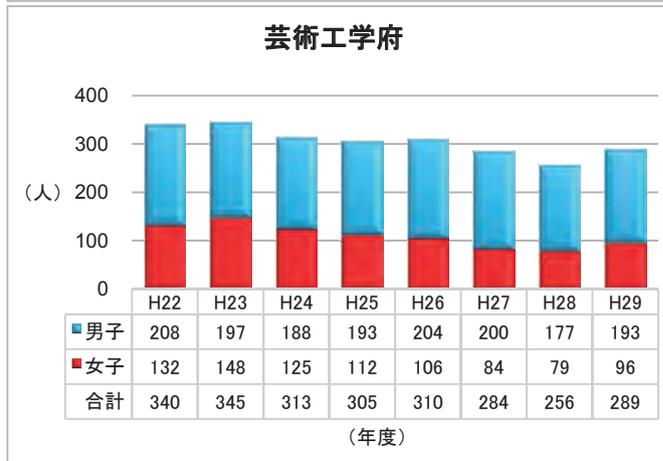
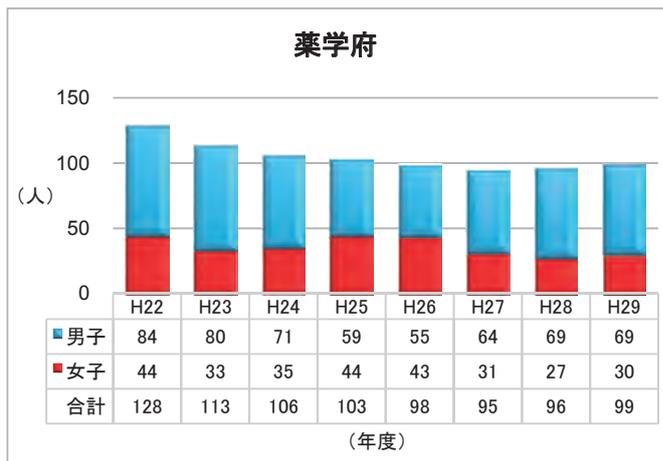
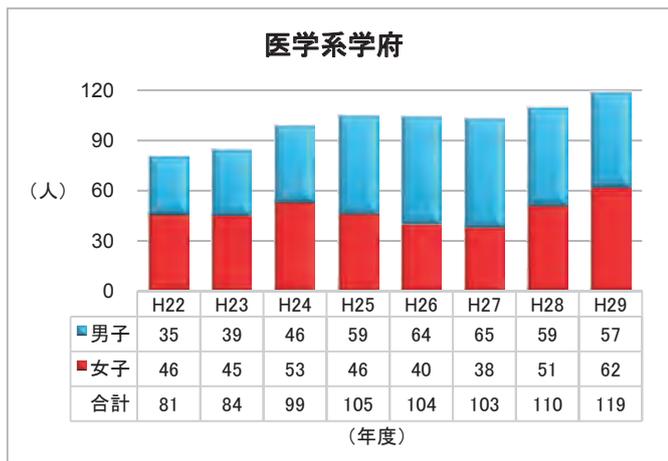
- ・本学:九州大学概要(各年度5月1日現在)
- ・全国:文部科学省 文部科学統計要覧

### 3-2-2. 修士課程(学府別・在籍学生数)



※出典:九州大学概要(各年度5月1日現在)

3-2-2. 修士課程(学府別・在籍学生数)(つづき)



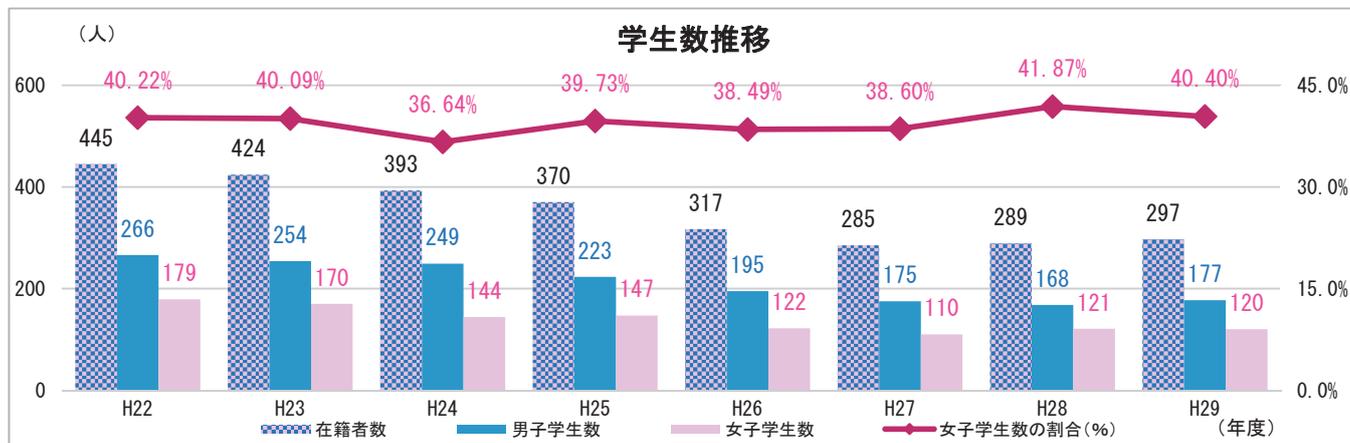
※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

### 3-3. 専門職学位課程

#### 3-3-1. 専門職学位課程(全体)

全国と比較すると在籍者数に占める女子学生の割合が上回っている。全国的に学生数は減少傾向であるが、女子学生の割合が若干増加傾向なのが見られる。

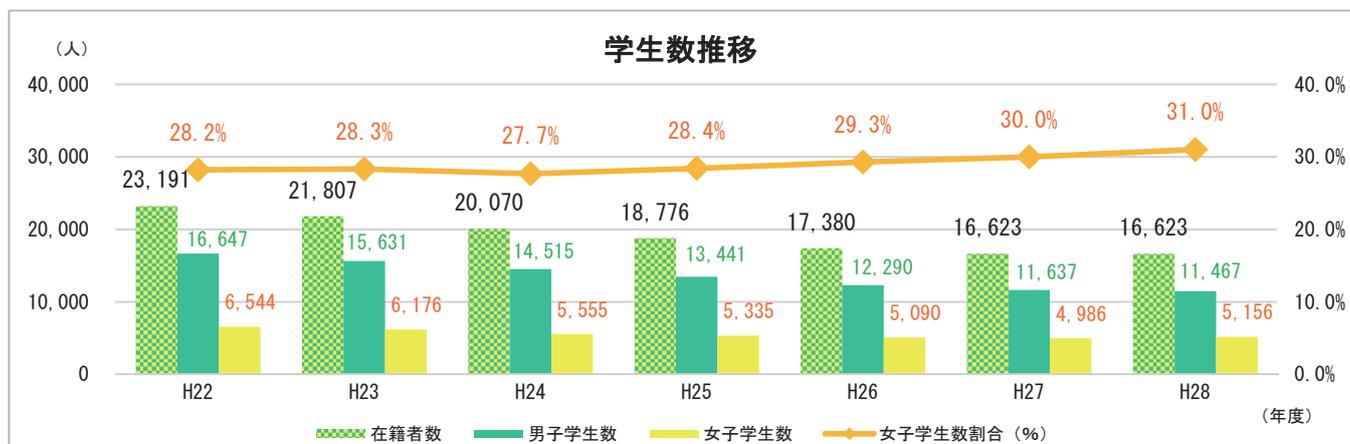
##### ◆九州大学◆



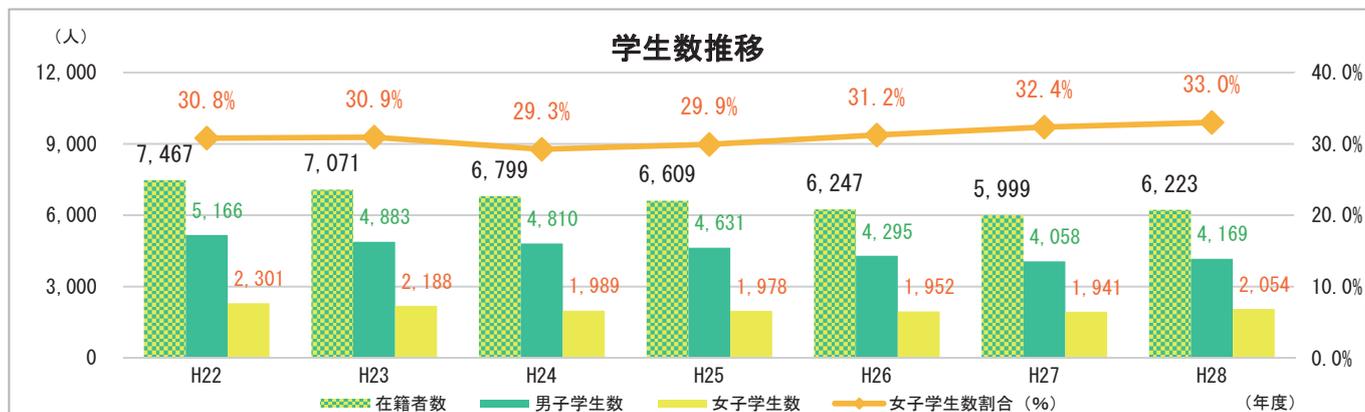
専門職学位課程： 人間環境学府実践臨床心理学専攻【臨床心理分野専門職大学院】  
 法務学府実務法学専攻【法科大学院】  
 経済学府産業マネジメント専攻【経営系専門職大学院】  
 医学系学府医療経営・管理学専攻【公衆衛生系専門職大学院】

※学生数には、休学生数を含む(以下、同様)。

##### ◆全国 国公立大学◆



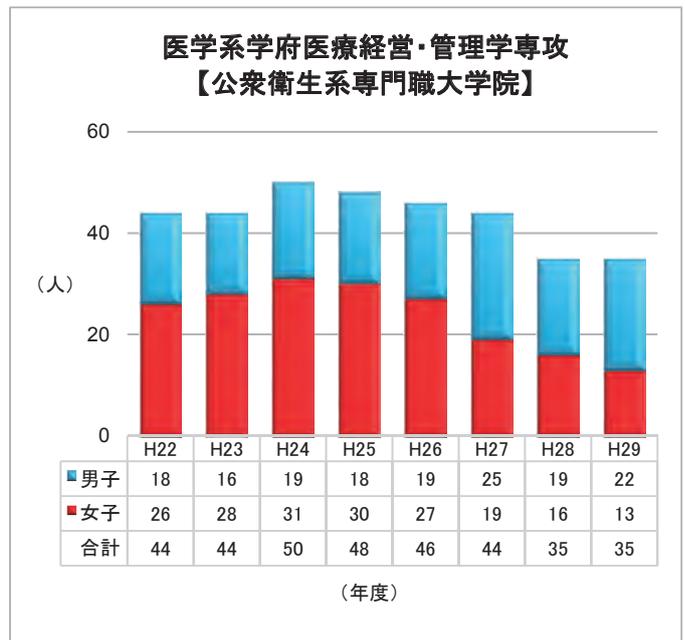
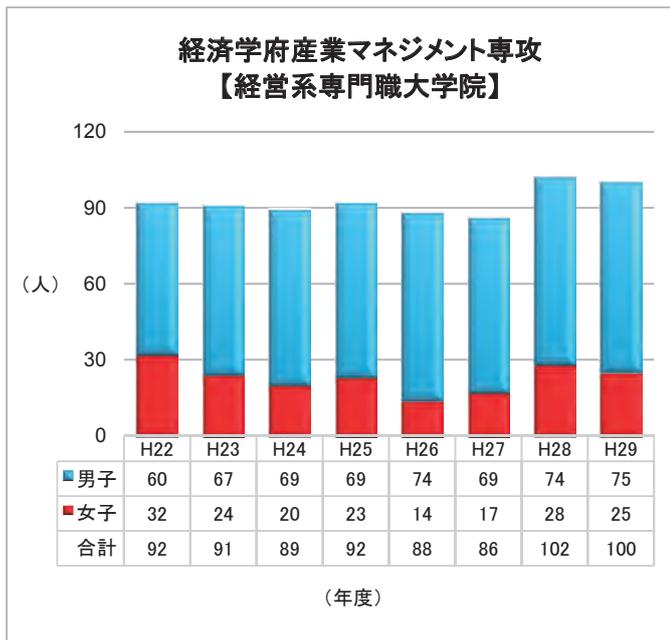
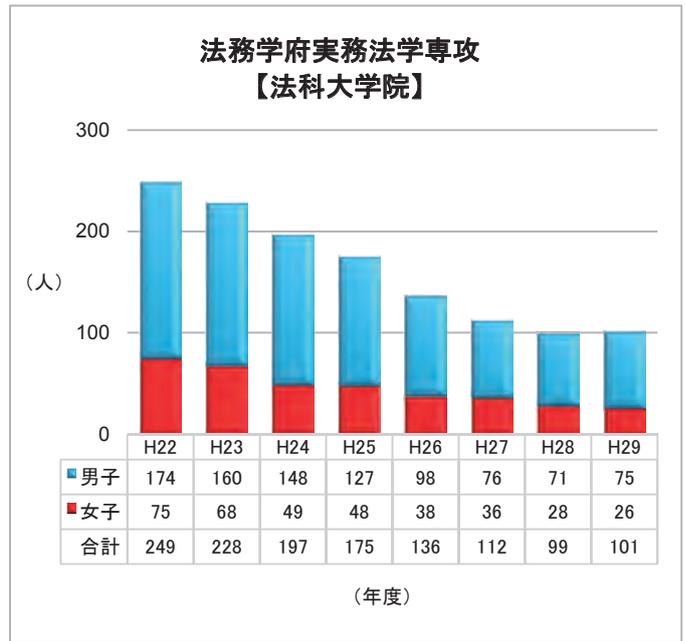
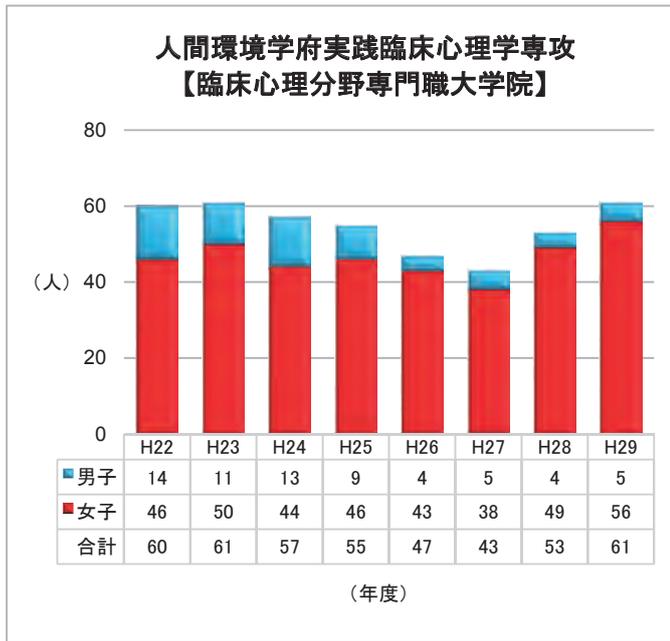
##### ◆全国 国立大学◆



※出典

- ・本学：九州大学概要(各年度5月1日現在)
- ・全国：文部科学省 文部科学統計要覧

### 3-3-2. 専門職学位課程(学府別・在籍学生数)



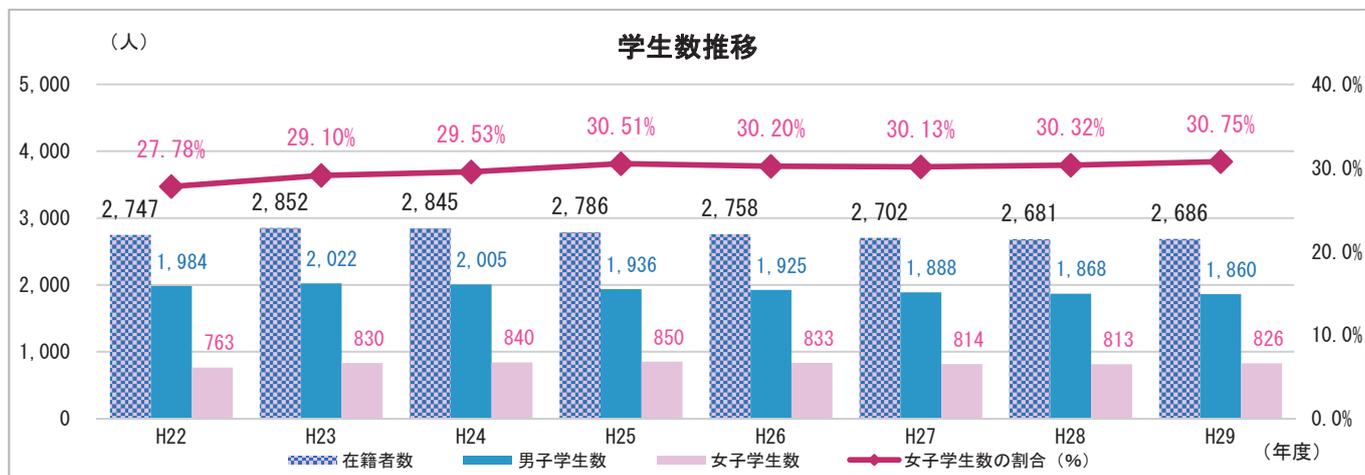
※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

### 3-4. 博士後期課程

#### 3-4-1. 博士後期課程(全体)

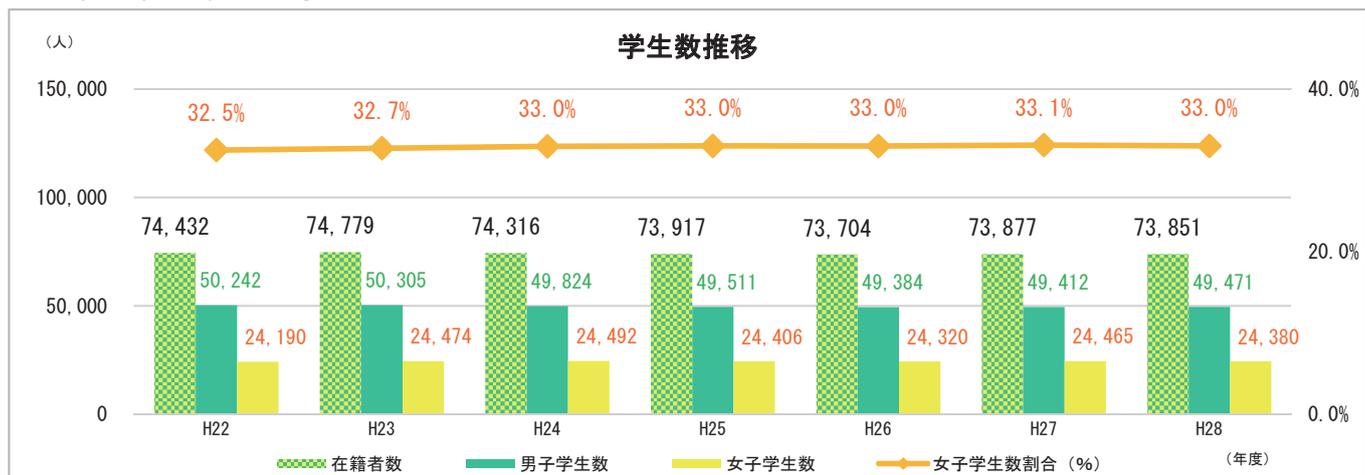
全国ともに学生数及び女子学生の割合に大きな変化は見られない。本学では在籍学生数に占める女子学生数の割合が若干増加傾向であることが分かるが、男子学生数が全体的に減少傾向でもある。

##### ◆九州大学◆

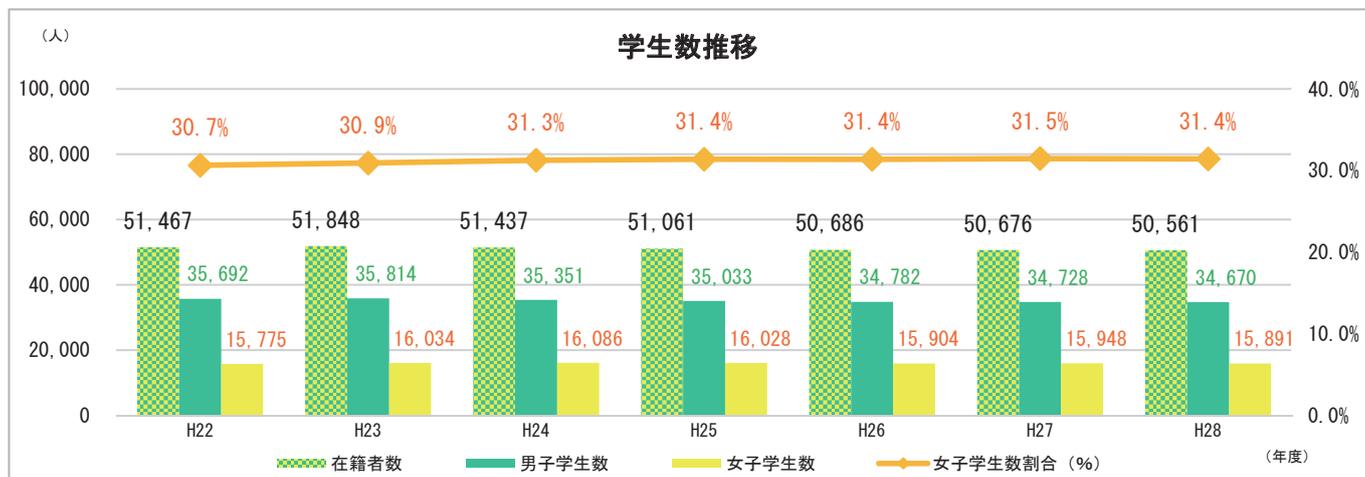


※学生数には、休学生数を含む(以下、同様)。

##### ◆全国 国公立大学◆



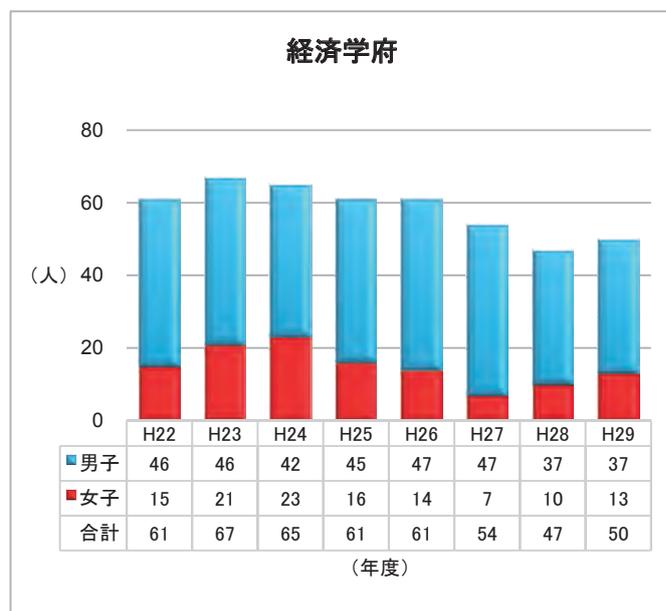
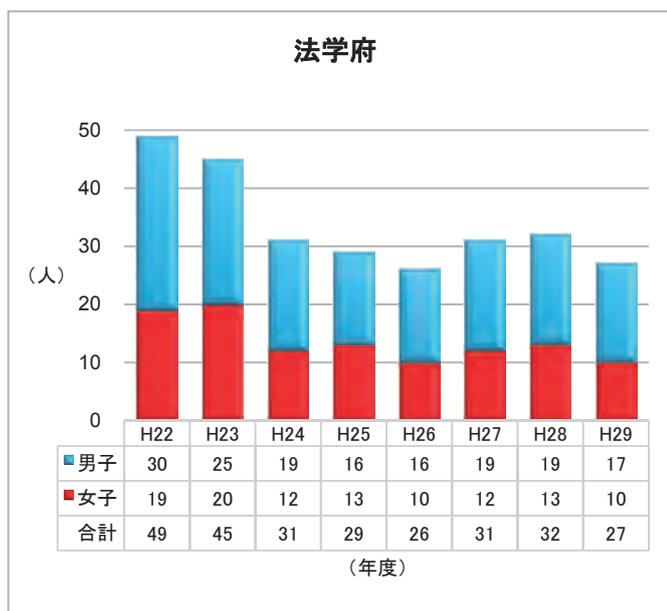
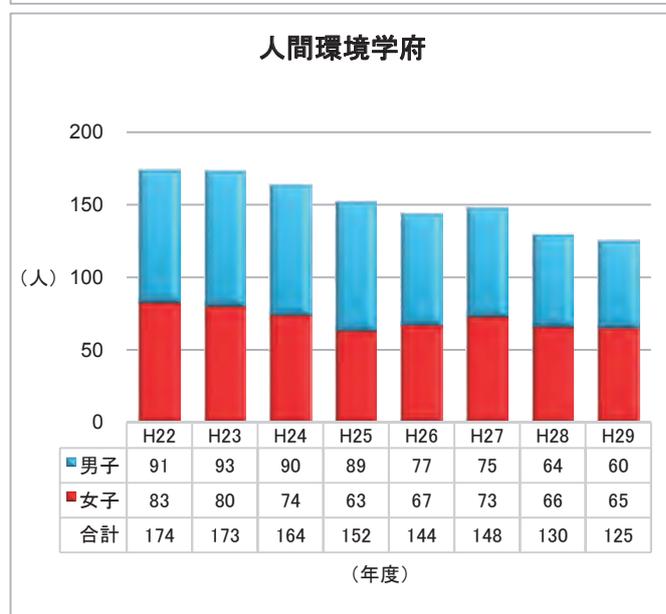
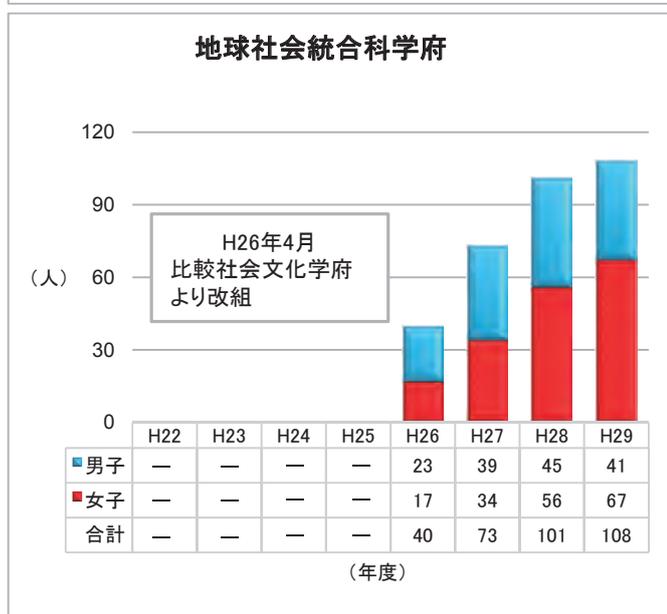
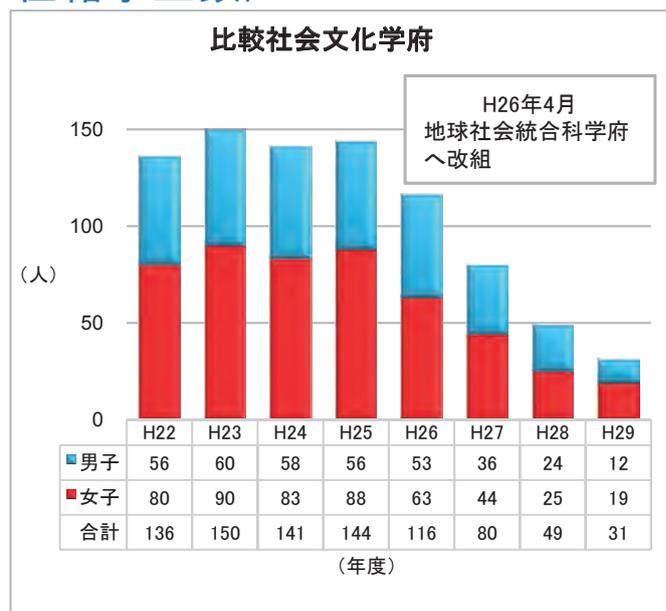
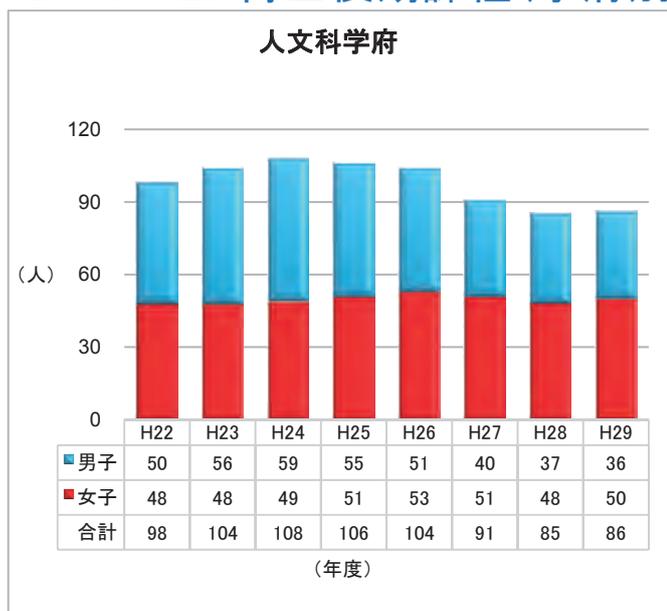
##### ◆全国 国立大学◆



※出典

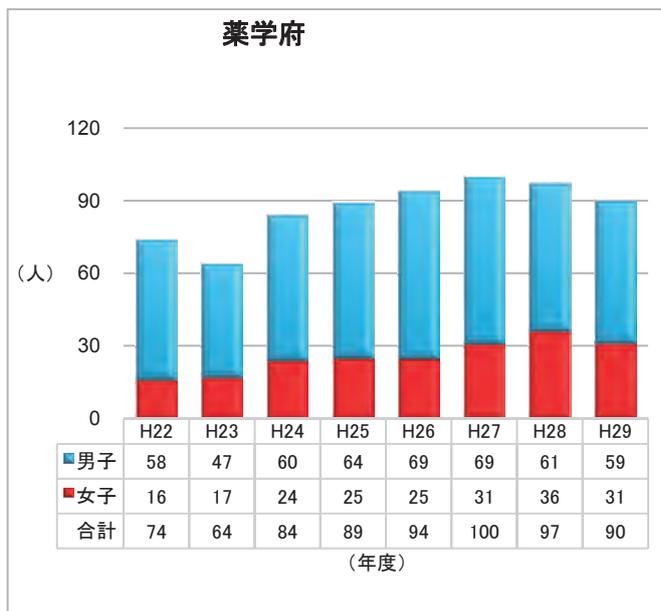
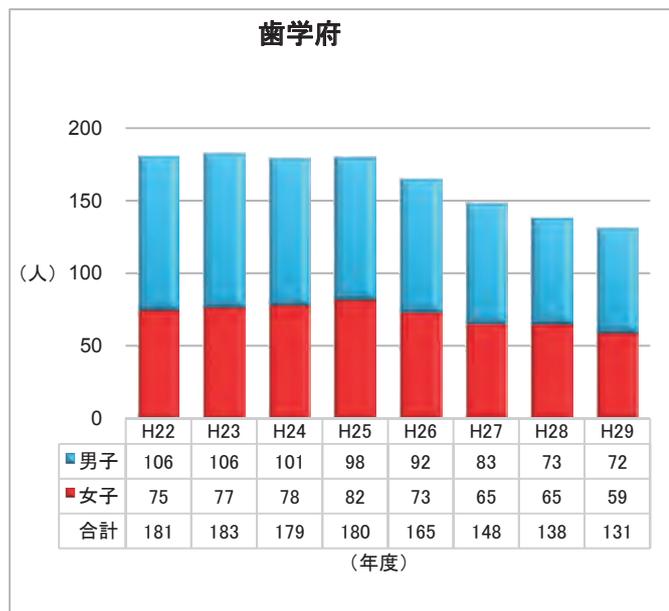
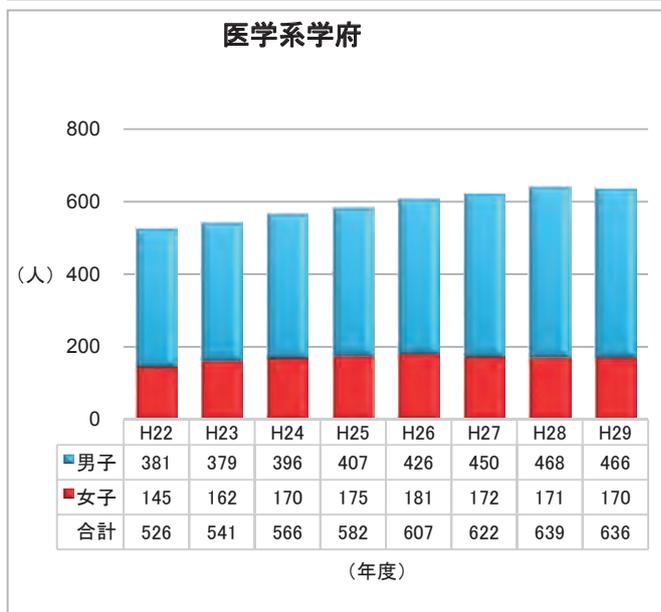
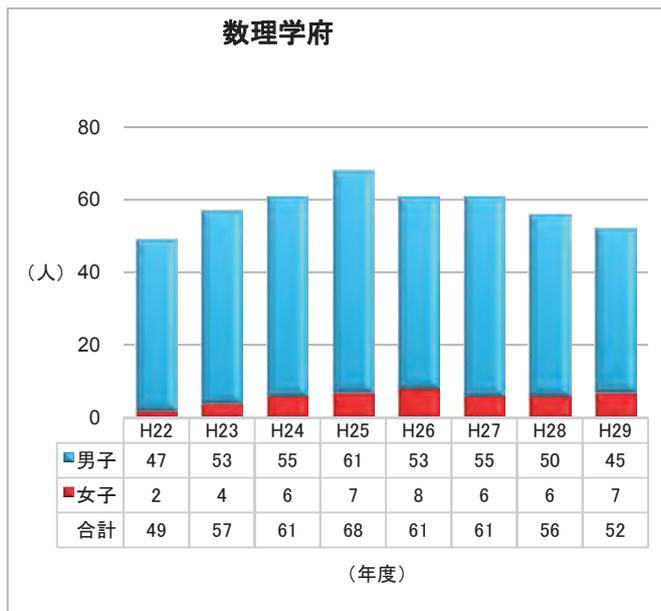
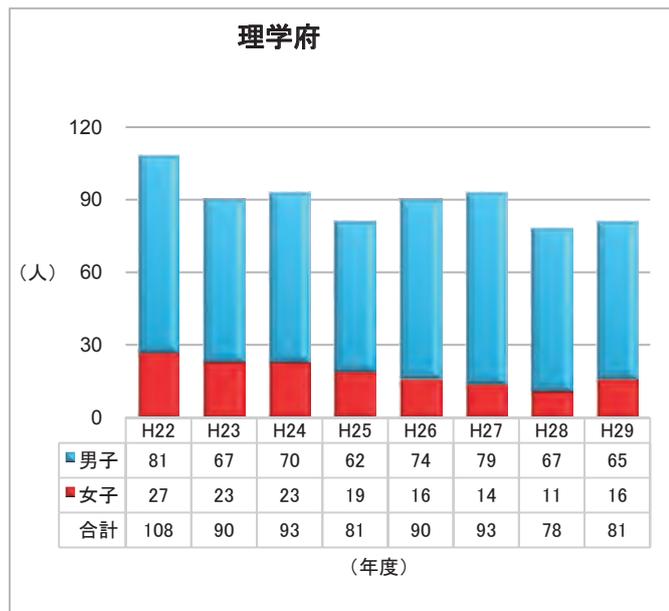
- ・本学:九州大学概要(各年度5月1日現在)
- ・全国:文部科学省 文部科学統計要覧

### 3-4-2. 博士後期課程(学府別・在籍学生数)



※出典:九州大学概要(各年度5月1日現在)

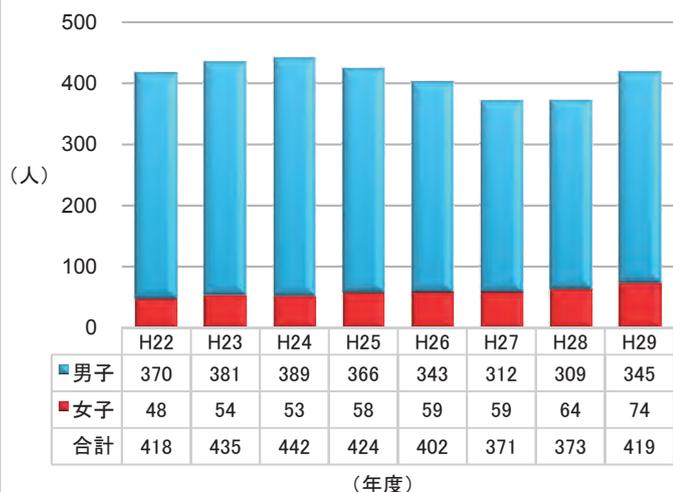
3-4-2. 博士課程(学府別・在籍学生数)(つづき)



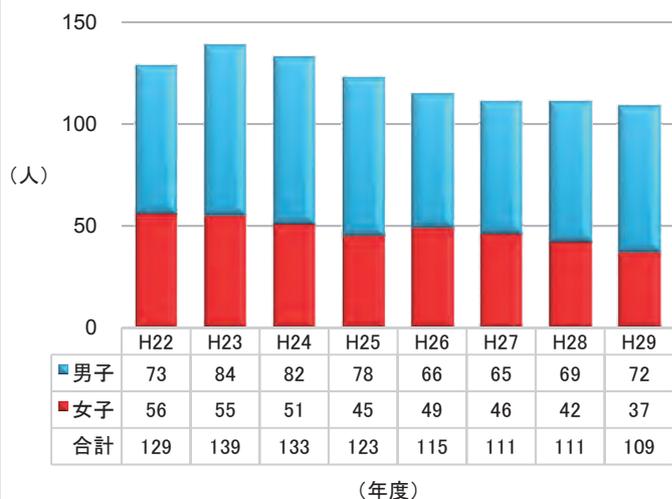
※出典:九州大学概要(各年度5月1日現在)

3-4-2. 博士課程(学府別・在籍学生数)(つづき)

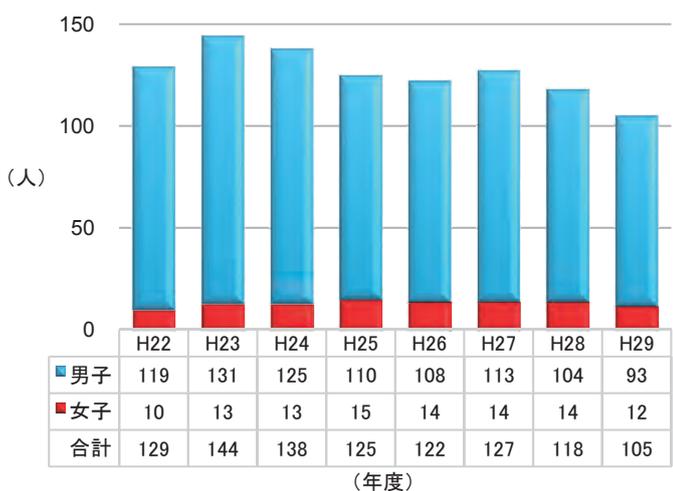
工学府



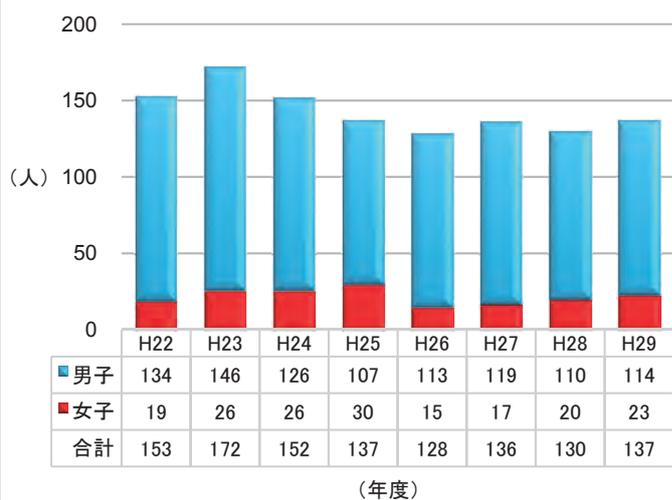
芸術工学府



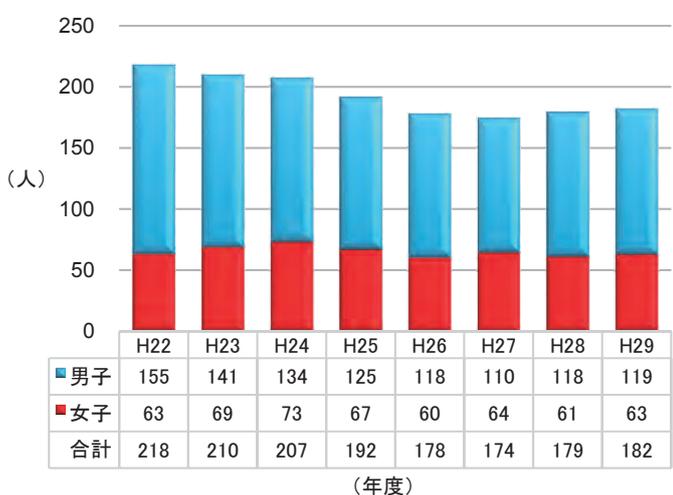
システム情報科学府



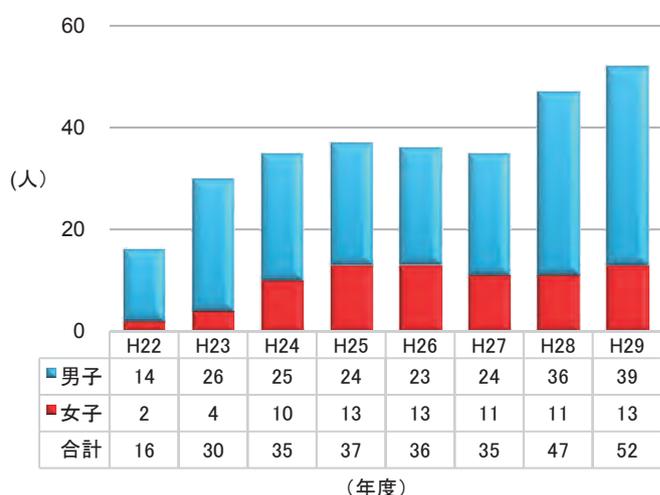
総合理工学府



生物資源環境科学府



統合新領域学府



※出典:九州大学概要(各年度5月1日現在)

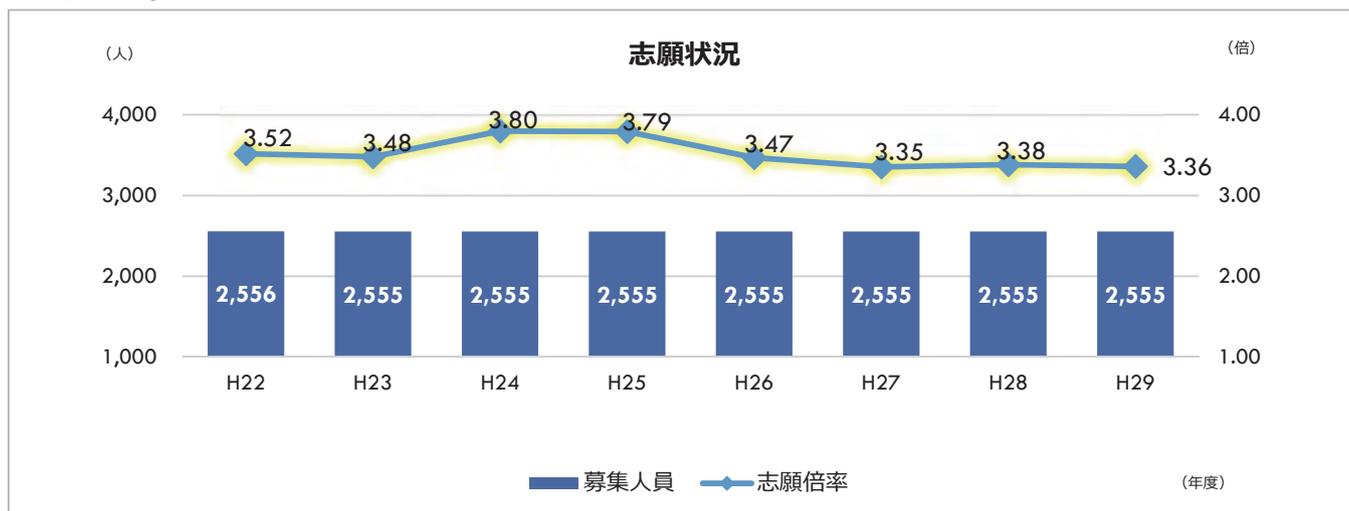
## 4. 志願状況 (各年度4月1日現在)

### 4-1. 志願状況(学部)

#### 4-1-1. 志願状況推移(学部・一般選抜)

九州大学の学部一般選抜（一般入試）の志願倍率は、**3.3～3.8倍**で推移している。平成27年度入試においては、志願倍率は、**3.35倍**と最も低い。なお、全国的にも国立大学志願者は減少傾向である。

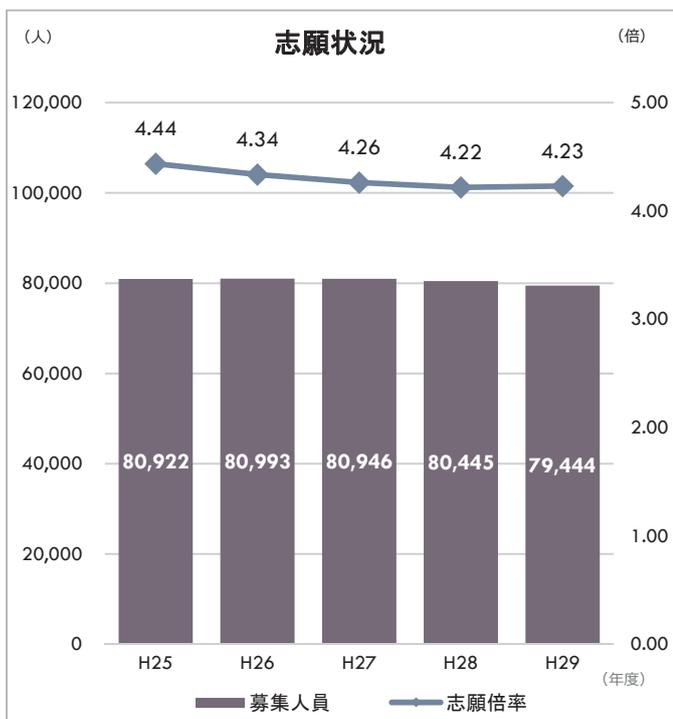
#### ◆九州大学◆



※上記志願者数、受験者数、合格者数、募集人員は、前期日程、後期日程、A0入試、帰国子女入試、社会人入試、外国人留学生入試（4月入学）（国費等含む）を含む。

※出典：九州大学学務部入試課データ「入試統計資料」

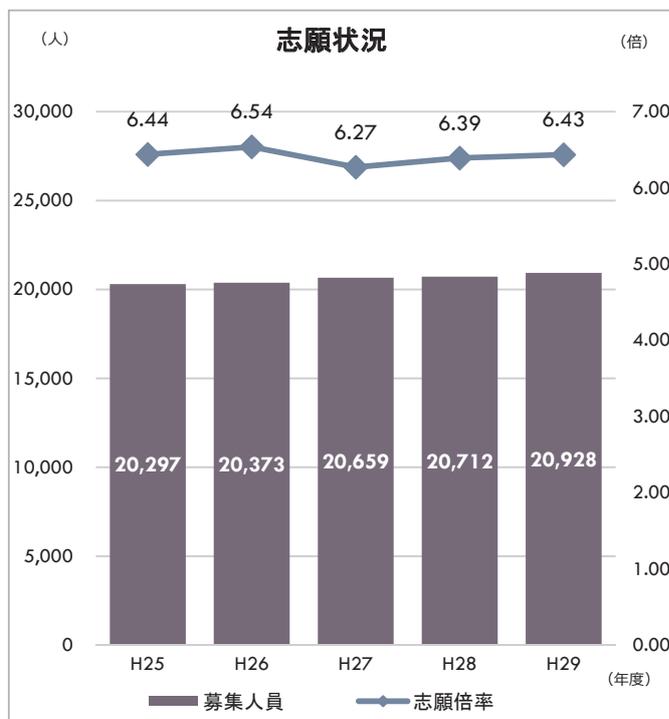
#### ◆全国 国立大学◆



※募集人員、志願者数については、一般入試に係るものである。  
 ※国際教養大学と新潟県立大学は、独自日程による試験実施のため含まない。  
 ※平成25年度以降掲載のためそれ以前のデータなし。

※出典：文部科学省「国公立大学入学者選抜の志願状況等」

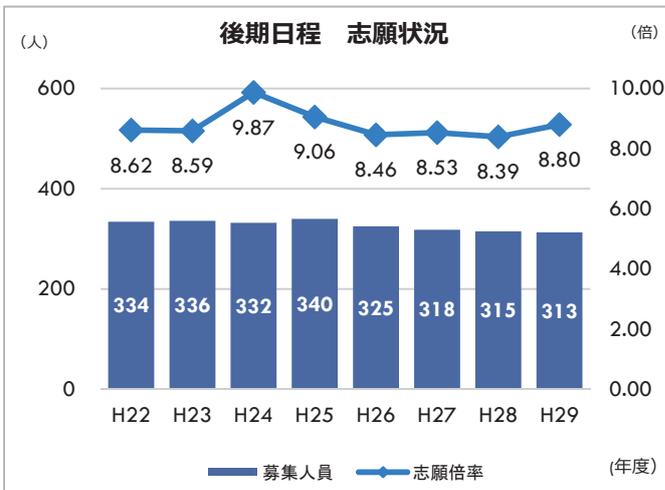
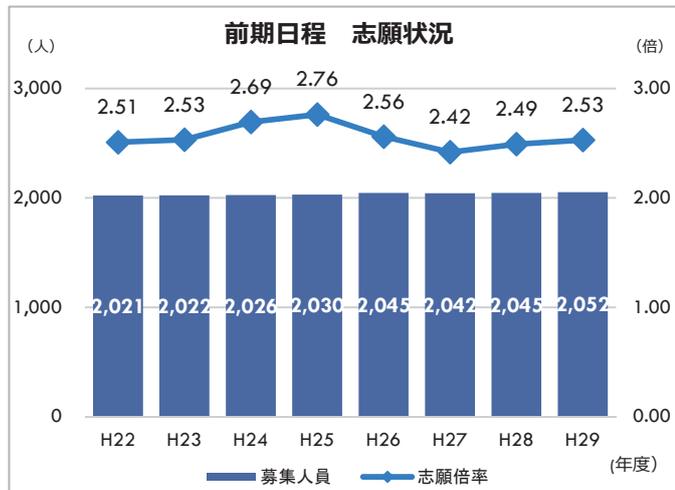
#### ◆全国 公立大学◆



## 4-1-2. 志願状況推移(学部・一般選抜／日程別)

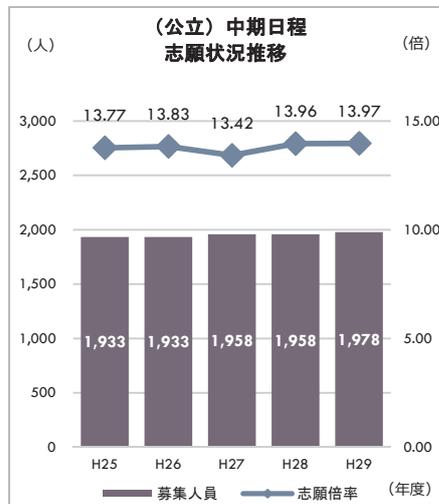
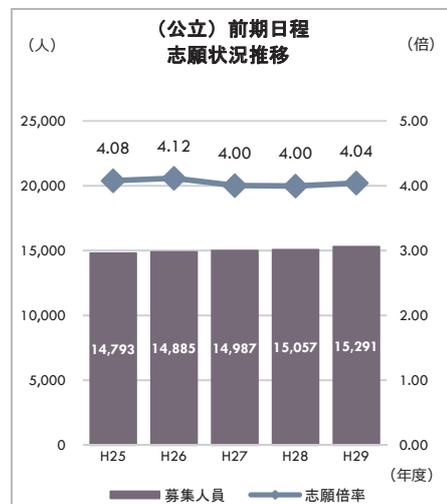
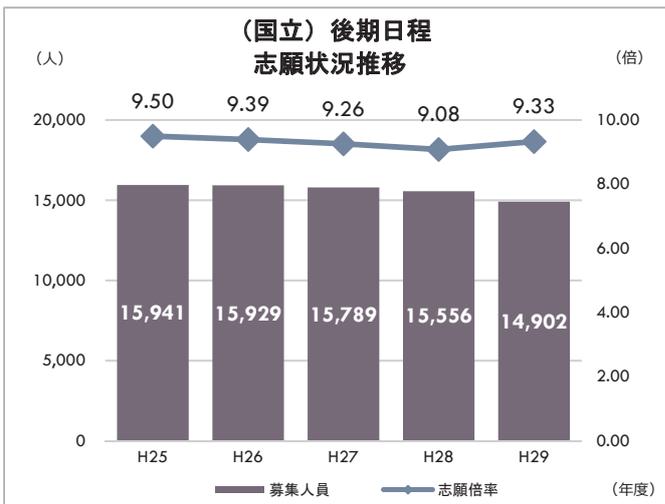
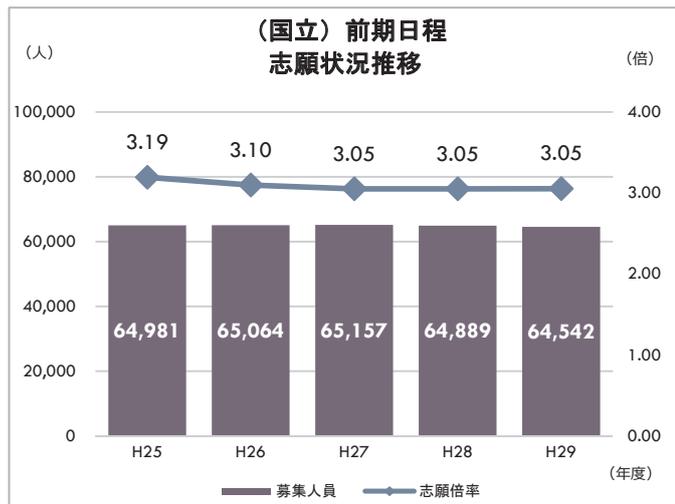
全国と比較しても大きな変化は見られない。国立大学は募集人員が減少傾向にあるが、公立大学は増加傾向に見られる。

### ◆九州大学◆



出典：九州大学学務部入試課データ「志願状況 日程別推移」

### ◆全国◆



※国際教養大学と新潟県立大学は、独自日程による試験実施のため含まない。  
 ※平成25年度以降掲載のためそれ以前のデータなし。

※出典：文部科学省 「国公立大学入学者選抜の志願状況等」

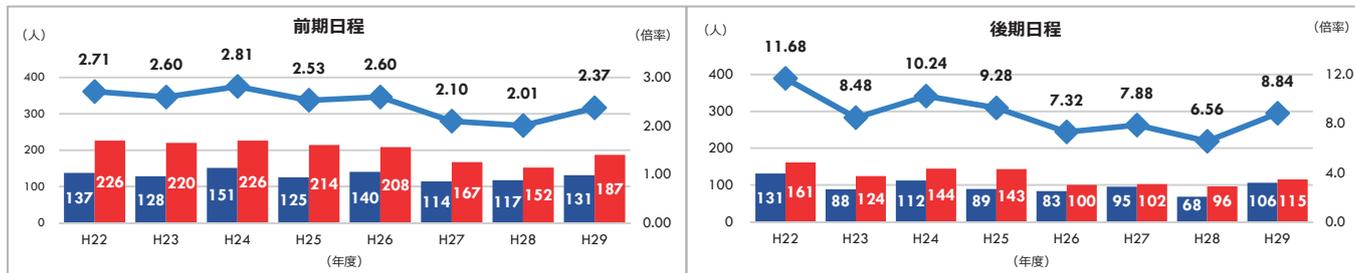
### 4-1-3. 志願状況推移(学部・一般選抜/学部別)

前期日程は2.4~2.8倍、後期日程は8.3倍~9.9倍の志願倍率を推移しており、安定して入学者を確保している。

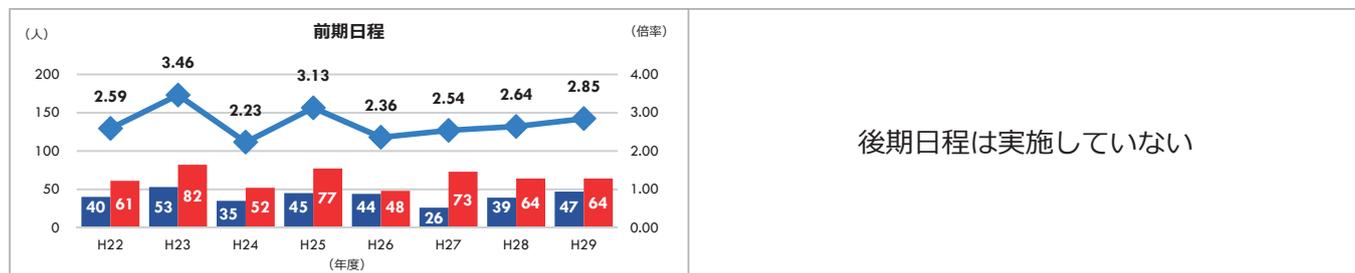
#### ◆文科系学部(文学部、教育学部、法学部、経済学部)

【文学部】(募集人員:159名)

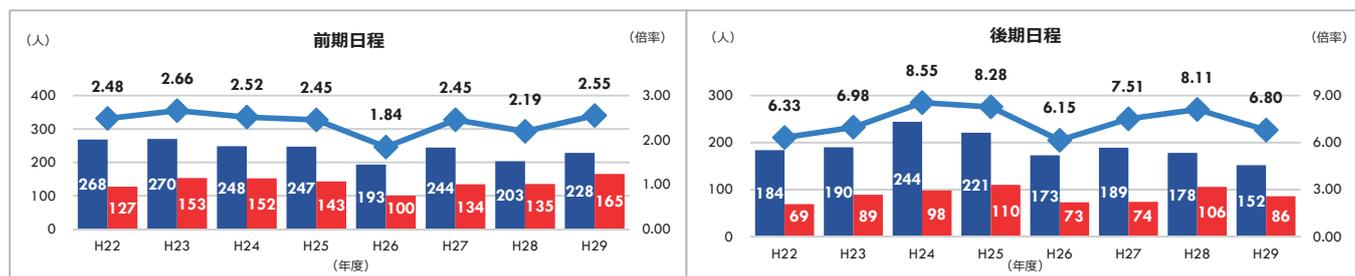
■ 男子志願者数 ■ 女子志願者数 ◆ 志願倍率



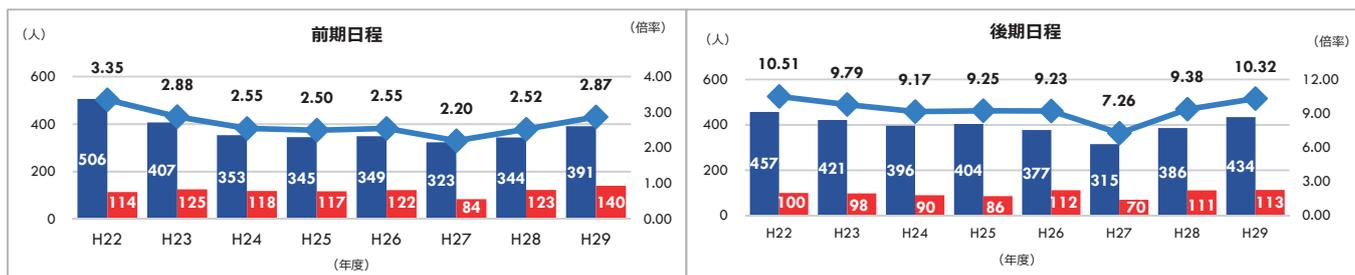
【教育学部】(募集人員:49名)



【法学部】(募集人員:199名)

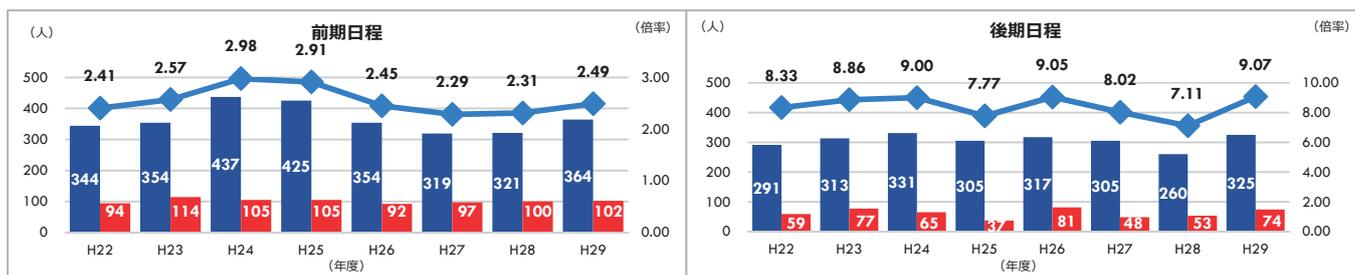


【経済学部】(募集人員:238名)



#### ◆理科学部(理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、芸術工学部、農学部)

【理学部】(募集人員:272名)

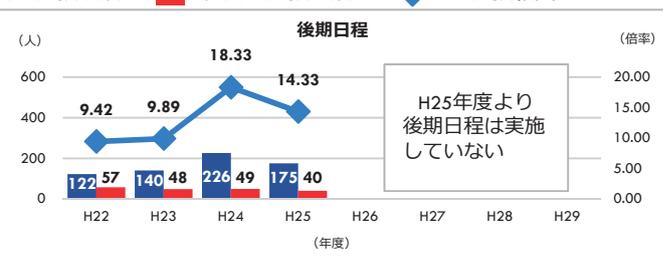
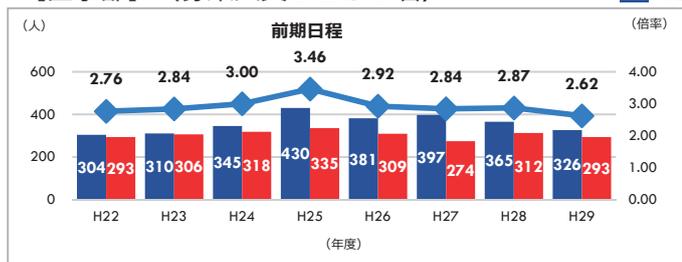


出典:九州大学学務部入試課保有データ「入試統計資料」

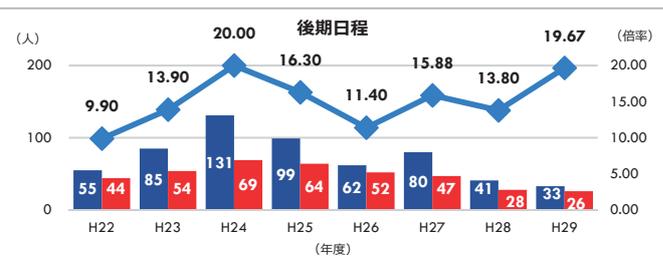
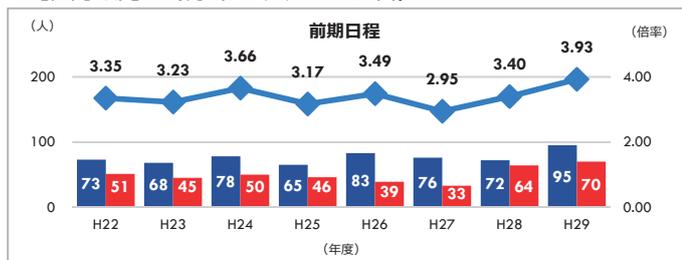
4-1-3. 志願状況推移(学部・一般選抜/学部別)(つづき)

【医学部】(募集人員: 257名)

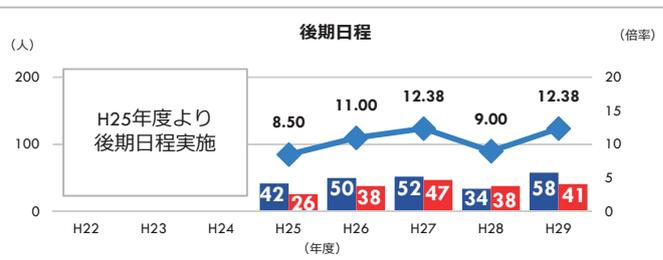
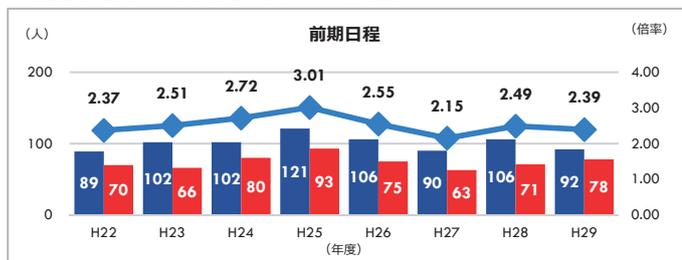
■ 男子志願者数 ■ 女子志願者数 ◆ 志願倍率



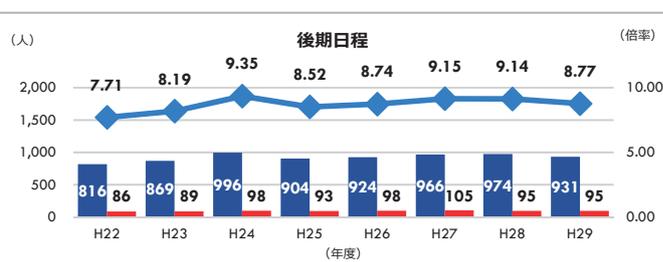
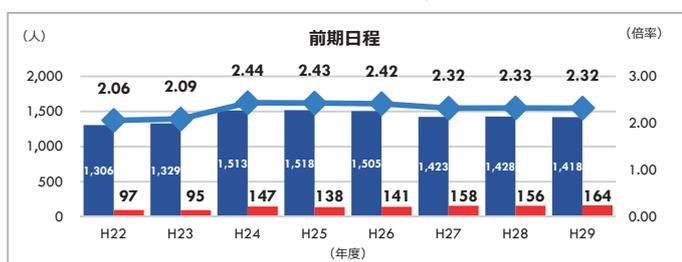
【歯学部】(募集人員: 53名)



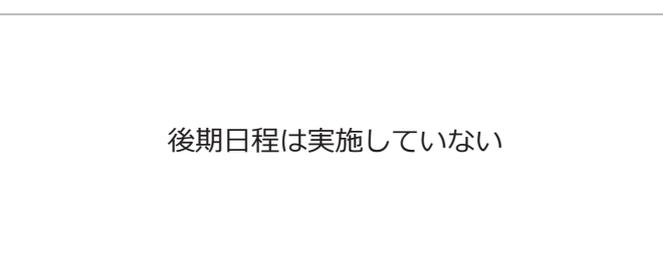
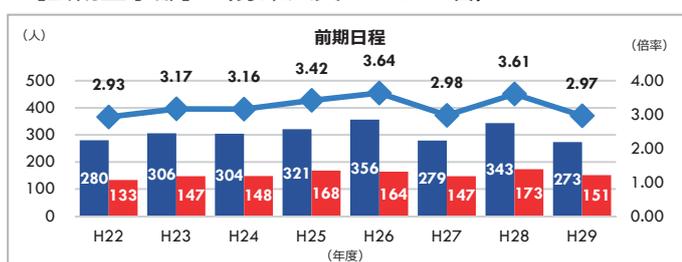
【薬学部】(募集人員: 79名)



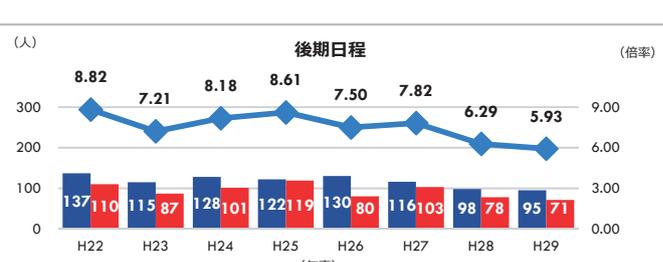
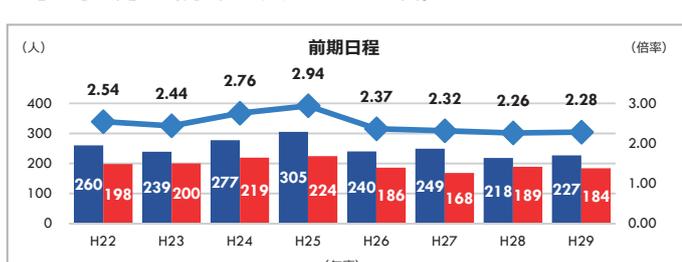
【工学部】(募集人員: 798名)



【芸術工学部】(募集人員: 197名)



【農学部】(募集人員: 228名)



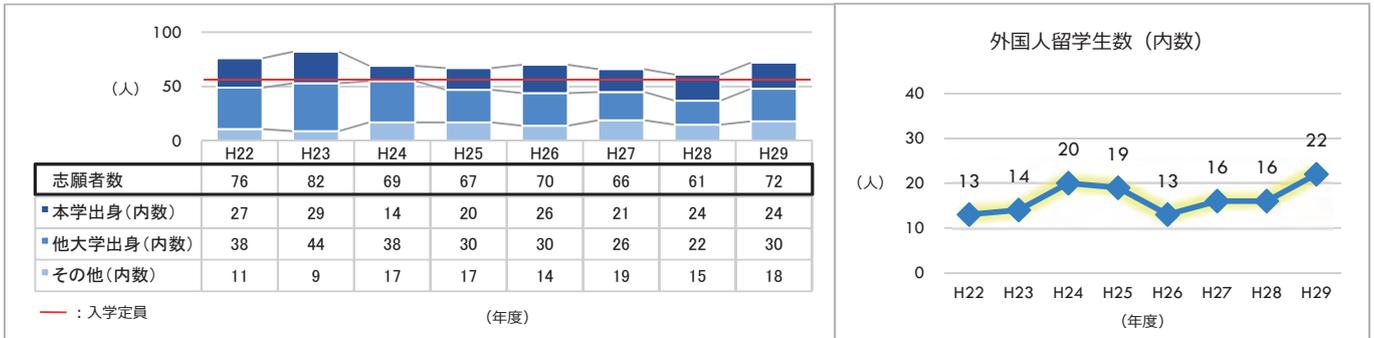
出典: 九州大学学務部入試課保有データ「入試統計資料」

## 4-2. 志願状況(大学院)

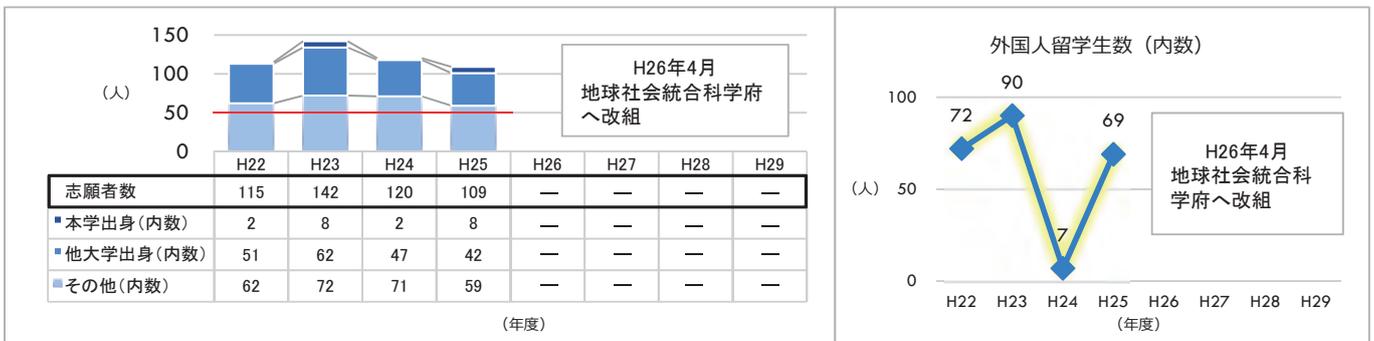
### 4-2-1. 志願状況推移(大学院\_修士課程)

学部別に状況は異なるものの、外国人留学生を確保できている状況である。殆どの学府では、本学出身者を確保しているが、地球社会統合科学府においては、大きく異なる。

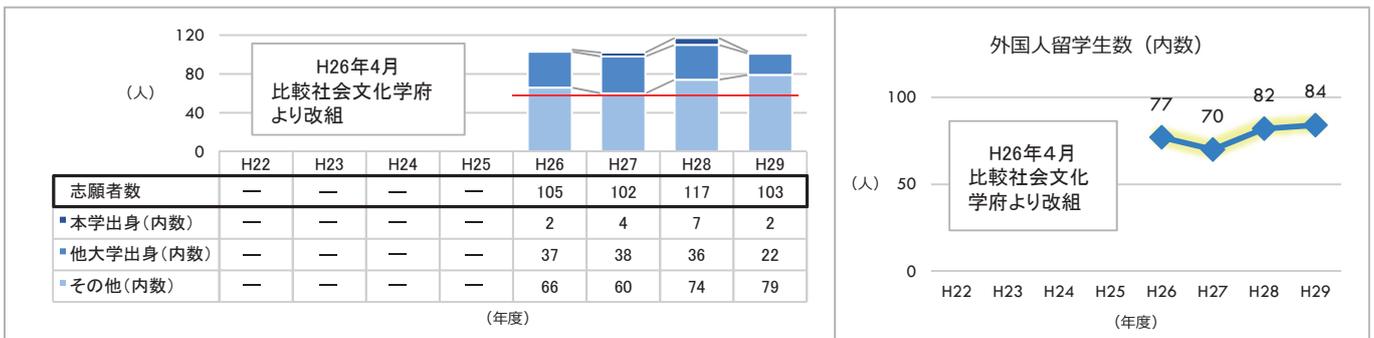
【人文科学府】（入学定員：56名）



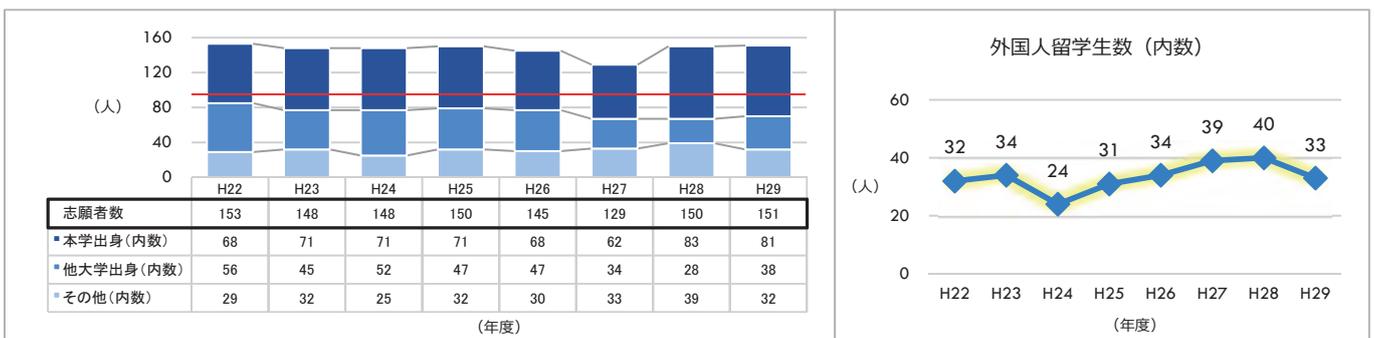
【比較社会文化学府】（入学定員：50名）※H26年度より募集停止



【地球社会統合科学府】（入学定員：60名）



【人間環境学府】（入学定員：95名）

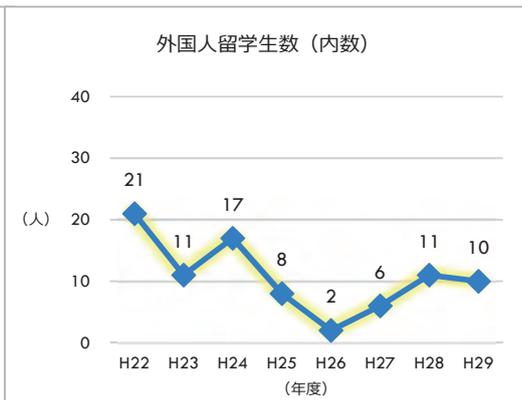
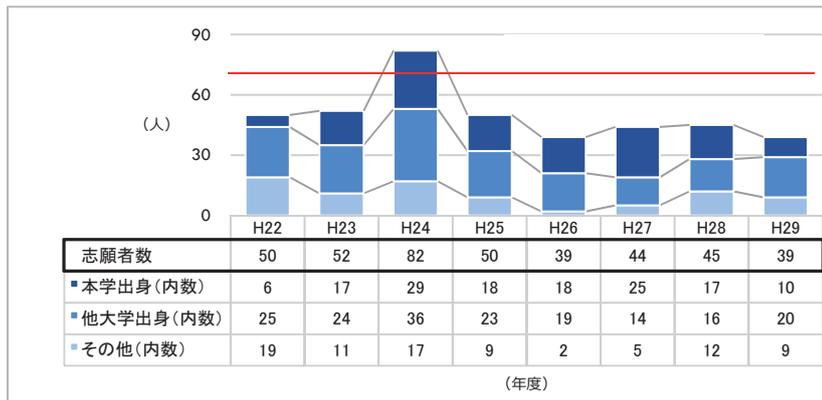


※平成26年度に、比較文化学府は地球社会文化学府へ改組した。

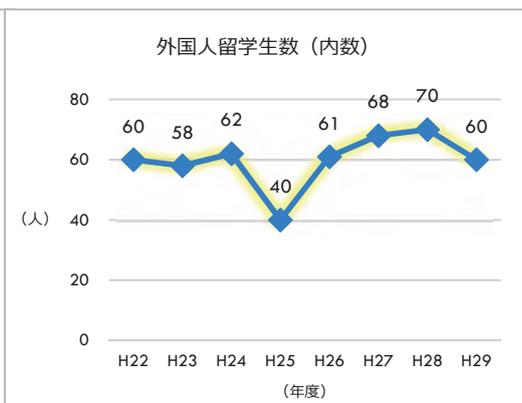
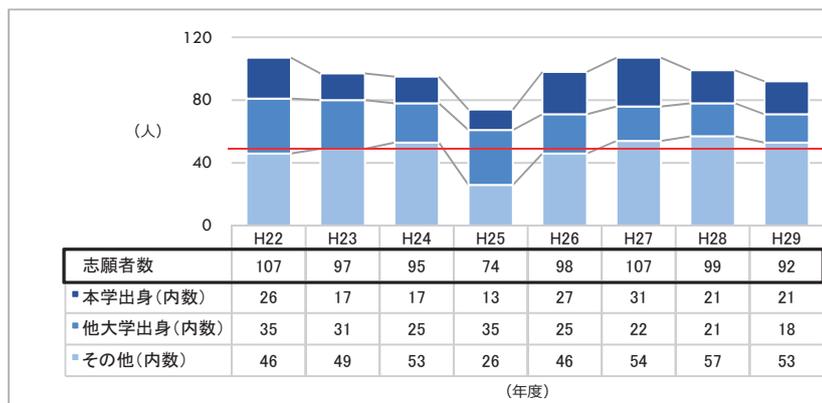
出典：九州大学学務部入試課保有データ「[大学院]入学状況」

4-2-1. 志願状況推移(大学院\_修士課程)(つづき)

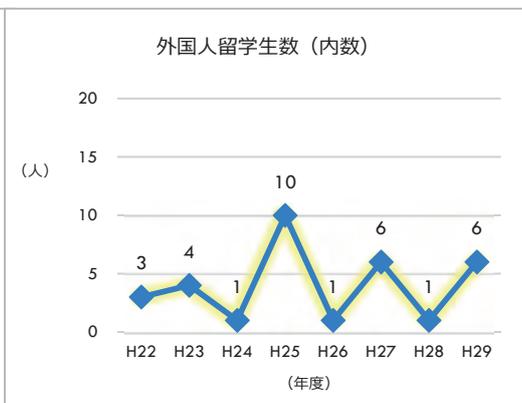
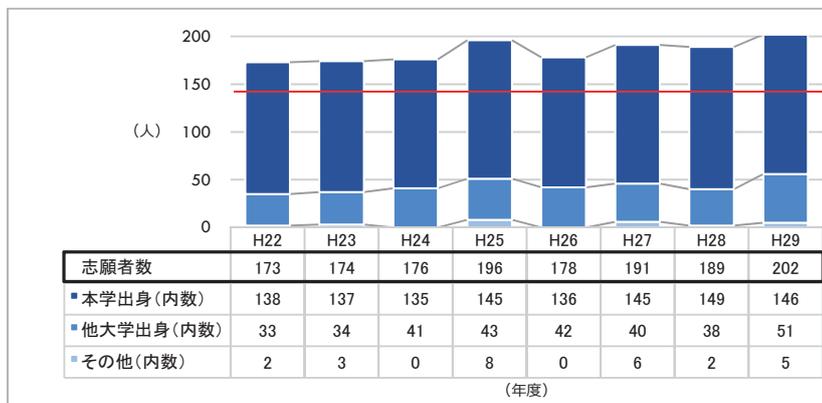
【法学府】(入学定員: 72名)



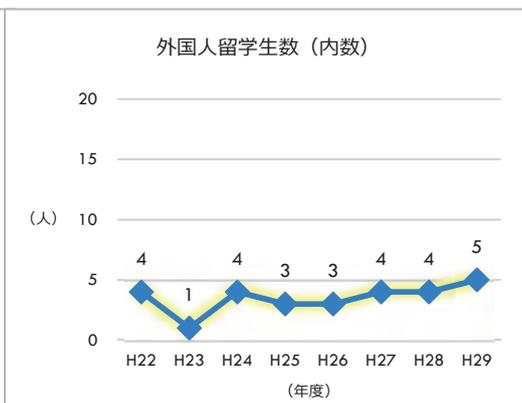
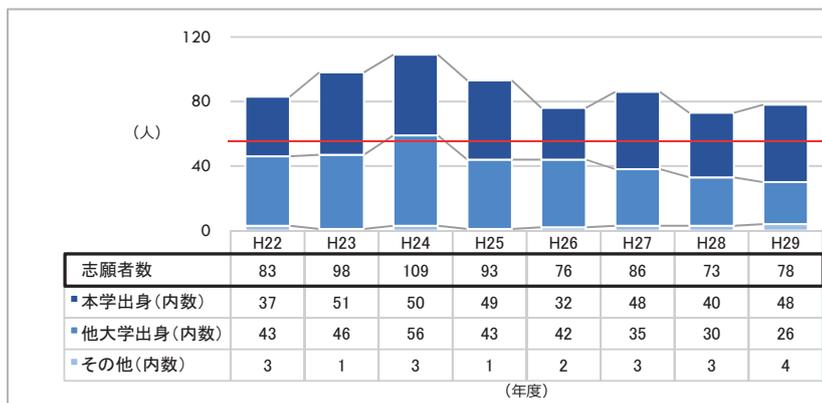
【経済学府】(入学定員: 47名)



【理学府】(入学定員: 144名)



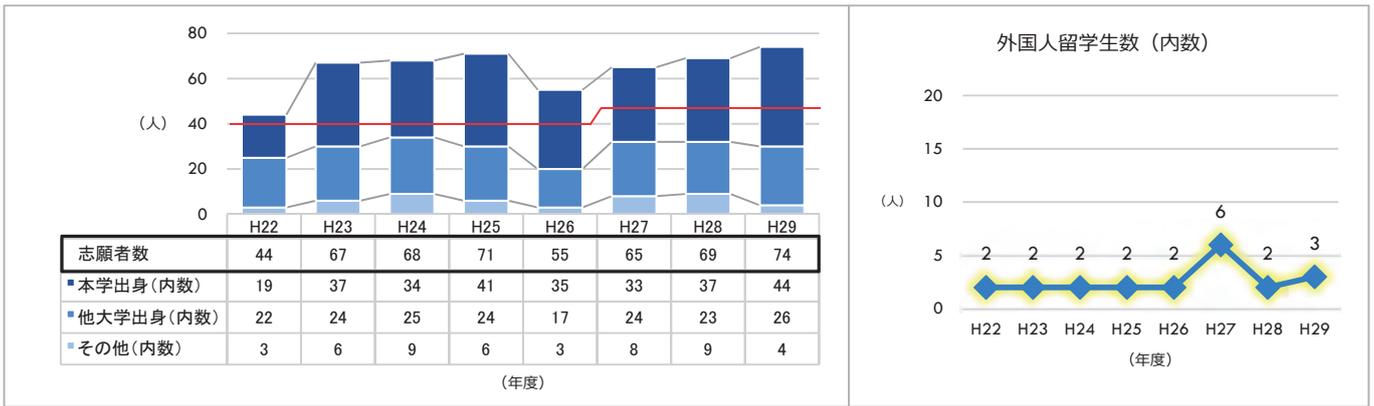
【数理学府】(入学定員: 54名)



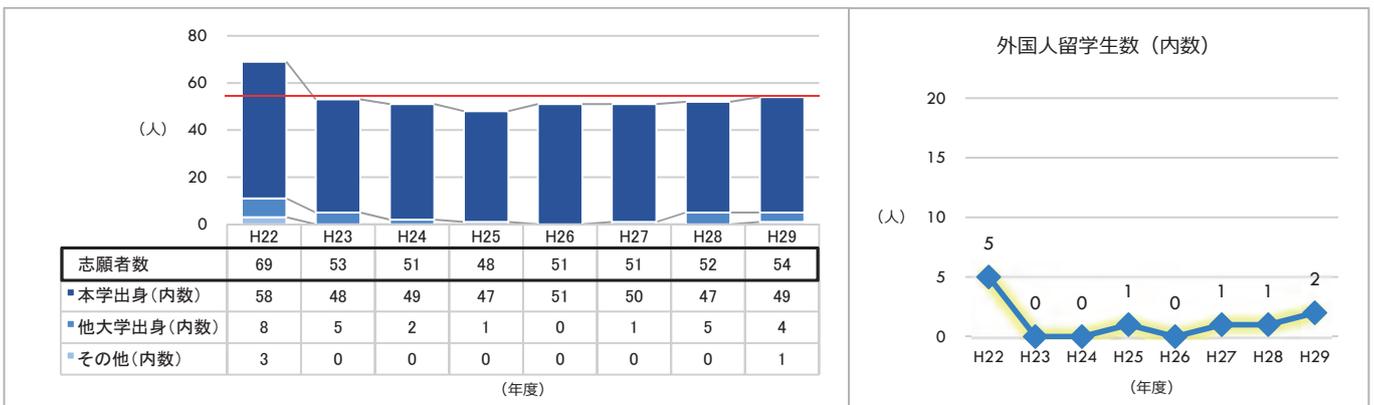
出典: 九州大学学務部入試課保有データ「[大学院]入学状況」

4-2-1. 志願状況推移(大学院\_修士課程)(つづき)

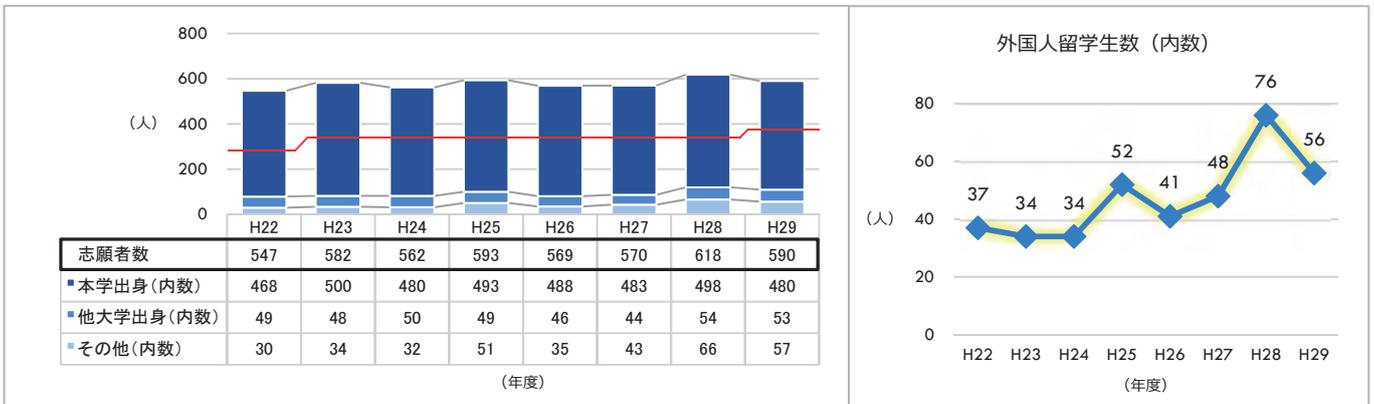
【医学系学府】 (入学定員：47名)



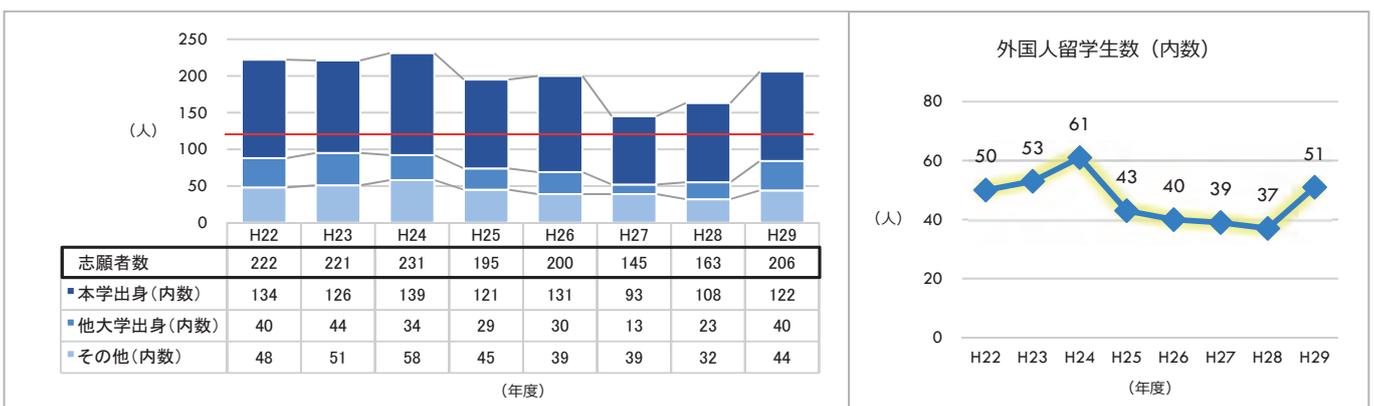
【薬学府】 (入学定員：55名)



【工学府】 (入学定員：389名)



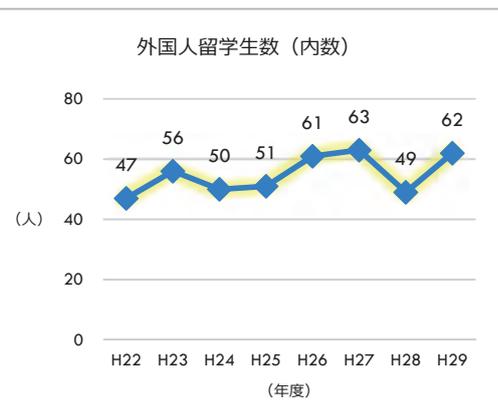
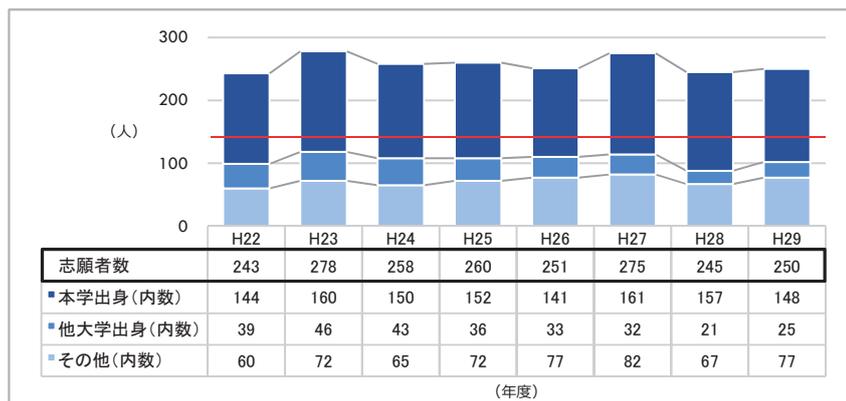
【芸術工学府】 (入学定員：120名)



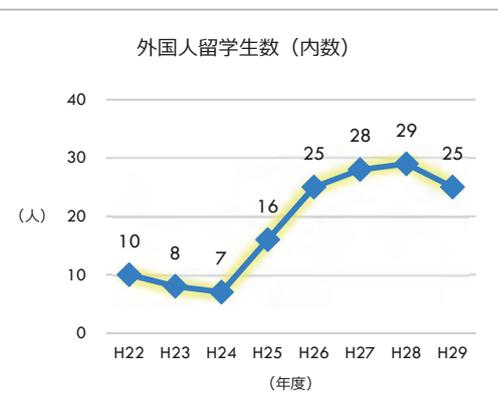
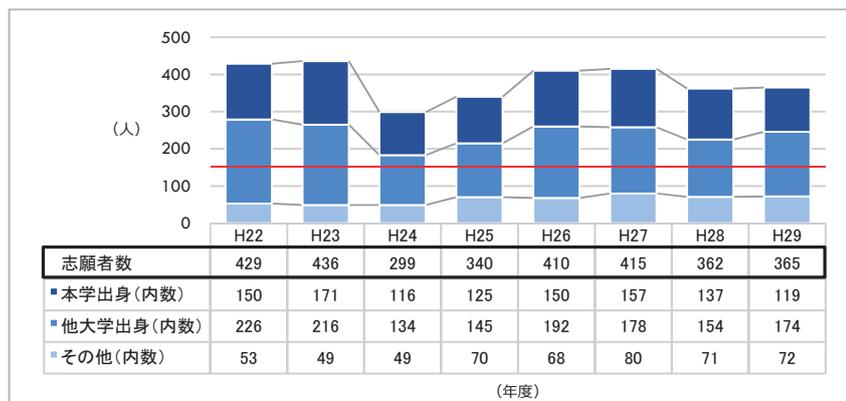
出典：九州大学学務部入試課保有データ「[大学院]入学状況」

4-2-1. 志願状況推移(大学院\_修士課程)(つづき)

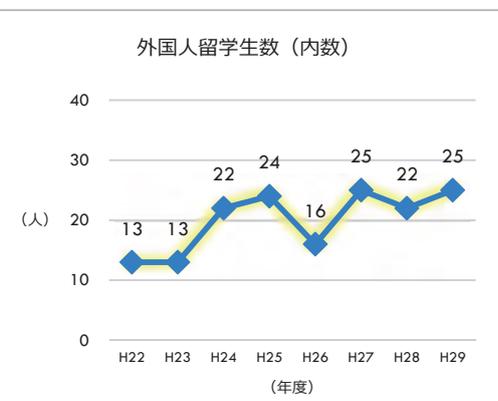
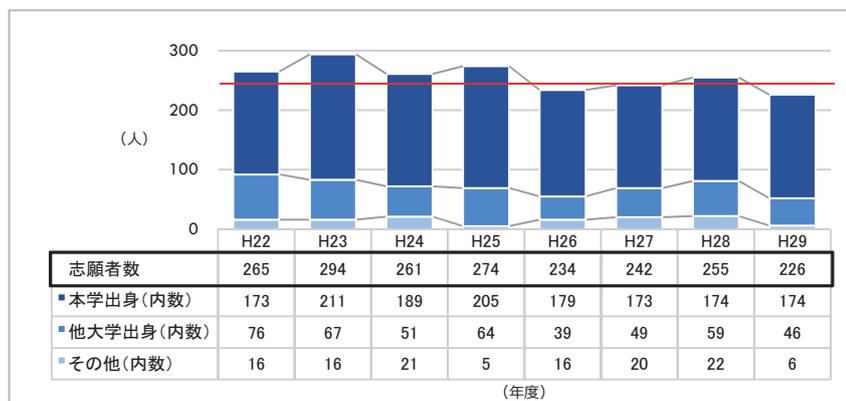
【システム情報科学府】(入学定員: 140名)



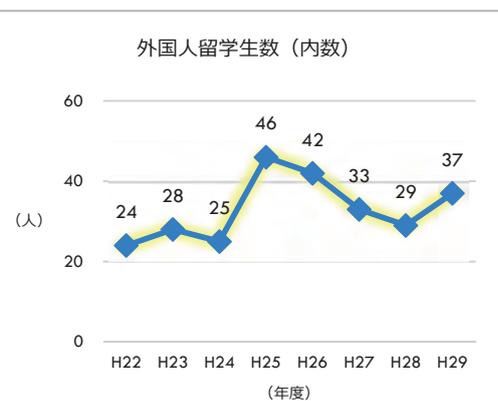
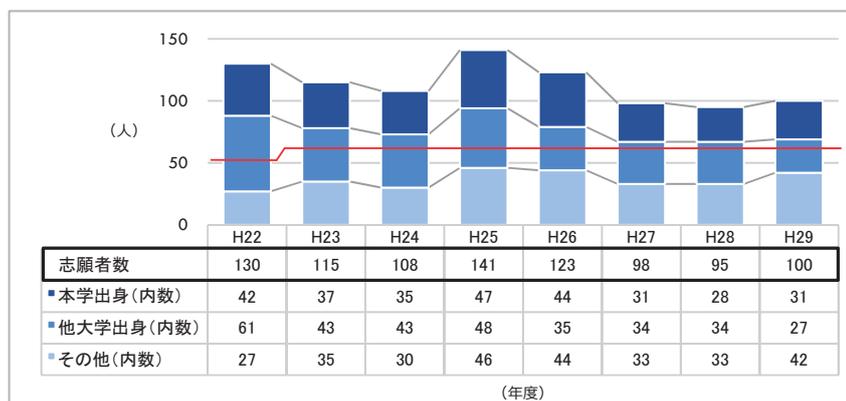
【総合理工学府】(入学定員: 164名)



【生物資源環境科学府】(入学定員: 244名)



【統合新領域学府】(入学定員: 61名)

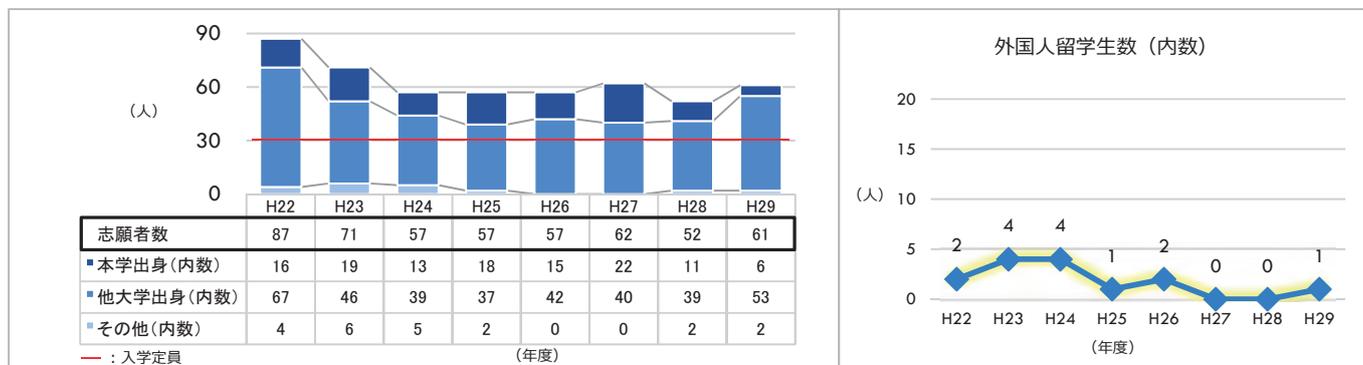


出典: 九州大学学務部入試課保有データ「[大学院]入学状況」

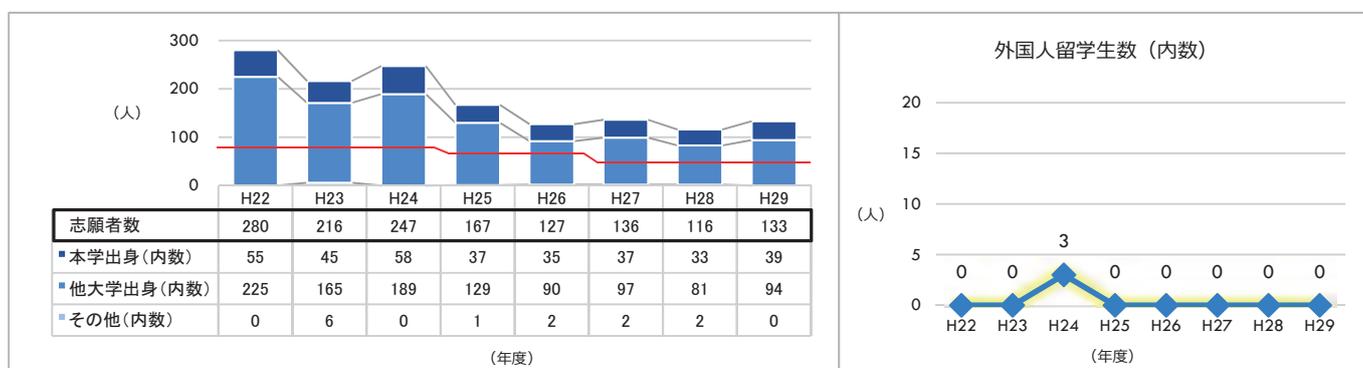
## 4-2-2. 志願状況推移(大学院\_専門職学位課程)

法務学府の志願者数が減少傾向にある。

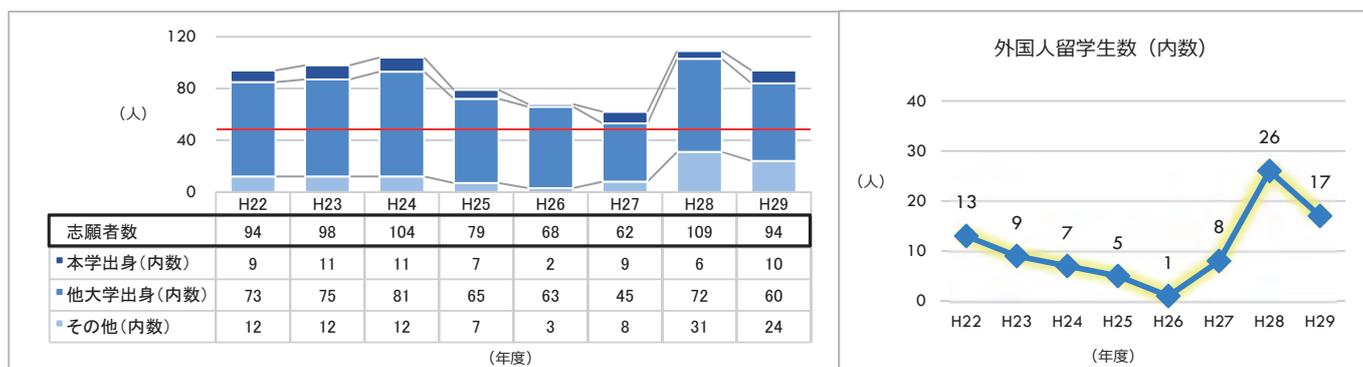
人間環境学府実践臨床心理学専攻 【臨床心理分野専門職大学院】 (入学定員：30名)



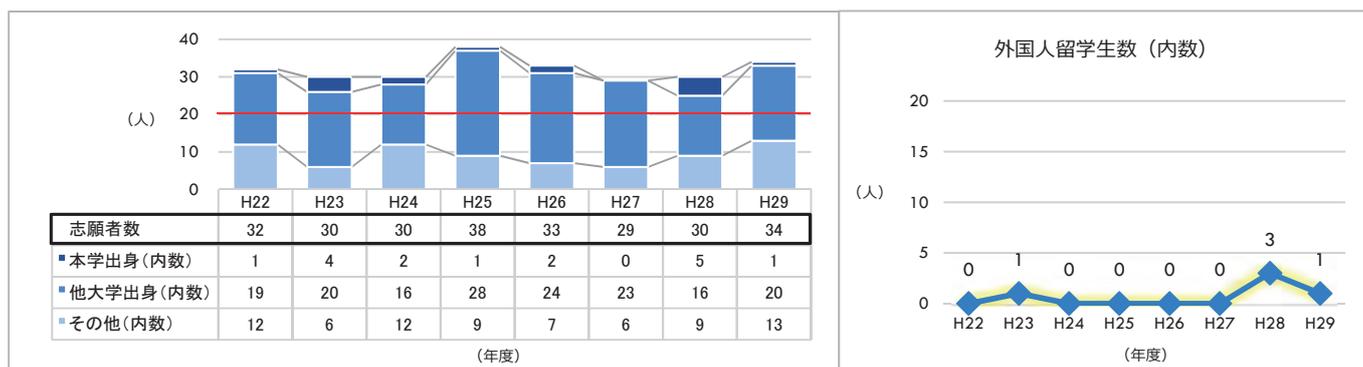
法務学府実務法学専攻 【法科大学院】 (入学定員：45名)



経済学府産業マネジメント専攻 【経営系専門職大学院】 (入学定員：45名)



医学系学府医療経営・管理学専攻 【公衆衛生系専門職大学院】 (入学定員：20名)

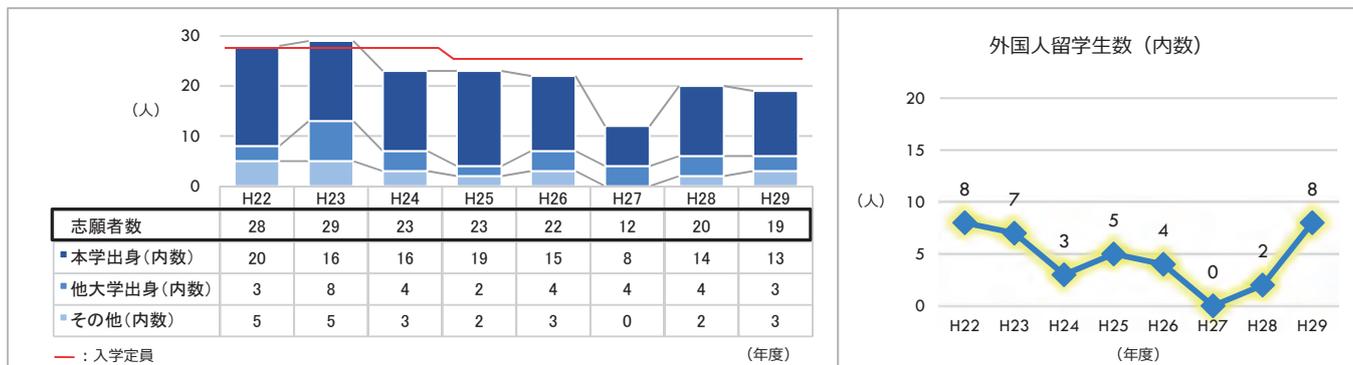


出典：九州大学学務部入試課保有データ「[大学院] 入学状況」

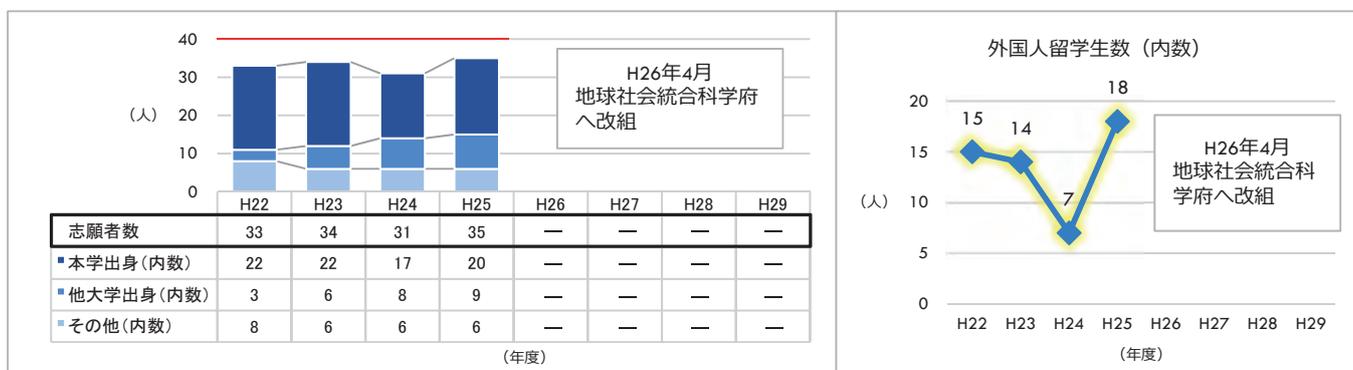
### 4-2-3. 志願状況推移(大学院\_博士後期課程)

地球社会統合科学府をみると、修士課程と比較して、本学出身の志願者が多いことが分かる。全学府でみても、本学出身の志願者を多く確保できている。

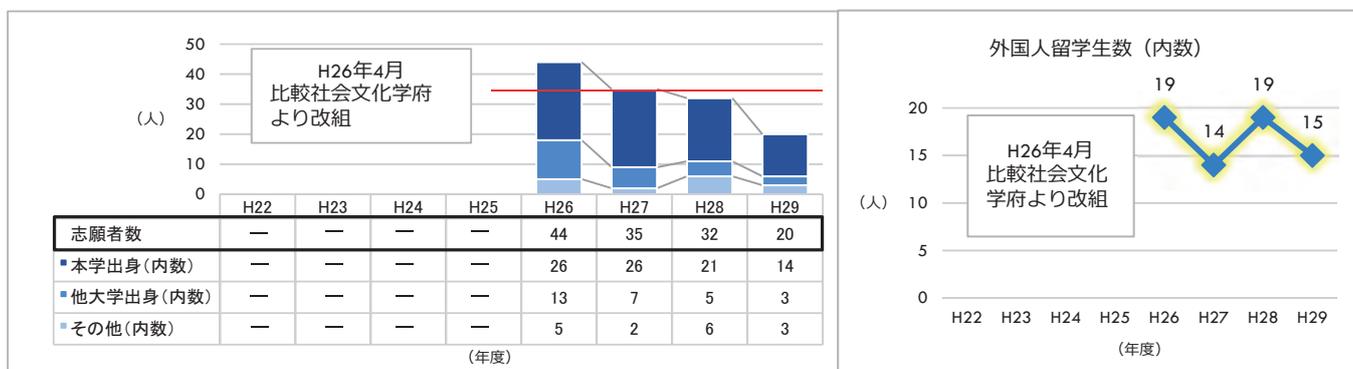
【人文科学府】 (入学定員：25名)



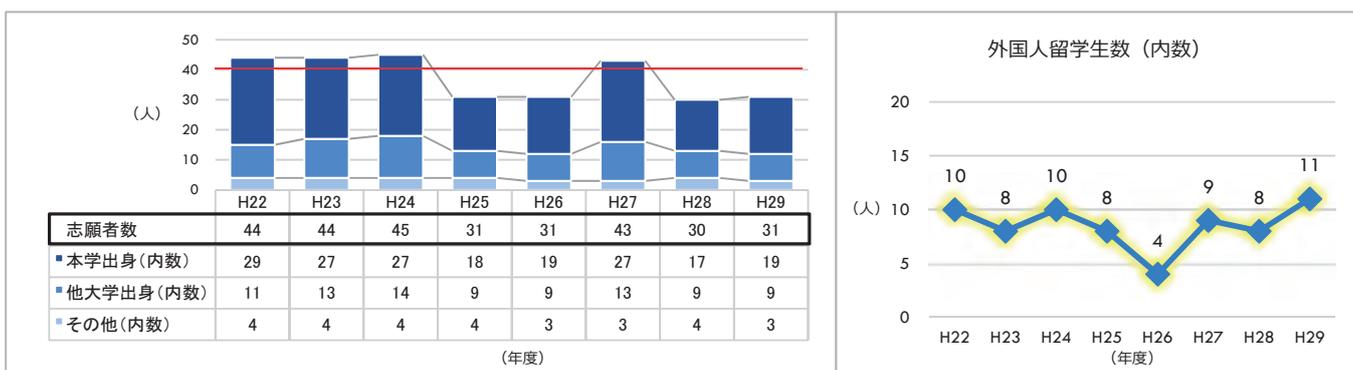
【比較社会文化学府】 (入学定員：40名) ※H26年度より募集停止



【地球社会統合科学府】 (入学定員：35名)



【人間環境学府】 (入学定員：40名)

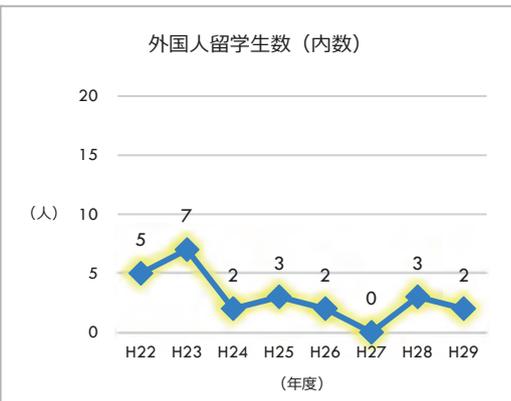
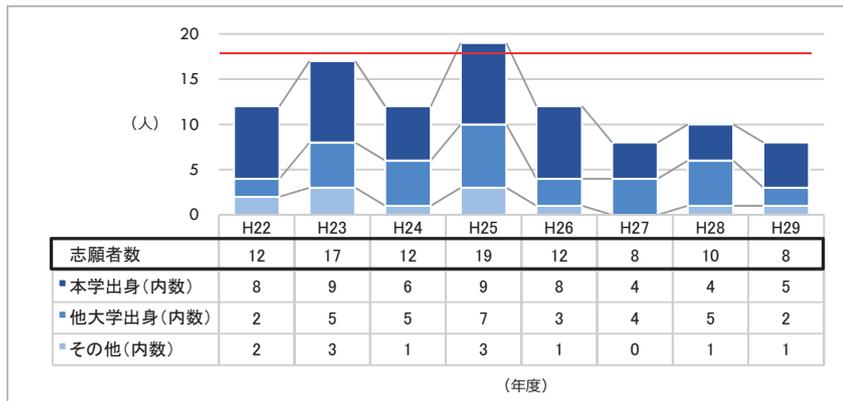


※平成26年度に、比較文化学府は地球社会文化学府へ改組した。

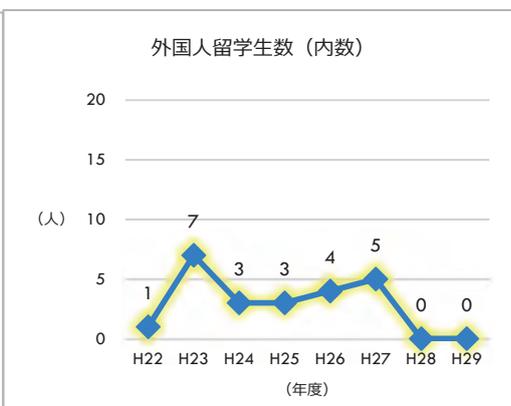
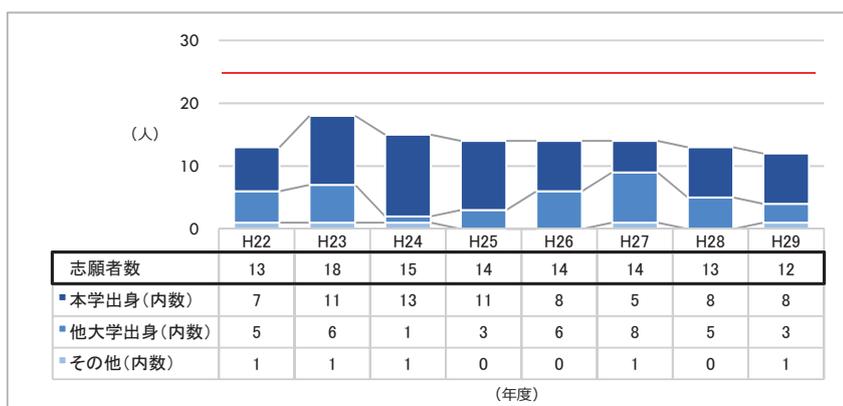
出典：九州大学学務部入試課保有データ「[大学院]入学状況」

4-2-3. 志願状況推移(大学院\_博士後期課程)(つづき)

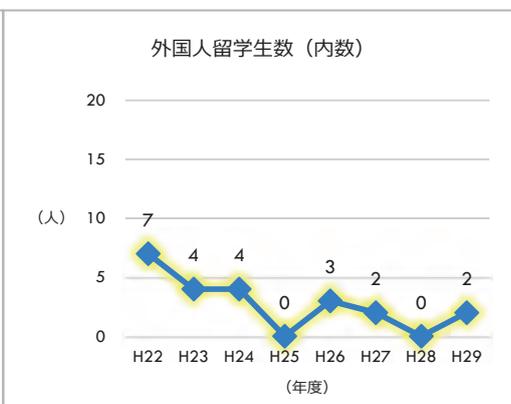
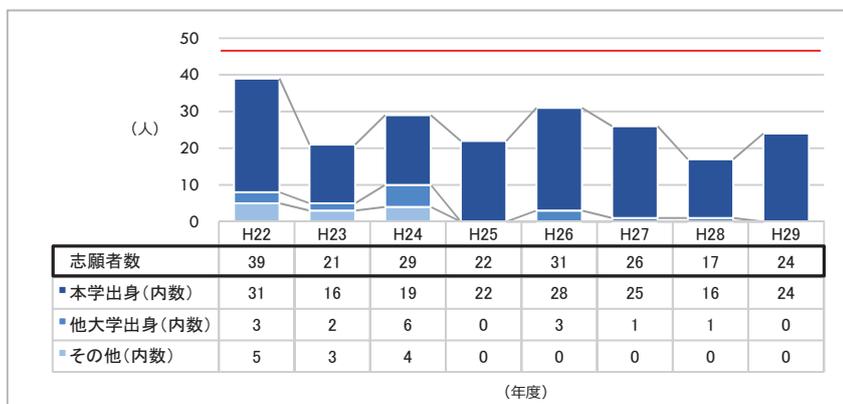
【法学府】 (入学定員：17名)



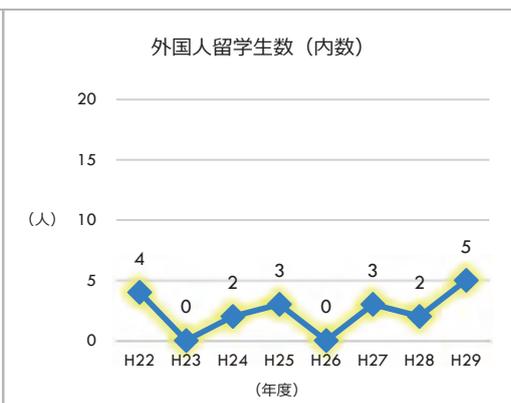
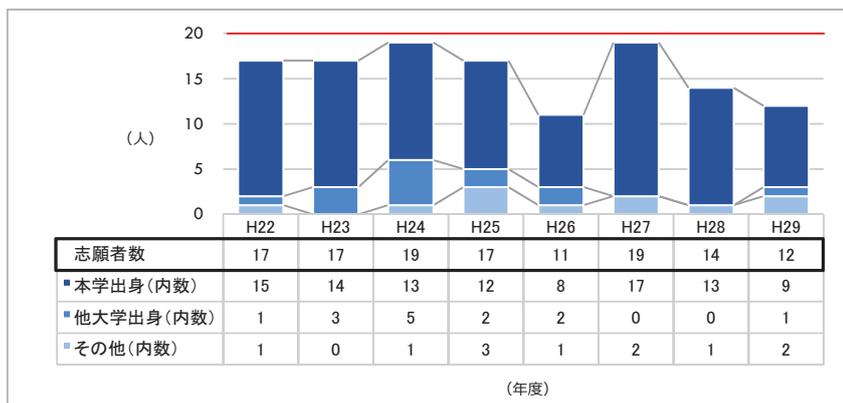
【経済学府】 (入学定員：24名)



【理学府】 (入学定員：47名)



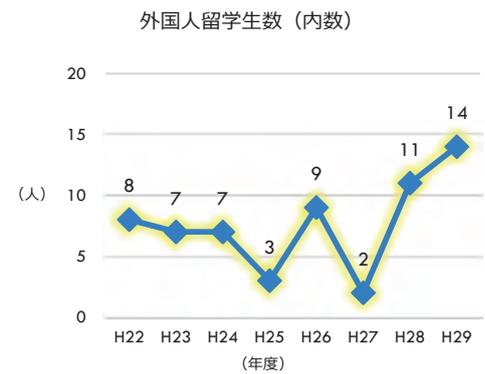
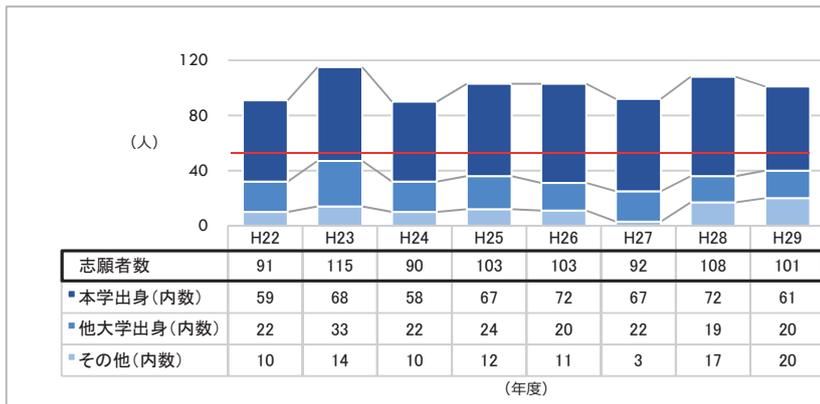
【数理学府】 (入学定員：20名)



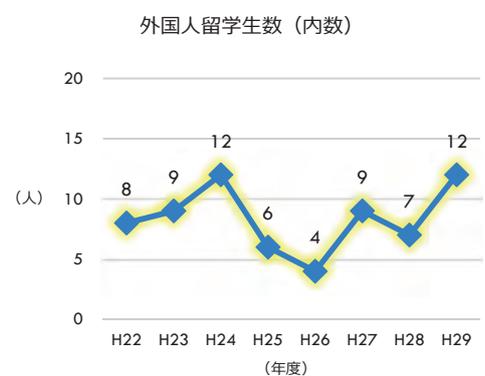
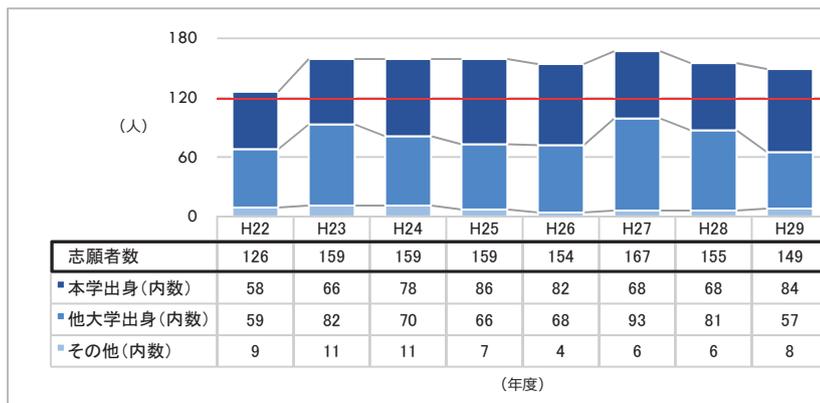
出典：九州大学学務部入試課保有データ「[大学院]入学状況」

4-2-3. 志願状況推移(大学院\_博士後期課程)(つづき)

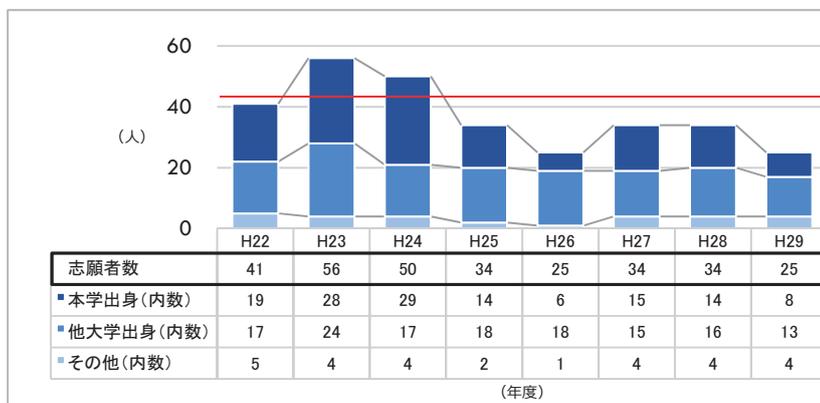
【システム生命科学府】(入学定員: 54名)



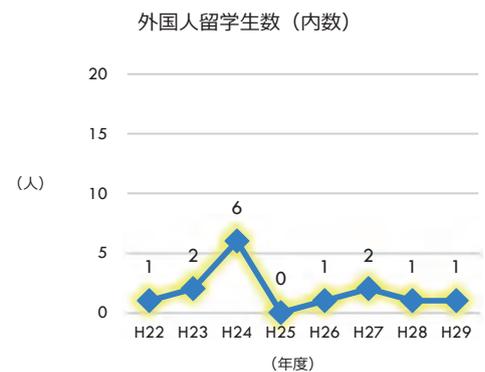
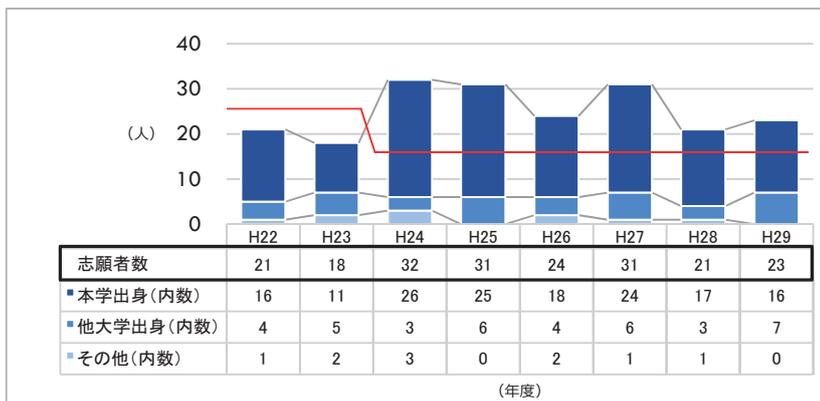
【医学系学府】(入学定員: 117名)



【歯学府】(入学定員: 43名)



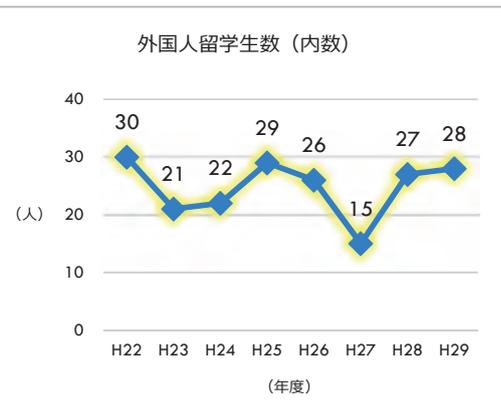
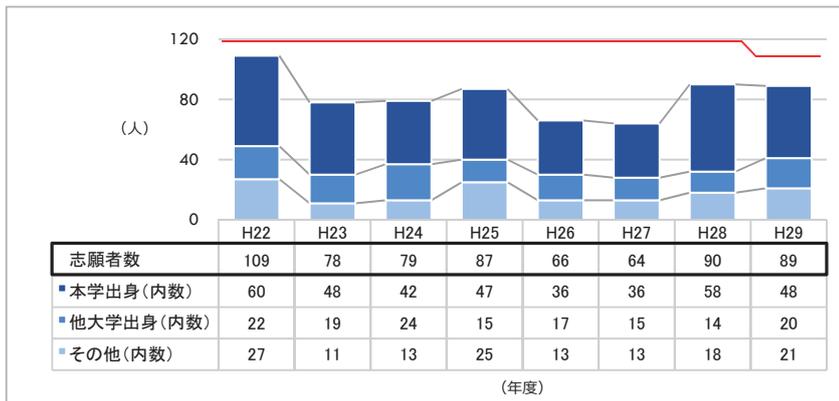
【薬学府】(入学定員: 17名)



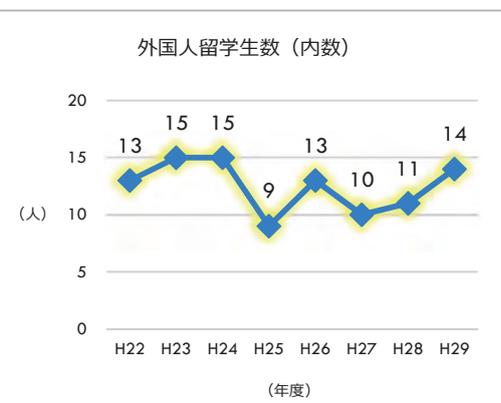
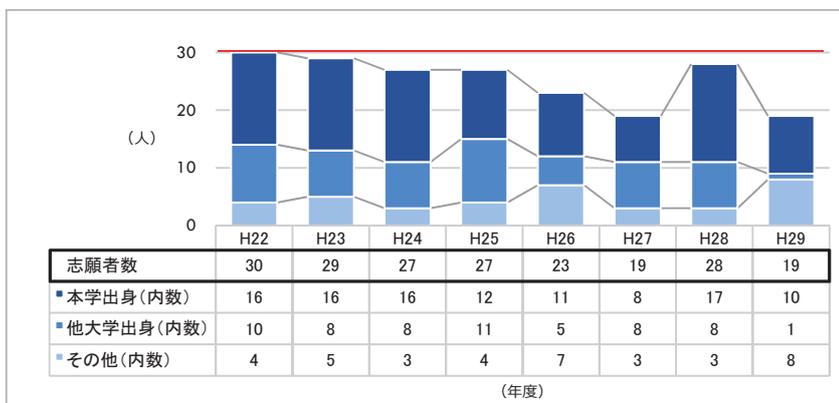
出典: 九州大学学務部入試課保有データ「[大学院]入学状況」

4-2-3. 志願状況推移(大学院\_博士後期課程)(つづき)

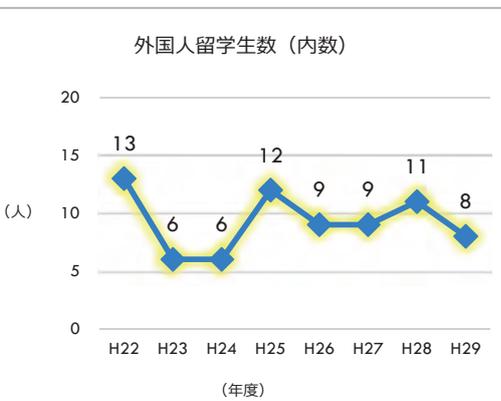
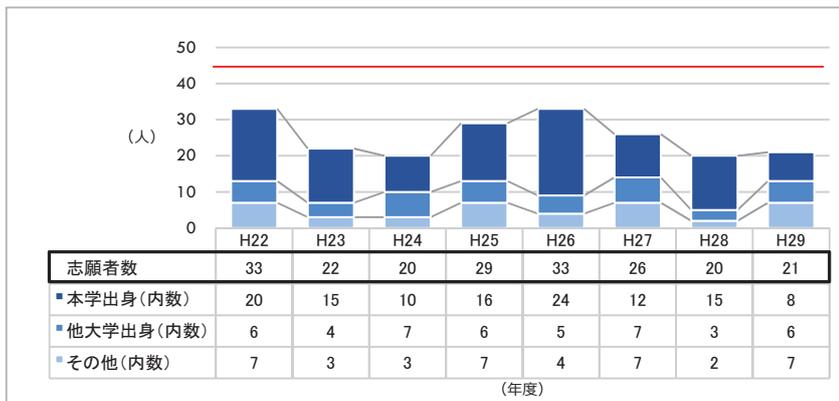
【工学府】(入学定員: 115名)



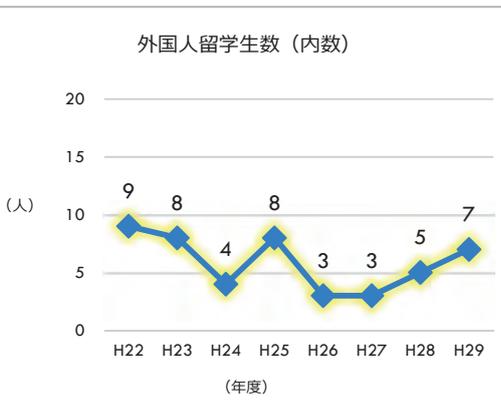
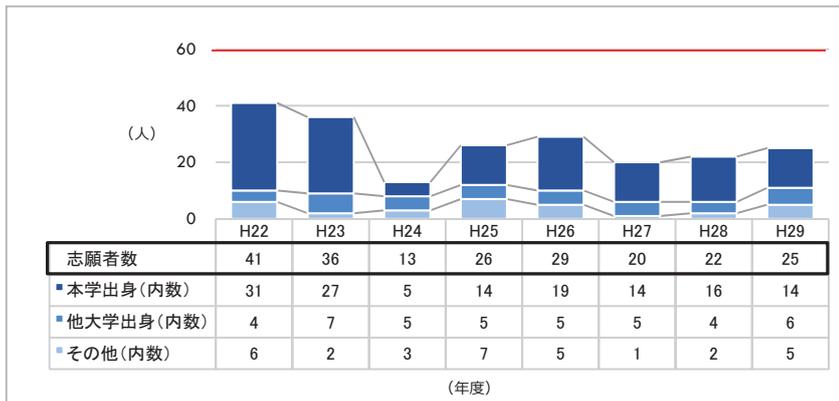
【芸術工学府】(入学定員: 30名)



【システム情報科学府】(入学定員: 45名)



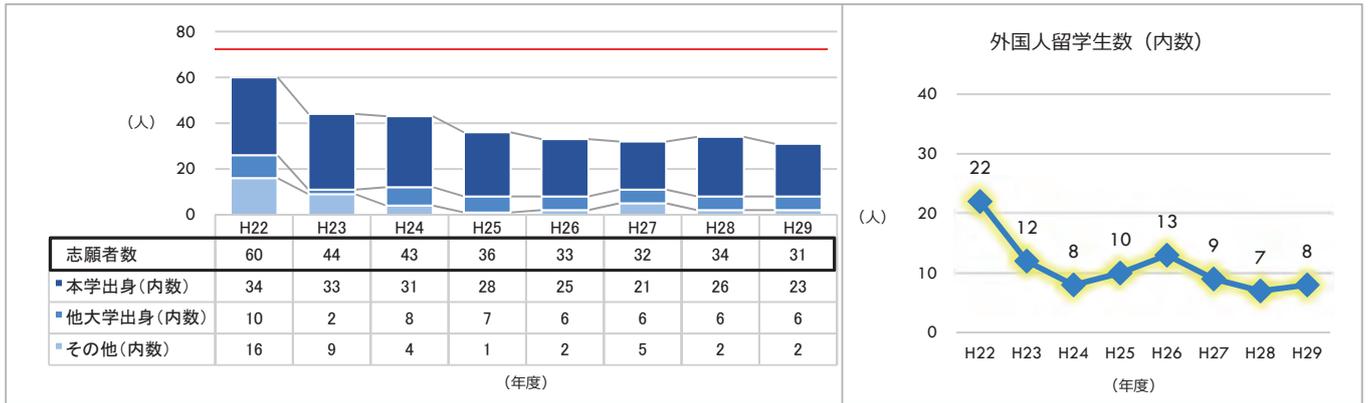
【総合理工学府】(入学定員: 60名)



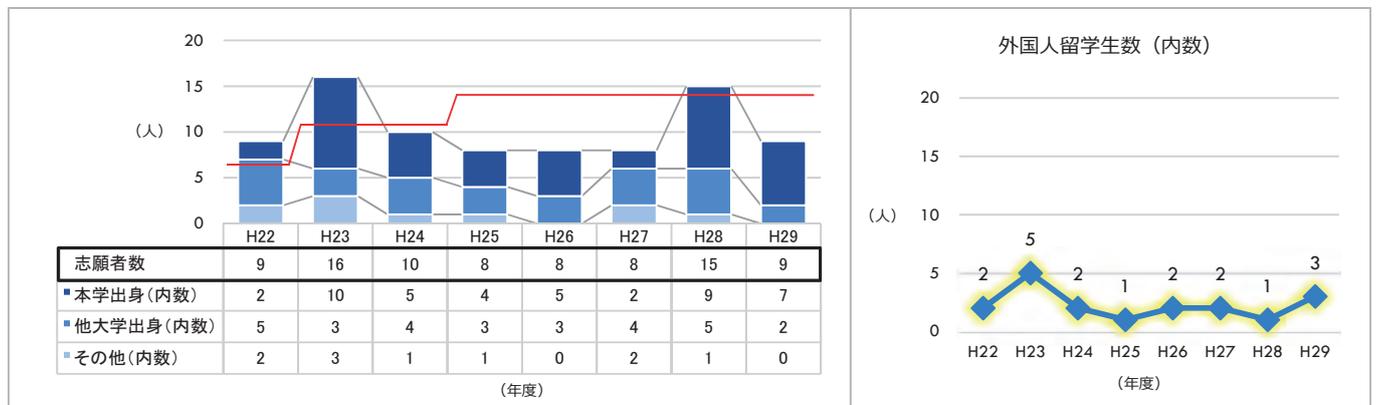
出典: 九州大学学務部入試課保有データ「[大学院]入学状況」

4-2-3. 志願状況推移(大学院\_博士後期課程)(つづき)

【生物資源環境府】(入学定員: 77名)



【統合新領域学府】(入学定員: 14名)



出典: 九州大学学務部入試課保有データ「[大学院]入学状況」

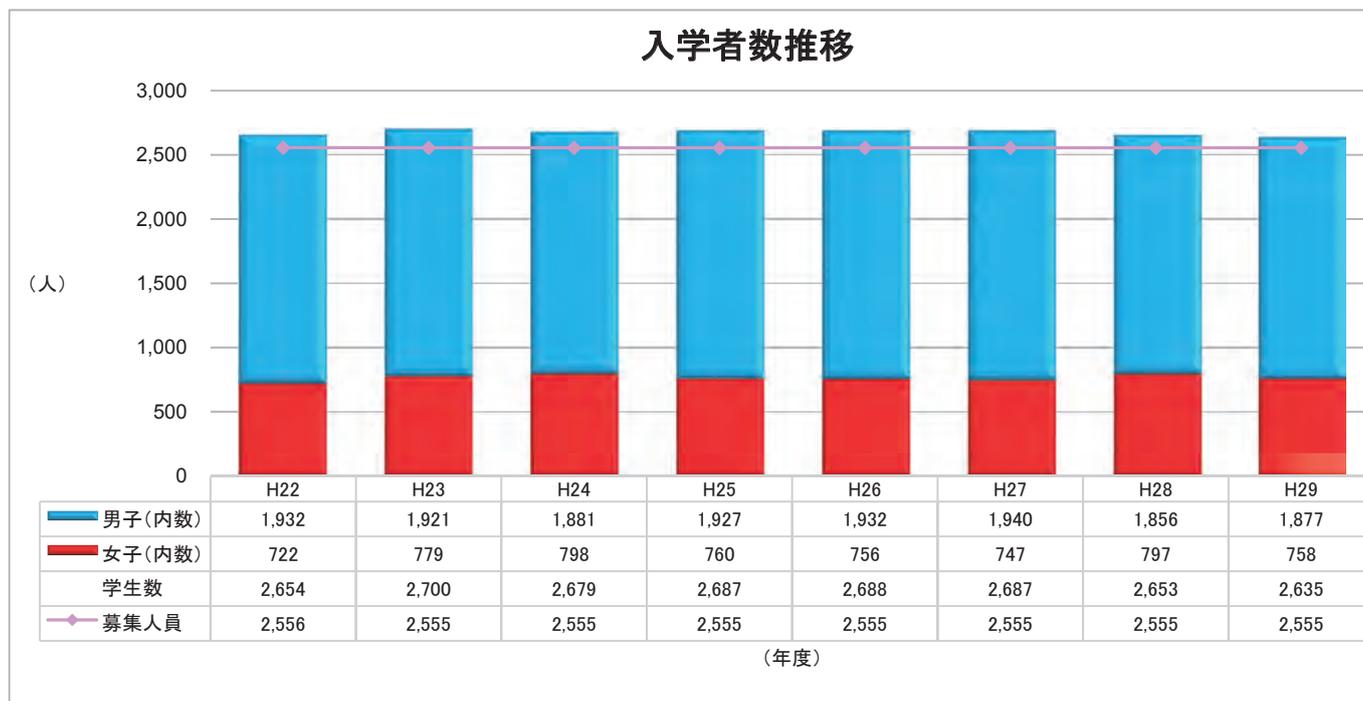
## 5. 入学状況 (各年度4月1日現在)

### 5-1. 入学状況(学部)

#### 5-1-1. 入学者数推移(全体)

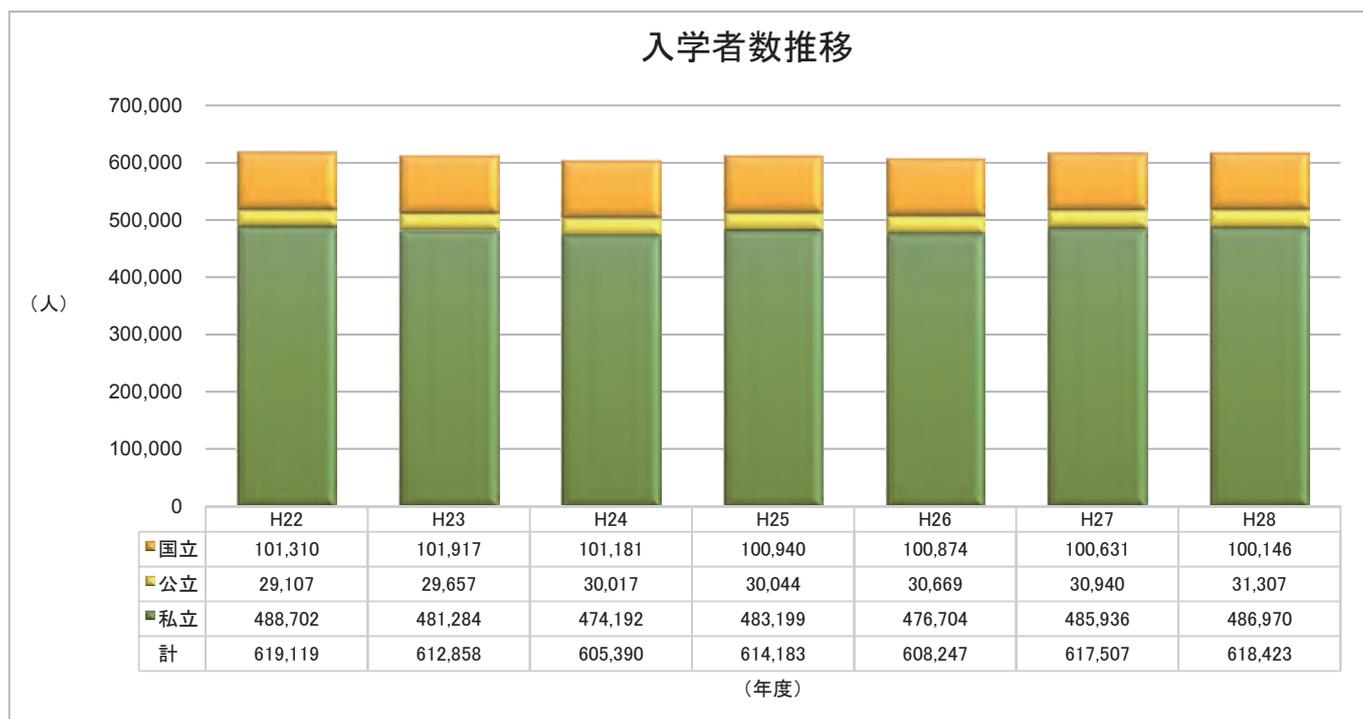
入学者数は、本学部を含む国立大学では減少傾向にあるが、公立大学と私立大学は増加傾向にある。

#### ◆九州大学◆



※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

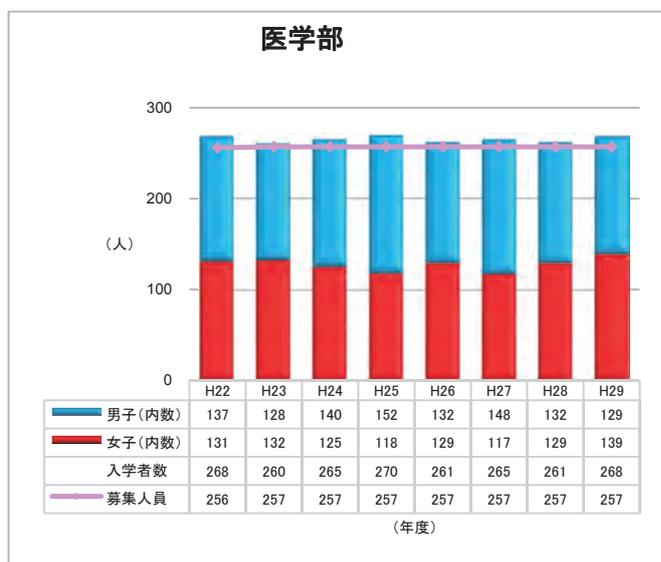
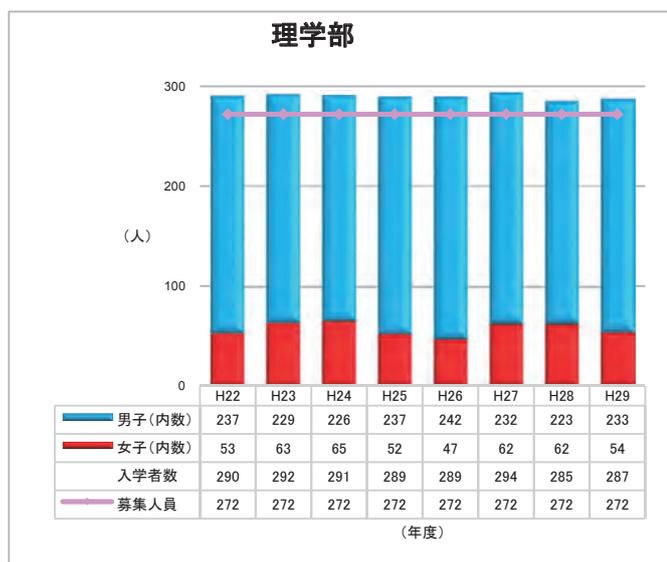
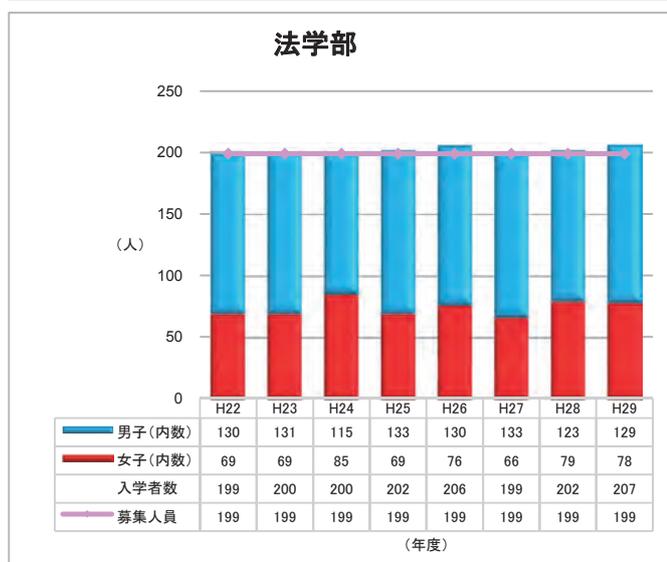
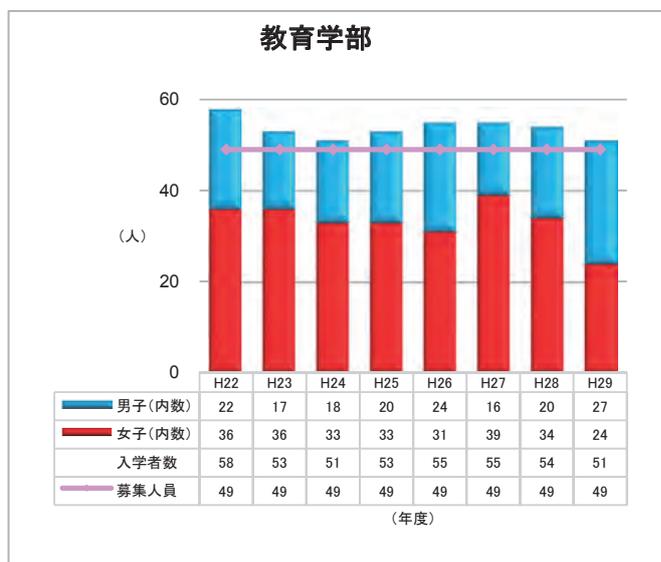
#### ◆全国 国公立大学◆



※出典:文部科学省 文部科学統計要覧

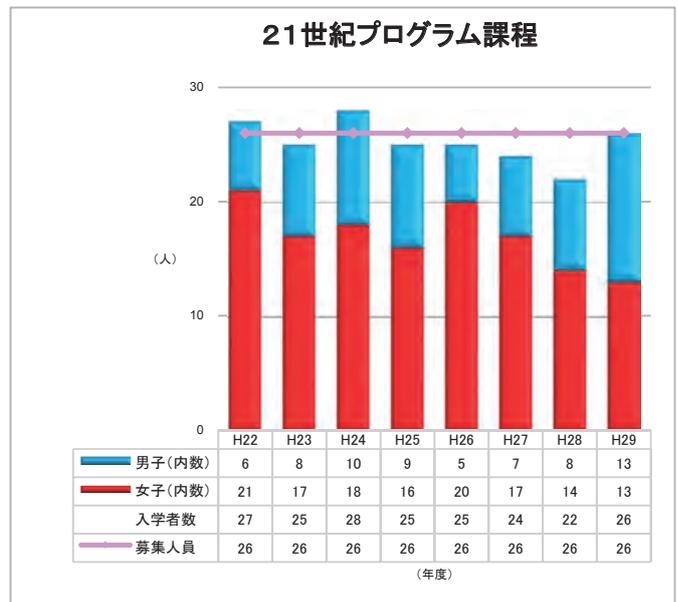
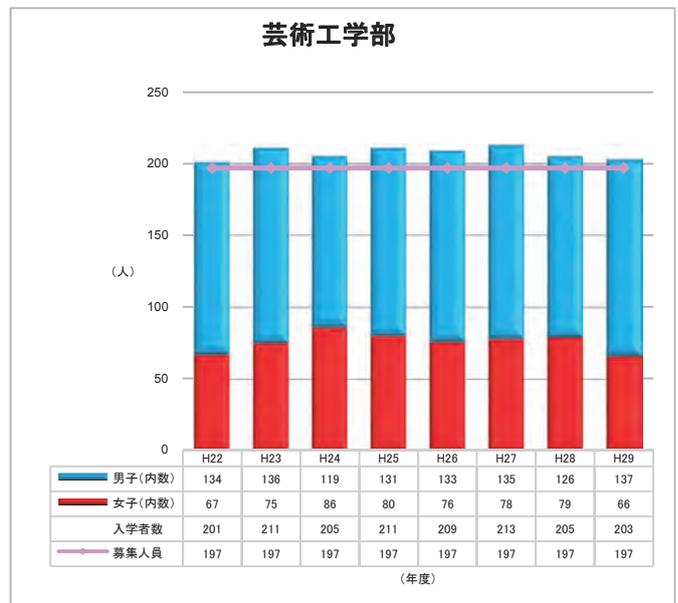
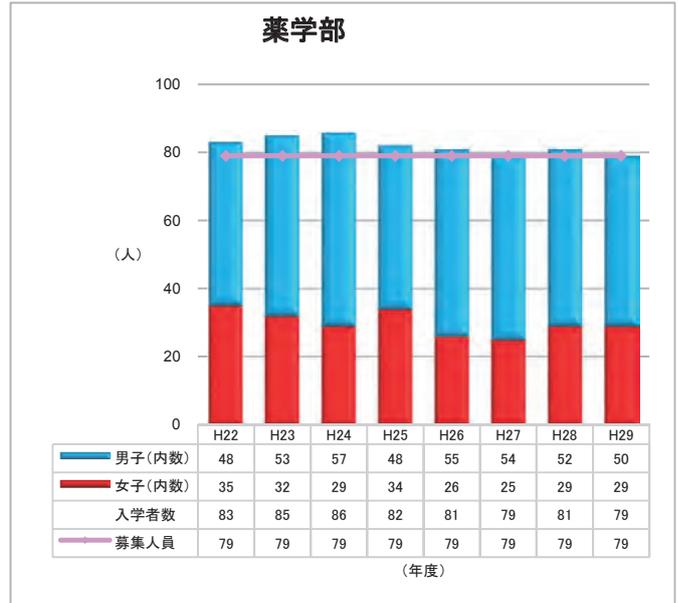
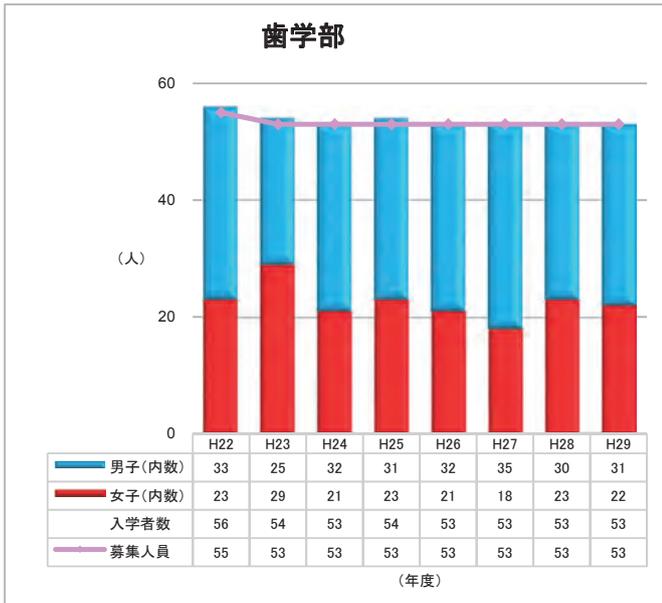
## 5-1-2. 入学者数推移(学部別)

全体的にみて、募集人数に対して入学者数がやや多い傾向にある。



※出典：九州大学概要(各年度4月1日現在)

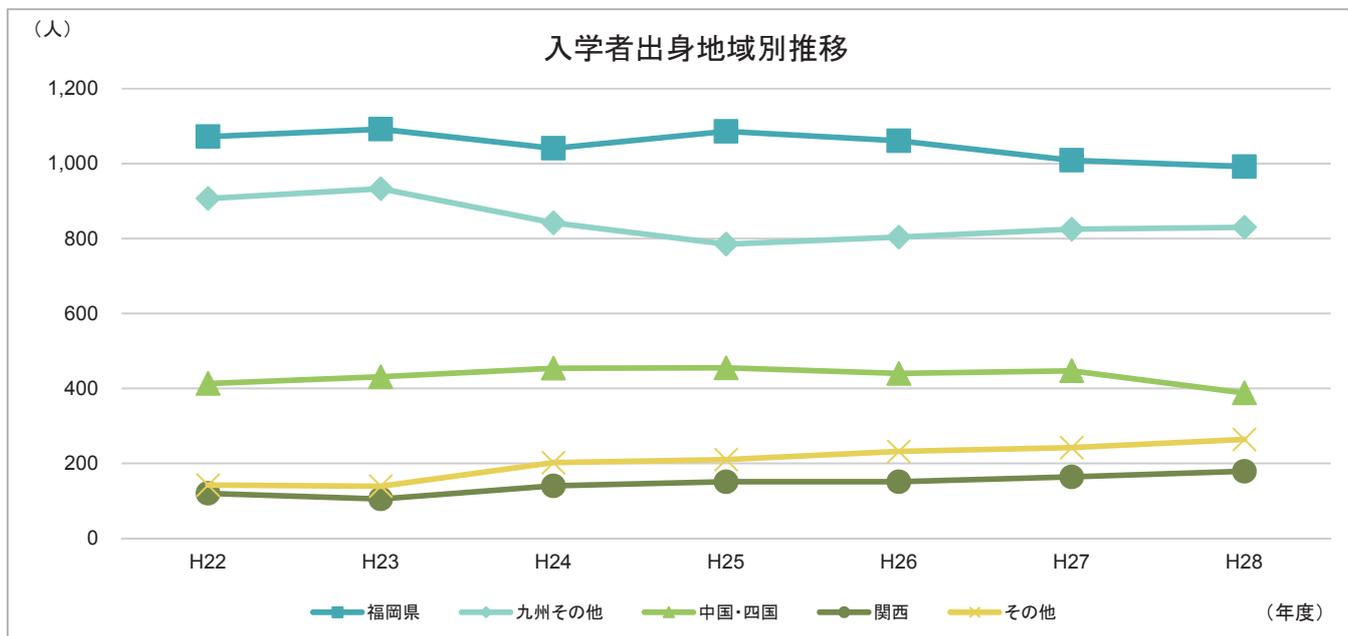
5-1-2. 入学者数推移(学部別)(つづき)



※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

### 5-1-3. 出身地域別入学者状況の経年推移

入学者の出身地域に大きな変化は見られないが、福岡県出身者がやや減少傾向にあり、関西地域が増加傾向なのが分かる。



※出典：九州大学概要(各年度4月1日現在)

#### 【参考】◆他大学との比較◆

【自分の子どもに入学してほしい】

順位	大学名	ポイント
1	東京大	1,159
2	京都大	838
3	慶應義塾大	498
4	早稲田大	469
5	大阪大	243
6	北海道大	136
7	名古屋大	119
8	東北大	118
<b>9</b>	<b>九州大</b>	<b>105</b>
10	明治大	88

【自分の子どもに入学してほしい  
(九州・沖縄)】

順位	大学名	ポイント
<b>1</b>	<b>九州大</b>	<b>292</b>
2	熊本大	94
3	福岡大	59
4	西南学院大	47
5	長崎大	37
6	佐賀大	34
7	琉球大	29
8	鹿児島大	24

【一般入試合格者のうち  
入学者の比率(国立大学)】

順位	大学名	%
1	東京芸術大	99.8
2	京都大	99.6
3	東京大	99.5
4	滋賀医科大	99.2
4	一橋大	99.2
6	東京工業大	97.7
7	大阪大	97.4
8	名古屋大	97.2
⋮		
<b>26</b>	<b>九州大</b>	<b>94.2</b>

※ランキングの見方：「自分の子どもに入学してほしい」

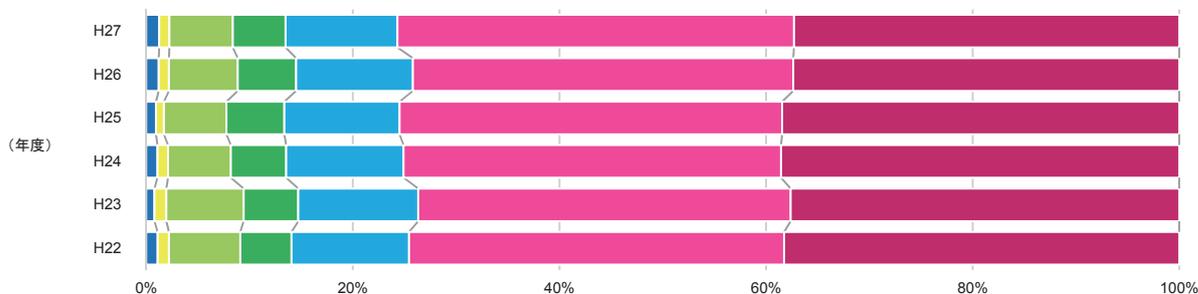
大学通信調べ、全国の社会人を対象としたインターネット調査を実施し、項目別の大学ランキングをまとめた。調査期間は2016年6月。回答者数は1,000人で、大学卒の会社員または公務員が調査対象となる。地域が偏ることなく調査を実施、男女比もほぼ1対1となっている。質問項目に対し、「全国にある大学の中から3大学」と「あなたの住むエリアおよび近隣にある大学から3大学」の最大6校を回答してもらい、回答順にそれぞれ3ポイント、2ポイント、1ポイントとして集計した。

※出典：朝日新聞出版「大学ランキング2018年度版」

## 【参考】所在地域・県別の国公立大学入学者数

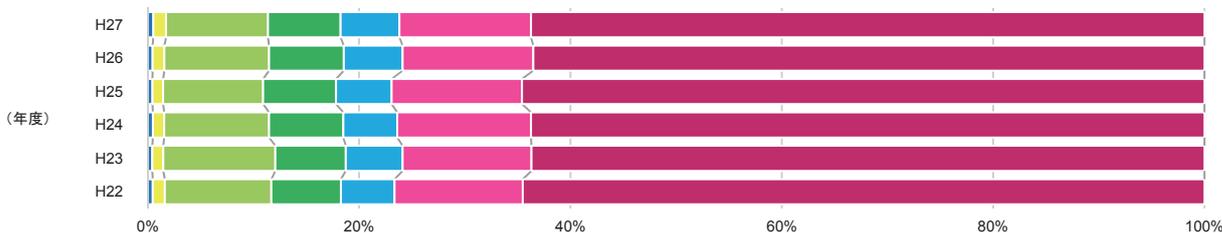
福岡県内の高校卒業者が、大学への進学において、所属地域別にまとめたものである。国立大学では、福岡県の高卒者の71%が、九州・沖縄地方の大学へ、次いで、中国・四国地方に11%、近畿地方に5%となっており、西日本の大学への入学者が多いことが分かるが、国公立大学で見ると、福岡県の大学への進学者が60%を超える状況が続いていることが分かる。

### ◆国立大学◆

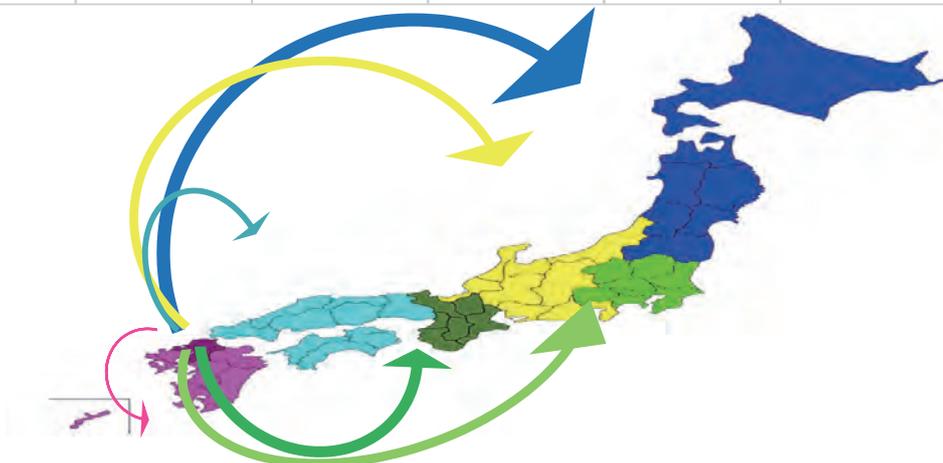


	H22	H23	H24	H25	H26	H27
北海道・東北地方	1.1%	0.8%	1.1%	0.9%	1.2%	1.3%
中部地方	1.1%	1.2%	1.0%	0.8%	1.0%	1.0%
関東地方	6.9%	7.5%	6.1%	6.1%	6.7%	6.1%
近畿地方	5.0%	5.3%	5.4%	5.6%	5.6%	5.1%
中国・四国地方	11.4%	11.6%	11.4%	11.2%	11.3%	10.8%
九州・沖縄地方(福岡県以外)	36.3%	36.0%	36.5%	37.0%	36.8%	38.4%
福岡県	38.2%	37.6%	38.5%	38.5%	37.4%	37.3%
合計	4,952	5,107	4,929	4,892	5,032	4,982

### ◆国公立大学◆



	H22	H23	H24	H25	H26	H27
北海道・東北地方	0.5%	0.4%	0.5%	0.4%	0.5%	0.5%
中部地方	1.1%	1.0%	1.1%	1.0%	1.1%	1.2%
関東地方	10.1%	10.6%	9.9%	9.5%	9.9%	9.6%
近畿地方	6.6%	6.7%	7.0%	6.9%	7.1%	6.9%
中国・四国地方	5.1%	5.4%	5.1%	5.3%	5.6%	5.6%
九州・沖縄地方(福岡県以外)	12.1%	12.2%	12.7%	12.3%	12.4%	12.4%
福岡県	64.5%	63.7%	63.7%	64.6%	63.5%	63.7%
合計	22,833	22,769	21,972	22,408	22,542	22,820

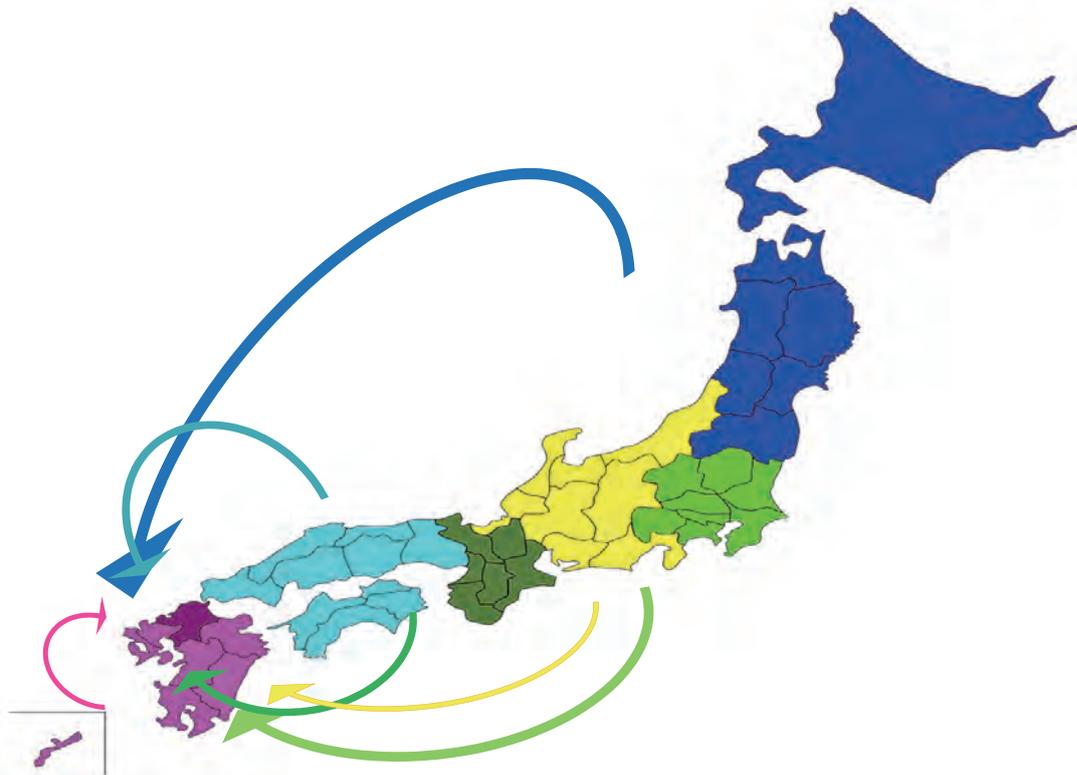
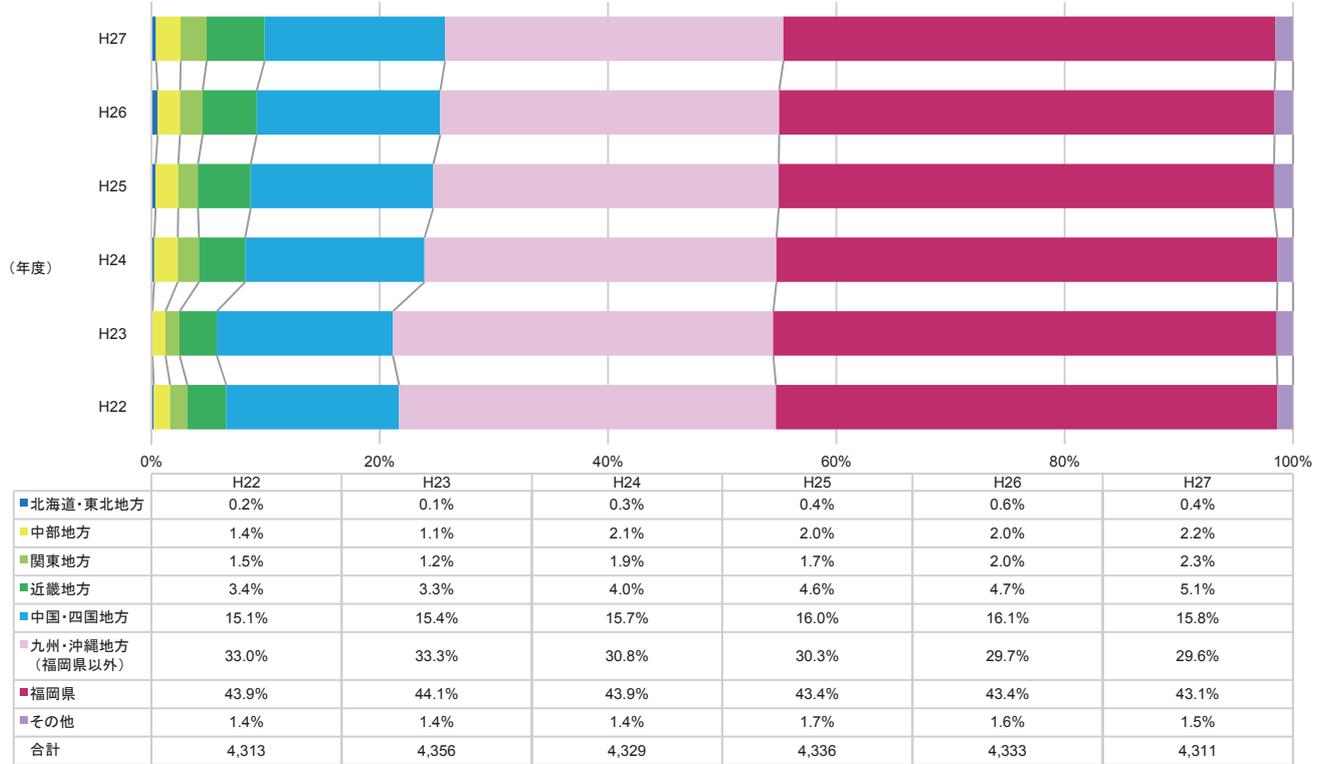


※出典:文部科学省 学校基本調査「出身高校の所在地県別大学入学者数」

## 【参考】福岡県の国立大学入学者数

全国の高校卒業生が、福岡県の国立大学に入学した人数をまとめたものである。

九州・沖縄地方の高校卒業生の**75%**が、福岡の大学に入学している。次いで、中国・四国地方出身が**16%**、近畿地方が**5%**となっており、福岡県の大学に入学する高校卒業生の**9割**が、西日本出身であることがわかる。



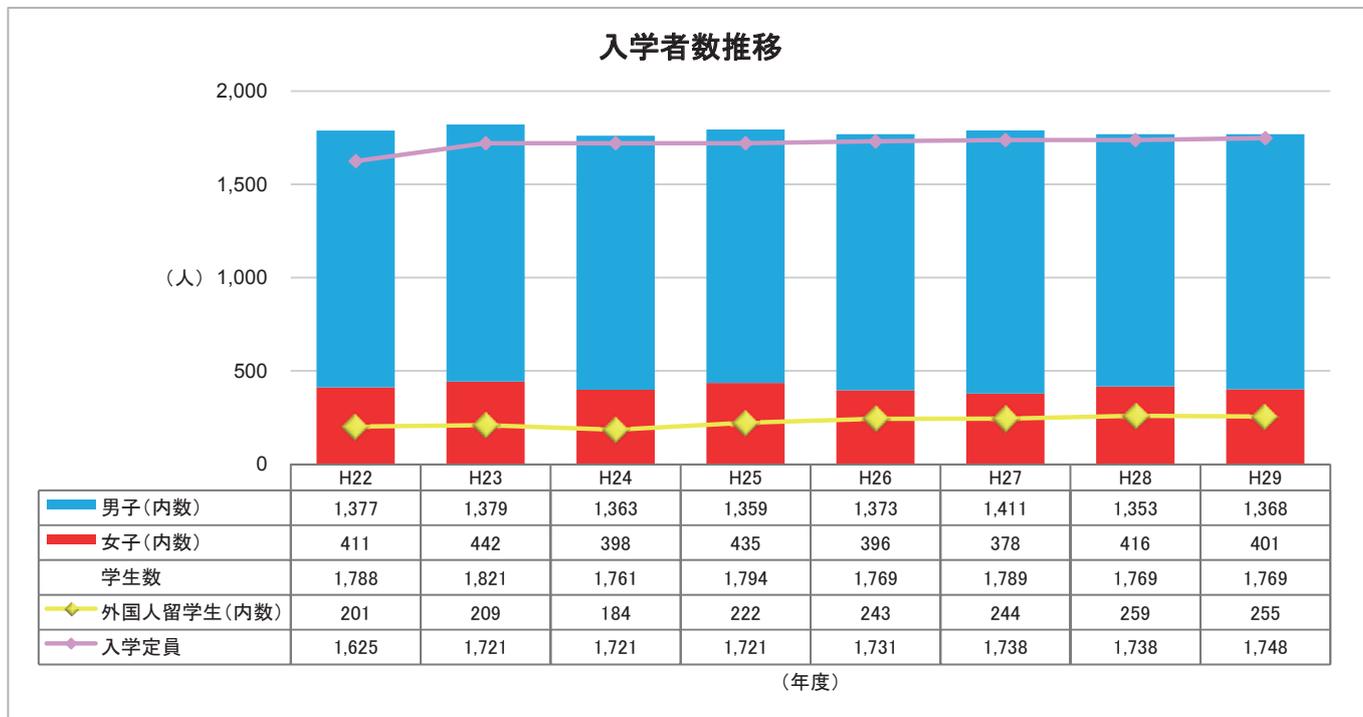
※出典：文部科学省 学校基本調査「出身高校の所在地県別大学入学者数」

## 5-2. 入学状況(修士課程)

### 5-2-1. 入学者数推移(全体)

全国の入学者数の推移はやや減少傾向にあるが、本学はほぼ変わらない入学者数を確保できている。また、本学の外国人留学生の入学者数は増加傾向にある。

#### ◆九州大学◆



・専門職学位課程は含まない。

※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

#### ◆全国 国公立大学◆

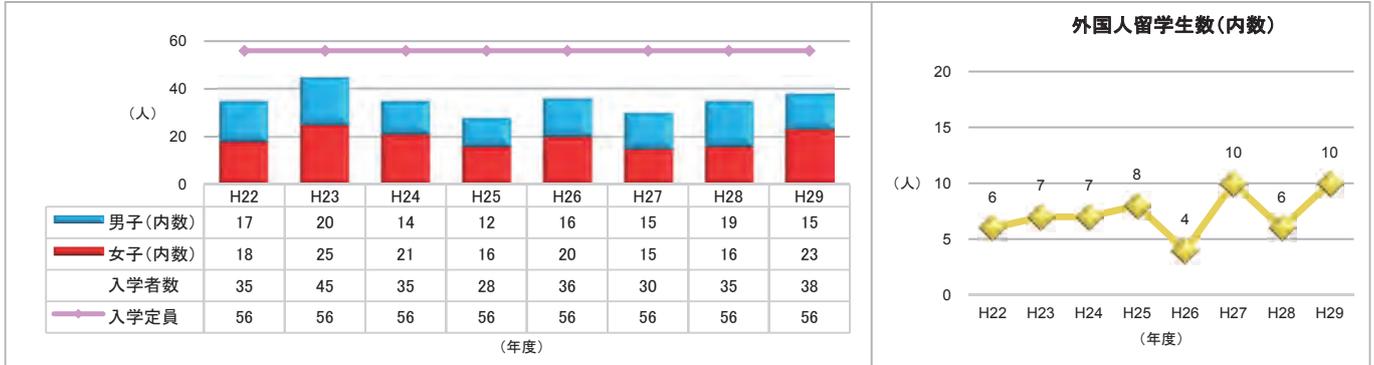


※出典:文部科学省学校基本調査「入学者数」

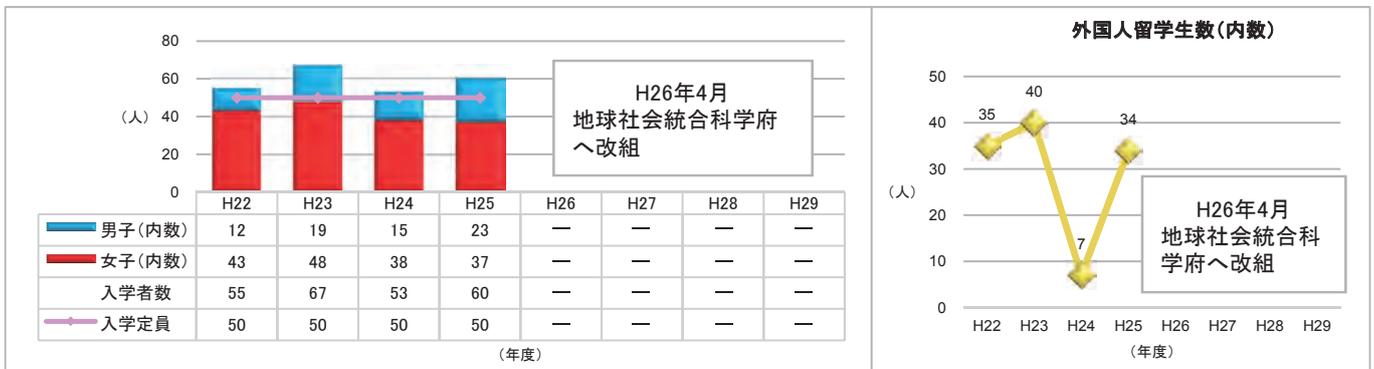
## 5-2-2. 入学者数推移(学府別)

学府別にみると、人文科学府及び法科学府の入学者数が少ないが、全体で見ると男子学生が多い印象を受ける。

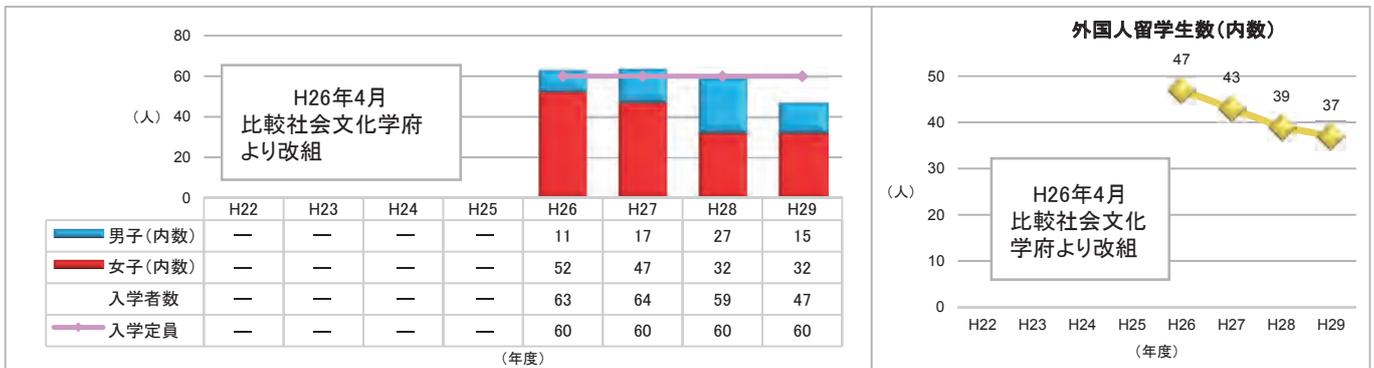
### 【人文科学府】



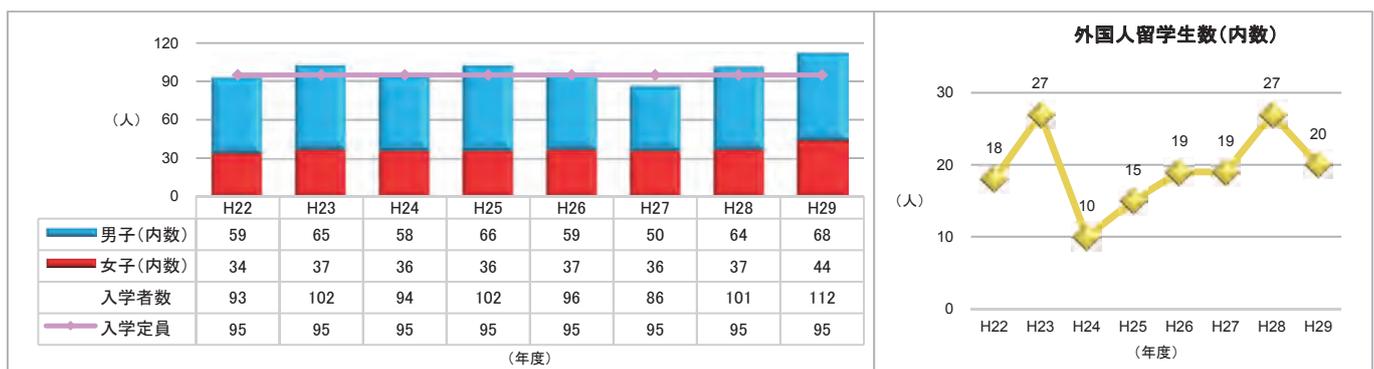
### 【比較社会文化学府】



### 【地球社会統合科学府】



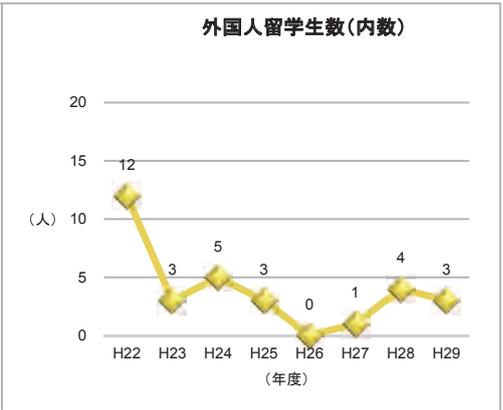
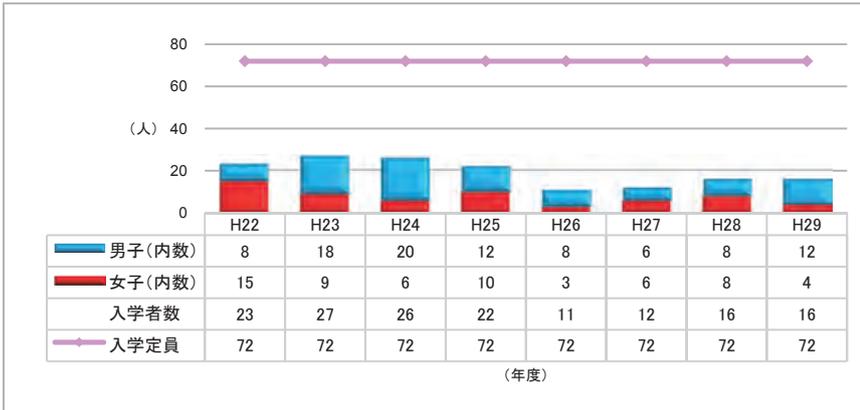
### 【人間環境学府】



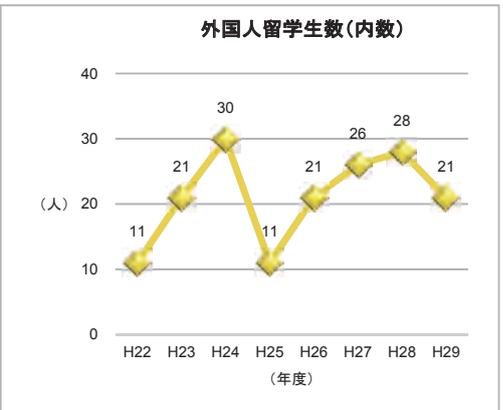
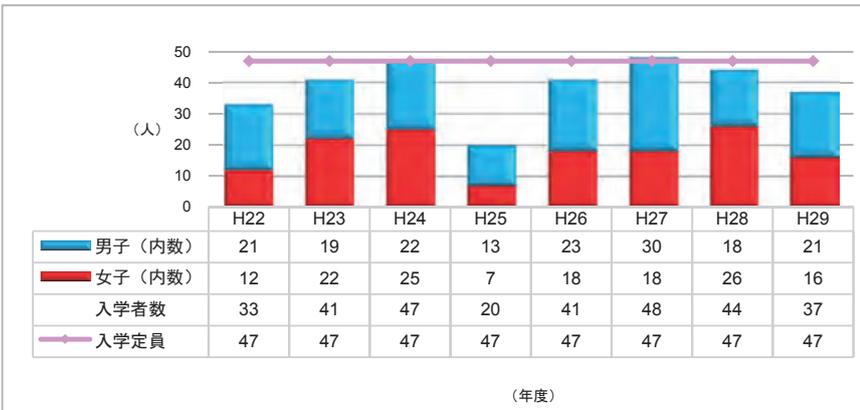
※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

5-2-2. 入学者数推移(学府別)(つづき)

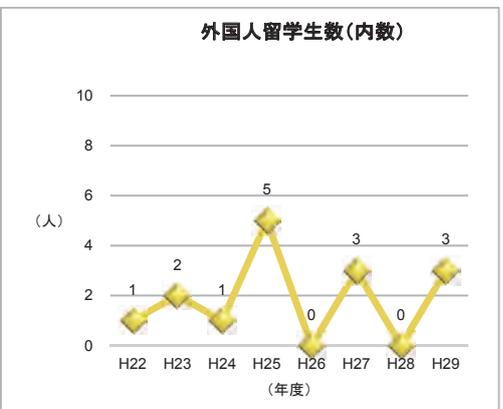
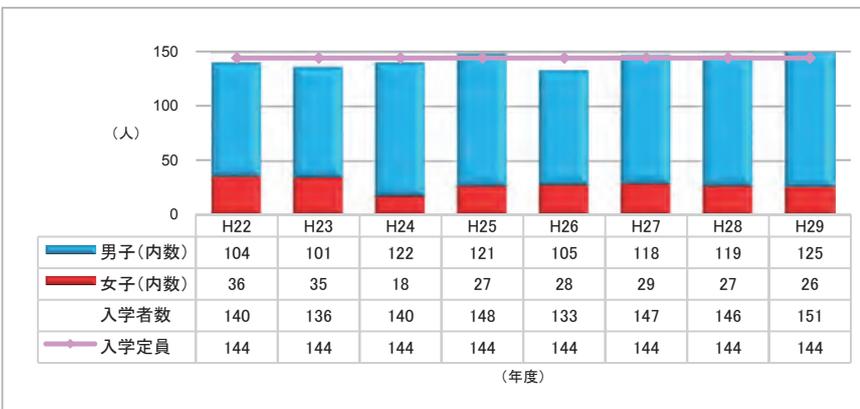
【法学府】



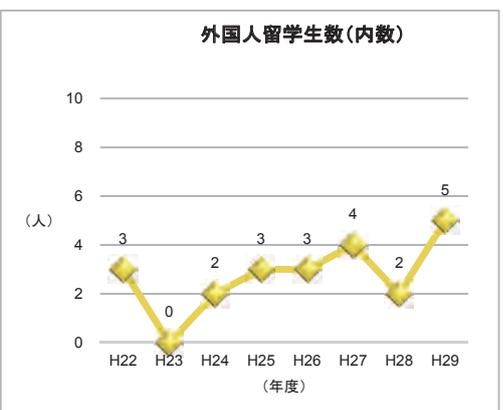
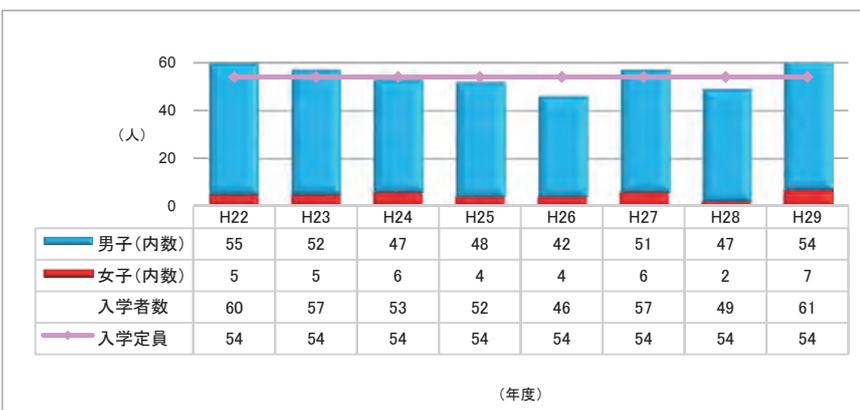
【経済学府】



【理学府】



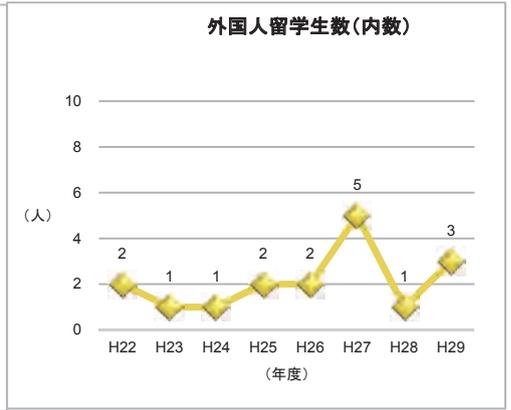
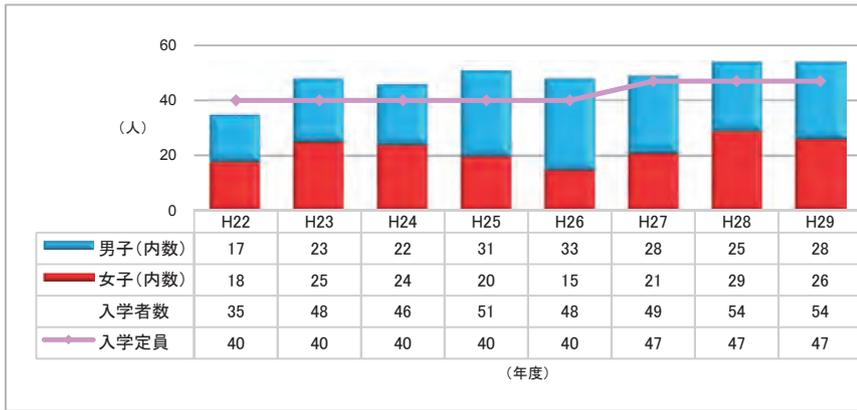
【数理学府】



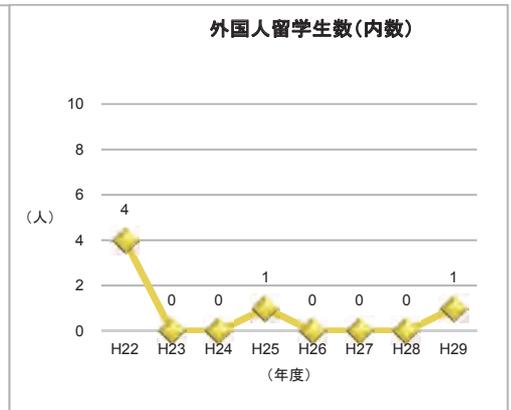
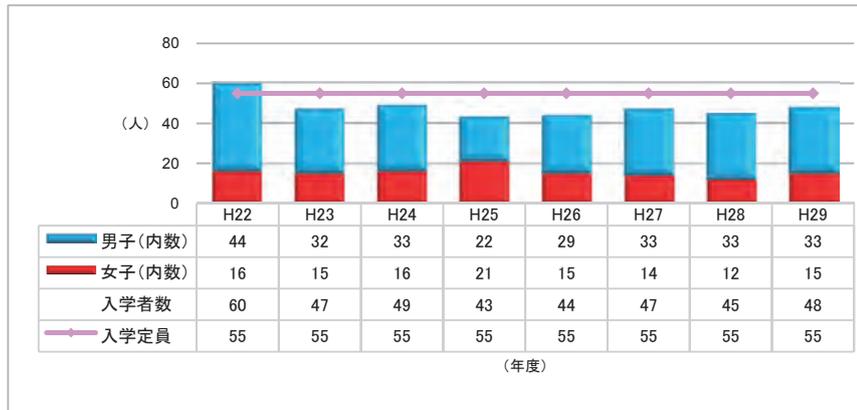
※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

5-2-2. 入学者数推移(学府別)(つづき)

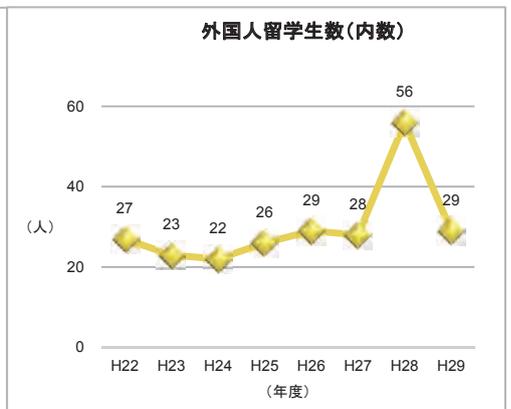
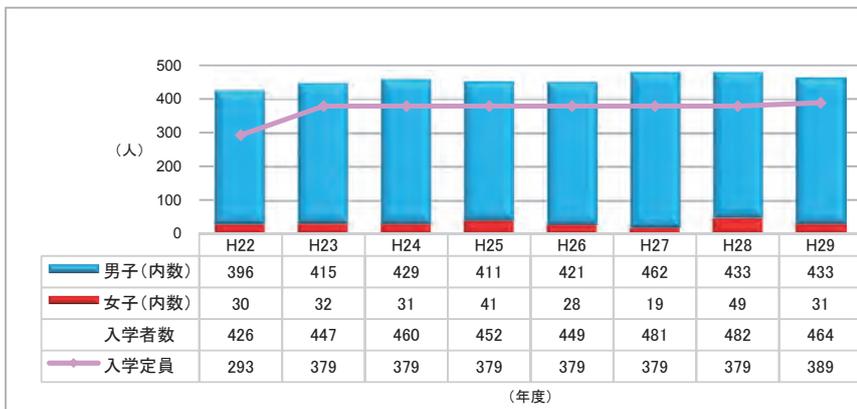
【医学系学府】



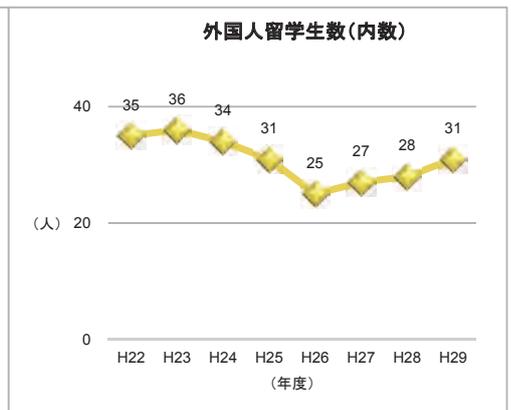
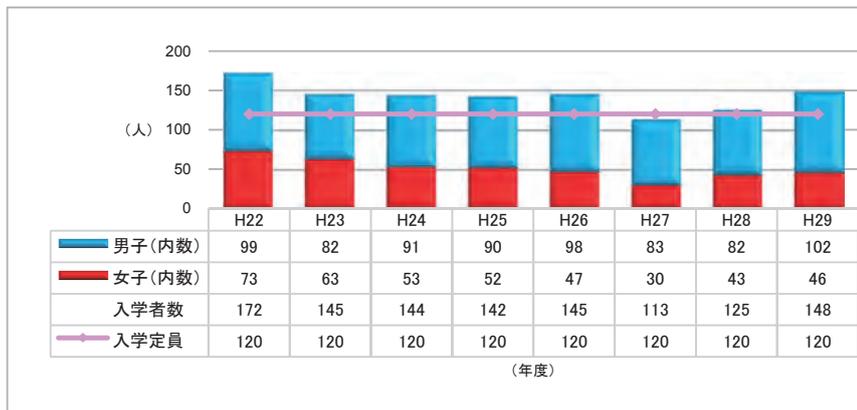
【薬学府】



【工学府】



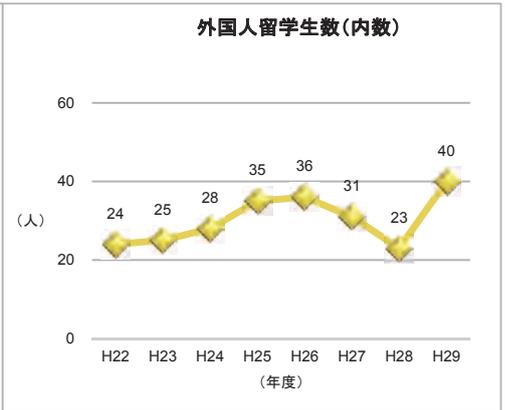
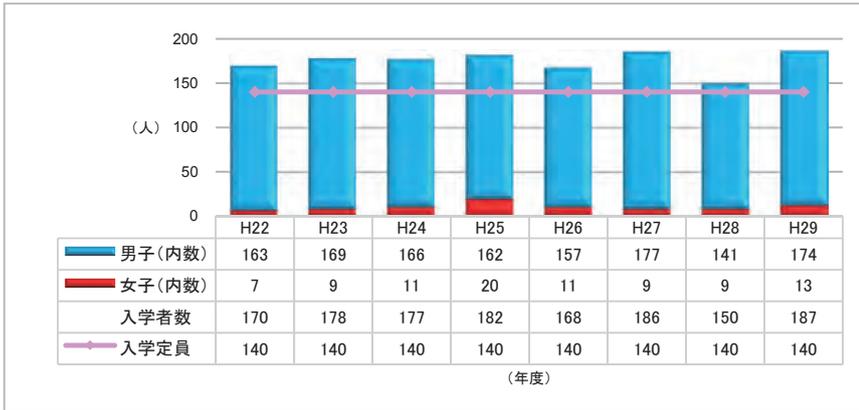
【芸術工学府】



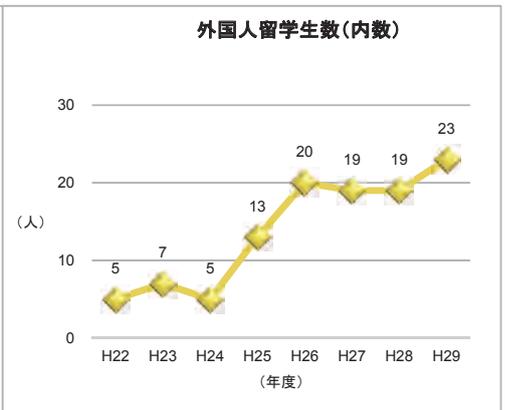
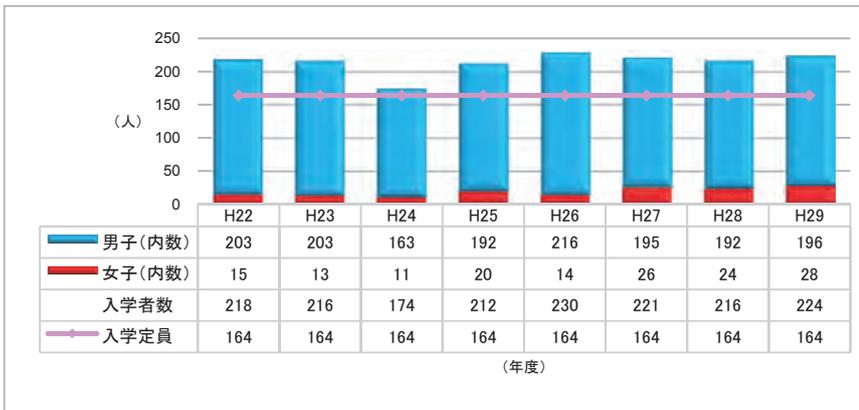
※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

5-2-2. 入学者数推移(学府別)(つづき)

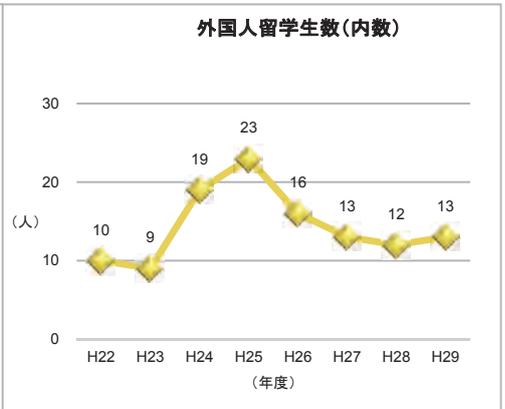
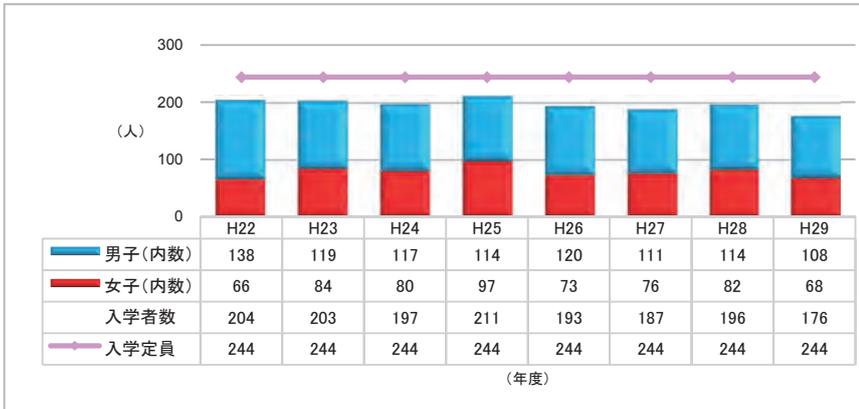
【システム情報科学府】



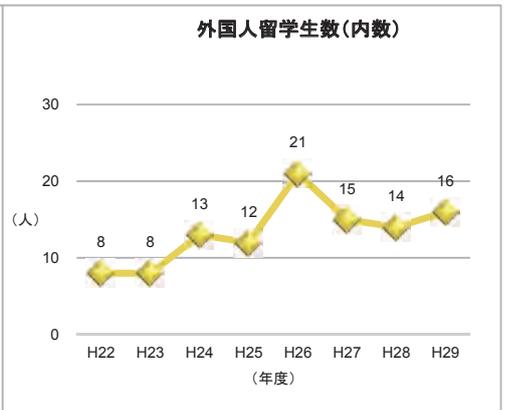
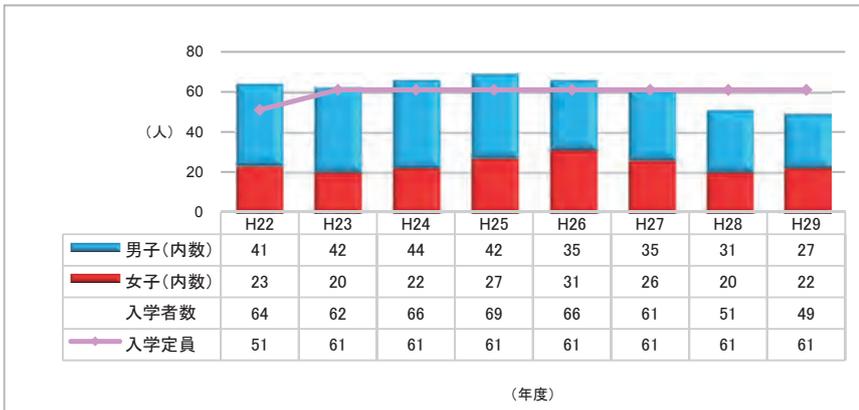
【総合理工学府】



【生物資源環境学府】



【統合新領域学府】



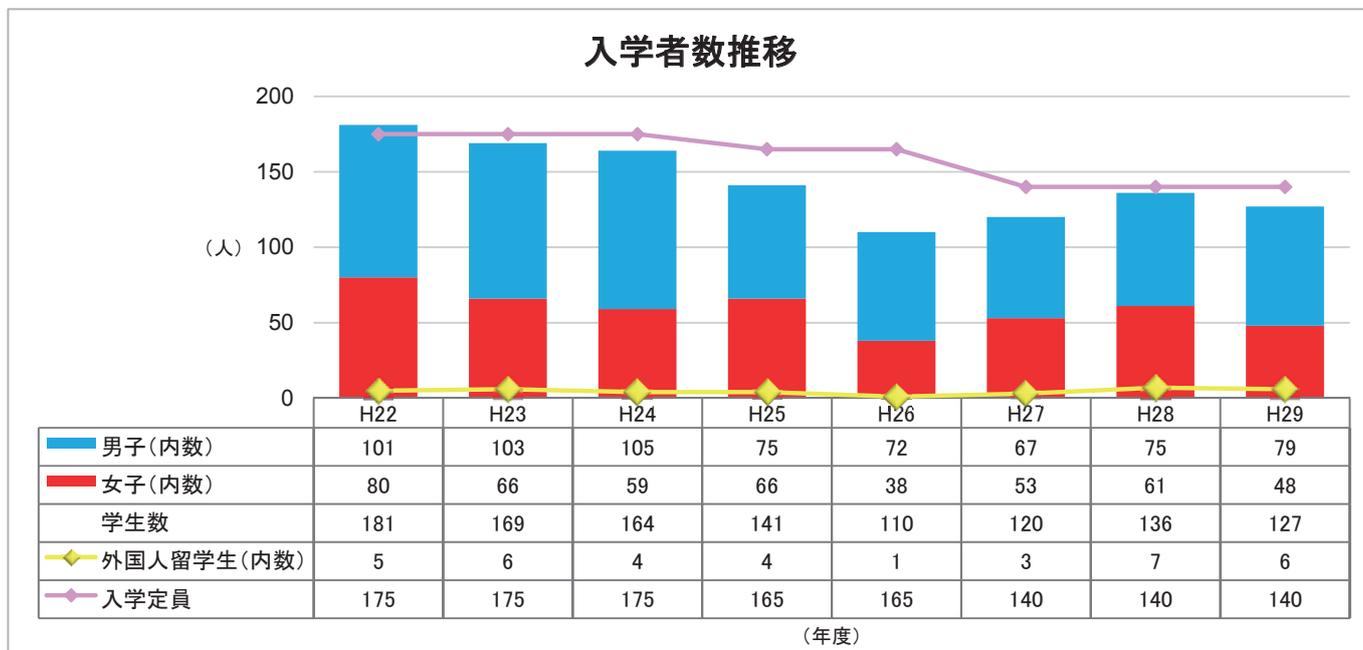
※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

## 5-3. 入学状況(専門職学位課程)

### 5-3-1. 入学者数推移(全体)

全国、本学ともに入学者数は減少傾向にある。本学でみると、外国人留学生数が若干増加傾向であるようにみえる。

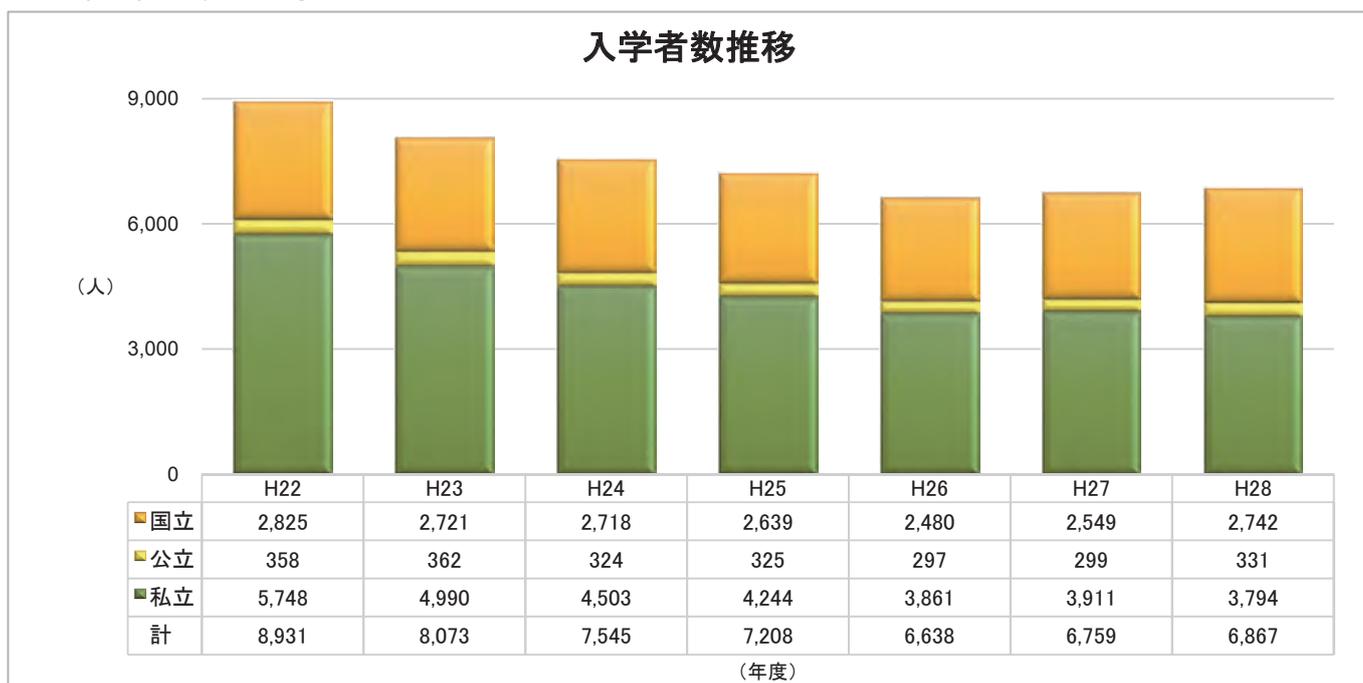
#### ◆九州大学◆



・専門職学位課程：人間環境学府実践臨床心理学専攻【臨床心理分野専門職大学院】  
 法務学府実務法学専攻【法科大学院】  
 経済学府産業マネジメント専攻【経営系専門職大学院】  
 医学系学府医療経営・管理学専攻【公衆衛生系専門職大学院】

※出典：九州大学概要(各年度4月1日現在)

#### ◆全国 国公立大学◆

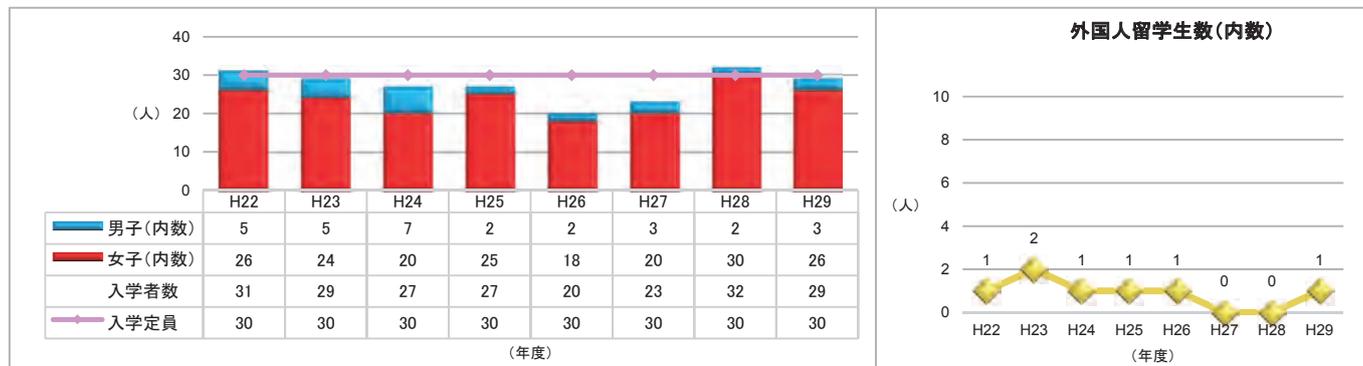


※出典：文部科学省学校基本調査「入学者数」

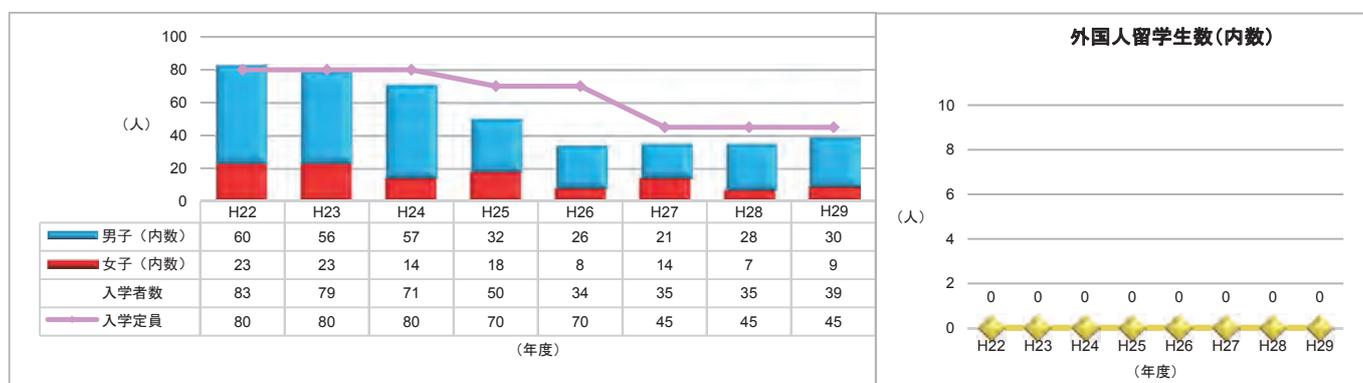
## 5-3-2. 入学者数推移(学府別)

外国人留学生数が、他の課程と比較すると少ない印象を受ける。男女比が学府別に大きく異なるが、特に法務学府の入学者数が著しく減少している。

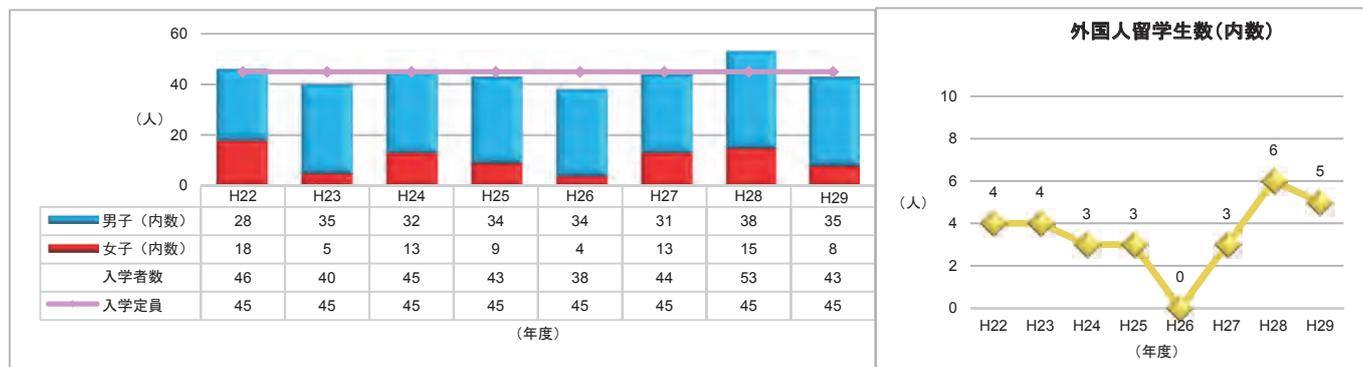
### 人間環境学府実践臨床心理学専攻【臨床心理分野専門職大学院】



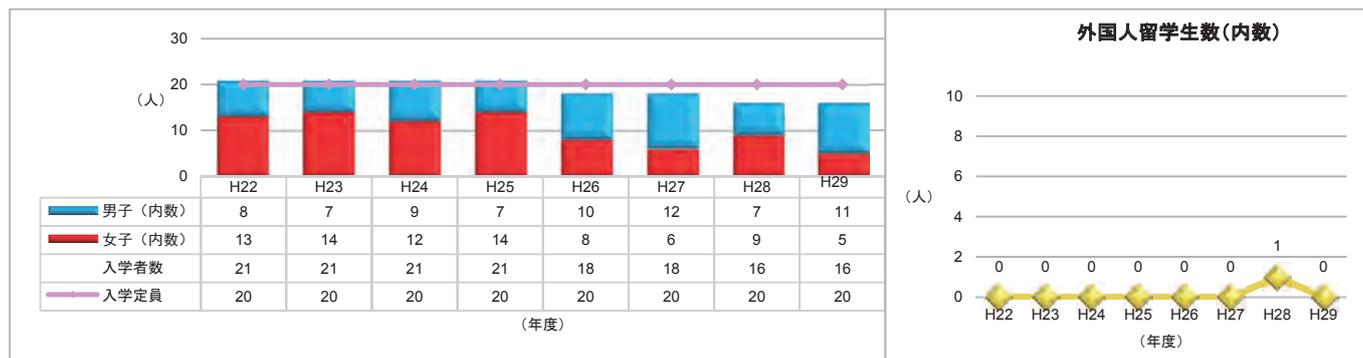
### 法務学府実務法学専攻【法科大学院】



### 経済学府産業マネジメント専攻【経営系専門職大学院】



### 医学系学府医療経営・管理学専攻【公衆衛生系専門職大学院】



※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

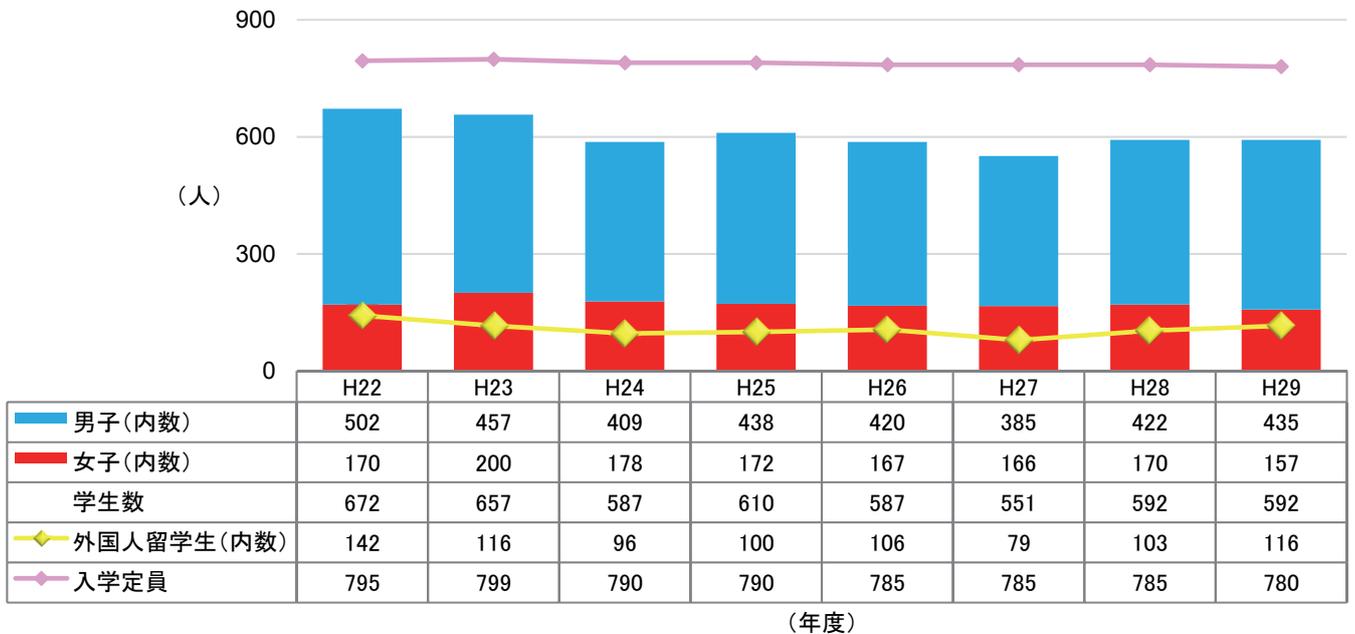
## 5-4. 入学状況(博士後期課程)

### 5-4-1. 入学者数推移(全体)

全国ほどではないが、入学者数は減少傾向にある。

#### ◆九州大学◆

### 入学者数推移



・専門職学位課程は含まない。

※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

#### ◆全国 国公立大学◆

### 入学者数推移

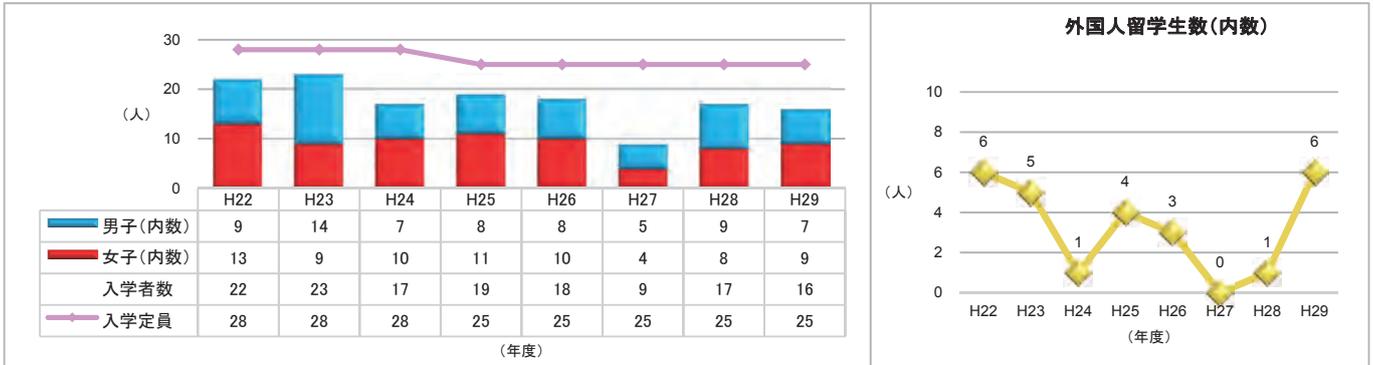


※出典:文部科学省学校基本調査「入学者数」

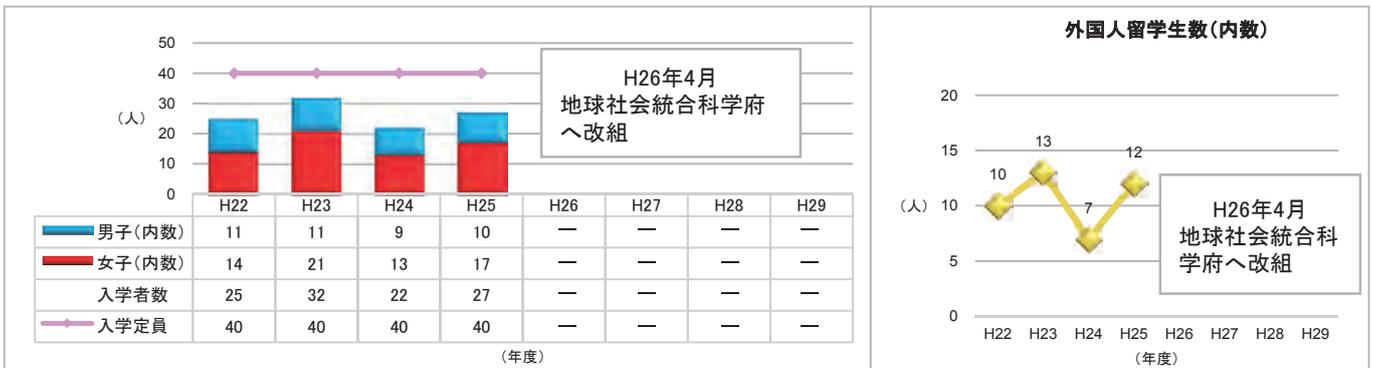
## 5-4-2. 入学者数推移(学府別)

入学定員に満たない学府が多い。学府・年度により人数は異なるものの、外国人留学生は全学府で確保できている。

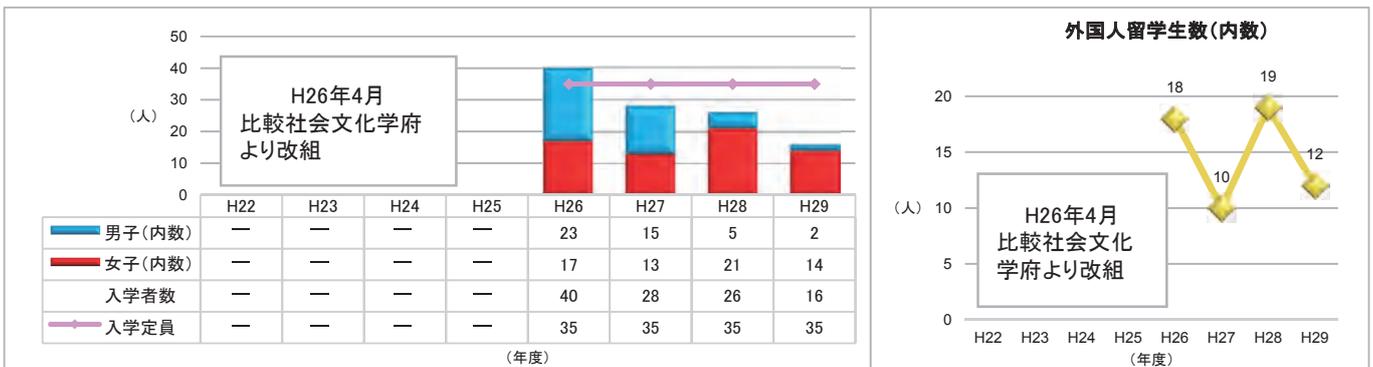
### 【人文科学府】



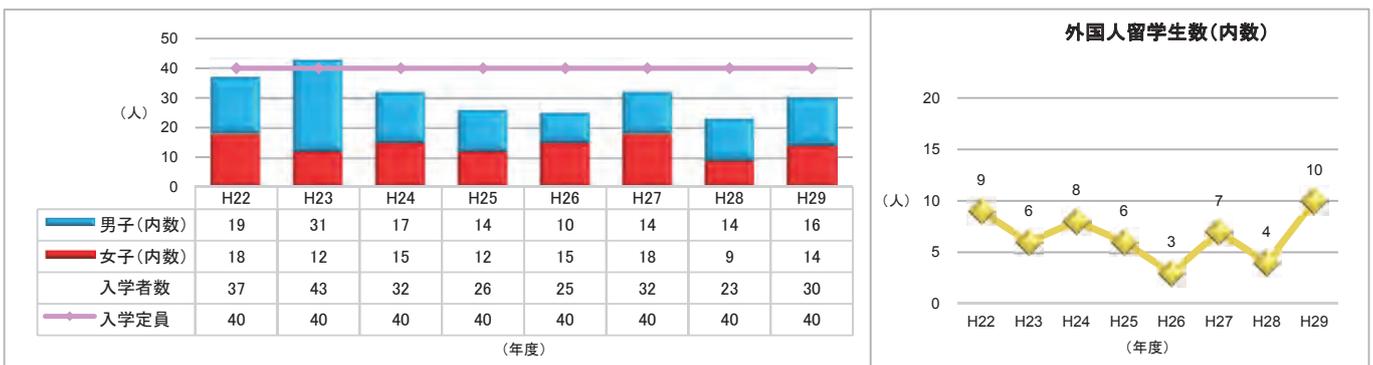
### 【比較社会文化学府】



### 【地球社会統合科学府】



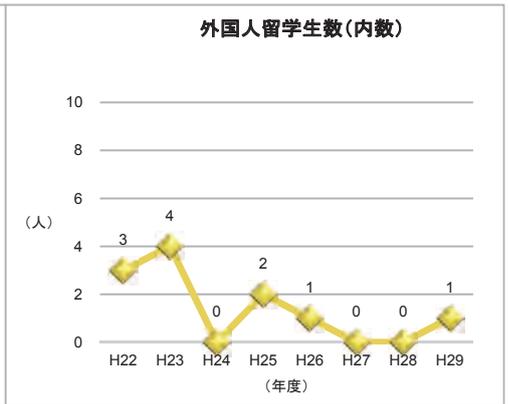
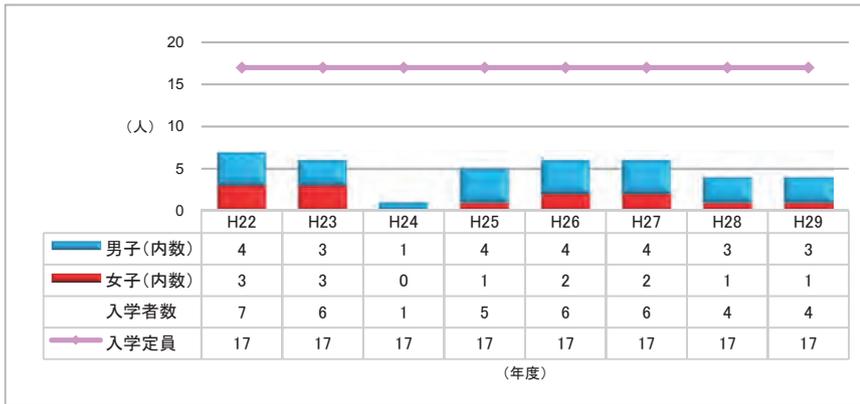
### 【人間環境学府】



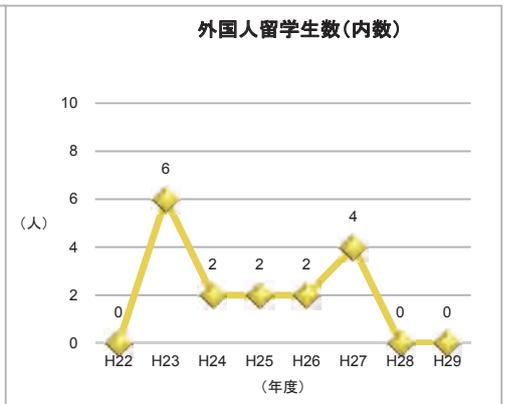
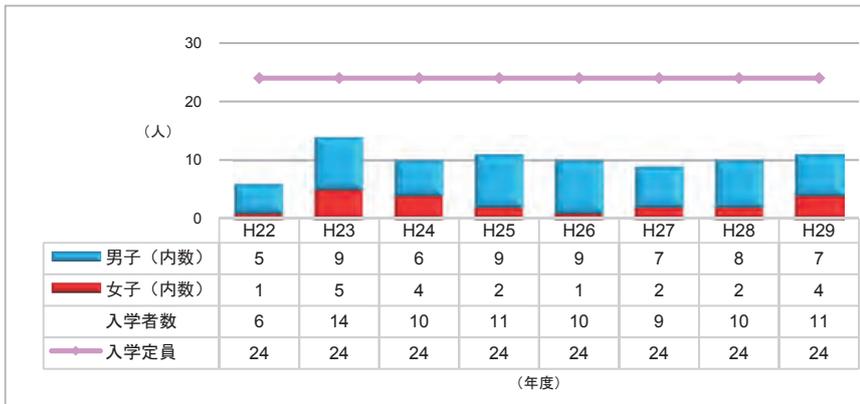
※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

5-4-2. 入学者数推移(学府別)(つづき)

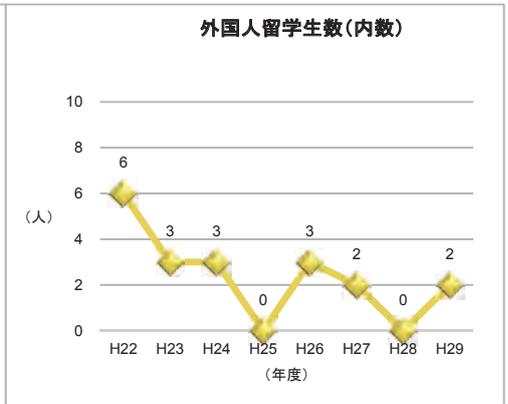
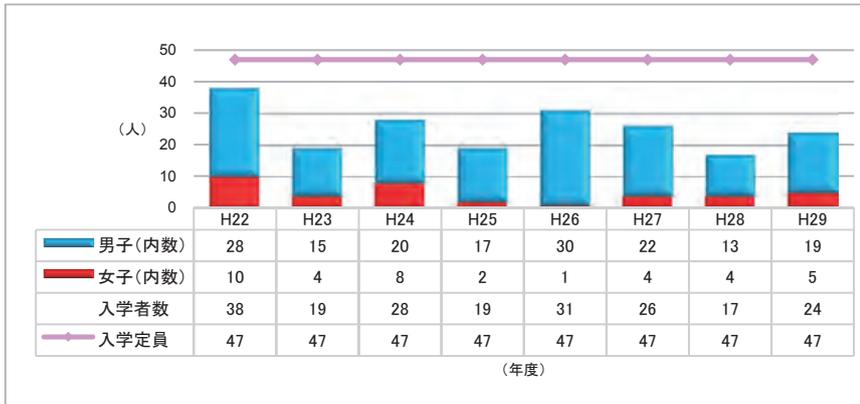
【法学府】



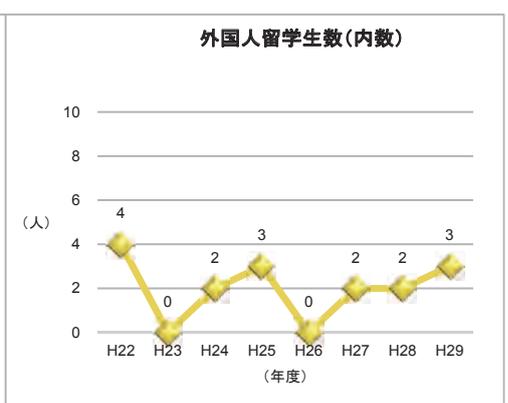
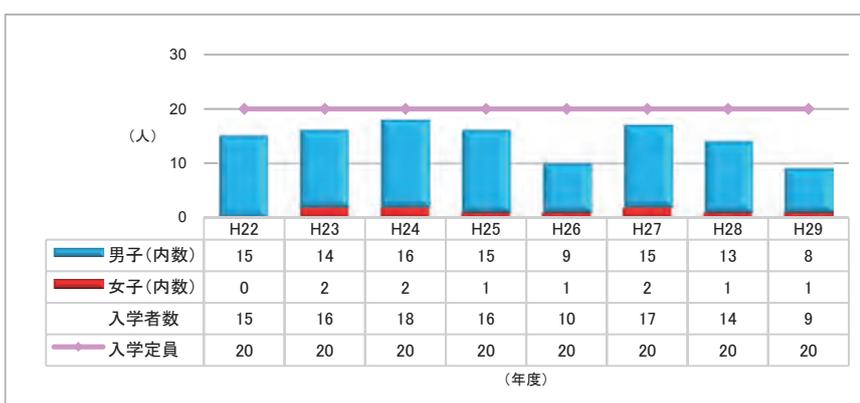
【経済学府】



【理学府】



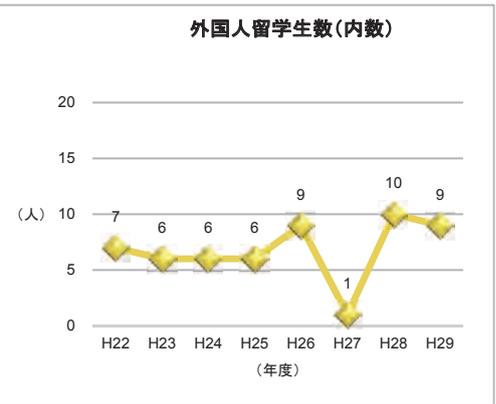
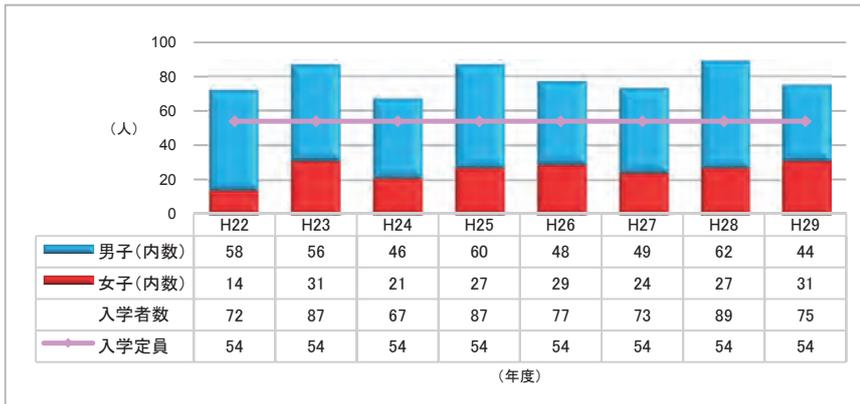
【数理学府】



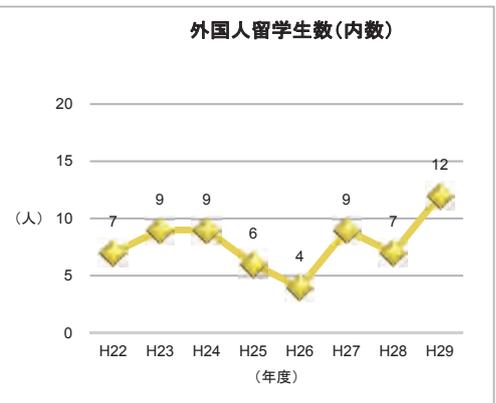
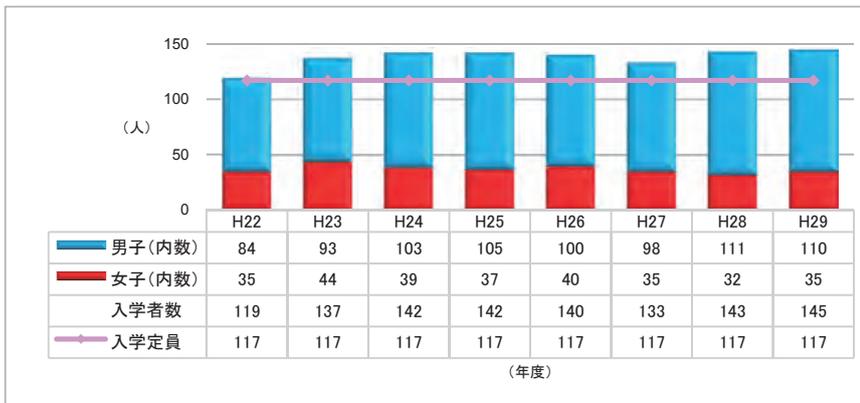
※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

5-4-2. 入学者数推移(学府別)(つづき)

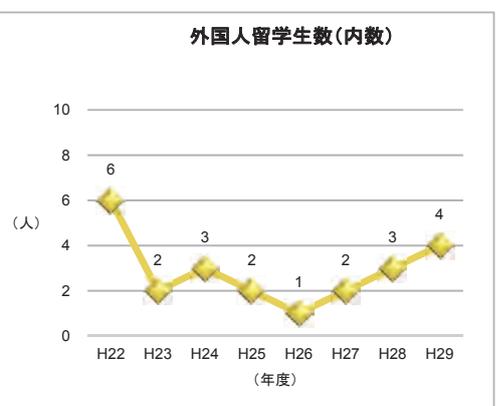
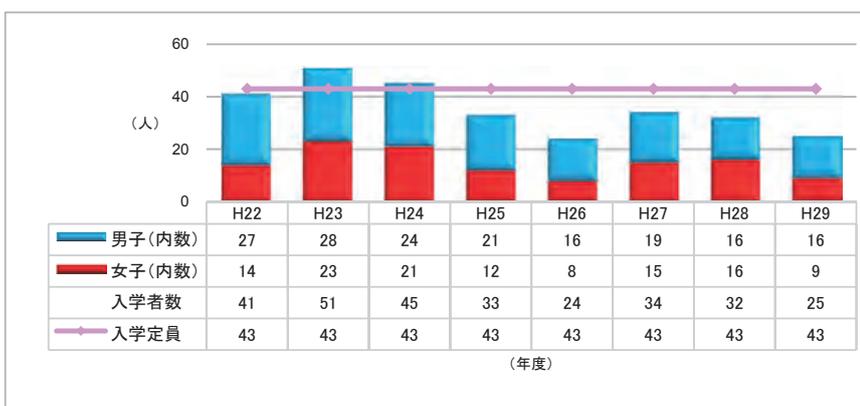
【システム生命科学府】



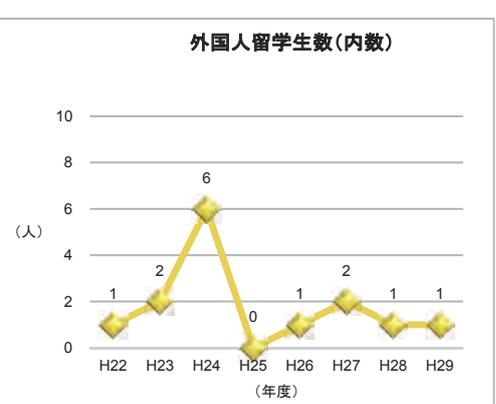
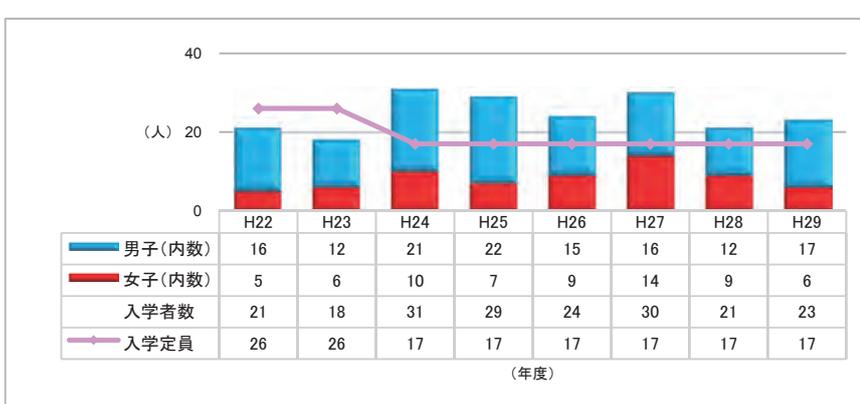
【医学系学府】



【歯学府】



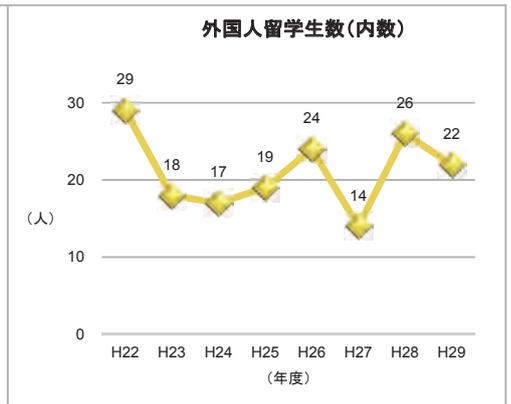
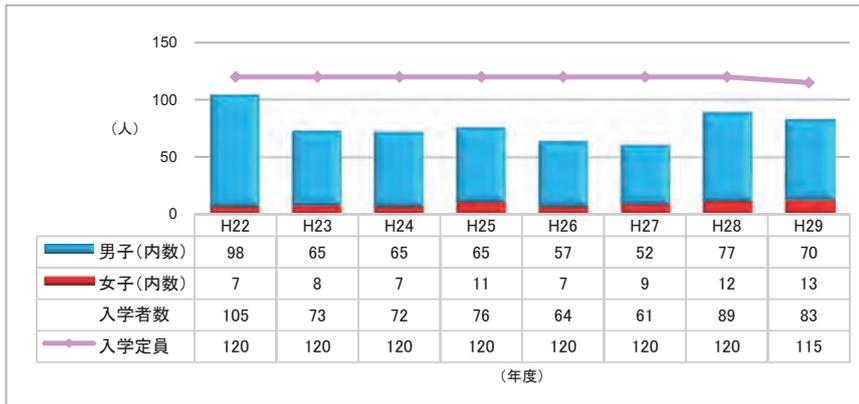
【薬学府】



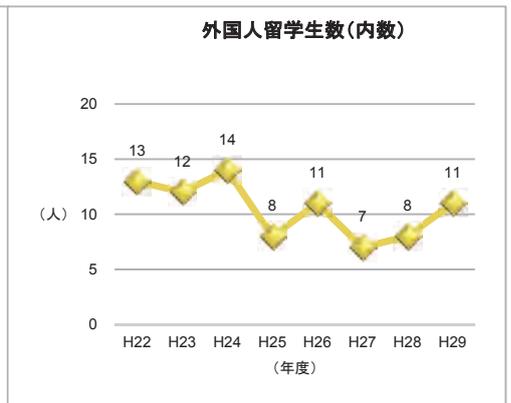
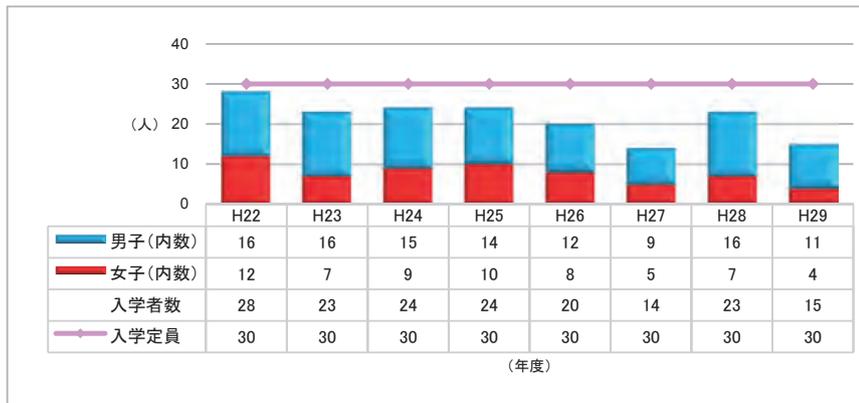
※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

5-4-2. 入学者数推移(学府別)(つづき)

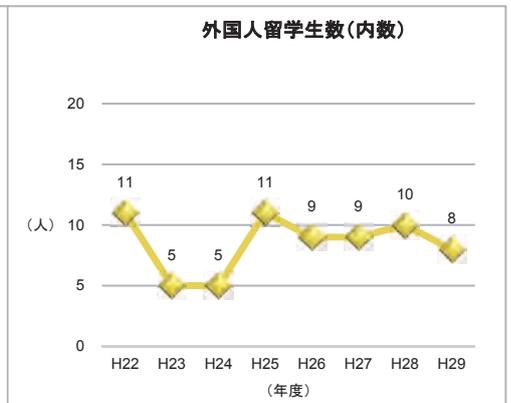
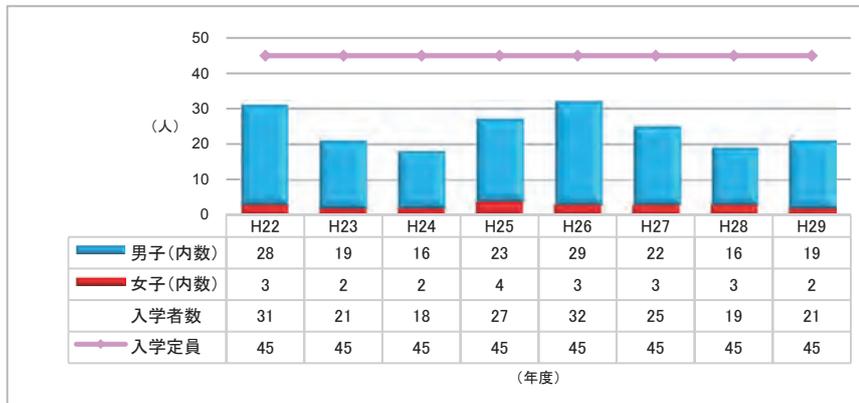
【工学府】



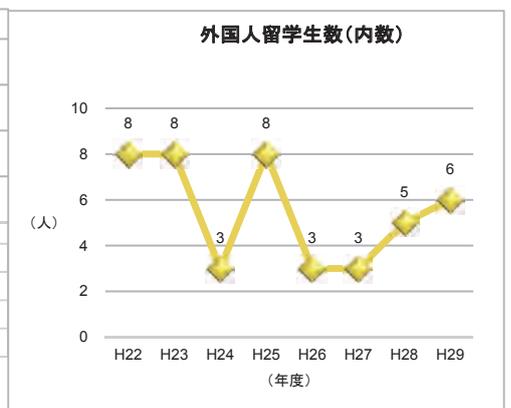
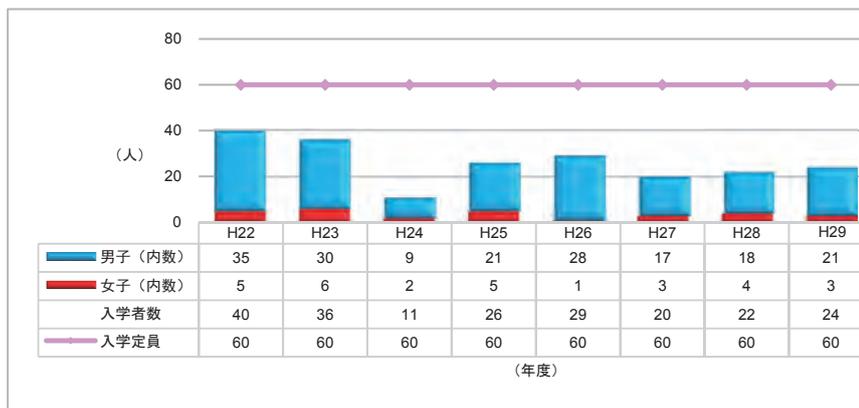
【芸術工学府】



【システム情報科学府】



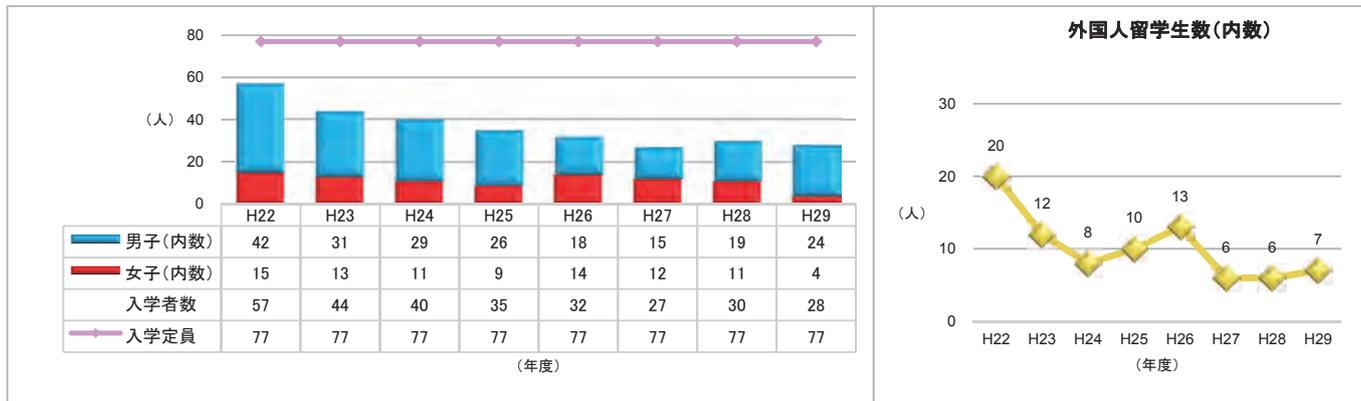
【総合理工学府】



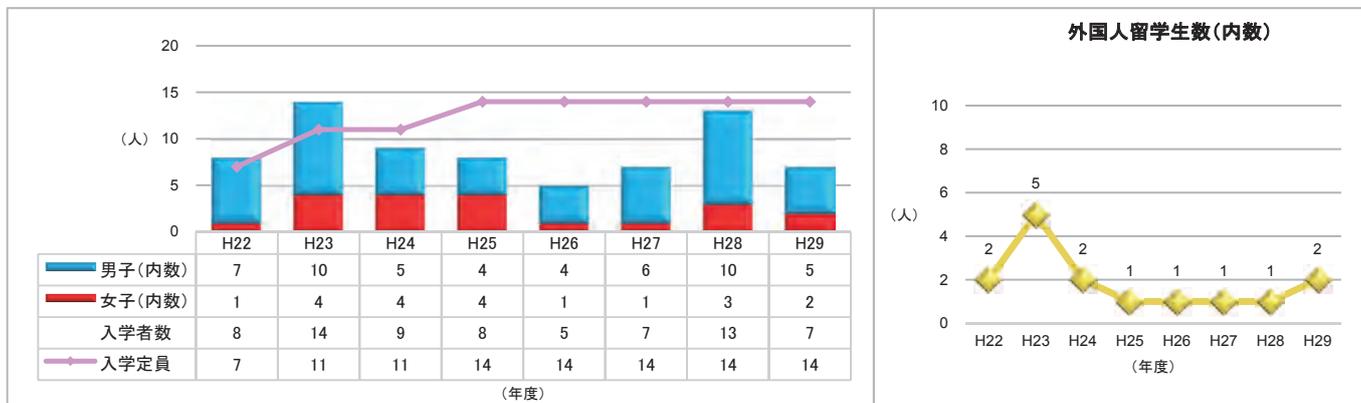
※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

5-4-2. 入学者数推移(学府別)(つづき)

【生物資源環境科学府】



【統合新領域学府】



※出典:九州大学概要(各年度4月1日現在)

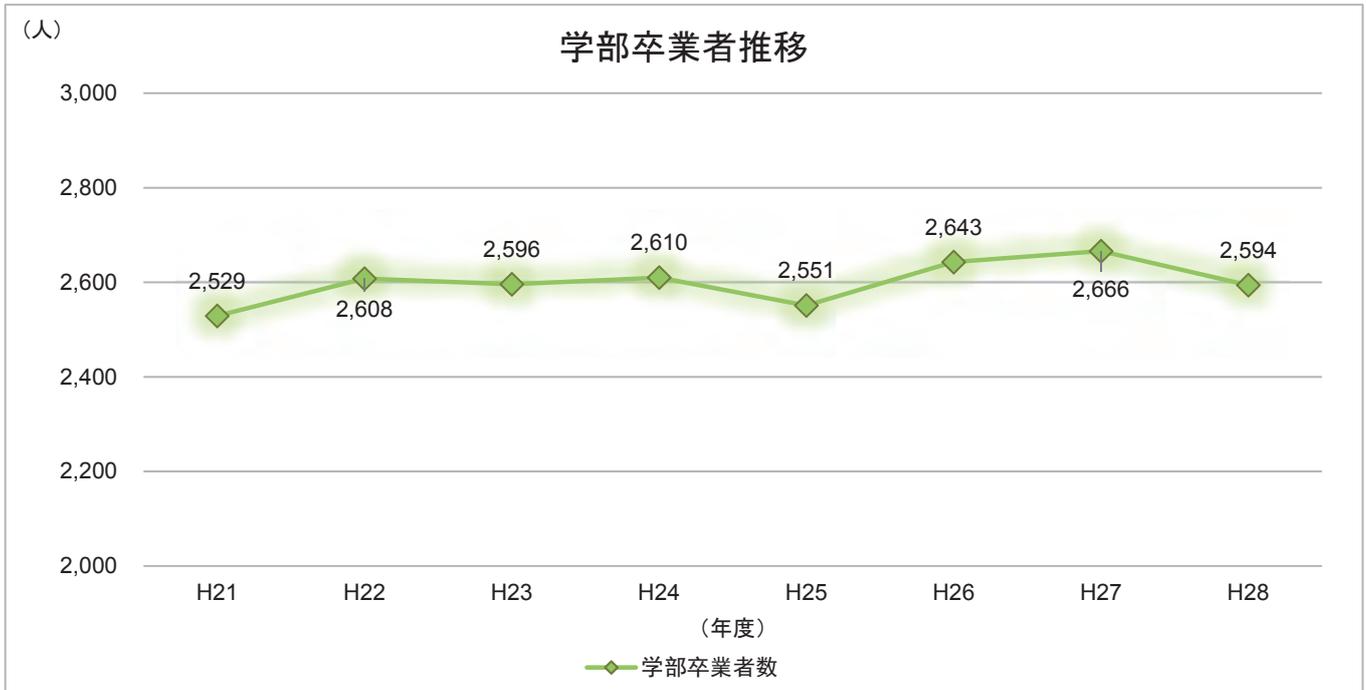
## 6. 学位取得状況 (各年度4月1日現在)

### 6-1. 学部卒業者状況

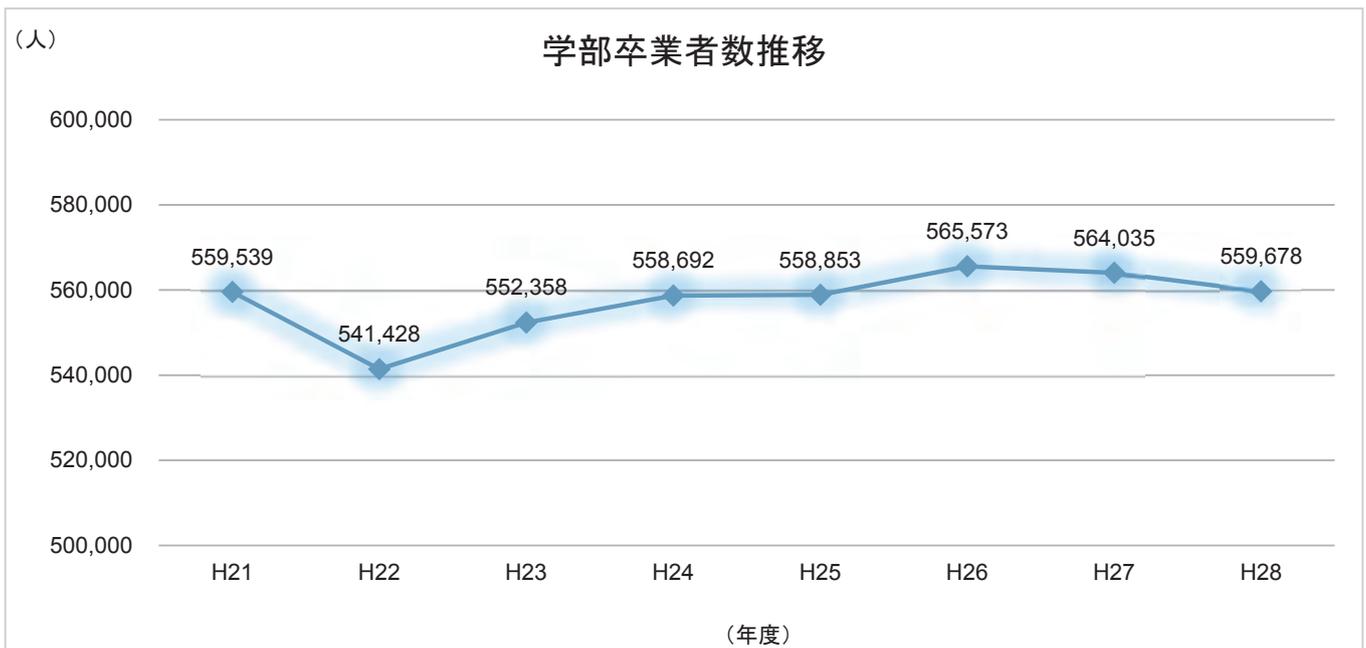
#### 6-1-1. 学部卒業者状況(全体)

全国と比較しても、大きな変化は見られない。学部別にみると、経済学部及び農学部において、卒業者数が大きく減少している。

#### ◆九州大学◆

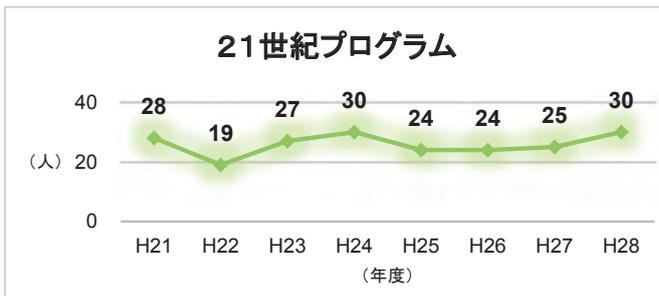
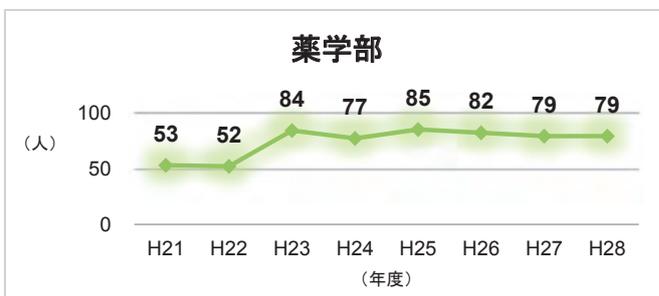
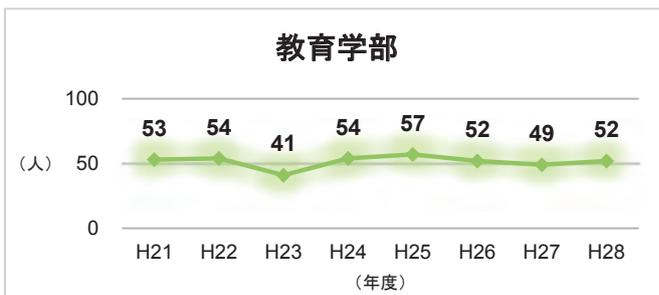


#### ◆全国 国公立大学◆



※出典  
 ・本学:九州大学概要  
 ・全国:文部科学省 学校基本調査 年次統計「卒業者数」

## 6-1-2. 学部卒業生状況(学部別)



出典:九州大学概要

## 6-2. 修士課程修了者数及び修士の学位取得状況

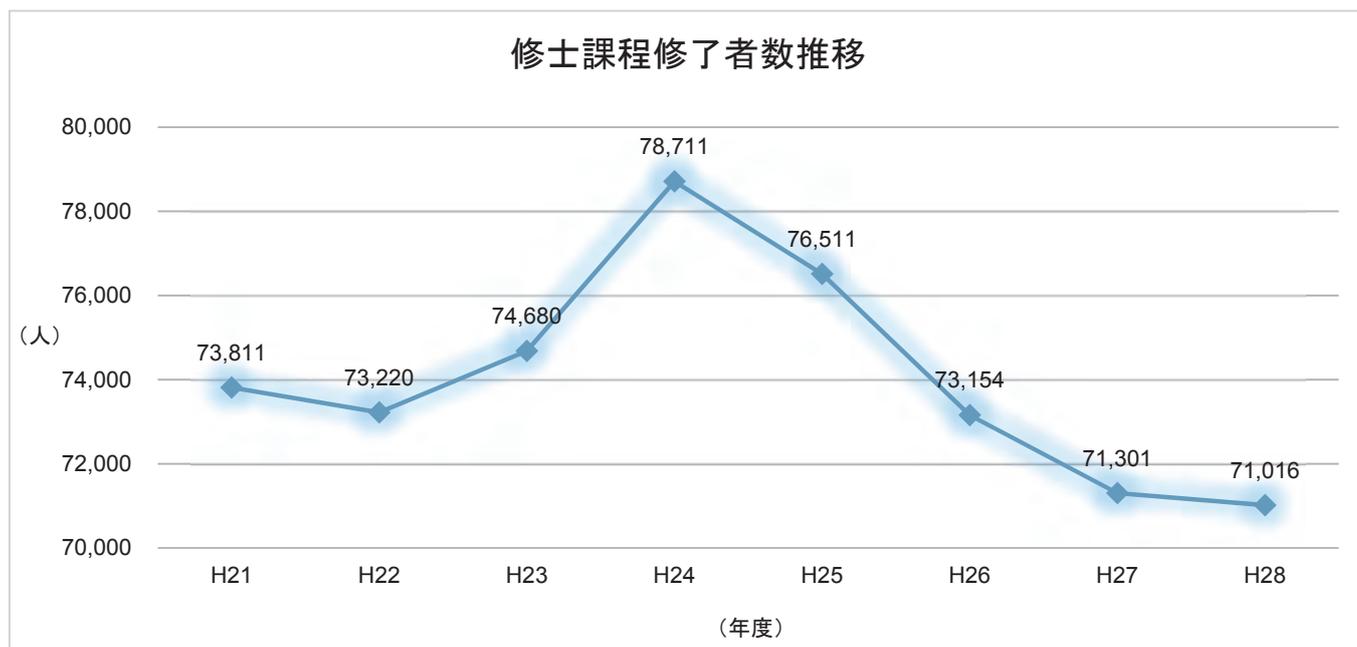
### 6-2-1. 修士課程修了者数及び修士の学位取得状況(全体)

全国とは対照的に、本学は減少傾向が見られない。本学出身の志願者を安定的に確保できている状況が影響していると考えられる。

#### ◆九州大学◆



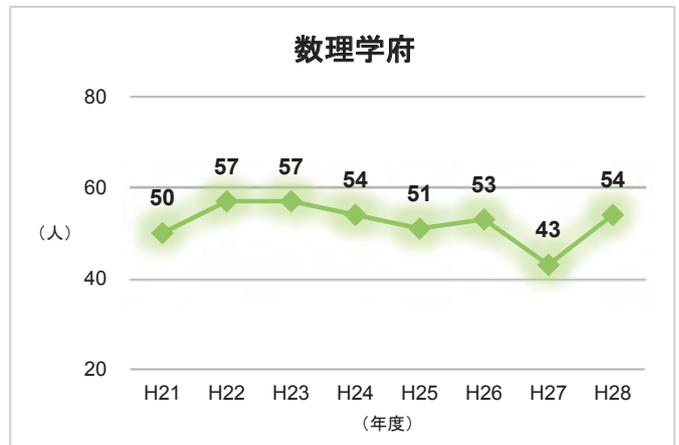
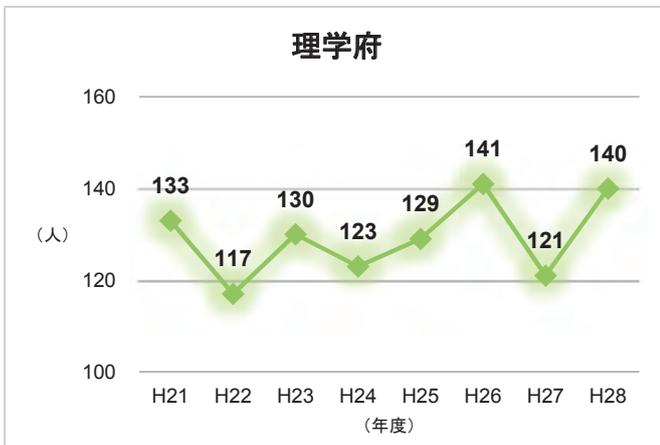
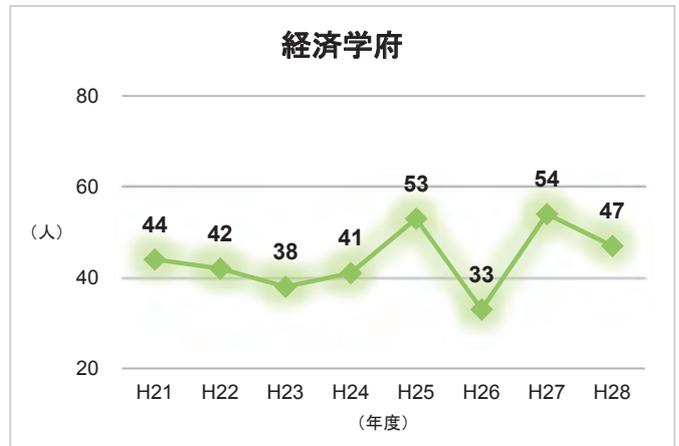
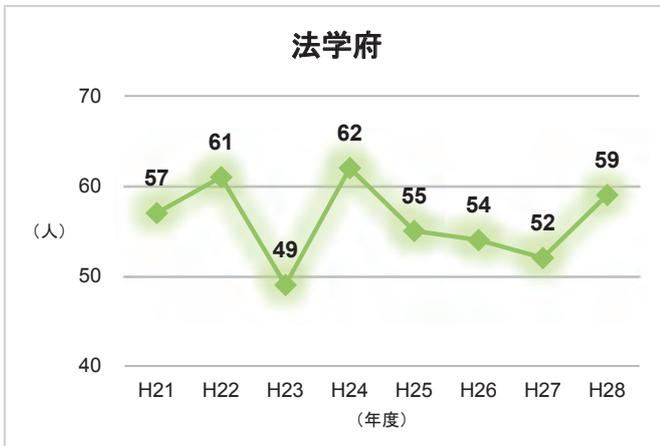
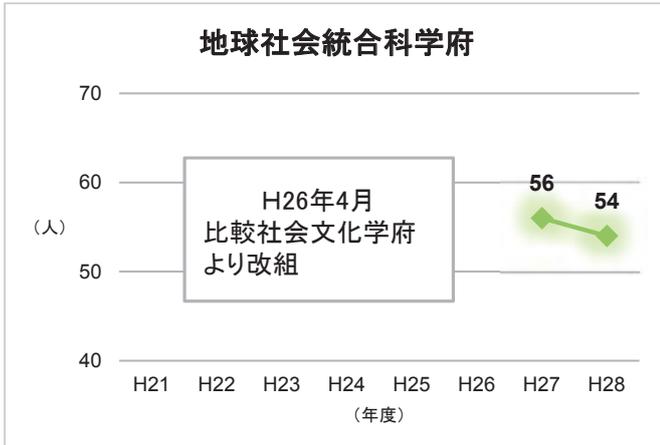
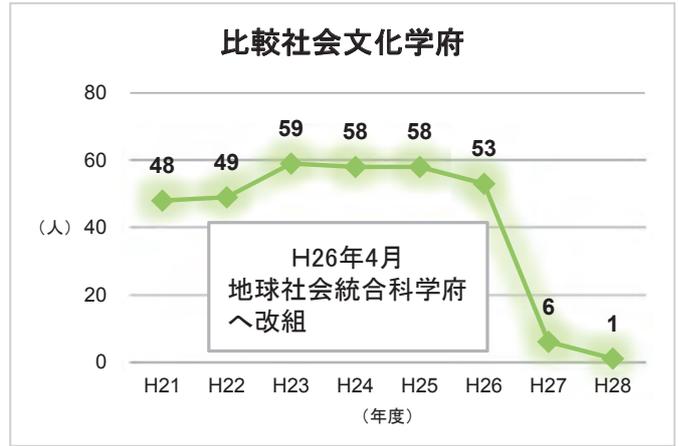
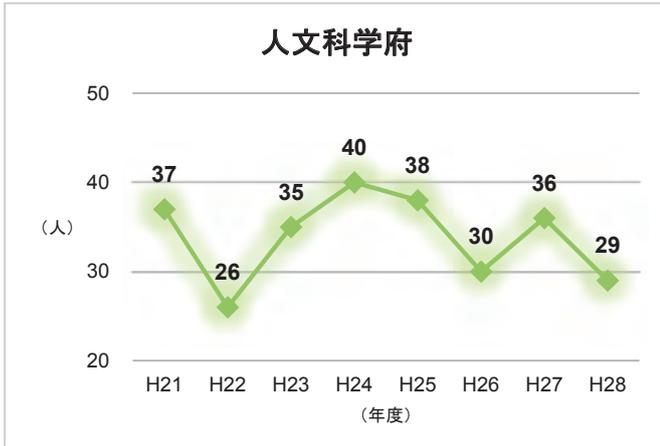
#### ◆全国 国公立大学◆



※出典

- ・本学:九州大学概要
- ・全国:文部科学省 学校基本調査 年次統計「卒業生数」

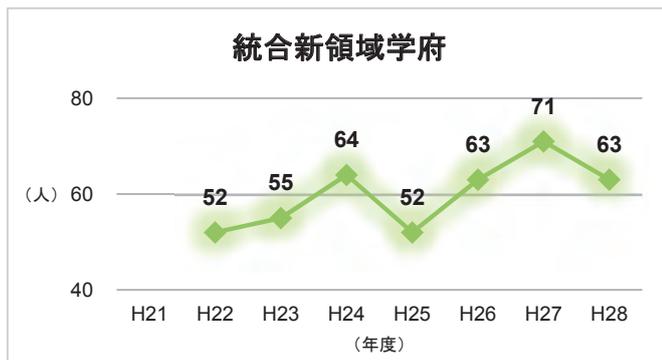
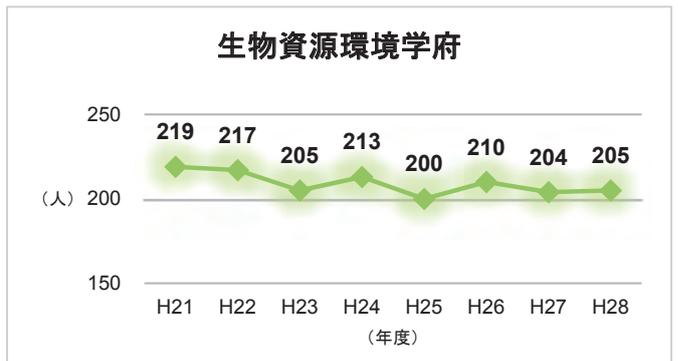
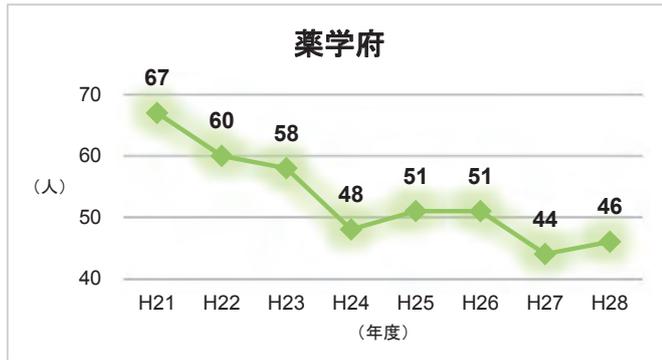
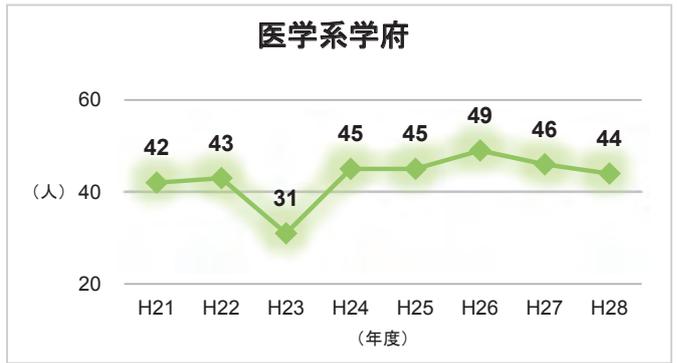
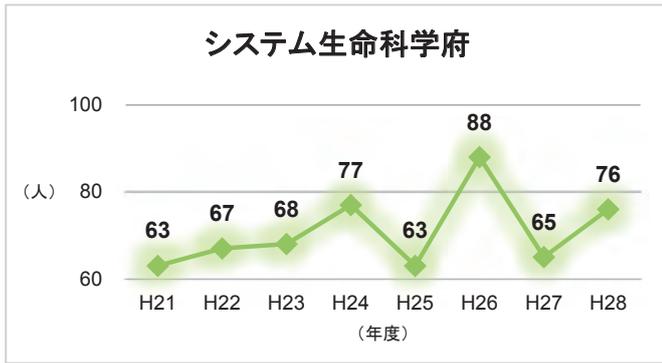
## 6-2-2. 修士課程修了者数及び修士の学位取得状況(学府別)



※平成26年度に、比較社会文化学府が、地球社会統合科学府に改組した。

※出典:九州大学概要

6-2-2. 修士課程修了者数及び修士の学位取得状況(学府別)(つづき)



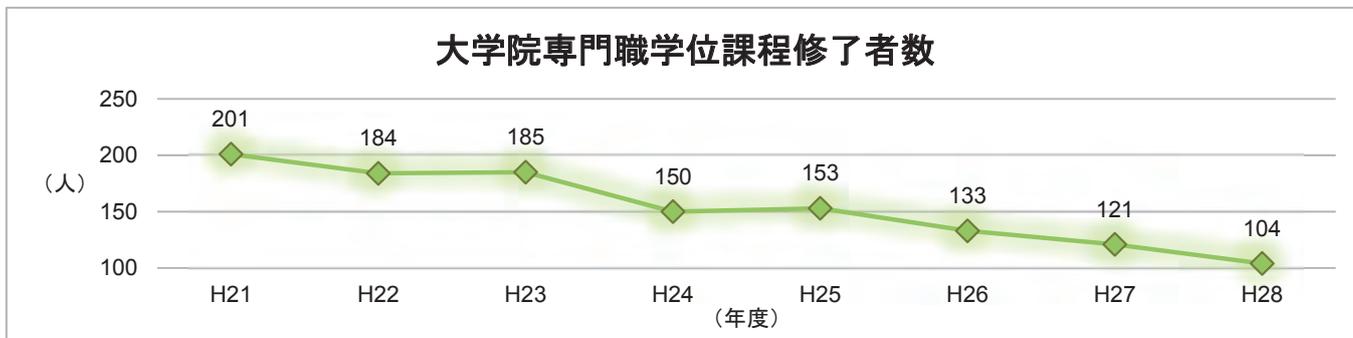
※出典:九州大学概要

## 6-3. 専門職学位課程修了者状況

### 6-3-1. 専門職学位課程修了者状況(全体)

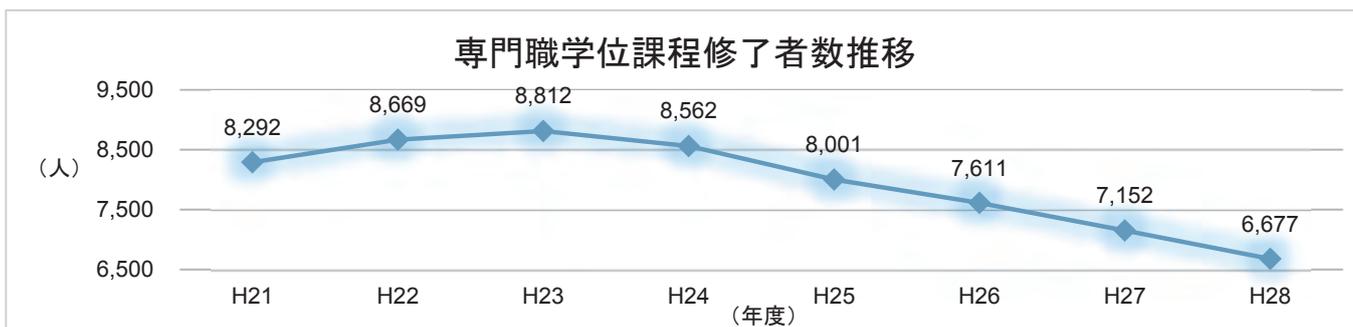
全国的に比較しても修了者は減少傾向にある。学府別にみると、法務学府は他学府よりも減少幅が大きくなっている。

#### ◆九州大学◆

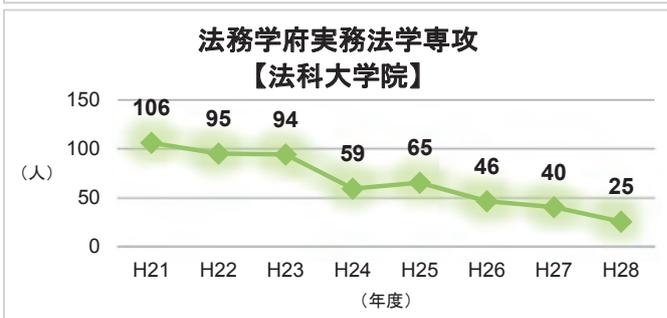
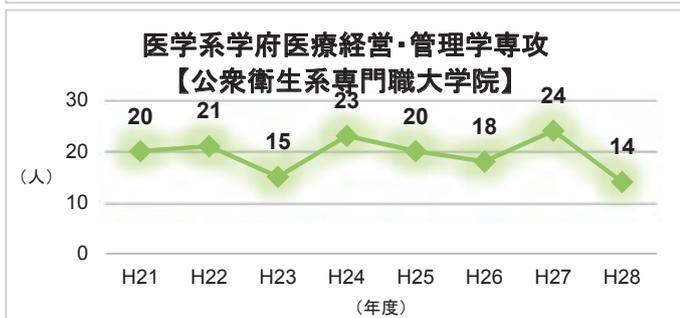
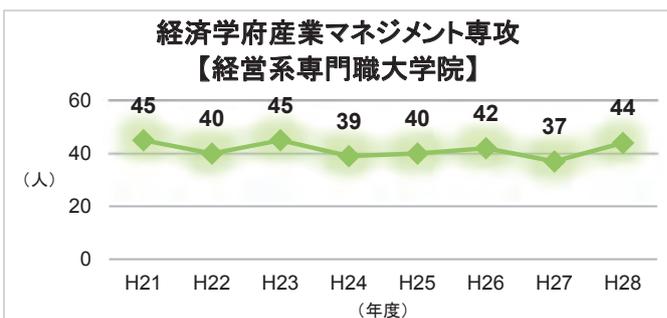
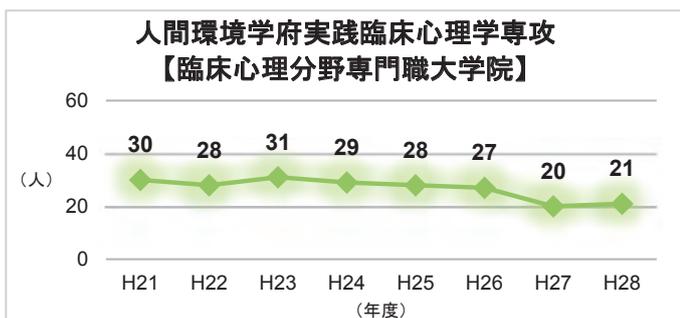


専門職学位課程：人間環境学府実践臨床心理学専攻【臨床心理分野専門職大学院】  
 法務学府実務法学専攻【法科大学院】  
 経済学府産業マネジメント専攻【経営系専門職大学院】  
 医学系学府医療経営・管理学専攻【公衆衛生系専門職大学院】

#### ◆全国 国公立大学◆



### 6-3-2. 専門職学位課程修了者状況(学府別)



※出典

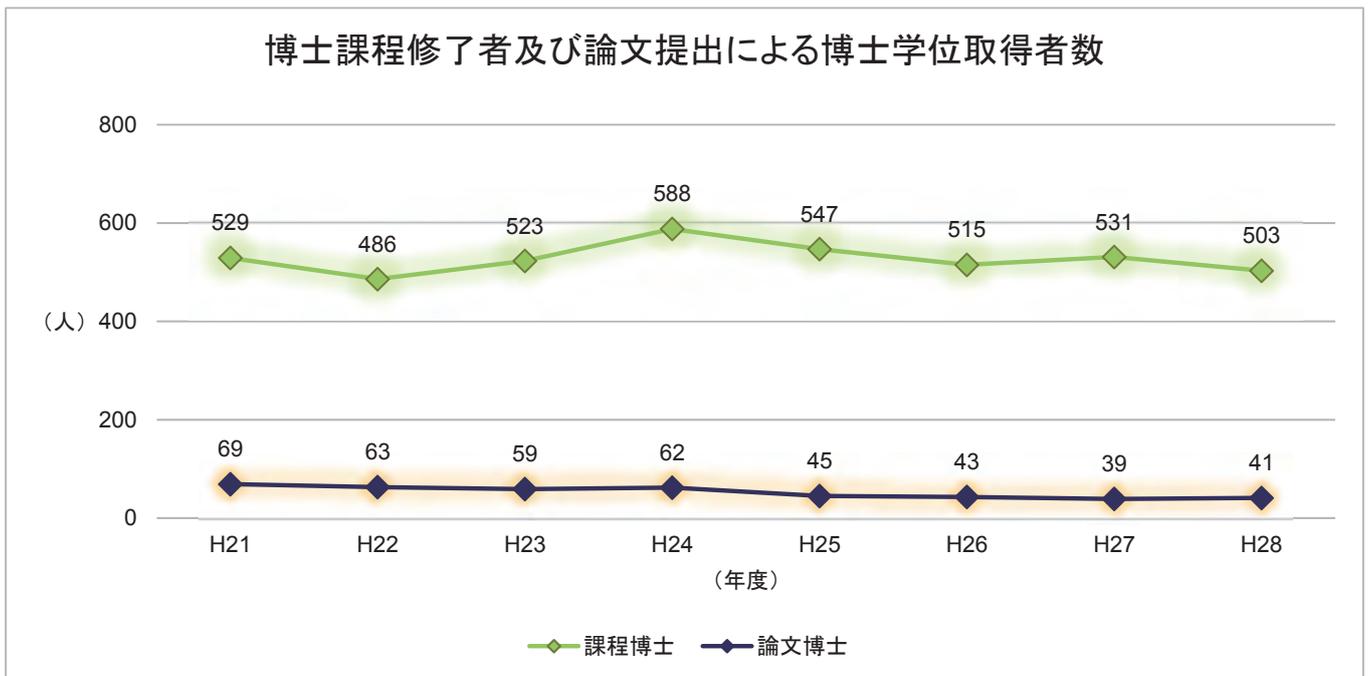
- ・本学：九州大学概要
- ・全国：文部科学省 学校基本調査 年次統計「卒業生数」

## 6-4. 博士課程修了者数及び論文提出による博士学位取得状況

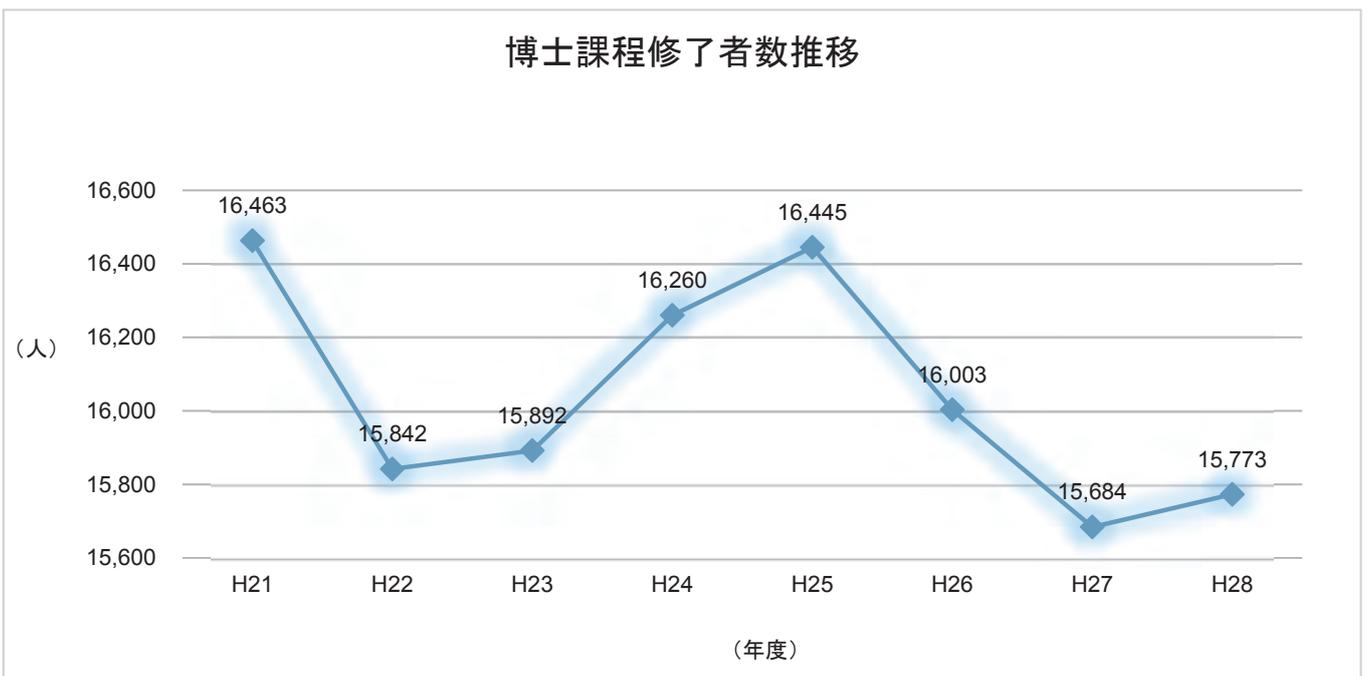
### 6-4-1. 博士課程修了者数及び論文提出による博士学位取得状況(全体)

本学では大きな変化は見られないが、全国ではH27年度より若干の増加傾向ではある。

#### ◆九州大学◆



#### ◆全国 国公立大学◆

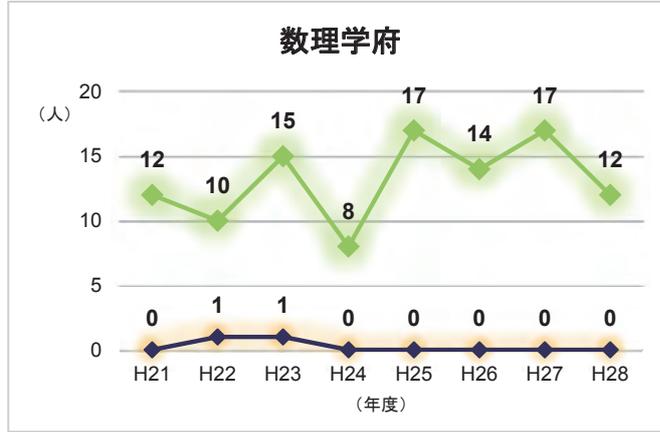
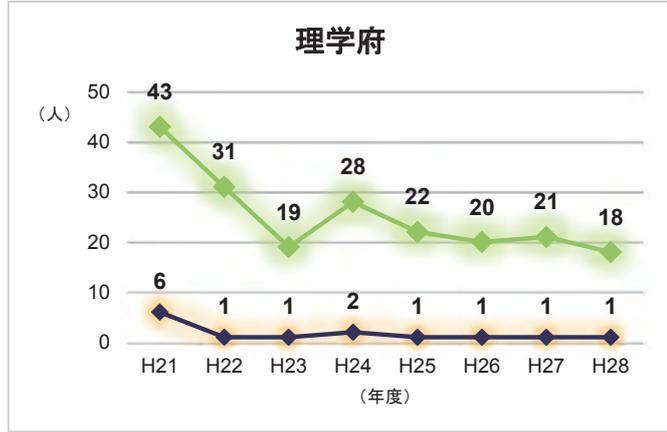
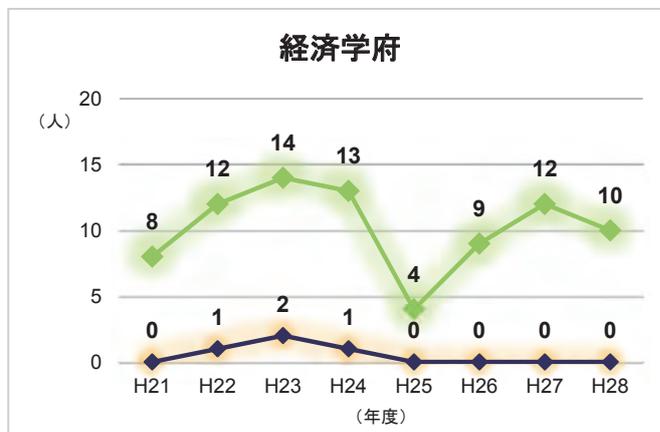
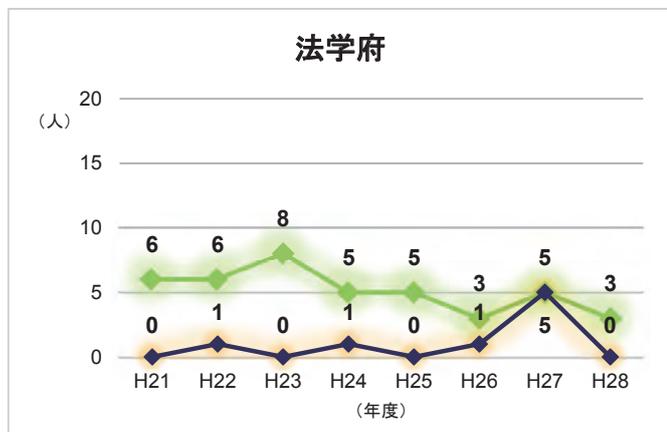
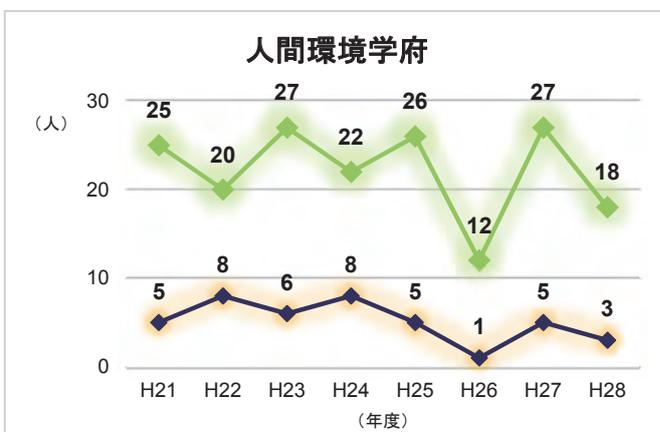
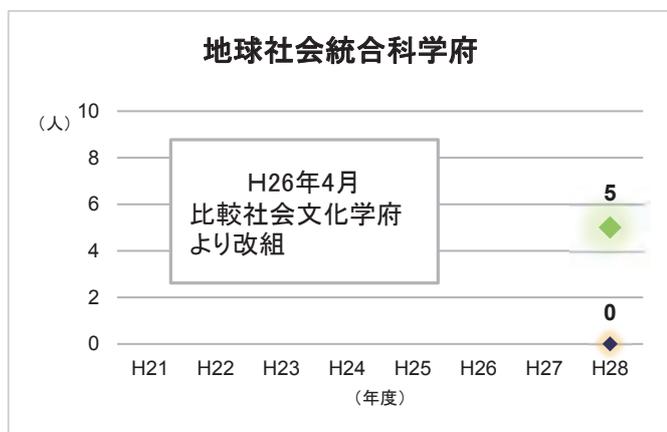
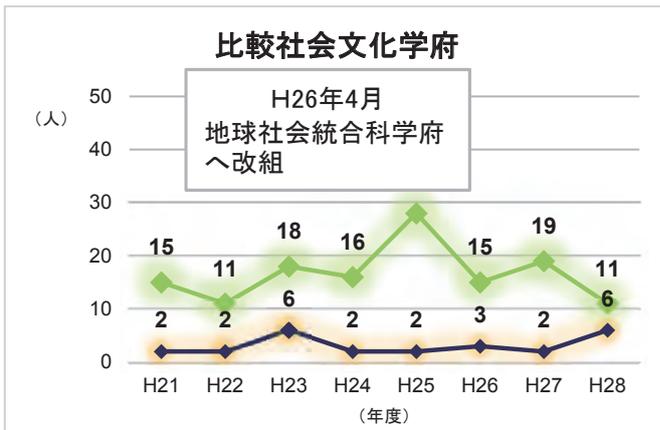
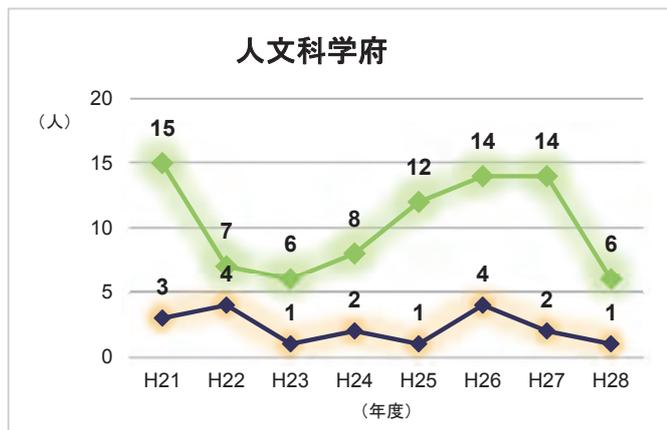


※出典

- ・本学:九州大学概要
- ・全国:文部科学省 学校基本調査 年次統計「卒業生数」

## 6-4-2 博士課程修了者数及び論文提出による博士学位取得状況(学府別)

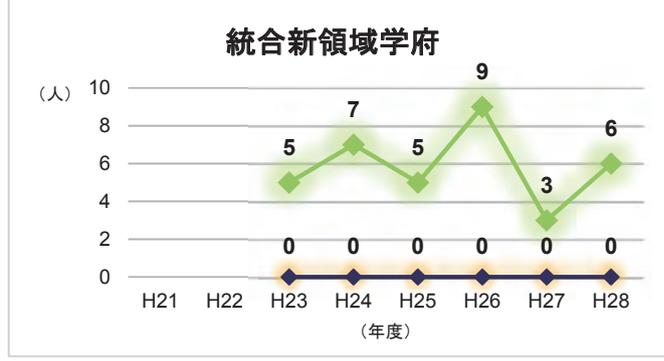
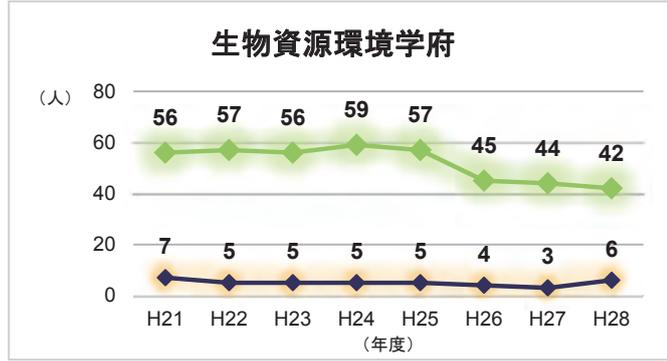
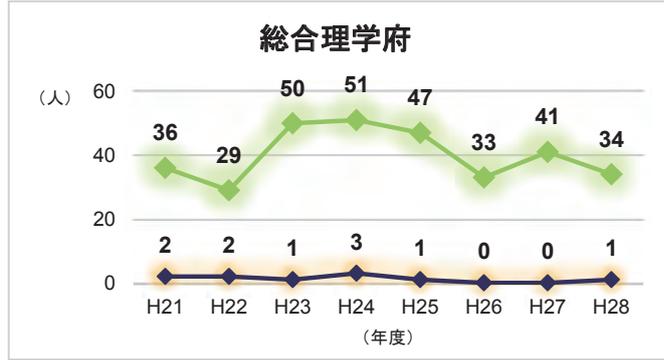
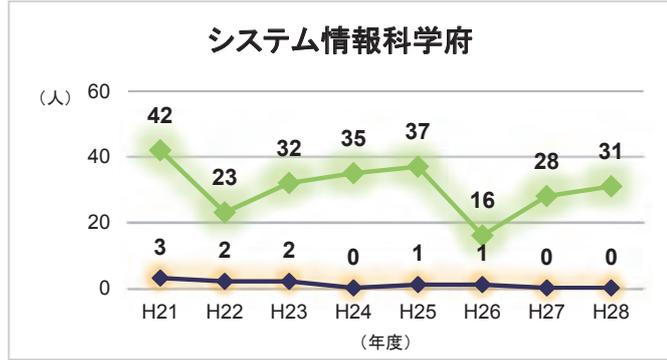
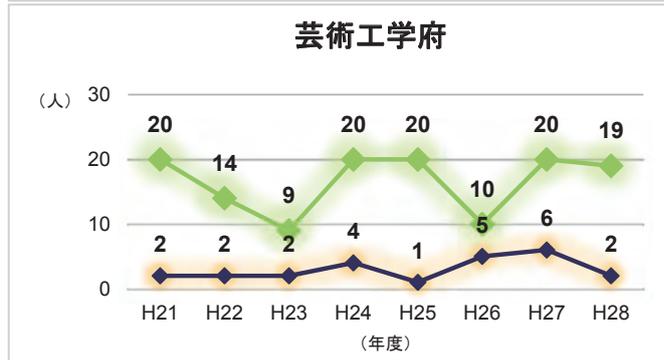
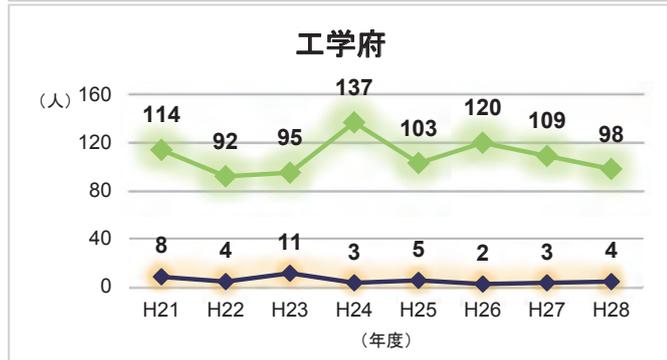
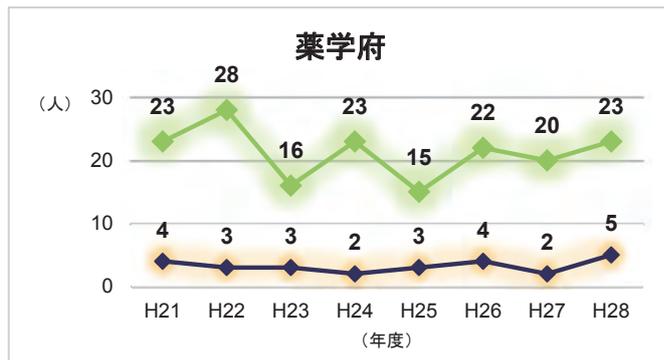
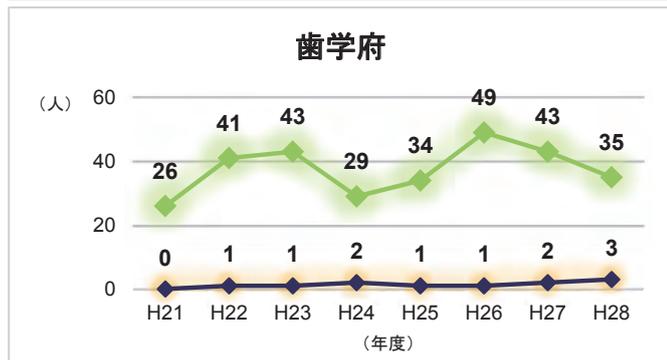
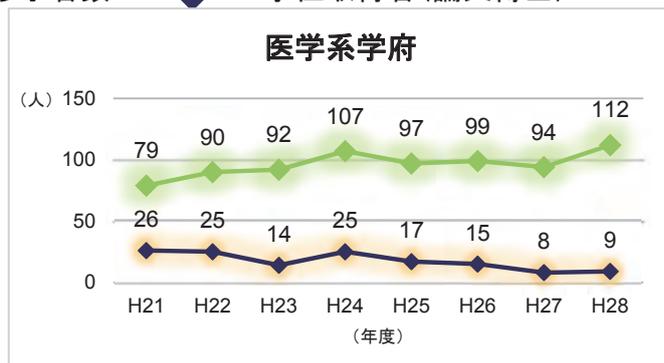
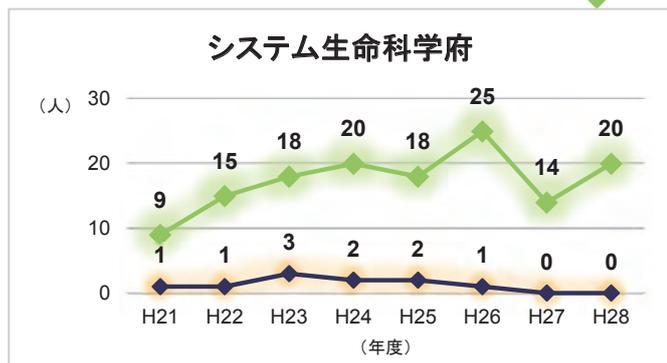
◆ 修了者数 ◆ 学位取得者(論文博士)



※出典:九州大学概要

6-4-2. 博士課程修了者数及び論文提出による博士学位取得状況(学府別)(つづき)

◆ 修了者数    ◆ 学位取得者(論文博士)



※出典:九州大学概要

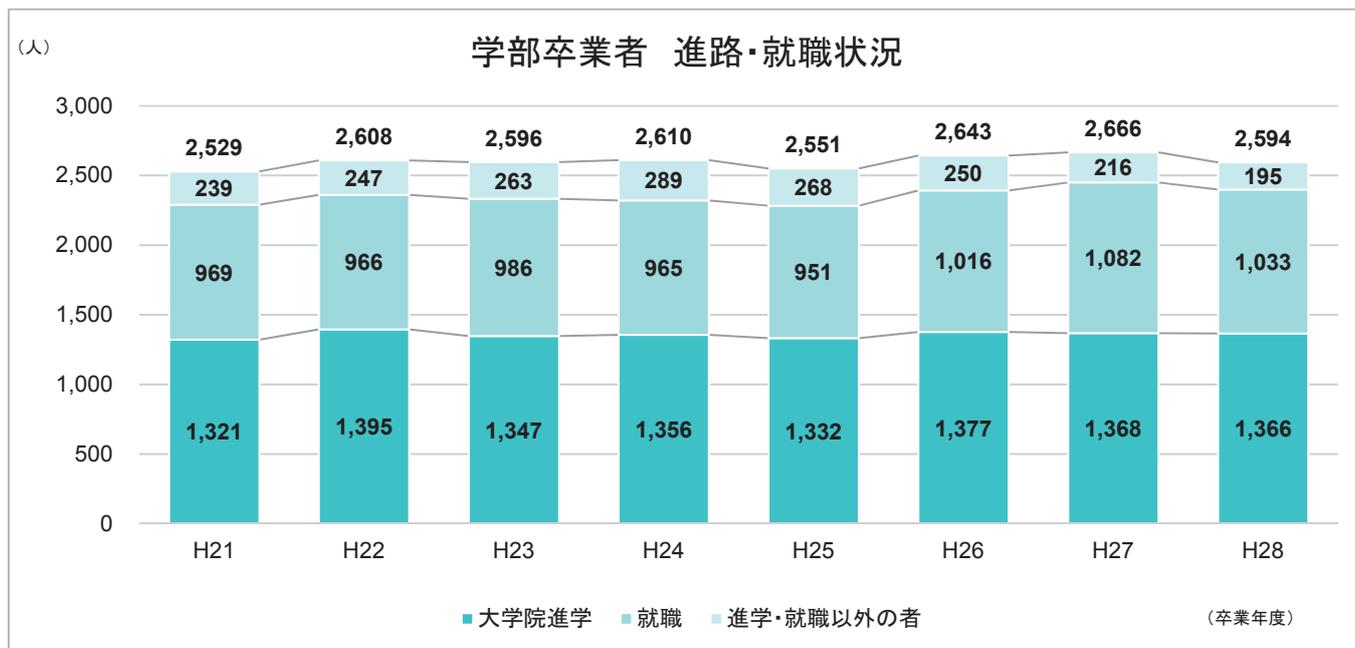
## 7. 進路・就職状況 (各年度5月1日現在)

### 7-1. 学部卒業者の進路・就職状況

#### 7-1-1. 学部卒業者の進路・就職状況(全体)

全国と比較すると、進学者の割合が大きく上回っている。全国的には、就職者の割合が増加傾向であるが、本学ではそれほど大きな変化は見られない。

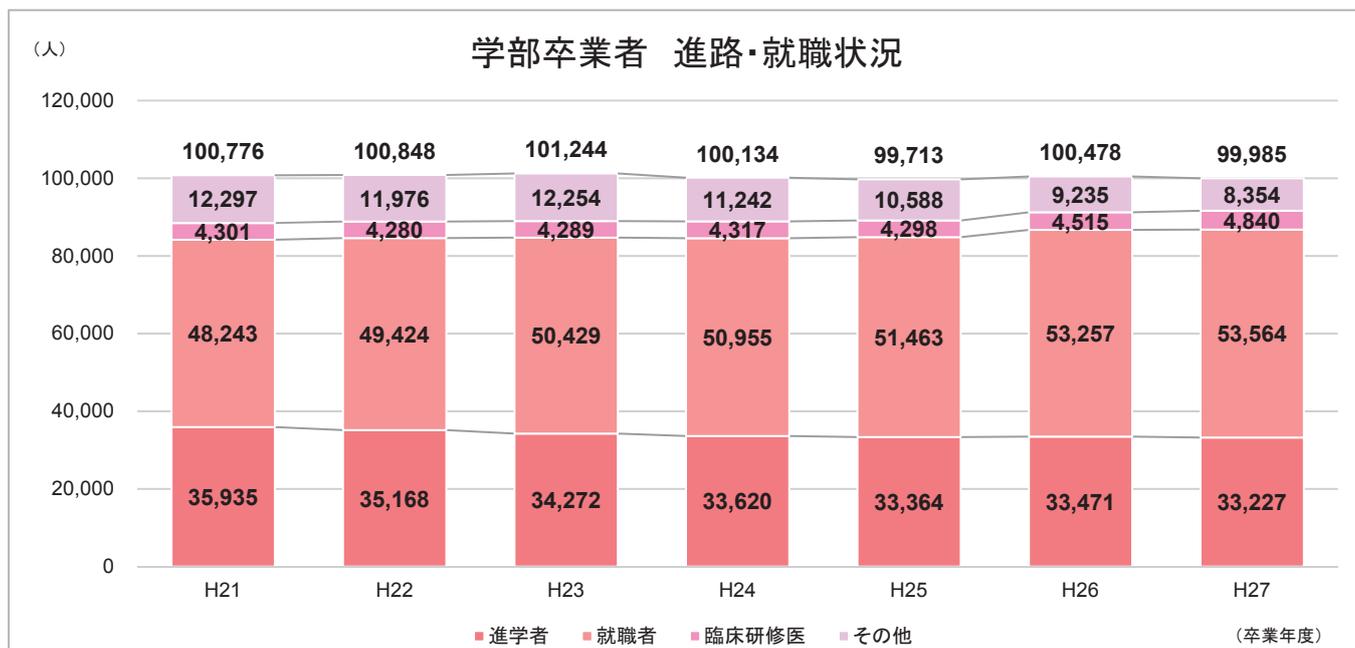
#### ◆九州大学◆



・「就職」は企業等、教員、公務員、研修医、その他を含む。  
 ・「進学・就職以外の者」には司法試験等国家試験準備、専門学校生、研究生等を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

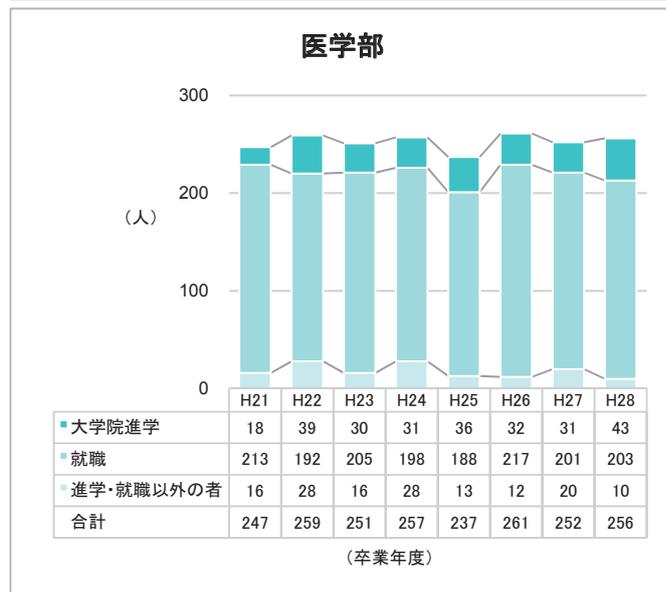
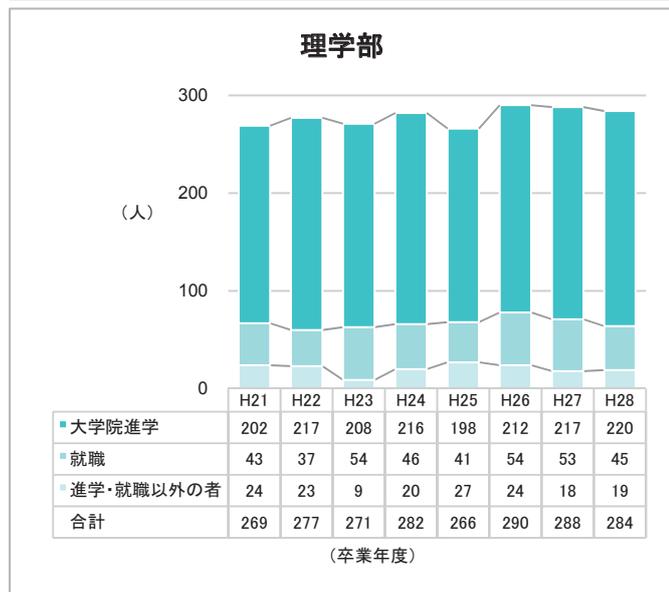
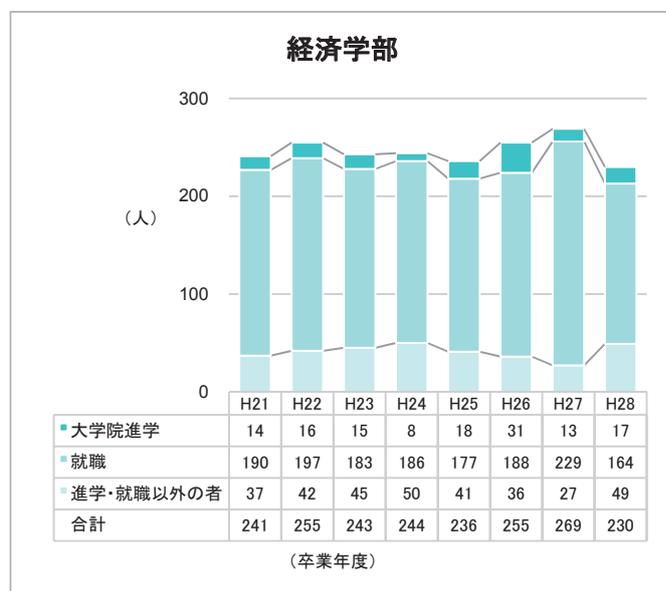
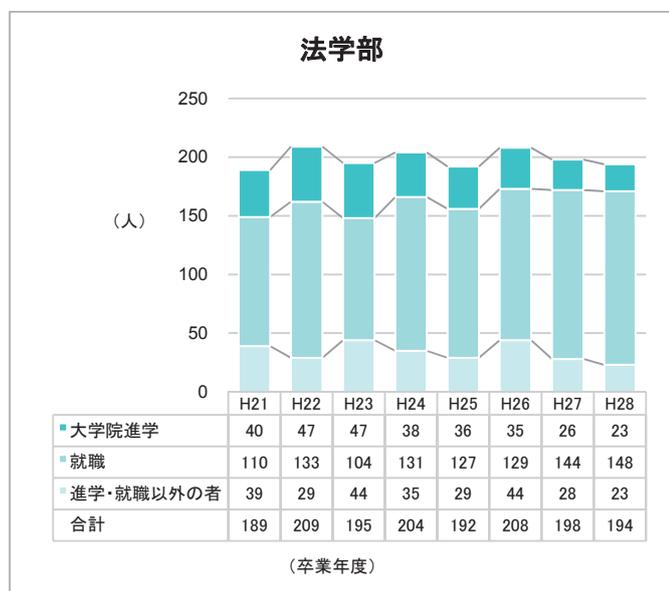
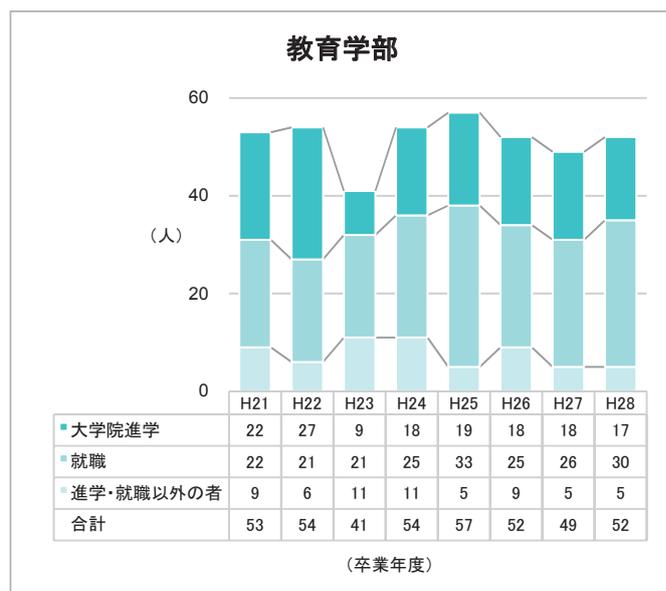
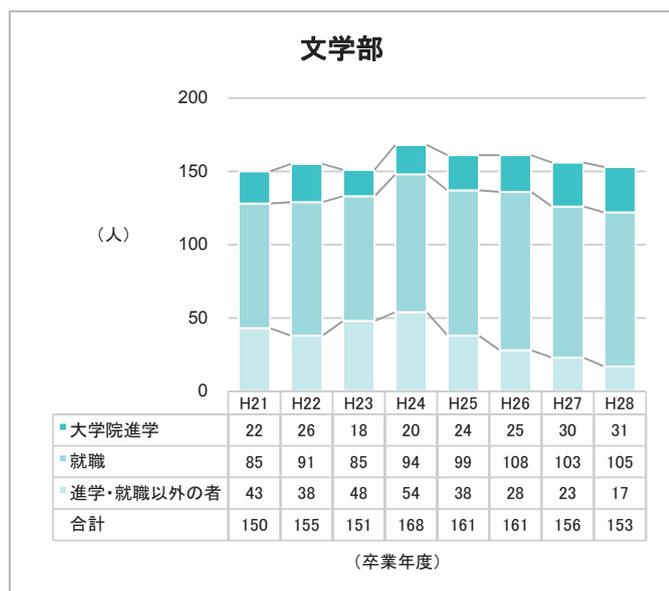
#### ◆全国 国立大学◆



・「その他」は専修学校・外国の学校等入学、一時的な仕事に就いた者、不詳・死亡等含む。

※出典：文部科学省 学校基本調査 卒業後の状況調査 大学 関係学科別状況別卒業生数

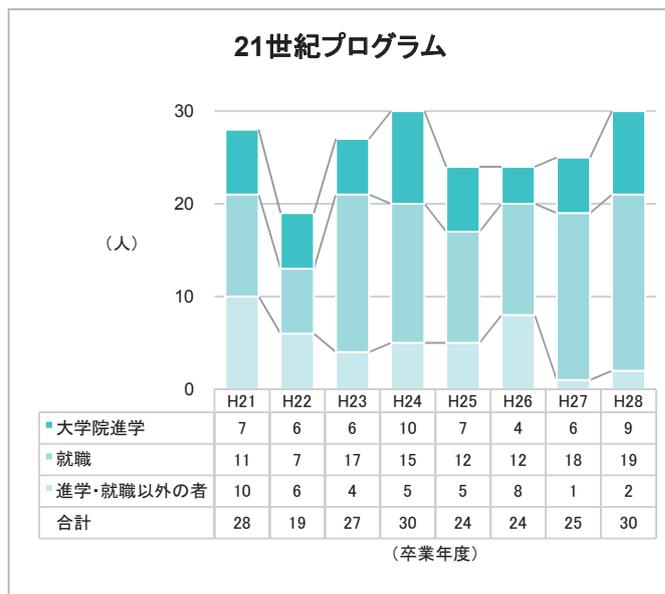
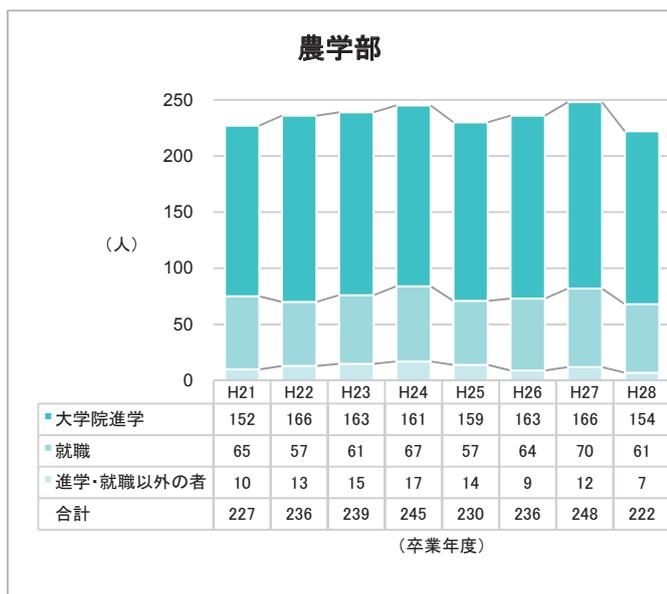
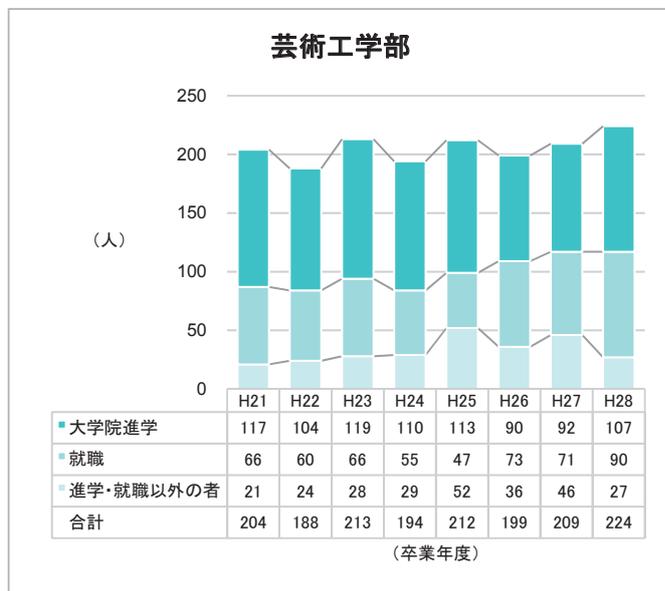
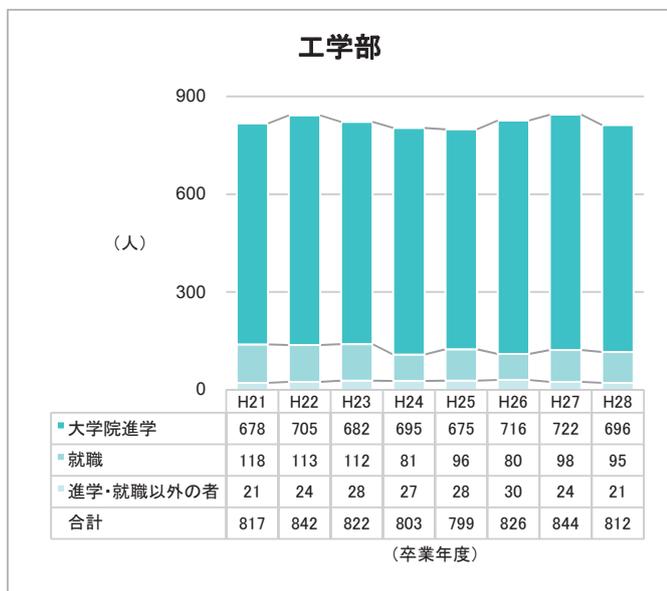
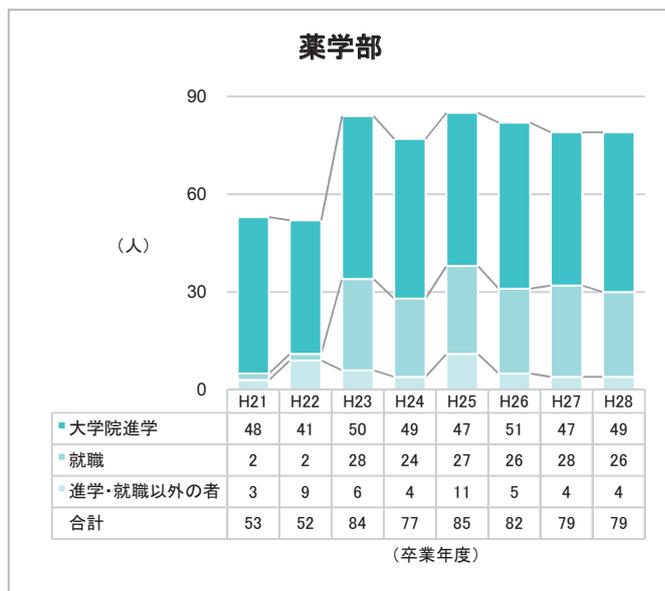
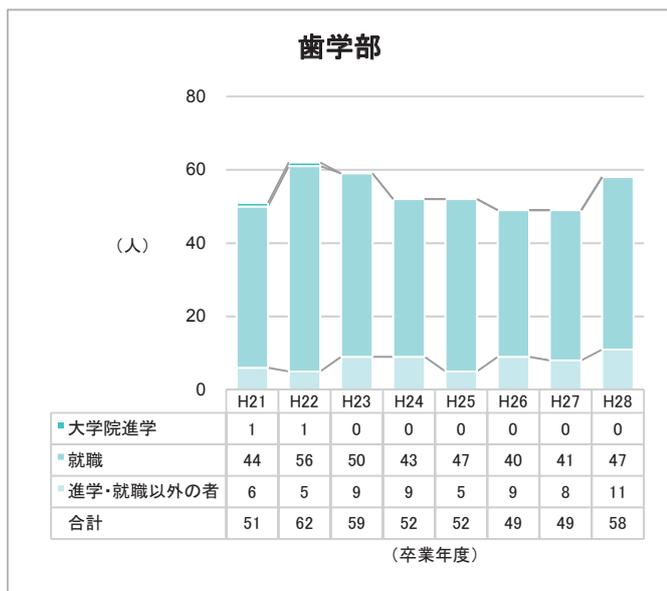
## 7-1-2. 学部卒業者の進路・就職状況(学部別)



・「就職」は企業等、教員、公務員、研修医、その他を含む。  
 ・「進学・就職以外の者」には司法試験等国家試験準備、専門学校生、研究生等を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

7-1-2. 学部卒業者の進路・就職状況(学部別)(つづき)



・「就職」は企業等、教員、公務員、研修医、その他を含む。  
 ・「進学・就職以外の者」には司法試験等国家試験準備、専門学校生、研究生等を含む。

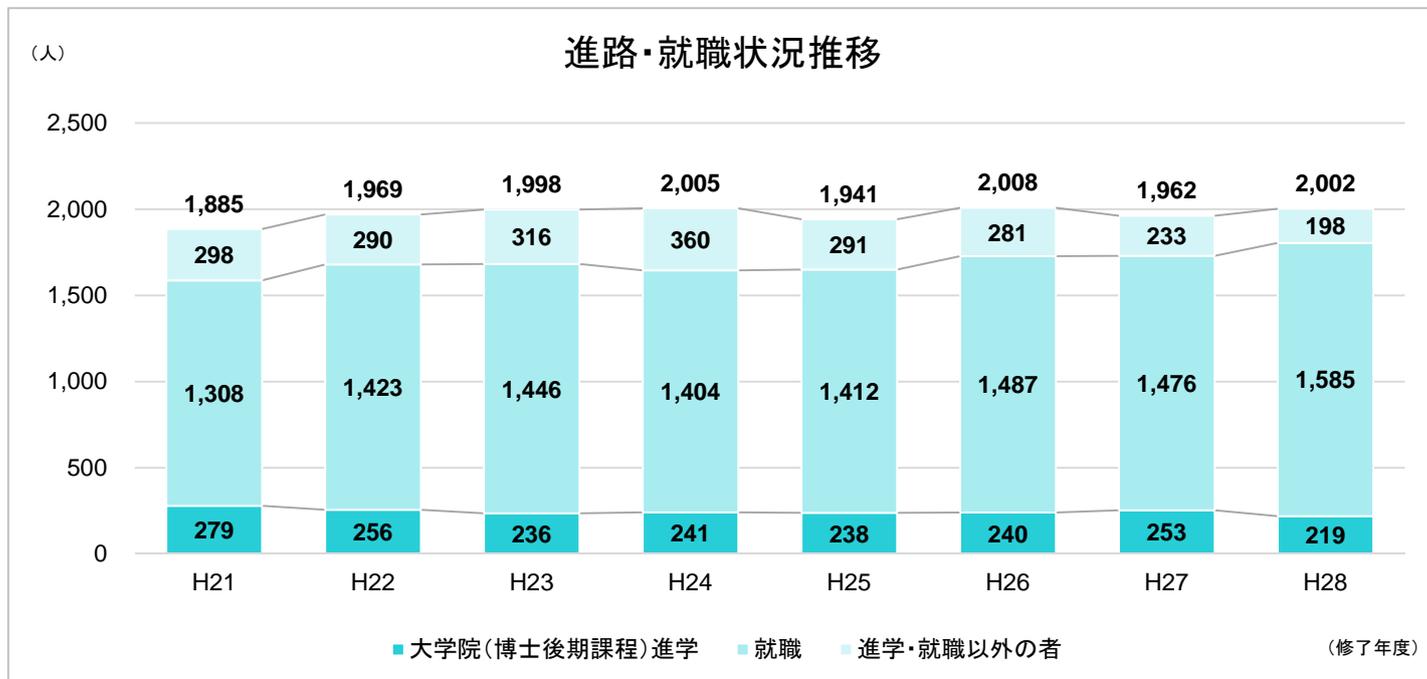
※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

## 7-2. 修士課程修了者の進路・就職状況

## 7-2-1. 修士課程修了者の進路・就職状況(全体)

全国的にも就職者が増加傾向となっている。本学では博士後期課程への進学者が若干減少傾向なのが見える。

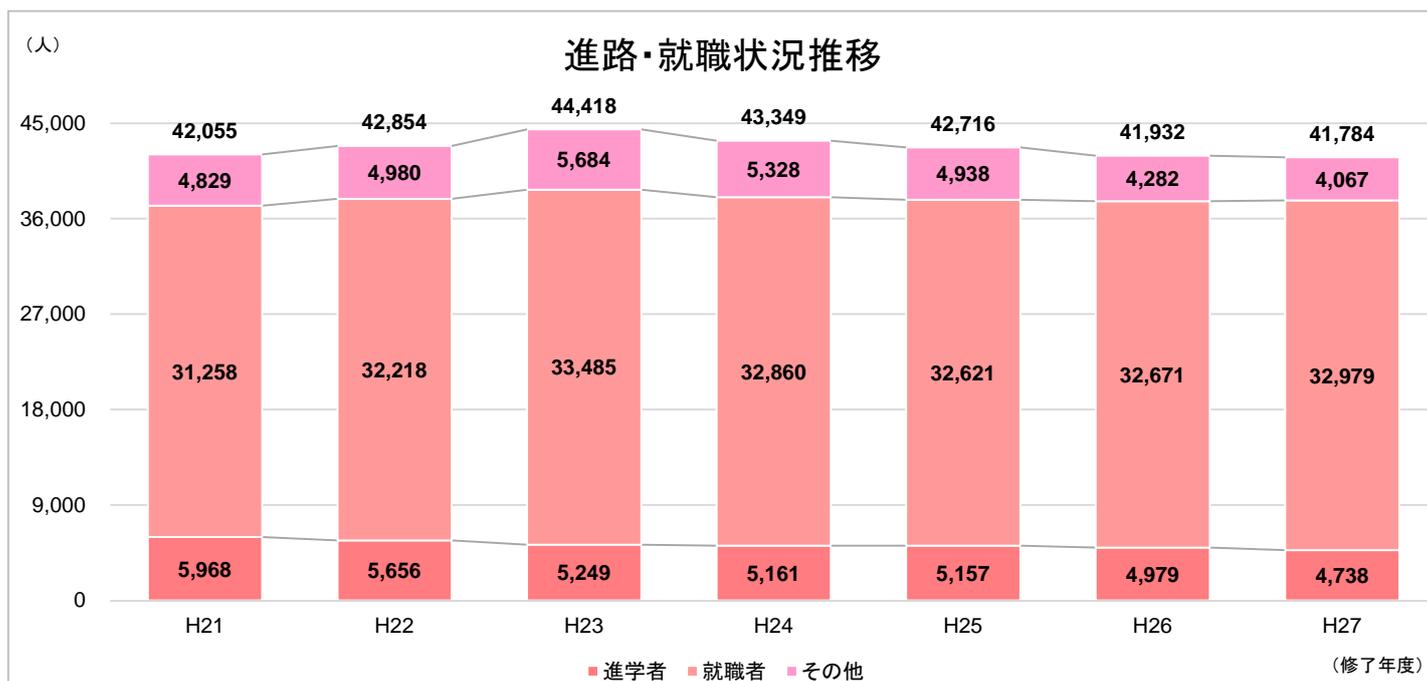
## ◆九州大学◆



- ・専門職学位課程を含む。
- ・「進学・就職以外の者」は研究生、無給の訪問研究員等、司法試験等国家試験準備(法務学府)を含む。

※出典:九州大学概要(各年度5月1日現在)

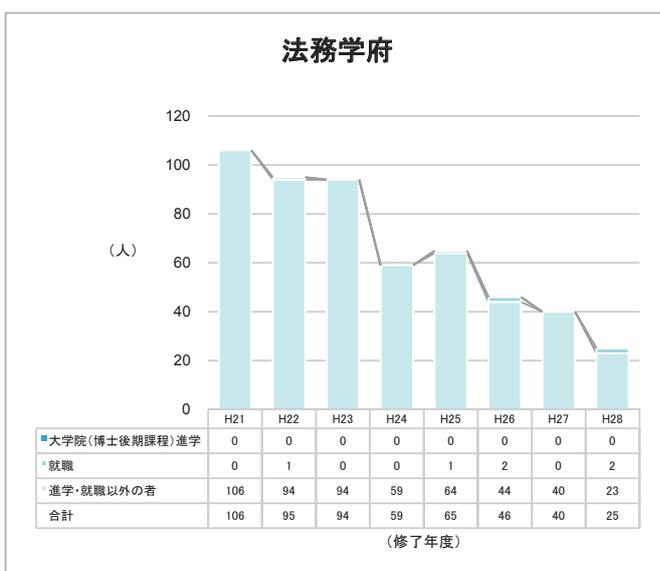
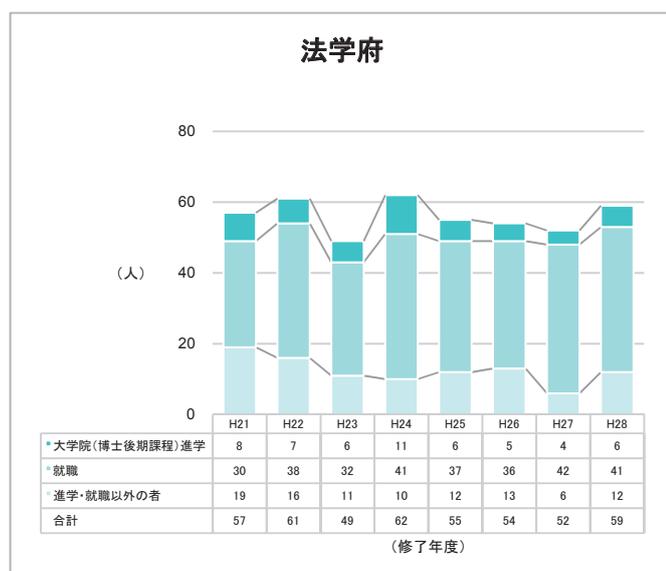
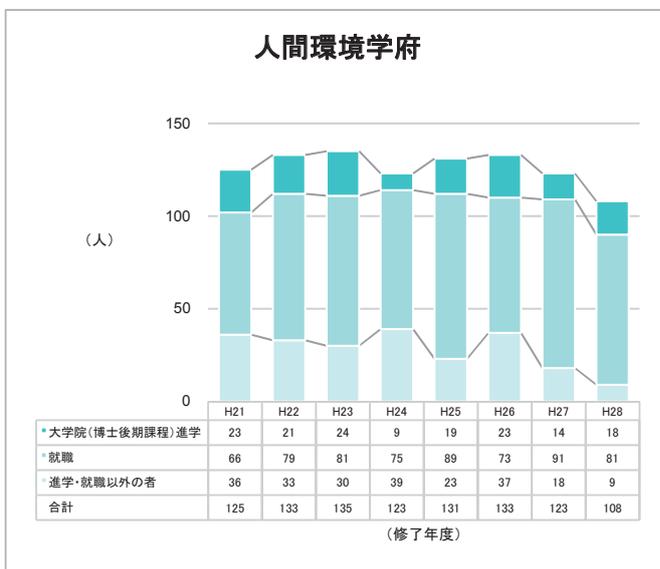
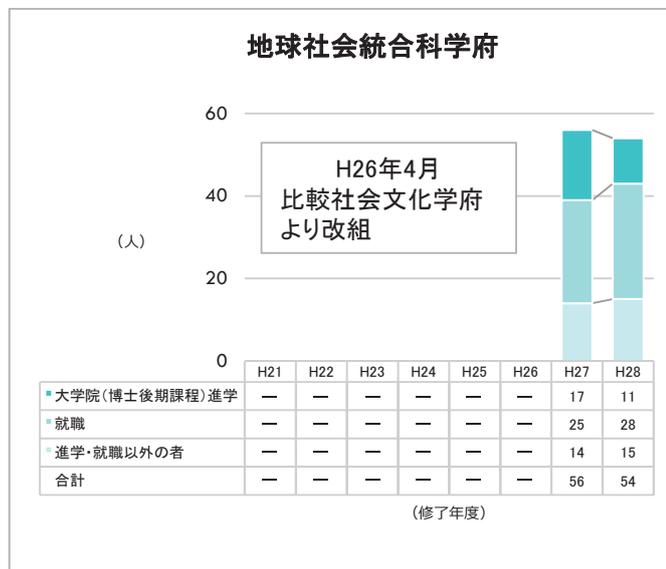
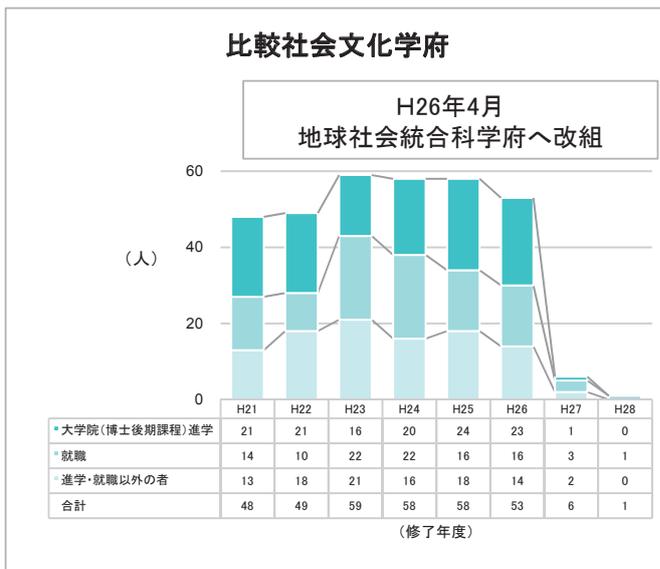
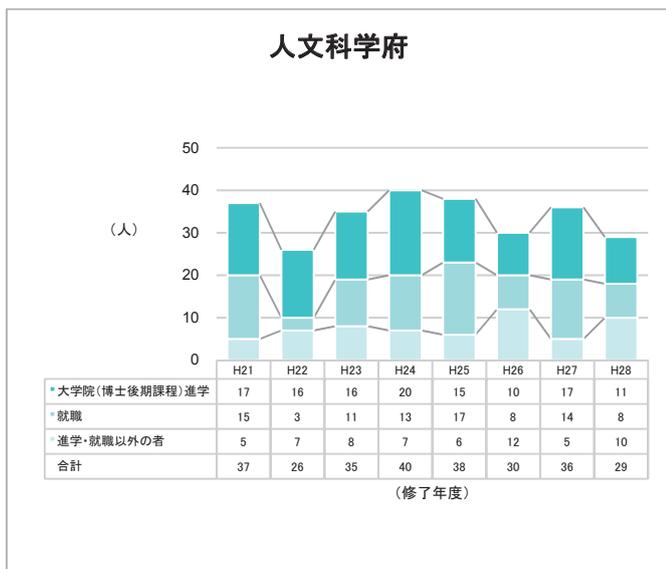
## ◆全国 国立大学◆



- ・その他には、専修学校・外国の学校等への入学者、一時的な仕事に就いた者、不詳・死亡の者等を含む。

※出典:文部科学省 学校基本調査 卒業後の状況調査 大学院 修士課程の状況別卒業生数

## 7-2-2. 修士課程修了者の進路・就職状況(学府別)

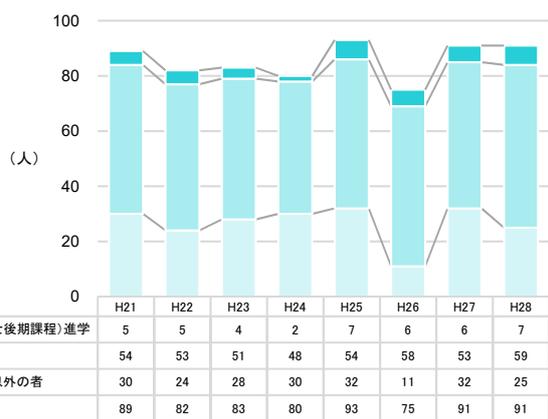


- ・専門職学位課程を含む。
- ・「就職」は企業等、教員、公務員、その他を含む。
- ・「進学・就職以外の者」は研究生、無給の訪問研究員等を含む。
- ・法務学府の「進学・就職以外の者」は司法試験等国家試験準備を含む。

※出典:九州大学概要(各年度5月1日現在)

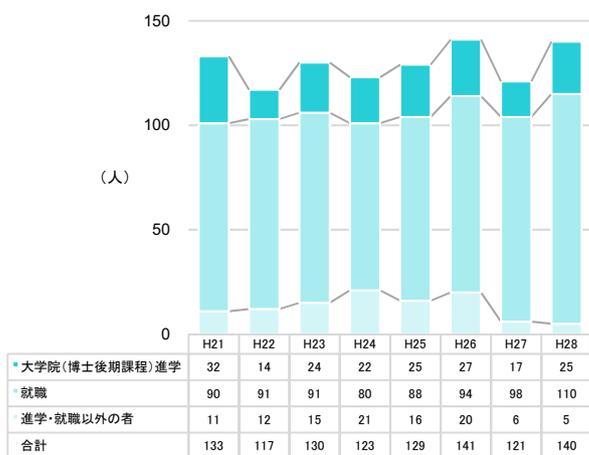
7-2-2. 修士課程修了者の進路・就職状況(学府別)(つづき)

経済学府



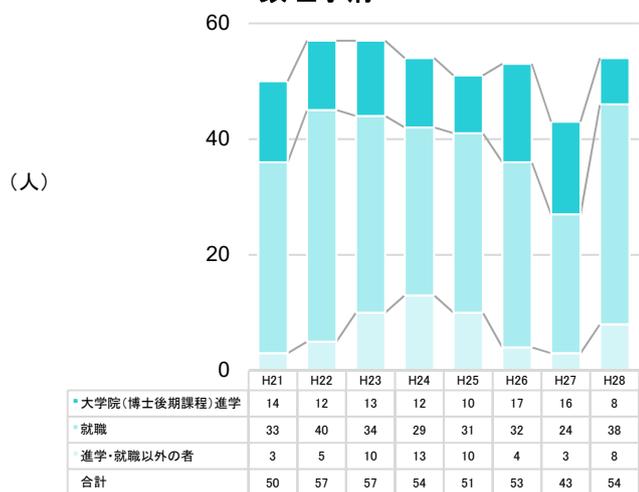
(修了年度)

理学府



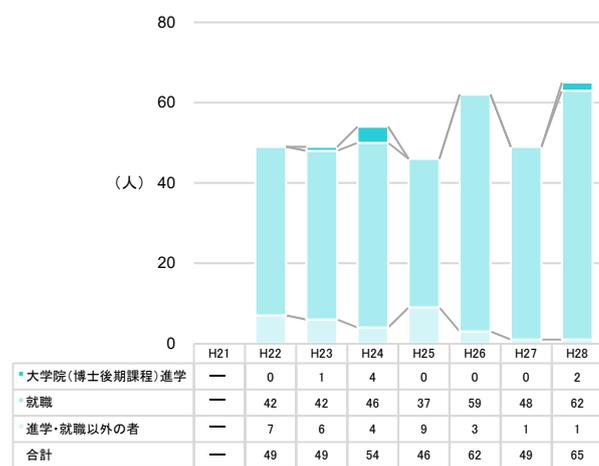
(修了年度)

数理学府



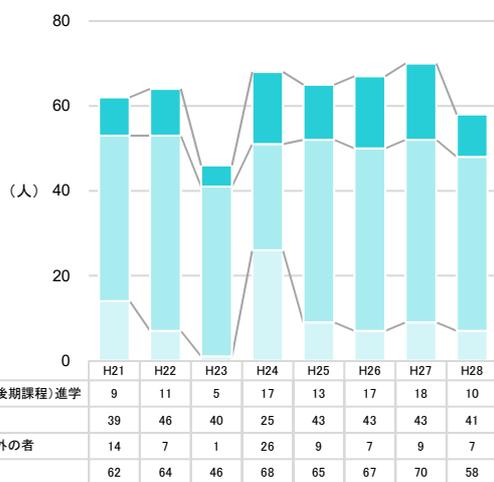
(修了年度)

システム生命科学府



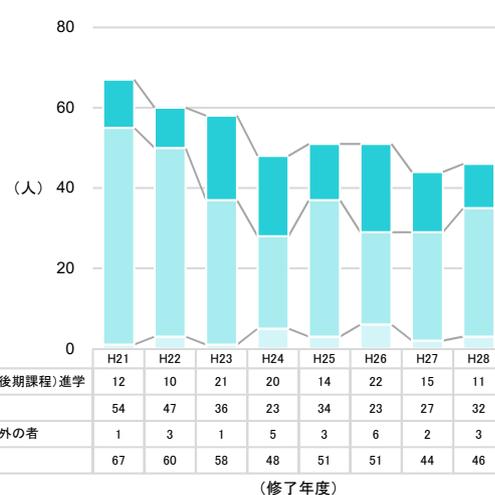
(修了年度)

医学系学府



(修了年度)

薬学府

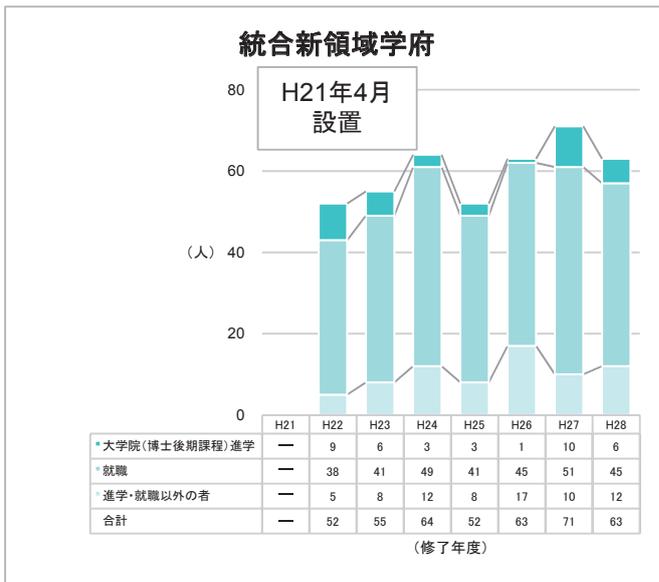
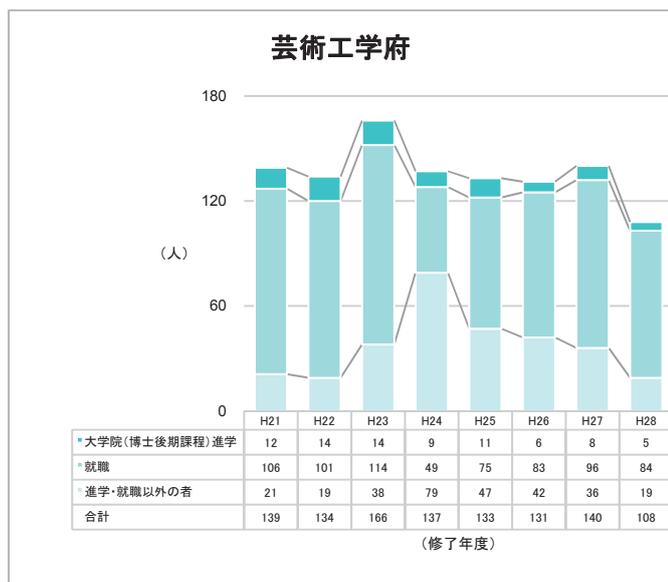
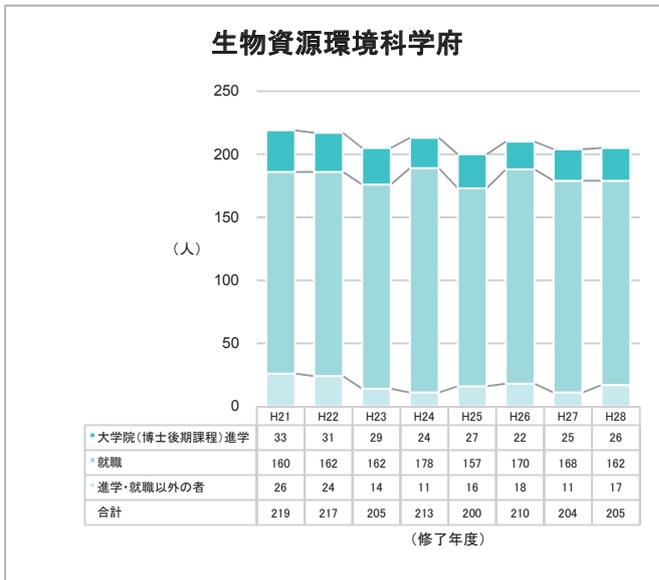
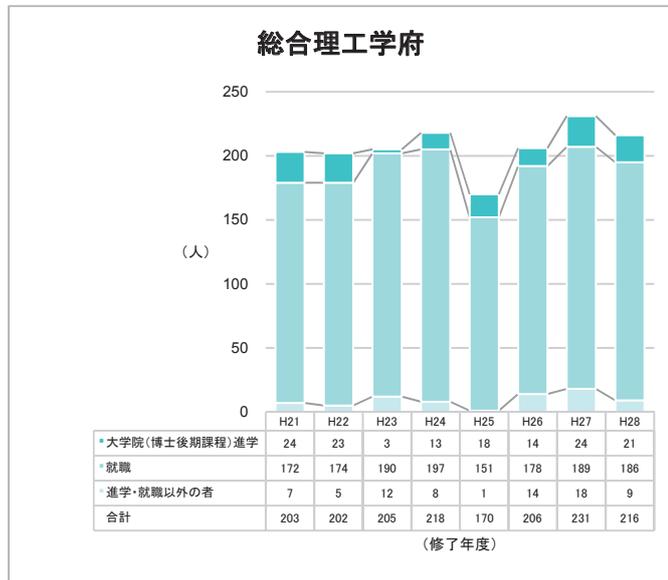
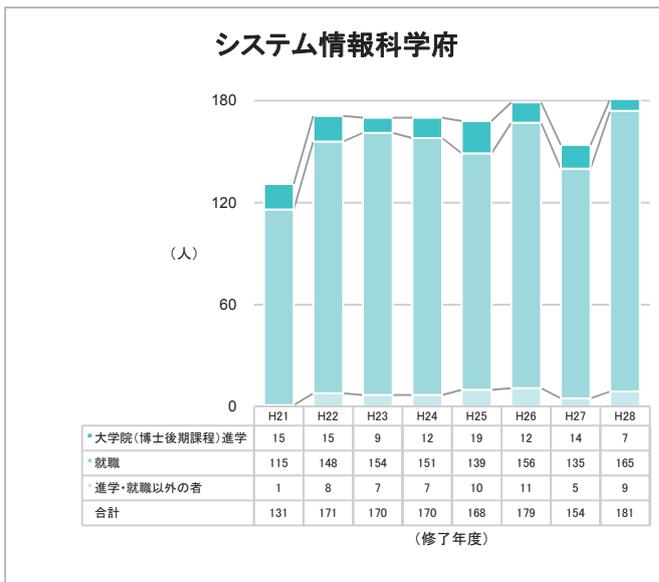
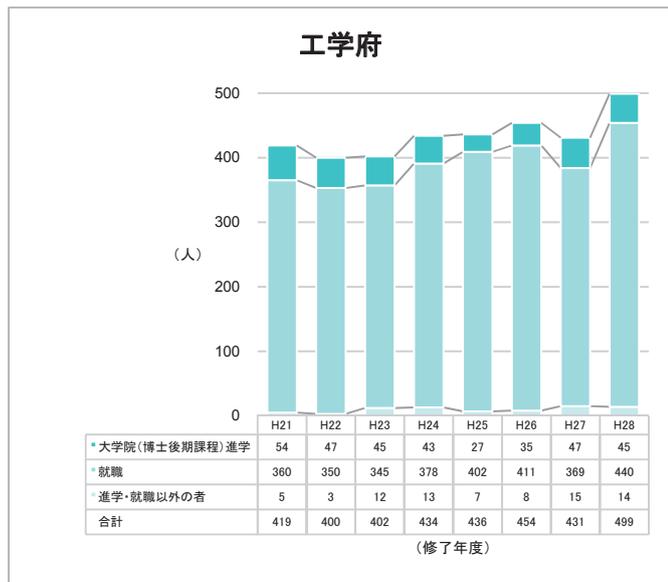


(修了年度)

- ・専門職学位課程を含む。
- ・「就職」は企業等、教員、公務員、その他を含む。
- ・「進学・就職以外の者」は研究生、無給の訪問研究員等を含む。

※出典:九州大学概要(各年度5月1日現在)

7-2-2. 修士課程修了者の進路・就職状況(学府別)(つづき)



・専門職学位課程を含む。  
 ・「就職」は企業等、教員、公務員、その他を含む。  
 ・「進学・就職以外の者」は研究生、無給の訪問研究員等を含む。

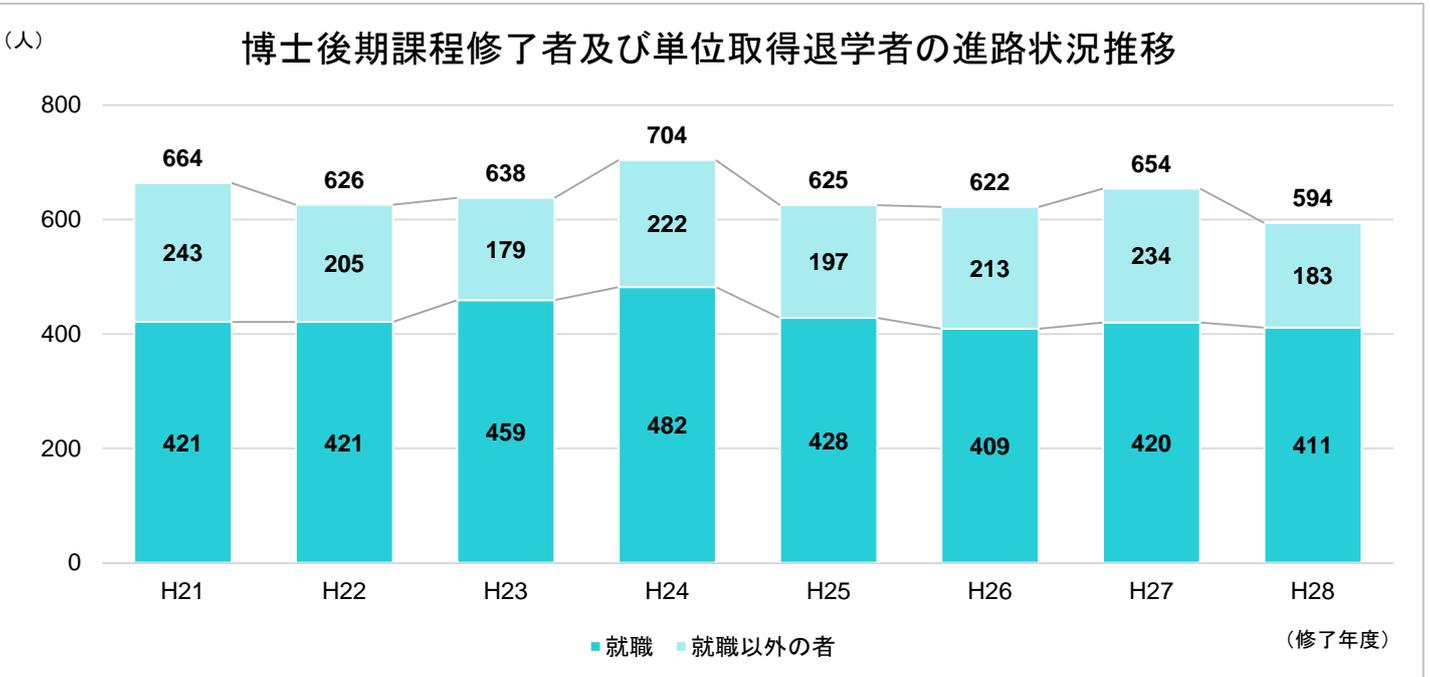
※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

## 7-3. 博士後期課程修了者及び単位取得退学者の進路・就職状況

### 7-3-1. 博士後期課程修了者及び単位取得退学者の進路・就職状況(全体)

本学とは異なり、全国的には若干減少傾向にある。本学でみるとH24年度からやや減少しているものの、全国ほどの減少はみられない。

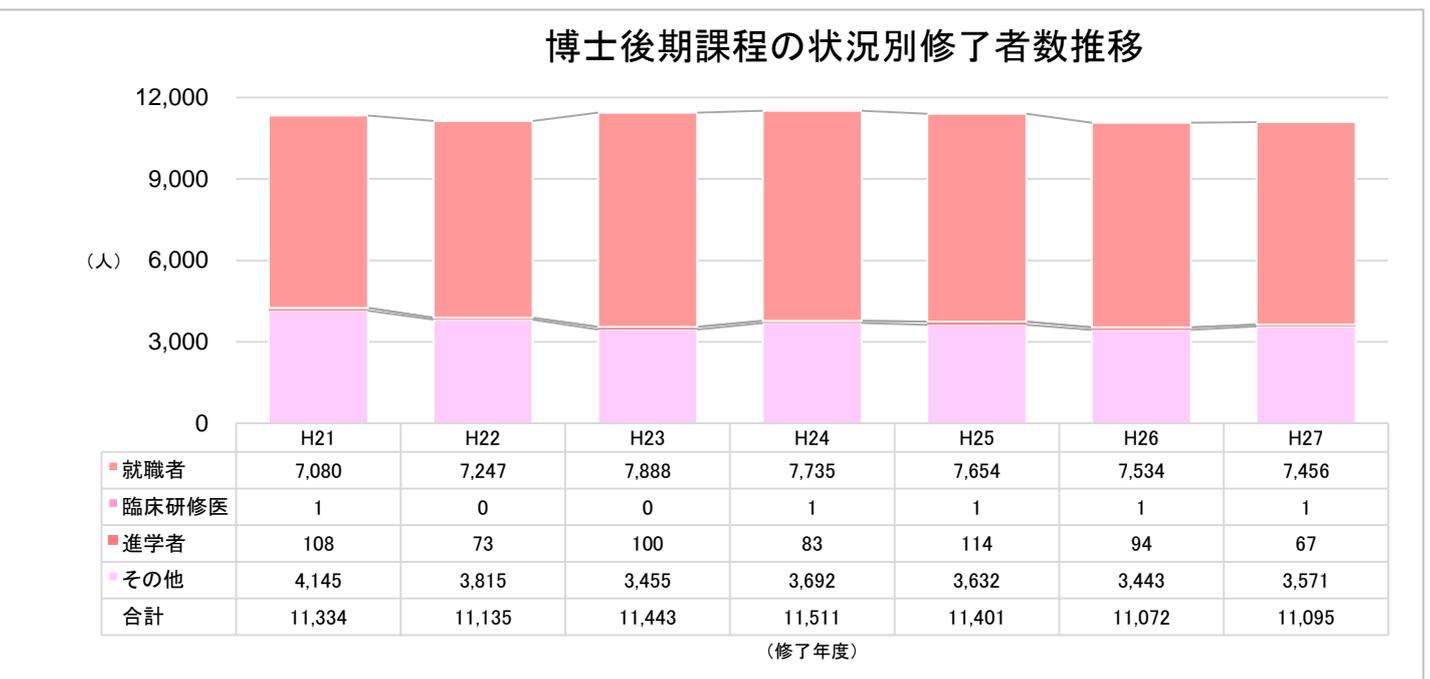
#### ◆九州大学◆



・「就職」は、企業等、教員、公務員、その他を含む。  
 ・「就職以外の者」は日本学術振興会の特別研究員、無給の訪問研究員、研究生等を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

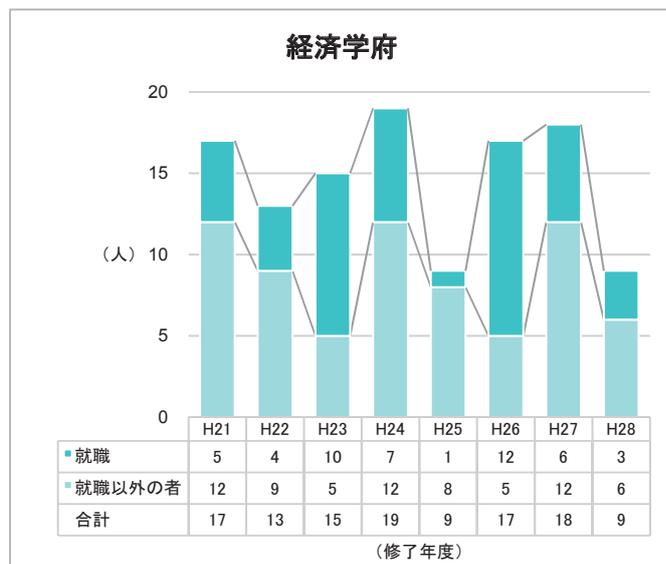
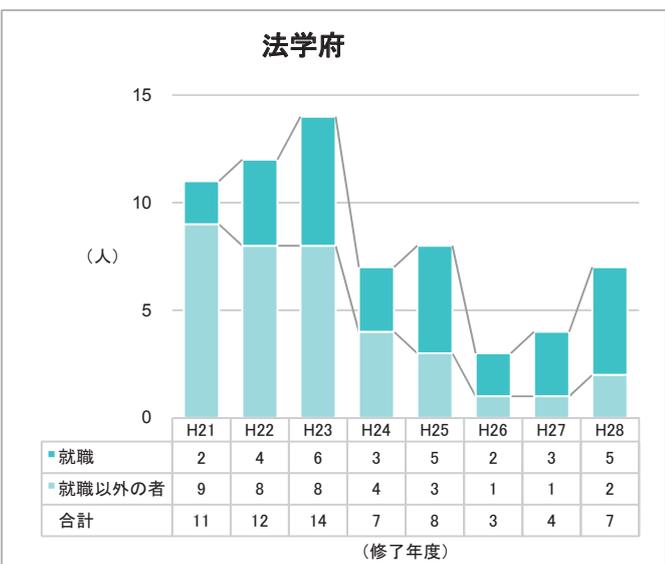
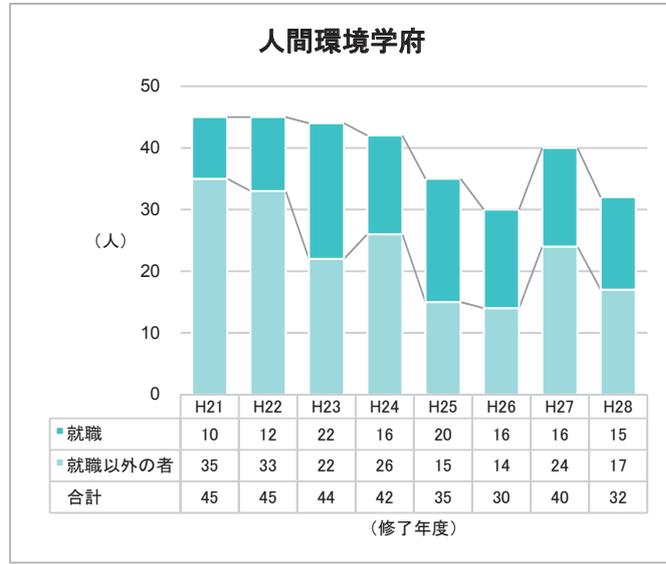
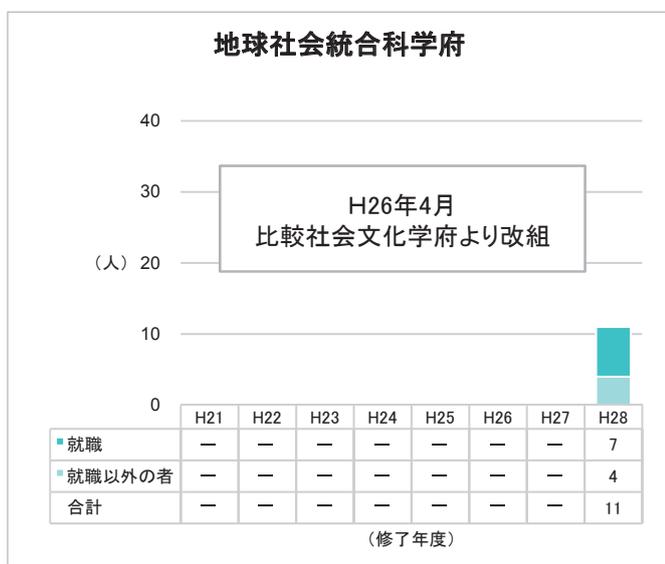
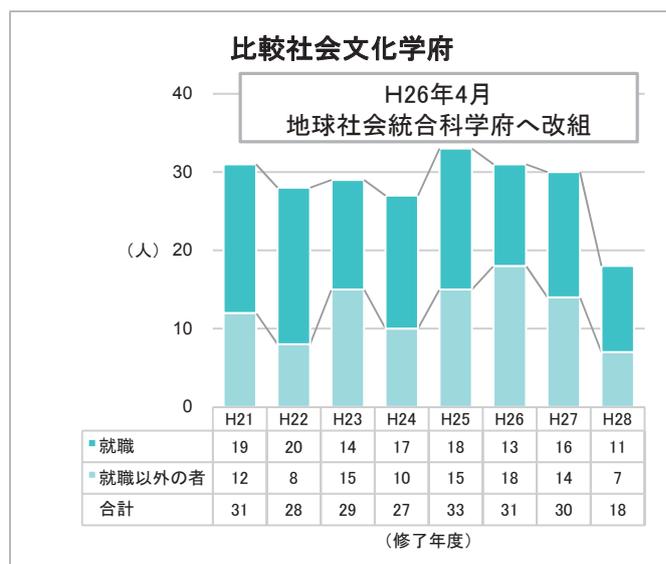
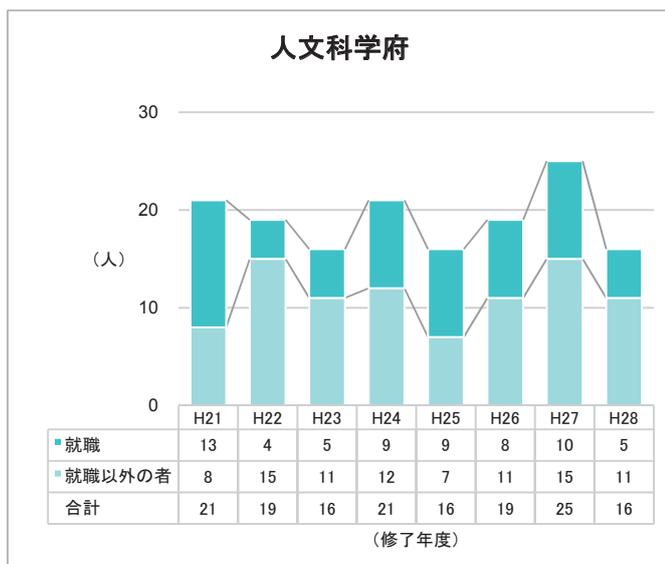
#### ◆全国 国立大学◆



※その他には、専修学校・外国の学校等への入学者、一時的な仕事に就いた者、不詳・死亡の者等を含む。

※出典：文部科学省 学校基本調査 卒業後の状況調査 大学院 修士課程の状況別卒業生数

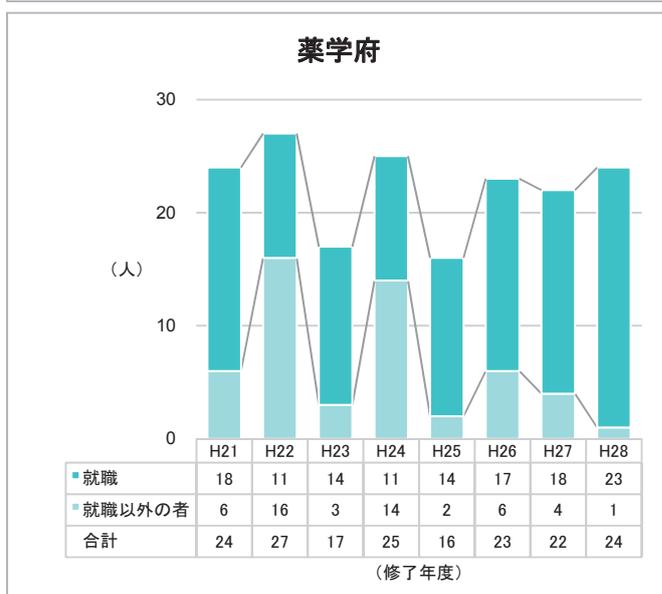
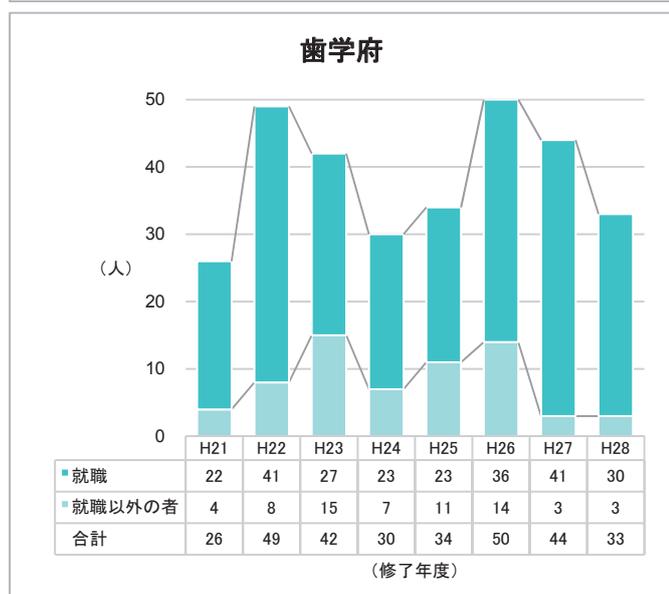
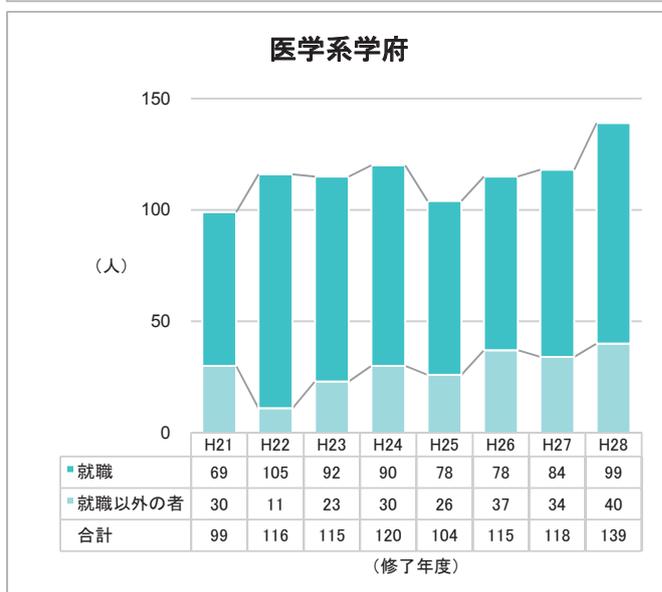
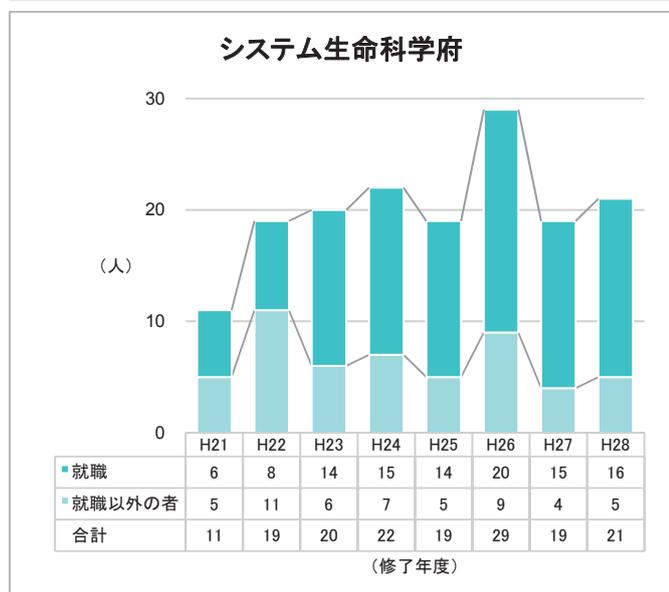
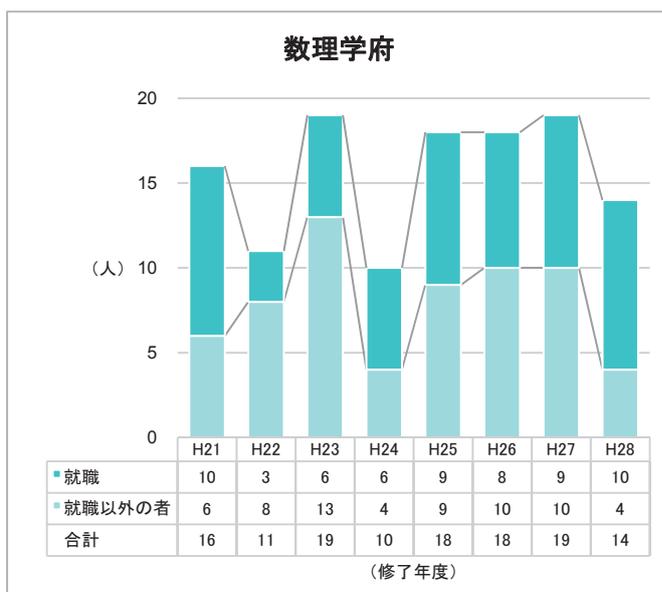
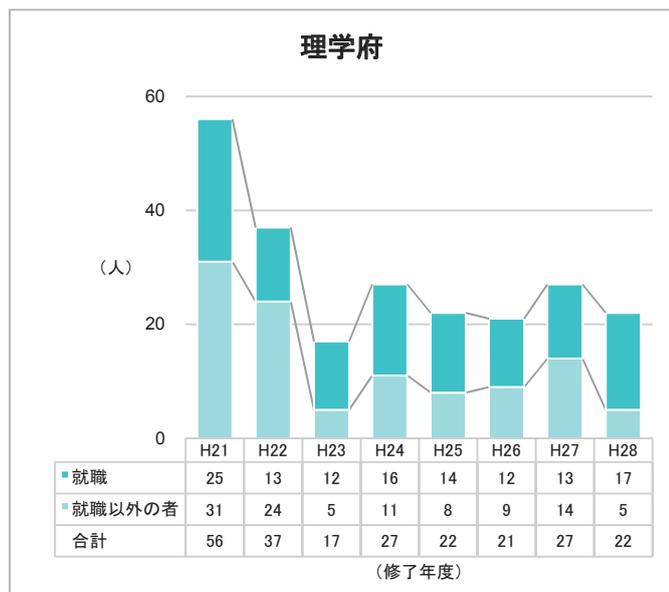
## 7-3-2. 博士後期課程修了者及び単位取得退学者の 進路・就職状況(学府別)



・「就職」は、企業等、教員、公務員、その他を含む。  
 ・「就職以外の者」は日本学術振興会の特別研究員、無給の訪問研究員、研究生等を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

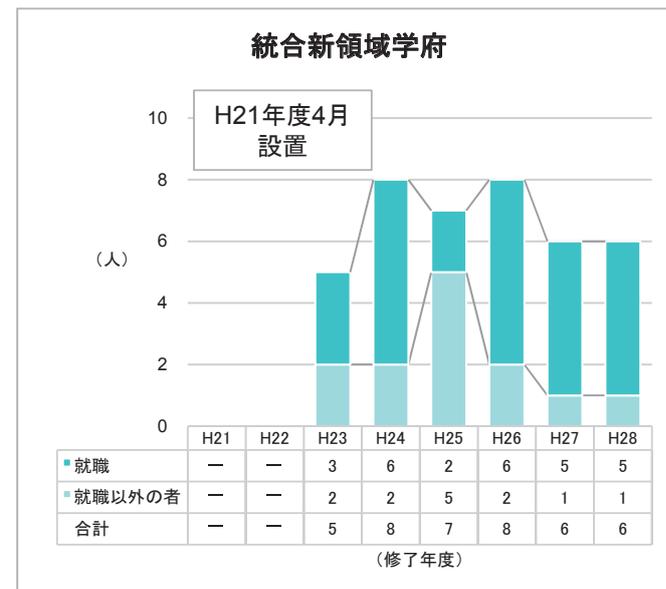
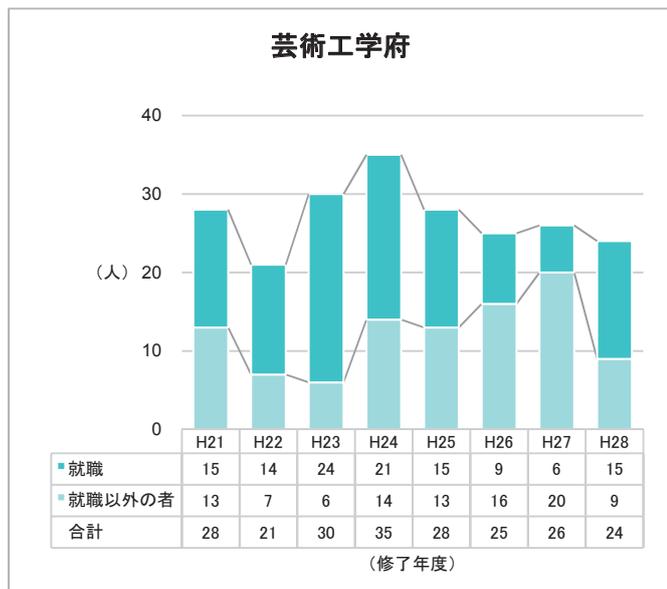
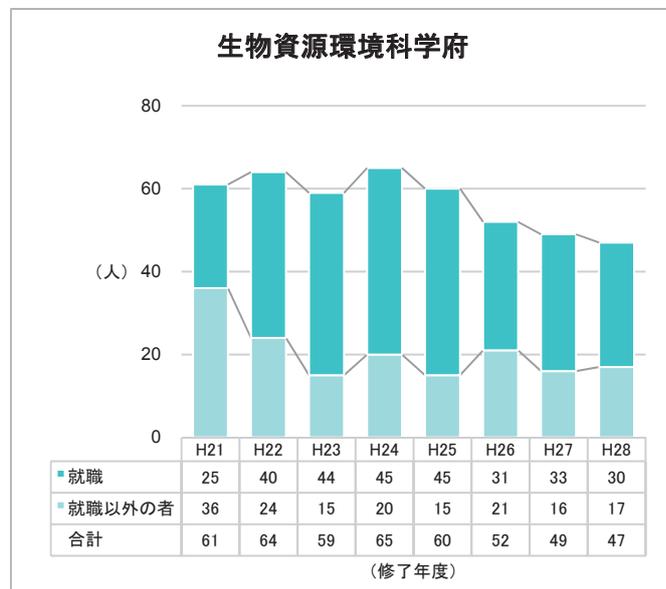
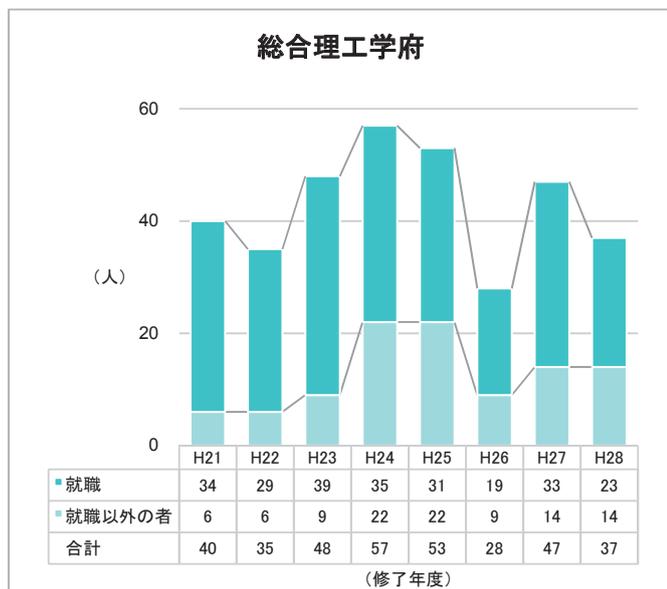
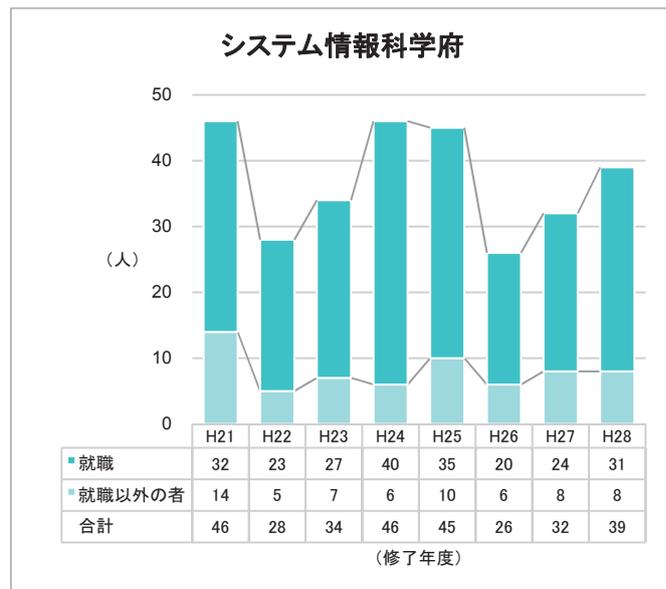
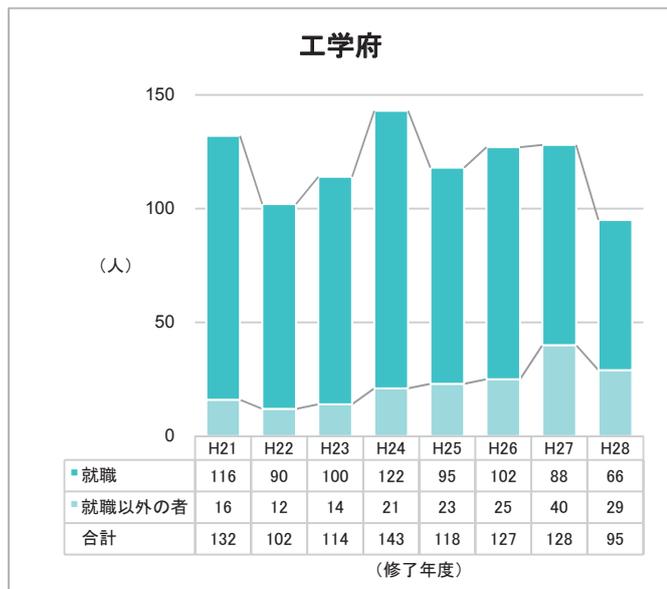
7-3-2. 博士後期課程修了者及び単位取得退学者の進路・就職状況(学府別)(つづき)



・「就職」は、企業等、教員、公務員、その他を含む。  
 ・「就職以外の者」は日本学術振興会の特別研究員、無給の訪問研究員、研究生等を含む。

※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

7-3-2. 博士後期課程修了者及び単位取得退学者の進路・就職状況(学府別)(つづき)



・「就職」は、企業等、教員、公務員、その他を含む。  
 ・「就職以外の者」は日本学術振興会の特別研究員、無給の訪問研究員、研究生等を含む。

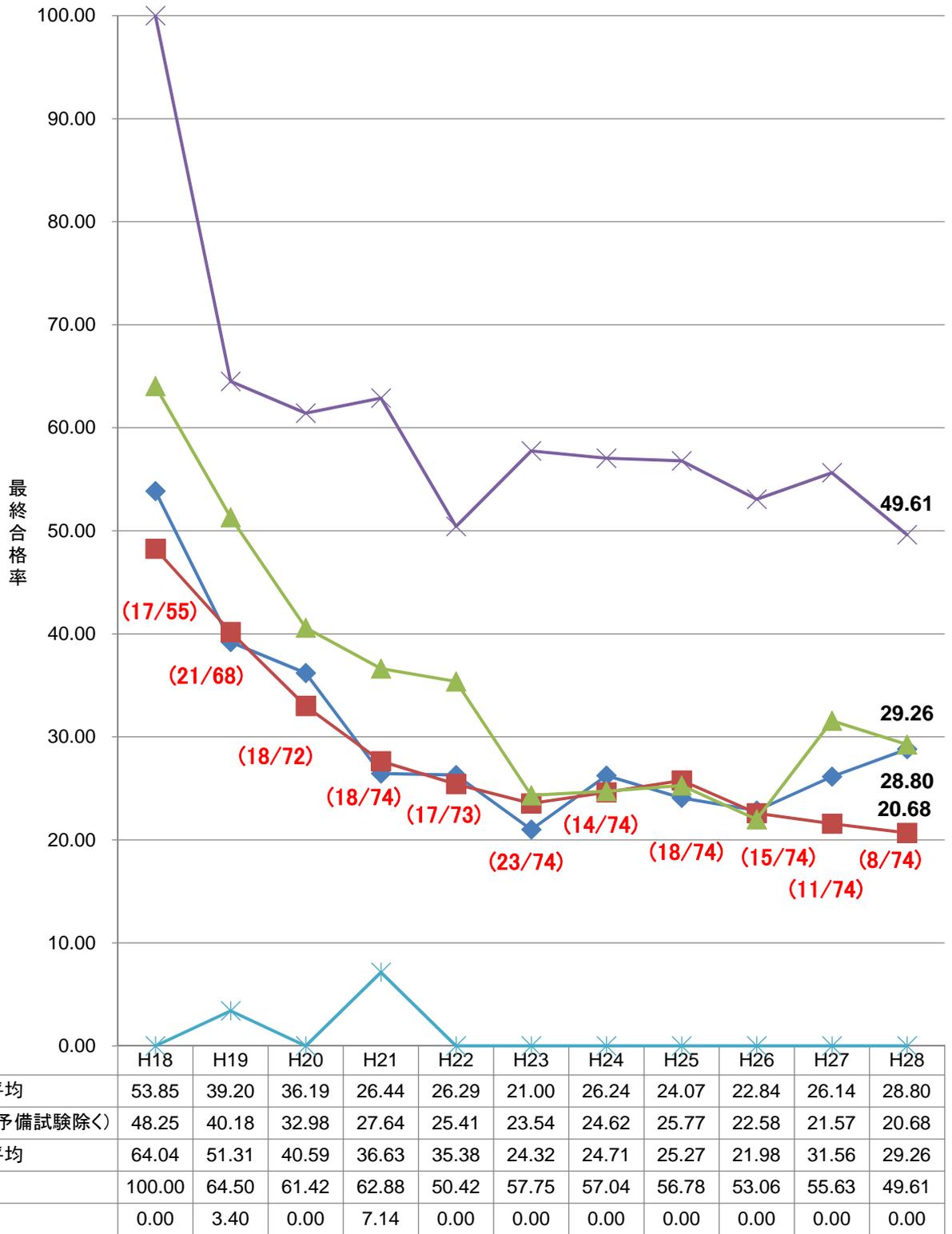
※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

## 8. 資格試験等合格状況

### 8-1. 司法試験合格状況

全国平均はH26年度より減少傾向にあるが、本学の状況を見ると増加傾向にある。

#### ◆合格率推移◆



(年度)

・司法試験法科大学院等別合格者数等(予備試験合格者については含めていない)  
 ・( )内は(九大の順位/全体数)である。

※出典:法務省HP 司法試験の結果について 法科大学院等別合格者数等

## 8-1. 司法試験合格状況(つづき)

### ◆合格者数ランキング(上位20大学)◆

順位	H21年度		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度			
	大学名	合格者																
1	東京大	216	東京大	201	東京大	210	中央大	202	慶應義塾大	201	早稲田大	172	中央大	170	慶應義塾大	155		
2	中央大	162	中央大	189	中央大	176	東京大	194	東京大	197	中央大	164	慶應義塾大	158	早稲田大	152		
3	慶應義塾大	147	慶應義塾大	179	京都大	172	慶應義塾大	186	早稲田大	184	東京大	158	東京大	149	東京大	137		
4	京都大	145	京都大	135	慶應義塾大	164	早稲田大	155	中央大	177	慶應義塾大	150	早稲田大	145	中央大	136		
5	早稲田大	124	早稲田大	130	早稲田大	138	京都大	152	京都大	129	京都大	130	京都大	128	京都大	105		
6	明治大	96	明治大	85	明治大	90	明治大	82	一橋大	67	一橋大	64	一橋大	79	一橋大	63		
7	一橋大	83	大阪大	70	一橋大	82	一橋大	77	明治大	65	明治大	63	神戸大	72	大阪大	42		
8	神戸大	73	一橋大	69	神戸大	69	大阪大	74	大阪大	51	大阪大	55	明治大	53	神戸大	41		
9	北海道大	63	北海道大	62	同志社大	65	神戸大	60	北海道大	50	神戸大	44	大阪大	48	九州大	36		
10	立命館大	60	東北大	58	東北大	54	北海道大	54	神戸大	46	東北大	42	北海道大	42	明治大	36		
11	大阪大	52	同志社大	55	大阪大	49	九州大	53	上智大	46	北海道大	41	九州大	40	名古屋大	34		
12	九州大	46	神戸大	49	北海道大	48	同志社大	44	同志社大	42	九州大	37	名古屋大	37	北海道大	30		
13	同志社大	45	名古屋大	49	名古屋大	43	名古屋大	44	名古屋大	40	立命館大	33	東北大	35	立命館大	29		
14	上智大	40	立命館大	47	九州大	42	立命館大	43	立命館大	40	上智大	31	同志社大	33	首都大東京	25		
15	名古屋大	40	九州大	46	立命館大	40	首都大東京	40	九州大	39	名古屋大	30	上智大	29	東北大	23		
16	関西学院大	37	関西学院大	37	上智大	39	上智大	38	首都大東京	39	千葉大	26	法政大	29	上智大	19		
17	関西大	35	上智大	33	首都大東京	38	東北大	38	東北大	39	同志社大	26	立命館大	27	千葉大	17		
18	首都大東京	34	関西大	32	関西大	35	関西学院大	27	大阪市立大	35	首都大東京	22	首都大東京	26	同志社大	17		
19	東北大	30	大阪市立大	31	法政大	31	関西大	22	関西学院大	34	日本大	22	大阪市立大	22	関西大	15		
20	法政大	25	首都大東京	30	大阪市立大	30	日本大	22	法政大	30	法政大	21	関西大	22	関西学院大	15		
	立教大	25	千葉大	30												広島大	15	
																	法政大	15

### ◆合格率ランキング(上位20大学)◆

順位	H21年度		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		
	大学名	合格率	大学名	合格率	大学名	合格率	大学名	合格率	大学名	合格率	大学名	合格率	大学名	合格率	大学名	合格率	
1	一橋大	62.9%	慶應義塾大	50.4%	一橋大	57.7%	一橋大	57.0%	慶應義塾大	56.8%	京都大	53.1%	一橋大	55.6%	一橋大	49.6%	
2	東京大	55.5%	一橋大	50.0%	京都大	54.6%	京都大	54.3%	東京大	55.2%	東京大	52.0%	京都大	53.3%	東京大	48.1%	
3	京都大	50.3%	東京大	48.9%	東京大	50.5%	慶應義塾大	53.6%	一橋大	54.5%	一橋大	47.1%	東京大	48.9%	京都大	47.3%	
4	神戸大	49.0%	京都大	48.7%	慶應義塾大	48.0%	東京大	51.2%	京都大	52.4%	慶應義塾大	44.6%	神戸大	48.3%	慶應義塾大	44.3%	
5	愛知大	48.8%	千葉大	43.5%	神戸大	46.6%	神戸大	45.8%	愛知大	42.9%	大阪大	40.1%	慶應義塾大	45.5%	早稲田大	35.8%	
6	慶應義塾大	46.4%	北海道大	43.1%	千葉大	39.2%	大阪大	41.8%	首都大東京	40.6%	早稲田大	35.2%	愛知大	36.4%	神戸大	32.3%	
7	中央大	43.4%	中央大	43.1%	中央大	38.2%	中央大	41.3%	中央大	40.0%	中央大	34.5%	中央大	35.8%	中央大	29.4%	
8	北海道大	40.4%	大阪大	38.9%	早稲田大	31.9%	首都大東京	39.6%	早稲田大	38.4%	千葉大	31.0%	早稲田大	30.8%	九州大	28.8%	
9	首都大東京	39.1%	東北大	36.5%	東北大	31.8%	愛知大	37.8%	千葉大	36.9%	神戸大	30.8%	大阪大	29.1%	大阪大	26.8%	
10	千葉大	37.5%	名古屋大	35.3%	首都大東京	31.7%	北海道大	34.0%	神戸大	36.8%	東北大	26.4%	北海道大	28.6%	愛知大	26.7%	
11	大阪大	33.5%	神戸大	34.0%	名古屋大	31.6%	早稲田大	32.8%	大阪大	36.4%	愛知大	25.9%	九州大	26.1%	名古屋大	25.0%	
12	名古屋大	33.3%	早稲田大	32.7%	岡山大	31.5%	名古屋大	32.6%	名古屋大	33.3%	創価大	25.7%	東北大	25.7%	東北大	24.0%	
13	早稲田大	32.6%	愛知大	31.8%	北海道大	30.0%	千葉大	31.8%	北海道大	33.3%	北海道大	25.5%	名古屋大	25.0%	北海道大	23.4%	
14	明治大	31.0%	金沢大	31.5%	大阪大	28.7%	九州大	26.2%	大阪市立大	33.0%	首都大東京	22.9%	首都大東京	23.0%	広島大	20.3%	
15	南山大	30.5%	首都大東京	29.7%	北海道学大	27.0%	近畿大	24.3%	上智大	26.4%	九州大	22.8%	神奈川大	22.9%	千葉大	19.8%	
16	北海学園大	29.2%	山梨学院大	27.5%	南山大	26.3%	東北大	22.0%	創価大	25.0%	名古屋大	22.6%	大阪市立大	18.6%	首都大東京	19.5%	
17	上智大	27.8%	九州大	26.3%	大阪市立大	25.0%	広島大	20.9%	岡山大	24.3%	上智大	19.6%	岡山大	18.5%	創価大	19.4%	
18	九州大	26.4%	大阪市立大	26.1%	明治大	24.0%	上智大	20.8%	九州大	24.1%	横浜国立大	19.4%	熊本大	18.4%	岡山大	18.0%	
19	山梨学院大	26.1%	筑波大	25.6%	同志社大	23.5%	明治大	20.4%	東北大	22.5%	岡山大	18.1%	創価大	17.9%	静岡大	16.7%	
20	横浜国立大	25.3%	明治大	25.4%	金沢大	23.4%	中京大	19.5%	同志社大	22.1%	大阪市立大	17.4%	同志社大	17.9%	神戸学院大	15.4%	
ランク外					九州大 (23位)	21.0%											
全体	平均	27.6%	平均	25.4%	平均	23.5%	平均	25.1%	平均	26.8%	平均	22.6%	平均	23.1%	平均	22.9%	

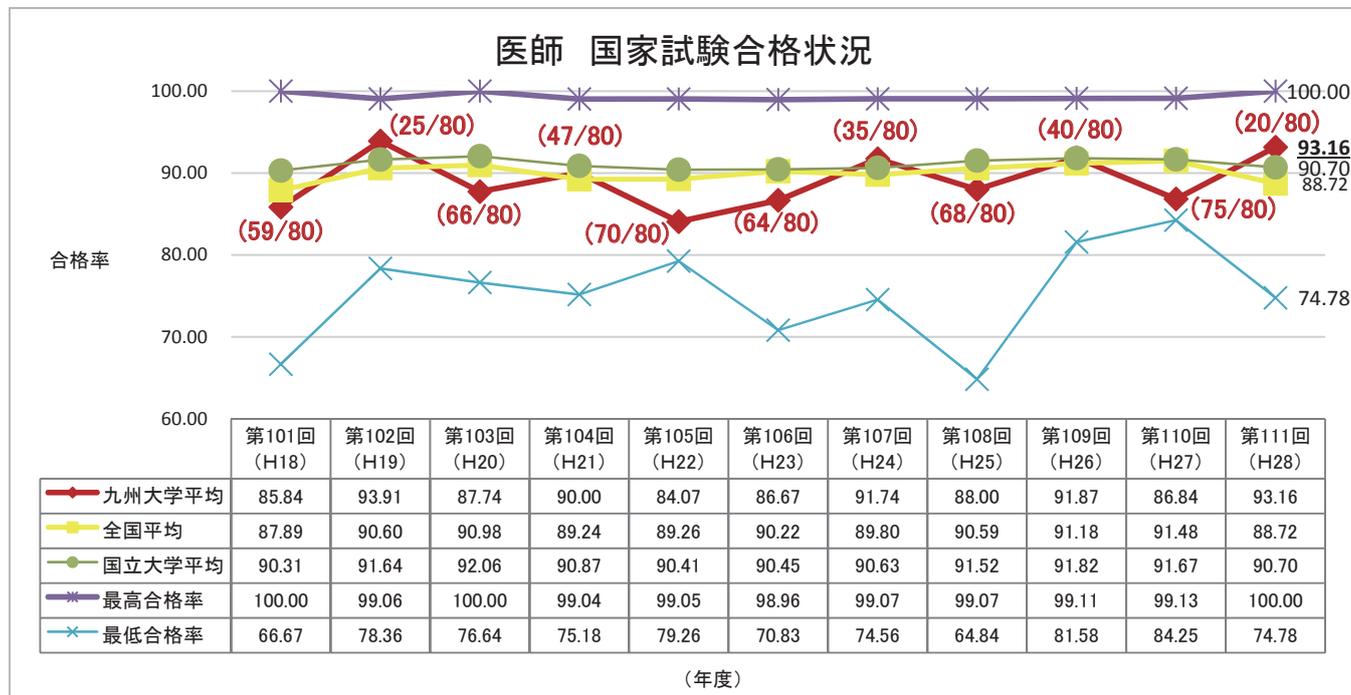
※司法試験法科大学院等別合格者数等(予備試験合格者については含めていない)

※出典:法務省HP 司法試験の結果について 法科大学院等別合格者数等

## 8-2. 各種資格試験・採用試験合格状況

職種毎に合格率を表したものである。医師国家資格については、国立大学平均合格率は安定しているものの、本学は受験年度により大きく変動している。

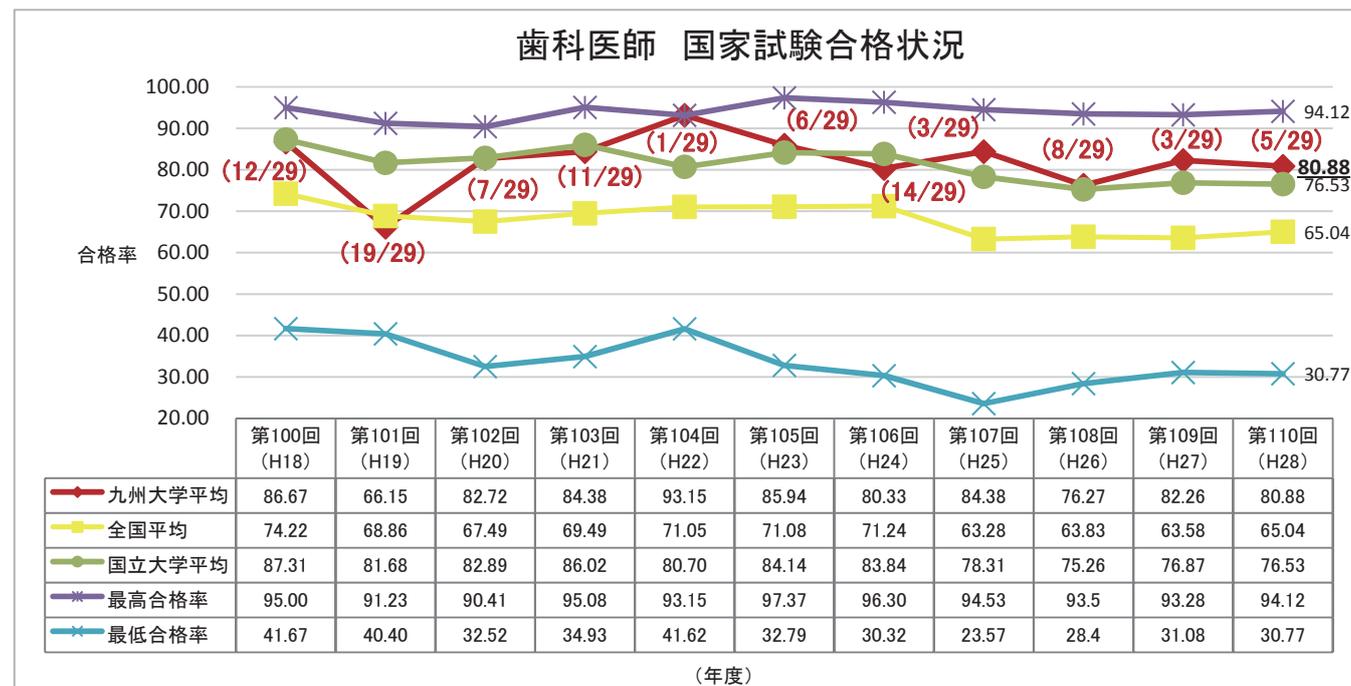
### 【医師国家資格(合格率)】



・数値は、新卒及び既卒の合格者数を受験者数で除した率である。  
 ・( )内は(九大の順位/全体数)である。

※出典: 出典: 医師国家試験対策予備校「テコム」ホームページ  
 (<https://www.tecomgroup.jp/igaku/topics/111.asp>)

### 【歯科医師国家資格(合格率)】

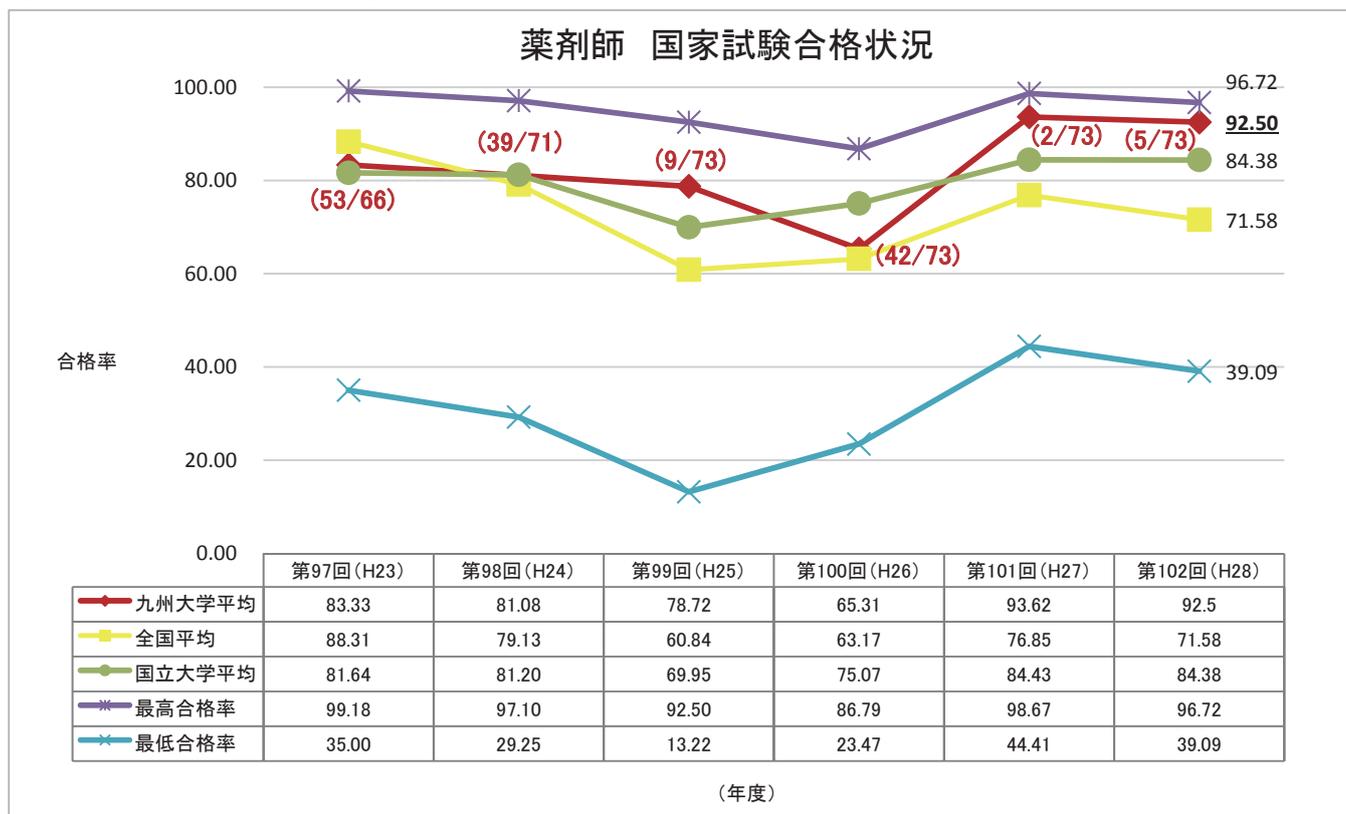


・数値は、新卒及び既卒の合格者数を受験者数で除した率である。  
 ・( )内は(九大の順位/全体数)である。

※出典: 歯科医療従事者専用サイト「White Cross」  
 (<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/442/0>)

8-2. 各種資格試験・採用試験合格状況(つづき)

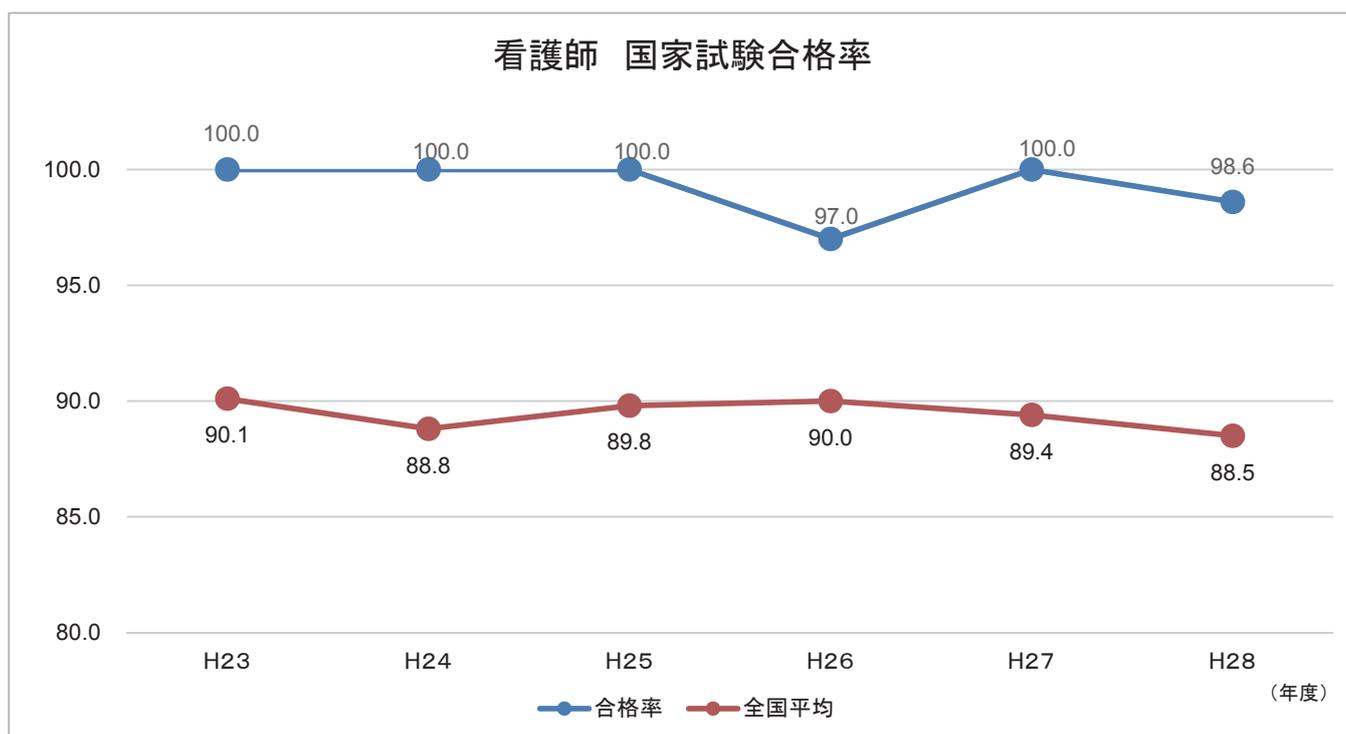
【薬剤師国家資格(合格率)】



・薬剤師国家資格については、6年生課程卒業生試験を対象としているため、H23年度以降に掲載したもの。  
 ・数値は、新卒及び既卒等の合格者数を受験者数で除した率である。  
 ・( )内は(九大の順位/全体数)である。

※出典：厚生労働省ホームページ  
 (<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000157911.html>)

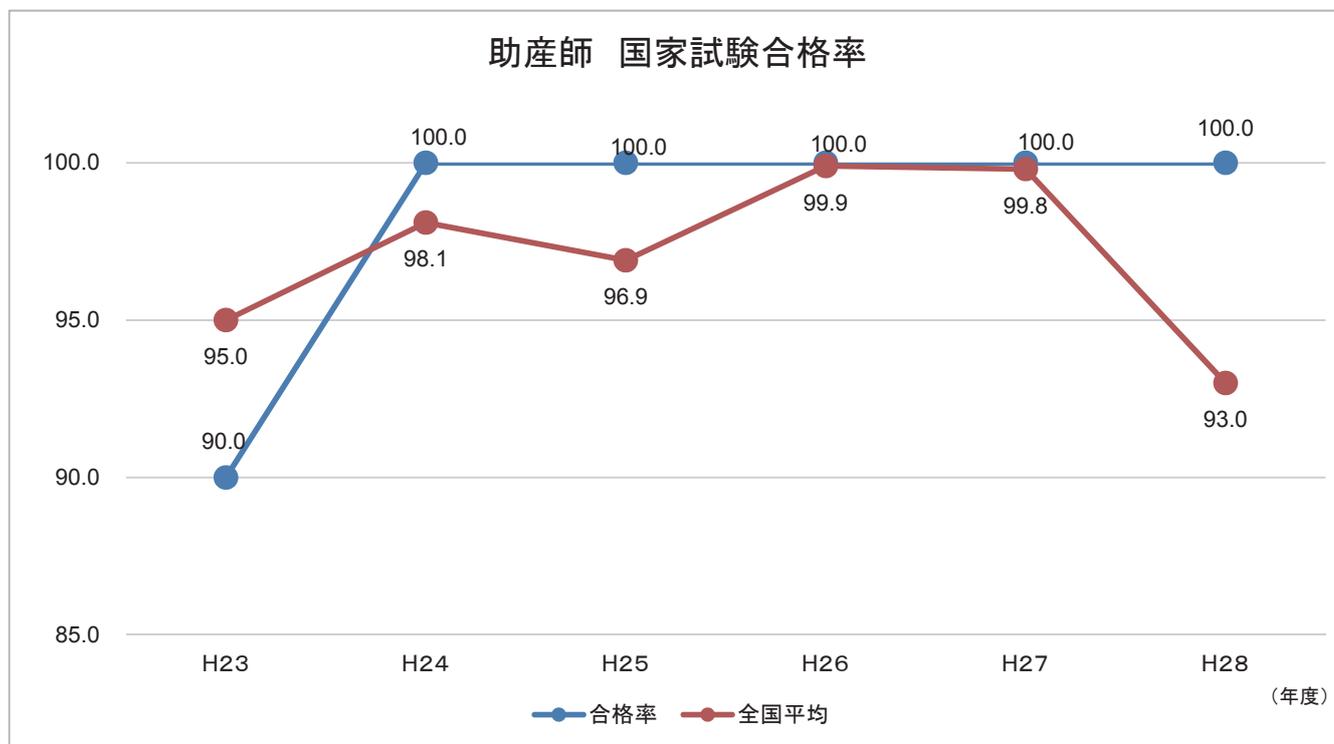
【看護師国家資格(合格率)】



※出典：「看護医療進学ネット」(<http://www.ishin.jp/support/kokka/>)

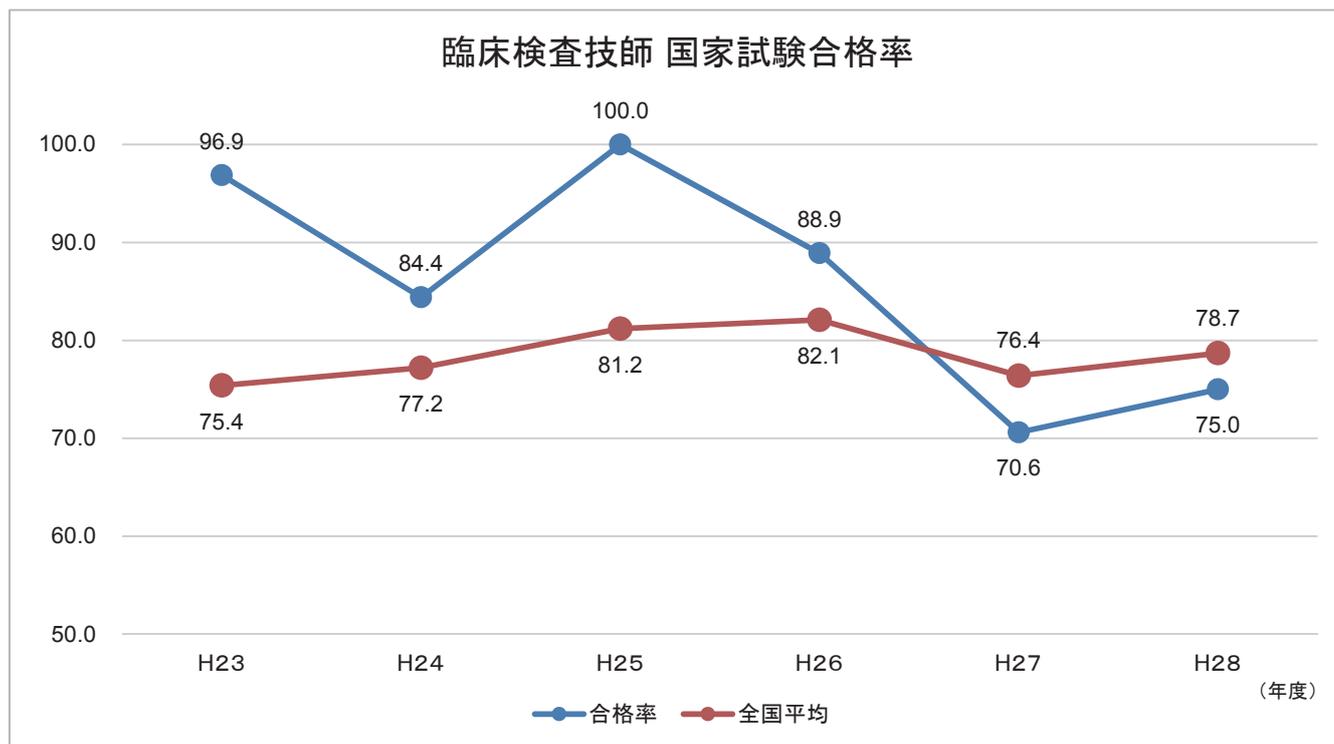
8-2. 各種資格試験・採用試験合格状況(つづき)

【助産師国家資格(合格率)】



※出典:「看護医療進学ネット」(<http://www.ishin.jp/support/kokka/>)

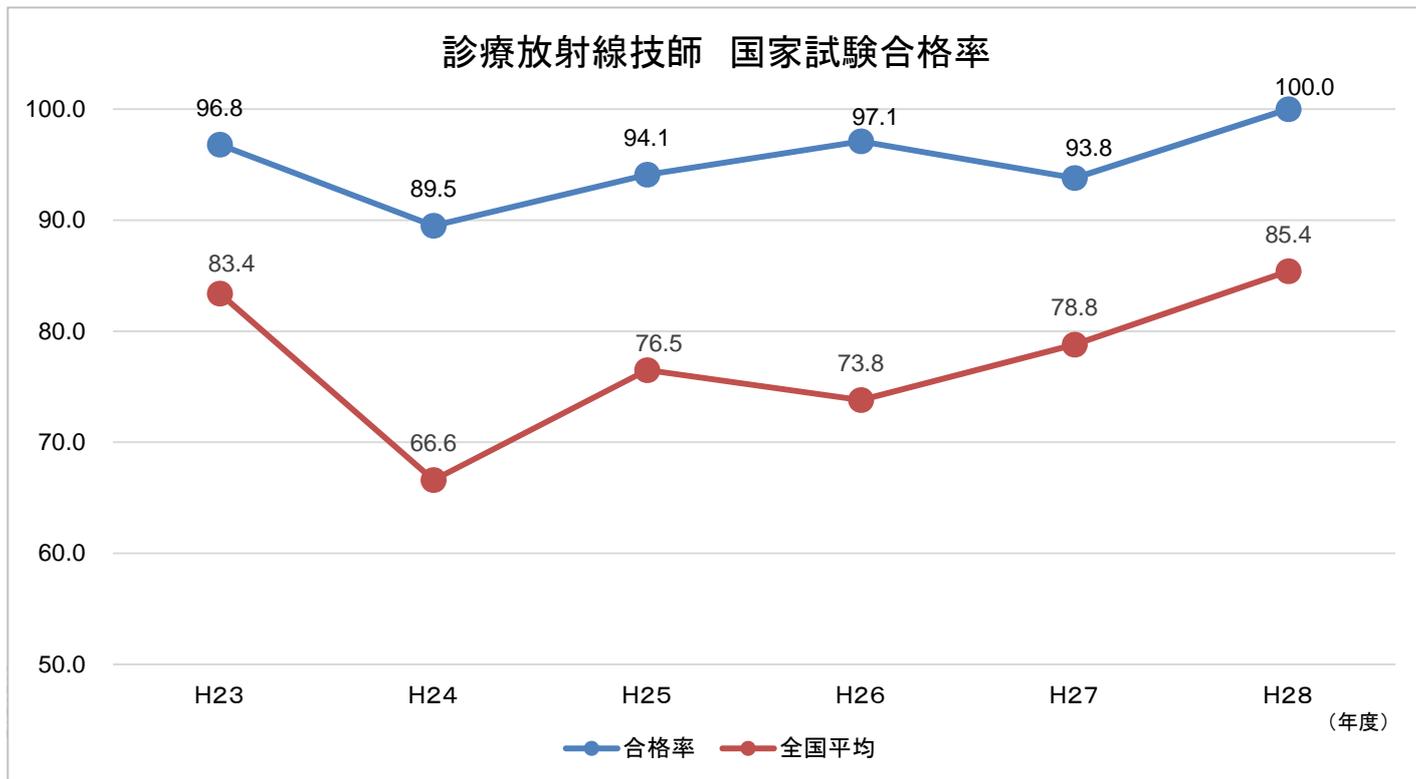
【臨床検査技師国家資格(合格率)】



※出典:「看護医療進学ネット」(<http://www.ishin.jp/support/kokka/>)

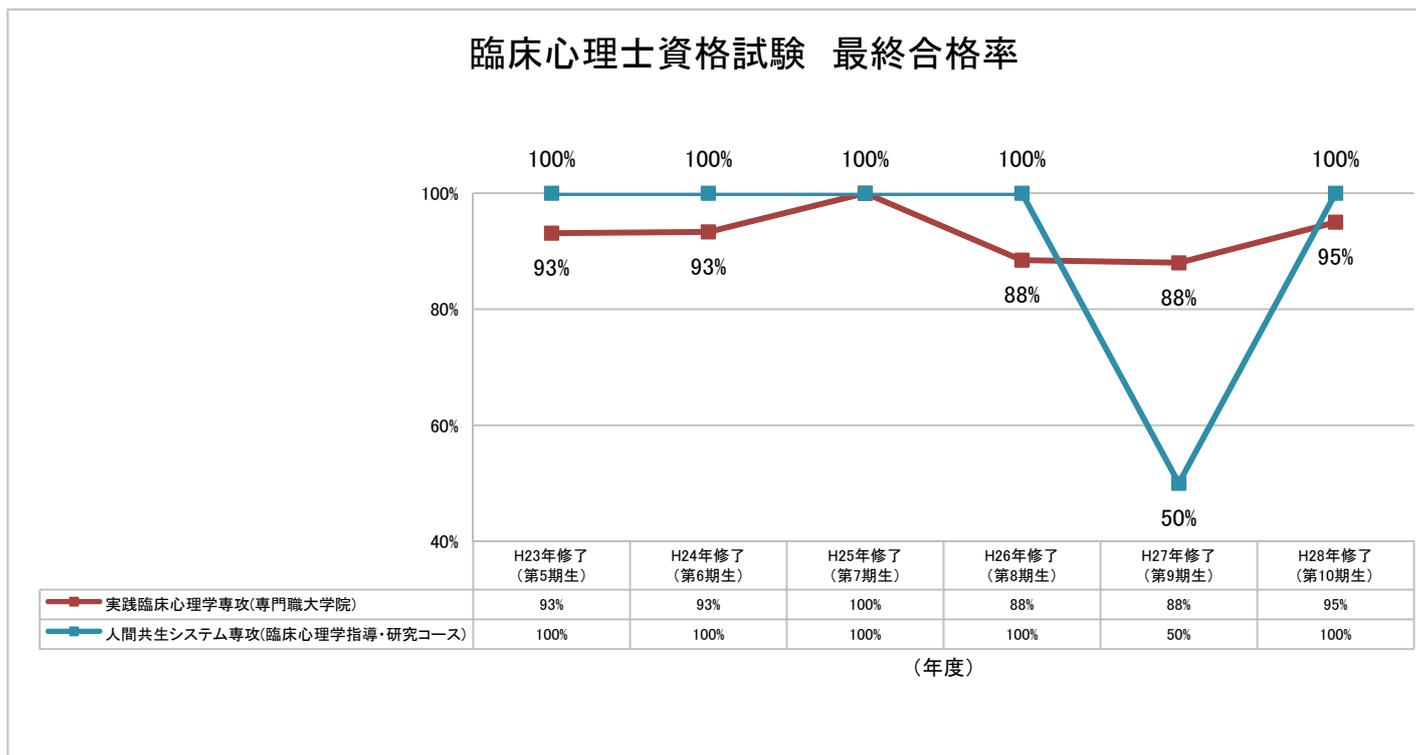
8-2. 各種資格試験・採用試験合格状況(つづき)

【診療放射線技師国家資格(合格率)】



※出典:「看護医療進学ネット」(<http://www.ishin.jp/support/kokka/>)

【臨床心理士資格試験(最終合格率)】



※出典: 専門職大学院 人間環境学府 実践臨床心理学専攻  
 大学院 人間環境学府 人間共生システム専攻臨床心理学 指導・研究コース 入学案内パンフレット

## 8-2. 各種資格試験・採用試験合格状況(つづき)

## ◆公務員試験合格◆

## 【国家公務員総合職】

順位	大学名	人
1	東京大	433
2	京都大	183
3	早稲田大	133
4	慶応義塾大	98
5	東北大	85
6	大阪大	83
6	北海道大	82
8	九州大	63
8	中央大	51
10	東京工業大	49

## 【国家公務員一般職】

順位	大学名	人
1	早稲田大	277
2	中央大	224
3	岡山大	189
4	同志社大	177
5	立命館大	174
6	東北大	170
6	明治大	170
8	神戸大	160
:		
12	九州大	138

## 【外務省専門職員】

順位	大学名	人
1	大阪大	8
2	東京外国語大	7
3	上智大	6
4	神戸大	4
4	早稲田大	4
6	東京大	3
7	九州大	2
7	北海道大	2
7	創価大	2
7	同志社大	2

## ◆国家資格合格◆

## 【弁理士】

順位	大学名	人
1	東京大	37
2	京都大	29
3	東北大	16
3	東京工業大	15
3	東京理科大	12
6	大阪大	9
7	慶応義塾大	9
7	早稲田大	9
:		
17	九州大	4

## 【技術士】

順位	大学名	人
1	北海道大	150
2	京都大	146
3	東京大	126
4	日本大	126
5	九州大	105
6	早稲田大	102
7	東北大	89
8	大阪大	86
9	東京工業大	84
10	東京理科大	67

## 【一級建築士】

順位	大学名	人
1	日本大	180
2	東京理科大	123
3	芝浦工業大	90
4	早稲田大	81
5	近畿大	69
6	神戸大	65
7	九州大	61
7	工学院大	61
9	法政大	57
10	明治大	52

※出典:朝日新聞出版「大学ランキング2018年版」

## 9. 研究

主にELSEVIER社製「SciVal」を使用して分析を行った。  
論文数は整数カウントによる。

### 9-1. ジャーナル分類分野に基づいた本学全体の傾向

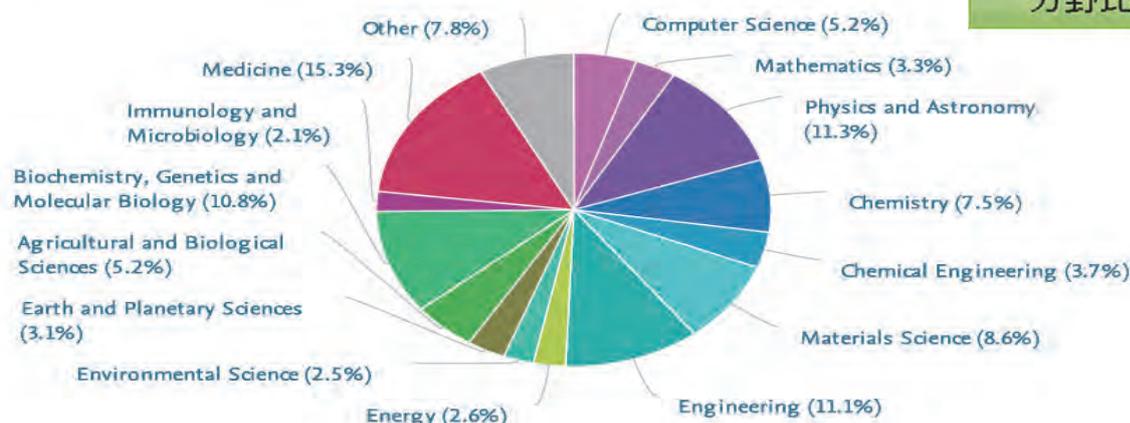
#### Kyushu University

★ 135th (QS) | 351-400 (THE) | 201-300 (ARWU) | Japan

2012 to >2017 | no subject area filter selected | ASIC

#### Overall research performance

Publications	Citations	Authors	Field-Weighted Citation Impact	Citations per Publication
26,825 ▲	162,919	16,915 ▲	1.13	6.1



#### Performance indicators

##### Outputs in Top Citation Percentiles

Publications in top 10% most cited worldwide



トップ論文

##### Publications in Top Journal Percentiles

Publications in top 10% journals by CiteScore Percentile



トップジャーナル  
掲載論文

##### International Collaboration

Publications co-authored with Institutions in other countries



国際共著

##### Academic-Corporate Collaboration

Publications with both academic and corporate affiliations



産学共著

※出典: ELSEVIER社製「SciVal」より (H29.8月現在)

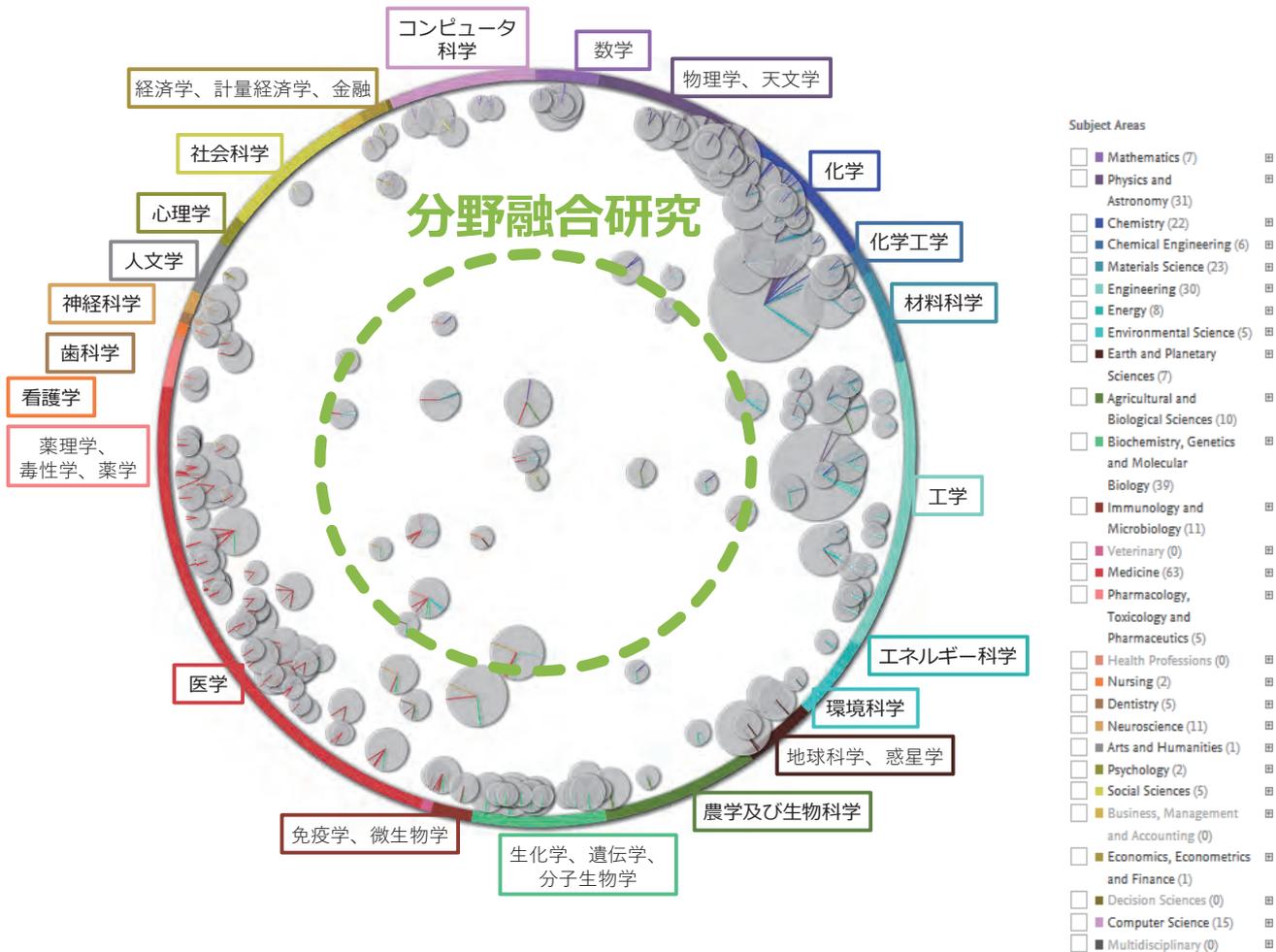
9-1. ジャーナル分類分野に基づいた本学全体の傾向 (つづき)

# Science Mapping

## —論文の共引用関係に基づいた大学全体の強み分析—

本学のコンピテンシー(※1)は特に化学や工学、生化学、医学などに集中して分布しており、これらの分野で九大のシェア率が高い研究領域が多いことがわかる。また、コンピテンシー(※1)は円の中心付近にも分布しており、医学や工学などを中心に融合研究が行われていることがわかる。

九州大学のコンピテンシー: 191個 (DC13個、EC178個)



◆見方◆  
 ・サークルマップの円周: Scopusで用いられている研究分野(ASJCの27中分類)を色別に表示。  
 ・コンピテンシー(小さい円)の大きさ: コンピテンシーを構成する論文の数を表す。円が大きいほど論文数が多い研究領域。  
 ・コンピテンシー内の線: コンピテンシーを構成する論文の分野を、円周上のScopus分野の色で示したもの。円周の各分野の方向を指している。  
 ・コンピテンシーの位置: コンピテンシーを構成する論文の分野の割合に基づいて配置されている。学際的なものは中心に位置する傾向にある。  
 ・コンピテンシーの種類: コンピテンシーの中で、コンピテンシーを構成する論文数が多いかつ被引用数が1位又は論文シェア率が1位などの基準をクリアしたものはDC(Distinctive Competency)、それ以外のはEC(Emerging Competency)と呼ばれている。

(※1)コンピテンシー: 高業績者の行動特性  
 論文の共引用分析(同時に引用された論文をグループ化するもの)によってグループ化された研究領域のうち、分析対象機関の論文が占める割合の高い研究領域。

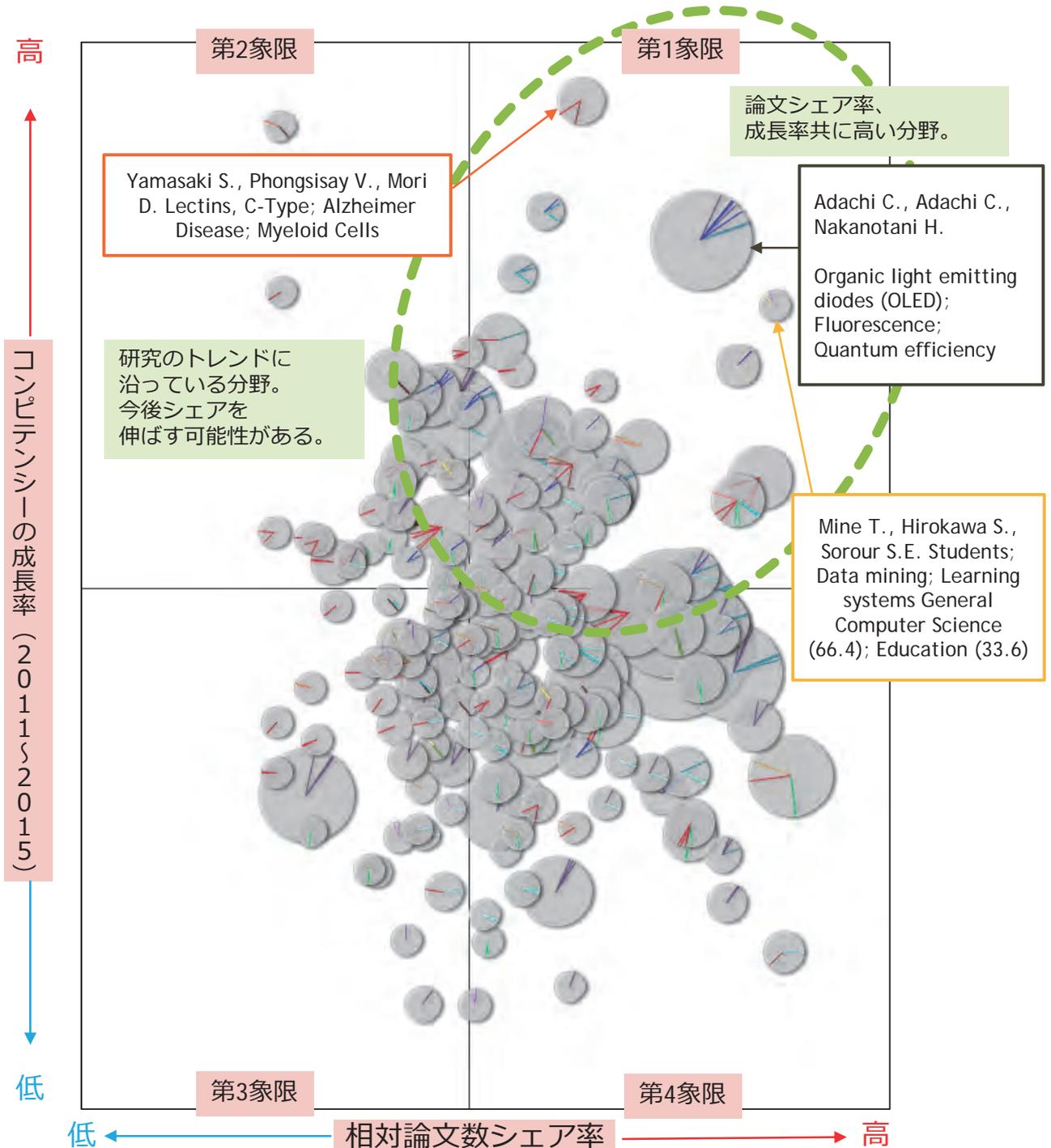
※出典: ELSEVIER社製「SciVal」より(H29.8月現在)

9-1. ジャーナル分類分野に基づいた本学全体の傾向（つづき）

Science Mapping

—論文の共引用関係に基づいた大学全体の強み分析—（つづき）

グラフの第1象限にあるコンピテンシーは、論文シェア率と成長率が共に高い分野であり、九州大学の花形と言える研究領域である。第2象限にあるコンピテンシーは、研究のトレンドに沿った研究領域であり今後九州大学がシェアを伸ばす可能性がある領域である。第4象限にあるコンピテンシーは、安定的な定番の研究領域において九州大学の高いシェアが確保されている研究領域を示す。



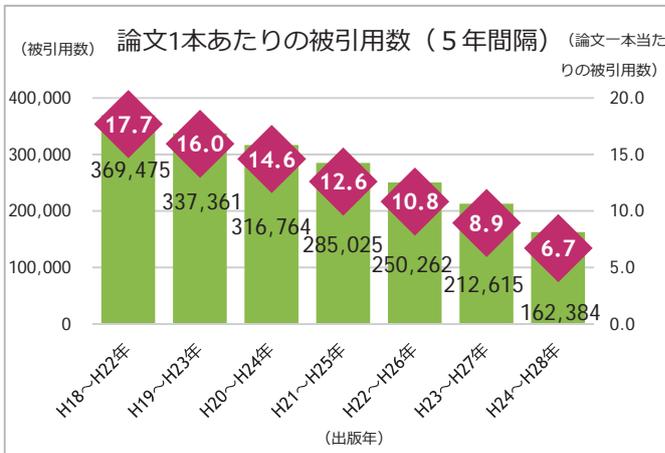
◆見方◆  
 ・縦軸：2011年～2015年のコンピテンシーの成長率  
 ・横軸：各コンピテンシーにおける九州大学の論文の相対シェア率

※出典：ELSEVIER社製「SciVal」より(H29.8月現在)

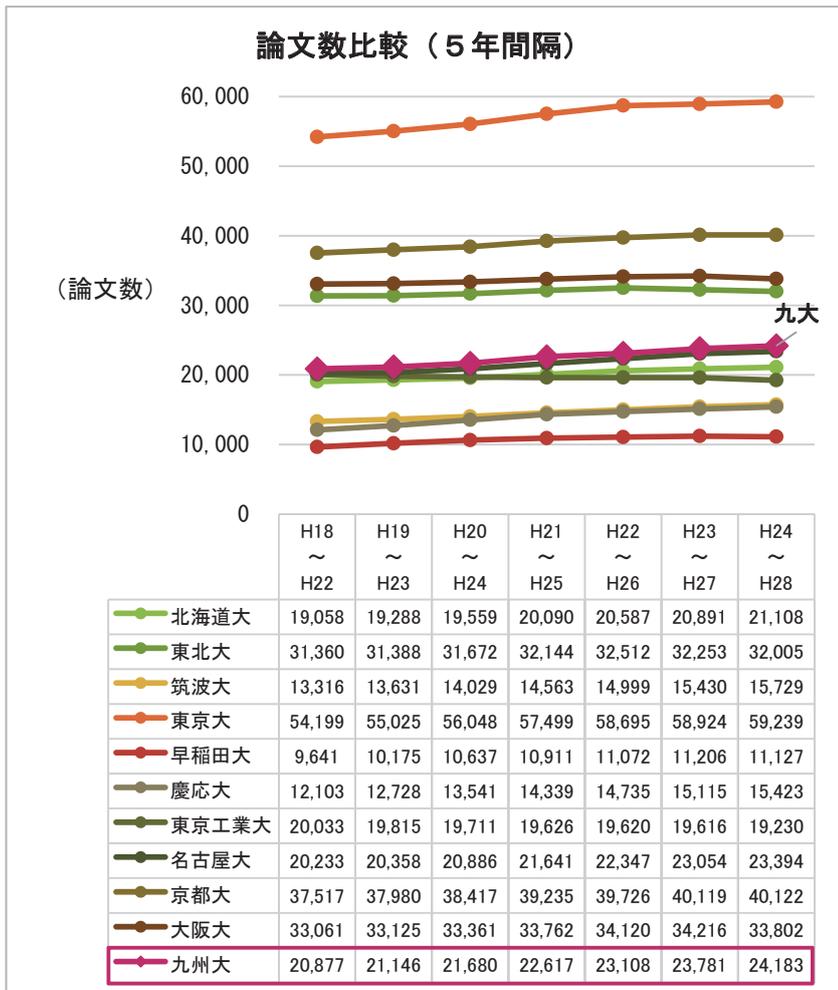
## 9-2. 論文の量と質についての比較

5年間隔で見ると論文は増え続けていることがわかる。被引用数に関しては、論文は公表されてから、他の論文から引用されるまでタイムラグがあるため、分析対象期間における最新年においては、被引用数が小さくなってしまいう傾向があるため、右肩下がりとなっているが、これは他大学も同様である。

### ◆九州大学◆



### ◆RU11 (※1) での比較◆



順位	大学	増加率
1	慶応大	27.4%
2	筑波大	18.1%
3	九州大	15.8%
4	名古屋大	15.6%
5	早稲田大	15.4%
6	北海道大	10.8%
7	東京大	9.3%
8	京都大	6.9%
9	大阪大	2.2%
10	東北大	2.1%
11	東京工業大	-4.0%

5年間隔での論文数はRU11中**5番目に多い**が、増加率で見るとH18~22年とH24~28年では、本学は**15.8%**増加しており、RU11中**3位**となっている。

#### (※1)RU11(学術研究懇談会)

研究及びこれを通じた高度な人材の育成に重点を置き、世界で激しい学術の競争を続けてきている大学(Research University)による国立私立の設置形態を超えたコンソーシアムである。

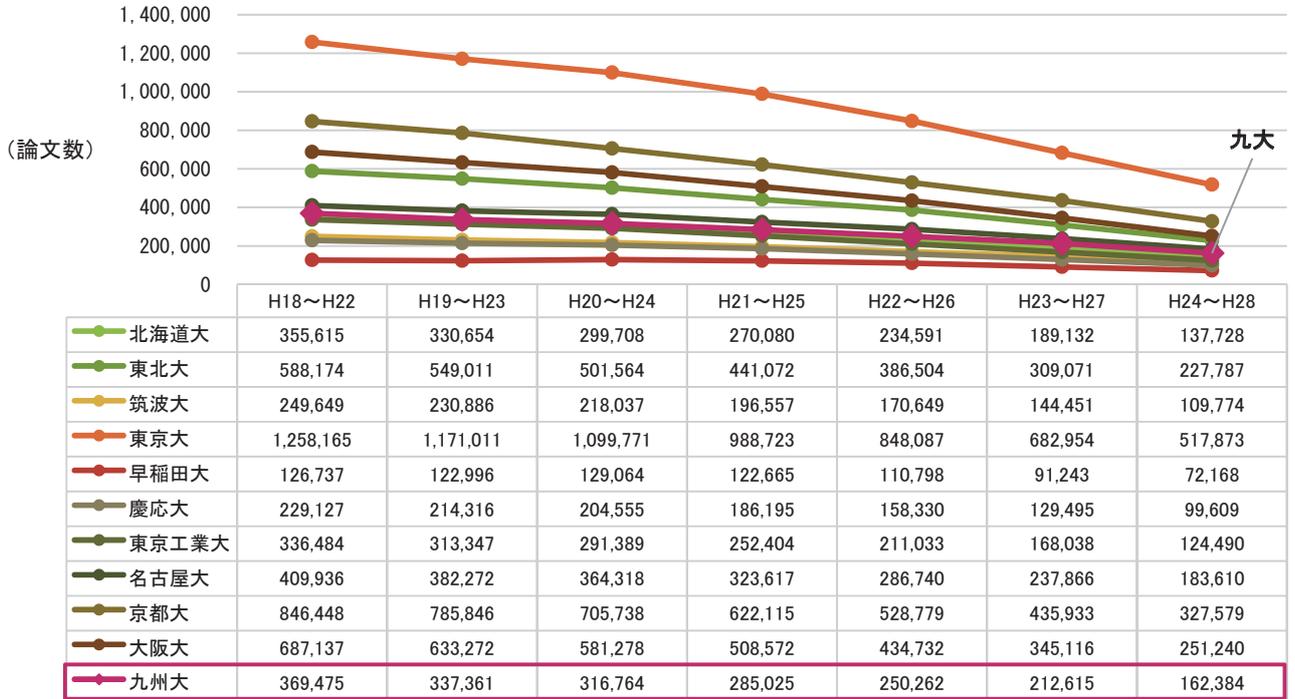
北海道大、東北大、筑波大、東京大、早稲田大、慶應義塾大、東京工業大、名古屋大、京都大、大阪大(北から)

※出典: ELSEVIER社製「SciVal」より(H29.8月現在)

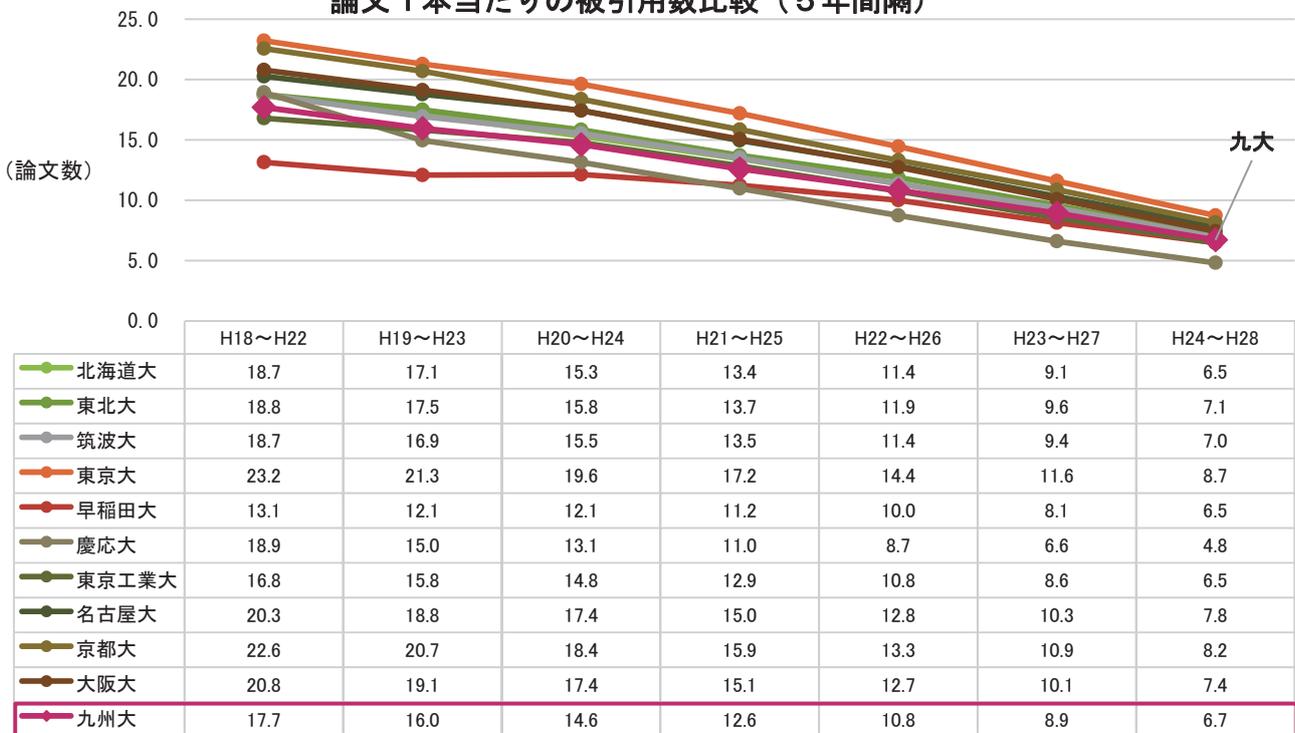
9-2. 論文の量と質についての比較 (つづき)

RU11(※1)で比較すると、5年間隔での論文数はあまり高くはないものの、増加率は3位であり増加傾向であることが分かるが、被引用数及び論文1本当たりの被引用数で比較すると論文の質を表す数値は高くはない。

被引用数比較 (5年間隔)



論文1本当たりの被引用数比較 (5年間隔)



(※1)RU11(学術研究懇談会)

研究及びこれを通じた高度な人材の育成に重点を置き、世界で激しい学術の競争を続けてきている大学(Research University)による国立私立の設置形態を超えたコンソーシアムである。  
北海道大、東北大、筑波大、東京大、早稲田大、慶應義塾大、東京工業大、名古屋大、京都大、大阪大(北から)

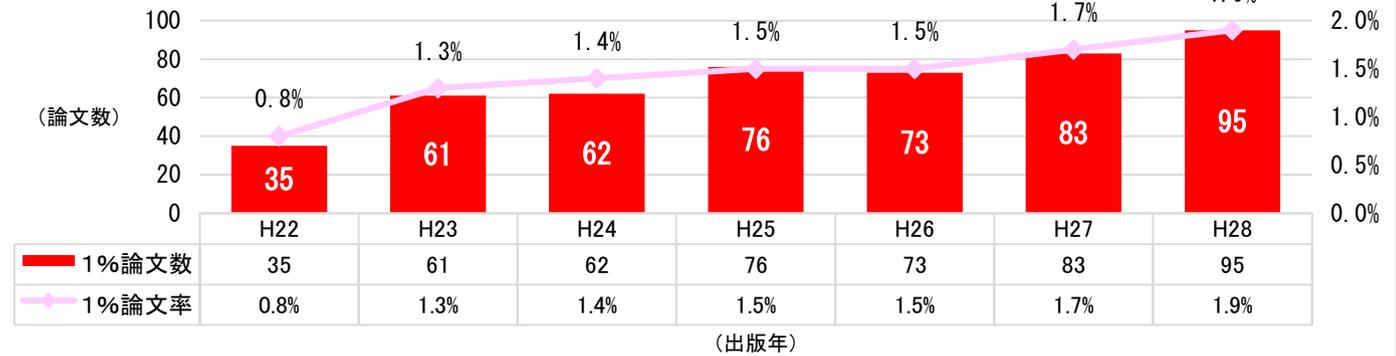
※出典: ELSEVIER社製「SciVal」より(H29.8月現在)

## 被引用数が世界トップの論文数と割合推移

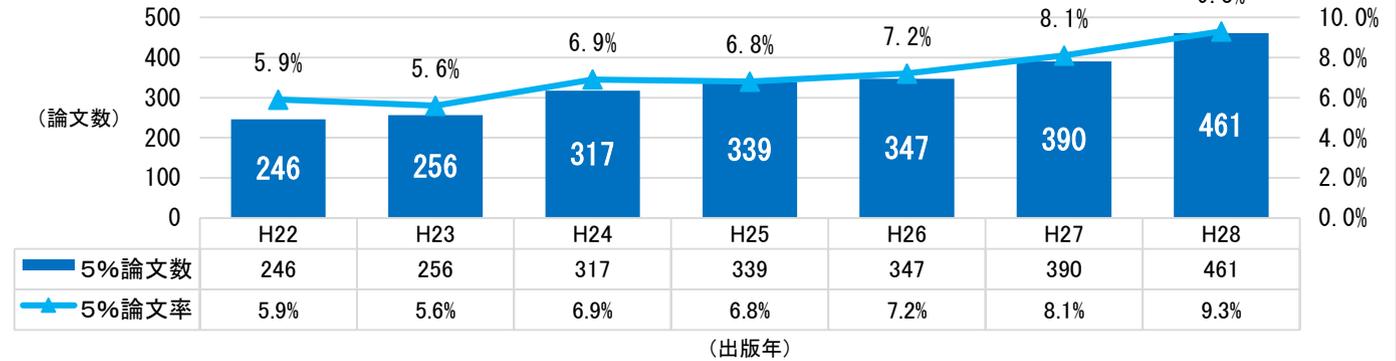
※トップx%論文数割合とは・・・

被引用数ベースで世界トップに入る論文の本数または割合。Scopusにおける各年の被引用数を元に、上位1%、5%、10%、25%に含まれる論文数を示すもの。

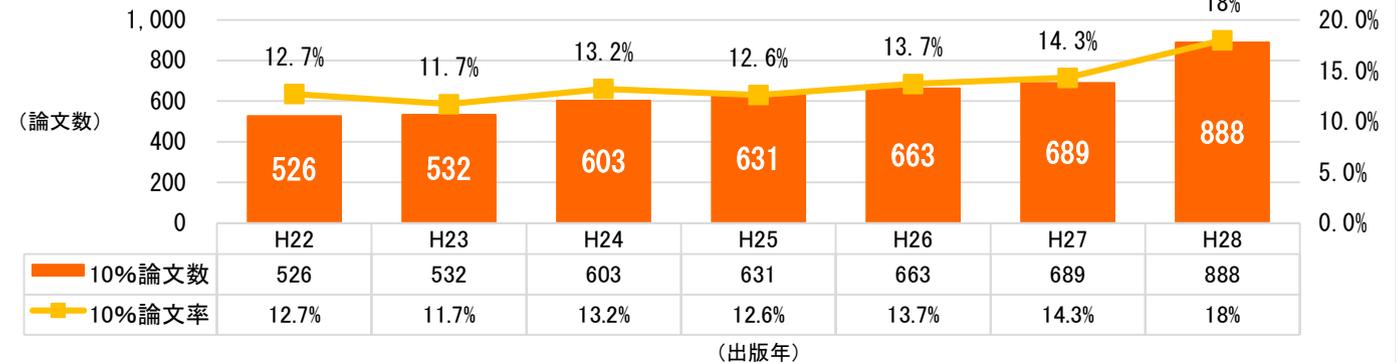
### TOP1% 論文数・論文率



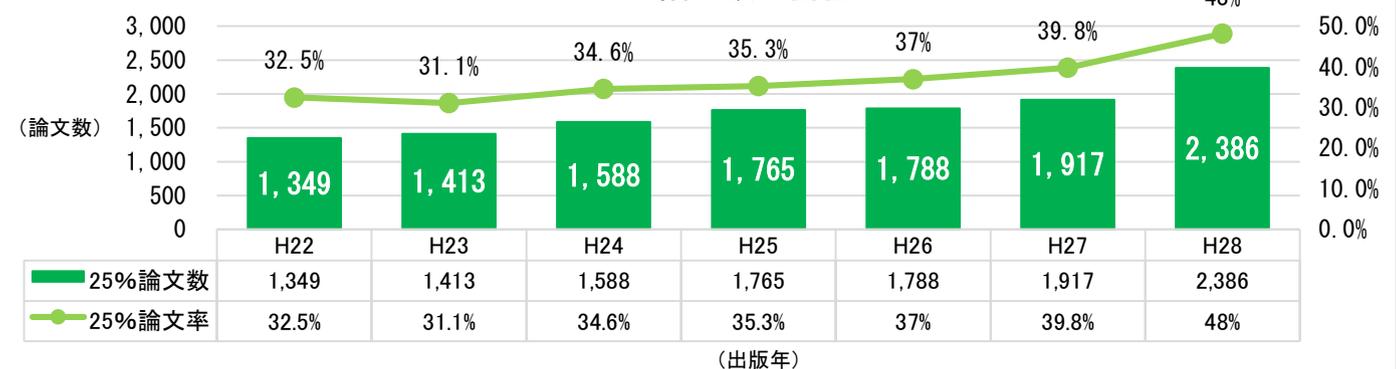
### TOP5% 論文数・割合



### TOP10% 論文数・割合



### TOP25% 論文数・割合



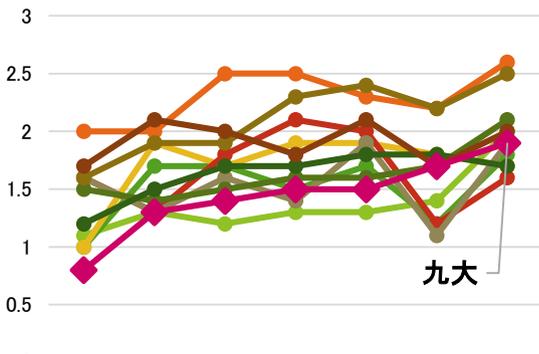
※出典: ELSEVIER社製「SciVal」より(H29.8月現在)

9-2. 論文の量と質についての比較 (つづき)

被引用数が世界トップの論文数と割合推移

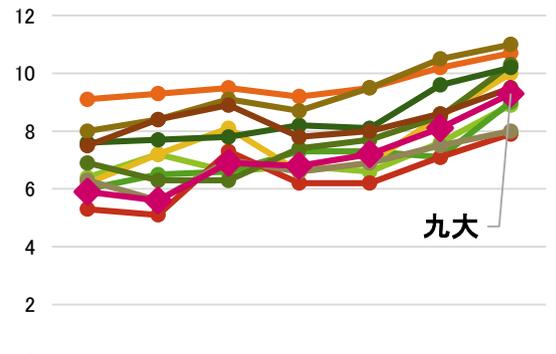
◆RU11 (※1) での比較◆

TOP1%に含まれる論文の割合



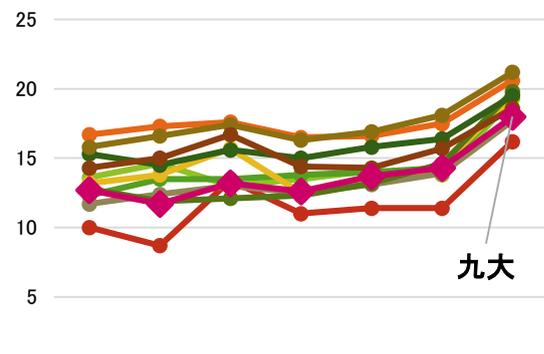
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
北海道大	1.1	1.3	1.2	1.3	1.3	1.4	2
東北大	1	1.7	1.7	1.5	1.7	1.2	1.8
筑波大	1	1.9	1.7	1.9	1.9	1.8	1.7
東京大	2	2	2.5	2.5	2.3	2.2	2.6
早稲田大	1.6	1.3	1.8	2.1	2	1.2	1.6
慶応大	1.6	1.3	1.6	1.4	1.9	1.1	1.9
東京工業大	1.5	1.4	1.5	1.6	1.6	1.7	2.1
名古屋大	1.2	1.5	1.7	1.7	1.8	1.8	1.7
京都大	1.6	1.9	1.9	2.3	2.4	2.2	2.5
大阪大	1.7	2.1	2	1.8	2.1	1.7	2
九州大	0.8	1.3	1.4	1.5	1.5	1.7	1.9

TOP5%に含まれる論文の割合



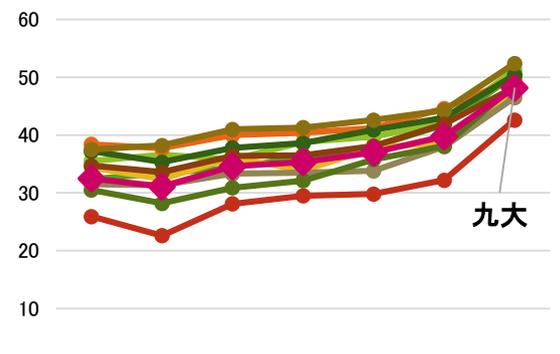
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
北海道大	6.4	7.2	6.6	6.8	6.6	7.6	8.9
東北大	6	6.5	6.6	7.3	7.3	7.1	9
筑波大	6.2	7.2	8.1	6.6	6.9	8.5	10
東京大	9.1	9.3	9.5	9.2	9.5	10.2	10.7
早稲田大	5.3	5.1	7.3	6.2	6.2	7.1	7.9
慶応大	6.3	5.6	7	6.6	6.9	7.5	8
東京工業大	6.9	6.3	6.3	7.4	7.7	8.5	10.3
名古屋大	7.6	7.7	7.8	8.2	8.1	9.6	10.2
京都大	8	8.4	9.1	8.7	9.5	10.5	11
大阪大	7.5	8.4	8.9	7.8	8	8.6	9.5
九州大	5.9	5.6	6.9	6.8	7.2	8.1	9.3

TOP10%に含まれる論文の割合



	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
北海道大	13.6	14.6	13	13.5	14.1	13.8	19.3
東北大	12.3	13.5	13.5	13.8	14	14.3	19.4
筑波大	13.2	13.8	15.7	12.5	13.2	14.5	19.4
東京大	16.7	17.3	17.6	16.5	16.6	17.5	20.6
早稲田大	10	8.7	13.4	11	11.4	11.4	16.2
慶応大	11.7	12.4	13	12.5	13.1	13.9	17.7
東京工業大	12.8	11.9	12.1	12.3	13.2	14.6	19.8
名古屋大	15.3	14.5	15.6	15	15.8	16.4	19.5
京都大	15.8	16.6	17.4	16.3	16.9	18.1	21.2
大阪大	14.3	15	16.7	14.4	14.3	15.7	18.6
九州大	12.7	11.7	13.2	12.6	13.7	14.3	18

TOP25%に含まれる論文の割合



	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
北海道大	35.5	36.6	35.8	38.8	39.7	42.2	51.3
東北大	32.4	33.4	34.3	36.3	38	41.8	50.4
筑波大	34.4	32.4	36.1	33.9	37.7	38.8	47.4
東京大	38.4	37.7	40	40.4	41.2	44.6	49.7
早稲田大	25.9	22.6	28.1	29.5	29.8	32.2	42.6
慶応大	31.5	31.3	33.3	33.5	33.8	38	46.5
東京工業大	30.5	28.2	30.9	32.1	35.8	38.1	48.7
名古屋大	37.2	35.3	37.8	38.6	40.9	43	50.4
京都大	37.5	38.2	41	41.3	42.6	44.3	52.4
大阪大	34.7	33.6	36.4	36.5	38.1	41.9	48.3
九州大	32.5	31.1	34.6	35.3	37	39.8	48.2

(※1)RU11(学術研究懇談会)

研究及びこれを通じた高度な人材の育成に重点を置き、世界で激しい学術の競争を続けてきている大学(Research University)による国立私立の設置形態を超えたコンソーシアムである。

北海道大、東北大、筑波大、東京大、早稲田大、慶應義塾大、東京工業大、名古屋大、京都大、大阪大(北から)

※出典: ELSEVIER社製「SciVal」より(H29.8月現在)

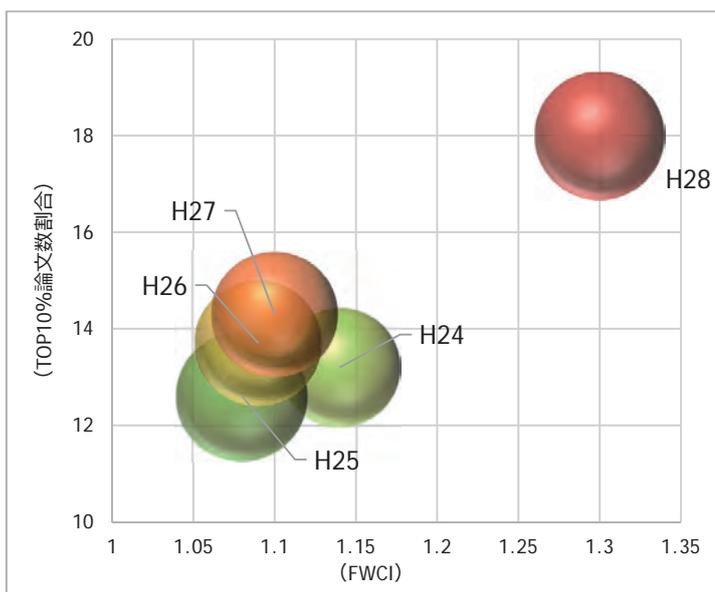
9-2. 論文の量と質についての比較 (つづき)

下記散布図は、右上にいくほど、論文の質が高いと言える。論文数も増加傾向であるが、TOP10%論文数の割合も高くなっており、論文の質を表す数値も年々高くなっていることが見える。  
 また、RU11 (※1) で比較すると、本学は論文数が多いのに比べて、TOP10%論文の割合が少なく、FWCI値も低く、論文の質を表す数値は高いとは言えない。

◆九州大学◆ (H24年～H28年)

本学のTOP10%論文数割合 (縦軸) ×FWCI (※2) (横軸) ×全論文数 (バブル大きさ)

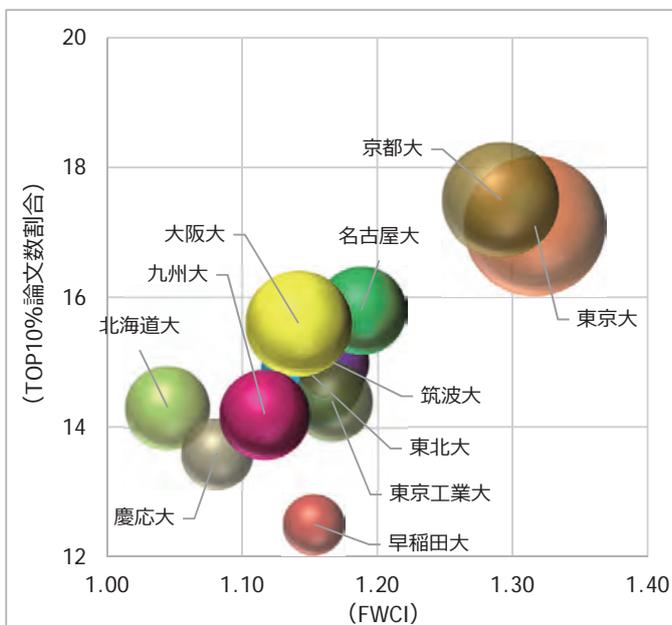
年	TOP10%論文数	FWCI	論文数
H24	13.2	1.14	4,585
H25	12.6	1.08	4,998
H26	13.7	1.09	4,835
H27	14.3	1.1	4,819
H28	18.0	1.3	4,946
平均	14.4	1.14	4,837



◆RU11(※1)での比較◆ (H24年～H28年)

TOP10%論文数割合 (縦軸) ×FWCI (※2) (横軸) ×全論文数 (バブル大きさ)

大学名	TOP10%論文割合	FWCI	論文数
北海道大	14.3	1.05	23,485
東北大	14.8	1.15	35,145
筑波大	15.0	1.17	17,405
東京大	17.1	1.32	64,965
早稲田大	12.5	1.15	12,207
慶応大	13.6	1.08	17,025
東京工業大	14.4	1.17	20,972
名古屋大	15.8	1.19	25,869
京都大	17.5	1.29	44,230
大阪大	15.6	1.14	37,007
<b>九州大</b>	<b>14.2</b>	<b>1.12</b>	<b>26,823</b>



(※1)RU11(学術研究懇談会)

研究及びこれを通じた高度な人材の育成に重点を置き、世界で激しい学術の競争を続けてきている大学 (Research University) による国立私立の設置形態を超えたコンソーシアムである。

北海道大、東北大、筑波大、東京大、早稲田大、慶應義塾大、東京工業大、名古屋大、京都大、大阪大(北から)

(※2)FWCI(Field-weighted Citation Impact)

当該文献の被引用数を、同じ出版年・同じ分野・同じ文献タイプの文献の世界平均で割ったもの。

FWCIが1以上ということは、平均インパクトが世界平均以上ということ意味する。

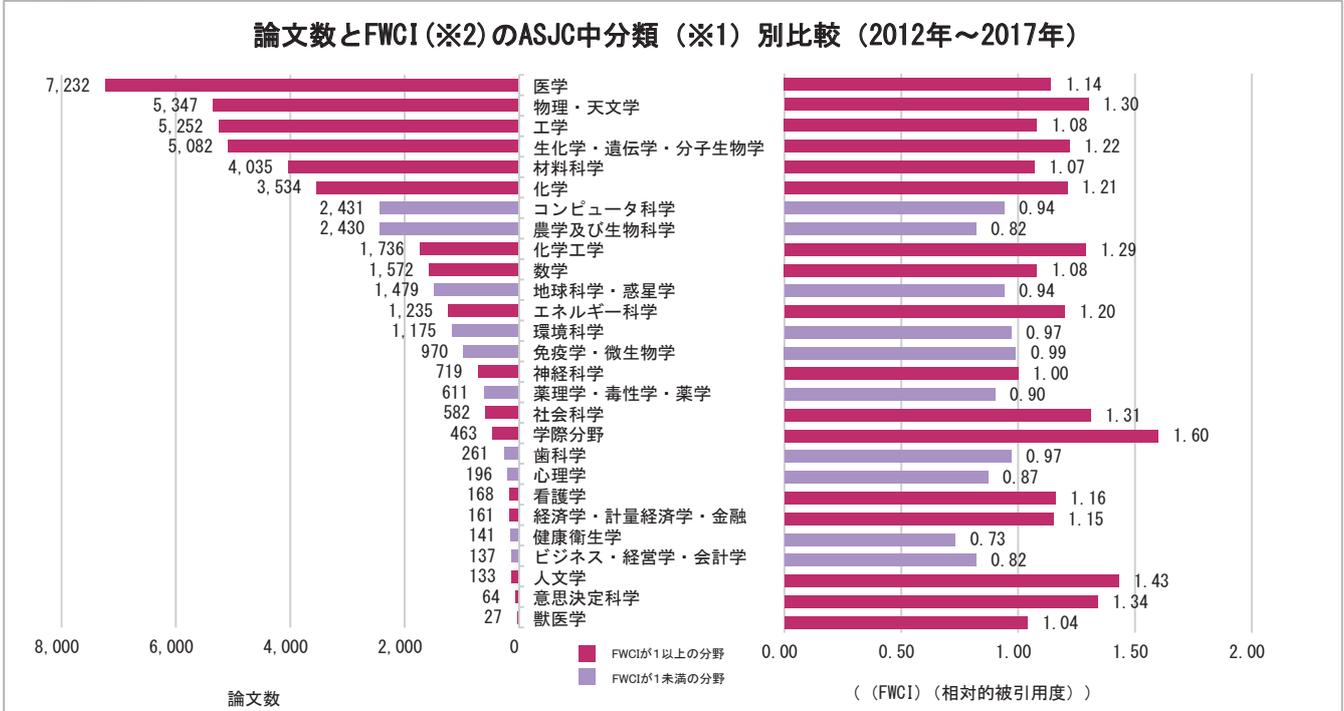
※出典: ELSEVIER社製「SciVal」より(H29.8月現在)

9-2. 論文の量と質についての比較 (つづき)

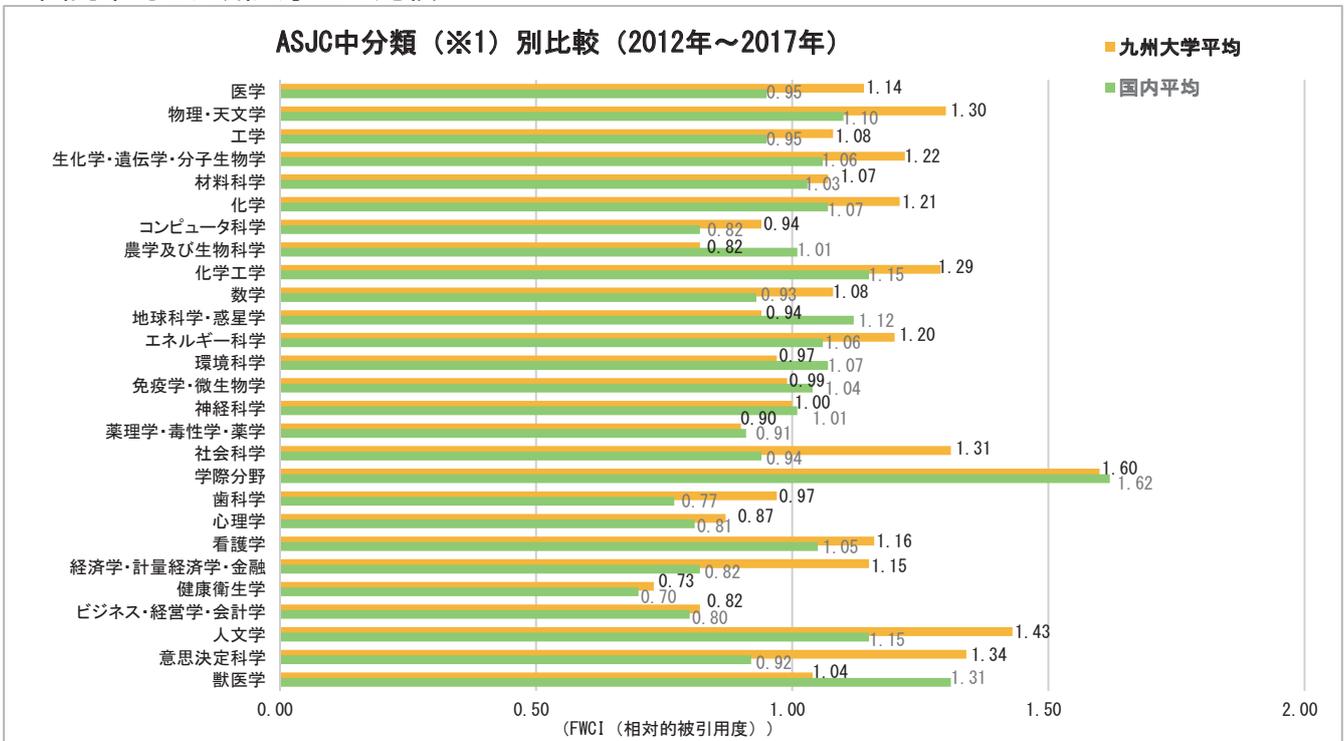
■本学と国内平均の比較 (ASJC27中分類 (※1) 別) 相対的引用度 (FWCI) (※2)

FWCI (※2) が世界平均の1以上である分野は、27分野中**17分野**である。その中でも、国内平均と比較してFWCI値が特に高い分野は、意思決定科学 (46%増)、経済学・計量経済学・金融 (40%増)、社会科学 (39%増) である。論文数が多くFWCIが高いほど研究力に厚みがあること (大学の強み) を表す。また、論文数が少なくFWCIが高い場合は、研究力の高い特定の教員の存在を示す場合が多い。例外としては、特定の教員が巨大な研究者コミュニティに所属する場合が挙げられる。

◆九州大学◆



◆国内平均と九州大学との比較◆



(※1)ASJC27中分類

Scopusのジャーナル分類 (ASJC: All Scopus Science Journal Classification) に基づく27の中分類と334の小分類、または独自に作成した研究領域。

(※2)FWCI(Field-weighted Citation Impact)

当該文献の被引用数を、同じ出版年・同じ分野・同じ文献タイプの文献の世界平均で割ったもの。

FWCIが1以上ということは、平均インパクトが世界平均以上ということを意味する。

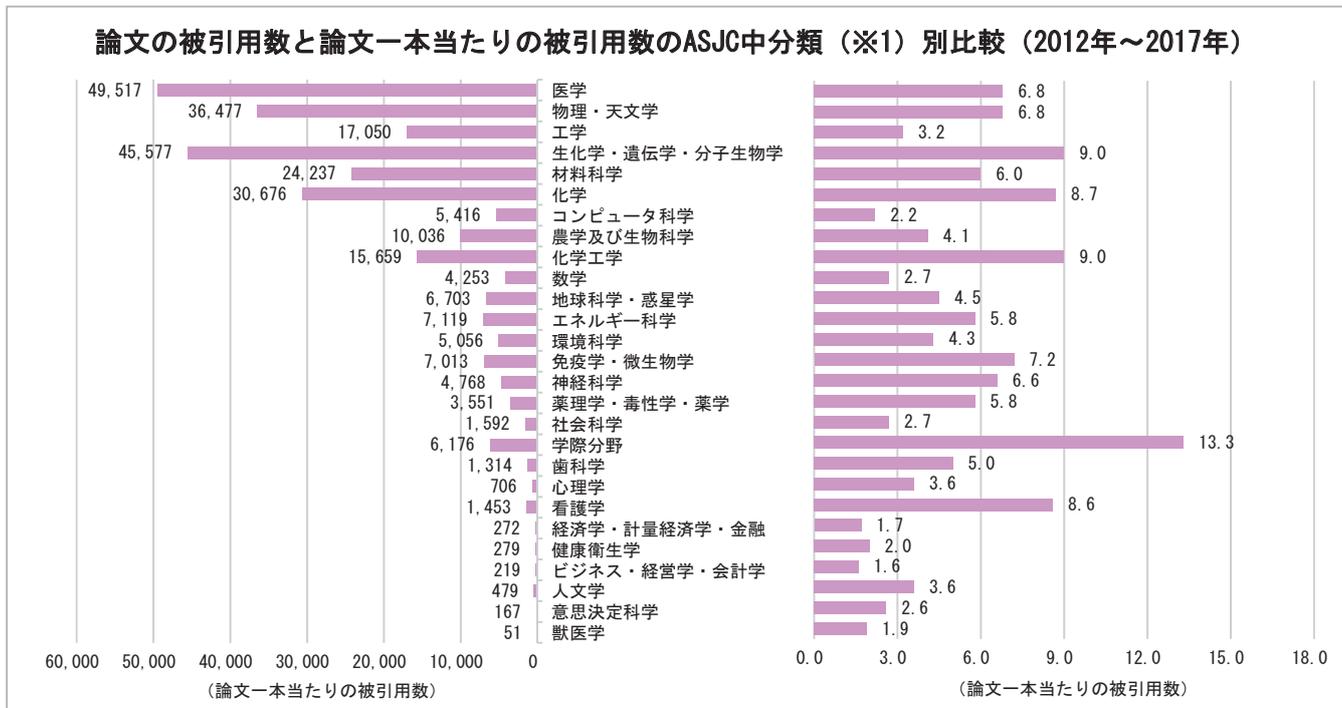
※出典: ELSEVIER社製「SciVal」より (H29.8月現在)

9-2. 論文の量と質についての比較 (つづき)

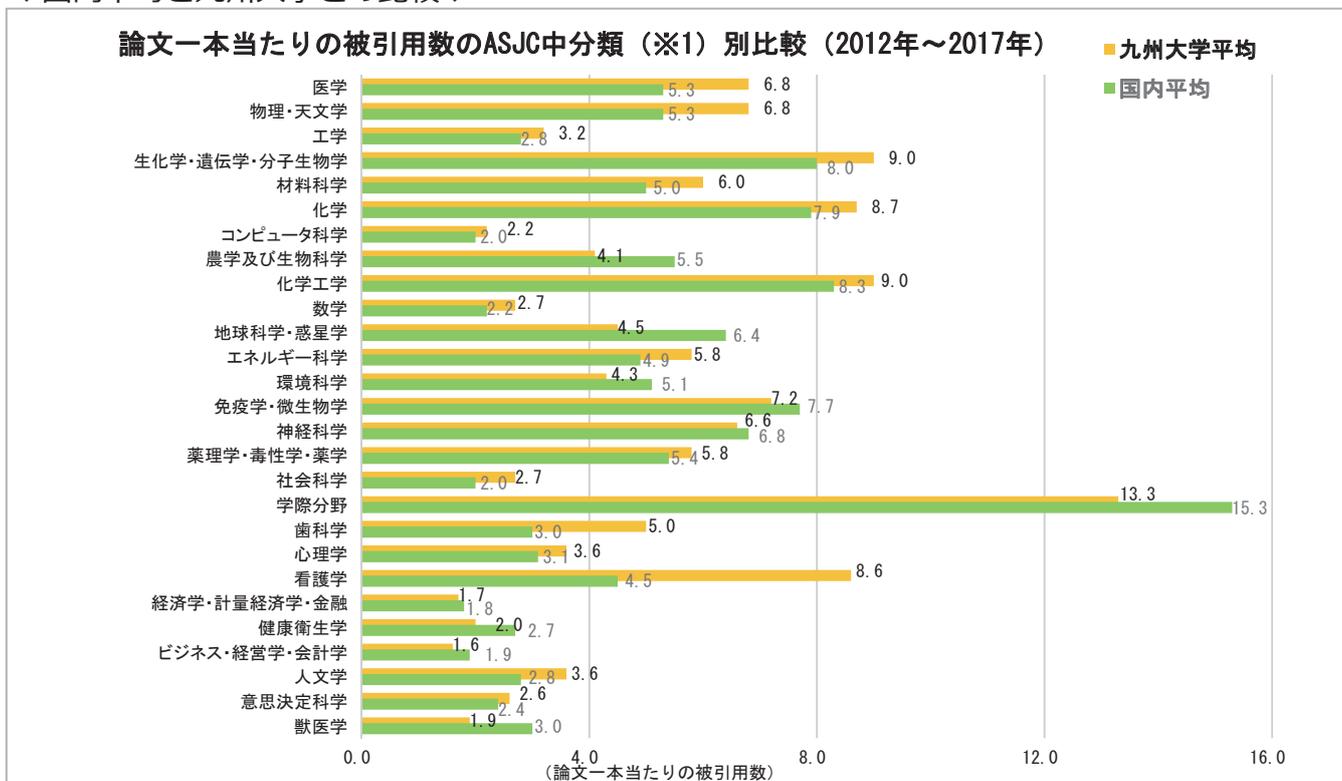
■本学と国内平均の比較 (ASJC27中分類 (※1) 別) ) \_\_論文一本当たりの被引用数

論文一本あたりの被引用数が、国内平均を超えている分野は、27分野中**13分野**である。  
 その中でも、国内平均と比較して被引用数の割合が特に高い分野は看護学 (91%増)、歯科学 (67%増)、  
 社会科学 (35%増) である。

◆九州大学◆



◆国内平均と九州大学との比較◆



(※1)ASJC27中分類

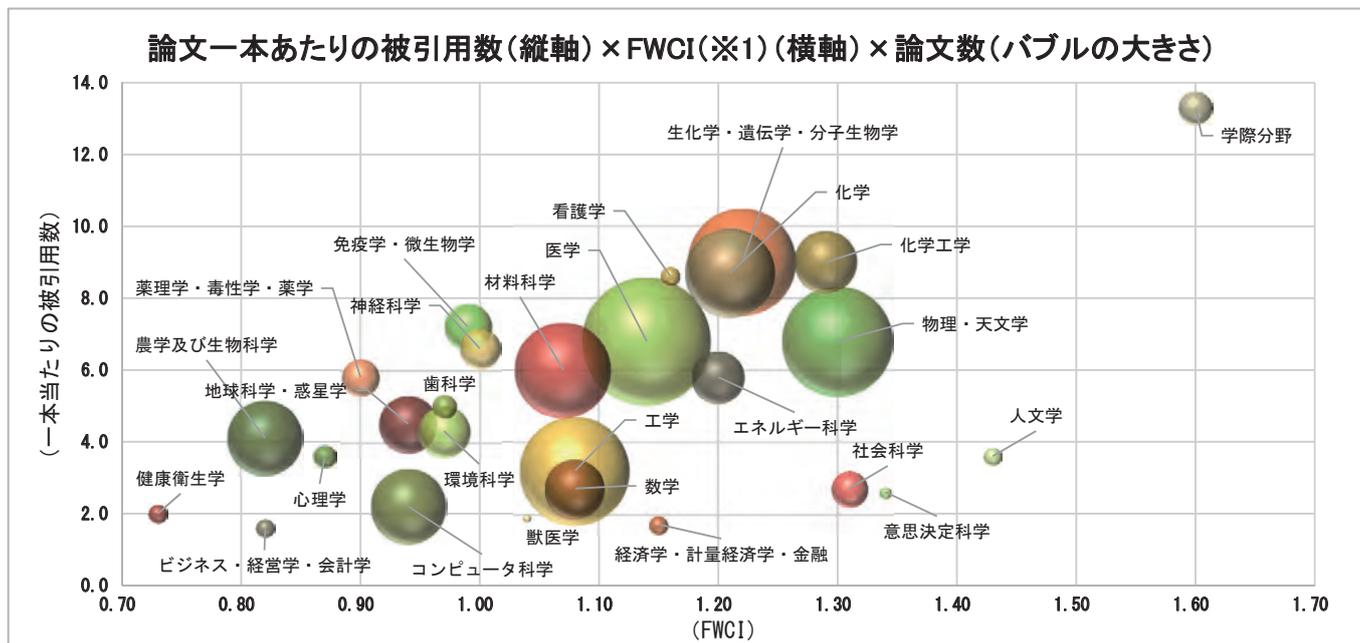
Scopusのジャーナル分類 (ASJC: All Scopus Science Journal Classification)に基づく27の中分類と334の小分類、または独自に作成した研究領域。

※出典: ELSEVIER社製「SciVal」より (H29.8月現在)

9-2. 論文の量と質についての比較(つづき)

■本学の論文の研究分野についての比較 (ASJC27中分類(※1) 別) (2012年~2017年)

右上に行くほど、FWCI(※2)及び論文一本あたりの被引用数も高くなり、質の高い論文であることを示す。特に、学際分野とは、二つ以上の学問分野を統合して横断的に進める研究であり、注目されている分野である。



■本学の論文の研究分野についての比較 (ASJC334小分類(※1) 別) (2012年~2017年)

FWCI(※2)が世界平均1.0を超えている小分野は、334分野中167分野である。その中でも特にFWCI(※2)の高い上位10の小分野を下記に示す。

順位	ASJC27中分類(※1)	ASJC334小分類	FWCI
1	Health Professions (健康衛生学)	Medical Laboratory Technology (臨床検査)	4.34
2	Nursing (看護学)	Advanced and Specialized Nursing (高度・特殊看護)	4.07
3	Chemistry (化学)	Chemistry (miscellaneous) (化学(※3))	3.67
4	Business, Management and Accounting (ビジネス、経営学、会計学)	Tourism, Leisure and Hospitality Management (ツーリズム・余暇・ホスピタリティ管理)	3.37
5	Engineering (工学)	Engineering (miscellaneous) (工学(※4))	3.06
6	Decision Sciences (意思決定科学)	Management Science and Operations Research (経営科学及びオペレーションズリサーチ)	2.88
7	Business, Management and Accounting (ビジネス、経営学、会計学)	Business and International Management (ビジネス・国際経営)	2.85
8	Social Sciences (社会科学)	Transportation (交通・運輸)	2.56
9	Physics and Astronomy (物理学、天文学)	Physics and Astronomy (miscellaneous) (物理学・天文学(※5))	2.4
10	Biochemistry, Genetics and Molecular Biology (生化学、遺伝学、分子生物学)	Cell Biology (細胞生物学)	2.15

(※1) ASJC27中分類、ASJC334小分類

Scopusのジャーナル分類(ASJC: All Scopus Science Journal Classification)に基づく27の中分類と334の小分類、または独自に作成した研究領域。翻訳協力: 大学改革支援・学位授与機構。(中分類の翻訳はエルゼビア社による。)

(※2) FWCI(Field-weighted Citation Impact)

当該文献の被引用数を、同じ出版年・同じ分野・同じ文献タイプの文献の世界平均で割ったもの。

FWCIが1以上ということは、平均インパクトが世界平均以上ということ意味する。

(※3) 化学

分析化学、電気化学、無機化学、有機化学、物理化学・理論化学、分光化学以外

(※4) 工学

航空宇宙工学、自動車工学、生体医工学、土木・構造工学、計算力学、制御・システム工学、電気電子工学、管理工学・生産工学、機械工学、材料力学、海洋工学、安全・リスク・信頼性・品質管理、メディア工学、建設工学、建築学以外

(※5) 物理学・天文学

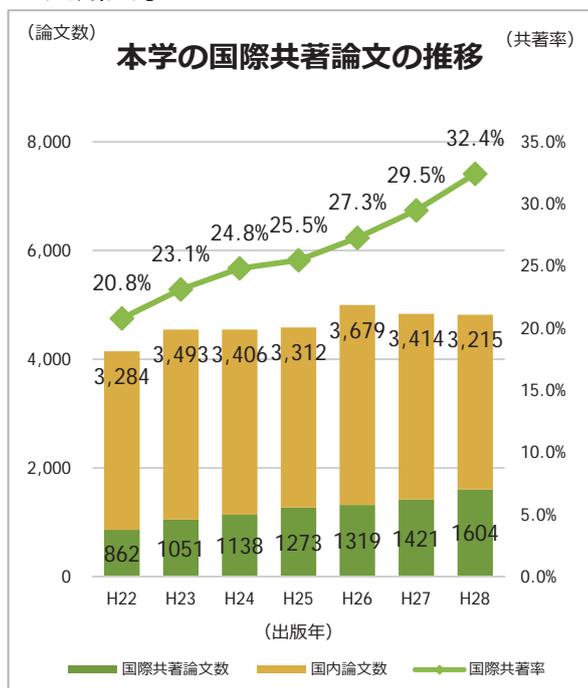
音響学及び超音波学、天文学及び宇宙物理学、凝縮系物理学、計測機器、核物理学・高エネルギー物理学、原子分子物理学及び光学、放射線、統計物理学及び非線形物理学、表面・界面以外

※出典: ELSEVIER社製「SciVal」より(H29.8月現在)

### 9-3. 国際共著論文

本学でみると、国際共著論文数・国際共著論文率はともに増加しているが、RU11（※1）で比較すると、国際共著論文数・国際共著論文率ともに高い値ではない。

#### ◆九州大学◆



#### 国際共著論文数（研究院別）（H22～28年）

順位	研究院	国際共著論文数 (合計)(本)	国際共著論文率 (平均)(%)
1	理学研究院	1,406	45.6
2	工学研究院	1,283	20.2
3	農学研究院	865	32.5
4	医学研究院	783	12.2
5	システム情報科学研究院	669	22.9
6	総合理工学研究院	433	27.3
7	薬学研究院	252	25.8
8	歯学研究院	175	19.1
9	数理学研究院	75	28.1
10	比較社会文化研究院	68	33.6
11	芸術工学研究院	66	12.3
12	人間環境学研究院	45	22.0
13	経済学研究院	25	23.6
14	法学研究院	9	26.8
15	人文科学研究院	0	0.0
15	言語文化研究院	0	0.0

#### ◆RU11（※1）での比較◆（H22～H28年）

##### 国際共著論文数

順位	大学名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計(本)
1	東京大	3,155	3,201	3,480	3,584	3,871	3,858	3,874	25,023
2	京都大	1,943	2,133	2,282	2,343	2,393	2,489	2,665	16,248
3	東北大	1,760	1,787	1,912	1,981	2,047	1,904	2,009	13,400
4	大阪大	1,478	1,643	1,702	1,745	1,788	1,852	1,850	12,058
5	名古屋大	953	1,112	1,293	1,316	1,338	1,383	1,399	8,794
6	<b>九州大</b>	<b>862</b>	<b>1,051</b>	<b>1,138</b>	<b>1,273</b>	<b>1,319</b>	<b>1,421</b>	<b>1,604</b>	<b>8,668</b>
7	北海道大	965	992	1,002	1,136	1,144	1,184	1,295	7,718
8	東京工業大	931	1,017	1,094	1,073	1,176	1,175	1,164	7,630
9	筑波大	664	739	890	872	858	945	1,075	6,043
10	早稲田大	522	615	721	634	681	690	703	4,566
11	慶應大	456	559	579	633	599	627	741	4,194

##### 国際共著論文比率

順位	大学名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	平均(%)
1	東京大	27.8	28.2	29.5	29.9	31.7	33.3	33.2	30.5
2	東北大	27.9	27.9	29.2	30.2	30.6	31.5	32.6	30.0
3	早稲田大	24.6	26.8	32.1	29.1	30.6	30.6	31.6	29.3
4	京都大	25.8	26.7	29	28.6	29.4	31.4	33.4	29.2
5	東京工業大	24	24.9	28.4	27.8	29.9	30.3	31.5	28.1
6	筑波大	24.1	25.1	28.9	28	27.7	29.6	33.1	28.1
7	名古屋大	24.1	26	27.9	27.7	28.3	29.6	30.3	27.7
8	北海道大	25.2	24.2	24.4	26.5	26.9	28.6	29.9	26.5
9	<b>九州大</b>	<b>20.8</b>	<b>23.1</b>	<b>24.8</b>	<b>25.5</b>	<b>27.3</b>	<b>29.5</b>	<b>32.4</b>	<b>26.2</b>
10	大阪大	22.4	24.2	25	24.5	26.2	27.7	29	25.6
11	慶應大	17.4	19.3	18.7	20	20.2	20.9	23.1	19.9

#### （※1）RU11(学術研究懇談会)

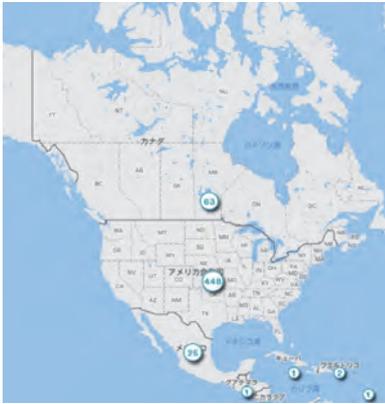
研究及びこれを通じた高度な人材の育成に重点を置き、世界で激しい学術の競争を続けてきている大学(Research University)による国立私立の設置形態を超えたコンソーシアムである。  
北海道大、東北大、筑波大、東京大、早稲田大、慶應義塾大、東京工業大、名古屋大、京都大、大阪大(北から)

※出典: ELSEVIER社製「SciVal」より(H29.8月現在)

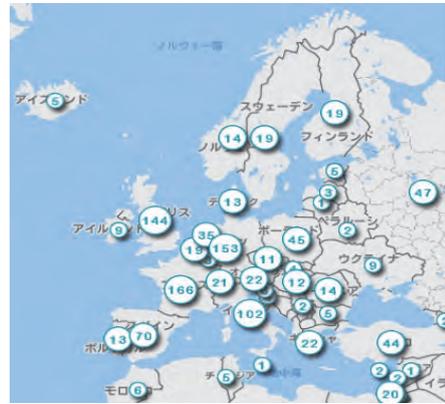
9-3. 国際共著論文 (つづき)

【世界各機関との国際共著状況 (2012~2017年)】

北アメリカ  
543機関、2,617本の共著論文



ヨーロッパ  
1,023機関、2,573本の共著論文



アジア  
1,247機関、15,718本の共著論文



南アメリカ  
89機関、585本の共著論文



アフリカ  
98機関、928本の共著論文



中東  
123機関、726本の共著論文



・各地図上の数字は、機関数を表すものである。

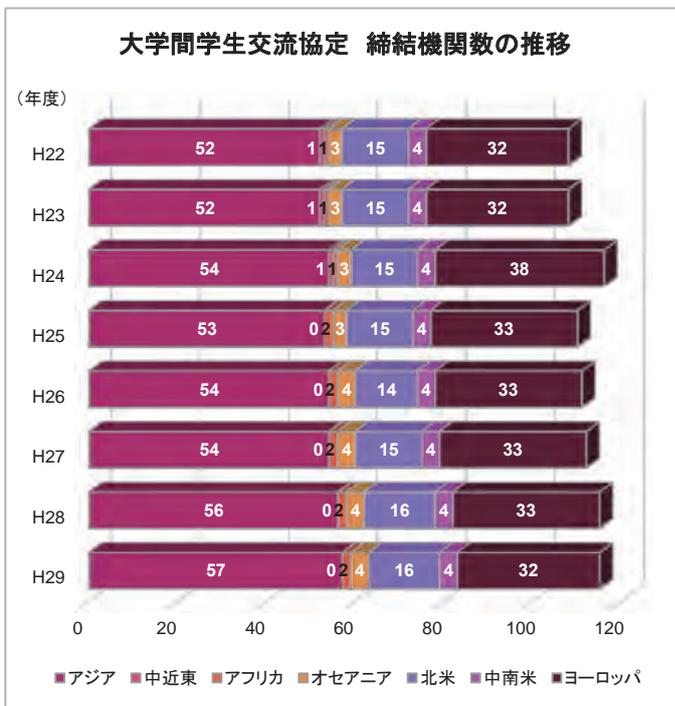
※出典: ELSEVIER社製「SciVal」より(H29.8月現在)

## 10. 国際 各年度5月1日現在

### 10-1. 海外大学との交流状況

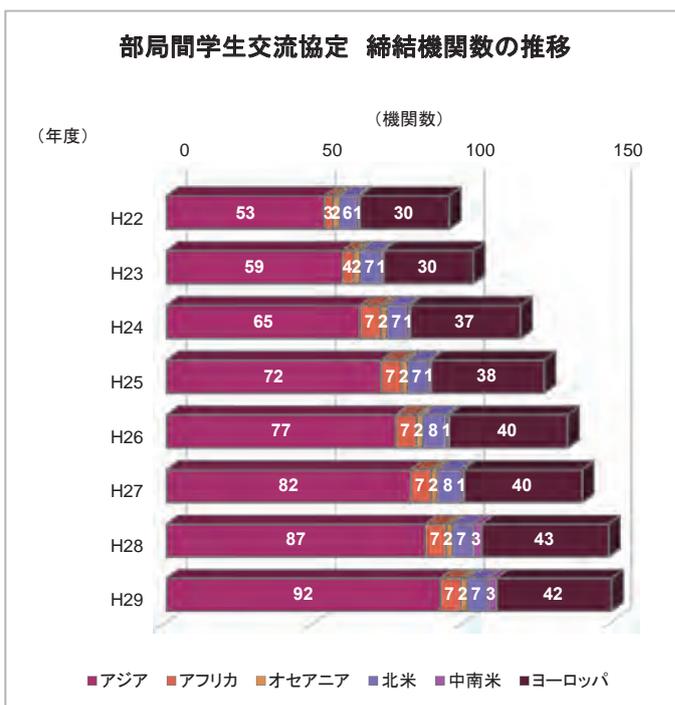
#### 10-1-1. 海外大学との交流状況(大学間交流協定)

大学間学術交流協定・学生交流協定の締結数は、安定している。中でもアジア、ヨーロッパとの締結数が多い。



#### 10-1-2. 海外大学との交流状況(部局間交流協定)

部局間学術交流協定・学生交流協定の締結数は、着実に増加している。H22年度とH28年度を比較すると、部局間学術交流協定の締結数は132%、部局間学生交流協定数の締結数は157%増加している。



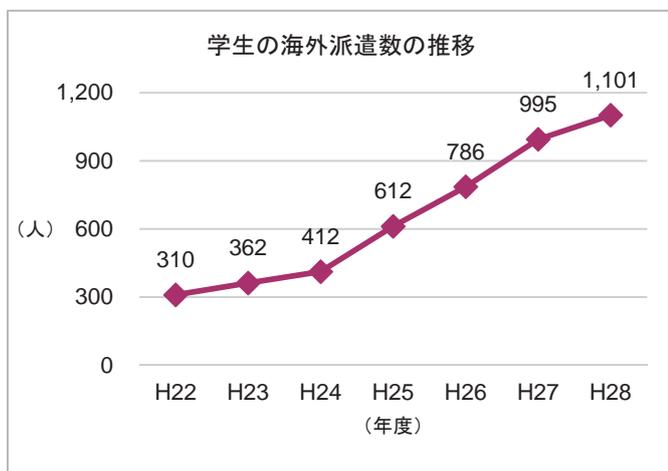
※出典：九州大学概要(各年度5月1日現在)

## 10-2. 本学学生の海外留学状況

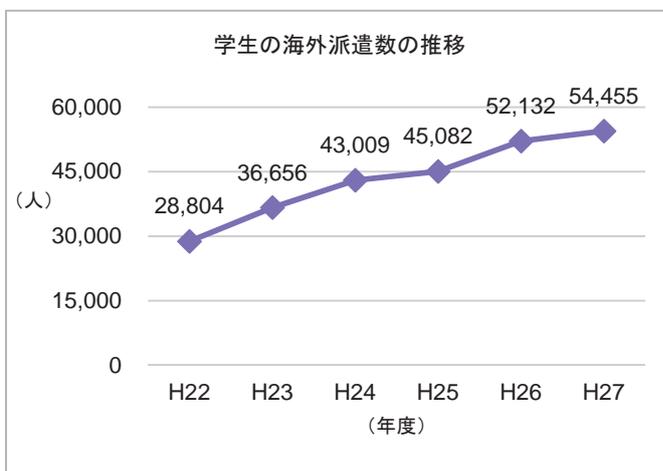
### 10-2-1. 本学学生の海外留学状況(全体)

海外へ留学している学生数は、本学を含め全国的に毎年増加傾向にある。

#### ◆九州大学◆



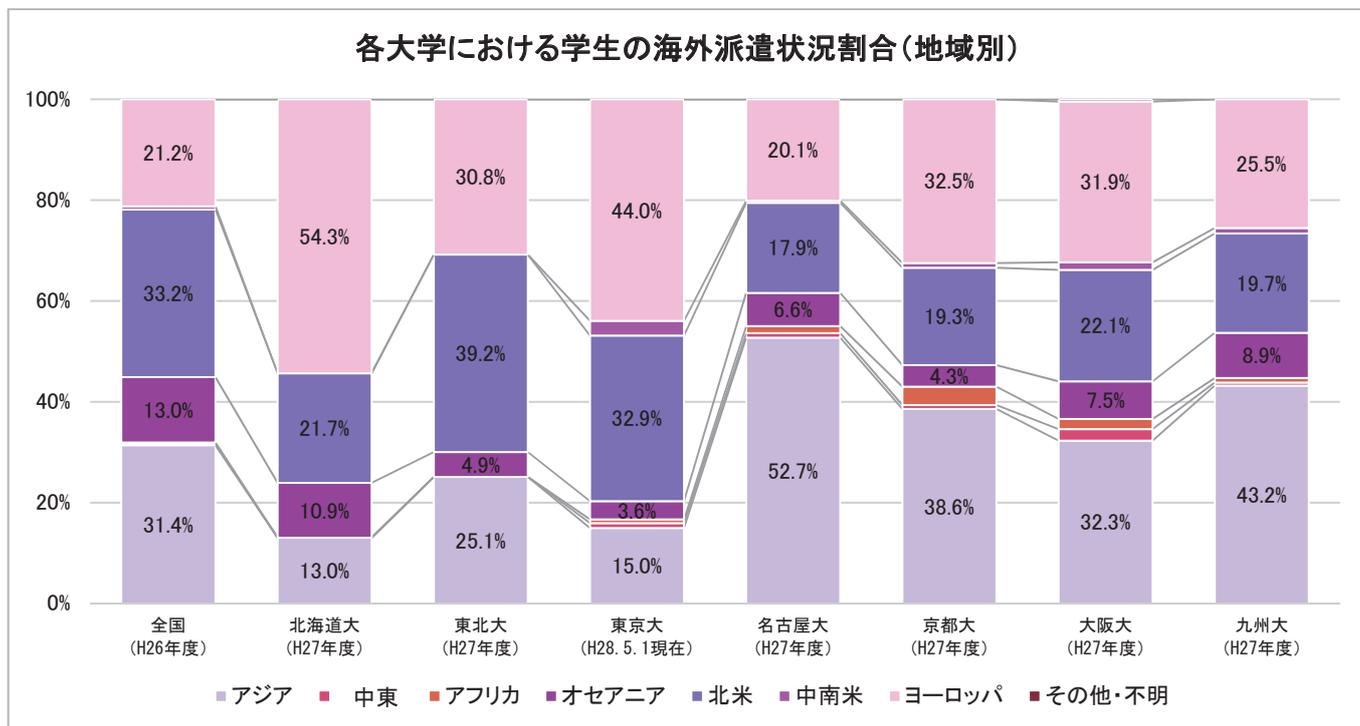
#### ◆全国◆



※出典

- ・本学:九州大学概要
- ・全国:JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査結果」

#### ◆各大学における学生の海外派遣状況割合(地域別)◆



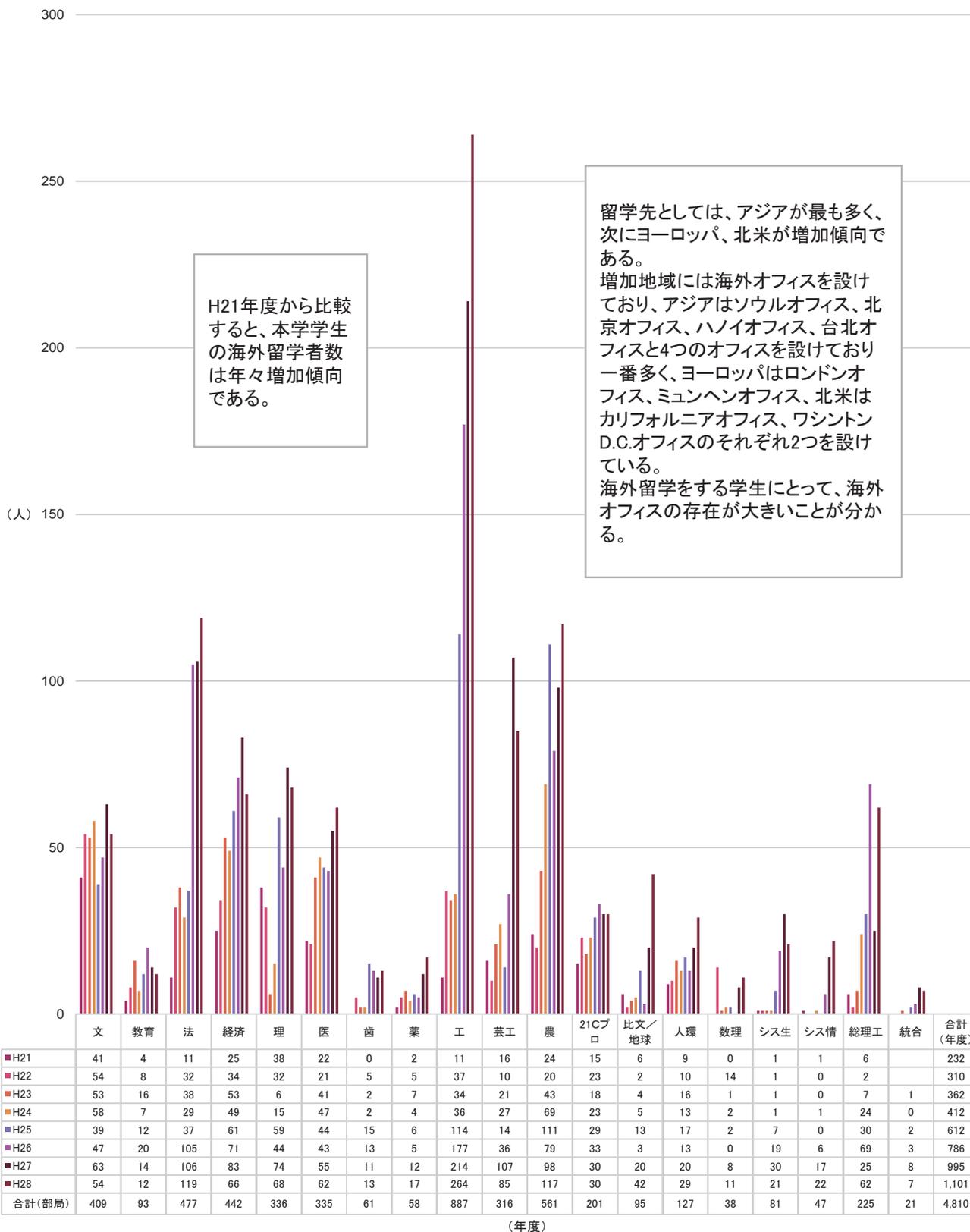
※グラフ内の数値は、比較的割合の大きい、アジア、オセアニア、北米、ヨーロッパのみを表示している。

出典:

- 全国...JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」
  - 北海道大...北海道大学HP「交換留学生数一覧」※協定等に基づく交換留学生
  - 東北大...独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構「大学ポートレート」入力データ集より
  - 東京大...H28年度大学概要より※定義等の記載なし
  - 名古屋大...H28年度大学概要より ※海外留学の種類・目的は交換留学、研究、語学研修、学位取得等
  - 京都大...H28年度大学概要より※外国へ渡航した学生数
  - 大阪大...H28年度大学概要より※定義等の記載なし
- ※上記のとおり、大学によって定義等が異なるため、単純比較ができないことに留意。

## 10-2-2. 本学学生の海外留学状況(部局別)

本学学生の海外留学状況

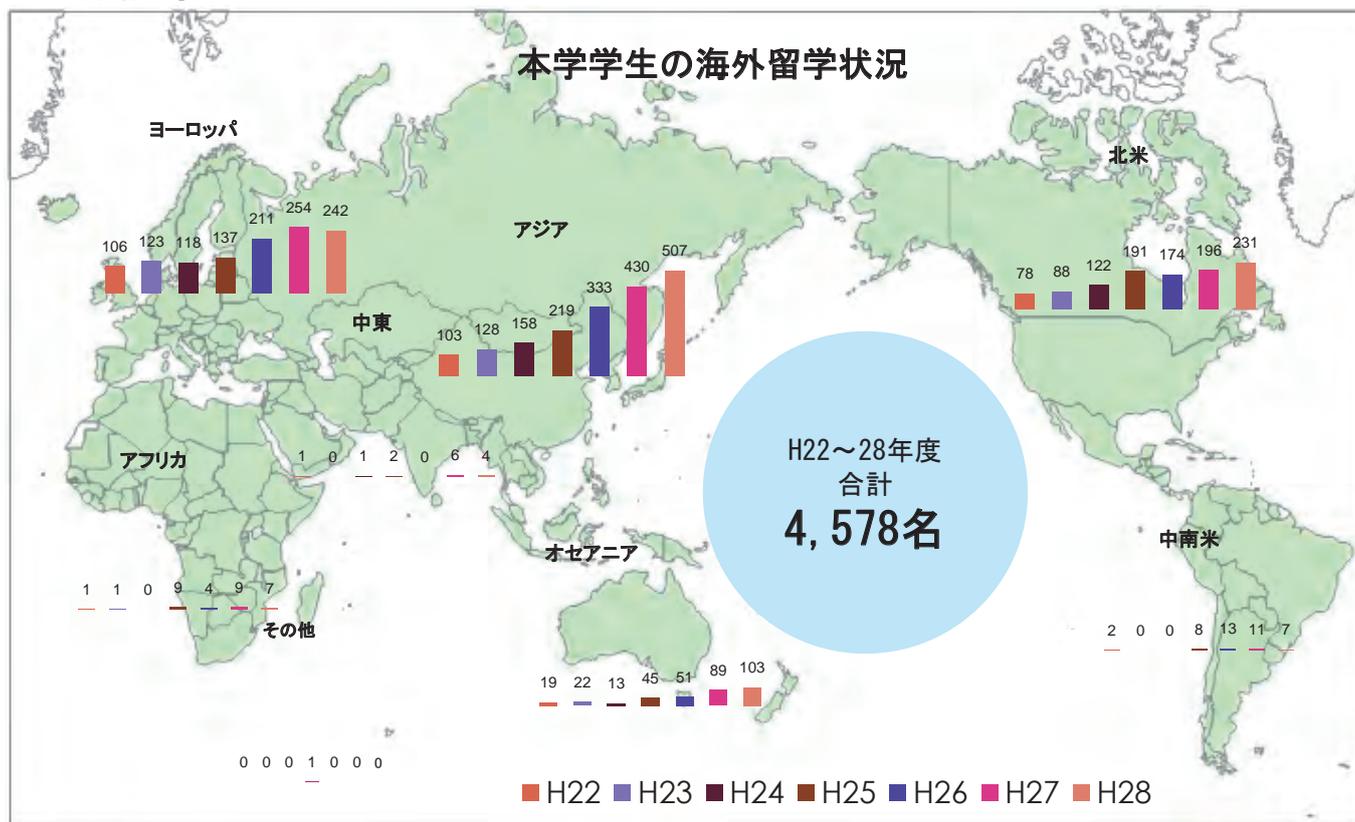


・過年度に留学を開始した者を含む。

※出典:九州大学概要

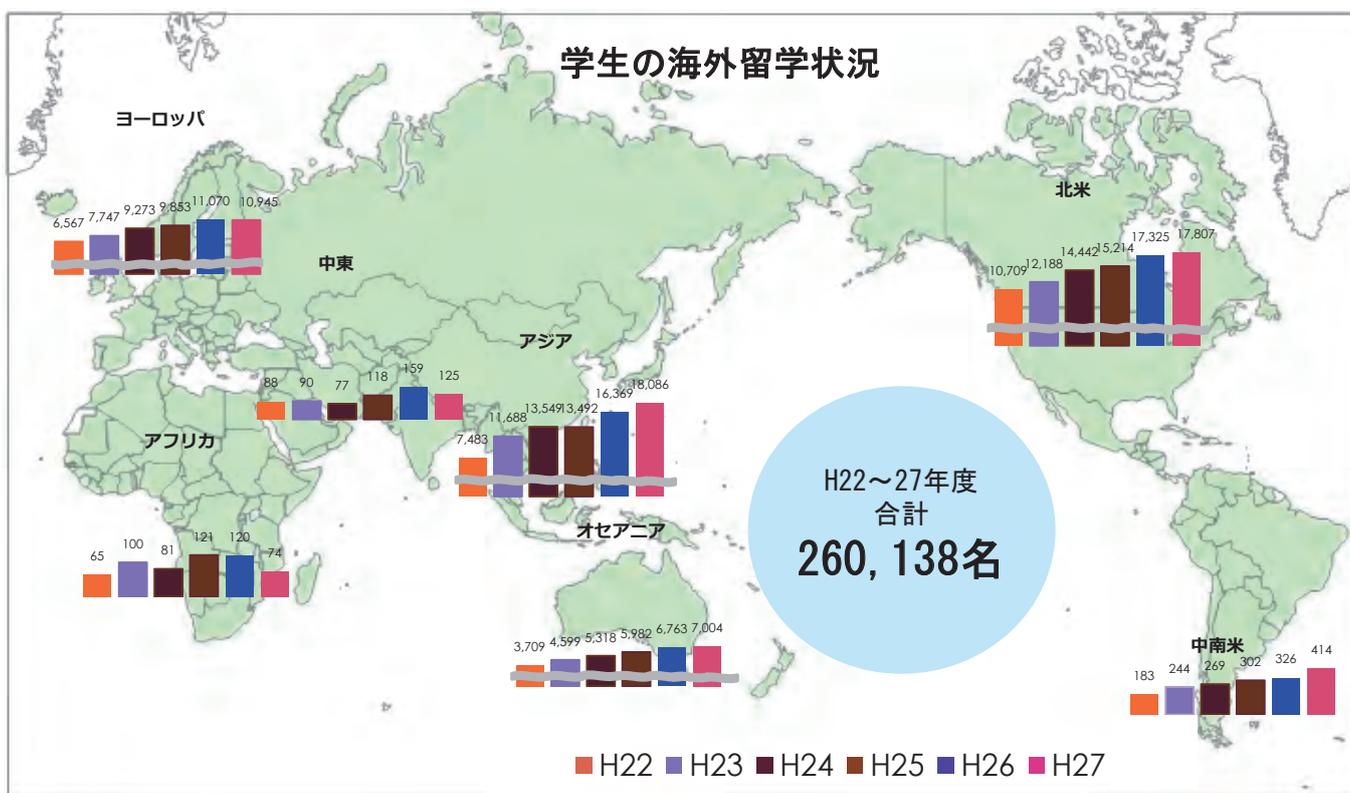
### 10-2-3. 本学学生の海外留学状況(地域別)

#### ◆九州大学◆



・過年度に留学を開始した者を含む。

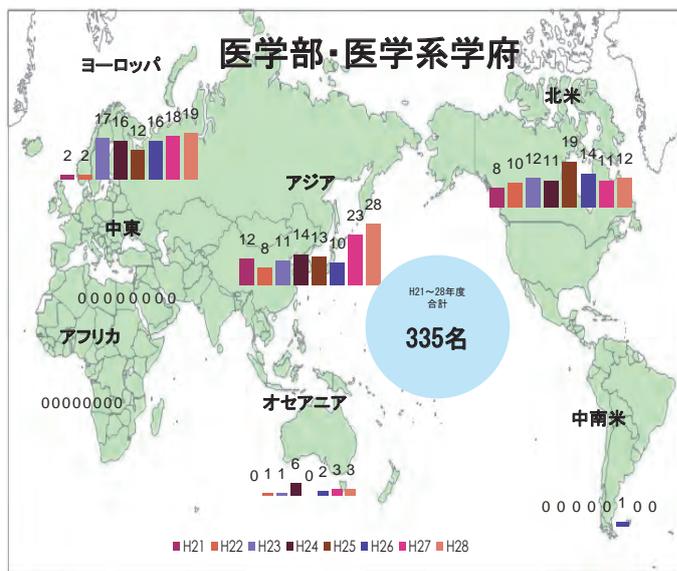
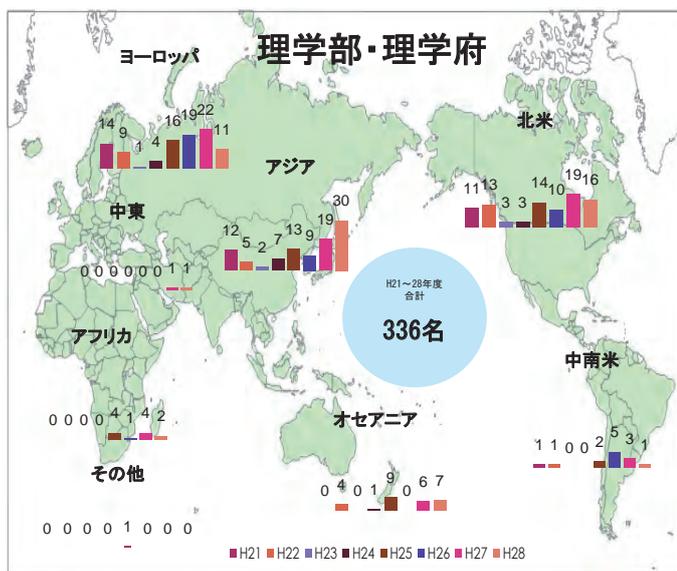
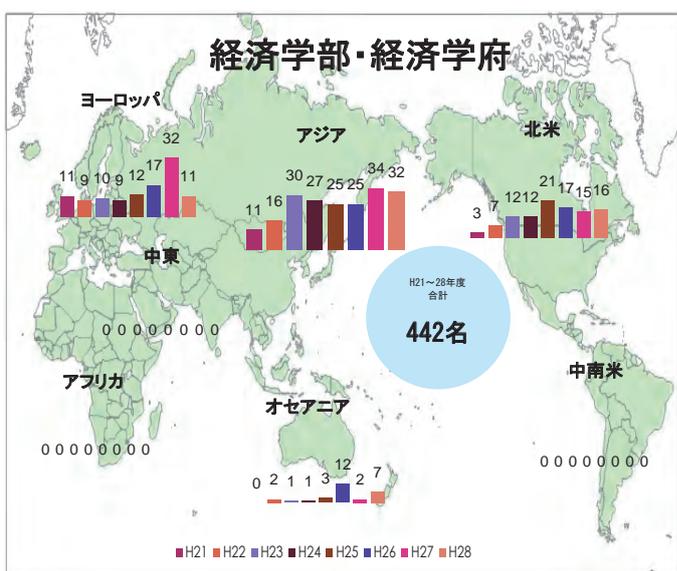
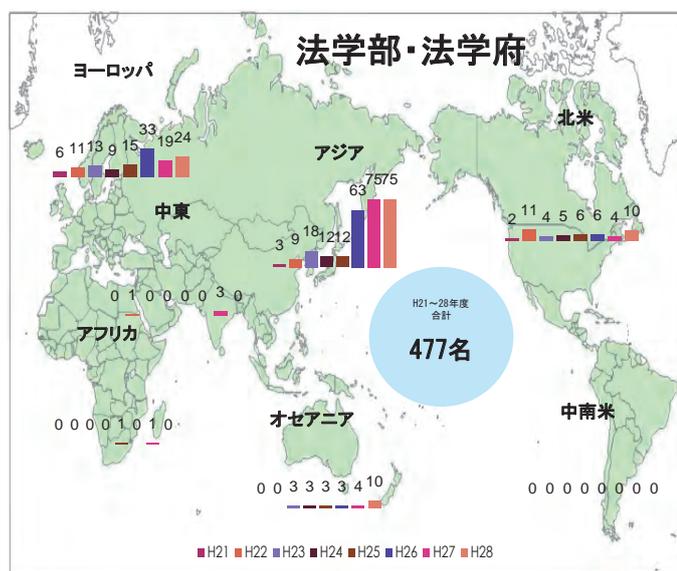
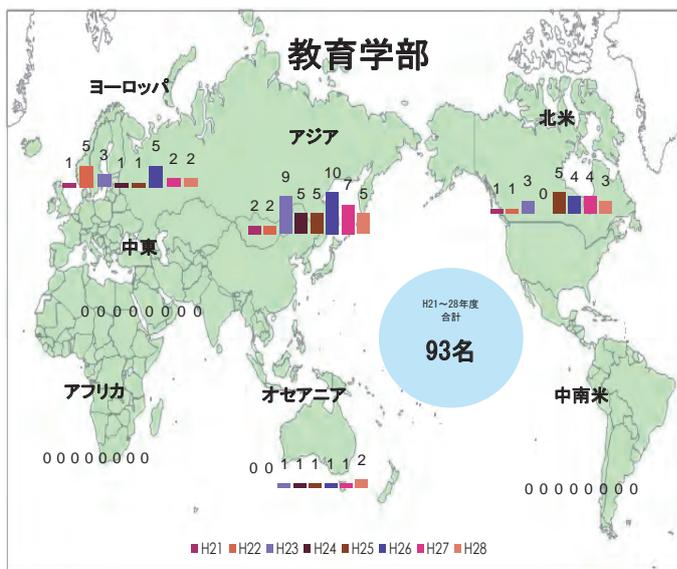
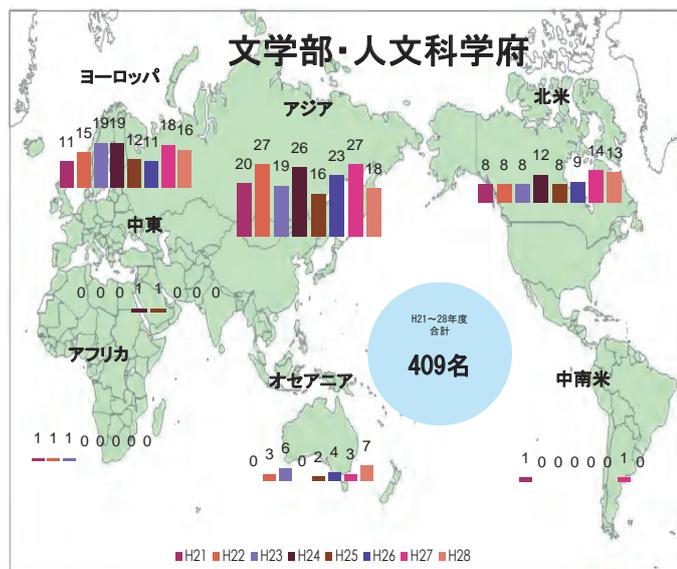
#### ◆全国◆



※出典

- ・本学:九州大学概要
- ・全国:JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

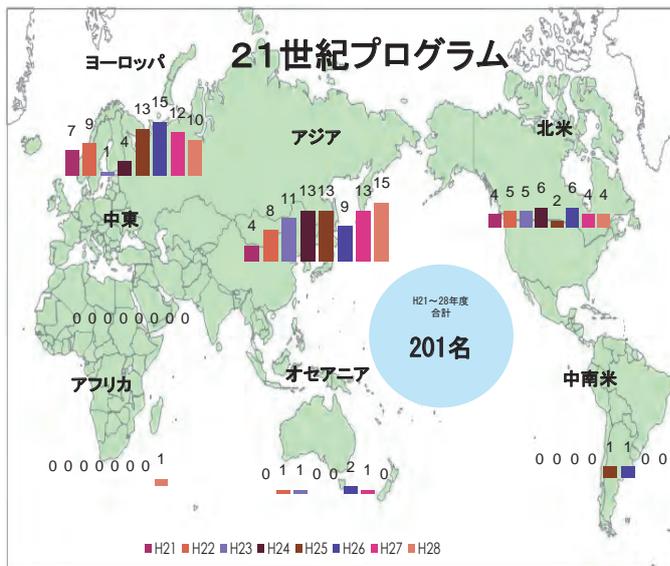
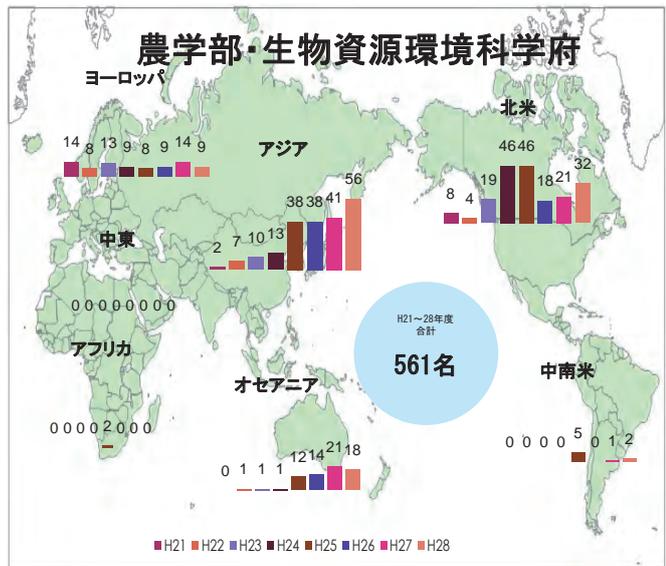
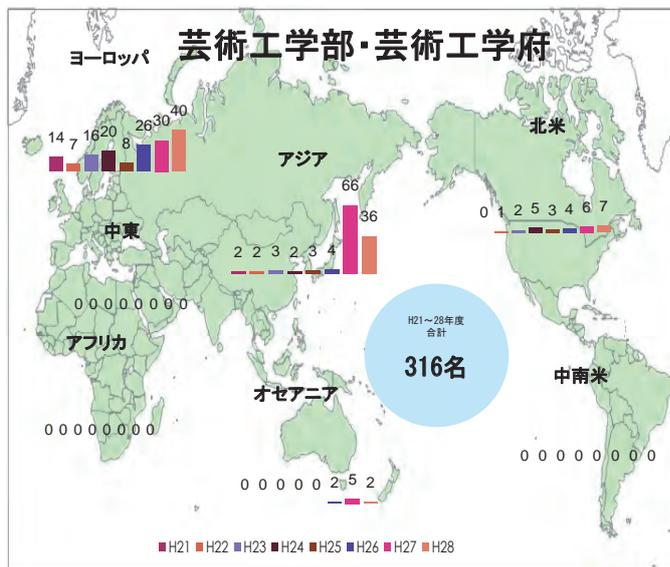
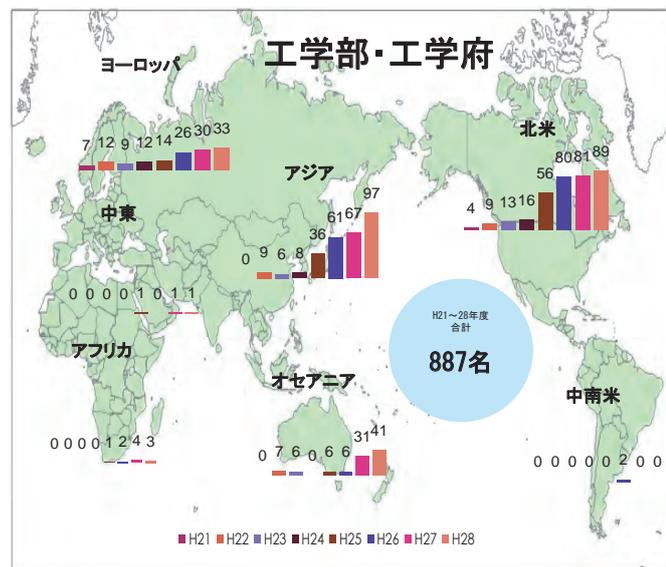
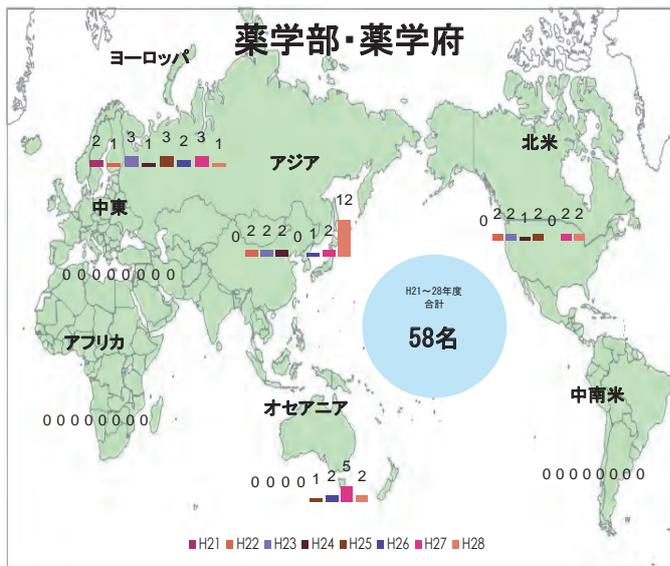
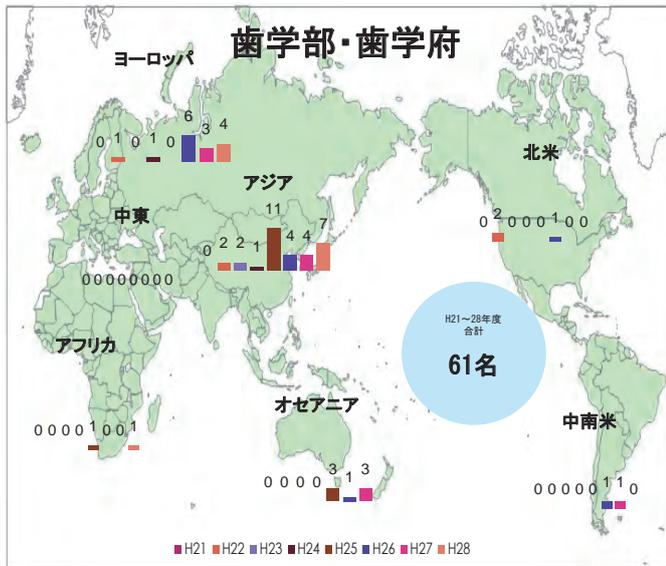
## 10-2-4. 本学学生の海外留学状況(部局別・地域別)



・過年度に留学を開始した者を含む。

※出典:九州大学概要

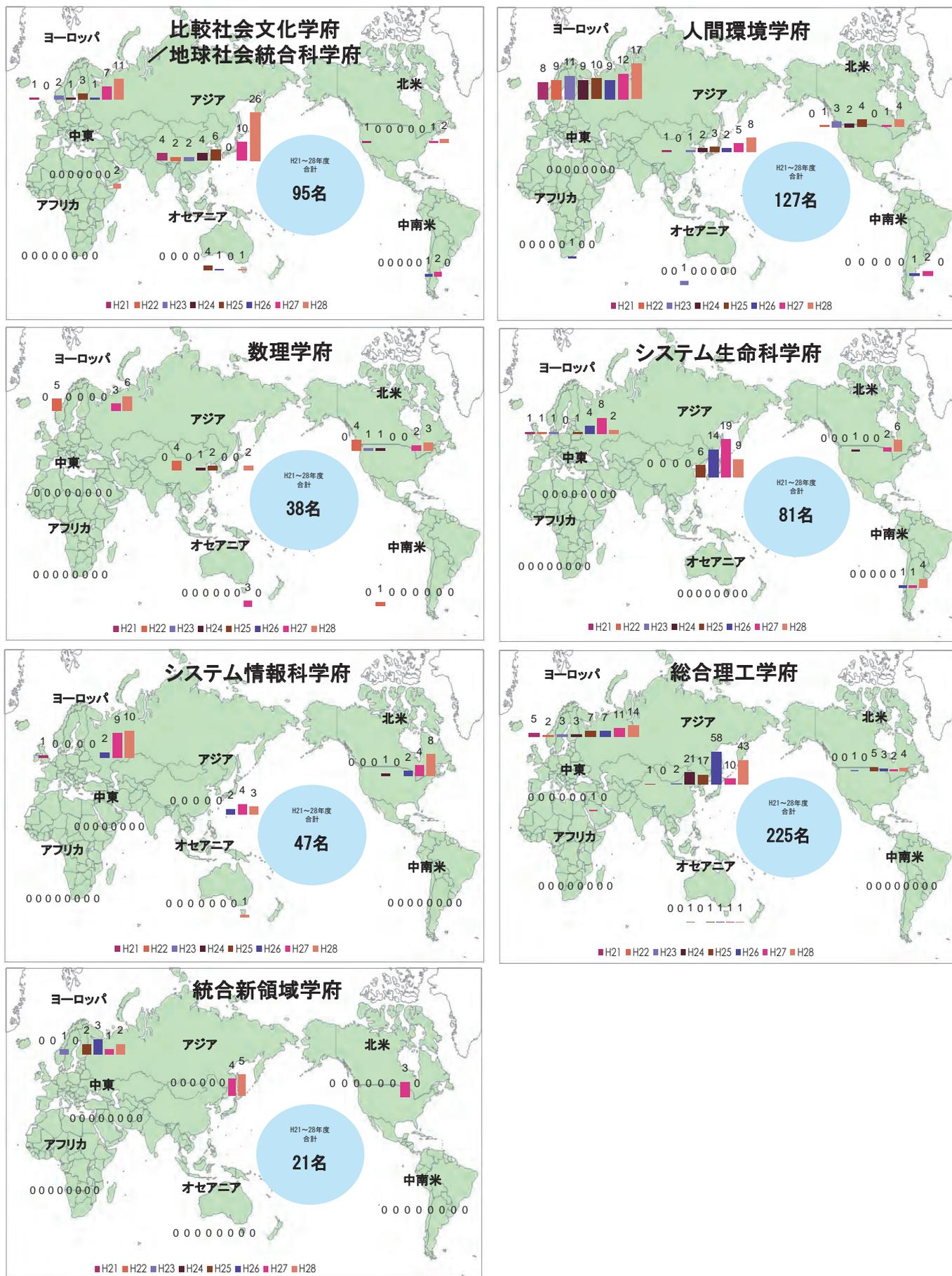
10-2-4. 本学学生の海外留学状況(部局別・地域別)(つづき)



・過年度に留学を開始した者を含む。

※出典：九州大学概要

10-2-4. 本学学生の海外留学状況(部局別・地域別)(つづき)



・過年度に留学を開始した者を含む。

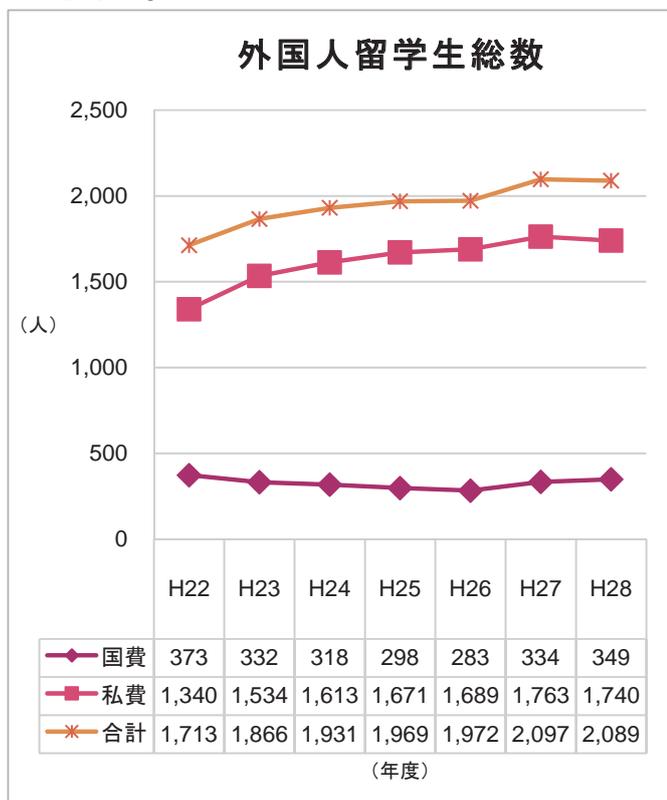
※出典:九州大学概要

## 10-3. 外国人留学生の受入状況

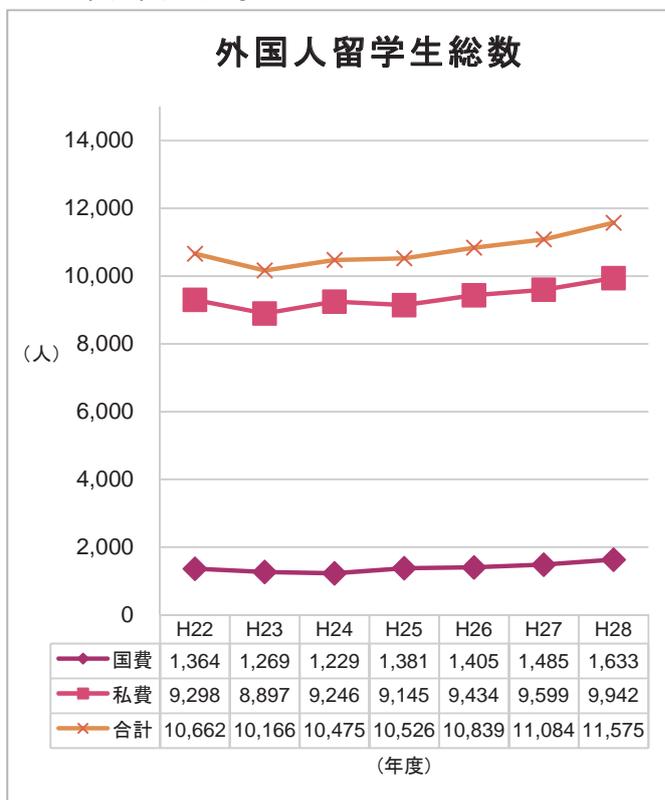
### 10-3-1. 外国人留学生の受入状況(全体)

留学生は毎年増加傾向にある。特に平成27年度は、2,097人と過去最高の留学生数となった。これは、在学生数18,659人の11%にあたり、**在学生の約9人に1人が留学生**ということになる。

#### ◆九州大学◆

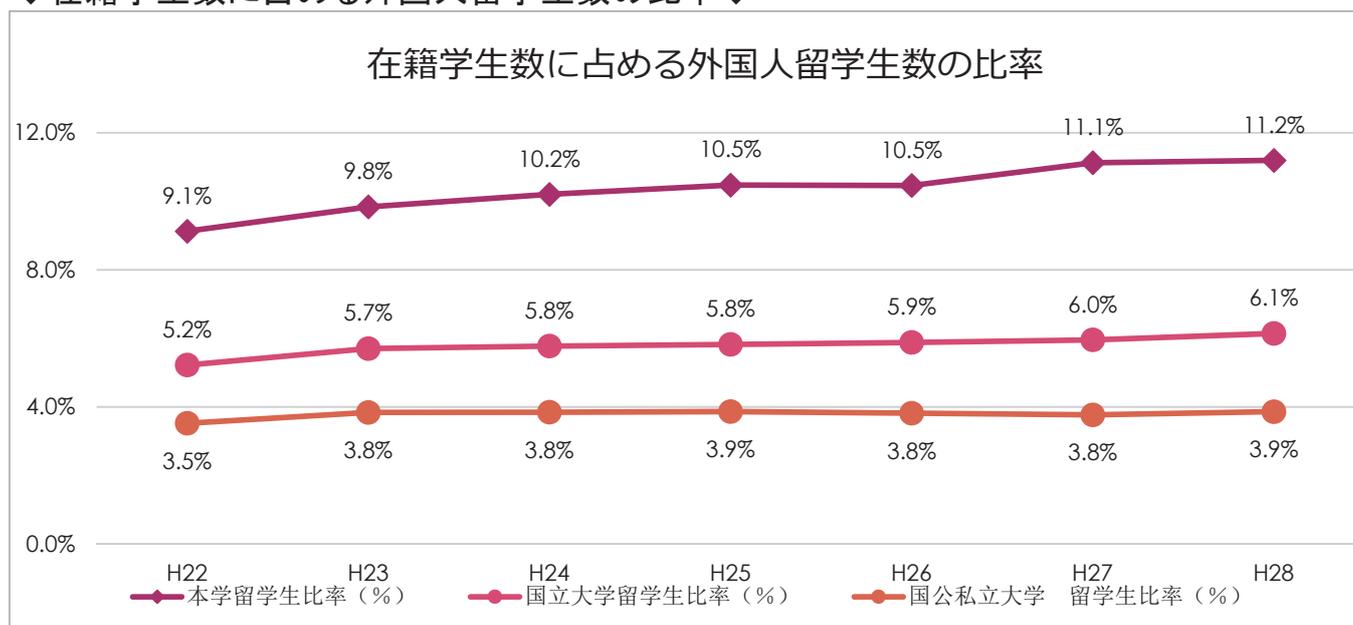


#### ◆全国 国立大学◆



・国費外国人留学生：留学の在留資格をもって日本に在留し、日本の国費により大学等に在学して学習又は研究を行う外国の国籍を有する者  
(国費外国人留学生制度実施要項第二条参照)

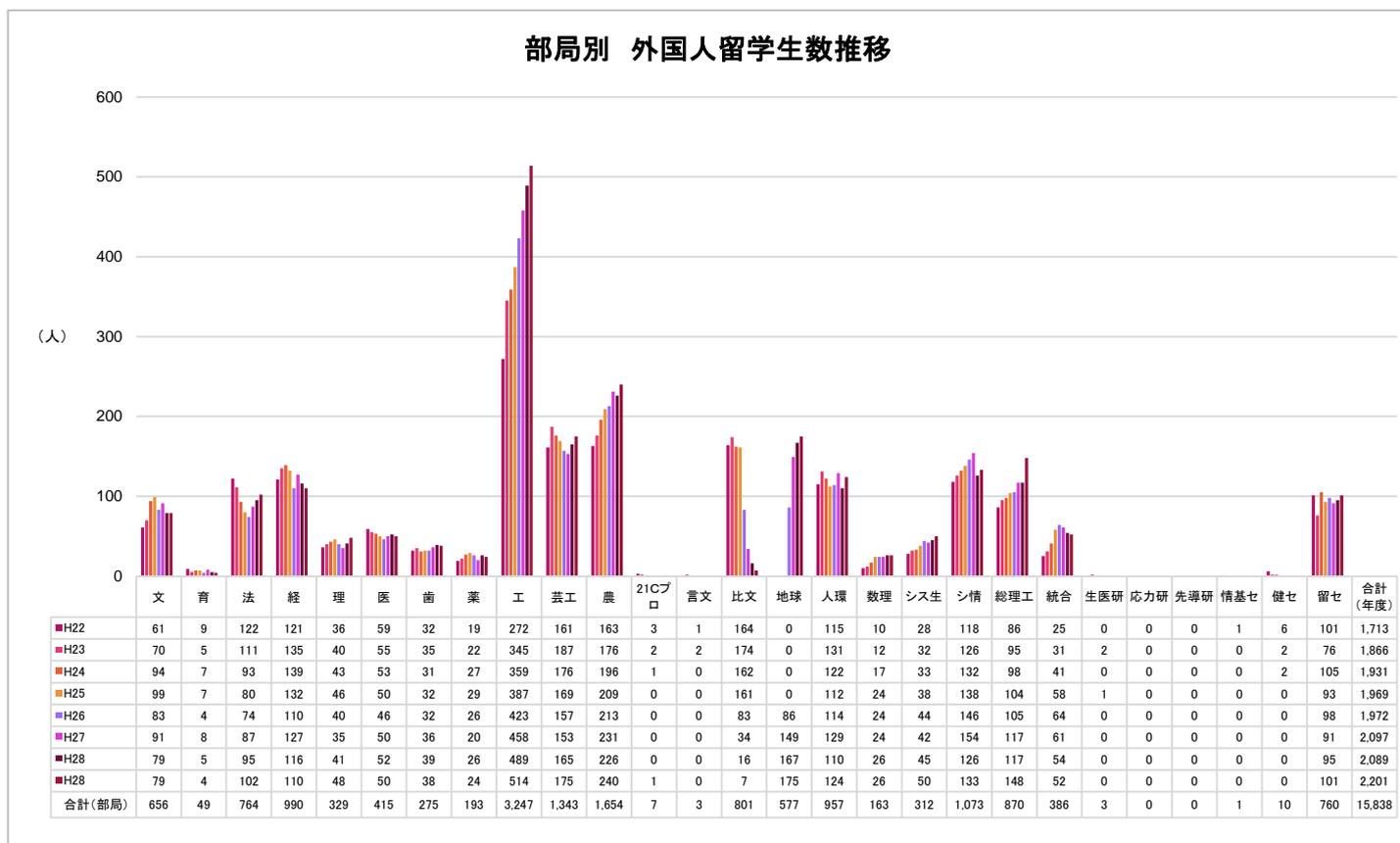
#### ◆在籍学生数に占める外国人留学生数の比率◆



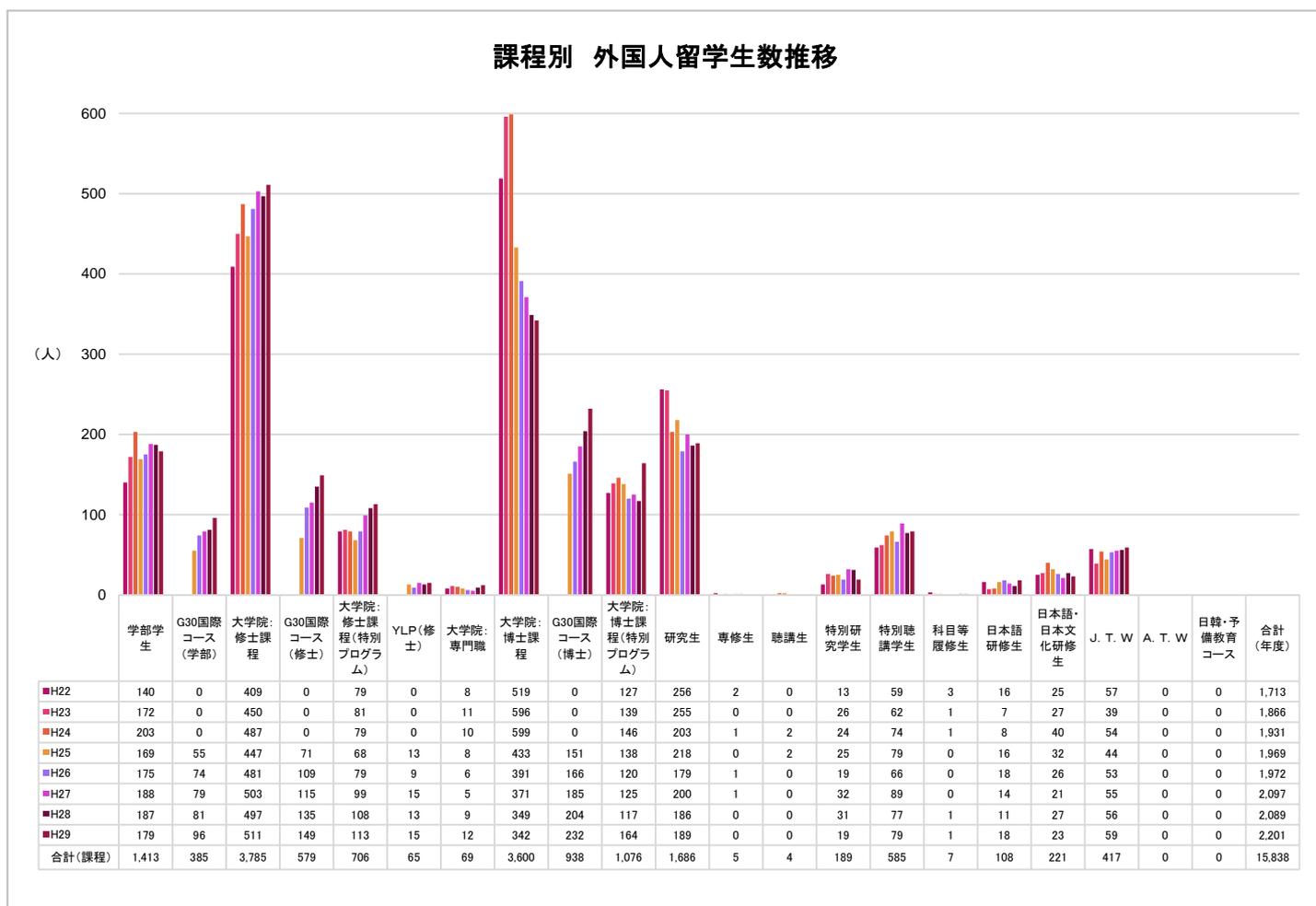
※出典

・全国：文部科学省 学校基本調査 大学・大学院「関係学科別 外国人学生数(大学)」

## 10-3-2. 外国人留学生の受入状況(部局別)



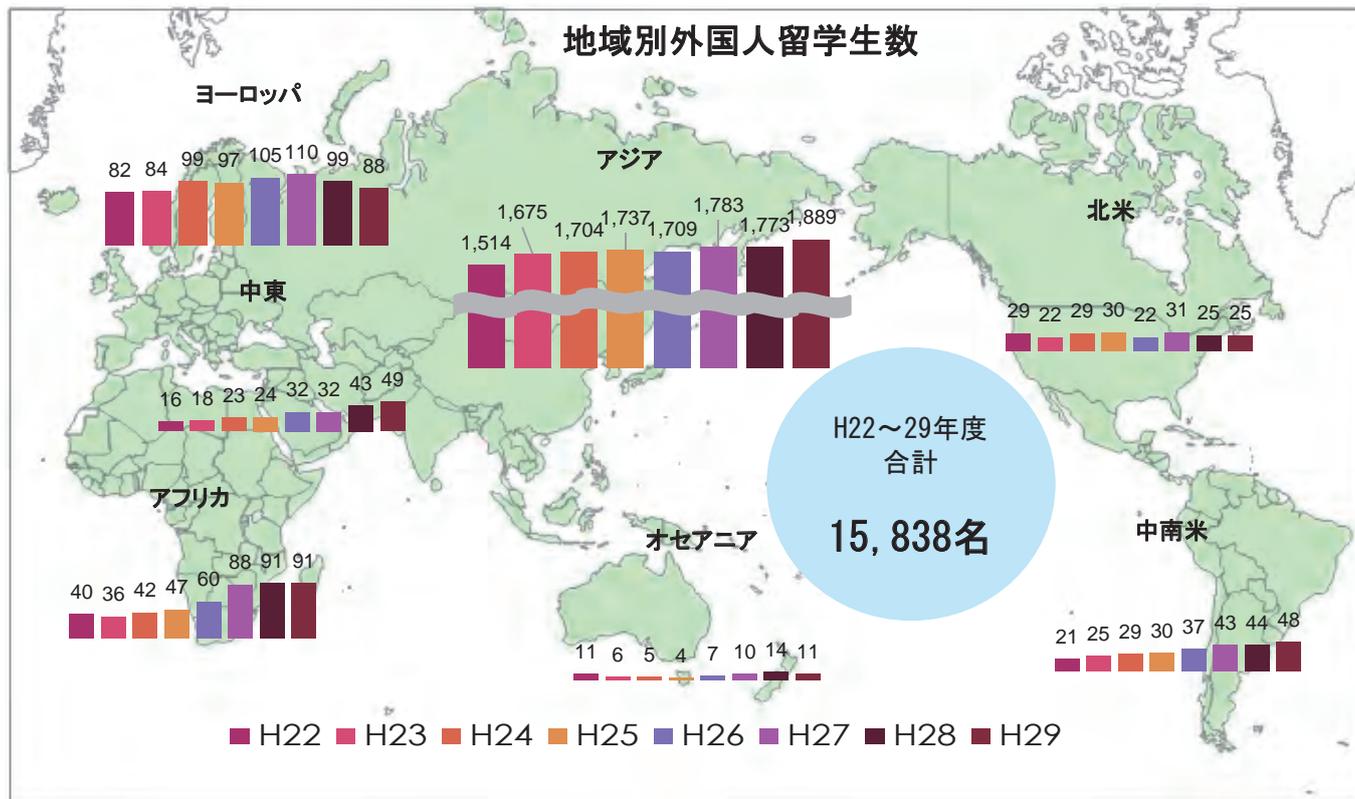
## 10-3-3. 外国人留学生の受入状況(課程別)



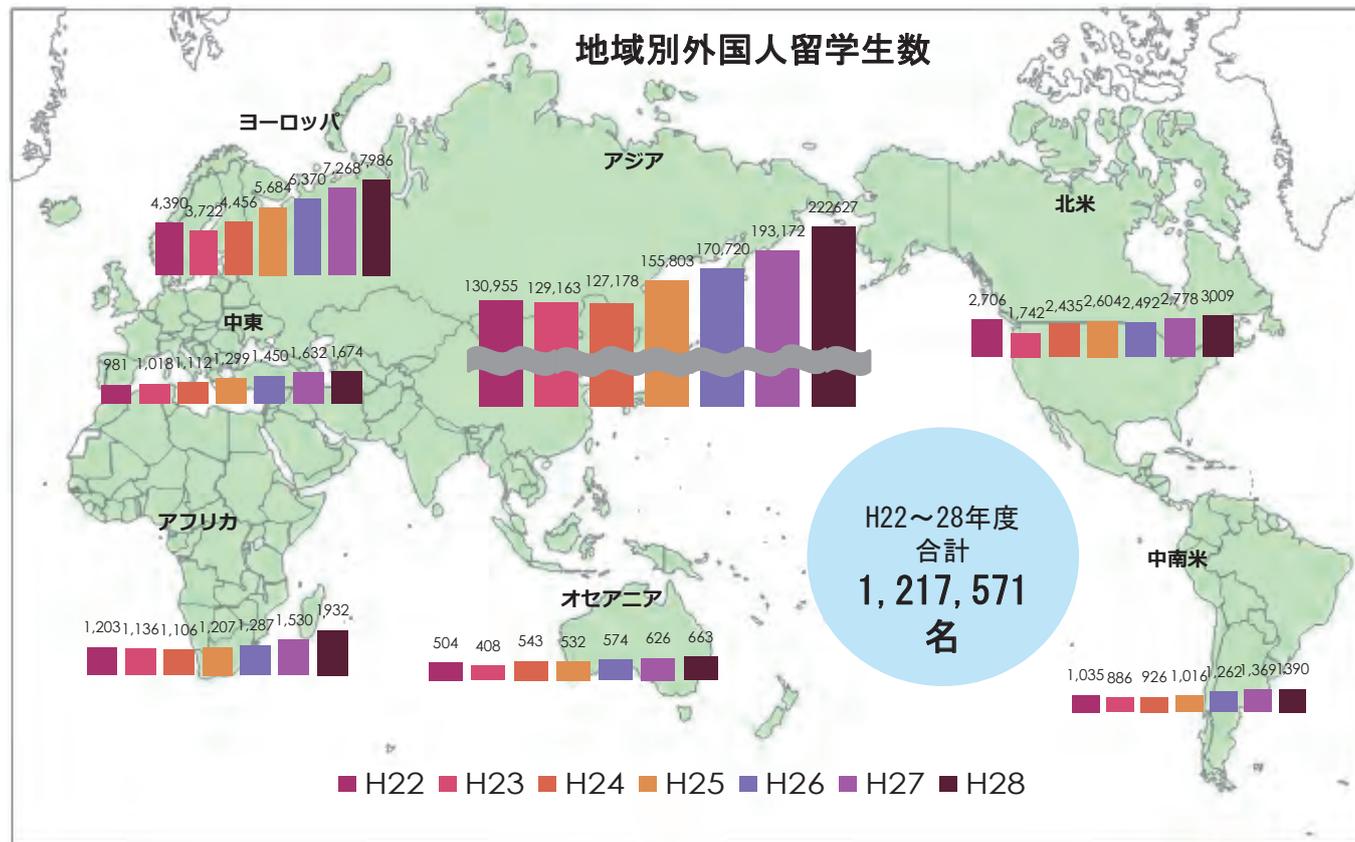
※出典:九州大学概要(各年度5月1日現在)

### 10-3-4. 外国人留学生の受入状況(出身地域別)

#### ◆九州大学◆



#### ◆全国◆



・合計数には、H27年度よりその他(無国籍者)を含む

※出典:

- ・本学:九州大学概要(各年度)
- ・全国の留学生数はJASSO「外国人留学生在籍状況調査」(各年度)

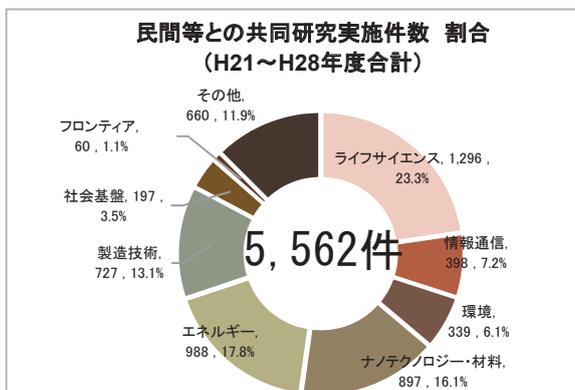
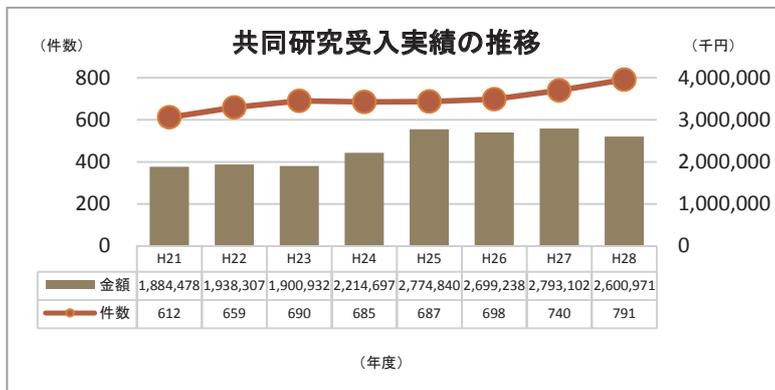
# 11. 産学官連携

## 11-1. 共同研究の状況

### 11-1-1. 共同研究実績の推移

本学の共同研究については、金額も件数も、順調に伸びている。平成21年度と平成27年度を比較すると、金額は1.5倍、件数は1.3倍となっている。

#### ◆九州大学◆



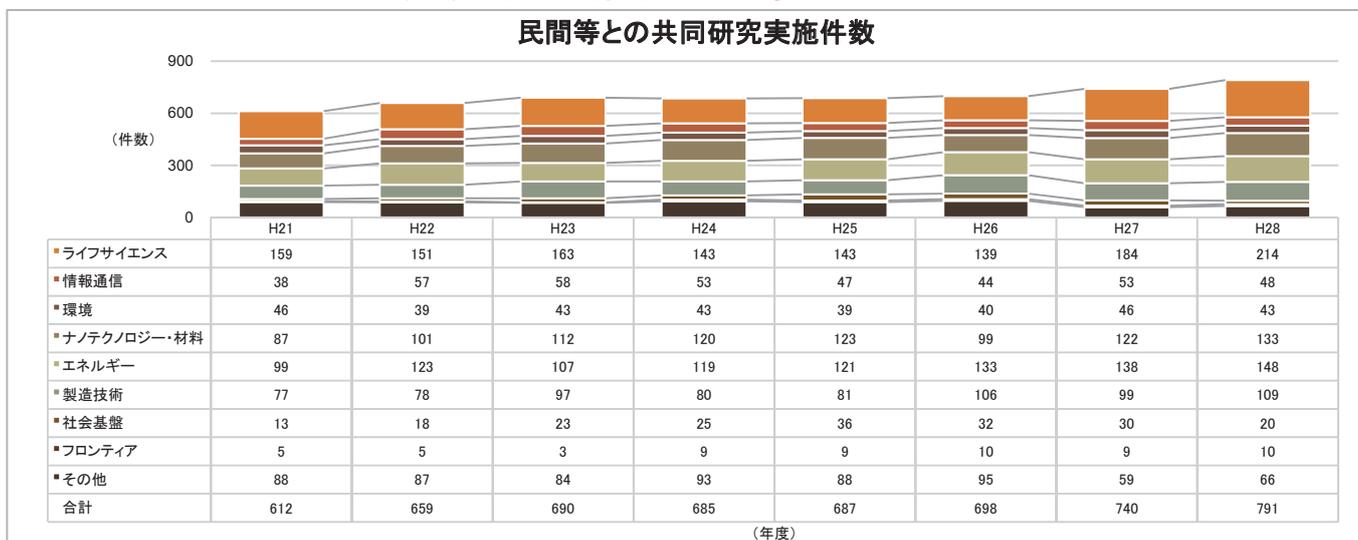
#### ◆全国◆



※出典

- ・本学: 研究戦略データ集(学術研究・産学官連携本部 研究戦略推進グループ、学術研究推進支援グループ)
- ・全国: 「大学等における産学連携等実施状況 共同研究実績(機関別)」各年度(文部科学省)

### 11-1-2. 共同研究実績の推移(分野別)



・本調査における共同研究とは、大学等と民間企業等とが共同で研究開発を行い、かつ、大学等が要する経費を民間企業等が負担しているものを指す。

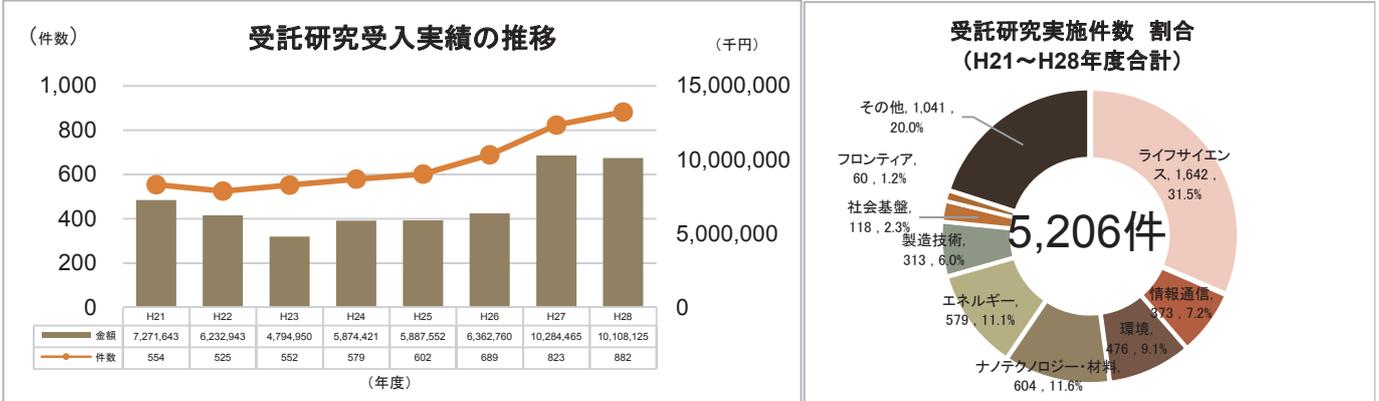
※出典: 九州大学概要

## 11-2. 受託研究の状況

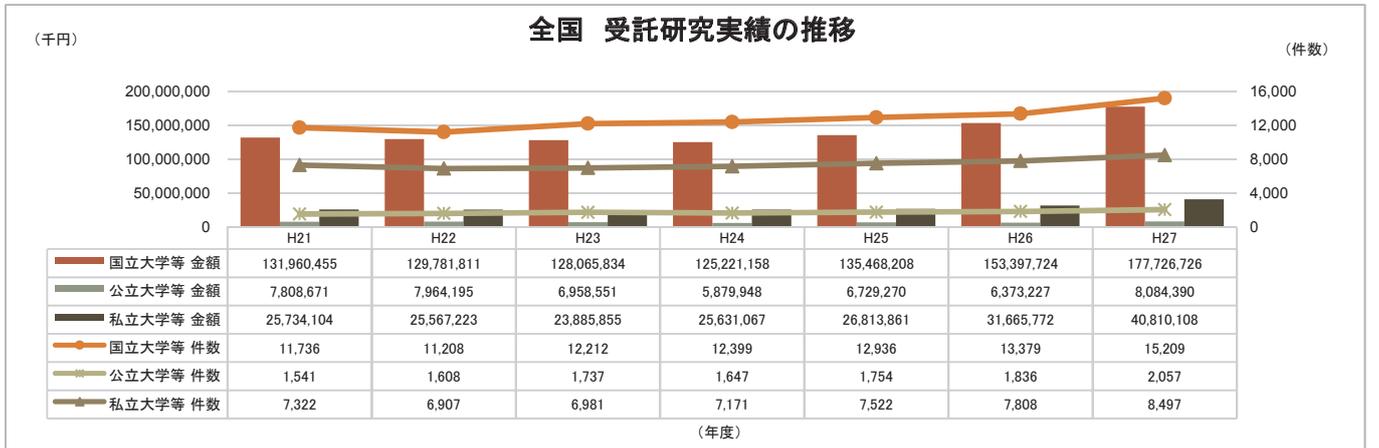
### 11-2-1. 受託研究実績の推移

本学の受託研究については、平成23年度に金額が落ち込んだものの、その後は、金額も件数も、順調に伸びている。平成27年度は、100億円を超えている。

#### ◆九州大学◆



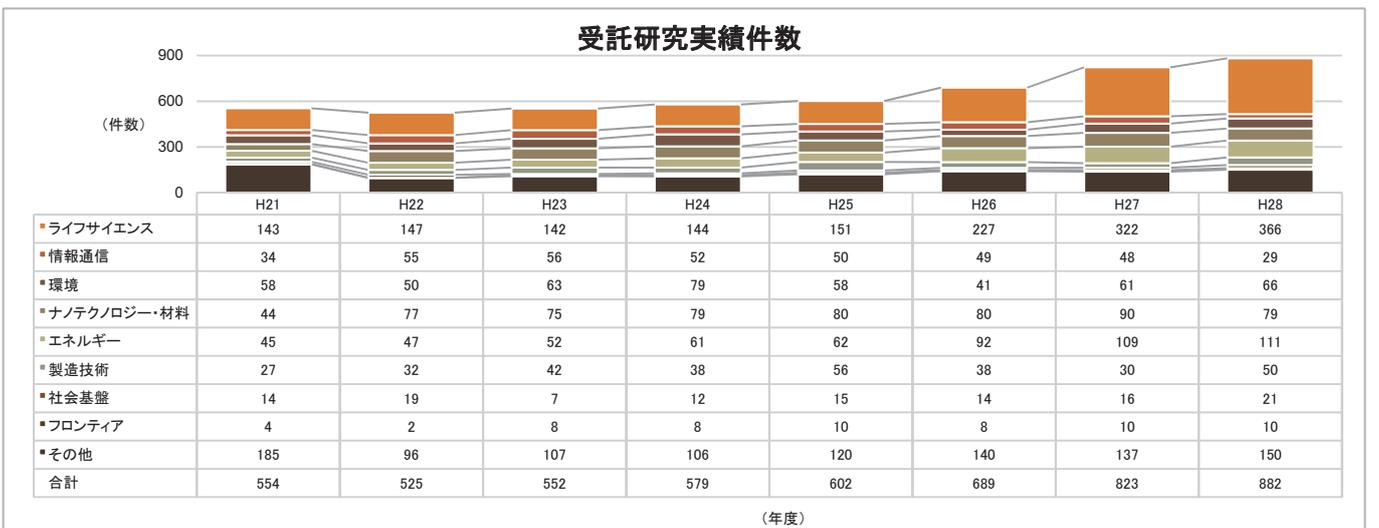
#### ◆全国◆



※出典

- ・本学: 研究戦略データ集(学術研究・産学官連携本部 研究戦略推進グループ、学術研究推進支援グループ)
- ・全国: 「大学等における産学連携等実施状況 共同研究実績(機関別)」各年度(文部科学省)

### 11-2-2. 受託研究実績の推移(分野別)



※本調査における「受託研究」とは、大学等が民間企業等からの委託により、主として大学等のみが研究開発を行い、そのための経費が民間企業等から支弁されているものを指す。

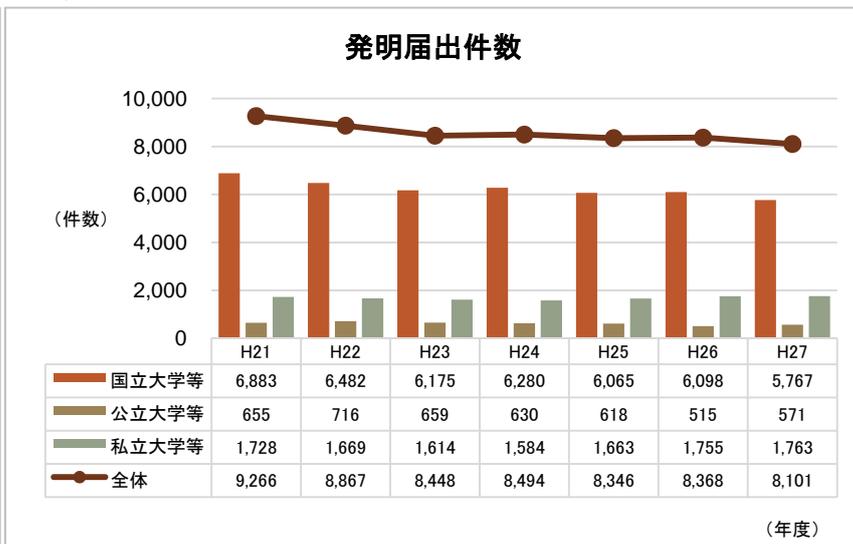
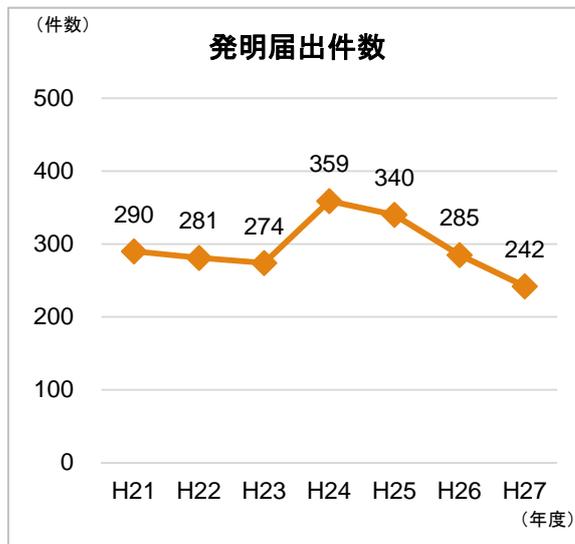
※出典: 九州大学概要

## 11-3. 知的財産関連

発明届出件数、特許出願件数ともに、年200件を超えている。特許保有件数も毎年着実に100~170件ずつ伸びている。

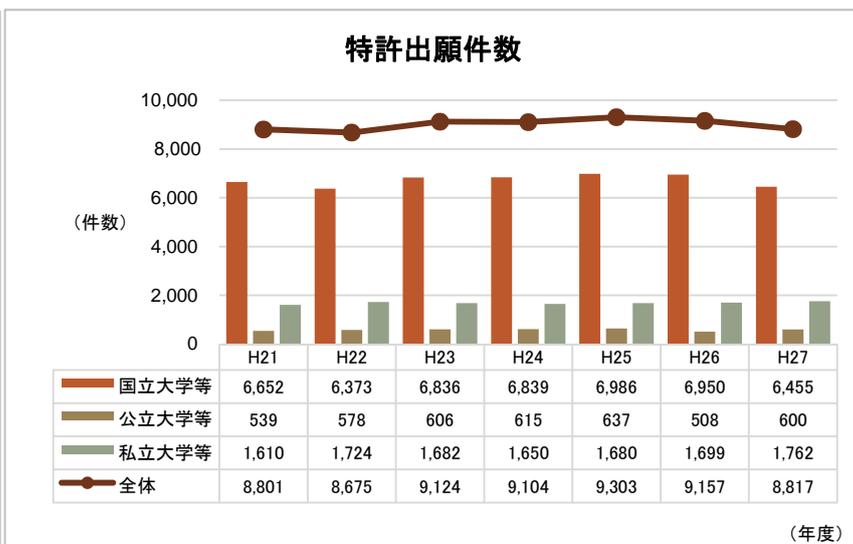
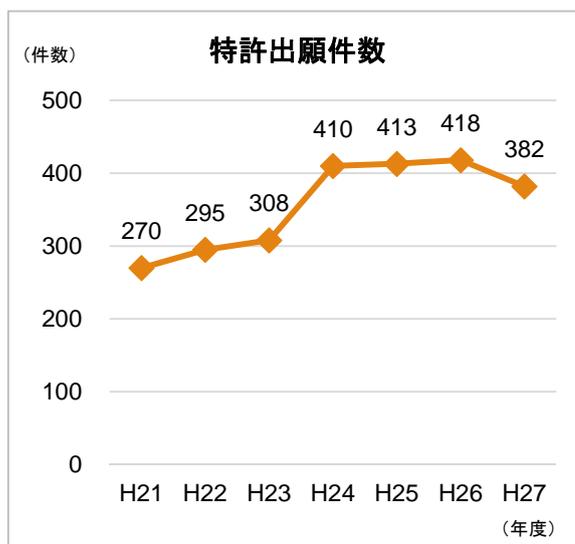
## ◆九州大学◆

## ◆全国◆



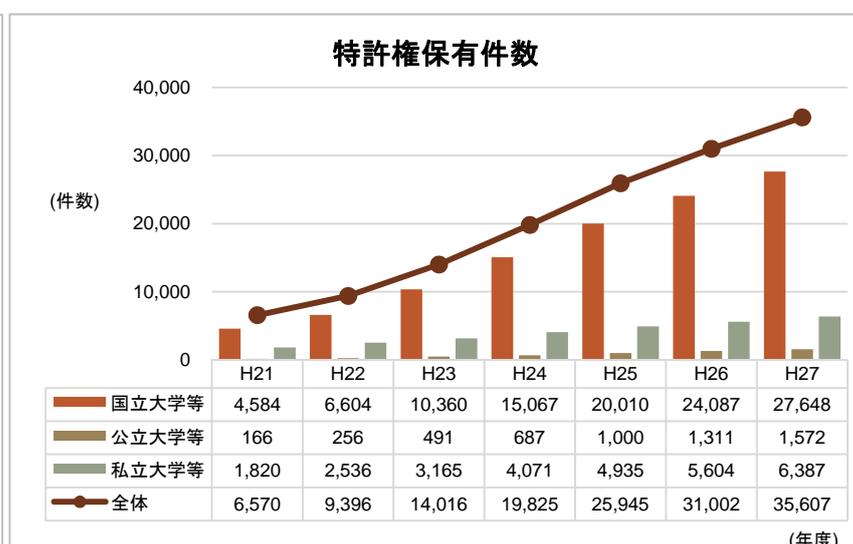
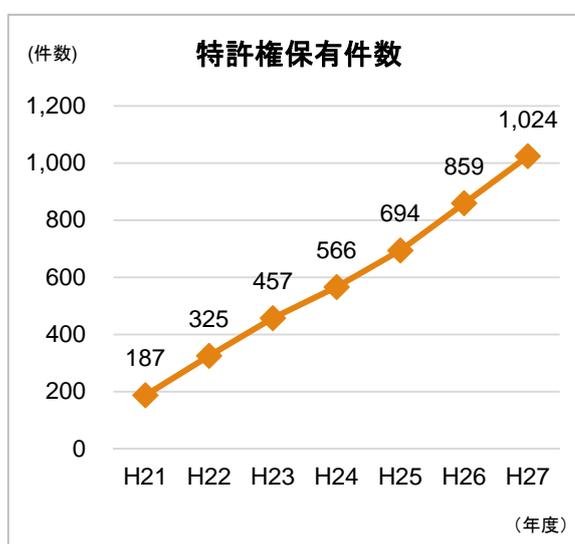
## ◆九州大学◆

## ◆全国◆



## ◆九州大学◆

## ◆全国◆



※出典: 文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について」

11-3. 知的財産関連(つづき)

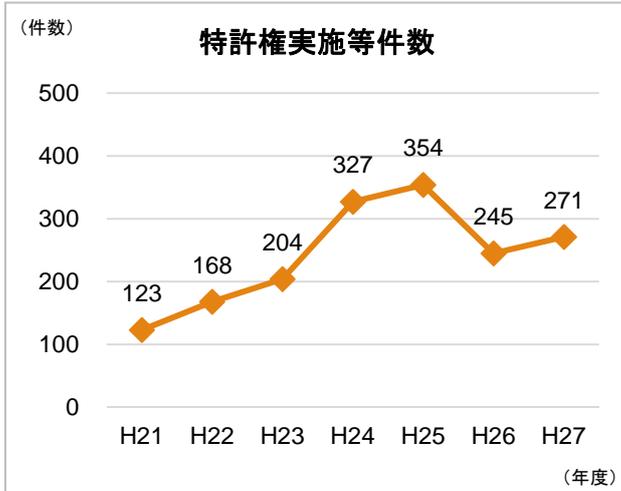
特許権実施等収入は、平成27年度に大きく飛躍した。

平成26年度と比較して実施等収入額が大きく増加した機関で、**2位**にランクインしている。

1. 東京大学約212百万円増 2. 九州大学約81百万円増 3. 名古屋大学約68百万円増

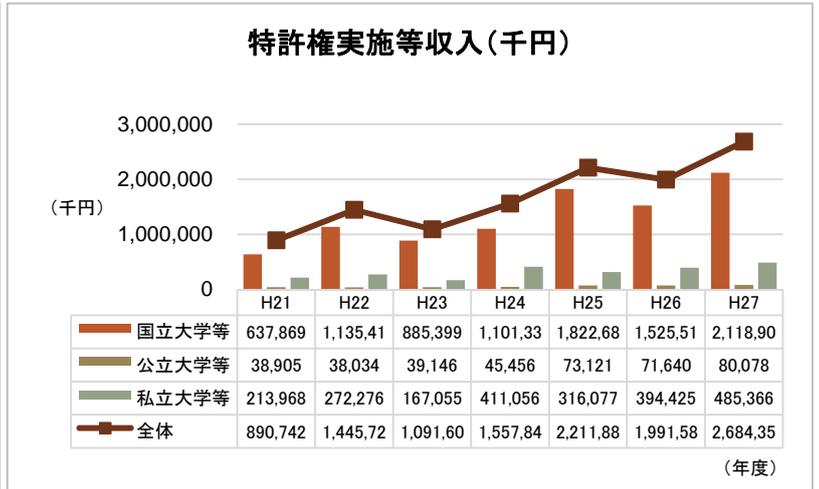
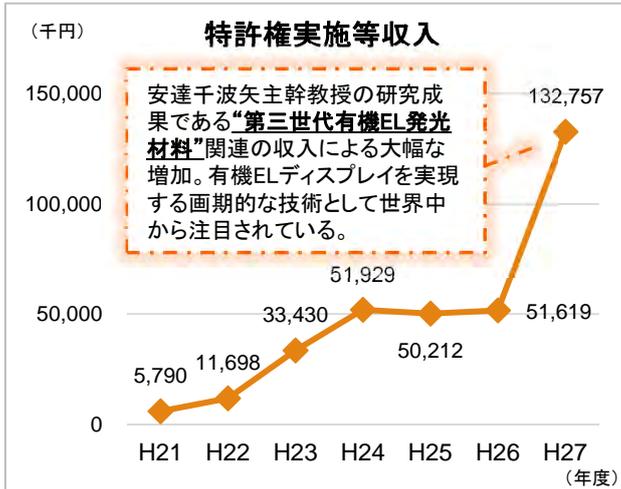
◆九州大学◆

◆全国◆



◆九州大学◆

◆全国◆

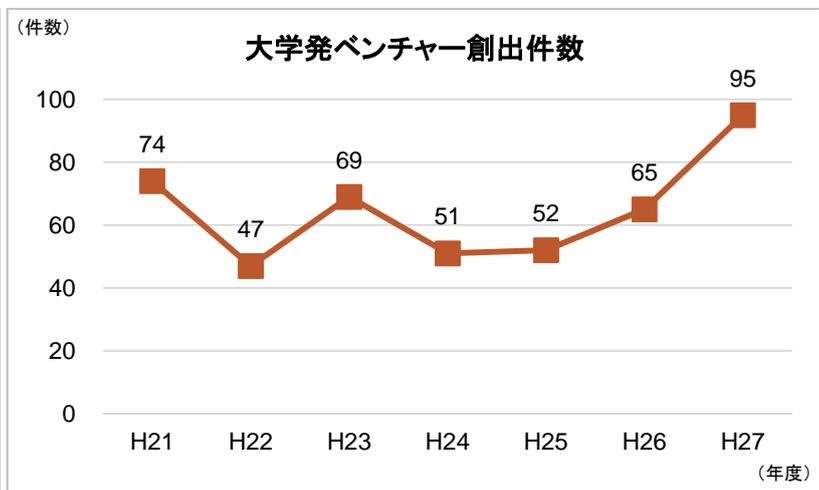
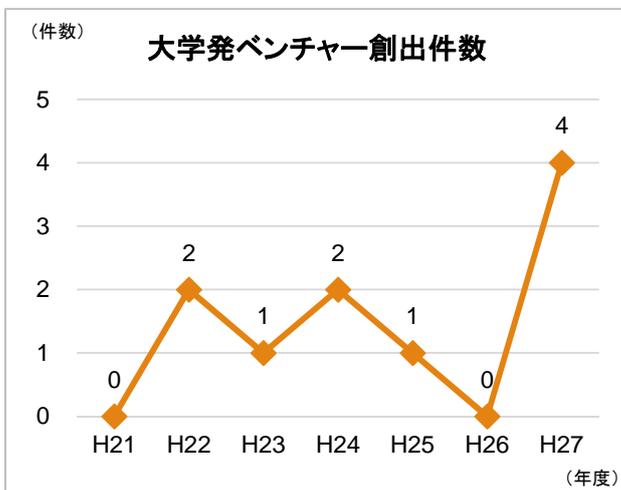


・本調査において、「特許権実施等件数」、「特許権実施等収入額」とは、実施許諾又は譲渡した特許権(「特許を受ける権利」の段階のものも含む。)の数、収入額を指す。

※出典:文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について」

◆九州大学◆

◆全国◆

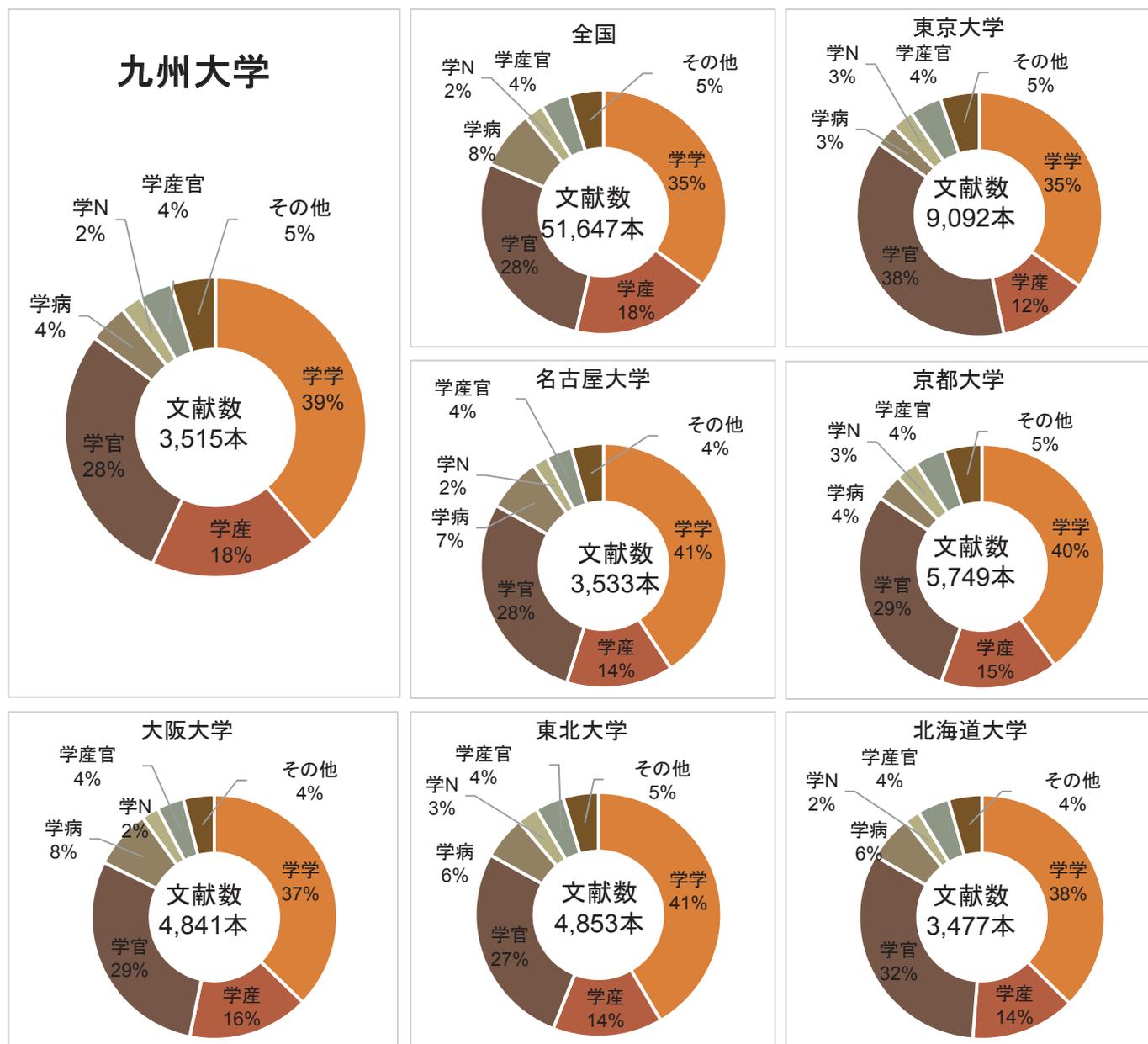


※出典

- ・本学: 研究戦略データ集(学術研究・産学官連携本部 研究戦略推進グループ、学術研究推進支援具グループ)
- ・全国: 「大学等における産学連携等実施状況 共同研究実績(機関別)」各年度(文部科学省)

## 11-4. 共著関係から見る産学官連携状況

本学と他大学の共著関係を比較してみると、学学連携の比率がやや高いが、ほぼ全国平均と同等比率であることがわかる。



グラフ中の機関区分は、次の6区分である

機関区分	対象の機関
学産	大学(短大を含む) <sup>※1)</sup> 、大学共同利用機関、国立高等専門学校 注1) 附属病院を含む
学官	民間企業
学病	国の機関、特殊法人・独立行政法人、地方公共団体の機関
N	医療機関
他	非営利団体
	上記以外

・JSTが収集しデータベース化している予稿集・会議録を対象とする

※出典：国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)科学技術振興プラットフォーム「共著関係からみる産学官連携パターン」(H23)より、発行年を2011年、分野は全分野を選択し、対象大学は、北海道大、東北大、東京大、名古屋大、京都大学、大阪大、九州大を選択し抽出したデータを使用したもの。  
国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)ホームページ：<https://jipsti.jst.go.jp/foresight/dataranking/sangakukan/pattern/>

## 11-5. 地方公共団体関係機関との共著文献数

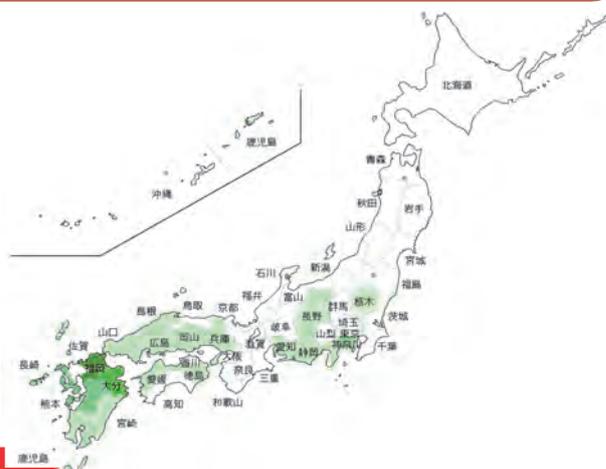
本学と公設試験研究機関などの地方公共団体の機関の共著関係に着目し、その連携度合いを日本地図上に表したものである。

地方公共団体の機関と共著している文献を都道府県別に集計することにより、大学が「地域のハブ」とどのくらい連携しているかを捉えている。

10年間で共著文献数は、90本から170本へと約2倍に、共著した都道府県は、19都県から31都府県と増えており、地方公共団体との連携課題確実に進んでいることがわかる。

H13

順位	都道府県名	文献数	割合
1	福岡県	57	63.3%
2	大分県	7	7.8%
3	神奈川県	4	4.4%
4	長崎県	3	3.3%
4	熊本県	3	3.3%
6	島根県	2	2.2%
6	鹿児島県	2	2.2%
他	12都県	12	13.4%
本学計		90	
(全文献数)		4,479	



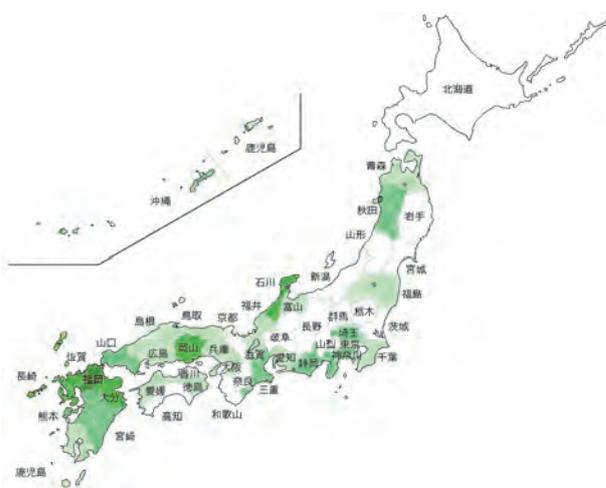
H18

順位	都道府県名	文献数	割合
1	福岡県	78	59.5%
2	熊本県	7	5.3%
3	愛知県	5	3.8%
3	宮崎県	5	3.8%
5	長崎県	4	3.1%
6	神奈川県	3	2.3%
6	佐賀県	3	2.3%
6	大分県	3	2.3%
6	鹿児島県	3	2.3%
他	13都道府県	20	15.3%
本学計		131	
(全文献数)		8,133	



H23

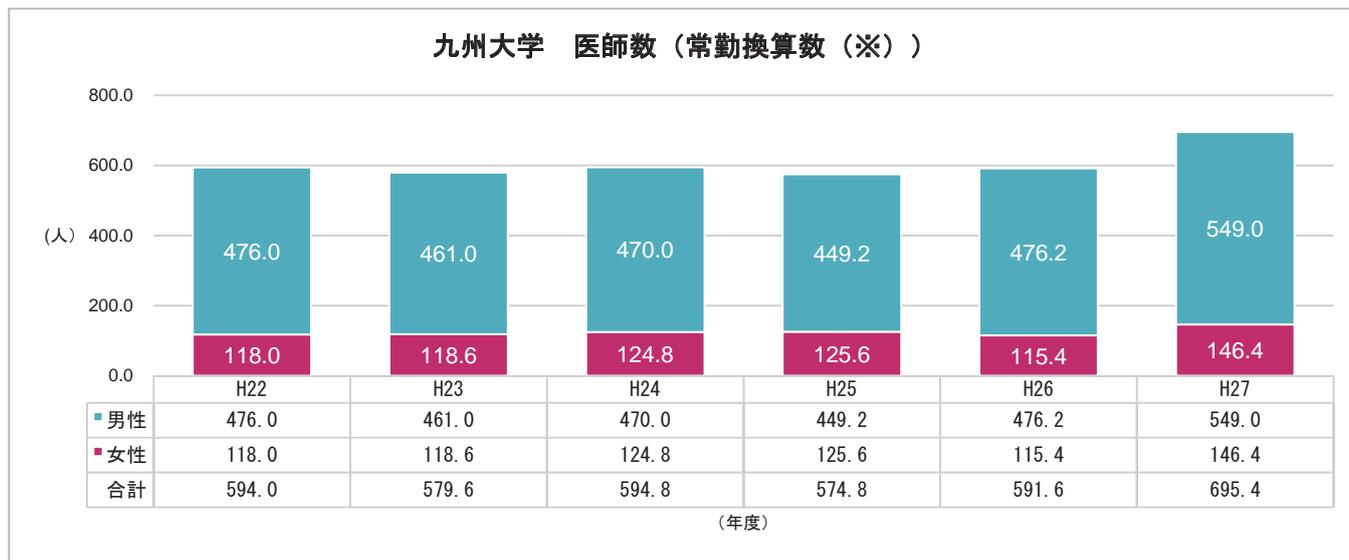
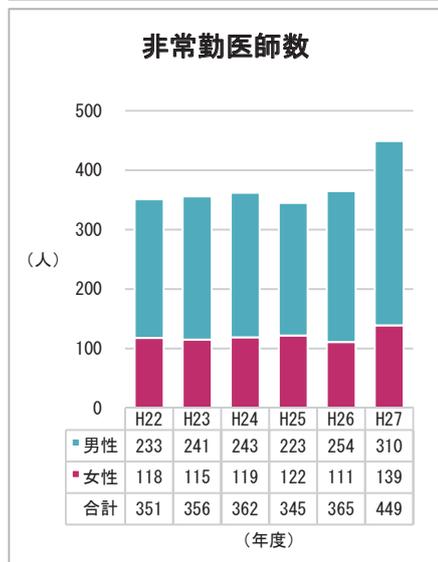
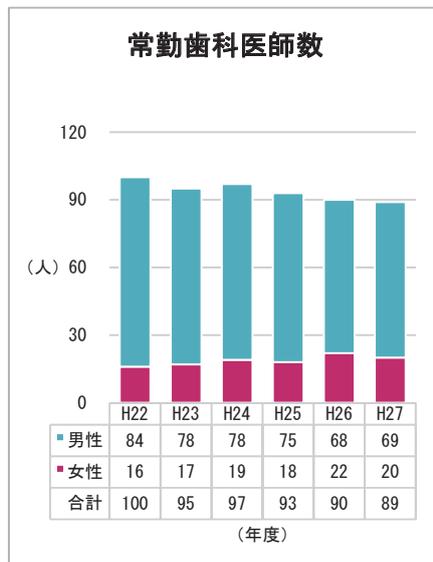
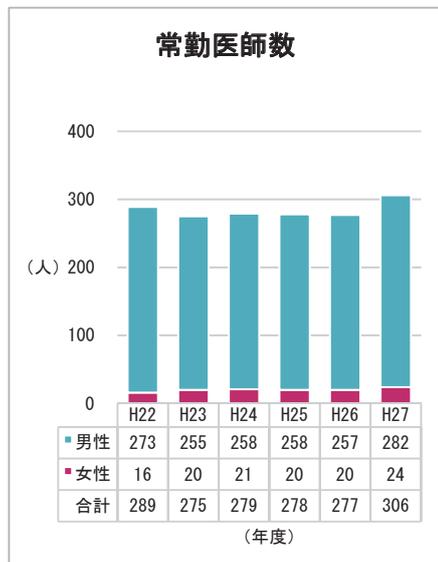
順位	都道府県名	文献数	割合
1	福岡県	63	37.1%
2	佐賀県	14	8.2%
3	大分県	10	5.9%
4	長崎県	9	5.3%
5	石川県	7	4.1%
5	岡山県	7	4.1%
7	宮崎県	5	2.9%
8	秋田県	4	2.4%
8	埼玉県	4	2.4%
8	静岡県	4	2.4%
8	山口県	4	2.4%
8	熊本県	4	2.4%
8	沖縄県	4	2.4%
他	18都道府県	31	18.3%
本学計		170	
(全文献数)		8,285	



出典：科学技術振興機構（JST）「地域との連携（各県の共著関係）」、「地域との連携（対象文献数）」

## 12. 附属病院

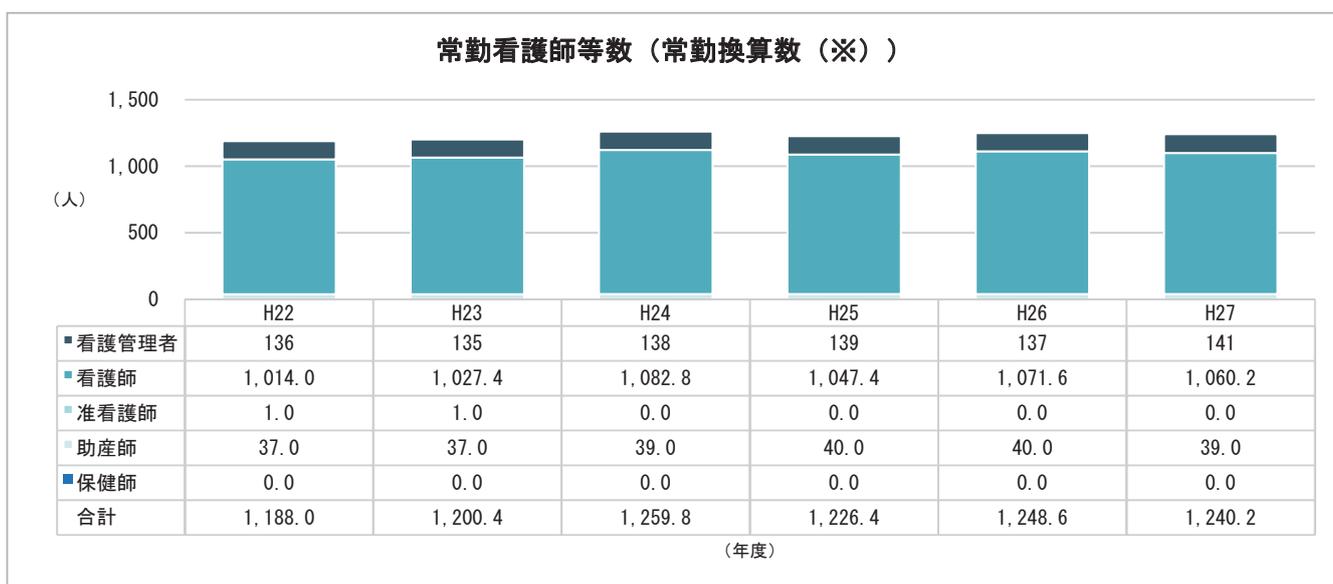
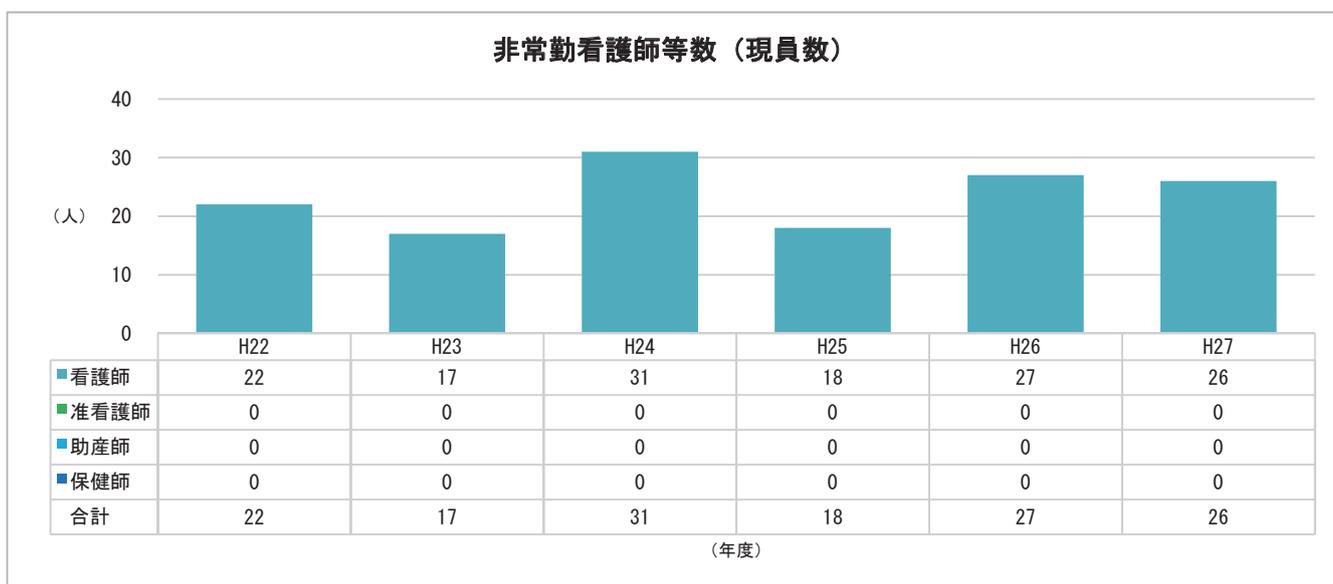
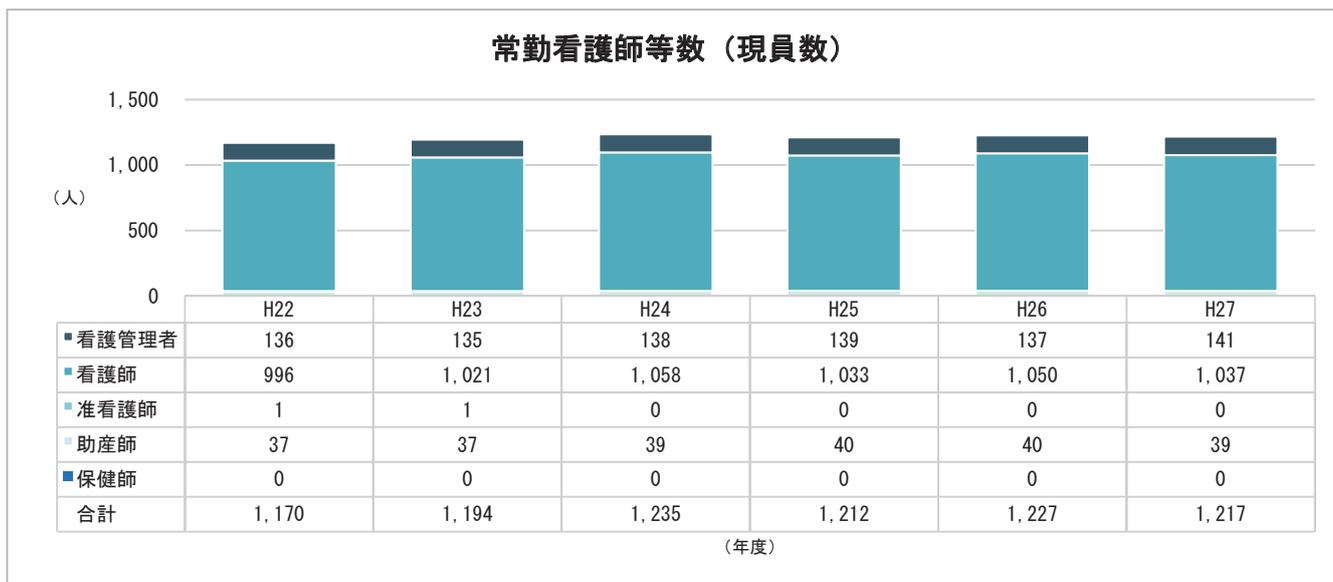
### 12-1. 医師数等



・学部帰属及び病院帰属、任期なし及び任期ありの全てを含む。  
 ・非常勤職員は常勤職員に換算した数字である。

出典：病院資料（診療組織）調査票より（※別府病院を含まない）

## 12-2. 看護職員等

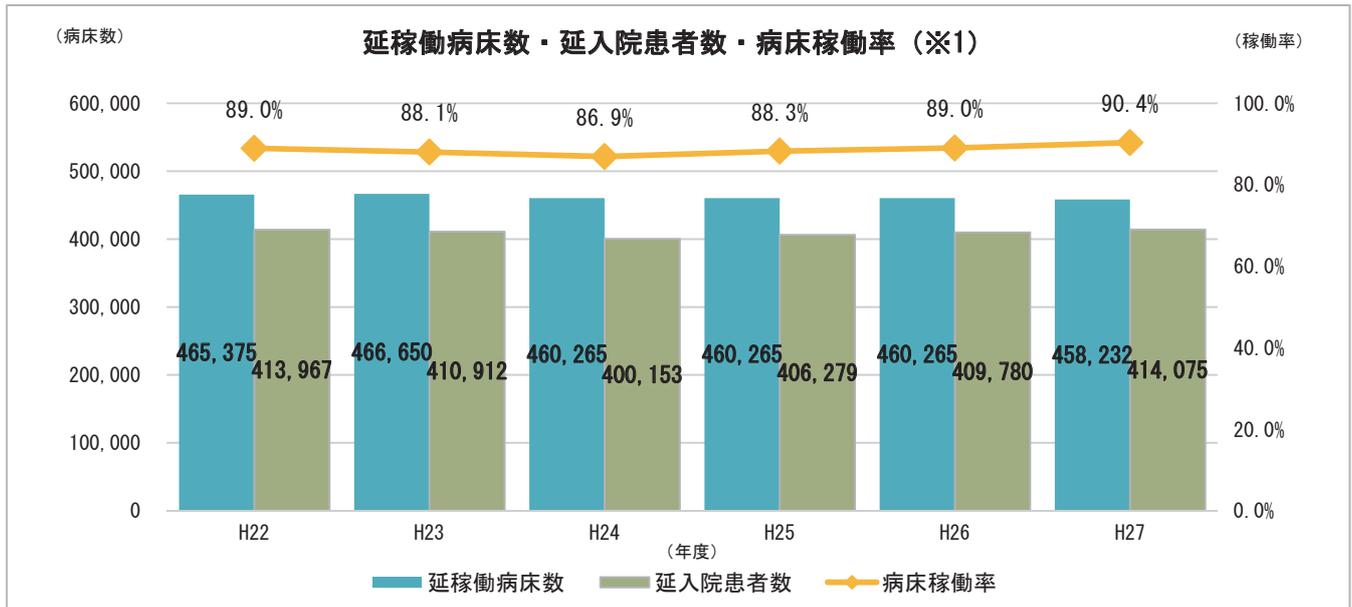


・非常勤職員は常勤職員に換算した数字である。

※出典：病院資料（診療組織）調査票より（※別府病院を含まない）

## 12-3. 病床稼働率

### ◆九州大学◆



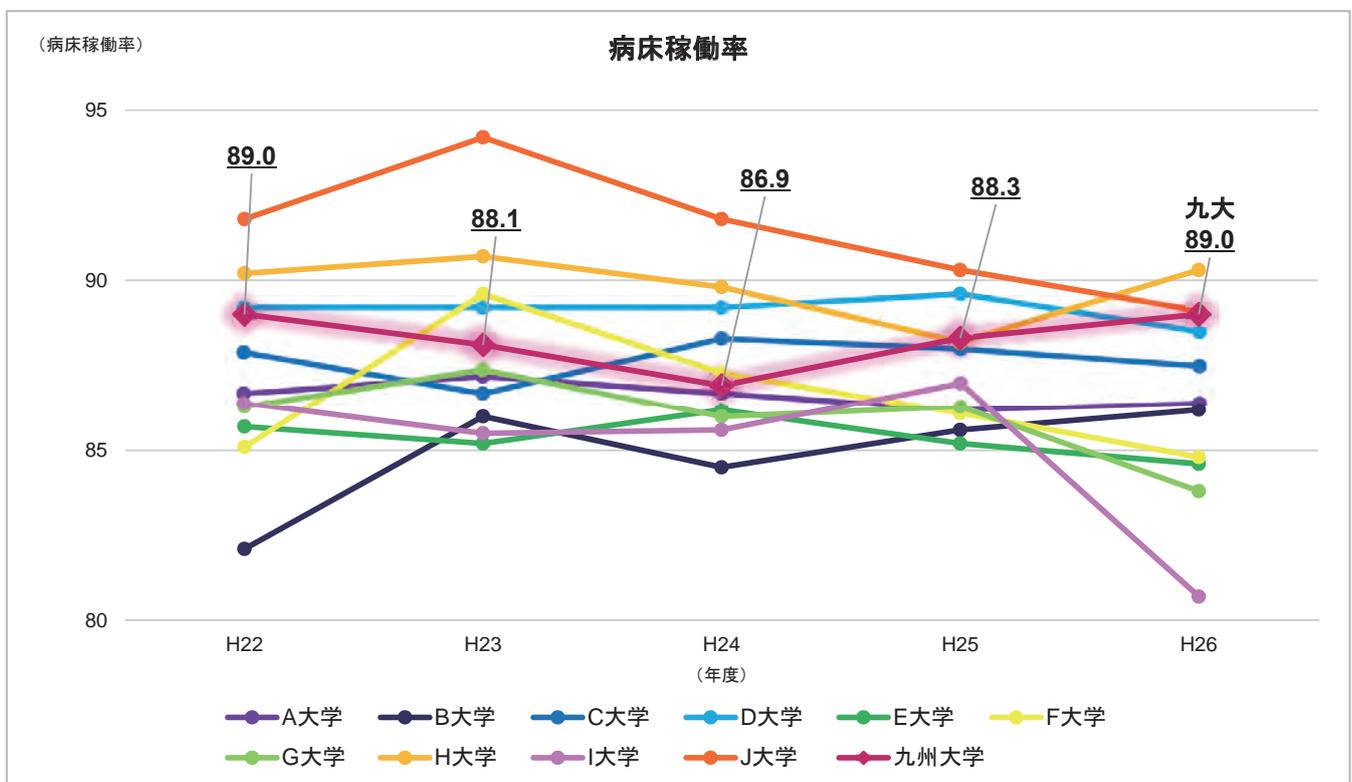
・病床稼働率=延入院患者数/延稼働病床数\*100

※出典：病院資料（診療組織）調査票より（※別府病院を含まない）

### ◆他大学病院◆

**病床稼働率(病床稼働率=延入院患者数/延稼働病床数\*100)**

病床稼働率とは、病院の病床(ベッド)がどの程度効率的に稼働しているかを示す数字です。100%に近いほど空いているベッドが無い状態で利用されていることになります。病院経営の質を示す指標として活用されます。



・本院のみの比較。

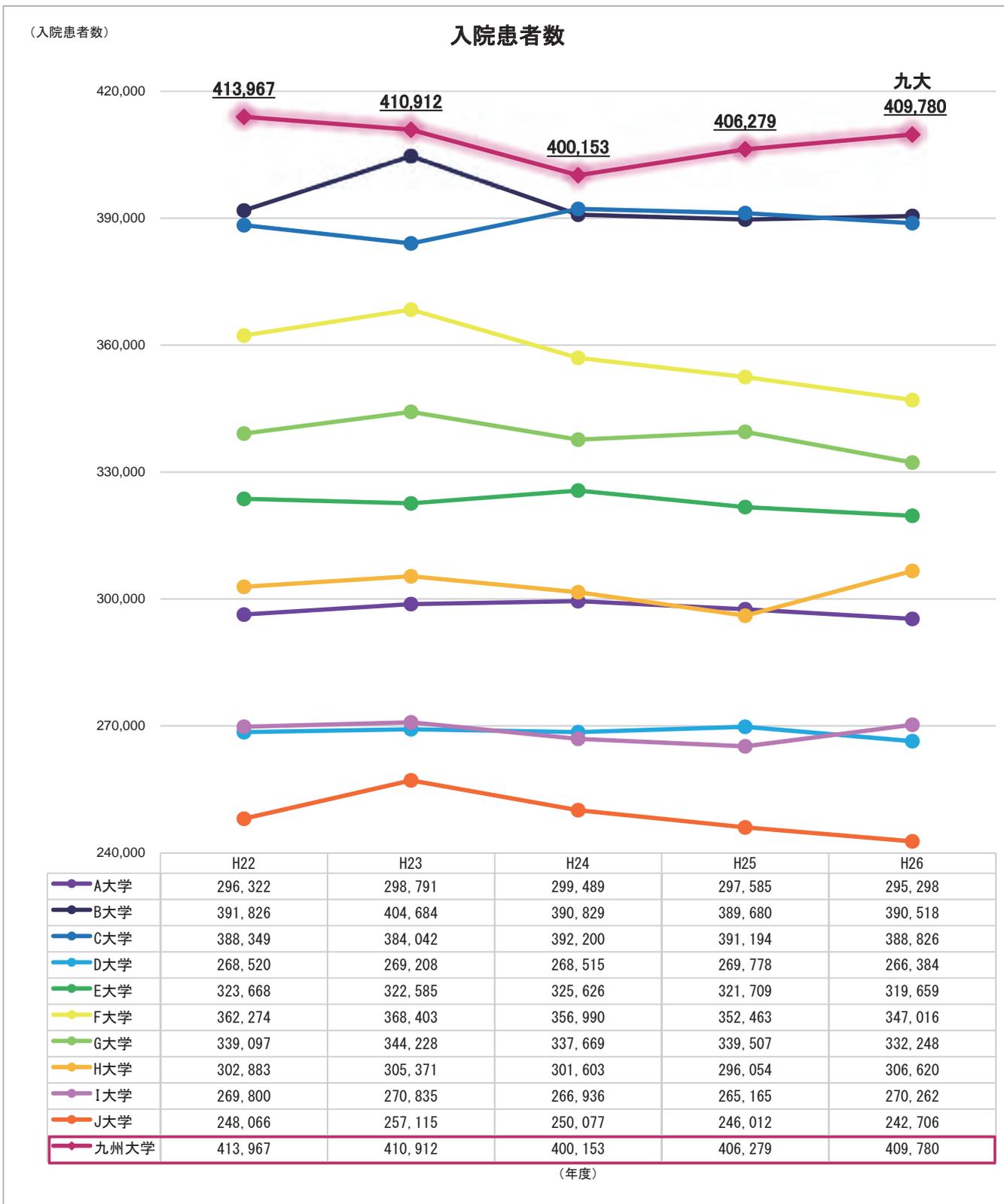
・全国の国立大学のうち、学部入学定員の上位10校と大学院入学定員の多い上位10校のうちから、附属病院を有する大学間で比較。

出典：病院資料（診療組織）調査票より（※別府病院を含まない）

## 12-4. 患者数と手術件数の推移

### 12-4-1. 患者数と手術件数の推移(入院患者数)

◆九州大学・他大学病院◆



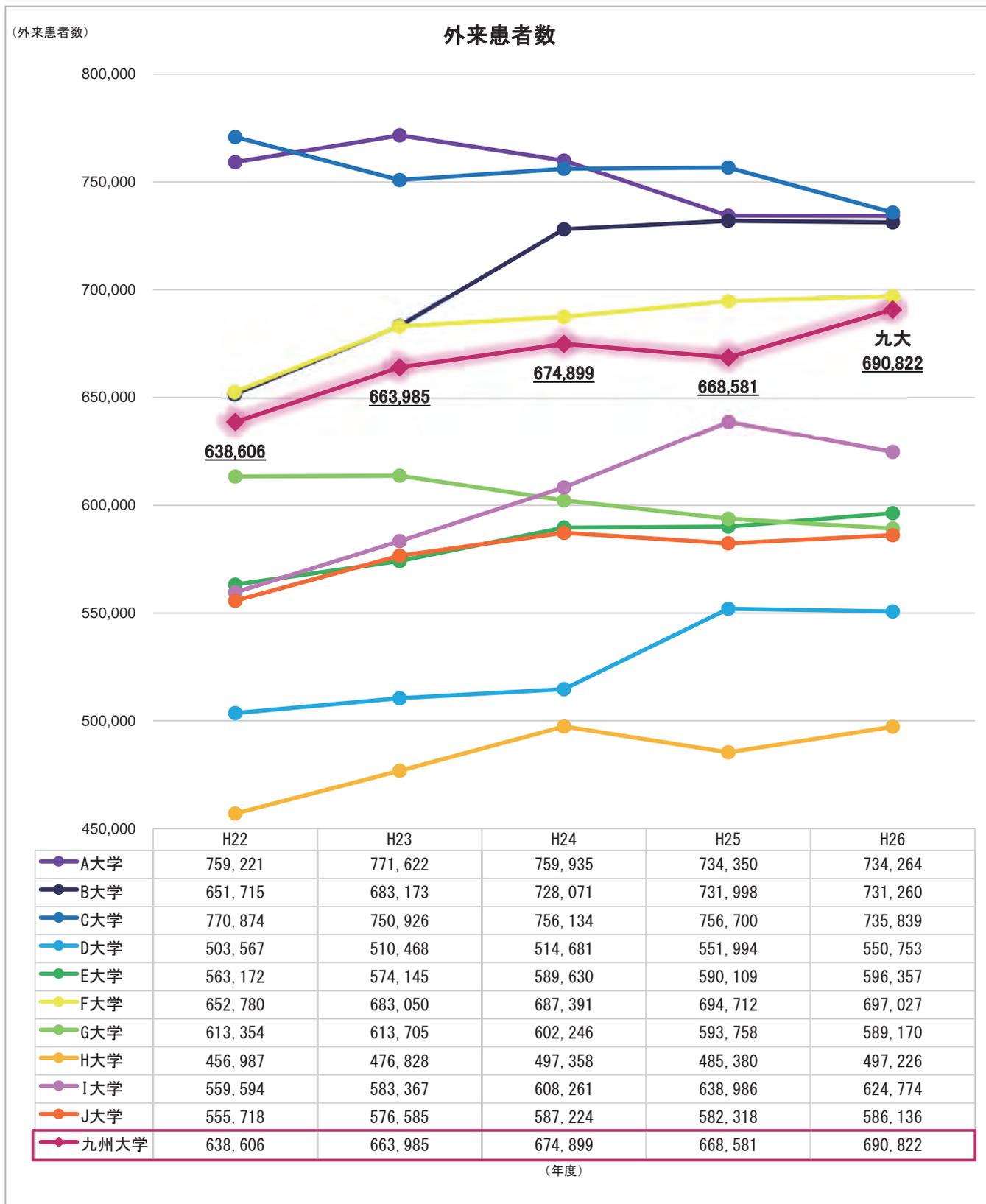
・本院のみの比較。

・全国の国立大学のうち、学部入学定員の上位10校と大学院入学定員の多い上位10校のうちから、附属病院を有する大学間で比較。

出典：国立大学病院資料 診療データ(H22～26年度)

## 12-4-2. 患者数と手術件数の推移(外来患者数)

◆九州大学・他大学病院◆

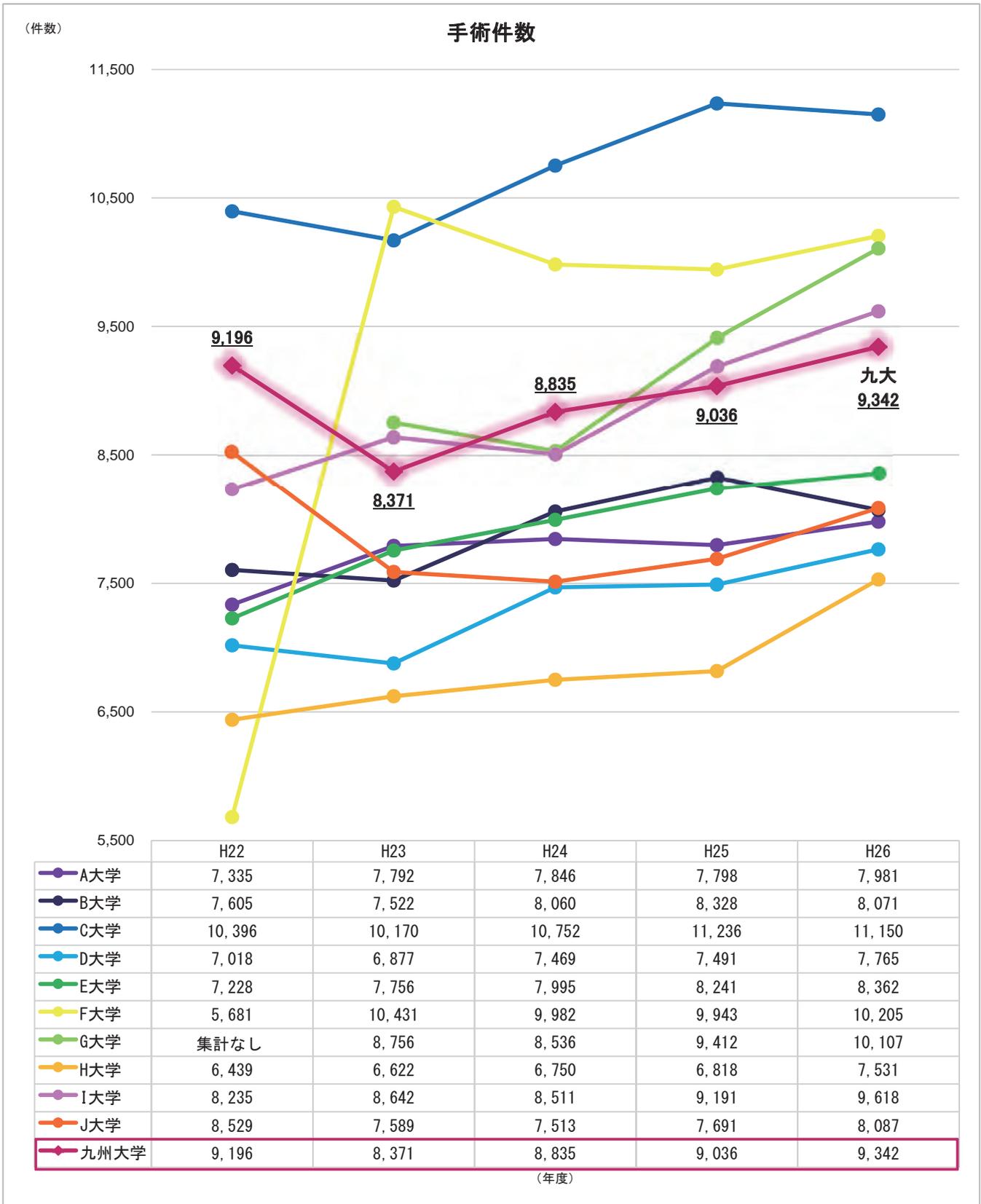


・本院のみの比較。  
 ・全国の国立大学のうち、学部入学定員の上位10校と大学院入学定員の多い上位10校のうちから、附属病院を有する大学間で比較。

出典：国立大学病院資料 診療データ（H22～26年度）

### 12-4-3. 患者数と手術件数の推移(手術件数)

◆九州大学・他大学病院◆



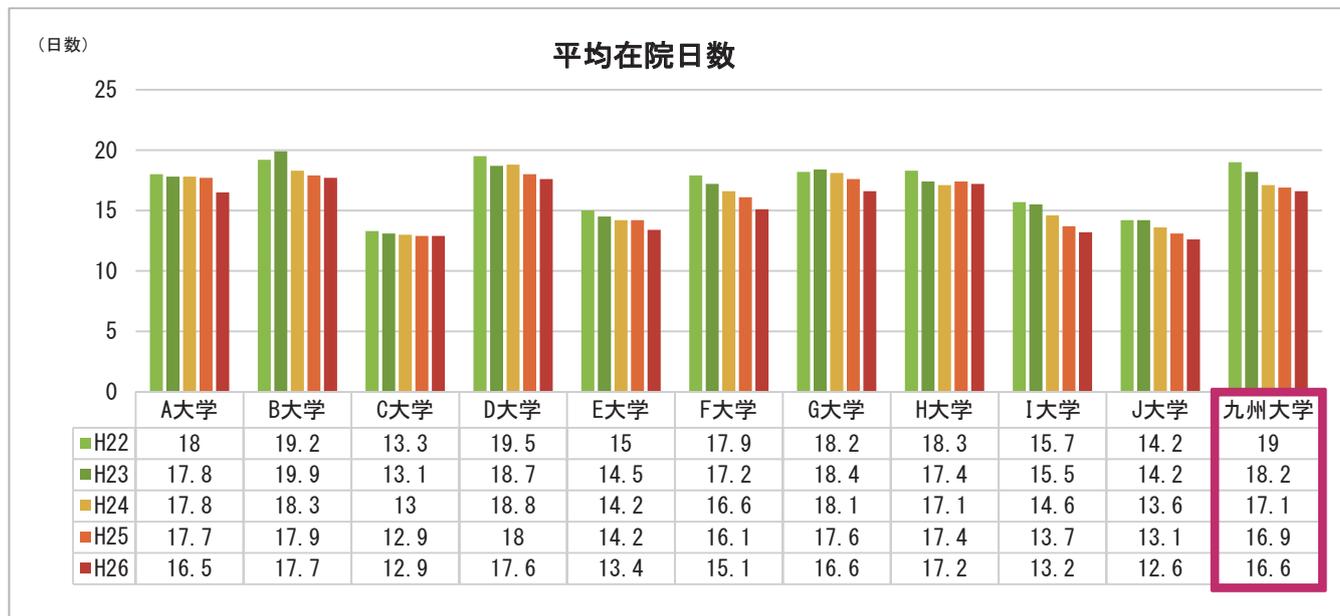
・本院のみの比較。  
 ・全国の国立大学のうち、学部入学定員の上位10校と大学院入学定員の多い上位10校のうちから、附属病院を有する大学間で比較。

出典：国立大学病院資料 診療データ(H22～26年度)

## 12-5. 平均在院日数の推移

平均在院日数とは、病院全体で一人一人の患者さんが何日間入院しているかを示す指標です。急性期疾患を取り扱う病院と慢性期疾患を取り扱う病院では当然違いが出ます。当然、疾患によって入院日数に違いがありますが、同じ疾患でも医療の進歩により経年では短くなっています。病院経営の質を示す指標として活用されます。

### ◆九州大学・他大学病院◆



- ・本院のみの比較。
- ・全国の国立大学のうち、学部入学定員の上位10校と大学院入学定員の多い上位10校のうちから、附属病院を有する大学間で比較。

出典：国立大学病院資料 診療データ（H22～26年度）

## 12-6. 承認病床数の比較

### ◆九州大学・他大学病院◆



- ・本院のみの比較。
- ・全国の国立大学のうち、学部入学定員の上位10校と大学院入学定員の多い上位10校のうちから、附属病院を有する大学間で比較。

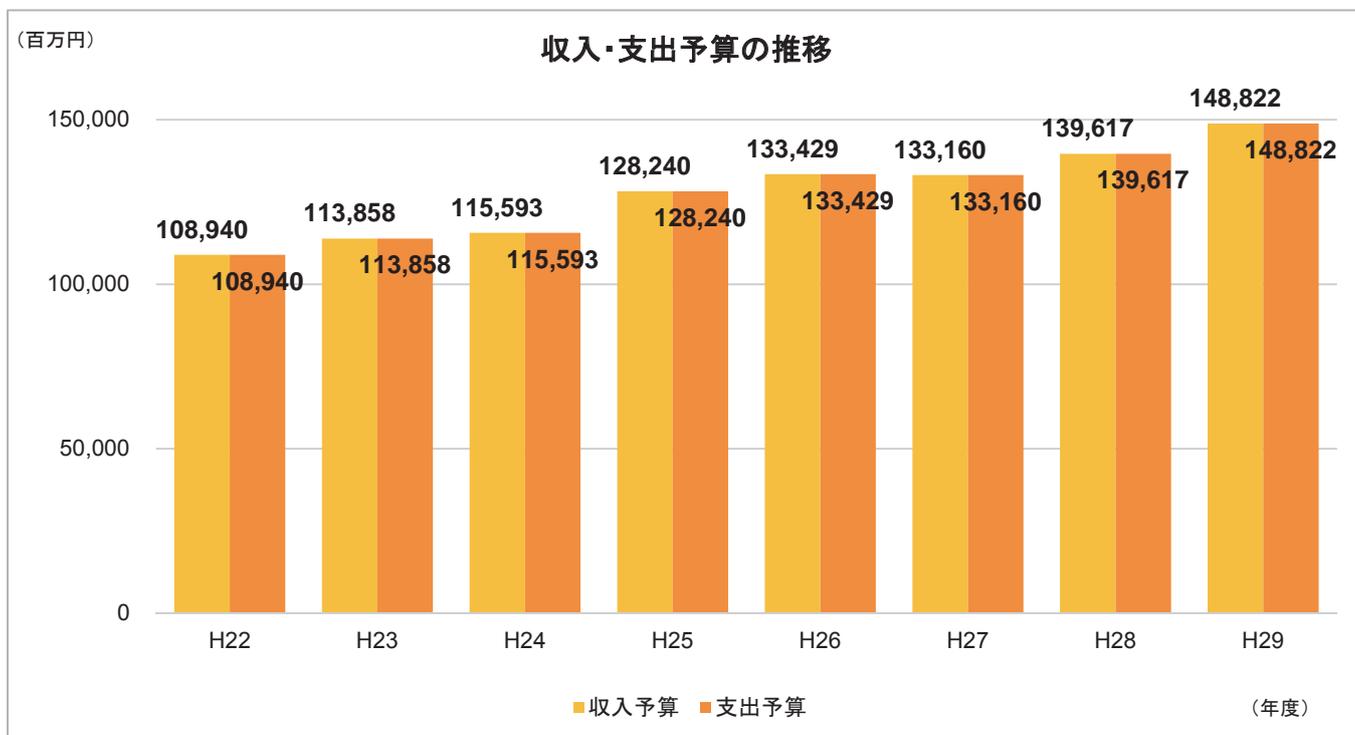
出典：国立大学病院資料 診療データ（H22～26年度）

## 13. 収入・支出

### 13-1. 収入・支出予算

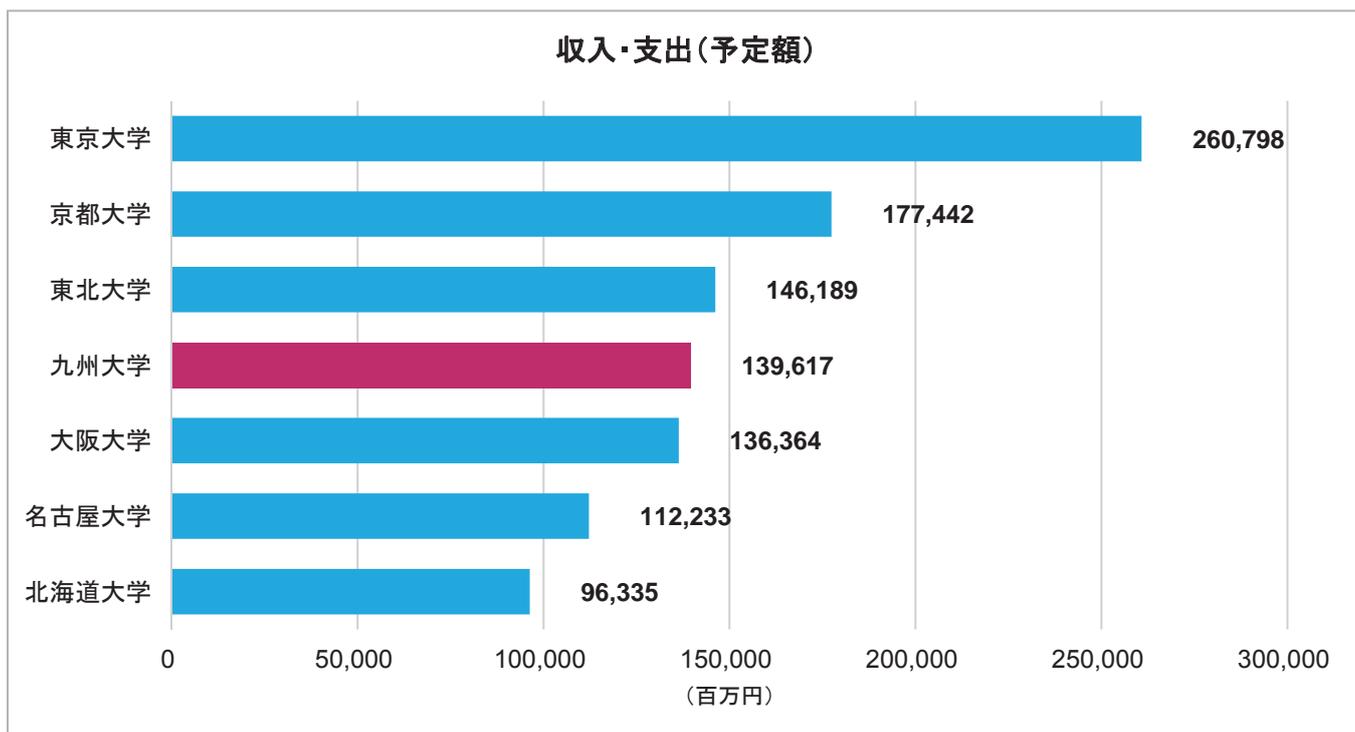
収入及び支出予算額は増加しているが、各項目別にみると、運営費交付金の収入額は大きく減少し、附属病院収入や寄附金収入等が増加している。

#### ◆九州大学◆



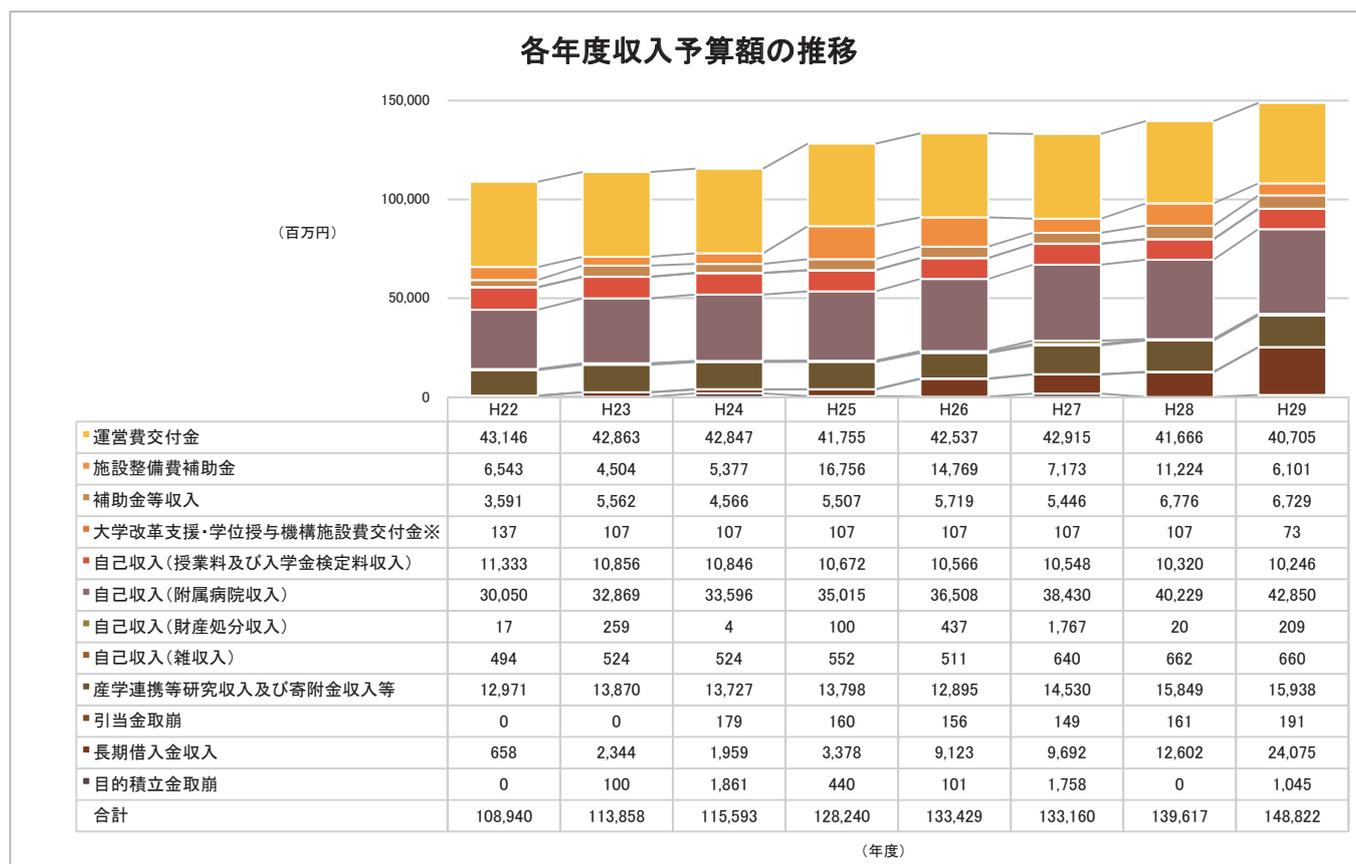
※出典:九州大学概要

#### ◆他大学(平成28年度)◆



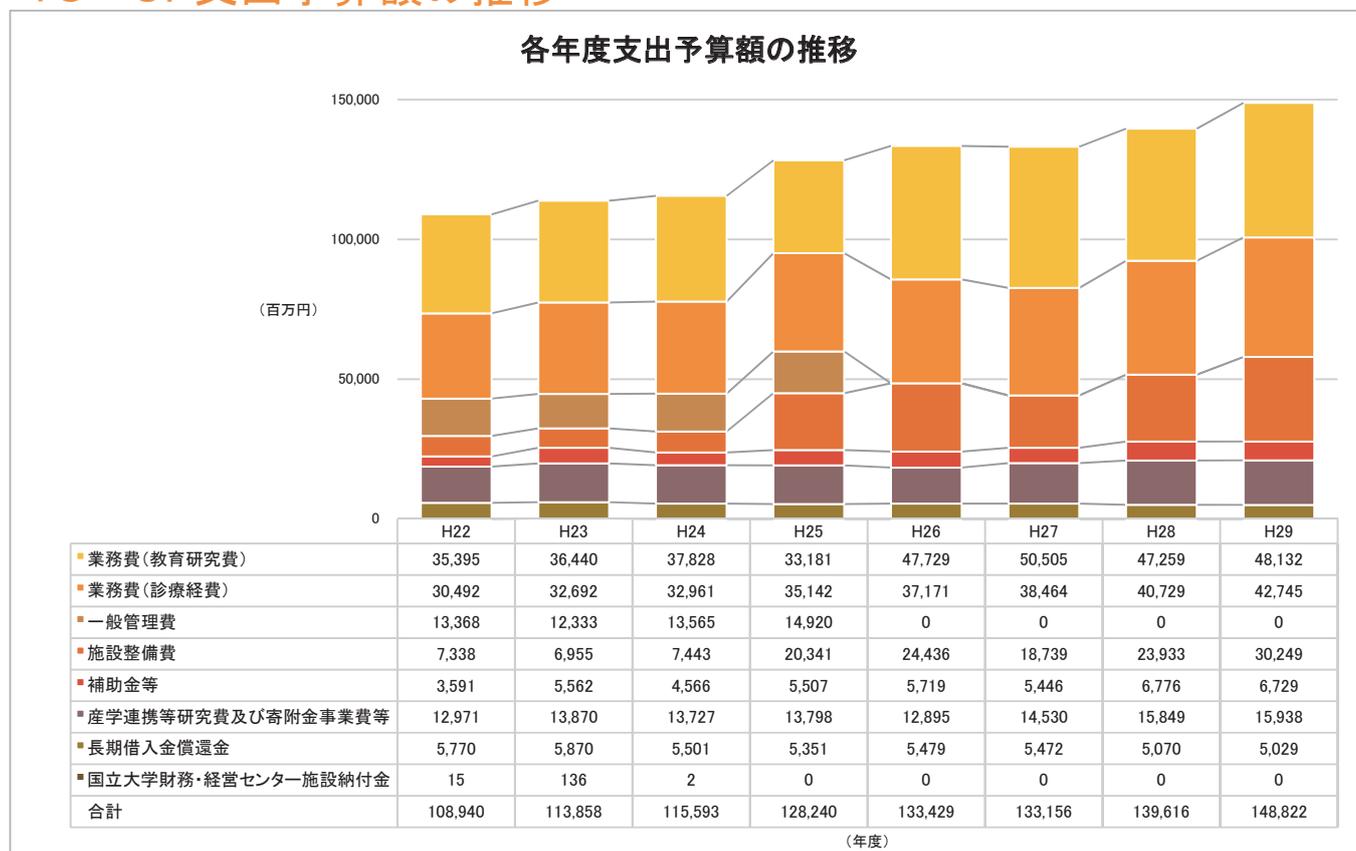
※出典:各大学 大学概要(2016年度)

### 13-2. 収入予算額の推移



・平成28年度より「国立大学財務・経営センター」は「大学改革支援・学位授与機構」へ名称変更  
 ・百万円未満は切り捨てのため、合計額は不一致

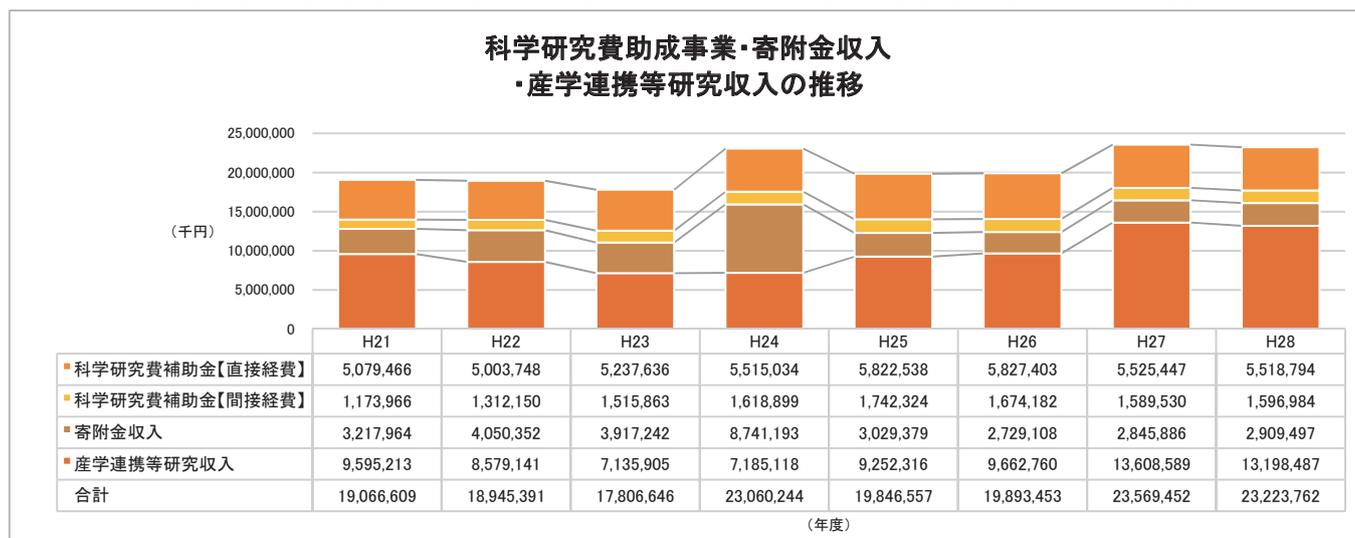
### 13-3. 支出予算額の推移



・百万円未満は切り捨てのため、合計額は不一致

※出典:九州大学概要

### 13-4. 科学研究費助成事業・寄付金収入・産学連携等研究収入の推移

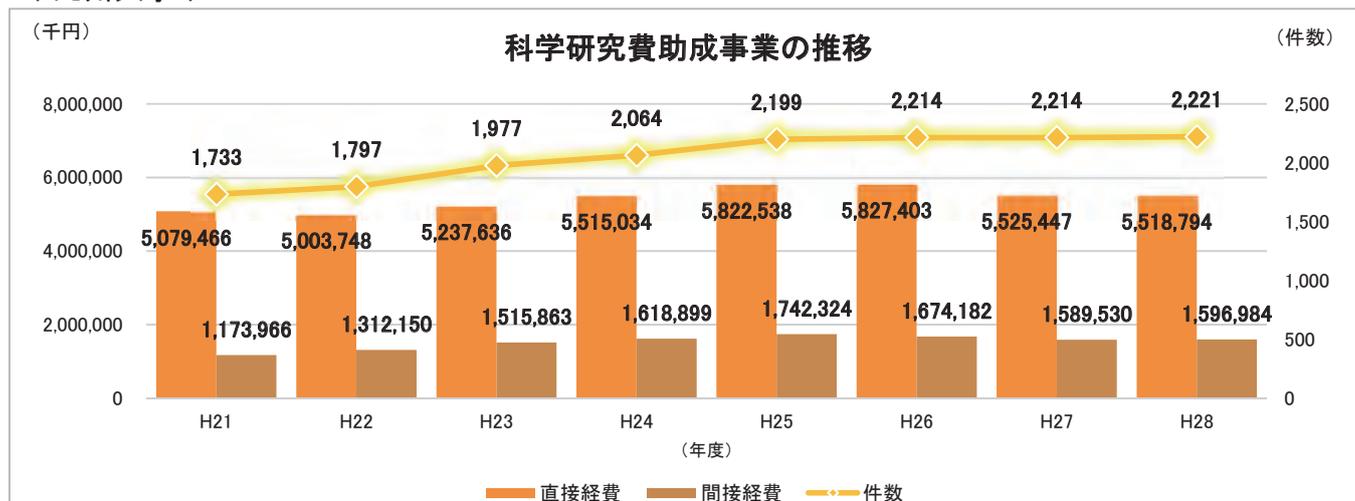


※出典:九州大学概要

### 13-5. 科学研究費助成事業

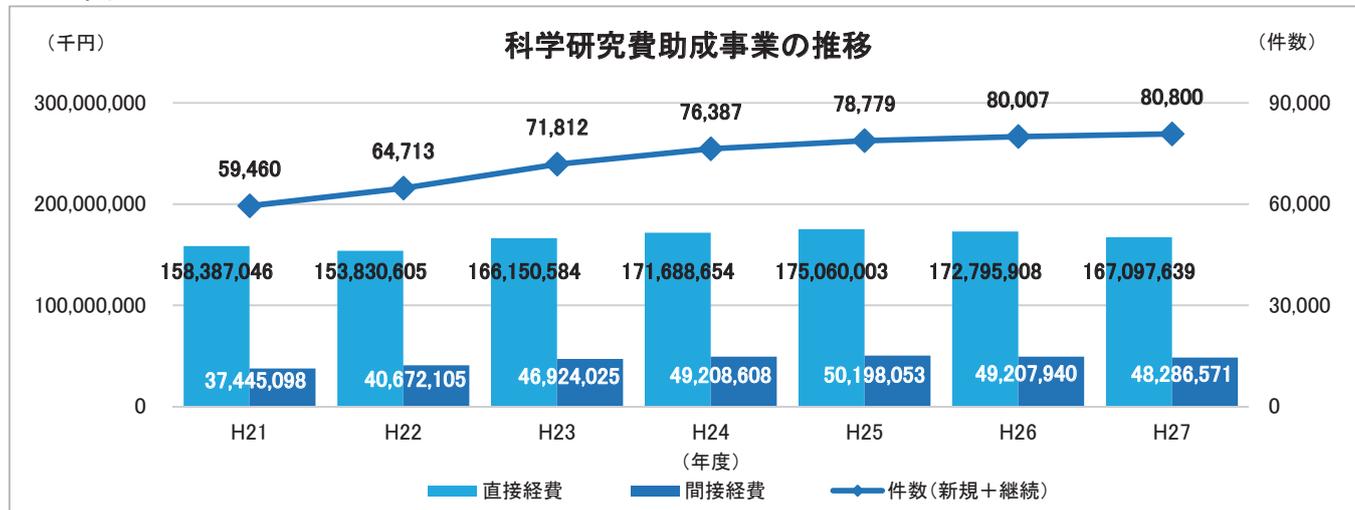
#### 13-5-1. 科学研究費助成事業の推移

◆九州大学◆



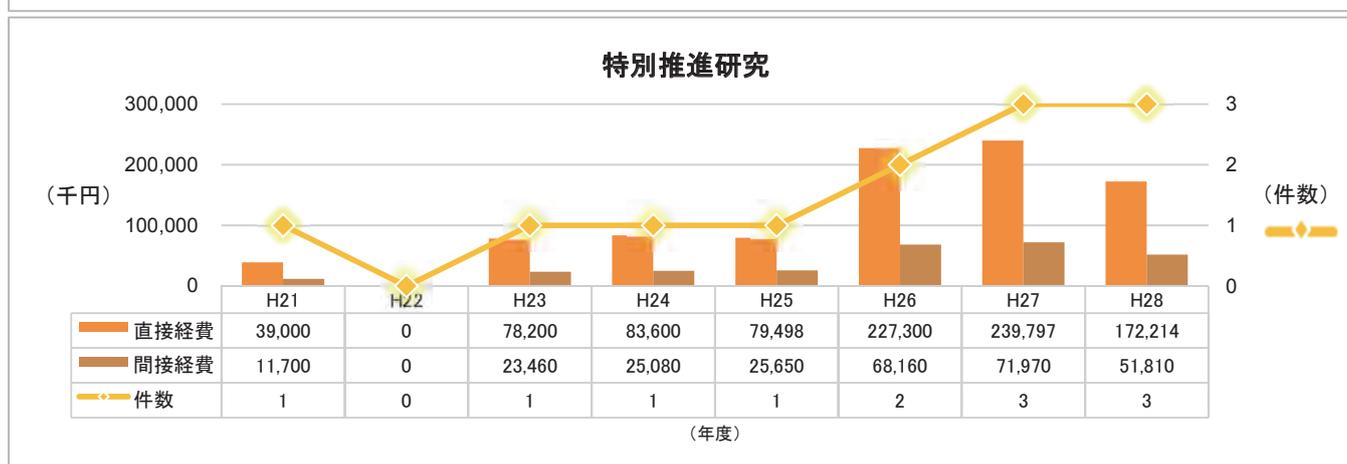
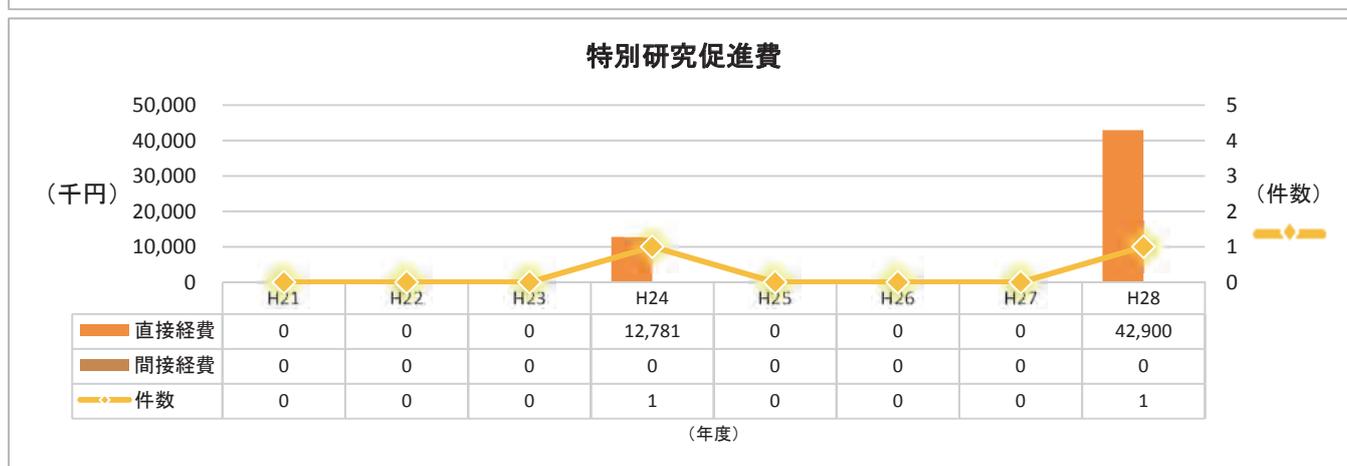
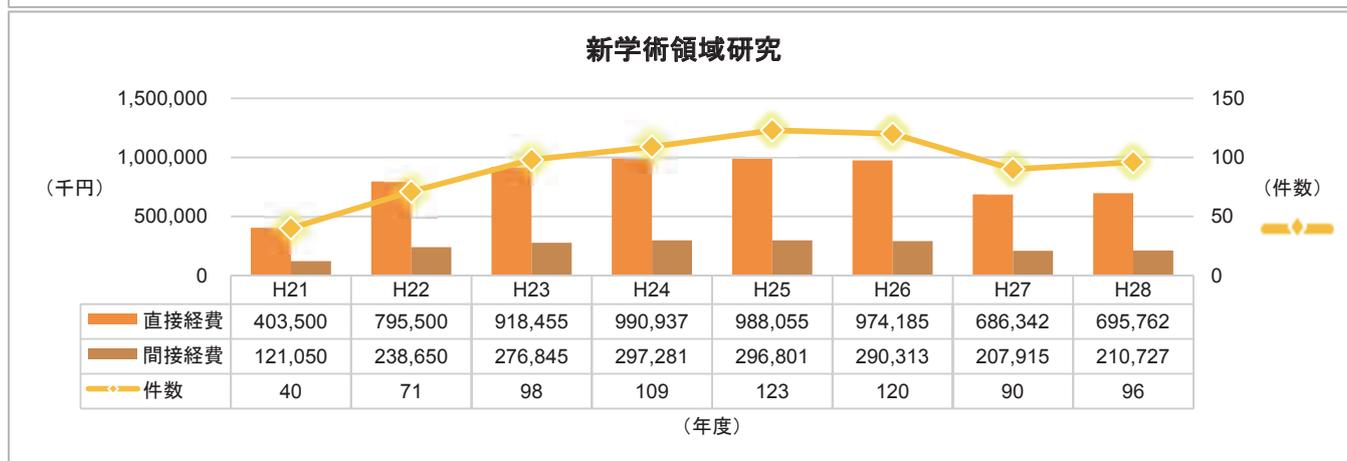
※出典:九州大学概要

◆全国◆



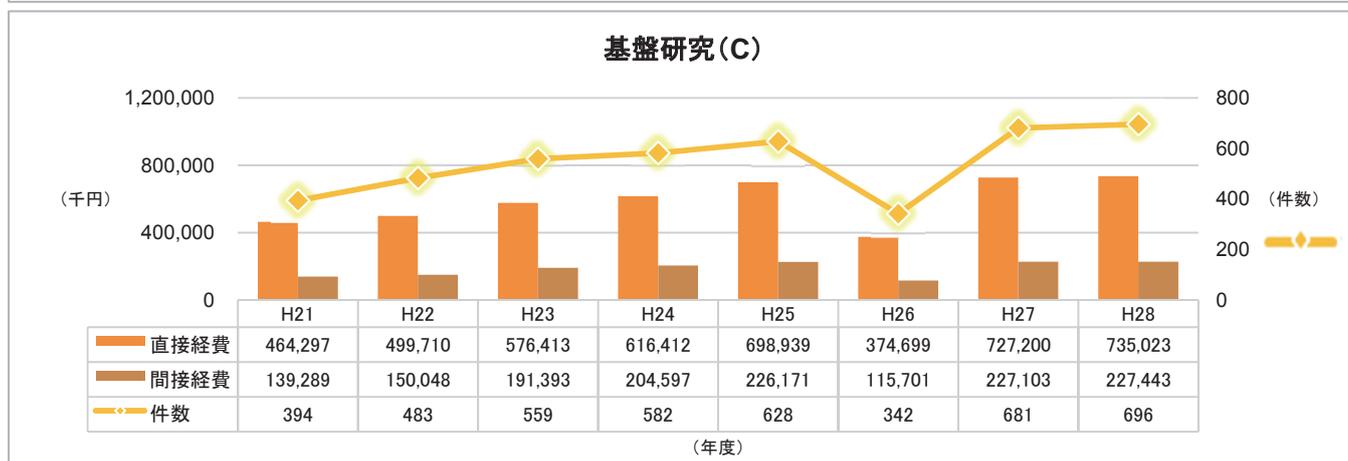
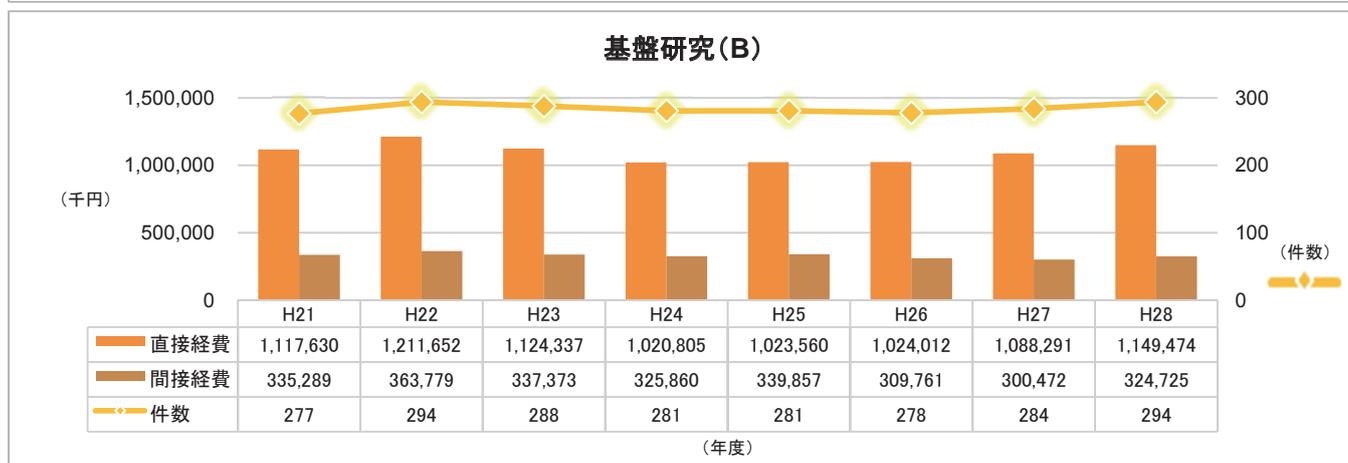
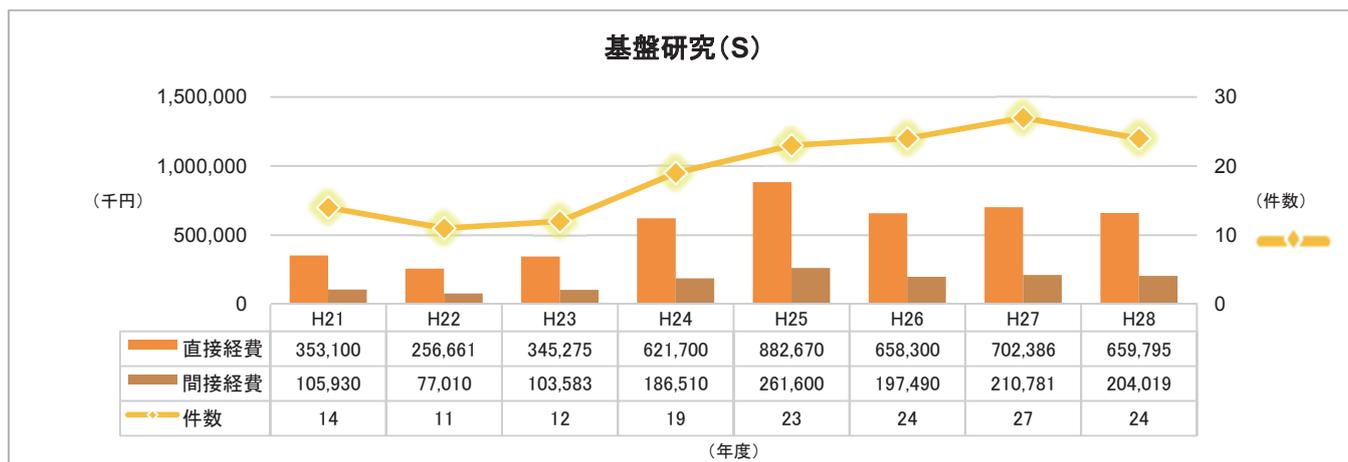
※出典:日本学術振興会 科研費データ「科研費の配分状況」(各年度)

## 13-5-2. 科学研究費助成事業の推移(研究種目別)



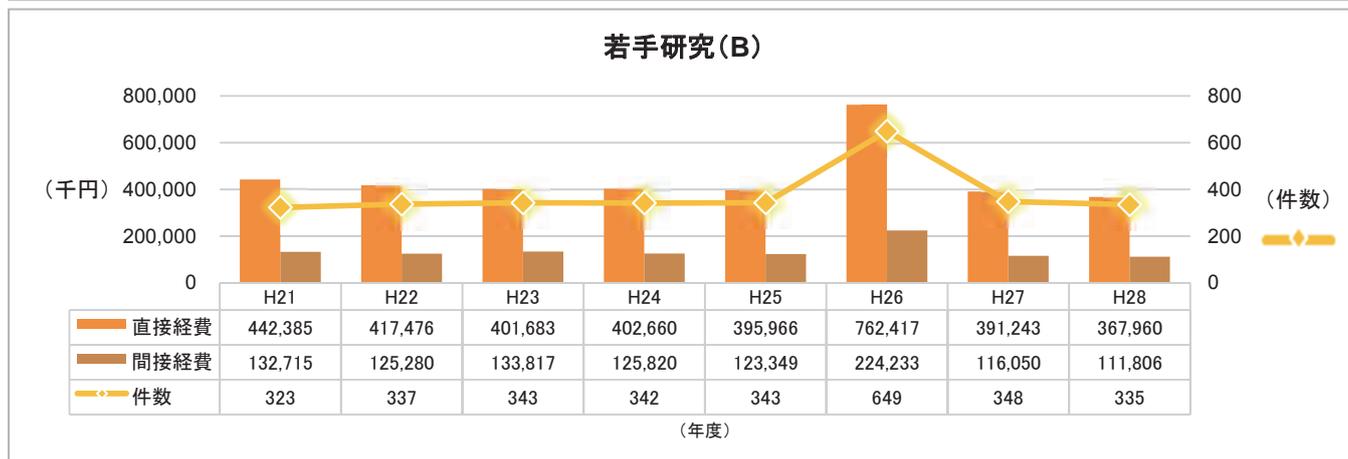
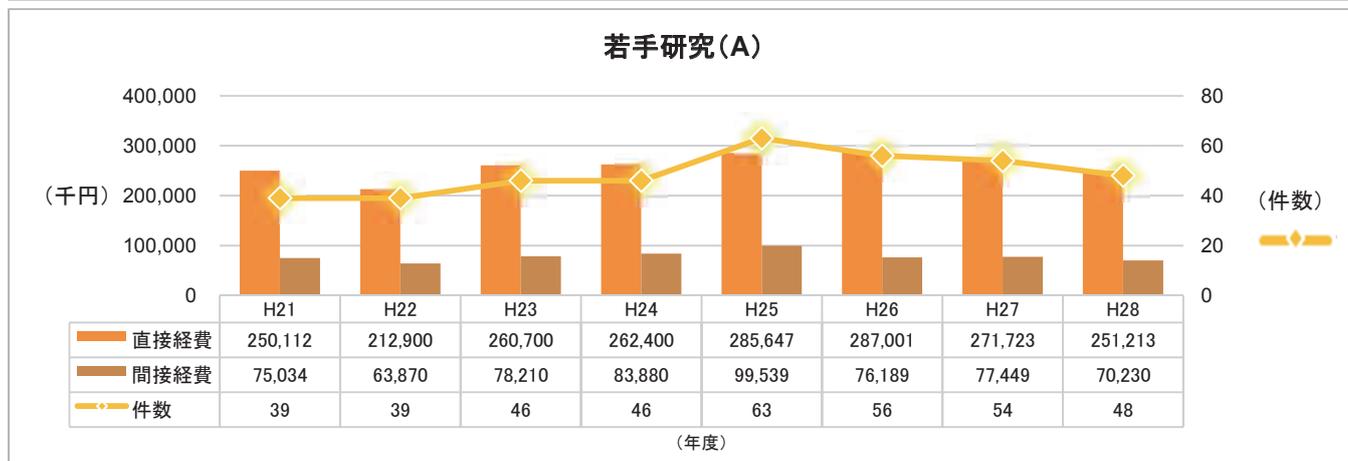
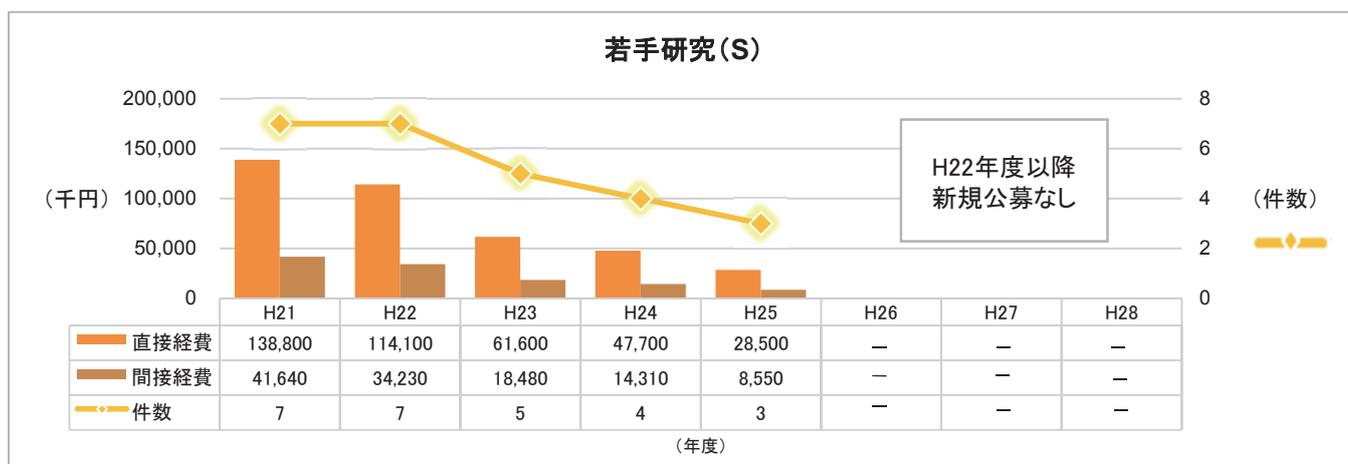
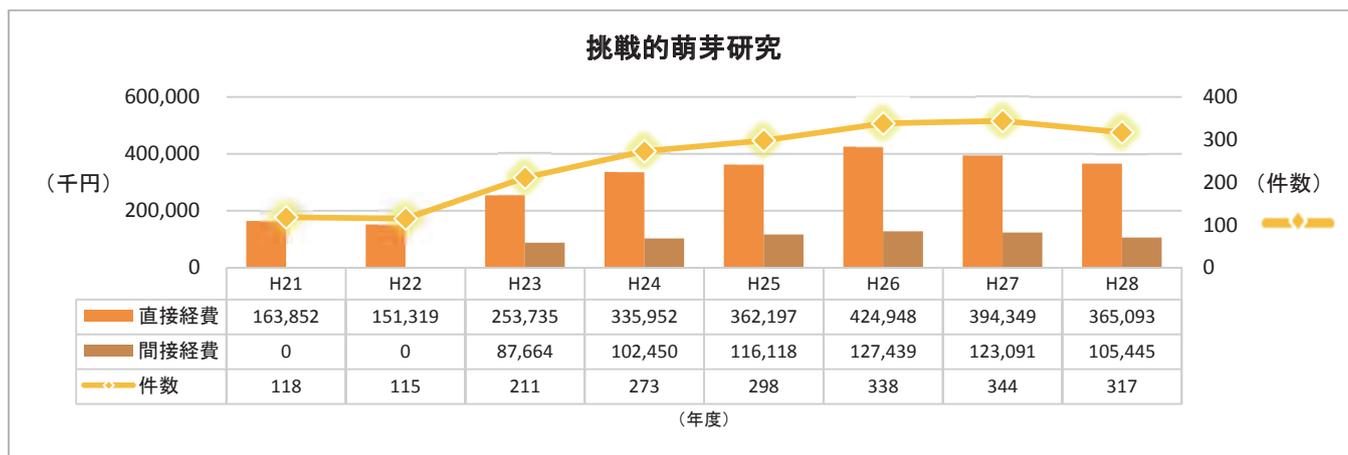
※出典:九州大学概要

13-5-2. 科学研究費助成事業の推移(研究種目別)(つづき)



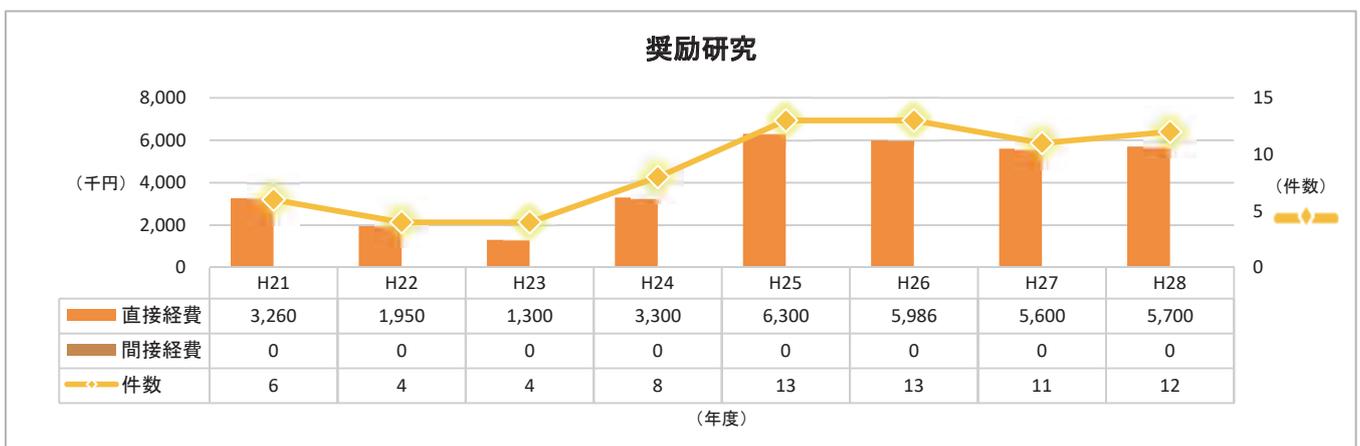
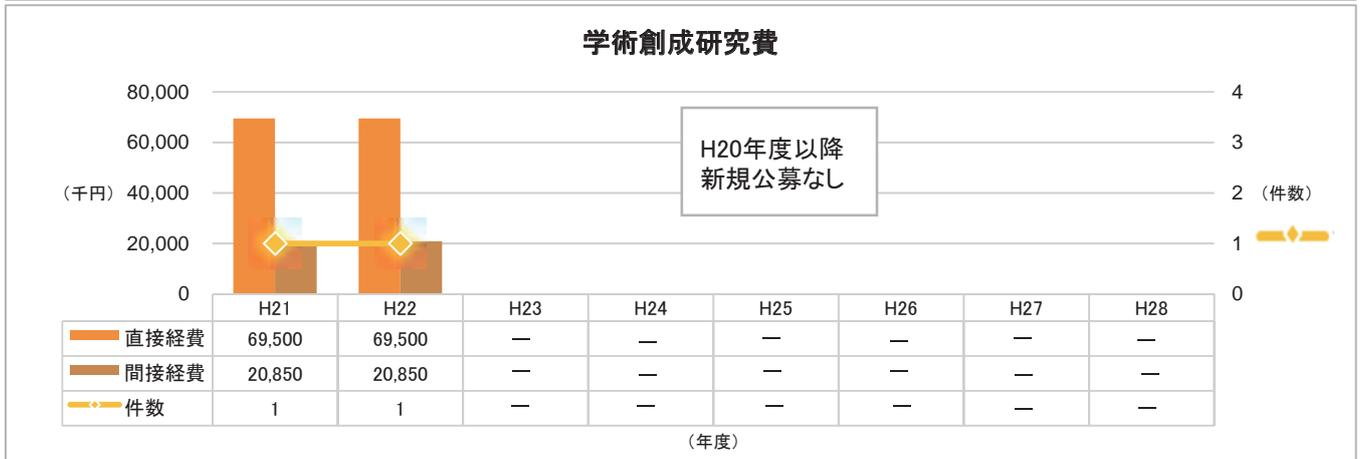
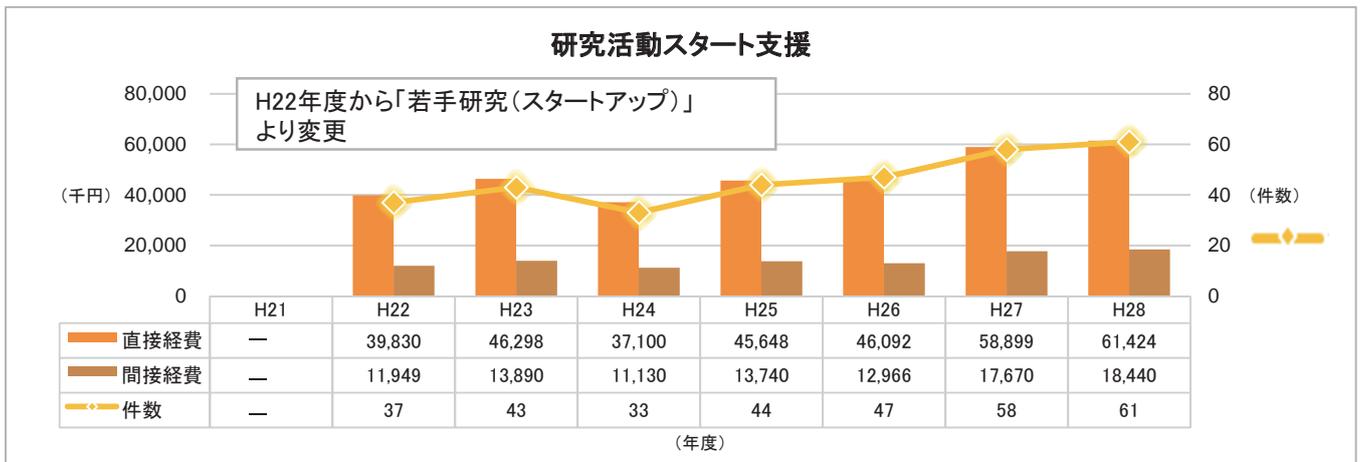
※出典:九州大学概要

13-5-2. 科学研究費助成事業の推移(研究種目別)(つづき)



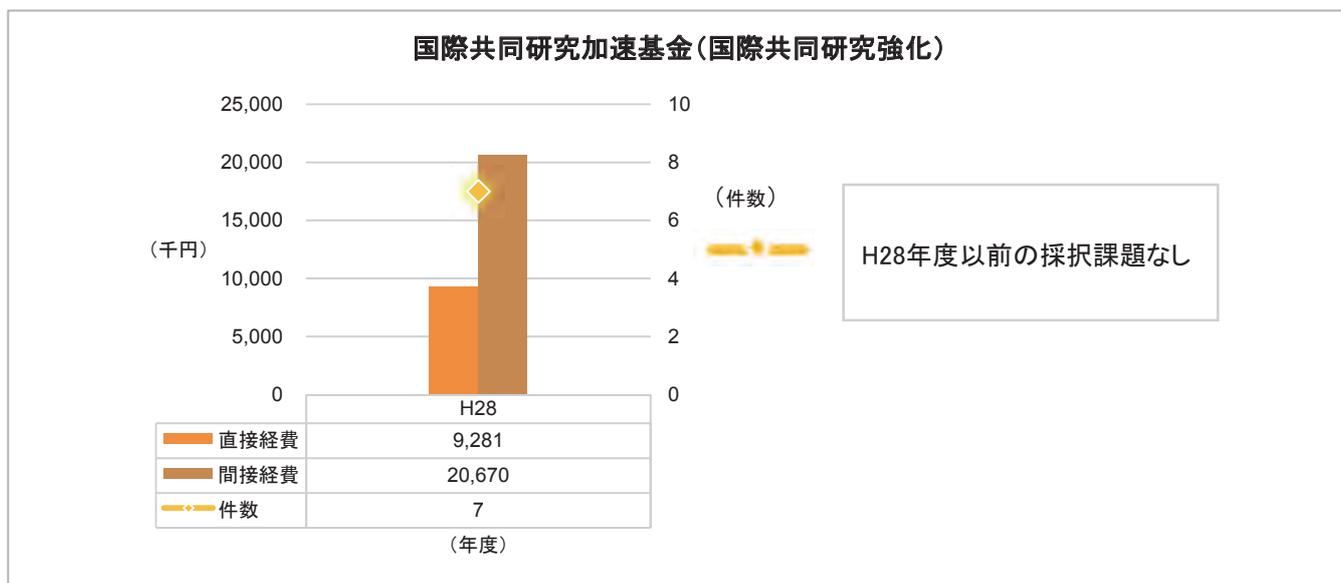
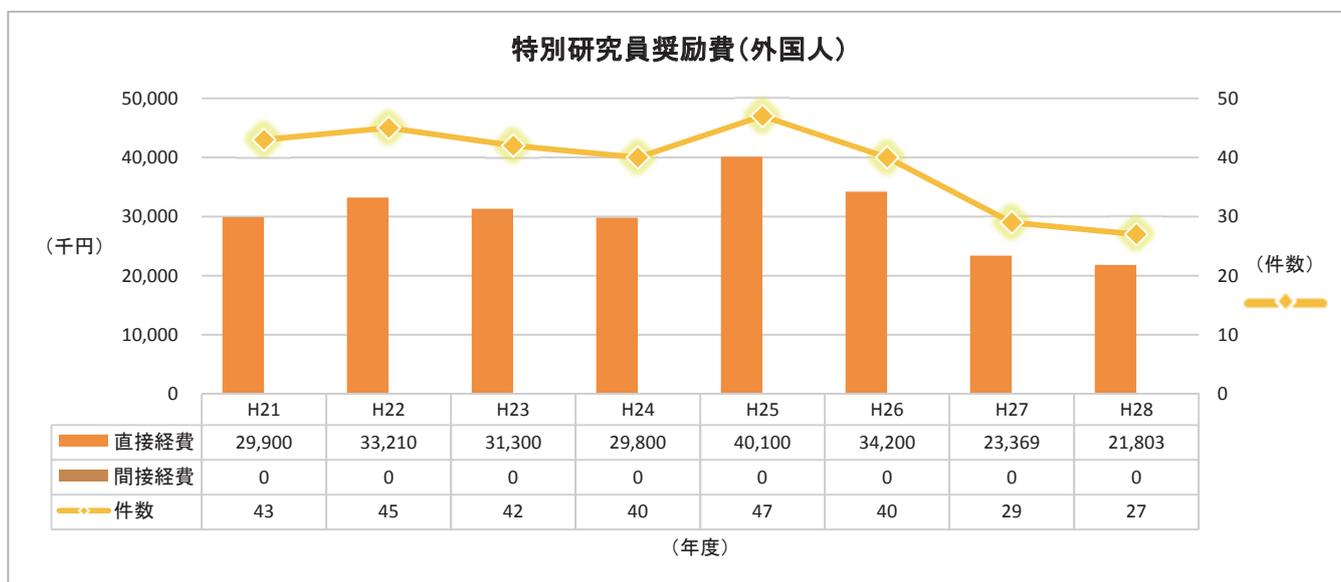
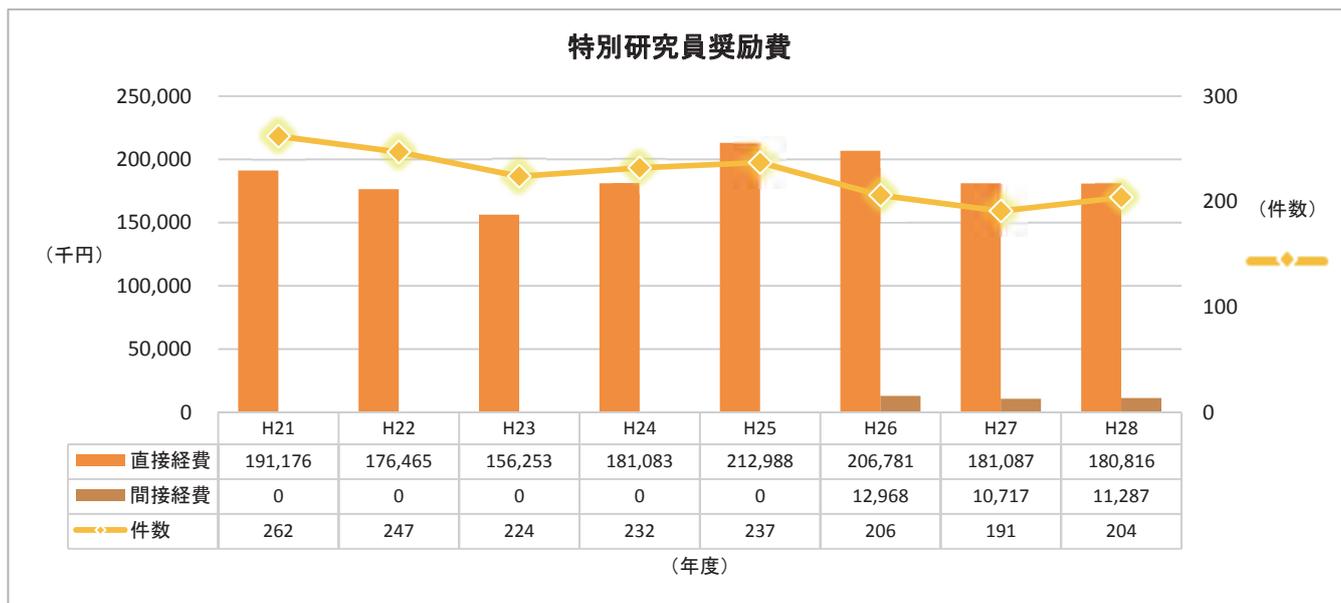
※出典:九州大学概要

13-5-2. 科学研究費助成事業の推移(研究種目別)(つづき)



※出典:九州大学概要

13-5-2. 科学研究費助成事業の推移(研究種目別)(つづき)



※出典:九州大学概要

### 13-5-3. 科学研究費助成事業の比較(各大学)

平成28年度科学研究費採択について、採択機関1291機関中、採択件数の多い10機関で、各項目の順位付けを行った。

#### ◆新規+継続◆

【採択件数】			【女性比率】			【若手比率】		
順位	機関名	件数	順位	機関名	比率(%)	順位	機関名	比率(%)
1	東京大	3,862	1	筑波大	17.7	1	東京大	38.1
2	京都大	3,050	2	神戸大	16.0	2	大阪大	32.8
3	大阪大	2,585	3	名古屋大	15.4	3	東北大	32.3
4	東北大	2,510	4	広島大	15.3	4	京都大	30.7
5	九州大	1,962	5	東京大	14.4	5	九州大	30.0
6	名古屋大	1,843	6	九州大	13.8	6	北海道大	29.7
7	北海道大	1,681	7	北海道大	13.3	7	名古屋大	28.8
8	筑波大	1,294	8	大阪大	12.9	8	筑波大	26.7
9	神戸大	1,107	9	京都大	12.3	9	神戸大	26.4
10	広島大	1,075	10	東北大	12.1	10	広島大	25.2

#### 【配分額】

順位	機関名	配分額 (千円)	間接経費 (千円)	合計 (千円)
1	東京大	16,671,500	5,001,450	21,672,950
2	京都大	10,582,600	3,174,780	13,757,380
3	大阪大	8,228,874	2,468,662	10,697,537
4	東北大	7,675,200	2,302,560	9,977,760
5	名古屋大	5,909,700	1,772,910	7,682,610
6	九州大	5,506,900	1,652,070	7,158,970
7	北海道大	4,463,800	1,339,140	5,802,940
8	筑波大	3,133,150	939,945	4,073,095
9	神戸大	2,169,100	650,730	2,819,830
10	広島大	2,016,050	604,815	2,620,865

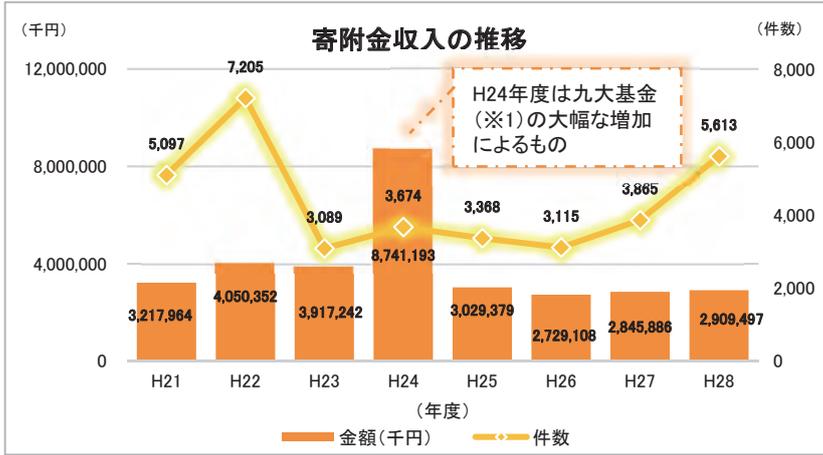
#### ◆新規◆

【採択件数】			【新規採択率】		
順位	機関名	件数	順位	機関名	新規採択率(%)
1	東京大	1,407	1	京都大	37.4
2	京都大	1,133	2	東京大	37.2
3	東北大	961	3	名古屋大	34.9
4	大阪大	957	4	大阪大	33.0
5	名古屋大	696	4	東北大	33.0
6	九州大	691	6	筑波大	32.5
7	北海道大	637	7	北海道大	32.4
8	筑波大	494	8	広島大	31.3
9	広島大	407	9	九州大	29.3
10	神戸大	397	10	神戸大	28.7

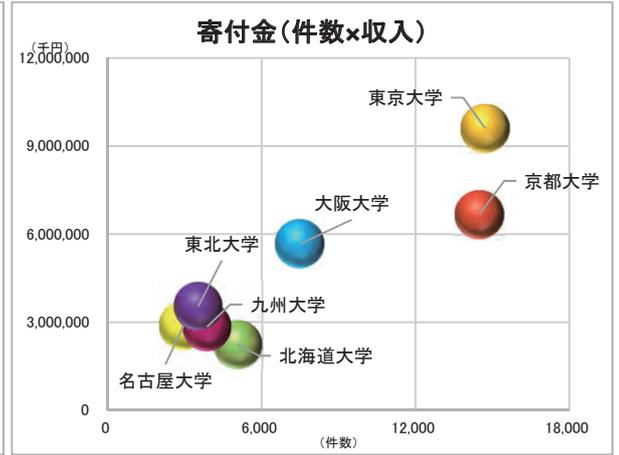
※出典：日本学術振興会HP 研究機関別採択件数・配分額一覧より

## 13-6. 寄附金収入の推移

### ◆九州大学◆



### ◆他大学(平成27年度)◆



#### (※1)九大基金

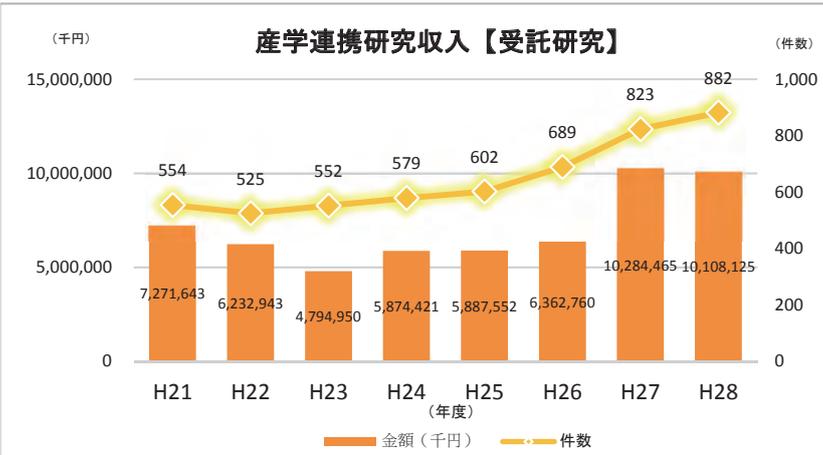
百周年記念事業募金でご寄附いただいたご厚志を柱として創設したもので、本基金は、九州大学が、世界そして人類が希求する知を先導すべく、グローバル化する世界の学術リーダーとして、「知の新世紀を拓く」拠点の構築を目指し、世界中の人々から支持される質の高い高等教育を一層推進し、また、より善き知の探求と創造・展開の拠点として、人類と社会に真に貢献する研究活動を促進していくため、本学の教育研究、診療等に対する支援とその環境の更なる整備・充実を図ることを目的としている。

九大基金HP: <http://kikin.kyushu-u.ac.jp/index.php>

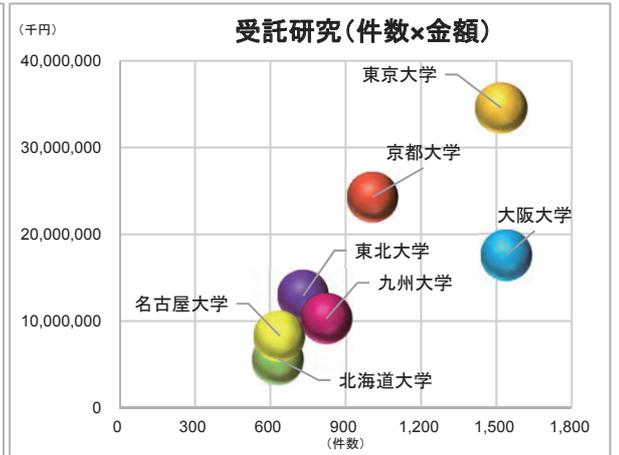
## 13-7. 産学連携研究収入の推移

### 13-7-1. 産学連携研究収入の推移(受託研究)

#### ◆九州大学◆

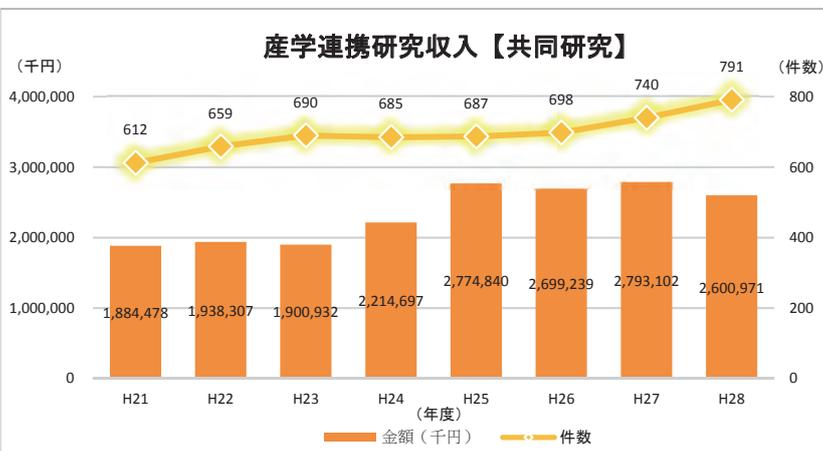


#### ◆他大学(平成27年度)◆

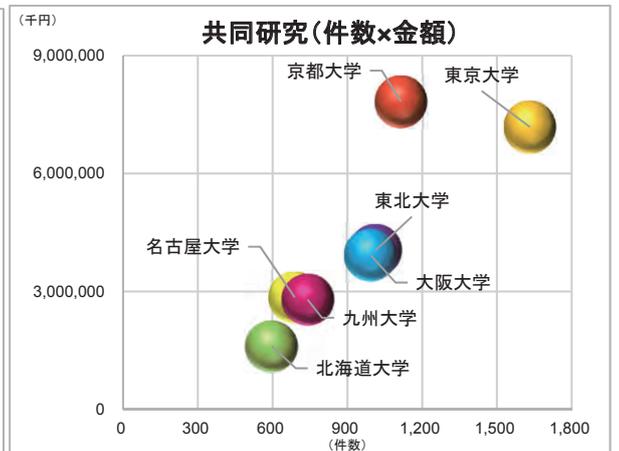


### 13-7-2. 産学連携研究収入の推移(共同研究)

#### ◆九州大学◆



#### ◆他大学(平成27年度)◆



#### ※出典

- ・本学:九州大学概要
- ・他大学:各大学 大学概要(2016)

# 14. 研究プログラム及び教育プログラムの採択状況

## 14-1. 研究プログラム採択状況

### 【平成22年度新規採択分】

#### ■世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)

拠点名	拠点長	期間(予定)
カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所	PETROS SOFRONIS	平成22年度～平成31年度

#### ■科学技術システム改革事業(旧科学技術振興調整費事業)によるプログラム

プログラム名	課題名	総括責任者	期間
戦略的環境リーダー育成拠点形成	「東アジア環境ストラテジスト育成プログラム」	総長 有川 節夫	平成22年度～平成26年度
健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム	「迷走神経刺激による心不全治療の最適化」	総長 有川 節夫	平成22年度～平成26年度
国際共同研究の推進	「革新的褐炭・バイオマス改質技術の科学基盤」	先導物質化学研究所教授 林 潤一郎	平成22年度～平成24年度

#### ■最先端・次世代研究開発支援プログラム

プログラム名	総括責任者	期間
グラフェンの成長制御と加工プロセスを通じたカーボンエレクトロニクスへの展開	先導物質化学研究所准教授 吾郷 浩樹	平成22年度～平成25年度
動的共有結合化学的アプローチによる完全自己修復性高分子材料の創製	先導物質化学研究所准教授 大塚 英幸	平成22年度～平成25年度
ジオメテックスによる環境材料の創成	工学研究院教授 笹木 圭子	平成22年度～平成25年度
数値モデルによる大気エアロゾルの環境負荷に関する評価および予測の高精度化	応用力学研究所准教授 竹村 俊彦	平成22年度～平成25年度
高品質立方晶窒化ホウ素が拓く高温高出力エレクトロニクス	総合理工学研究院准教授 堤井 君元	平成22年度～平成25年度
反応速度の壁を突破する炭素資源の低温迅速ガス化	先導物質化学研究所教授 林 潤一郎	平成22年度～平成25年度
プラズマニック結晶ナノアンテナ構造による革新的ナノバイオ計測	先導物質化学研究所教授 玉田 薫	平成22年度～平成25年度
スーパー分子プローブを用いた次世代生体分子イメージング	稲盛フロンティア研究センター教授 山東 信介	平成22年度～平成25年度
タンパク質品質管理に関わるジスルフィド結合形成・開裂因子の分子基盤	生体防御医学研究所准教授 稲葉 謙次	平成22年度～平成25年度
ゲノムプログラミングにおけるクロマチン修飾制御機構の解明	生体防御医学研究所助教 束田 裕一	平成22年度～平成25年度
ミクログリア転写因子IRF8を切り口にした慢性疼痛メカニズムの解明	薬学研究院准教授 津田 誠	平成22年度～平成25年度
癌の再発・転移に関与するnon-coding RNAの同定とその機序解明	大学病院准教授 三森 功士	平成22年度～平成25年度
新たな結核菌受容体を介する生体防御機構の解明と宿主の免疫賦活に向けた新戦略	生体防御医学研究所教授 山崎晶	平成22年度～平成25年度

### 【平成23年度新規採択分】

#### ■科学技術システム改革事業(旧科学技術振興調整費事業)によるプログラム

プログラム名	総括責任者	期間
テニューアトラック普及・定着事業	総長 久保 千春	平成23年度～平成28年度

### 【平成24年度新規採択分】

#### ■橋渡し研究加速ネットワークプログラム

研究領域	研究総括	期間
創造的次世代医療実現化を担うAROの構築	医学研究院教授 中西 洋一	平成24年度～平成28年度

#### ■研究拠点形成費等補助金(若手研究者養成費)

事業名	実施責任者	期間
卓越した大学院拠点形成費補助金	理事・副学長 藤木 幸夫	平成24年度～平成25年度

#### ■研究支援体制整備事業費補助金

事業名	機構長	期間
リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備(リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備)	理事・副学長 藤木 幸夫	平成24年度～平成26年度

※出典:九州大学概要

## 14-1. 研究プログラム採択状況（つづき）

### 【平成25年度新規採択分】

#### ■ 科学技術振興機構（JST）戦略的創造研究支援事業（ERATO型研究）

プロジェクト名	研究総括	期間
安達分子エキシトン工学プロジェクト	最先端有機光エレクトロニクス研究センター長 安達 千波矢	平成25年度～平成31年度

#### ■ 研究大学強化促進費補助金

事業名	総括責任者	期間
研究大学強化促進事業	総長 久保 千春	平成25年度～平成34年度

#### ■ 革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）

拠点名	総括責任者	期間
共進化社会システム創成拠点：ヒト／モノ／エネルギー／情報のモビリティによる多様で持続的な社会の構築	是久 洋一	平成25年度～平成28年度

### 【平成26年度新規採択分】

プロジェクト名	総括責任者	期間
九州大学グローバルイノベーション人材育成エコシステム形成事業	ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター 特命教授 谷川 徹	平成26年度～平成28年度

### 【平成27年度新規採択分】

#### ■ 研究支援体制整備事業費補助金

事業名	機構長	期間
リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備（リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備）	理事・副学長 若山 正人	平成27年度～平成28年度 （平成24年度～平成26年度）

#### ■ 科学技術人材育成費補助金

プログラム名	総括責任者	期間
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ	総長 久保 千春	平成27年度～平成32年度

### 【平成28年度新規採択分】

#### ■ 科学技術人材育成費補助金

プログラム名	総括責任者	期間
卓越研究員事業	総長 久保 千春	平成28年度～平成32年度

### 【平成29年度新規採択分】

#### ■ 橋渡し研究戦略的推進プログラム

事業課題名	機構長	期間
地域と拠点を結び世界へ展開する新規医療技術の研究・開発	医学研究院 教授 中西 洋一	平成29年度～平成33年度

## 14-2. 教育プログラム採択状況

### 【平成22年度新規採択分】

プログラム名称	責任部局名	取組名称	取組期間
戦略的環境リーダー育成拠点形成	東アジア環境研究機構	東アジア環境ストラテジスト育成プログラム	平成22年度～平成26年度

### 【平成23年度新規採択分】

プログラム名称	責任部局名	取組名称	取組期間
大学の世界展開力強化事業	総合理工学部	エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム	平成23年度～平成27年度
チーム医療推進のための大学院職員の人材養成システムの確立	病院	先進的チーム医療の推進とその安全性確立	平成23年度～平成27年度
政策立案人材育成等拠点形成事業費補助事業	科学技術イノベーション政策教育研究センター	科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」基盤的研究・人材育成拠点整備事業	平成23年度～平成37年度

※出典：九州大学概要

## 14-2.教育プログラム採択状況（つづき）

### 【平成24年度新規採択分】

プログラム名称	責任部局名	取組名称	取組期間
次世代科学者育成プログラム	理学部	エクセレント・スチューデント・イン・サイエンス育成プロジェクト(ESSP)－九州大学理学部次世代科学者育成プログラム－	平成24年度
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	医学系学府、薬学府	九州がんプロ養成基盤推進プラン	平成24年度～平成28年度
医学部・大学病院の教育研究活性化及び地域・へき地医療人材の確保	病院	九州大学医学部・大学病院の教育研究活性化及び地域・へき地医療人材の確保事業	平成24年度～平成28年度
大学の世界展開力強化事業	工学府	地球資源工学グローバル人材育成のための学部・大学院ビルドアップ協働教育プログラム	平成24年度～平成28年度
大学の世界展開力強化事業	法学府	スパイラル型協働教育モデル:リーガルマインドによる普遍性と多様性の均衡を目指して	平成24年度～平成28年度
大学間連携共同教育推進事業	システム情報科学府	未来像を自ら描く電気エネルギー分野における実践的人材の育成	平成24年度～平成28年度
経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援	農学部	国際的視野を持ったアグリバイオリーダーの育成プログラム	平成24年度～平成28年度
博士課程教育リーディングプログラム	総合理工学府、工学府	グリーンアジア国際戦略プログラム	平成24年度～平成30年度
博士課程教育リーディングプログラム	工学府、理学府、システム情報科学府	分子システムデバイス国際研究リーダー養成および国際教育研究拠点形成	平成24年度～平成30年度
国立大学改革推進事業(総合支援型)	全学	基幹教育の構築による新たな学士課程教育モデルの提起	平成24年度～平成29年度

### 【平成25年度新規採択分】

プログラム名称	責任部局名	取組名称	取組期間
国際原子力人材育成イニシアティブ事業「機関横断的な人材育成事業」	工学府	「総合的原子力人材育成カリキュラムの開発～計算機シミュレーションを活用した実績的原子力実験・演習プログラムの整備～」	平成25年度～平成27年度
成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業	人間環境学研究院	中核的専門人材育成のためのグローバル・コンソーシアム等	平成25年度～平成27年度
先進的医療イノベーション人材養成事業(未来医療研究人材養成拠点形成事業)	医学研究院	イノベーションを推進する国際的人材の育成	平成25年度～平成29年度
先進的医療イノベーション人材養成事業(未来医療研究人材養成拠点形成事業)	病院	地域包括医療に邁進する総合診療医育成	平成25年度～平成29年度
博士課程教育リーディングプログラム	全学	持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム	平成25年度～平成31年度

### 【平成26年度新規採択分】

プログラム名称	責任部局名	取組名称	取組期間
グローバルサイエンスキャンパス	理学部、工学部、芸術工学部、農学部	世界に羽ばたく未来創成科学者育成プロジェクト	平成26年度～平成29年度
課題解決型高度医療人材養成プログラム	医学部	実践能力強化型チーム医療加速プログラム	平成26年度～平成30年度
スーパーグローバル大学創成支援	全学	戦略的改革で未来へ進化するトップグローバル研究・教育拠点創成(SHARE-Q)	平成26年度～平成35年度

### 【平成27年度新規採択分】

なし

### 【平成28年度新規採択分】

プログラム名称	責任部局名	取組名称	取組期間
大学の世界展開力強化事業	総合理工学府	エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム -ダブルディグリープログラムの高度化と定着・恒常化-	平成28年度～平成32年度
大学の世界展開力強化事業	人間環境学府	アジア都市・建築環境の発展的持続化を牽引する人材育成のための協働教育プログラム	平成28年度～平成32年度

※出典：九州大学概要





九州大学 企画部企画課・IR室  
(平成29年11月作成)

〒819-0395 福岡市西区元岡744  
TEL 092-802-2145